# 令和４年度
# 包括外部監査結果報告書

## テーマ
## 指定管理者制度に関する事務の執行
## 及び対象施設の管理運営について

令和５年３月

富山市包括外部監査人
髙畠　亮一

# 目次


第 1 章：包括外部監査の概要 ..... 1

第 1 部. 包括外部監査の概要 ..... 2

*１． 外部監査の種類 ..... 2*

*２． 選定した特定の事件 ..... 2*

*３． 特定の事件を選定した理由 ..... 2*

*４． 外部監査の対象部署 ..... 2*

*５． 外部監査の対象期間 ..... 2*

*６． 外部監査の実施期間 ..... 3*

*７． 外部監査の方法 ..... 3*

*８． 包括外部監査人及び補助者 ..... 3*

*９． 利害関係 ..... 3*

*１０． 語句の説明 ..... 3*

*１１． その他 ..... 4*

第 2 章：監査結果の要約 ..... 5

第 1 部. 発見事項の概要 ..... 6

*１． 発見事項の総括 ..... 6*

*２． 個別検討により識別された発見事項の一覧 ..... 7*

*３． 監査人が特に重要と考える発見事項 ..... 15*

第 3 章：指定管理者制度の全般的運用状況の検討 ..... 24

第 1 部：指定管理者制度の概要 ..... 25

*１． 指定管理者制度の概要 ..... 25*

*２． 富山市における指定管理者制度の現状 ..... 29*

第 2 部：指定管理者制度の全般的運用状況の検討 ..... 31

*１． 指定管理者制度の全般的運用状況の検討方針 ..... 31*

*２． 指定管理者制度の全般的運用状況に係る監査論点、監査手続及び監査結果 ..... 31*

第 4 章：指定管理施設の検討 ..... 49

第 1 部：指定管理施設の監査方針 ..... 50

*１． 指定管理施設の監査方針 ..... 50*

第 2 部：指定管理施設の検討結果 ..... 57

*１． 富山市民芸術創造センター ..... 57*

*２． 富山能楽堂 ..... 68*

*３． 市営駐車場 ..... 77*

*４． 中央児童館 ..... 88*

*５． 山室児童館 ..... 96*

６．　南老人福祉センター ..... 104
７．　四方チャレンジ・ミニ企業団地、同研修センター、とやまインキュベータ・オフィス ..... 115
８．　野外教育活動センター ..... 127
９．　富山市民球場 ..... 140
１０．　東富山温水プール、北部プール ..... 150
１１．　北部錬成館等 ..... 159
１２．　富山市パークゴルフ場 ..... 180
１３．　大沢野高齢者いきがい工房 ..... 188
１４．　大沢野地域スポーツ施設、大沢野地域都市公園（猿倉山森林公園を除く） ..... 195
１５．　八尾地域都市公園、神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館、久婦須川ダム周辺広場 ..... 209
１６．　婦中パークゴルフ場 ..... 222
１７．　婦中地域都市公園及び地域広場 ..... 230
１８．　新産業支援センター ..... 239
１９．　牛岳温泉健康センター ..... 247
２０．　角川介護予防センター ..... 258
２１．　神保児童館 ..... 271
２２．　八尾おわら資料館、八尾曳山展示館 ..... 278
２３．　富山市民プラザホール ..... 291
２４．　富山国際会議場 ..... 301
２５．　恵光学園 ..... 314
２６．　障害者福祉プラザ ..... 330
２７．　愛育園、慈光園、和光寮 ..... 340
２８．　富山ガラス工房 ..... 360
２９．　ファミリーパーク ..... 372
３０．　芸術文化ホール ..... 386
３１．　総合体育館 ..... 397
３２．　富山市民プール ..... 408
３３．　大沢野健康福祉センター、大沢野老人福祉センター ..... 419
３４．　八尾 B&G 海洋センタープール、八尾ゆめの森テニスコート ..... 437
３５．　まちなか賑わい広場 ..... 448
３６．　富山市・医師会急患センター ..... 458
３７．　市営住宅 ..... 466
３８．　城址公園、城址公園駐車場 ..... 490
３９．　富山霊園富山市斎場 ..... 504

# 第１章：包括外部監査の概要

# 第１部．包括外部監査の概要

## １．外部監査の種類

地方自治法第 252 条の 37 第 1 項及び第 2 項の規定による包括外部監査

## ２．選定した特定の事件

指定管理者制度に関する事務の執行及び対象施設の管理運営について

## ３．特定の事件を選定した理由

富山市は、平成 17 年の市町村合併に伴って広大な市域に 324 の指定管理施設（令和 4 年 3 月 31 日時点）を有しているが、これは北陸の類似団体と比較しても多いものとなっている（金沢市は令和 4 年 4 月 11 日時点で 234 施設、福井市は令和 3 年 4 月 1 日時点で 56 施設である）。

なお、富山市は、市町村合併の効果を最大限発揮できるよう、平成 17 年 12 月に「富山市行政改革大綱」を策定し、当該大綱に基づき「富山市行政改革実施計画」を策定しながら行政改革に取り組んでいる。直近では令和 3 年 3 月に「第 4 期富山市行政改革実施計画」を策定し、令和 3 年度～令和 7 年度を対象として行政改革を進めているが、当該実施計画の中で、「多様な主体との共創・協働」を図るため「指定管理者制度の見直しとモニタリングを通じたサービス向上」に取り組むことを明記している。具体的には、指定管理者制度の導入から 10 年余りが経過し、制度趣旨の理解が希薄になっているケースが見受けられることを踏まえ、施設所管課と指定管理者が指定管理者制度の導入効果や施設運営等の適正性を自己評価する取り組みを開始している。そのため、これらの取り組みの進捗状況を監査することは、富山市が行政改革実施計画を効果的、効率的に遂行していく上で有益な気付きを与え得るものと考える。

また、令和 3 年度に農林水産部を対象として包括外部監査を実施した結果、指定管理業務に関して複数の指摘事項や意見が発見されているが、同様の指摘事項や意見は他部署が所管する指定管理施設でも発生している可能性がある。加えて、平成 24 年度に「指定管理者制度の整備状況及び運用状況について」と題して包括外部監査を実施しているが、当該監査から 10 年が経過しており、当時の指摘事項や意見の改善状況をフォローする必要がある。

以上により、指定管理者制度に関する事務の執行及び対象施設の管理運営状況を監査することに意義があると判断した。

## ４．外部監査の対象部署

指定管理施設を所管する富山市の各課及び各課が所管する公の施設の管理を行わせるもの

## ５．外部監査の対象期間

原則として令和 3 年度を対象として、必要に応じて他の年度も対象とした。

## ６． 外部監査の実施期間

令和４年６月１日から令和５年３月 31 日まで

なお、令和４年４月から令和４年５月までは特定の事件の選定、監査補助者の選任及び予備調査等を実施した。

## ７． 外部監査の方法

### （１） 主な監査要点

主に以下の監査要点について監査を実施した。なお、詳細な監査要点は各章で記載しているため、そちらを参照のこと。

ア．指定管理施設における財務に関する事務の執行等が、法令、条例、富山市の規則、要綱等に準拠して行われているか

イ．指定管理施設が、経済性、効率性、有効性の観点から適切に管理運営されているか

### （２） 主な監査手続

担当者への質問、関連資料の閲覧や証憑突合、推移分析等の分析的手続、現地視察を中心として実施した。なお、監査要点毎の詳細な監査手続は各章で記載しているため、そちらを参照のこと。

## ８． 包括外部監査人及び補助者

| | | |
|---|---|---|
| 包括外部監査人 | 髙畠　亮一 | 公認会計士 |
| 補助者 | 布目　剛 | 公認会計士 |
| 補助者 | 細見　孝次 | 弁護士、公認会計士 |
| 補助者 | 茶木　梨津子 | 公認会計士 |
| 補助者 | 松下　要 | 公認会計士 |

## ９． 利害関係

包括外部監査の対象とした事件につき、地方自治法第252条の29の規定に記載すべき利害関係はない。

## １０． 語句の説明

当報告書に記載する「指摘事項」及び「意見」の定義は、次のとおりである。

「指摘事項」とは、「合規性又は経済性・効率性・有効性に関して、改善すべき重要事項と監査人が判断したもの」である。

「意見」とは、合規性又は経済性・効率性・有効性の観点から見て、「著しい問題は無いが改善が望ましい事項と監査人が判断したもの」である。

## １１．その他

- 本報告書における数値は、原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入した。
- 本報告書における表は、端数処理の関係で、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。
- 本報告書における比率（%）は、原則として小数点第2位を四捨五入した。
- 本報告書に掲記している図、表等の資料は、特に明記の無い限り、富山市が作成した資料、富山市の所管する公の施設の管理を行わせているものが作成した資料及びこれらの資料を基に監査人が加工したものである。

# 第 2 章：監査結果の要約

# 第１部. 発見事項の概要

## １． 発見事項の総括

### （1） 発見事項の総括

当監査では、第 3 章で富山市の指定管理者制度の全般的運用状況を検討するとともに、第 4 章で各課が所管する指定管理施設の個別検討を実施した。

これらの検討により識別された発見事項は 96 個、うち指摘事項は 21 個、意見は 75 個である。なお、複数の施設で頻発している同じ内容の指摘事項・意見は、指定管理者制度全体に係る発見事項として「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」における発見事項に集約し、1 個の指摘事項・意見としてカウントしている。仮にこれらを別々の発見事項として集計した場合は、発見事項総数 191 個、指摘事項総数 91 個、意見総数 100 個となる。

指摘事項 21 個のうち 9 個(42%)は、指定管理者制度の全般的運用状況を検討した結果発見されている。これらは、複数の施設で類似の発見事項が頻発している等の理由で識別されており、指定管理者制度の基本設計に係る重要な発見事項となっている。また、指摘事項 21 個のうち 7 個(33%)、意見 75 個のうち 41 個(54%)は施設の在り方や存在意義を検討した結果発見されている。指定管理者制度を効果的、効率的に運用するためには、大前提として公の施設の存在意義が明確になっている必要がある。この点、施設往査の結果、時代の変化に伴って施設の稼働率が大幅に低下していたり、重要な遊休部分が存在していたりするケースが散見された。

指摘事項及び意見の詳細は、下記「2. 個別検討により識別された発見事項の一覧」、「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」及び「第 4 章 指定管理施設の検討」における検討結果を参照のこと。また、下記「3. 監査人が特に重要と考える発見事項」では、発見事項のうち監査人が特に重要と考えるものを要約、再掲しているため、適宜参照されたい。

ア. 監査区分及び監査目線ごとの発見事項数

| 監査区分 | 監査目線 | 発見事項 | | (参考:総数) | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 指摘 | 意見 | 指摘 | 意見 |
| 第 3 章：指定管理者制度の全般的運用状況の検討 | 条例や指針、マニュアル等の整備状況 | 2 | － | 2 | － |
| | 直営か指定管理施設かの判断目線 | － | － | － | － |
| | 指定管理者制度の導入単位 | － | － | － | － |
| | 公募・非公募の判断目線 | － | － | － | － |
| | 指定管理候補者の募集方法 | － | 1 | － | 1 |
| | 指定管理候補者の審査方法 | 1 | － | 1 | － |
| | 基本協定書、管理業務仕様書の記載内容 | － | 2 | － | 2 |
| | 指定管理業務の範囲 | 1 | － | 1 | － |
| | 指定期間の設定状況 | － | － | － | － |
| | 利用料金制の運用状況 | － | － | － | － |
| | 外郭団体を指定管理者とする場合の諸論点 | 2 | － | 2 | － |
| | 自主事業の管理、促進状況 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 指定管理業務のモニタリング状況 | 2 | － | 2 | － |

| 監査区分 | 監査目線 | 発見事項 | | (参考:総数) | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 指摘 | 意見 | 指摘 | 意見 |
| | 指定管理業務の引継ぎ | － | － | － | － |
| **第 3 章：指定管理者制度の全般的運用状況の検討　発見事項 小計** | | **9** | **4** | **9** | **4** |
| 第 4 章：指定管理施設の個別検討 | 施設のあり方や存在意義 | 7 | 41 | 19 | 47 |
| | 富山市の歳入・歳出 | 3 | 10 | 4 | 15 |
| | 指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法 | 1 | 7 | 15 | 13 |
| | 指定管理業務 | 1 | 13 | 44 | 21 |
| | 過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー | － | － | － | － |
| **第 4 章：指定管理施設の個別検討　発見事項 小計** | | **12** | **71** | **82** | **96** |
| **発見事項　計** | | **21** | **75** | **91** | **100** |

## ２． 個別検討により識別された発見事項の一覧

### （1） 「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」における発見事項一覧

第 3 章では、指定管理者制度の概要、富山市の現状、「第 4 章 指定管理施設の個別検討」の検討結果等を踏まえて、指定管理者制度の全般的運用状況を検討している。検討にあたっては、以下の監査目線を設定し監査手続を実施した。各監査目線に係る監査手続や監査の実施結果については、「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」を参照されたい。

ア．条例や指針、マニュアル等の整備状況の妥当性
イ．直営か指定管理施設かの判断目線の妥当性
ウ．指定管理者制度の導入単位の妥当性
エ．公募・非公募の判断目線の妥当性
オ．指定管理候補者の募集方法の妥当性
カ．指定管理候補者の審査方法の妥当性
キ．基本協定書、管理業務仕様書の記載内容の妥当性
ク．指定管理業務の範囲の妥当性
ケ．指定期間の妥当性
コ．利用料金制の運用の妥当性
サ．外郭団体を指定管理者とする場合の諸論点（精算条項、人件費補助金など）の妥当性
シ．自主事業の管理推進状況の妥当性
ス．指定管理業務のモニタリングの妥当性
セ．指定管理業務の引継ぎの妥当性

＜下記発見事項一覧に関する補足＞

- 「通番」は、発見事項全体の通し番号になっている。
- 「監査目線」は、上記「指定管理者制度の全般的運用状況に係る監査目線」に対応している。
- 「発見事項 No」は、指摘事項・意見毎の通し番号になっている。なお、複数の施設で発見された同じ内容の指摘事項・意見は 1 個とカウントし、同じ通し番号を付している。

- 「重要発見事項」は、監査人が特に重要と判断した発見事項について、下記「3.監査人が特に重要と考える発見事項」で再掲した際の記号を付している。

| 通番 | 全般的運用状況の監査目線 | 発見事項No | | 発見事項 | 重要発見事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 指摘 | 意見 | | |
| 1 | ア.規程等整備 | 1 | | 運用指針の記載内容の充実 | |
| 2 | ア.規程等整備 | 2 | | 事務マニュアルの整備 | |
| 3 | オ.募集方法 | | 1 | 応募者数を増やすための施策 | |
| 4 | カ.選定審査 | 3 | | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 | エ |
| 5 | キ.基本協定 | | 2 | 基本協定書における指定管理料の記載の見直し | |
| 6 | キ.基本協定 | | 3 | 基本協定書への利用料徴収業務の記載漏れ | |
| 7 | ク.業務範囲 | 4 | | 指定管理業務と自主事業の区分の明確化 | カ |
| 8 | サ.外郭団体 | 5 | | 利用料金制の施設における精算条項の解除 | オ |
| 9 | サ.外郭団体 | 6 | | 人件費補助金の交付対象の見直し | オ |
| 10 | シ.自主事業 | 7 | | 自主事業実施結果の正確かつ網羅的な報告 | カ |
| 11 | シ.自主事業 | | 4 | 自主事業の拡充や収益性の向上 | カ |
| 12 | ス.モニタリング | 8 | | 指定管理業務の報告様式や報告事項の整理 | キ |
| 13 | ス.モニタリング | 9 | | 指定管理業務に係る収支の精査の実効性確保 | キ |

**（2）「第4章 指定管理施設の検討」における発見事項一覧**

第4章では、指定管理施設について往査サンプルを抽出し、以下の監査目線で監査手続を実施した。往査サンプルの抽出目線や抽出結果は第4章 第1部を参照のこと。

ア．施設のあり方や存在意義の検討

イ．富山市の歳入・歳出の検討

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討

エ．指定管理業務の検討

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

その結果、以下の発見事項が識別された。

＜下記発見事項一覧に関する補足＞

- 「通番」は、発見事項全体の通し番号になっている。
- 「監査目線」は、上記「往査施設に係る監査目線」に対応している。
- 「発見事項No」は、指摘事項・意見毎の通し番号になっている。なお、複数の施設で発見された同じ内容の指摘事項・意見は1個とカウントし、同じ通し番号を付している。
- 「第3章No」は、施設別の発見事項のうち「第3章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」における発見事項の根拠となったもの（特に重要な発見事項や頻発事項）について、相互の関連性を明確にするため第3章での発見事項Noを再掲している。
- 「重要発見事項」は、監査人が特に重要と判断した発見事項について、下記「3.監査人が特に重要と考える発見事項」で再掲した際の記号を付している。

| 通番 | 監査目線 | 発見事項No | | 発見事項 | 第3章No | 重要発見事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 指摘 | 意見 | | | |
| **1.富山市民芸術創造センター** | | | | | | |
| 14 | ア.存在意義 | | 5 | クラウドファンディングの活用 | | |
| 15 | ア.存在意義 | | 6 | 施設の強みを生かした有効利用の促進 | | |
| 16 | イ.歳入歳出 | | 7 | 使用料金体系の見直し要否の検討 | | |
| 17 | イ.歳入歳出 | | 8 | 使用料減免の範囲、水準の再検討 | | |
| 18 | エ.管理業務 | | 9 | 部屋別・時間帯別利用実績の年度報告書への添付 | 指摘8 | キ |
| **2.富山能楽堂** | | | | | | |
| 19 | ア.存在意義 | | 10 | 施設の強みを生かした有効利用の促進 | | |
| 20 | ア.存在意義 | 10 | | 開館時間の変更申請漏れ | | ウ |
| 21 | ア.存在意義 | 11 | | 開館時間の見直し | | ウ |
| 22 | ウ.選定 | 3 | | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 | 指摘3 | エ |
| 23 | エ.管理業務 | 8 | | 稼働率計算の精緻化 | 指摘8 | キ |
| 24 | エ.管理業務 | 9 | | 多額の収支差額が発生する原因の検討 | 指摘9 | キ |
| **3.市営駐車場** | | | | | | |
| 25 | ア.存在意義 | | 11 | 総曲輪駐車場の稼働率向上施策の検討 | | |
| 26 | ア.存在意義 | | 12 | 桜町駐車場と総曲輪駐車場の屋上部分の利活用 | | |
| 27 | イ.歳入歳出 | | 13 | 歳入予算の見積り精度の向上 | | |
| 28 | ウ.選定 | 3 | | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 | 指摘3 | エ |
| 29 | エ.管理業務 | 9 | | 多額の収支差額が発生する原因の検討 | 指摘9 | キ |
| **4.中央児童館** | | | | | | |
| 30 | ア.存在意義 | | 14 | HPの機能向上 | | |
| 31 | ウ.選定 | 3 | | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 | 指摘3 | エ |
| 32 | エ.管理業務 | | 15 | 指定管理者同士の連携強化 | | |
| 33 | エ.管理業務 | | 16 | 指定管理者の強みを生かした市民サービスの拡充 | | |
| 34 | エ.管理業務 | 9 | | 収支差額がゼロとなる原因の検討 | 指摘9 | キ |
| **5.山室児童館** | | | | | | |
| 35 | ア.存在意義 | | 14 | HPの機能向上 | | |
| 36 | エ.管理業務 | | 15 | 指定管理者同士の連携強化 | | |
| 37 | エ.管理業務 | 9 | | 本社管理費の配賦基準の見直し | 指摘9 | キ |
| **6.南老人福祉センター** | | | | | | |
| 38 | ア.存在意義 | 12 | | 施設廃止を見据えた対応方針の検討 | | ア |
| 39 | ア.存在意義 | 13 | | 会議室の利用方針の整理 | | |
| 40 | ア.存在意義 | 11 | | 休館日の見直し | | ウ |
| 41 | ウ.選定 | | 2 | 基本協定書における指定管理料の記載の見直し | 意見2 | |
| 42 | エ.管理業務 | 14 | | 人員体制の見直し | | ア |

| 通番 | 監査目線 | 発見事項No | | 発見事項 | 第3章No | 重要発見事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 指摘 | 意見 | | | |
| 43 | エ.管理業務 | 9 | | 法人管理費の配賦基準の見直し | 指摘9 | キ |
| **7.四方チャレンジ・ミニ企業団地、同研修センター、とやまインキュベータ・オフィス** | | | | | | |
| 44 | ア.存在意義 | | 17 | インキュベータ・オフィスの利用促進策の検討 | | |
| 45 | ウ.選定 | | 18 | 指定管理施設とし続けるかどうかの検討 | | |
| 46 | ウ.選定 | 3 | | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 | 指摘3 | エ |
| 47 | エ.管理業務 | 9 | | 多額の収支差額が発生する原因の検討 | 指摘9 | キ |
| 48 | エ.管理業務 | 9 | | 本社管理費の配賦基準の見直し | 指摘9 | キ |
| **8.野外教育活動センター** | | | | | | |
| 49 | ア.存在意義 | | 19 | 設備の更新や修繕 | | |
| 50 | イ.歳入歳出 | | 20 | 供食業務に係る食事代収入の帰属先の明確化 | | |
| 51 | エ.管理業務 | | 21 | 準備作業期間における機能や利用の制限 | | |
| 52 | エ.管理業務 | | 22 | 施設の利用実態に応じた固定契約の見直し | | |
| 53 | エ.管理業務 | | 4 | 自主事業の負担軽減とより一層の拡大 | 意見4 | カ |
| 54 | エ.管理業務 | 7 | | 自主事業の実績報告漏れ | 指摘7 | カ |
| 55 | エ.管理業務 | 7 | | 自主事業収支への人件費の配賦 | 指摘7 | カ |
| **9.富山市民球場** | | | | | | |
| 56 | イ.歳入歳出 | | 23 | 減免申請手続の遅延 | | |
| 57 | エ.管理業務 | 7 | | 自主事業の実績報告漏れ | 指摘7 | カ |
| 58 | エ.管理業務 | | 24 | 最大電力量削減のための対応 | | |
| **10.東富山温水プール、北部プール** | | | | | | |
| 59 | イ.歳入歳出 | | 25 | 利用料金体系の見直し要否の検討 | | |
| 60 | エ.管理業務 | 7 | | 自主事業の実績報告漏れ | 指摘7 | カ |
| **11.北部錬成館等** | | | | | | |
| 61 | ア.存在意義 | | 26 | 公共的建築物が無いスポーツ施設に係る再整備方針 | | |
| 62 | ア.存在意義 | 11 | | 休業日や開業時間の見直し | | ウ |
| 63 | ア.存在意義 | | 27 | とやまスポーツネットの利便性向上 | | |
| 64 | イ.歳入歳出 | | 28 | 花木体育センターにおける減免と実費負担の見直し | | |
| **12.富山市パークゴルフ場** | | | | | | |
| 65 | エ.管理業務 | 7 | | 自主事業収支への人件費の配賦 | 指摘7 | カ |
| **13.大沢野高齢者いきがい工房** | | | | | | |
| 66 | ア.存在意義 | | 29 | 教室機能の移管可否の検討 | | |
| 67 | エ.管理業務 | | 30 | 受講料の見直し | | |
| **14.大沢野地域スポーツ施設、大沢野地域都市公園（猿倉山森林公園を除く）** | | | | | | |
| 68 | ア.存在意義 | | 31 | 大沢野中央公園の弓道場跡地等の利活用 | | |
| 69 | ア.存在意義 | | 32 | 大沢野グラウンドの利活用 | | |

| 通番 | 監査目線 | 発見事項No | | 発見事項 | 第3章No | 重要発見事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 指摘 | 意見 | | | |
| 70 | ア.存在意義 | | 33 | 都市公園等に係る再編整備方針 | | |
| 71 | ア.存在意義 | | 34 | 大沢野総合運動公園野球場の雨漏り修繕 | | |
| 72 | ア.存在意義 | 11 | | 休業日や開業時間の見直し | | ウ |
| 73 | ウ.選定 | | 35 | 指定管理者の交代を見据えた準備 | | |
| **15.八尾地域都市公園、神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館、久婦須川ダム周辺広場** | | | | | | |
| 74 | ア.存在意義 | | 33 | 都市公園等に係る再編整備方針 | | |
| 75 | ア.存在意義 | 10 | | 開館時間の変更申請漏れ | | ウ |
| 76 | ア.存在意義 | 11 | | 学習館の休館日や開館時間の見直し | | ウ |
| 77 | エ.管理業務 | 9 | | 指定管理業務収支の正確な計算 | 指摘9 | キ |
| **16.婦中パークゴルフ場** | | | | | | |
| 78 | ウ.選定 | 3 | | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 | 指摘3 | エ |
| 79 | ウ.選定 | | 36 | 募集単位の見直し | | |
| 80 | エ.管理業務 | 9 | | 収支差額がゼロとなる原因の検討 | 指摘9 | キ |
| 81 | エ.管理業務 | | 4 | 自主事業の拡充 | 意見4 | カ |
| **17.婦中地域都市公園及び地域広場** | | | | | | |
| 82 | ア.存在意義 | | 33 | 都市公園等に係る再編整備方針 | | |
| 83 | ウ.選定 | | 37 | 婦中公園緑地管理公社の役割の拡大 | | |
| 84 | ウ.選定 | 3 | | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 | 指摘3 | エ |
| 85 | エ.管理業務 | 9 | | 収支差額がゼロとなる原因の検討 | 指摘9 | キ |
| 86 | エ.管理業務 | | 4 | 自主事業の拡充 | 意見4 | カ |
| **18.新産業支援センター** | | | | | | |
| 87 | ウ.選定 | 3 | | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 | 指摘3 | エ |
| 88 | エ.管理業務 | 9 | | 収支差額がゼロとなる原因の検討 | 指摘9 | キ |
| **19.牛岳温泉健康センター** | | | | | | |
| 89 | ア.存在意義 | | 38 | 不老閣とささみねの利活用 | | |
| 90 | イ.歳入歳出 | | 39 | 売店等に係る目的外使用料の徴収漏れ | | |
| 91 | イ.歳入歳出 | 15 | | 利用料の減免申請漏れ | | |
| 92 | ウ.選定 | | 3 | 基本協定書への利用料徴収業務の記載漏れ | 意見3 | |
| 93 | エ.管理業務 | | 40 | 飲食収入の帰属先の明確化 | | |
| 94 | エ.管理業務 | 7 | | 指定管理業務収支と自主事業収支の区分漏れ | 指摘7 | カ |
| 95 | エ.管理業務 | 9 | | 本社管理費の配賦基準の見直し | 指摘9 | キ |
| **20.角川介護予防センター** | | | | | | |
| 96 | ア.存在意義 | | 41 | 利用対象者や機能の拡充 | | |
| 97 | ア.存在意義 | | 5 | クラウドファンディングの活用 | | |
| 98 | ア.存在意義 | | 42 | 40代～50代の利用者の拡充 | | |

| 通番 | 監査目線 | 発見事項No | | 発見事項 | 第3章No | 重要発見事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 指摘 | 意見 | | | |
| 99 | ア.存在意義 | | 43 | 個別委託事業の予算の拡充 | | |
| 100 | ア.存在意義 | | 44 | 利用促進のための愛称の見直し | | |
| 101 | ウ.選定 | | 3 | 基本協定書への利用料徴収業務の記載漏れ | 意見3 | |
| **21.神保児童館** | | | | | | |
| 102 | ア.存在意義 | | 13 | HPの機能向上 | | |
| 103 | ウ.選定 | 3 | | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 | 指摘3 | エ |
| 104 | エ.管理業務 | | 14 | 指定管理者同士の連携強化 | | |
| 105 | エ.管理業務 | 9 | | 収支差額がゼロとなる原因の検討 | 指摘9 | キ |
| **22.八尾おわら資料館、八尾曳山展示館** | | | | | | |
| 106 | ア.存在意義 | 16 | | 八尾おわら資料館展示室の場所の特定 | | |
| 107 | ア.存在意義 | 11 | | 休館日や開館時間の見直し | | ウ |
| 108 | ア.存在意義 | | 45 | 八尾曳山展示館展示室のLED化 | | |
| 109 | エ.管理業務 | | 4 | 自主事業の単価設定の見直し | 意見4 | カ |
| 110 | エ.管理業務 | 8 | | 利用状況の報告漏れ | 指摘8 | キ |
| **23.富山市民プラザホール** | | | | | | |
| 111 | ア.存在意義 | 11 | | 休館日や開館時間の見直し | | ウ |
| 112 | ア.存在意義 | | 46 | 練習室、会議室、ギャラリーの利用促進 | | |
| 113 | イ.歳入歳出 | | 8 | 使用料減免の範囲、水準の再検討 | | |
| 114 | ウ.選定 | | 47 | 指定管理対象区域の明確化 | | |
| 115 | エ.管理業務 | 7 | | 自主事業の実績報告漏れ | 指摘7 | カ |
| 116 | エ.管理業務 | 8 | | 稼働率計算の精緻化 | 指摘8 | キ |
| 117 | エ.管理業務 | 9 | | 指定管理業務に係る人件費計算の精緻化 | 指摘9 | キ |
| **24.富山国際会議場** | | | | | | |
| 118 | ア.存在意義 | 11 | | 休館日や開館時間の見直し | | ウ |
| 119 | ア.存在意義 | | 48 | メインホールの円滑な利用 | | |
| 120 | ア.存在意義 | | 49 | カフェギャラリーの利活用 | | |
| 121 | イ.歳入歳出 | | 8 | 使用料減免の範囲、水準の再検討 | | |
| 122 | ウ.選定 | | 3 | 基本協定書への利用料徴収業務の記載漏れ | 意見3 | |
| 123 | エ.管理業務 | 8 | | 稼働率計算の精緻化 | 指摘8 | キ |
| **25.恵光学園** | | | | | | |
| 124 | ア.存在意義 | 17 | | 市民の利用ニーズに応じた施設や人員の拡充 | | |
| 125 | ア.存在意義 | | 50 | 日中一時支援事業の見直し | | |
| **26.障害者福祉プラザ** | | | | | | |
| 126 | ア.存在意義 | | 51 | 施設のあるべき姿を踏まえた体制整備 | | |
| 127 | ア.存在意義 | 10 | | 開館時間の変更申請漏れ | | ウ |

| 通番 | 監査目線 | 発見事項No | | 発見事項 | 第3章No | 重要発見事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 指摘 | 意見 | | | |
| 128 | エ.管理業務 | 9 | | 本社管理費の配賦基準の見直し | 指摘9 | キ |
| **27.愛育園、慈光園、和光寮** | | | | | | |
| 129 | ア.存在意義 | | 52 | 和光寮の利用促進 | | |
| 130 | ウ.選定 | 3 | | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 | 指摘3 | エ |
| 131 | エ.管理業務 | | 53 | 給食費（固定部分）の按分比率の見直し | | |
| 132 | エ.管理業務 | 9 | | 多額の収支差額が発生する原因の検討 | 指摘9 | キ |
| 133 | エ.管理業務 | 9 | | 本社管理費の配賦基準の見直し | 指摘9 | キ |
| **28.富山ガラス工房** | | | | | | |
| 134 | イ.歳入歳出 | 18 | | 自主事業実施時の目的外使用の扱い | | |
| 135 | エ.管理業務 | 4 | | 指定管理業務と自主事業の区分の明確化 | 指摘4 | カ |
| 136 | エ.管理業務 | 7 | | 自主事業収支への人件費等の配賦方法見直し | 指摘7 | カ |
| 137 | エ.管理業務 | | 4 | ガラス製品の販売価格や吹きガラス体験料の見直し | 意見4 | カ |
| **29.ファミリーパーク** | | | | | | |
| 138 | ア.存在意義 | | 54 | 見晴らし広場の利活用 | | |
| 139 | ア.存在意義 | | 5 | クラウドファンディングの活用 | | |
| 140 | ア.存在意義 | 11 | | 休園日や開園時間の見直し | | ウ |
| 141 | イ.歳入歳出 | | 55 | 入園料の見直し要否の検討 | | |
| 142 | イ.歳入歳出 | 18 | | 自主事業実施時の公園使用料の扱い | | |
| 143 | エ.管理業務 | 4 | | 指定管理業務と自主事業の区分の明確化 | 指摘4 | カ |
| 144 | エ.管理業務 | | 4 | 自主事業の拡充 | 意見4 | カ |
| 145 | エ.管理業務 | 9 | | 光熱水費の配賦基準の見直し | 指摘9 | キ |
| **30.芸術文化ホール** | | | | | | |
| 146 | ア.存在意義 | | 56 | 稼働率が低い月の原因分析と施設の利活用 | | |
| 147 | ア.存在意義 | 10 | | 開館時間の変更申請漏れ | | ウ |
| 148 | ア.存在意義 | | 57 | 中ホールとの役割分担 | | |
| 149 | ア.存在意義 | | 58 | ハイビジョンシアターの利活用 | | |
| 150 | イ.歳入歳出 | | 8 | 使用料減免の範囲、水準の再検討 | | |
| 151 | エ.管理業務 | | 59 | 中ホール開設後の人員体制 | | |
| **31.総合体育館** | | | | | | |
| 152 | イ.歳入歳出 | 19 | | 減免申請手続の漏れ | | |
| 153 | エ.管理業務 | 7 | | 自主事業の実績報告漏れ | 指摘7 | カ |
| **32.富山市民プール** | | | | | | |
| 154 | ア.存在意義 | | 60 | 施設機能を維持するための適切な更新投資 | | |
| 155 | イ.歳入歳出 | | 28 | 目的外使用料の減免と実費負担の見直し | | |
| 156 | エ.管理業務 | 7 | | 自主事業収支への人件費の配賦 | 指摘7 | カ |

| 通番 | 監査目線 | 発見事項No | | 発見事項 | 第3章No | 重要発見事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 指摘 | 意見 | | | |
| 157 | エ.管理業務 | 9 | | 本社管理費の配賦基準の見直し | 指摘9 | キ |
| **33.大沢野健康福祉センター、大沢野老人福祉センター** | | | | | | |
| 158 | ア.存在意義 | 20 | | 施設の空きスペースの利活用 | | イ |
| 159 | ウ.選定 | 5 | | 利用料金制の施設における精算条項の解除 | 指摘5 | オ |
| 160 | ウ.選定 | 21 | | 指定管理料計算過程からの自主事業収支の除外 | | |
| 161 | ウ.選定 | 6 | | 人件費補助金の交付対象の見直し | 指摘6 | オ |
| 162 | ウ.選定 | | 3 | 基本協定書への利用料徴収業務の記載漏れ | 意見3 | |
| 163 | エ.管理業務 | 8 | | 利用状況の報告漏れ | 指摘8 | キ |
| 164 | エ.管理業務 | | 61 | 運営経費の削減施策の検討 | | |
| 165 | エ.管理業務 | 9 | | 共通経費の施設別按分比率の見直し | 指摘9 | キ |
| **34.八尾B&G海洋センタープール、八尾ゆめの森テニスコート** | | | | | | |
| 166 | ア.存在意義 | 11 | | 休館日や開館時間の見直し | | ウ |
| 167 | ア.存在意義 | | 62 | 施設機能を維持するための適切な更新投資 | | |
| 168 | エ.管理業務 | 7 | | 自主事業収支の網羅的な報告 | 指摘7 | カ |
| 169 | エ.管理業務 | 8 | | ゆめの森テニスコート会議室の利用状況の報告漏れ | 指摘8 | キ |
| **35.まちなか賑わい広場** | | | | | | |
| 170 | ア.存在意義 | | 63 | 当施設の存在意義や位置付けの再確認 | | |
| 171 | ウ.選定 | 5 | | 利用料金制の施設における精算条項の解除 | 指摘5 | オ |
| 172 | ウ.選定 | | 3 | 基本協定書への利用料徴収業務の記載漏れ | 意見3 | |
| 173 | エ.管理業務 | 8 | | 賑わい創出結果の評価方法の策定 | 指摘8 | キ |
| **36.富山市・医師会急患センター** | | | | | | |
| 174 | ア.存在意義 | | 64 | 施設機能を維持するための適切な更新投資 | | |
| **37.市営住宅** | | | | | | |
| 175 | ア.存在意義 | | 65 | 市営住宅跡地の利活用 | | |
| 176 | ア.存在意義 | | 66 | 稲代住宅の入居条件や今後の在り方の検討 | | |
| 177 | ア.存在意義 | | 67 | 高熊団地（特定公共賃貸住宅）の在り方 | | |
| 178 | ア.存在意義 | | 68 | 井田団地の在り方 | | |
| 179 | イ.歳入歳出 | | 69 | 一般会計と特別会計の統一 | | |
| 180 | エ.管理業務 | 7 | | 自主事業収支の年度報告書への添付 | 指摘7 | カ |
| 181 | エ.管理業務 | | 70 | 団地単位での収支報告 | | |
| 182 | エ.管理業務 | | 71 | スペース委員会手数料の実績報告 | | |
| **38.城址公園、城址公園駐車場** | | | | | | |
| 183 | ア.存在意義 | | 72 | 城址公園北側の未整備エリアの利活用 | | |
| 184 | ウ.選定 | | 3 | 基本協定書への使用料徴収業務の記載漏れ | 意見3 | |
| 185 | ウ.選定 | 4 | | 賑わい創出活動の財源確保 | 指摘4 | カ |

| 通番 | 監査目線 | 発見事項No | | 発見事項 | 第3章No | 重要発見事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 指摘 | 意見 | | | |
| 186 | エ.管理業務 | 8 | | 賑わい創出活動の評価方法の策定 | 指摘8 | キ |
| 187 | エ.管理業務 | | 73 | 賑わい創出のための情報共有や体制整備 | | |
| 188 | エ.管理業務 | 9 | | 指定管理業務収支への人件費の集計 | 指摘9 | キ |
| **39.富山霊園富山市斎場** | | | | | | |
| 189 | ア.存在意義 | | 74 | 斎場の再整備や統廃合方針の具体化 | | |
| 190 | イ.歳入歳出 | | 8 | 使用料減免の範囲、水準の再検討 | | |
| 191 | ウ.選定 | | 75 | PFIで整備した指定管理施設の事務処理の明確化 | 指摘1 | |

## 3． 監査人が特に重要と考える発見事項

### （1） 概要

監査の結果、類似の発見事項が頻発していたり富山市の財政状態に重要な影響を与えていたりする発見事項が識別された。これらの発見事項については、全庁的な対応を促すため、本項で要約、再掲した。

### （2） 監査人が特に重要と考える発見事項（第3章及び第4章の発見事項から抜粋、要約したもの）

ア．老人福祉センターに係る今後の対応方針

| 関連する発見事項 | 通番 | 施設名 | 発見事項 |
|---|---|---|---|
| | 38 | 6.南老人福祉センター | 施設廃止を見据えた対応方針の検討 |
| | 42 | 6.南老人福祉センター | 人員体制の見直し |
| 担当部署 | 施設所管課など | | |

南老人福祉センターを含む老人福祉センターは、富山市の公共施設等総合管理計画や第2次公共施設マネジメントアクションプラン実行編において、「入浴に必要な機器等の更新は行わず、施設の利用状況や大規模修繕の要否を考慮して適宜施設廃止の判断を行う」方針が明確になっている。

南老人福祉センターは、コロナ禍により利用者数が大きく減少しているが、コロナ禍前も利用者ニーズの変化や施設の老朽化により利用者数が漸減傾向にあった。また、同施設はコロナ禍により集会機能（集団でのカラオケや飲食）や教養機能（シニアライフ講座の開催）を制限しているが、高齢者がコロナの高リスク帯であることを勘案するとこれらの機能を完全に回復することは困難である可能性がある。加えて、富山市は、当施設を含む5つの老人福祉センターを運営するにあたり、指定管理料と人件費補助金合わせて1施設30～40百万円を支出しているが、利用者数が同程度でイベント開催等の運営負担が大きい児童館を10百万円～20百万円程度で運営していることを考えると、老人福祉センターの運営支出は過大である可能性がある。

このように、老人福祉センターは施設の老朽化、利用者ニーズの変化、コロナ禍による機能の制限、多額の運営費支出等の問題を抱えており、存在意義に重大な疑義が生じている。

富山市は、限られた財源の中で時代のニーズにあったサービスを市民に広く提供する義務があり、その意味でも老人福祉センターに係る富山市の方針は妥当なものと考えられる。

施設所管課においては、老人福祉センターの廃止を見越して財政負担の軽減や市民サービス維持

のため以下のような論点を検討しておく必要がある。

- 施設の機能や業務内容等を踏まえて人員体制の見直し要否を検討する
  （例：常勤職員 2 人、非常勤職員 5 人という人員体制が過大である可能性がある）
- 利用の大幅な回復が見込めない機能がある場合は、段階的な廃止の可否を検討する
  （例：看護師による健康相談など）
- 当施設の主要機能（入浴機能、教養機能、集会機能等）の代替先を検討する
  （例：高齢者入浴券の利用促進、公民館でのシニアライフ講座の開催可能性など）
- 当施設を廃止した場合の高齢者福祉予算の有効活用方法を検討する
  （例：コロナ禍でも利用者ニーズが旺盛な角川介護予防センターの機能拡充など）

イ．大沢野健康福祉センターの遊休部分の利活用

| 関連する発見事項 | 通番 | 施設名 | 発見事項 |
|---|---|---|---|
| | 158 | 33. 大沢野健康福祉センター | 施設の空きスペースの利活用 |
| 担当部署 | 施設所管課など | | |

大沢野健康福祉センターは温泉やプール、トレーニングジム等を備えた大規模施設であり、コロナ禍前は年間 30 万人以上の利用者数を誇っていた。一方で、大沢野健康福祉センターは建物の東半分が広大な遊休スペースになっており、利活用に重大な問題を抱えている。特に、大沢野健康福祉センターの建物は全館空調になっているため、広大な遊休スペースがあると光熱水費や修繕料の費用対効果が大きく低下してしまう。

施設所管課においては、指定管理者と協議の上、これらの遊休スペースを利活用する施策を早急に検討する必要がある。例えば、以下のような施策を検討することが考えられるが、検討にあたっては、施設の設置目的や利用ニーズを踏まえた自由な発想が求められる。また、遊休スペースについて条例で定める用途を変更する場合には条例改正が必要になるため、可及的速やかに検討を開始する必要がある。

- 富山市南部の高齢者向けサービスを充実させるため、施設の設置目的（健康増進による医療費削減）や機能（温泉、温水プール、トレーニングジム、教室スペース、高齢者送迎バス等）が類似しており、かつ市民のニーズや満足度が高い角川介護予防センターの分室を設置する
- 大沢野健康福祉センターに隣接しており、かつ機能が類似している大沢野高齢者生きがい工房の教室機能を移転する
- 過去にこれらの遊休スペースで行っていたシニアライフ講座や各種文化教室を再開する

ウ．休館日や開館時間の適正化

| 関連する発見事項 | 通番 | 施設名 | 発見事項 |
|---|---|---|---|
| | 20 | 2. 富山能楽堂 | 開館時間の変更申請漏れ |
| | 21 | 2. 富山能楽堂 | 開館時間の見直し |
| | 40 | 6. 南老人福祉センター | 休館日の見直し |
| | 62 | 11. 北部錬成館等 | 休業日や開業時間の見直し |
| | 72 | 14. 大沢野地域スポーツ施設 | 休業日や開業時間の見直し |
| | 75 | 15. 神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館 | 開館時間の変更申請漏れ |
| | 76 | 15. 神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館 | 学習館の休館日や開館時間の見直し |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 107 | 22. 八尾おわら資料館、八尾曳山展示館 | 休館日や開館時間の見直し |
| | 111 | 23. 富山市民プラザ | 休館日や開館時間の見直し |
| | 118 | 24. 富山国際会議場 | 休館日や開館時間の見直し |
| | 127 | 26. 障害者福祉プラザ | 開館時間の変更申請漏れ |
| | 140 | 29. ファミリーパーク | 休園日や開園時間の見直し |
| | 147 | 30. 芸術文化ホール | 開館時間の変更申請漏れ |
| | 166 | 34. 八尾 B&G 海洋センタープール | 休館日や開館時間の見直し |
| 担当部署 | 施設所管課など | | |

施設往査の結果、特定の季節、月、曜日、時間帯に利用者数が大きく減少する施設が複数識別された。利用者数が極端に少ない時期に施設を開館した場合、市民サービスに比して過大な人件費や光熱水費が発生する可能性がある。

施設所管課においては、現在の利用実態を調査、分析し、住民サービスと財政負担とのバランスや条例改正と市民への周知に要する期間等を十分に検討したうえで、施設の開園期間や開園時間を利用実態に即した形に見直す必要がある。この点、八尾ゆめの森テニスコートや富山市パークゴルフ場は季節や曜日によって休業日や開業時間を弾力的に運用しており、芸術創造センターや牛岳温泉健康センターはメンテナンス休館日を積極的に活用しているため、参考にされたい。

その他、施設往査の結果、指定管理者が開館時間を変更しているが変更に係る承認申請が漏れているケースが散見された。施設所管課においては、条例に定める開館日や開館時間を変更する場合は、事前に市長の承認を得るよう指定管理者に指導する必要がある。

エ. 指定管理料決定時の事業計画の精査

| | 通番 | 施設名 | 発見事項 |
|---|---|---|---|
| 関連する発見事項 | 4 | 該当無し(全般的運用状況) | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| | 22 | 2. 富山能楽堂 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| | 28 | 3. 市営駐車場 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| | 31 | 4. 中央児童館 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| | 46 | 7. 四方チャレンジ・ミニ企業団地等 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| | 78 | 16. 婦中パークゴルフ場 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| | 84 | 17. 婦中地域都市公園及び地域広場 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| | 87 | 18. 新産業支援センター | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| | 103 | 21. 神保児童館 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| | 130 | 27. 愛育園、慈光園、和光寮 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| 担当部署 | 行政経営課、施設所管課など | | |

年度報告書を査閲した結果、上記施設では指定管理業務の収支が継続的にゼロになっていたり、指定管理業務から継続的に利益が発生していたりするなど、収支実績に不自然な点が認められた。特に、指定管理業務から継続的に利益が発生している場合は指定管理料が過大になっている可能性があるが、この点、指定管理候補者選定資料の閲覧等を実施した結果、指定管理料の根拠となる事業計画と過去実績との比較検討が行われていなかった。

施設所管課においては、指定管理料を決定する際に事業計画と過去実績との比較や過去実績の内容検討を行う必要がある。当該検討の結果、過去実績やそれを基に作成された事業計画に不自然な点がある場合（過去に多額の収支差額が発生している、過去の収支差額が常にゼロである等）は、その原因に応じて適宜指定管理者に事業計画の見直しを指示し、指定管理料に重大な過不足が生じないようにする必要がある。

また、指定管理者制度を所管する行政経営課においては、指定管理料を決定する際に事業計画と過去実績との比較や過去実績の内容検討を行うよう施設所管課に指導する必要がある。

オ．指定管理者が外郭団体である場合の諸論点（精算条項、人件費補助金）

関連する発見事項

| 通番 | 施設名 | 発見事項 |
|---|---|---|
| 8 | 該当無し(全般的運用状況) | 利用料金制の施設における精算条項の解除 |
| 9 | 該当無し(全般的運用状況) | 人件費補助金の交付対象の見直し |
| 159 | 33. 大沢野健康福祉センター | 利用料金制の施設における精算条項の解除 |
| 161 | 33. 大沢野健康福祉センター、大沢野老人福祉センター | 人件費補助金の交付対象の見直し |
| 171 | 35. まちなか賑わい広場 | 利用料金制の施設における精算条項の解除 |

担当部署：行政経営課、施設所管課など

施設往査を実施した結果、外郭団体が指定管理者を担当しているケースにおいて、以下の 2 点の重大な発見事項が識別された。

- 利用料金制の施設における精算条項の解除

富山市は、外郭団体を指定管理者とする場合に、原則として、指定管理料の精算条項を設定している。精算条項については、外郭団体と富山市は実質的に一体であること、社会福祉施設の指定管理業務を行う外郭団体では指定管理料の余剰を蓄積する必要性が乏しいこと等を勘案すると、一定の合理性が認められる。

一方で、大沢野健康福祉センターとまちなか賑わい広場については、利用料金制が導入されているにも関わらず指定管理料の精算条項が設定されていた。利用料金制を導入した場合、指定管理者は施設の収支差額を事業計画より改善することで利益を得られるため、収支改善のモチベーションが生まれるが、精算条項が設定されていると、当該利益を富山市に返金することになるため利用料金制を導入する意味が無くなってしまう。

施設所管課においては、これらの施設で利用料金制を導入するのであれば、基本協定書を変更して精算条項を解除する必要がある。

また、指定管理者制度を所管している行政経営課においては、予算編成等を所管する財政課とも協議を行ったうえで、利用料金制の施設に精算条項を設定しないよう施設所管課に注意喚起するとともに、定期的に基本協定書を査閲し、利用料金制の施設に精算条項が設定されていないことを確認する必要がある。なお、上記施設以外でも、前年度に包括外部監査の対象となった「八尾ゆめの森交流施設」で利用料金制と精算条項が併用されているため、留意されたい。

- 人件費補助金の交付対象の見直し

富山市は、外郭団体を指定管理者とする場合に、指定管理業務に係る人件費を補助金で支払っている。人件費補助金については、指定管理者や富山市の消費税負担を軽減する点で意義が

認められる。

一方で、大沢野健康福祉センターと大沢野老人福祉センターについては、平成 26 年度に本庁所管課と協議した結果、人件費補助金の対象者がプロパー職員と富山市 OB のみとなっており、それ以外の職員の人件費は指定管理料に含めて支払われていた。人件費相当を指定管理料で支払った場合、指定管理者に消費税負担が生じてしまう。

施設所管課においては、外郭団体が管理する他の指定管理施設と同様に、指定管理業務に係る職員人件費を補助金で支払う必要がある。

また、指定管理者制度を所管している行政経営課においては、人件費補助金の運用方針を施設所管課に周知徹底するとともに、定期的に人件費補助金の運用状況をモニタリングする必要がある。なお、上記施設以外でも、前年度に包括外部監査の対象となった「八尾ゆめの森交流施設」で人件費補助金が一切交付されておらず、富山市に消費税負担が発生している（指定管理者は消費税負担を嫌気して人件費に消費税相当額を加算した金額で事業計画を作成し、指定管理料を受け取っている）ため、留意されたい。

カ．自主事業の管理、促進

関連する発見事項

| 通番 | 施設名 | 発見事項 |
|---|---|---|
| 7 | 該当無し(全般的運用状況) | 指定管理業務と自主事業の区分の明確化 |
| 10 | 該当無し(全般的運用状況) | 自主事業実施結果の正確かつ網羅的な報告 |
| 11 | 該当無し(全般的運用状況) | 自主事業の拡充や収益性の向上 |
| 53 | 8.野外教育活動センター | 自主事業の負担軽減とより一層の拡大 |
| 54 | 8.野外教育活動センター | 自主事業の実績報告漏れ |
| 55 | 8.野外教育活動センター | 自主事業収支への人件費の配賦 |
| 57 | 9.富山市民球場 | 自主事業の実績報告漏れ |
| 60 | 10.東富山温水プール、北部プール | 自主事業の実績報告漏れ |
| 65 | 12.富山パークゴルフ場 | 自主事業収支への人件費の配賦 |
| 81 | 16.婦中パークゴルフ場 | 自主事業の拡充 |
| 86 | 17.婦中地域都市公園及び地域広場 | 自主事業の拡充 |
| 94 | 19.牛岳温泉健康センター | 指定管理業務収支と自主事業収支の区分漏れ |
| 109 | 22.八尾おわら資料館、八尾曳山展示館 | 自主事業の単価設定の見直し |
| 115 | 23.富山市民プラザホール | 自主事業の実績報告漏れ |
| 135 | 28.富山ガラス工房 | 指定管理業務と自主事業の区分の明確化 |
| 136 | 28.富山ガラス工房 | 自主事業収支への人件費等の配賦方法見直し |
| 137 | 28.富山ガラス工房 | ガラス製品の販売価格や吹きガラス体験料の見直し |
| 143 | 29.ファミリーパーク | 指定管理業務と自主事業の区分の明確化 |
| 144 | 29.ファミリーパーク | 自主事業の拡充 |
| 153 | 31.総合体育館 | 自主事業の実績報告漏れ |
| 156 | 32.富山市民プール | 自主事業収支への人件費の配賦 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 168 | 34.八尾 B&G 海洋センタープール | 自主事業収支の網羅的な報告 |
| | 180 | 37.市営住宅 | 自主事業収支の年度報告書への添付 |
| | 185 | 38.城址公園、城址公園駐車場 | 賑わい創出活動の財源確保 |
| 担当部署 | 行政経営課、施設所管課など | | |

富山市は、運用指針や事務マニュアル等で自主事業の位置付けや管理方針等を明確化していない。そのため、自主事業の対象範囲、管理方法、促進方針等について多数の発見事項が識別された。

- 指定管理業務と自主事業の区分の明確化

施設往査の結果、指定管理業務と自主事業の区分が曖昧になっているケースが散見された。例えば、富山ガラス工房では、基本協定書や管理業務仕様書において「ガラス作品の研究開発、販売普及、イベント開催、ギャラリー運営、ガラス体験等を自主事業として実施する旨」を規定しているが、本来自主事業は指定管理者が自己の意思と責任で実施するものであり、富山市が政策上その実施を強く求める事業は自主事業とは言い難い。また、ファミリーパークでは、基本協定書や管理業務仕様書で「売店・食堂運営事業」を指定管理業務と規定しているが、指定管理者は当該事業を自主事業として整理しており、その収入を自社で収受していた。その他、城址公園では、富山市がまちづくり政策上その実施を強く希望している「賑わい創出事業」が自主事業に位置付けられており、指定管理者において財源不足が深刻化していた。

施設所管課においては、基本協定書等に照らして指定管理業務の範囲を明確にするとともに、必要に応じて指定管理業務の範囲を実態に即した形に見直す必要がある。その際、富山市が政策上その実施を強く希望している業務は自主事業とは言い難いため、性能発注の指定管理業務として整理することが考えられる。

また、指定管理者制度を所管している行政経営課においては、自主事業の定義や範囲、促進等に関する基本方針を運用指針や事務マニュアル等で明確化するとともに、その内容を施設所管課に周知徹底する必要がある。

- 自主事業実施結果の正確かつ網羅的な報告

施設往査の結果、年度報告書で自主事業収支を報告していないケースや、報告していても自主事業収支の区分集計が不正確であるケース（特に人件費の配賦漏れ）が散見された。自主事業の実施結果は指定管理業務の成果（市民サービスや施設の有効利用の向上）を評価するうえで重要な判断材料になる。また、自主事業収支を正確に集計しない場合、指定管理業務に係る支出が過大に計上され、指定管理料の妥当性を正確に判断できなくなってしまう。

施設所管課においては、自主事業の実施結果を正確かつ網羅的に報告するよう指定管理者に指導する必要がある。

また、指定管理者制度を所管する行政経営課においては、自主事業の定義や範囲、促進等に関する基本方針を運用指針や事務マニュアル等で明確化するとともに、自主事業の実施結果（特に人件費の配賦計算）の正確性と網羅性を検証するよう施設所管課に指導する必要がある。この点、「(一財）指定管理者協会」が平成 30 年 9 月に公表している「平成 30 年度提言」で自主事業の現状分析を実施しているため、参考にされたい。

- 自主事業の拡充や収益性の向上

施設往査の結果、自主事業の実施余地があるにも関わらず自主事業が行われていないケース

や、自主事業の採算性を改善できる余地があるケースが散見された。自主事業を拡充することで利用者満足度の向上や将来的な指定管理料の削減が期待できる。

施設所管課においては、類似施設の動向や利用者の意見を広範に収集、分析し、自主事業の拡充策を指定管理者と協議することが望まれる。

また、指定管理者制度を所管する行政経営課においては、自主事業の定義や範囲、促進等に関する基本方針を運用指針や事務マニュアル等で明確化するとともに、自主事業の良事例を広く収集し、施設所管課に共有することが望まれる。この点、「(一財) 指定管理者協会」が平成30年9月に公表している「平成30年度提言」で自主事業の現状分析を実施しているため、参考にされたい。

キ. 指定管理業務のモニタリングと評価（収支の検討を含む）

関連する発見事項

| 通番 | 施設名 | 発見事項 |
|---|---|---|
| 18 | 1. 富山市民芸術創造センター | 部屋別・時間帯別利用実績の年度報告書への添付 |
| 23 | 2. 富山能楽堂 | 稼働率計算の精緻化 |
| 24 | 2. 富山能楽堂 | 多額の収支差額が発生する原因の検討 |
| 29 | 3. 市営駐車場 | 多額の収支差額が発生する原因の検討 |
| 34 | 4. 中央児童館 | 収支差額がゼロとなる原因の検討 |
| 37 | 5. 山室児童館 | 本社管理費の配賦基準の見直し |
| 43 | 6. 南老人福祉センター | 本社管理費の配賦基準の見直し |
| 47 | 7. 四方チャレンジ・ミニ企業団地等 | 多額の収支差額が発生する原因の検討 |
| 48 | 7. 四方チャレンジ・ミニ企業団地等 | 本社管理費の配賦基準の見直し |
| 77 | 15. 八尾地域都市公園等 | 指定管理業務収支の正確な計算 |
| 80 | 16. 婦中パークゴルフ場 | 収支差額がゼロとなる原因の検討 |
| 85 | 17. 婦中地域都市公園及び地域広場 | 収支差額がゼロとなる原因の検討 |
| 88 | 18. 新産業支援センター | 収支差額がゼロとなる原因の検討 |
| 95 | 19. 牛岳温泉健康センター | 本社管理費の配賦基準の見直し |
| 105 | 21. 神保児童館 | 収支差額がゼロとなる原因の検討 |
| 110 | 22. 八尾おわら資料館、八尾曳山展示館 | 利用状況の報告漏れ |
| 116 | 23. 富山市民プラザホール | 稼働率計算の精緻化 |
| 117 | 23. 富山市民プラザホール | 指定管理業務に係る人件費計算の精緻化 |
| 123 | 24. 富山国際会議場 | 稼働率計算の精緻化 |
| 128 | 26. 障害者福祉プラザ | 本社管理費の配賦基準の見直し |
| 132 | 27. 愛育園、慈光園、和光寮 | 多額の収支差額が発生する原因の検討 |
| 133 | 27. 愛育園、慈光園、和光寮 | 本社管理費の配賦基準の見直し |
| 145 | 29. ファミリーパーク | 光熱水費の配賦基準の見直し |
| 157 | 32. 富山市民プール | 本社管理費の配賦基準の見直し |
| 163 | 33. 大沢野健康福祉センター | 利用状況の報告漏れ |
| 165 | 33. 大沢野健康福祉センター | 共通経費の施設別按分比率の見直し |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 169 | 34. 八尾ゆめの森テニスコート | ゆめの森テニスコート会議室の利用状況の報告漏れ |
| | 173 | 35. まちなか賑わい広場 | 賑わい創出結果の評価方法の策定 |
| | 186 | 38. 城址公園、城址公園駐車場 | 賑わい創出結果の評価方法の策定 |
| | 188 | 38. 城址公園、城址公園駐車場 | 指定管理業務収支への人件費の集計 |
| 担当部署 | 行政経営課、施設所管課など | | |

富山市は、運用指針や事務マニュアル等で指定管理業務の報告事項、報告様式、評価検証方法等を明確していない。その結果、指定管理業務のモニタリングと評価について多数の発見事項が識別された。

- 指定管理業務の報告様式や報告事項の整理

  施設往査の結果、年度報告書における利用実態の報告内容に改善の余地が認められる施設が多数識別された。また、富山市は年度報告書の様式を指定していないため、現状では各指定管理者が独自の様式で報告書を作成しており、横断的な分析や評価が困難になっていた。

  施設所管課においては、指定管理者に対して利用実態の報告内容（例：施設稼働率の計算方法）を精緻化するよう指導することが望まれる。

  また、指定管理者制度を所管する行政経営課においては、指定管理業務の成果を効果的、効率的に分析、評価するための施策を検討する必要がある。例えば、指定管理業務の成果を評価するために必要な指標や数値を特定したうえで、年度報告書の共通様式を作成し、施設所管課及び指定管理者と共有することが考えられる。この点、行政経営課は試行期間を経て、令和 4 年度から指定管理者モニタリングレポート（指定管理者が自身の業務を自己点検する枠組み）を本格施行しているため、当該レポートの目的や内容を精緻化し、年度報告書として活用できるようにすることが望まれる。なお、「(一財) 指定管理者協会」が令和 3 年 10 月に公表している「令和 3 年度提言」でモニタリングの現状分析を実施しているため、参考にされたい。

- 指定管理業務に係る収支の精査の実効性確保

  施設往査の結果、多数の施設で指定管理業務収支に関する以下のような問題が発見された。

  - 指定管理業務から継続的に相応の収支差額（利益）が発生している
  - 指定管理業務の収支差額が継続的にゼロになっている
  - 本社管理費の配賦基準が不合理であり、配賦結果が業務実態を表していない

  指定管理料は事業計画の施設管理費見込額と同額になるように計算されているため、指定管理業務で多額の収支差額（利益）が発生するということは、指定管理業務が当初の計画通りに行われていないことを意味する。また、収支差額が継続的にゼロになることはあり得ないため、その場合は収支差額に何らかの調整が加えられていることを疑うべきである。この点、施設所管課に質問を実施した結果、人事異動に伴う職員の知見不足や時間的な制約等により、年度報告書の収支について深度ある検討がなされていなかった。

  施設所管課においては、年度報告書で多額の収支差額が生じている場合はその理由を検討する必要がある。検討の結果、指定管理業務の実施状況や報告内容に問題が認められる場合は、以下のような対応をとる必要がある。

  - 指定管理料が妥当な水準になるよう見直す

- 指定管理者に業務の範囲や内容の見直しを指導する（例：機能維持や利用者満足度向上のために必要な修繕を実施させる、利用促進のためイベントや広告宣伝を増加させる等）
- 報告内容に誤りがある場合は修正を指導する（例：本社管理費の配賦漏れ等）

また、指定管理者制度を所管する行政経営課においては、年度報告書における収支の精査の実効性を高める施策を検討する必要がある。例えば、富山市は第4期富山市行政改革実施計画（令和3年3月公表）で「㊷指定管理者制度の見直しとモニタリングを通じたサービス向上」の一環として「外部の専門家による評価の仕組みの導入の可能性について検討を行う」旨を明記している。そのため、当該外部評価の一環で、定期的に外部専門家に収支内容の検討を依頼することが考えられる。なお、「(一財) 指定管理者協会」が令和3年10月に公表している「令和3年度提言」でモニタリングの現状分析を実施しているため、参考にされたい。

# 第３章：指定管理者制度の全般的運用状況の検討

# 第１部：指定管理者制度の概要

## １． 指定管理者制度の概要

### （1） 指定管理者制度の導入経過

指定管理者制度は、「公の施設」について従前の管理委託制度に代わるものとして平成 15 年 6 月地方自治法改正により導入され、同年 9 月 2 日、改正法が施行された。また、法改正に伴い、管理委託制度について改正法施行後 3 年の経過措置を経て廃止されることとなり、地方自治体は管理委託制度に基づく委託を行っていた公の施設について、経過措置期間終了までに指定管理者制度の導入に必要な条例等の整備を経たうえで指定管理者を選定するか、直営とするかの選択を迫られることとなった。

指定管理者制度導入以前は、公共団体又は公共的団体といった公共性の高い団体に対してのみ公の施設の管理を委託することが可能とされ、地方自治体の強い管理下で公の施設の管理委託がされていたのに対し、指定管理者制度においては、民間企業等が有するノウハウを効率的に活用し、住民サービスの向上を図るという目的の下、広く民間団体を管理者として指定し、管理を委託することが可能となった。

### （2） 指定管理者制度の導入状況

総務省による「公の施設の指定管理者制度の導入状況等に関する調査結果」（令和 1 年 5 月 17 日公表）によれば、平成 30 年 4 月 1 日時点において、全国で 76,268 施設に指定管理者制度が導入されており、そのうち 4 割の施設で民間企業等が指定管理者に指定されている。

### （3） 指定管理者制度の趣旨・目的

指定管理者制度の趣旨・目的は、多様化する住民ニーズに効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用し住民サービスの向上を図るとともに、経費の削減等を図ることにある。

### （4） 公の施設の設置者と指定管理者との関係の概要

| 項目 | 内容等 |
|---|---|
| 公の施設の設置者と指定管理者との関係の法的性格 | 指定管理者の指定は「行政処分」 |
| 指定管理の主体 | 法人その他の団体（法人格は不要であるが個人は不可） |
| 指定管理者の決定方法 | 議会の議決を経て指定 |
| 基本的な利用条件の設定方法 | 管理の基準として条例で規定（休館日、開館時間、使用制限の要件等） |
| 施設の使用承認 | 条例の定めるところにより指定管理者が行うことができる |
| 使用承認に関する処分の不服申立て | 市長に審査請求ができ、これに対する裁決に不服があるときは知事に再審査請求できる |
| 利用料金制 | 条例の定めるところにより指定管理者が市の承認を受けて利用料金を定め、自らの収入とすることができる |
| 使用料の強制徴収、不服申立てに関する決定、行政財産の目的外使 | 指定管理者は行うことができない |

| 項目 | 内容等 |
|---|---|
| 用許可、占用許可 | |
| 施設の瑕疵により利用者に損害を与えた場合 | 被害者は国家賠償法に基づき市に対して賠償を求めることができる |
| 施設の管理業務により利用者に損害を与えた場合 | 被害者は、市に対する国家賠償法に基づく賠償又は管理者に対する民法上の賠償を求めることができる |
| 監査（外部監査を含む） | 管理業務に係る出納その他の事務の執行について監査できる |

### （5） 指定管理者制度の骨子

ア．公の施設の設置及び管理

公の施設とは、住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設（地方自治法第 244 条第 1 項）である。公の施設の設置及びその管理に関する事項は、法律又はこれに基づく政令に特別の定めがある場合を除き、条例で定めることとされている（地方自治法第 244 条の 2 第 1 項）。公の施設の設置目的を効果的に達成するために必要があると認められる場合において、条例において指定管理者に公の施設の管理を行わせることができる旨を規定することにより、指定管理者制度を導入することができる（地方自治法第 244 条の 2 第 3 項）。

イ．条例で規定すべき事項

指定管理者制度を導入する場合、条例において、指定管理者の指定の手続、指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲その他必要な事項を定めることが必要である（地方自治法第 244 条の 2 第 4 項）。この点「地方自治法の一部を改正する法律の公布について（通知） 平成 15 年 7 月 17 日総行行第 87 号総務省自治行政局長通知」では、条例に規定すべき事項として以下の内容が示唆されている。

① 指定の手続

申請方法や選定基準等を定める。また、指定の申請にあたっては、複数の申請者に事業計画を提出させることとし、選定基準としては例えば以下のような事項を定めておく方法が望ましい。

- 住民の平等利用が確保されること
- 事業計画書の内容が、施設の効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること
- 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること

② 管理の基準

住民が当該公の施設を利用するにあたっての基本的な条件（休館日、開館時間、使用制限の要件等）のほか、管理を通じて取得した個人に関する情報の取扱いなど当該公の施設の適正な管理の観点から必要不可欠である管理運営の基本的事項を定める。

③ 業務の範囲

指定管理者が行う管理の業務について、その具体的範囲を規定するものであり、使用の許可まで含めるかどうかを含め、施設の維持管理等の範囲を各施設の目的や態様等に応じて設定する。

④ その他必要な事項

利用料金制（公の施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度）を採用する場合には、条例の定めるところにより指定管理者が利用料金を定めるものとされ、指定管理者

はあらかじめ当該利用料金について地方公共団体の承認を受ける必要がある（地方自治法第 244 条の 2 第 8 項及び第 9 項）。通常は条例において一定の範囲を規定し、その範囲内において指定管理者が地方自治体の承認を得て決定している。

なお、指定管理者に対して支払われる指定管理料の額及び支払方法、事業報告書（地方自治法第 244 条第 7 項）に記載すべき内容及び提出期限など、管理業務を実施するにあたって必要となる細目的事項については、自治体と指定管理者との間の協議により定めることとし、条例の定めとは別に両者の間で協定等締結することが妥当であるとされる。

ウ．指定期間

指定管理者を指定する場合は、期間を定めて行う必要がある（地方自治法第 244 条の 2 第 5 項）。指定期間が定められるのは、指定管理者による管理が適切に行われているかどうかを定期的に見直す機会を設けるためであり、施設の設置目的や実績等を踏まえて期間を定めることが考えられる。

総務省による「公の施設の指定管理者制度の導入状況等に関する調査結果（令和 1 年 5 月 17 日公表）」によると、平成 30 年 4 月 1 日時点において、全国の指定管理者導入施設の内、7 割を超える施設において指定期間が 5 年とされているのが現状であり、特段の事情が無い場合における指定期間は 5 年程度が適切であるとの認識が全国的に共有されているものと推測される。

エ．議会の議決

地方公共団体は、指定管理者の指定をしようとするときは、あらかじめ議会の議決を経なければならないとされている（地方自治法第 244 条の 2 第 6 項）。議会で議決すべき事項は、指定管理者に管理を行わせようとする公の施設の名称、指定管理者となる団体の名称、指定期間等である。

オ．適正な管理の確保

広く民間団体等を指定管理者に指定できるようになったとはいえ、公の施設として管理の公共性・適正性は当然に維持されるべきである。そのため、以下のような点に留意する必要がある。

① 住民の平等利用の確保及び差別的取扱いの禁止

指定管理者に対して住民の平等利用の確保及び差別的取扱いの禁止を義務付けている（地方自治法第 244 条第 3 項）。

② 事業報告書の作成及び提出

指定管理者は、毎年度終了後に管理業務に関する事業報告書の作成及び提出を義務付けられている（地方自治法第 244 条の 2 第 7 項）。この点、「地方自治法の一部を改正する法律の公布について（通知） 平成 15 年 7 月 17 日総行行第 87 号総務省自治行政局長通知」では、事業報告書に記載すべき事項として「管理業務の実施状況や利用状況、料金収入の実績や管理経費等の収支状況等、指定管理者による管理の実態を把握するために必要な事項」を挙げている。

③ 第三者委託

第三者委託に関しては、「地方自治法の一部を改正する法律の公布について（通知） 平成 15 年 7 月 17 日総行行第 87 号総務省自治行政局長通知」において、「清掃、警備といった個々の具体的業務を指定管理者から第三者へ委託することは差し支えないが、管理に係る業務を一括して第三者に委託することはできない」としている。

④ 情報管理体制

情報管理体制については、「地方自治法の一部を改正する法律の公布について（通知） 平成 15

年 7 月 17 日総行行第 87 号総務省自治行政局長通知」において、「指定管理者が管理を通じて取得した個人情報については、その取扱いについて十分留意し、管理の基準として必要な事項を定めるほか、個人情報保護条例において個人情報の保護に関して必要な事項を指定管理者との間で締結する協定に盛り込むことを規定する等、必要な措置を講ずべきものであること。また、指定管理者の選定の際に情報管理体制のチェックを行うこと等により、個人情報が適切に保護されるよう配慮されたいこと」とされ、さらに「その際、『地方公共団体における個人情報保護対策について』（平成 15 年 6 月 16 日付総行情第 91 号総務省政策統括官通知）の内容を十分に踏まえて対応されたいこと」とされている。

なお、個人情報保護については、「指定管理者制度の運用について」（平成 22 年 12 月 28 日総行経第 38 号総務省自治行政局長通知）においても再確認された。

⑤ 指定管理者に対する監督

地方公共団体の長又は委員会は、指定管理者の管理する公の施設の管理の適正を期するため、指定管理者に対して当該管理の業務または経理の状況に際し報告を求め、実地調査し、必要な指示を行うことができる（地方自治法第 244 条の 2 第 10 項）。また、地方公共団体は、指定管理者が指示に従わないときその他当該指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて管理業務の全部又は一部の停止を命じることができる（地方地自法第 244 条の 2 第 11 項）。

カ．利用料金制

地方公共団体は、適当と認めるときは、指定管理者にその管理する公の施設の利用に係る利用料金を当該指定管理者の収入として収受させることができる（地方地自法第 244 条の 2 第 8 項）。

利用料金は、公益上必要があると認める場合を除き条例の定めるところにより指定管理者が定めるものとされ、この場合において、指定管理者はあらかじめ当該利用料金について当該地方公共団体の承認を受けなければならない（地方自治法第 244 条の 2 第 9 項）。

利用料金制の趣旨は、公の施設の管理に関する指定管理者の経営努力に向けたインセンティブを与え、また、会計事務を効率化する点にあると解されている。もっとも、公の施設の利用料金であるため、条例で定められた基本的枠組み（使用料の金額、算定方法等）の範囲で事前に地方公共団体の承認を得ることで、公の施設の公共性を維持することとしている。

キ．運用上の留意事項

「平成 20 年度地方財政の運営について」（平成 20 年 6 月 6 日総財財第 33 号総務省事務次官通達）では、指定管理者制度の運用について以下の事項に留意し、その在り方について検証および見直しを行うよう通知された。

① 指定管理者制度の運用に関する留意事項

- 指定管理者の選定の際の基準設定に当たっては、公共サービスの水準確保という観点が重要であること
- 指定管理者の適切な評価を行うに当たっては、当該施設の態様に応じ、公共サービスについて専門的知見を有する外部有識者等の視点を導入することが重要であること
- 指定管理者との協定等には、施設の種別に応じた必要な体制に関する事項、リスク分担に関する事項、損害賠償責任保険等の加入に関する事項等の具体的事項をあらかじめ盛り込むこ

とが望ましいこと。また、委託料については、適切な積算に基づくものであること

また、同日公表された「指定管理者制度の運用上の留意事項」（平成 20 年 6 月 6 日総務省自治行政局行政課）では、以下の事項が挙げられている。

① 指定管理者の選定過程に関する留意事項

- 指定管理者を選定する際の基準設定に当たって、事業計画に沿った管理を安定して行うことが可能な人的能力・物的能力を具体的に反映させているか
- 複数の申請人に事業計画を提出させることなく、特定の事業者を指定する場合には、当該事業者の選定理由について十分な説明責任を果たしているか
- 選定委員会の在り方（選定の基準等）について説明責任を果たしているか
- 選定委員には施設の行政サービス等に応じた専門家等が確保されているか
- 情報公開等を十分行い、住民から見て透明性が確保されているか

② 指定管理者に対する評価に関する留意事項

- 評価項目、配点等について客観性・透明性が確保されているか
- モニタリングの数値、方法等について客観性・透明性が確保されているか
- モニタリングに当たり、当該行政サービス等に応じた専門家等の意見を聴取しているか
- 評価する施設の態様に応じた適切な評価を実施しているか
- 評価結果についての必要な情報公開がされているか

③ 指定管理者との協定に関する留意事項

- 施設の種別に応じた必要な物的・人的体制に関する事項を定めているか
- 損害賠償責任の履行の確保に関する事項（保険加入等）を定めているか
- 指定管理者変更に伴う事業の引継ぎに関する事項が定められているか
- 修繕料等の支出について、指定管理者と適切な役割分担の定めがあるか
- 自主事業と指定管理業務について明確な区分が定められているか

④ 指定管理料等の支出に関する留意事項

- 指定管理者に利益が出た場合の利益配分の在り方等を公募の際の条件として可能な範囲で明示しているか
- 地方公共団体側の事情で指定管理料等が削減される場合等を想定し、指定管理者と協議の場を設けるための適切な定めが協定等に明示されているか
- 指定管理料の支出にあたって選定の基準（人的・物的能力等）に応じた適切な積算がなされているか
- 利用料金の設定に当たっては、住民に対するサービス提供の在り方を勘案し適切な料金設定となるよう留意しているか

## ２． 富山市における指定管理者制度の現状

### （１） 富山市の指定管理者制度の現状

ア．富山市の指定管理者制度の導入経緯

富山市は、平成 15 年 9 月に地方自治法の一部を改正する法律（平成 15 年法律第 81 号）の施

行後、指定管理者制度を導入するため制度の整備を行い、平成 18 年度から制度の導入を開始した。

イ．指定管理者制度の関わる条例、規程等

富山市は、指定管理者制度に関連して以下の条例や指針を作成し公表している。

① 富山市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例

公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関し必要な事項を定める。

② 富山市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例施行規則

条例の施行に関し必要な事項を定める。

③ 富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針

指定管理者制度を運用していくための基本的な考え方等を定める。

ウ．指定管理施設の推移

富山市は、平成 15 年 9 月に地方自治法の一部を改正する法律（平成 15 年法律第 81 号）の施行後、指定管理者制度を導入するため制度の整備を行い、平成 18 年度から制度の導入を開始した。それ以降、総務省通知等による対象施設の拡大を踏まえて指定管理施設を増やしてきている。指定管理施設数の推移等については以下のとおりである。

単位：施設数

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| **年度末時点の指定管理施設数** | **271** | **270** | **270** | **271** | **324** |
| 【公募・非公募】 | | | | | |
| 公募施設数 | 198 | 201 | 204 | 203 | 281 |
| うち 1 者応募 | 189 | 192 | 194 | 194 | 209 |
| うち複数応募 | 9 | 9 | 10 | 9 | 72 |
| 非公募施設 | 73 | 69 | 66 | 68 | 43 |
| 【指定期間】 | | | | | |
| 1～2 年 | － | － | 1 | 1 | 3 |
| 3 年 | 14 | 11 | 11 | 12 | 22 |
| 4 年 | 11 | 11 | 11 | 11 | － |
| 5 年 | 246 | 248 | 247 | 247 | 298 |
| 6 年以上 | － | － | － | － | 1 |
| 【指定管理者属性】 | | | | | |
| 外郭団体 | 240 | 242 | 242 | 242 | 235 |
| 民間団体 | 31 | 28 | 28 | 29 | 89 |

富山市の指定管理施設の多くは令和 2 年度が指定期間の最終年度であったため、令和 3 年度に大きな状況変化が生じている。主な理由は以下のとおりである。

① 指定管理施設数

令和 2 年度まで直営施設であった市営住宅（57 施設）が令和 3 年度から指定管理施設となったため、指定管理施設数が増加している。

② 公募・非公募の状況

以下の理由により公募施設が増加し、非公募施設が減少している。

- 令和 2 年度まで直営施設であった市営住宅（57 施設）を令和 3 年度から指定管理施設となり、公募（複数者応募）を実施した。
- 令和 2 年度まで非公募であったスポーツ施設（市民球場、東富山温水プール・北部プール、北部錬成館等（21 施設）、市民プール、八尾 B&G プール・八尾ゆめの森テニスコートなど）を令和 3 年度から公募に変更した。

③ 指定期間の状況

令和 2 年度まで直営施設であった市営住宅（57 施設）を令和 3 年度から指定管理施設に変更し、指定期間 5 年としたため、期間 5 年の施設数が増加している。

なお、富山市は、明文規程は無いものの公募の場合の指定期間を原則 5 年、非公募の場合の指定期間を原則 3 年としており、施設廃止等の特段の事情がある場合のみそれ以外の指定期間を適用している。指定期間が 3 年又は 5 年以外の施設の増減理由は以下のとおりである。

- 婦中中央児童館、恵光学園、スポーツ施設（東富山体育館、2000 年体育館、勤労身体障害者体育センター等 9 施設）は令和 2 年度まで指定期間 4 年であったが、令和 3 年度の指定管理候補者選定にあたって指定期間 5 年に変更した。
- 令和 2 年度までは、指定期間 1～2 年の施設は PFI による再整備が予定されている総合体育館だけであった。一方、令和 3 年度は、将来の廃止等が予定されている呉羽山老人福祉センターと水橋老人憩いの家の指定期間が 2 年となったため、指定期間 1～2 年の施設数が増加している。
- 指定期間 6 年以上の施設は、令和 3 年度中に PFI による再整備を行い指定管理施設に移行した富山霊園富山市斎場（指定期間 20 年）のみである。

# 第 2 部：指定管理者制度の全般的運用状況の検討

## １． 指定管理者制度の全般的運用状況の検討方針

富山市は、指定管理者制度に係る条例や指針等を整備し制度運用に関する基本方針を明確化している。そのため、当該基本方針を踏まえて指定管理者制度の全般的運用状況に係る監査論点を抽出し、所管課への質問や資料の閲覧等を実施するとともに、「第 4 章　指定管理施設の検討」で識別した発見事項も踏まえて検討を実施することとする。

## ２． 指定管理者制度の全般的運用状況に係る監査論点、監査手続及び監査結果

### （1） 指定管理者制度の全般的運用状況に係る監査論点

ア．条例や指針、マニュアル等の整備状況の妥当性

イ．直営か指定管理施設かの判断目線の妥当性

ウ．指定管理者制度の導入単位の妥当性

エ．公募・非公募の判断目線の妥当性

オ．指定管理候補者の募集方法の妥当性
カ．指定管理候補者の審査方法の妥当性
キ．基本協定書、管理業務仕様書の記載内容の妥当性
ク．指定管理業務の範囲の妥当性
ケ．指定期間の妥当性
コ．利用料金制の運用の妥当性
サ．外郭団体を指定管理者とする場合の諸論点（精算条項、人件費補助金など）の妥当性
シ．自主事業の管理推進状況の妥当性
ス．指定管理業務のモニタリングの妥当性
セ．指定管理業務の引継ぎの妥当性

**（2） 指定管理者制度の全般的運用状況に係る監査手続**

ア．各監査論点について条例及び施行規則、富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針、その他庁内資料を閲覧するとともに、指定管理者制度の所管課（行政経営課）に運用上の課題等を質問した。
イ．各監査論点の運用状況を検討するため、施設往査時の発見事項を分析し、運用実態が富山市の基本方針と大きく乖離していないか確認した。

**（3） 指定管理者制度の全般的運用状況に係る検討結果**

ア．条例や指針、マニュアル等の整備状況の妥当性

① 富山市の現状

富山市は、本監査論点について「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」で以下のように規定している。

> 指定管理者の指定の手続については共通の条例を制定する（富山市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例）。指定管理者制度を採る施設やその管理の基準、指定管理者の行う業務範囲等については、個々の公の施設の設置条例及び施行規則で規定する。

② 監査手続実施結果の総括

富山市は、指定管理者制度を運用するため「富山市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」及び「富山市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例施行規則」を制定し、各施設の設置条例で「実際に指定管理者制度を採用する施設」、「その管理の基準」、「指定管理者の行う業務範囲」等を定めている。また、富山市は指定管理者制度に係る基本方針や事務の流れを「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針（以下、「運用指針」という）」として整理し、HP で公開している。このうち、運用指針については、指定管理者制度の全体像や富山市の基本方針を内外に周知し、応募の促進や応募者との認識共有を行っていくために非常に重要なものとなっている。

一方で、他団体が公表している指針やガイドラインと比較した場合、富山市の運用指針は記載内容に不十分な点が認められた。また、施設往査の結果、PFI と指定管理者制度との関連性等が明確に整理されていないケースが認められた。加えて、指定管理者制度の所管課である行政経営課は、各部署からの問い合わせに対して適宜通達等を発出しているが、それらを体系的に整理で

きていなかった。当該論点は指定管理者制度の根幹に係るものであり、制度全体に影響する重大な発見事項と考えられる。

このように、条例や指針、マニュアル等の整備について、以下の発見事項が識別された。

③　発見事項

<table>
<tr><td>1【指摘 1】</td><td colspan="2">運用指針の記載内容の充実</td></tr>
<tr><td>施設往査での発見事項</td><td colspan="2"><table><tr><th>通番</th><th>施設名</th></tr><tr><td>191</td><td>39. 富山霊園富山市斎場</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="3">富山市の運用指針を他団体の運用指針等と比較した結果、指定管理者制度に係る各論点が体系的、網羅的に記載されていなかった。<br>行政経営課においては、他団体の良事例を参考にしながら運用指針の記載内容を充実させる必要がある。この点、「(一財) 指定管理者協会」が平成 29 年 9 月に公表している「平成 29 年度提言」で指定管理者制度に係るガイドラインの現状分析を実施しているため、参考にされたい。また、下記は運用指針と福岡市の「指定管理者の指定の手続に関するガイドライン」とを比較した結果であり、適宜参考にされたい。<br>＜福岡市のガイドラインと比較して運用指針に具体的な記載が無い論点＞<br>● 指定管理者制度と PFI 事業との関係や事務処理の相違点<br>● 選定委員会の委員の任期、利害関係の有無の確認方法等<br>● 選定基準に係る富山市の考え方<br>➢ 経費削減に過大なウエイトを置かない旨<br>➢ 市の施策に貢献する取組みの要請<br>➢ インセンティブやペナルティの考え方<br>● 業務の具体的な範囲や内容<br>➢ リスク分担の考え方<br>➢ 第三者委託、損害賠償、賠償責任保険、事業所税等の取扱い<br>● 自主事業の取扱い<br>➢ 指定管理業務と自主事業の定義<br>➢ 自主事業の利益や自主事業実施時の施設使用料の取扱い<br>➢ 自主事業計画書と自主事業結果報告書の提出<br>● 自動販売機の設置に係る考え方（目的外使用料の考え方を含む）<br>● 備品の定義や管理方法<br>● 施設の維持修繕に係る考え方<br>● 年度報告の具体的な記載事項（稼働率、使用料実績、収支実績、自主事業の結果など）<br>● インセンティブ（利用料金制を含む）・ペナルティの考え方<br>➢ インセンティブ（利用料金制を含む）・ペナルティの例示<br>➢ インセンティブ（利用料金制を含む）・ペナルティ導入時の考え方や手続<br>➢ モニタリング評価結果の指定管理料や次回選定への反映方法</td></tr>
<tr><td>2【指摘 2】</td><td colspan="2">事務マニュアルの整備</td></tr>
<tr><td>施設往査での発</td><td colspan="2">該当無し</td></tr>
</table>

| 見事項 | |
|---|---|
| 指定管理者制度の所管課である行政経営課は、施設所管課からの問い合わせに対して適宜通達等を発出しているが、それらを体系的に整理した内部向けの事務マニュアルを作成していない。指定管理者制度に係る典型的な論点を整理、共有することで、施設所管課における理解の向上と事務ミスの削減に寄与するものと考えられる。<br>行政経営課においては、過去に発出した事務ミスが生じやすい論点（外郭団体を指定管理者とする場合の精算条項、人件費補助金など）を整理して内部向けの事務マニュアルを作成し、施設所管課と共有する必要がある。 | |

イ．直営か指定管理施設かの判断目線の妥当性

① 富山市の現状

富山市は、本監査論点について運用指針で以下のように規定している。

> 新規に設置する施設については指定管理者制度の導入可否を必ず検討する。また、現在直営している施設についても、民間企業のノウハウの導入により市民サービスの向上や施設の効果的・効率的な運営が期待できる場合は、積極的に指定管理者制度の導入可能性を検討する。

② 監査手続実施結果の総括

富山市は、上記の通り指定管理者制度の導入を前向きに検討する方針を示している。これを踏まえて、施設所管課は、指定管理者制度の所管課である行政経営課と連携しながら継続的に指定管理者制度の導入可否を検討しており、令和 3 年度においても市営住宅（57 施設）を指定管理施設に変更している。また、行政経営課は、毎年度末に指定管理者制度に移行する施設の有無や内容を各部署に問い合わせることで認識共有を図っている。このように、指定管理者制度を活用するための全庁的な取り組みが行われているため、富山市の指定管理施設数は令和 3 年度末で 324 施設と、金沢市の 234 施設、福井市の 23 施設よりも多いものになっている。加えて、施設往査を実施した結果、直営か指定管理施設かの判断目線について、重大かつ頻発的な発見事項は識別されなかった（固有の事情で指定管理施設とし続けるかどうかに議論の余地がある施設は存在したが、重大な事務ミスや判断誤りではなく、他施設で類似の課題が頻発している訳でもないため、制度全体に重大な影響を及ぼすものではないと判断する）。

そのため、直営か指定管理施設かの判断目線について、新たな発見事項は識別されなかった。

③ 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

なお、以下の施設では固有の事情で指定管理施設とし続けるかどうかに議論の余地が認められたため、参考情報として付記する。詳細は「第 4 章　指定管理施設の検討」を参照のこと。

| 通番 | 施設名 | 発見事項 |
|---|---|---|
| 45 | 7.四方チャレンジ・ミニ企業団地、同研修センター、とやまインキュベータ・オフィス | 指定管理施設とし続けるかどうかの検討 |

ウ．指定管理者制度の導入単位の妥当性

① 富山市の現状

富山市は、本監査論点について運用指針で以下のように規定している。

> 指定管理者制度の導入単位については、原則として施設毎に検討する。ただし、以下の場合は複

数の施設について一括して公募等を行い、同一の法人等を指定管理候補者とすることができる。

ア．同種の複数の施設について個々の施設毎に指定管理候補者を選定するよりも、一括して選定することにより施設の効用が向上し、かつ効率的な管理運営が行われる場合

イ．同一の建物内に複数の施設が設置されている場合等で、施設の相互の連携により一体的かつ効率的な管理運営が行われる場合

② 監査手続実施結果の総括

富山市は、上記の通り運用指針で指定管理者制度の導入単位の基本方針を定めており、施設所管課は指定管理候補者選定時に当該方針を踏まえて導入単位を決定している。これにより、令和3年度は廃止等が予定されている呉羽山老人福祉センターと水橋老人憩いの家が一つの募集単位とされるなど、基本方針に沿った運用が行われていることが伺える。また、施設往査を実施した結果、指定管理者制度の導入単位について、重大かつ頻発的な発見事項は識別されなかった（固有の事情で募集単位の見直し余地がある施設は存在したが、重大な事務ミスや判断誤りではなく、他施設で類似の課題が頻発している訳でもないため、本監査論点に重大な影響を及ぼすものではないと判断する）。

そのため、指定管理者制度の導入単位について、新たな発見事項は識別されなかった。

③ 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

なお、以下の施設では固有の事情で募集単位の見直し余地が認められたため、参考情報として付記する。詳細は「第4章　指定管理施設の検討」を参照のこと。

| 通番 | 施設名 | 発見事項 |
|---|---|---|
| 73 | 14. 大沢野地域スポーツ施設、大沢野地域都市公園 | 指定管理者の交代を見据えた準備 |
| 79 | 16. 婦中パークゴルフ場 | 募集単位の見直し |

エ．公募・非公募の判断目線の妥当性

① 富山市の現状

富山市は、本監査論点について運用指針で以下のように規定している。

原則として公募により指定管理候補者を選定する。ただし、以下の場合には非公募で指定管理候補者を選定することができる。

ア．公募による申請が無かった場合

イ．審査の結果、選定基準に適合する法人等がなかった場合

ウ．指定管理候補者を選定した後、指定管理業務の開始までの間に当該指定管理候補者を指定管理者として指定することが不可能になった場合、又は後述の「指定管理候補者に選定しない法人等」に該当するに至った場合

エ．地方自治法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消した場合において、当該指定管理者の管理していた施設についてただちに新たな指定管理者を指定しなければ著しく公益が損なわれる恐れがあると認められる場合

オ．以下のように公募を行わないことについて合理的な理由があると市長等が認める場合

① 民間が所有する施設の一部を市が賃借し公の施設としている場合

② 施設の廃止や運営・経営形態の変更等が予定又は検討されている場合

③　PFI 法の適用を受けて実施する事業により管理運営業務を一体的に行う場合
④　施設の性格や設置目的、市の政策的な方針等に照らし、特定の団体を指定することに合理的理由がある場合

②　監査手続実施結果の総括

富山市は、上記の通り運用指針で公募・非公募の基本方針を定めており、施設所管課は指定管理候補者選定時に当該基本方針を踏まえて公募・非公募を決定している。また、富山市は HP で「公募・非公募の指定管理施設名」、「非公募とした場合にはその理由」、「選定された指定管理者名」を公表しており、透明性確保に努めている。加えて、施設往査を実施した結果、公募・非公募の判断目線について、重大かつ頻発的な発見事項は識別されなかった。

そのため、公募・非公募の判断目線について、新たな発見事項は識別されなかった。

③　発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

オ．指定管理候補者の募集方法の妥当性

①　富山市の現状

富山市は、本監査論点について運用指針で以下のように規定している。

指定管理候補者を募集する際には、募集要項を作成し HP 及び広報とやまへの掲載、庁舎及び関係施設での資料配布などの方法により募集する。募集要項に記載する事項及び添付する資料等は概ね以下の通りとし、施設の状況等に応じて必要な事項等を追加する。

ア．施設の概要（名称、位置、敷地及び建物の概要、設置施設等）
イ．管理運営の方針（個々の施設設置条例及び条例施行規則に規定する管理の基準を記載）
ウ．管理業務の範囲等（募集要項に概要を記載し詳細は管理業務仕様書に記載）
エ．管理運営に要する経費
オ．指定期間
カ．利用料金制の適用の有無
キ．指定管理業務に必要な資格、免許等
ク．指定管理候補者に選定しない法人等
ケ．選定方法等（選定委員会による審査、書面審査、評価項目配点等）
コ．提出書類（原則として以下の書類とするが、施設の状況に応じて検討する）
①　指定申請書
②　応募資格を有していることを証する書類
③　団体であることを証する書類
④　団体の経営状況等がわかる書類
組織、人員、業務内容、直近 2 年間の財務諸表、類似施設の管理実績など
⑤　施設管理の基本方針
施設管理の基本的な考え方、利用者からの要望の把握及びそれへの対応、自己点検及び自己評価の仕組みなど
⑥　事業計画書
職員の配置計画、個人情報保護に関する措置、安全管理及び緊急時対応の体制、年

| |
|---|
| 度毎及び合計の収支計画書、環境保護及び障害者雇用等に配慮した経営の状況など<br>⑦　指定管理者による自主事業に関する提案書<br>⑧　施設の収益の向上に結び付く改善策の提案書<br>⑨　共同体で申請する場合、共同体の概要書及び共同企業体協定書<br>サ．募集期間（原則として募集を開始した日から起算して 30 日間とする）<br>シ．その他記載事項<br>指定申請書等の提出方法、説明会の開催、事業所税の課税の有無等を記載するとともに、指定された場合に締結する協定書の標準例を添付する。また、現在富山市の外郭団体が指定管理者となっている公の施設における当該外郭団体職員の継続雇用について、指定管理者に提案を求める場合は、その旨を記載する。 |

②　監査手続実施結果の総括

富山市は、上記の通り運用指針で募集の基本方針を定めており、所管課は HP で公募施設毎の募集要項や申請様式、施設条例等を公開している。また、富山市は HP で「公募・非公募の指定管理施設名」、「非公募とした場合にはその理由」、「選定された指定管理者名」を公表しており、透明性確保に努めている。加えて、施設往査を実施した結果、指定管理者の募集方法について、重大かつ頻発的な発見事項は識別されなかった。

一方で、応募者数の状況を確認したところ、令和 3 年度末時点の公募された募集単位（42 単位）のうち、応募者数が 2 者以上の単位は 10 単位だけであった。

そのため、指定管理候補者の募集方法について、以下の発見事項が識別された。

③　発見事項

| | |
|---|---|
| 3【意見 1】 | 応募者数を増やすための施策 |
| 施設往査での発見事項 | 該当無し |
| 応募者数の状況を確認したところ、公募された募集単位（令和 3 年度末時点で 42 単位）のうち、応募者数が 2 者以上の単位は 10 単位だけであった。<br>行政経営課においては、他団体の良事例を収集し、公募時に応募者数を増やすための施策を検討することが望まれる。例えば、地元の企業等を対象とした指定管理者制度や公の施設の説明会を開催することが考えられる。 | |

カ．指定管理候補者の審査方法の妥当性

①　富山市の現状

富山市は、本監査論点について運用指針で以下のように規定している。

| |
|---|
| 富山市公の施設指定管理候補者選定委員会において行う。委員は 20 人以内とし、経営に関する学識経験者 3 人程度、企画管理部長、その他の本庁部長等により構成する。<br>審査については、申請書類の書面審査に加え、その内容に応じて申請者のプレゼンテーション等適切な手法を採用することができる。審査は非公開とするが、審査結果等は指定管理候補者選定後に公開する。<br>審査に当たっては、原則として次の採点基準に基づき採点し、最も高得点のものを指定管理候補者とする。なお、配点合計の 50%を基準点とし、これを満たさない者は、原則、指定管理候補者 |

として選定しない。また、一者応募となった場合は、提案金額による差異が生じないことから、配点合計の 60%を基準点とし、これを満たさない者は、原則、指定管理候補者として選定しない。

| No | 項目 | 判定の目線 |
|---|---|---|
| 1 | 住民の平等な利用が確保されること | 申請書類の「施設管理の基本方針」において、使用承認や利用者要望への対応について適正な運用が図られるものであること |
| 2 | 事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること | 「事業計画書」において、施設の設置目的をより有効に達成できるような計画となっていること及び管理経費の縮減が図られるものであること |
| 3 | 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること | 「団体の経営状況等が分かる書類」において、管理者として十分な能力が認められること |
| 4 | 安全管理及び緊急時対応の体制が確立されること | 利用者にとって危険な場合をあらかじめ具体的に想定し、その対処方法と責任体制が明確になっていること |
| 5 | 環境保護及び障害者雇用等に配慮した経営を行っていること | ISO 資格の取得、障害者等の雇用実績など |
| 6 | 総合評価 | 上記の選定基準について相乗効果が図られる点などを総合的に評価 |

なお、指定管理候補者を非公募で選定する場合は、期日を定め指定申請書等の提出を求め、施設所管課において選定基準に基づき厳正に提出書類の審査を行うこととする。施設所管課における審査結果については、選定委員会でその内容を確認し助言や承認を行う。

また、以下の法人は指定管理候補者としては選定しない。

ア．当該法人等の責めに帰すべき事由により、市又は他の地方公共団体から指定管理者の指定を取り消され、その取消の日から 2 年を経過しない法人等

イ．市長、副市長、上下水道事業管理者及び地方自治法第 180 条の 5 の規定により市に設置する委員会の委員又は議員が、市に対し主として指定管理業務及び請負をする法人等（市の機関等の場合にあっては、市が資本金、基本金その他これらに準ずるものの 2 分の 1 以上を出資している法人を除く）の無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役若しくはこれに準ずべき者、支配人及び清算人である法人等

ウ．法人等の代表権を有する者が以下の何れかに該当する法人等

① 公の施設の管理に関する契約を締結する能力を有しない者

② 破産者で復権を得ない者

③ 指定の手続において、その公正な手続を妨げた者又は不正の利益を得るために連合した者

④ 禁固以上の刑に処され、その執行の終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

⑤ 本市において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者

⑥　日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

エ．富山市競争入札参加有資格者指名停止要領に基づく指名停止期間中の法人等

オ．指定管理業務を開始する時点において、富山市内に事業所等を有しない法人等

カ．法人等又は法人等の代表権を有する者が、市税を滞納しているもの

キ．施設を管理するにあたって必要な資格及び免許等を有していない法人等。ただし、指定管理業務の開始までにそれらを有すること又はそれらを有する者に管理業務の一部を委託することが確実であるものを除く

ク．法人等、法人等の代表権を有する者等又は法人等の被用者が、暴力団関係者その他暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）に基づき、指定管理候補者として選定することが不適当である者

②　監査手続実施結果の総括

富山市は、上記の通り運用指針で指定管理候補者の審査体制や審査方法を定めており、施設所管課は指定管理候補者選定時に当該基本方針を踏まえて資料を作成している。過去に指定管理候補者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては条例や運用指針に則った事務手続及び判断が行われていた。また、富山市は HP で選定結果に関する各種資料（指定管理候補者選定委員会の議事録や公募の際の採点結果）を公表しており、透明性確保に努めていた。

一方で、施設往査の結果、複数の施設で指定管理業務に係る施設管理費が指定管理候補者選定時に提出された事業計画を継続的に下回っており、結果として指定管理者に相応の利益が発生していた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧や行政経営課及び施設所管課への質問を実施した結果、指定管理候補者選定時の事業計画について、過去実績との比較が行われていなかった。当該論点は指定管理料の過不足に直結するものであり、制度全体に影響する重大な発見事項と考えられる。

そのため、指定管理候補者の審査方法について、以下の発見事項が識別された。

③　発見事項

| 4【指摘 3】 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 | | | |
|---|---|---|---|---|
| 施設往査での発見事項 | 通番 | 施設名 | 通番 | 施設名 |
| | 22 | 2. 富山能楽堂 | 28 | 3. 市営駐車場 |
| | 31 | 4. 中央児童館 | 46 | 7. 四方チャレンジ・ミニ企業団地等 |
| | 78 | 16. 婦中パークゴルフ場 | 84 | 17. 婦中地域都市公園等 |
| | 87 | 18. 新産業支援センター | 103 | 21. 神保児童館 |
| | 130 | 27. 愛育園、慈光園、和光寮 | | |

指定管理候補者選定資料の閲覧等を実施した結果、指定管理料の根拠となる事業計画と過去実績との比較検討が行われていなかった。

行政経営課においては、指定管理料を決定する際に事業計画と過去実績との比較や過去実績の内容検討を行うよう施設所管課に指導する必要がある。

キ．基本協定書、管理業務仕様書の記載内容の妥当性

① 富山市の現状

富山市は、本監査論点について運用指針で以下のように規定している。

市と指定管理者の共通認識のもと円滑な施設の管理運営を行う必要があることから、以下の内容を記載した協定書を作成し締結する。

ア．指定期間
イ．管理業務の範囲（詳細は別記「管理業務仕様書」に記載）
ウ．使用料の徴収等の委託（使用料の徴収を委託する場合）
エ．再委託等の禁止
オ．指定管理者の責務
カ．指定管理業務委託料の額、支払方法
キ．利用料金の定め方等（利用料金制を採用する場合）
ク．災害時の対応（避難所等に指定される可能性がある場合）
ケ．備品等の取扱い
コ．リスク分担（詳細は別記「管理業務リスク分担表」に記載）
サ．事業計画書の提出等
シ．管理業務報告書の提出
ス．事業報告書の提出等
セ．業務の報告、調査、指示
ソ．帳簿等の保存
タ．不完全履行による管理業務委託料の減額及び損害賠償
チ．原状回復義務
ツ．第三者に対する損害の賠償
テ．指定の取消及び業務の停止

取消事由は以下とする

① 地方自治法第 244 条の 2 第 10 項の規定による報告の要求、調査又は指示に対して、これに応じず、又は虚偽の報告をし、若しくは調査を妨げたとき
② 協定に定める規定に違反したとき
③ 指定管理者として選定しない法人等に該当することとなったとき
④ 申請時に提出した書類の内容に虚偽の事項が記載されていたことが判明したとき
⑤ 団体の経営状況の悪化等により管理業務を行うことが不可能又は著しく困難になったとき
⑥ 組織的な非違行為が行われていた場合など、管理業務を行わせておくことが社会通念上著しく不適当と判断されるとき

ト．業務の引継ぎ
ナ．秘密保持義務（詳細は別記「管理業務の個人情報の保護に関する取扱い仕様書」に記載）
ニ．情報公開
ヌ．指定管理者の名称等の変更の届出
ネ．権利義務の譲渡等の禁止

ノ．協定の改定

なお、指定管理者が管理する個人情報については、指定管理者と締結する協定にその保護に関し必要な事項を盛り込む。

また、洪水や地震等の自然災害が発生した際に、避難所等が開設される可能性がある公の施設においては、管理業務仕様書及び指定管理者と締結する協定に避難場所等の開設及び撤収等に関し必要な事項を盛り込む。具体的には、避難所等の開設指示があった場合の連絡体制、避難所等の開設準備（施設の開錠等）に関する事項、避難者の誘導や収容に関する役割分担、避難所等の閉鎖に関する事項等が挙げられ、これに伴う事業停止リスクや費用負担に関する事項等についてはリスク分担を明確に提示することとする。

② 監査手続実施結果の総括

富山市は、上記の通り運用指針で基本協定書の記載内容に関する基本方針を定めている。指定管理者制度を所管している行政経営課は、当該方針に基づいて基本協定書のひな形を作成し各部署に共有することで、記載漏れや記載誤りが発生しないように配慮している。

一方で、施設往査を実施した結果、指定管理料の記載方法や利用料徴収業務の記載方法に課題が認められた。当該論点は重大な事務ミスや判断誤りではないが複数の施設で頻発しているため、制度全体に影響する発見事項と考えられる。

そのため、基本協定書、管理業務仕様書の記載内容について、以下の発見事項が識別された。

③ 発見事項

<table>
<tr><td>5【意見 2】</td><td colspan="4">基本協定書における指定管理料の記載の見直し</td></tr>
<tr><td>施設往査での発見事項</td><td colspan="4"><table><tr><th>通番</th><th>施設名</th></tr><tr><td>41</td><td>6. 南老人福祉センター</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="5">施設往査で基本協定書を確認したところ、上記の施設では指定管理料として人件費補助金が含まれた金額が記載されていた。一方で、令和 3 年度の年度協定書を確認したところ、指定管理料として人件費補助金を除いた金額が記載されていた。<br>行政経営課においては、施設所管課が基本協定書を更改する際に、指定管理料として人件費補助金を除いた金額を記載するよう指導することが望まれる。</td></tr>
<tr><td>6【意見 3】</td><td colspan="4">基本協定書への利用料徴収業務の記載漏れ</td></tr>
<tr><td>施設往査での発見事項</td><td colspan="4"><table><tr><th>通番</th><th>施設名</th><th>通番</th><th>施設名</th></tr><tr><td>92</td><td>19. 牛岳温泉健康センター</td><td>101</td><td>20. 角川介護予防センター</td></tr><tr><td>122</td><td>24. 富山国際会議場</td><td>162</td><td>33. 大沢野健康福祉センター、大沢野老人福祉センター</td></tr><tr><td>172</td><td>35. まちなか賑わい広場</td><td>184</td><td>38. 城址公園、城址公園駐車場</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="5">施設往査で基本協定書を確認したところ、上記の施設では基本協定書の「管理業務の範囲」や当該条項が参照する設置条例の条項に「利用料の徴収に関する業務」が記載されていなかった。なお、基本協定書の「管理業務の範囲」には「上記の他、管理に関して市長が必要と認める業務」の記載があるが、利用料の徴収は指定管理業務の重要要素であり基本協定書に明記すべきと考える。<br>行政経営課においては、施設所管課が基本協定書を更改する際に、管理業務として「利用料の徴収に関する業務」を記載するよう指導することが望まれる。</td></tr>
</table>

ク．指定管理業務の範囲の妥当性

① 富山市の現状

富山市は、本監査論点について運用指針で以下のように規定している。

| |
|---|
| 指定管理業務の範囲については、指定管理者の創意工夫が十分発揮できるよう可能な限り包括的に設定する。また、施設の管理業務の効率化を図る観点から、施設の使用承認については原則として指定管理者の業務とする。 |

② 監査手続実施結果の総括

富山市は、上記の通り運用指針で指定管理業務の範囲に関する基本方針を定めており、施設所管課は当該方針を踏まえて指定管理業務の範囲を決定している。

一方で、施設往査の結果、富山市が政策上強く実施を求めている事業が自主事業とされているなど、指定管理業務と自主事業の区分が曖昧になっているケースが散見された。指定管理業務の範囲設定は指定管理者制度の根幹をなすものであり、当該論点は重大な発見事項と考えられる。

そのため、指定管理業務の範囲について、以下の発見事項が識別された。

③ 発見事項

<table>
<tr><td>7【指摘 4】</td><td colspan="4">指定管理業務と自主事業の区分の明確化</td></tr>
<tr><td rowspan="3">施設往査での発見事項</td><td>通番</td><td>施設名</td><td>通番</td><td>施設名</td></tr>
<tr><td>135</td><td>28. 富山ガラス工房</td><td>143</td><td>29. ファミリーパーク</td></tr>
<tr><td>185</td><td>38. 城址公園、城址公園駐車場</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">施設往査の結果、上記の施設では指定管理業務と自主事業の区分が曖昧になっていた。例えば、富山ガラス工房では、基本協定書や管理業務仕様書において「ガラス作品の研究開発、販売普及、イベント開催、ギャラリー運営、ガラス体験実施を自主事業として実施する旨」を規定しているが、本来自主事業は指定管理者が自己の意思と責任で実施するものであり、富山市が政策上その実施を強く求める事業は自主事業とは言い難い。また、ファミリーパークでは、基本協定書や管理業務仕様書で「売店・食堂運営事業」を指定管理業務と規定しているが、指定管理者は当該事業を自主事業として整理しており、その収入を自社で収受していた。その他、城址公園では、富山市がまちづくり政策上その実施を希望している「賑わい創出事業」が自主事業に位置付けられており、指定管理者において財源不足が深刻化していた。<br>行政経営課においては、自主事業の定義や範囲、促進等に関する基本方針を運用指針や事務マニュアル等で明確化するとともに、その内容を施設所管課に周知徹底する必要がある。</td></tr>
</table>

ケ．指定期間の妥当性

① 富山市の現状

富山市は、本監査論点について運用指針で以下のように規定している。

| |
|---|
| 制度導入時は原則として 5 年以内とし、導入後は個々の施設管理の状況を踏まえて検討する。ただし、PFI 法の適用を受けて公の施設を管理運営する場合については、PFI 事業の期間を上限として指定期間を定める。 |

② 監査手続実施結果の総括

富山市は、上記の通り運用指針で指定期間の基本方針を定めており、公募の場合の指定期間は原則 5 年、非公募の場合の指定期間は原則 3 年としている。この点、上記「2. (1) 富山市の指

定管理者制度の現状」で指定期間毎の施設数を検討した結果、大部分の施設は指定期間が5年又は3年となっており、それ以外の場合も相応の理由が認められた。また、施設往査を実施した結果、指定期間について重大かつ頻発的な発見事項は識別されなかった。

そのため、指定期間について、新たな発見事項は識別されなかった。

③ 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

コ．利用料金制の運用の妥当性

① 富山市の現状

富山市は、本監査論点について運用指針で以下のように規定している。

> 現在、利用料金制を導入している施設については、引き続き導入する。それ以外の施設については、利用料金制を採ることによって指定管理者に対して経営努力を促すことになることから、積極的に利用料金制度の活用を図る。
>
> なお、利用料金で施設管理費を賄えない場合は、市から管理費の一部を指定管理者に委託料として支出することができる。また、指定管理者の経営努力により指定管理者に利益が生じた場合であっても、管理経費が縮減され、かつ利用者が増加した結果による場合は、原則として指定管理者の収益とする。

② 監査手続実施結果の総括

富山市は、上記の通り運用指針で利用料金制に係る基本方針を定めているが、令和3年度時点で利用料金制を導入している施設は10施設に留まっている。これは、指定管理施設には公園、小規模施設、中山間地の施設、社会福祉施設など利用料収入の増加が見込めない施設が多いこと、コロナ禍で利用者数が読みにくくなっており、指定管理者が利用料収入の下振れリスクを嫌気していること等が原因と考えられる。これについては、利用者数が多く経営努力を促す余地がある施設（大沢野健康福祉センター、角川介護予防センター等）には利用料金制が導入されており、基本方針に反した運用はなされていないと考えられる。また、施設往査を実施した結果、利用料金制の導入状況について、重大かつ頻発的な発見事項は識別されなかった（外郭団体が関連する利用料金制の問題点は下記サ.で検討するため、ここでは記載しないものとする）。

そのため、利用料金制の運用について、新たな発見事項は識別されなかった。

③ 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

サ．外郭団体を指定管理者とする場合の諸論点（精算条項、人件費補助金など）の妥当性

① 富山市の現状

富山市は、外郭団体を指定管理者とする場合の諸論点（精算条項、人件費補助金など）について運用指針で明確化していない。

なお、行政経営課は、「平成21年度以降の指定管理者制度の運用方針について」（平成21年1月14日付）で外郭団体を指定管理者とする場合に原則として精算条項を設定するよう定めている。精算条項とは、指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合に、当該差額を富山市に返還するものである。

② 監査手続実施結果の総括

富山市は、外郭団体を指定管理者とする場合に、原則として指定管理料の精算条項を設定するとともに、指定管理業務に係る人件費を補助金で支払っている。精算条項については、外郭団体と富山市とは実質的に一体であること、社会福祉施設の指定管理業務を行う外郭団体では指定管理料の余剰を蓄積する必要性が乏しいこと等を勘案すると、一定の合理性が認められる。また、人件費補助金については、指定管理者や富山市の消費税負担を軽減する点で意義が認められる。

一方で、施設往査を実施した結果、利用料金制の施設で精算条項が設定されているケースがあり、利用料金制の導入意義が損なわれていた。また、人件費補助金についても、施設によっては補助金ではなく指定管理料で支払われており、指定管理者に消費税負担が生じていた。前者は利用料金制の意義を損なうものであり、後者は富山市や指定管理者に多大な財政負担を生じさせるものであるため、何れも制度全体に影響する重大な発見事項と考えられる。

そのため、外郭団体を指定管理者とする場合の諸論点について、以下の発見事項が識別された。

③　発見事項

<table>
<tr><td>8【指摘 5】</td><td colspan="4">利用料金制の施設における精算条項の解除</td></tr>
<tr><td>施設往査での発見事項</td><td colspan="4"><table><tr><th>通番</th><th>施設名</th><th>通番</th><th>施設名</th></tr><tr><td>159</td><td>33. 大沢野健康福祉センター</td><td>171</td><td>35. まちなか賑わい広場</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="5">施設往査の結果、上記の施設では利用料金制が導入されているが、同時に指定管理者が外郭団体であるため指定管理料の精算条項が設定されていた。利用料金制を導入した場合、指定管理者は施設の収支差額を事業計画より改善することで利益を得られるため、収支改善のモチベーションが生まれる。一方で、精算条項が設定されていると、当該利益を富山市に返金することになるため、利用料金制を導入する意味が無くなってしまう。<br>行政経営課においては、予算編成等を所管する財政課とも協議を行ったうえで、利用料金制の施設に精算条項を設定しないよう施設所管課に注意喚起するとともに、定期的に基本協定書を査閲し、利用料金制の施設に精算条項が設定されていないことを確認する必要がある。なお、上記施設以外で、前年度に包括外部監査の対象となった「八尾ゆめの森交流施設」でも利用料金制と精算条項が併用されているため、留意されたい。</td></tr>
<tr><td>9【指摘 6】</td><td colspan="4">人件費補助金の交付対象の見直し</td></tr>
<tr><td>施設往査での発見事項</td><td colspan="4"><table><tr><th>通番</th><th>施設名</th></tr><tr><td>161</td><td>33. 大沢野健康福祉センター、大沢野老人福祉センター</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="5">富山市は、外郭団体が指定管理者である場合に、指定管理業務に係る職員人件費を補助金で支払っている。一方で、外郭団体が指定管理業務を行っている上記施設では、平成 26 年度に本庁所管課と協議した結果、人件費補助金の対象者がプロパー職員と富山市 OB のみとなっており、それ以外の職員の人件費は指定管理料に含めて支払われていた。人件費相当を指定管理料で支払った場合、指定管理者に消費税負担が生じてしまう。<br>行政経営課においては、人件費補助金の運用方針を施設所管課に周知徹底するとともに、定期的に人件費補助金の運用状況をモニタリングする必要がある。なお、上記施設以外でも、前年度に包括外部監査の対象となった「八尾ゆめの森交流施設」で人件費補助金が一切交付されておらず、富山市に消費税負担が発生している（指定管理者は消費税負担を嫌気して人件費に消費税相当額を加算した金額で事業計画を作成し、指定管理料を受け取っている）ため、留意されたい。</td></tr>
</table>

シ．自主事業の管理推進状況の妥当性

① 富山市の現状

自主事業の取扱いに関しては、運用指針やその他庁内資料で特段明文化されていない。

② 監査手続実施結果の総括

富山市は、自主事業の管理推進について明確な基本方針を定めていない。そのため、施設往査を実施した結果、自主事業に関する報告が漏れているケースや自主事業収支が正確に区分集計されていないケースが頻発していた。また、自主事業の推進や収益性の向上に課題が見受けられるケースも散見された。

自主事業の実施結果は指定管理業務の成果（市民サービスの向上や施設の有効利用の促進）を評価するうえで重要な判断材料になる。また、自主事業収支を正確に集計しない場合、指定管理業務に係る支出が過大に計上され、指定管理料の妥当性を正確に判断できなくなってしまう可能性がある。そのため、特に自主事業の報告漏れや自主事業収支の不正確な計算については、制度全体に影響する重大な発見事項と考えられる。また、自主事業の推進や収益性の向上についても、市民サービスの向上や施設の有効利用の促進の観点から積極的に取り組んでいくべき課題と考えられる。

このように、自主事業の管理推進状況について以下の発見事項が識別された。

③ 発見事項

<table>
<tr><td>10【指摘 7】</td><td colspan="4">自主事業実施結果の正確かつ網羅的な報告</td></tr>
<tr><td>施設往査での発見事項</td><td colspan="4"><table>
<tr><th>通番</th><th>施設名</th><th>通番</th><th>施設名</th></tr>
<tr><td>54, 55</td><td>8. 野外教育活動センター</td><td>57</td><td>9. 富山市民球場</td></tr>
<tr><td>60</td><td>10. 東富山温水プール、北部プール</td><td>65</td><td>12. 富山市パークゴルフ場</td></tr>
<tr><td>94</td><td>19. 牛岳温泉健康センター</td><td>115</td><td>23. 富山市民プラザホール</td></tr>
<tr><td>136</td><td>28. 富山ガラス工房</td><td>153</td><td>31. 総合体育館</td></tr>
<tr><td>156</td><td>32. 富山市民プール</td><td>168</td><td>34. 八尾 B&G 海洋センタープール、八尾ゆめの森テニスコート</td></tr>
<tr><td>180</td><td>37. 市営住宅</td><td></td><td></td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td colspan="5">施設往査の結果、年度報告書で自主事業収支を報告していないケースや、報告していても自主事業収支の区分集計が不正確であるケース（特に人件費の配賦漏れ）が散見された。<br>自主事業の実施結果は指定管理業務の成果（市民サービスや施設の有効利用の向上）を評価するうえで重要な判断材料になる。また、自主事業収支を正確に集計しない場合、指定管理業務に係る支出が過大に計上され、指定管理料の妥当性を正確に判断できなくなってしまう。<br>行政経営課においては、自主事業の定義や範囲、促進等に関する基本方針を運用指針や事務マニュアル等で明確化するとともに、自主事業の実施結果（特に人件費の配賦計算）の正確性と網羅性を検証するよう施設所管課に指導する必要がある。この点、「(一財) 指定管理者協会」が平成 30 年 9 月に公表している「平成 30 年度提言」で自主事業の現状分析を実施しているため、参考にされたい。</td></tr>
<tr><td>11【意見 4】</td><td colspan="4">自主事業の拡充や収益性の向上</td></tr>
<tr><td>施設往査で</td><td colspan="4"><table>
<tr><th>通番</th><th>施設名</th><th>通番</th><th>施設名</th></tr>
</table></td></tr>
</table>

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| の発見事項 | 53 | 8. 野外教育活動センター | 81 | 16. 婦中パークゴルフ場 |
| | 86 | 17. 婦中地域都市公園等 | 109 | 22. 八尾おわら資料館、八尾曳山展示館 |
| | 137 | 28. 富山ガラス工房 | 144 | 29. ファミリーパーク |

施設往査の結果、自主事業の実施余地があるにも関わらず自主事業が行われていないケースや、自主事業の採算性を改善できる余地があるケースが散見された。自主事業を拡充することで利用者満足度の向上や将来的な指定管理料の削減が期待できる。

行政経営課においては、自主事業の定義や範囲、促進等に関する基本方針を運用指針や事務マニュアル等で明確化するとともに、自主事業の良事例を広く収集し、施設所管課に共有することが望まれる。この点、「(一財) 指定管理者協会」が平成 30 年 9 月に公表している「平成 30 年度提言」で自主事業の現状分析を実施しているため、参考にされたい。

ス. 指定管理業務のモニタリングの妥当性

① 富山市の現状

富山市は、本監査論点について運用指針で以下のように規定している。

指定管理者制度においては、比較的長期にわたり施設管理を委任することから、サービス水準の維持向上と適切な管理運営の確保が重要である。そのため各施設の所管課においては、指定管理者と施設の管理業務に関し連携を密にし、指定管理者による施設管理業務の実態を日頃から把握するとともに、指定管理者から提出された実績報告書を精査し、問題点等があれば改善指示を行うなど公の施設の効用が最大限に発揮されるよう努める。

指定期間の最終年度には、指定管理者の事業内容について総括的評価を行う。

② 監査手続実施結果の総括

富山市は、上記の通り運用指針で指定管理者から提出された実績報告書の精査と改善指導の必要性を定めている。一方で、年度報告書を査閲した結果、記載内容や報告様式が統一されておらず、指定管理業務の成果を効果的、効率的に評価することが困難になっていた。また、施設往査の結果、年度報告書の収支内容について施設所管課の検討が不十分であるケースが頻発していた。前者は指定管理者制度を効果的、効率的に運用していくうえで重要な論点であり、後者も指定管理料の過不足に直結するものであるため、何れも制度全体に影響する重大な発見事項と考えられる。

そのため、指定管理業務のモニタリングについて以下の発見事項が識別された。

③ 発見事項

| 12【指摘 8】 | 指定管理業務の報告様式や報告事項の整理 | | | |
|---|---|---|---|---|
| 施設往査での発見事項 | 通番 | 施設名 | 通番 | 施設名 |
| | 18 | 1. 富山市民芸術創造センター | 23 | 2. 富山能楽堂 |
| | 110 | 22. 八尾おわら資料館、八尾曳山展示館 | 116 | 23. 富山市民プラザホール |
| | 123 | 24. 富山国際会議場 | 163 | 33. 大沢野健康福祉センター、大沢野老人福祉センター |
| | 169 | 34. 八尾 B&G 海洋センタープール、八尾ゆめの森テニスコート | 173 | 35. まちなか賑わい広場 |
| | 186 | 38. 城址公園、城址公園駐車場 | | |

施設往査の結果、上記施設では年度報告書における利用実態の報告内容に改善の余地が認められた。また、富山市は年度報告書の様式を指定していないため、現状では各指定管理者が独自の様式で報告書を作成しており、施設横断的な分析や評価が困難になっていた。

行政経営課においては、指定管理業務の成果を効果的、効率的に分析、評価するための施策を検討する必要がある。例えば、指定管理業務の成果を評価するために必要な指標や数値を特定したうえで、年度報告書の共通様式を作成し、施設所管課及び指定管理者と共有することが考えられる。この点、行政経営課は令和4年度から指定管理者モニタリングレポート（指定管理者が自身の業務を自己点検する枠組み）の運用を開始しているため、当該レポートの目的や内容を精緻化し、年度報告書として活用できるようにすることが望まれる。なお、「(一財）指定管理者協会」が令和3年10月に公表している「令和3年度提言」でモニタリングの現状分析を実施しているため、参考にされたい。

13【指摘9】　指定管理業務に係る収支の精査の実効性確保

施設往査での発見事項

| 通番 | 施設名 | 通番 | 施設名 |
|---|---|---|---|
| 24 | 2. 富山能楽堂 | 29 | 3. 市営駐車場 |
| 34 | 4. 中央児童館 | 37 | 5. 山室児童館 |
| 43 | 6. 南老人福祉センター | 47, 48 | 7. 四方チャレンジ・ミニ企業団地等 |
| 77 | 15. 八尾地域都市公園等 | 80 | 16. 婦中パークゴルフ場 |
| 85 | 17. 婦中地域都市公園等 | 88 | 18. 新産業支援センター |
| 95 | 19. 牛岳温泉健康センター | 105 | 21. 神保児童館 |
| 117 | 23. 富山市民プラザホール | 128 | 26. 障害者福祉プラザ |
| 132, 133 | 27. 愛育園、慈光園、和光寮 | 145 | 29. ファミリーパーク |
| 157 | 32. 富山市民プール | 165 | 33. 大沢野健康福祉センター、大沢野老人福祉センター |
| 188 | 38. 城址公園、城址公園駐車場 | | |

施設往査の結果、上記施設では指定管理業務収支について以下のような問題が識別された。

- 指定管理業務から継続的に相応の収支差額（利益）が発生している
- 指定管理業務の収支差額が継続的にゼロになっている
- 本社管理費の配賦基準が不合理であり、配賦結果が業務実態を表していない

指定管理料は事業計画の施設管理費見込額と同額になるように計算されているため、指定管理業務で多額の収支差額（利益）が発生するということは、指定管理業務が当初の計画通りに行われていないことを意味する。また、収支差額が継続的にゼロになることはあり得ないため、その場合は収支差額に何らかの調整が加えられていることを疑うべきである。この点、施設所管課に質問を実施した結果、人事異動に伴う職員の知見不足や時間的な制約等により、年度報告書の収支について深度ある検討がなされていなかった。

行政経営課においては、年度報告書における収支の精査の実効性を高める施策を検討する必要がある。例えば、富山市は第4期富山市行政改革実施計画（令和3年3月公表）において、「㊷指定管理者制度の見直しとモニタリングを通じたサービス向上」の一環として「外部の専門家による評価の仕組みの導入の可能性について検討を行う」旨を明記している。そのため、当該外部評価の一環で、定期的に外部専門家に収支内容の検討を依頼することが考えられる。なお、「(一財）指定管理者協会」

が令和3年10月に公表している「令和3年度提言」でモニタリングの現状分析を実施しているため、参考にされたい。

セ．指定管理業務の引継ぎの妥当性

① 富山市の現状

富山市は、本監査論点について運用指針で以下のように規定している。

現在の指定管理者は、指定期間の満了又は指定の取消し等に際し、施設の管理業務が遅滞なく円滑に実施されるよう、市が定める期間内に市又は次期指定管理者に対して適正に管理業務を引き継ぐものとする。引継ぎの方法、日時等については、市と現在の指定管理者及び次期指定管理者において協議の上決定する。引継ぎにおいては以下の点に留意する。

ア．引継ぎスケジュール
イ．臨時休館の設定
ウ．引継ぎに係る経費の負担（原則として指定管理者の負担）
エ．引継書類の確認
オ．引継財産の確認（備品、物品を含む）
カ．施設の予約の状況
キ．施設使用料の授受、預り金管理の方法
ク．個人情報の取扱い、データ管理等
ケ．引継ぎにおける体制の整備及び責任者の選定

② 監査手続実施結果の総括

富山市は、上記の通り運用指針で指定管理者の引継ぎの手続を定めている。これを踏まえて、施設所管課は、指定管理者が交代する際に管理運営上のトラブルが発生しないよう、前任、後任の指定管理者と密接に連携しながら対応している。この点、令和3年度に指定管理者が変更になった施設が複数存在するが、施設往査の結果、引継ぎの不備に起因する重大なトラブル等は発生していなかった（固有の事情で指定管理者の将来の引継ぎの際に留意が必要な施設は存在したが、現時点で本監査論点に重大な影響を及ぼすものではないと判断する）。

そのため、指定管理業務の引継ぎについて、新たな発見事項は識別されなかった。

③ 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

なお、以下の施設では指定管理者の将来の引継ぎの際に留意が必要であるため、参考情報として付記する。詳細は「第4章　指定管理施設の検討」を参照のこと。

| 通番 | 施設名 | 発見事項 |
|---|---|---|
| 73 | 14. 大沢野地域スポーツ施設、大沢野地域都市公園 | 指定管理者の交代を見据えた準備 |

# 第 4 章：指定管理施設の検討

# 第１部：指定管理施設の監査方針

## １． 指定管理施設の監査方針

### （1） サンプル抽出方針及び抽出結果

令和３年度末時点で存在する指定管理施設を対象として、以下の目線でサンプルを抽出し往査する。

ア．サンプル抽出目線

① 全ての指定管理者について、最低でも１募集単位をサンプル抽出する。

② 以下の施設はサンプル対象外とする。

| No | サンプル対象外の施設 | サンプル対象外とする理由 |
|---|---|---|
| ※1 | 農林水産部が所管する指定管理施設または農林水産部が所管する外郭団体が管理している指定管理施設 | 前年度の包括外部監査（農林水産事業に関する事務の執行について）で検討を実施済みであるため。ただし、外郭団体である㈱八尾サービスが管理する指定管理施設については一部に検討未了のものがあるため、それについては個別にサンプル抽出する。 |
| ※2 | 指定管理者が同種の施設を複数管理している場合に、当該指定管理者が管理しているサンプル対象施設以外の同種施設（児童館、老人福祉施設、スポーツ施設） | 施設の管理方法や管理水準がサンプル対象施設と同程度と考えられ、新たな発見事項が識別される可能性が相対的に低いため。 |

イ．サンプル抽出結果

富山市は、令和３年度末時点での324の指定管理施設を有するが、そのうち281施設（86%）についてサンプル抽出した。なお、農林水産部が所管する指定管理施設または農林水産部が所管する外郭団体が管理している指定管理施設は原則としてサンプル対象外としているが、これらは前年度に検討済みのためであり、それらも合算すると298施設（91%）を抽出したことになる。

また、指定管理者をベースとした場合、令和３年度末に存在する指定管理者37者のうち27者（72%）をサンプル抽出した。農林水産部関連の指定管理者は前年度に検討済みのためであり、それらを合算すると全ての指定管理者を抽出したことになる。

サンプル抽出結果の詳細は以下のとおりである。

| 募集単位 | 施設名称 | 施設数 | 施設所管課 | 指定管理者 | 属性 | 指定期間 | 選定方法 | サンプル |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 富山市民芸術創造センター | 1 | 文化国際課 | (公財)富山市民文化事業団 | 外郭団体 | 5年 R3-R7 | 公募 (1者) | No1 |
| 2 | 富山能楽堂 | 1 | 文化国際課 | アルコット㈱ | 外郭団体 | 5年 R3-R7 | 公募 (1者) | No2 |
| 3 | 市営駐車場 | 3 | 管財課 | ㈱五福興産 | 民間 | 5年 R3-R7 | 公募 (3者) | No3 |
| 4 | 中央児童館 | 1 | こども支援課 | (学)国際学園 | 民間 | 5年 R1-R5 | 公募 (3者) | No4 |

| 募集単位 | 施設名称 | 施設数 | 施設所管課 | 指定管理者 | 属性 | 指定期間 | 選定方法 | サンプル |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 五福児童館 | 1 | こども支援課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(2者) | 対象外<br>(※2) |
| 6 | 北部児童館 | 1 | こども支援課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※2) |
| 7 | 山室児童館 | 1 | こども支援課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | No5 |
| 8 | 蜷川児童館 | 1 | こども支援課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※2) |
| 9 | 水橋児童館 | 1 | こども支援課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※2) |
| 10 | 星井町児童館、東部児童館 | 2 | こども支援課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※2) |
| 11 | 呉羽山老人福祉センター、水橋老人憩いの家 | 2 | 長寿福祉課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 2年<br>R3-R4 | 非公募 | 対象外<br>(※2) |
| 12 | 海岸通老人福祉センター | 1 | 長寿福祉課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※2) |
| 13 | 南老人福祉センター | 1 | 長寿福祉課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | No6 |
| 14 | 東老人憩いの家 | 1 | 長寿福祉課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※2) |
| 15 | 四方チャレンジ・ミニ企業団地、同研修センター、とやまインキュベータ・オフィス | 3 | 工業政策課 | 富山県中小企業団体中央会 | 民間 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | No7 |
| 16 | 野外教育活動センター | 1 | 学校教育課 | (公財)富山市体育協会 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | No8 |
| 17 | 体育文化センター、南総合公園庭球場、東富山体育館、2000年体育館 | 4 | スポーツ健康課 | (公財)富山市体育協会 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※2) |
| 18 | 市民球場 | 1 | スポーツ健康課 | (公財)富山市体育協会 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | No9 |
| 19 | 東富山温水プール、北部プール | 2 | スポーツ健康課 | (公財)富山市体育協会 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(2者) | No10 |
| 20 | 北部練成館等 | 21 | スポーツ健康課 | (公財)富山市体育協会 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | No11 |
| 21 | 富山市パークゴルフ場 | 1 | スポーツ健康課 | ㈱富山岸グリーンサービス | 民間 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | No12 |

| 募集単位 | 施設名称 | 施設数 | 施設所管課 | 指定管理者 | 属性 | 指定期間 | 選定方法 | サンプル |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 22 | 大沢野高齢者いきがい工房 | 1 | 大沢野地域福祉課 | (社福)富山市社会福祉協議会 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | No13 |
| 23 | 大久保児童館 | 1 | こども支援課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※2) |
| 24 | 大沢野児童館 | 1 | こども支援課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(2者) | 対象外<br>(※2) |
| 25 | 大沢野地域スポーツ施設 | 4 | スポーツ健康課 | (一財)富山市大沢野健康文化推進財団 | 外郭団体 | 3年<br>R3-R5 | 非公募 | No14 |
| | 大沢野地域都市公園（猿倉山森林公園を除く） | 4 | 土木事務所建設課 | (一財)富山市大沢野健康文化推進財団 | 外郭団体 | 3年<br>R3-R5 | 非公募 | No14 |
| | 猿倉山森林公園 | 1 | 農林事務所農地林務課 | (一財)富山市大沢野健康文化推進財団 | 外郭団体 | 3年<br>R3-R5 | 非公募 | 対象外<br>(※1) |
| 26 | 大山老人福祉センター | 1 | 大山地域福祉課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※2) |
| 27 | 大山農山村交流センター | 1 | 農林事務所農業振興課 | 大山観光開発㈱ | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※1) |
| 28 | 八尾パインパーク、八尾サンパーク | 2 | 農林事務所農業振興課 | ㈱八尾サービス | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※1) |
| 29 | ほたるの里農村公園 | 1 | 農林事務所農業振興課 | 仁歩地区自治振興会 | 民間 | 5年<br>R3-R7 | 非公募 | 対象外<br>(※1) |
| 30 | 八尾地域の都市公園、神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館、久婦須川ダム周辺広場 | 43 | 土木事務所建設課 | ㈱八尾サービス | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | No15 |
| 31 | 婦中パークゴルフ広場 | 1 | スポーツ健康課 | (一財)富山市婦中公園緑地管理公社 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | No16 |
| | 婦中地域都市公園及び地域広場 | 108 | 土木事務所建設課 | (一財)富山市婦中公園緑地管理公社 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | No17 |
| | 婦中ふるさと創生館 | 1 | 農林事務所農地林務課 | (一財)富山市婦中公園緑地管理公社 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※1) |
| 32 | 山田児童館 | 1 | こども支援課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※2) |
| 33 | 婦中中央児童館 | 1 | こども支援課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※2) |
| 34 | 古洞の森自然活用村 | 1 | 農業水産課 | (特非)ワーカーズコープ | 民間 | 3年<br>R2-R4 | 非公募 | 対象外<br>(※1) |
| 35 | 新産業支援センター | 1 | 工業政策課 | 国立大学法人富山大学 | 民間 | 5年 | 非公募 | No18 |

| 募集単位 | 施設名称 | 施設数 | 施設所管課 | 指定管理者 | 属性 | 指定期間 | 選定方法 | サンプル |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | R1-R5 | | |
| 36 | 牛岳温泉健康センター | 1 | 観光政策課 | ㈱石橋 | 民間 | 3年<br>R3-R5 | 非公募 | No19 |
| 37 | 角川介護予防センター | 1 | 長寿福祉課 | (一財)北陸予防医学協会・㈱ウェルネスデベロップメント共同体 | 民間 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | No20 |
| 38 | 屋内競技場 | 1 | スポーツ健康課 | (公財)富山市体育協会 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※2) |
| 39 | 水橋フィッシャリーナ | 1 | 農業水産課 | (特非)浦島倶楽部 | 民間 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | 対象外<br>(※1) |
| 40 | 神保児童館 | 1 | こども支援課 | (社福)わかくさ福祉会 | 民間 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(1者) | No21 |
| 41 | 水橋東部農村地域交流センター | 1 | 農村整備課 | 水橋堅田町内会 | 民間 | 2年<br>R4-R5 | 非公募 | 対象外<br>(※1) |
| 42 | 水橋東部集落農園 | 1 | 農村整備課 | 水橋東部地区集落環境施設管理組合 | 民間 | 5年<br>R3-R7 | 非公募 | 対象外<br>(※1) |
| 43 | 八尾おわら資料館、八尾曳山展示館 | 2 | 観光政策課 | (一社)越中八尾観光協会 | 民間 | 5年<br>R3-R7 | 非公募 | No22 |
| 44 | 21 世紀の森杉ケ平キャンプ場 | 1 | 農林事務所農地林務課 | (特非)大長谷村づくり協議会 | 民間 | 5年<br>R3-R7 | 非公募 | 対象外<br>(※1) |
| | 白木峰山麓交流施設 | 1 | 農林事務所農業振興課 | (特非)大長谷村づくり協議会 | 民間 | 5年<br>R3-R7 | 非公募 | 対象外<br>(※1) |
| | 白木峰山麓クラインガルテン | 1 | 農林事務所農業振興課 | (特非)大長谷村づくり協議会 | 民間 | 5年<br>R3-R7 | 非公募 | 対象外<br>(※1) |
| 45 | 勤労身体障害者体育センター | 1 | スポーツ健康課 | (公財)富山市体育協会 | 外郭団体 | 3年<br>R3-R5 | 非公募 | 対象外<br>(※2) |
| 46 | 大山総合体育センター、社会体育館、総合グラウンド、テニスコート | 4 | スポーツ健康課 | (公財)富山市体育協会 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(2者) | 対象外<br>(※2) |
| 47 | 富山市民プラザホール | 1 | 文化国際課 | ㈱富山市民プラザ | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 非公募 | No23 |
| 48 | 富山国際会議場 | 1 | 観光政策課 | 富山大手町コンベンション㈱ | 外郭団体 | 3年<br>R3-R5 | 非公募 | No24 |
| 49 | 恵光学園 | 1 | 障害福祉課 | (社福)富山市桜谷福祉会 | 民間 | 5年<br>R3-R7 | 非公募 | No25 |
| 50 | 障害者福祉プラザ | 1 | 障害福祉課 | (社福)富山市社会福祉 | 外郭 | 5年 | 非公募 | No26 |

| 募集単位 | 施設名称 | 施設数 | 施設所管課 | 指定管理者 | 属性 | 指定期間 | 選定方法 | サンプル |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 事業団 | 団体 | R3-R7 | | |
| 51 | 愛育園、慈光園、和光寮 | 3 | こども健康課<br>長寿福祉課 | (社福)富山市社会福祉事業団 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 非公募 | No27 |
| 52 | 富山ガラス工房 | 1 | 文化国際課 | (一財)富山市ガラス工芸センター | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 非公募 | No28 |
| 53 | ファミリーパーク | 1 | 公園緑地課 | (公財)富山市ファミリーパーク公社 | 外郭団体 | 5年<br>R3-R7 | 非公募 | No29 |
| 54 | とやまスローライフ市民農園 | 1 | 農政企画課 | (特非)里山倶楽部 | 民間 | 5年<br>R1-R5 | 非公募 | 対象外<br>(※1) |
| 55 | 芸術文化ホール | 1 | 文化国際課 | (公財)富山市民文化事業団 | 外郭団体 | 5年<br>H29-R3 | 非公募 | No30 |
| 56 | 総合体育館 | 1 | スポーツ健康課 | (公財)富山市体育協会 | 外郭団体 | 1年<br>R3 | 非公募 | No31 |
| | 3x3バスケットボールコート | 1 | スポーツ健康課 | (公財)富山市体育協会 | 外郭団体 | 1年<br>R3 | 非公募 | 対象外<br>(※2) |
| 57 | 富山市民プール | 1 | スポーツ健康課 | 富山FSパートナーズ | 民間 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(2者) | No32 |
| 58 | 大沢野健康福祉センター、大沢野老人福祉センター | 2 | 大沢野地域福祉課 | (一財)富山市大沢野健康文化推進財団 | 外郭団体 | 3年<br>R3-R5 | 非公募 | No33 |
| 59 | 八尾ゆめの森交流施設 | 1 | 農林事務所農業振興課 | ㈱八尾サービス | 外郭団体 | 3年<br>R3-R5 | 非公募 | 対象外<br>(※1) |
| 60 | 八尾 B&G 海洋センタープール､ゆめの森テニスコート | 2 | スポーツ健康課 | ㈱スポーツマックス・三幸㈱共同企業体 | 民間 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(3者) | No34 |
| 61 | 割山森林公園 | 1 | 農林事務所農地林務課 | ㈱ほそいり | 外郭団体 | 3年<br>R3-R5 | 非公募 | 対象外<br>(※1) |
| 62 | 岩稲ふれあいセンター | 1 | 観光政策課 | ㈱ほそいり | 外郭団体 | 3年<br>R3-R5 | 非公募 | 対象外<br>(※1) |
| 63 | まちなか賑わい広場 | 1 | まちづくり推進課 | ㈱富山市民プラザ | 外郭団体 | 5年<br>R2-R6 | 非公募 | No35 |
| 64 | 富山市・医師会急患センター | 1 | 福祉政策課 | (公社)富山市医師会 | 民間 | 5年<br>H29-R3 | 非公募 | No36 |
| 65 | 市営住宅 | 56 | 市営住宅課 | ㈱ホクタテ | 民間 | 5年<br>R3-R7 | 公募<br>(2者) | No37 |
| 66 | 城址公園、城址公園駐車場 | 2 | 公園緑地課、管財課 | 富山城址公園PM共同企業体 | 民間 | 3年<br>R3-R5 | 公募<br>(1者) | No38 |
| 67 | 富山霊園富山市斎場 | 1 | 環境保全課 | ㈱あおぎの | 民間 | 20年 | 公募 | No39 |

| 募集単位 | 施設名称 | 施設数 | 施設所管課 | 指定管理者 | 属性 | 指定期間 | 選定方法 | サンプル |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | R3-R22 | (3 者) | |
| | **合計** | **324** | | | | | | |

### （2） 往査施設の監査手続

往査施設では、以下の監査手続を実施する。

なお、前年度の包括外部監査で公有財産管理や備品管理に関する多数の発見事項が識別されたが、これについては管財課を中心に対応方針を検討中であるため、当年度の監査では検討対象とはしない。

ア．施設のあり方や存在意義の検討

① 施設の運営や利用が設立目的に即していることを検討するため、施設の設置条例を査閲するとともに、施設所管課及び指定管理者に施設の利用状況や将来の利用計画（施設の統廃合方針を含む）を確認する。

② 著しい利用者の低迷等、行政サービスとしての有効性が損なわれていないか、また利用者数に対して過度な財政負担となっていないかを検討するため、条例で定める施設の使用料や過去 5 年間の利用者数の推移を把握し、施設所管課及び指定管理者に増減理由等を確認する。

③ 利用者数に重大な誤りが無いことを確認するため、任意でサンプルを抽出し、利用申込書等と突合する。

イ．富山市の歳入・歳出の検討

① 施設運営が富山市の財政に与える影響を検討するため、過去 5 年間の歳入・歳出推移を把握し、必要に応じて施設所管課に主要取引の内容や増減理由等を確認する。

② 歳入（主に使用料）の適切性を検討するため、必要に応じて金額的に多額の取引からサンプルを抽出し、関連資料を査閲する。

③ 使用料減免の適切性を検討するため、減免関連資料を査閲する。

④ 歳出の適切性を検討するため、必要に応じて金額的に多額の取引からサンプルを抽出し、関連資料を査閲する。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討

① 指定管理者を選定する過程で以下のような論点が慎重に協議されているかを検討するため、施設所管課に確認するとともに、指定管理候補者選定委員会の議事録や指定管理者の提出資料（事業計画等）を査閲する。

- 当該施設が指定管理者制度に適しているか
- 指定管理者制度の導入単位は妥当か
- 公募・非公募の判断目線は妥当か
- 指定管理候補者の募集方法は妥当か
- 指定管理候補者の審査方法は妥当か
- 基本協定書、管理業務仕様書の記載内容に問題はないか
- 指定管理業務の範囲は妥当か
- 指定期間は妥当か

- 使用料が相応に見込める施設では利用料金制が導入されているか
- 富山市と指定管理者との間のリスク分担の内容は適切か
- 指定管理料が必要十分な水準で決定されているか

エ．指定管理業務の検討

① 指定管理者が、基本協定書に則って適切に施設管理業務を遂行していることを検討するため、年度報告書を査閲し、管理業務の実施状況を把握するとともに、必要に応じて施設所管課及び指定管理者に業務内容等を確認する。

② 指定管理者が、基本協定書に則って適切に利用者増進策を立案・遂行していることを検討するため、年度報告書を査閲し、過去 5 年間の利用者数の推移や収入推移を把握するとともに、必要に応じて施設所管課及び指定管理者に主要取引の内容や増減理由等を確認する。

③ 施設の収入の適切性を検討するため、必要に応じて金額的に多額の取引からサンプルを抽出し、関連資料を査閲する。

④ 指定管理者が、基本協定書に則って施設運営に必要十分な費用のみ支出していることを検討するため、年度報告書を査閲し、過去 5 年間の支出推移を把握するとともに、必要に応じて施設所管課及び指定管理者に主要取引の内容や増減理由等を確認する。

⑤ 施設の支出の適切性を検討するため、必要に応じて金額的に多額の取引からサンプルを抽出し、関連資料を査閲する。

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 平成 24 年度包括外部監査「指定管理者制度の整備状況及び運用状況について」における発見事項（備品管理を除く）について、改善状況を確認するため質問や関連資料の査閲、現地視察等を実施する。

# 第 2 部：指定管理施設の検討結果

## １． 富山市民芸術創造センター

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市呉羽町 2247 番地 3</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>文化国際課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市舞台芸術パーク条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>舞台芸術の創作及び教育、研究に関する新たな文化環境を創造し、もって市民の芸術文化活動の進行に寄与する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積<br>(㎡)</th><th>建設費<br>(千円)</th></tr>
<tr><td>芸術創造センター1</td><td>H7</td><td>38</td><td>12</td><td>7,984.06</td><td rowspan="3">2,972,341</td></tr>
<tr><td>芸術創造センター2</td><td>H14</td><td>50</td><td>31</td><td>1,333.41</td></tr>
<tr><td>事務所棟</td><td>H7</td><td>38</td><td>12</td><td>429.23</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>開館期間</td><td>休館日：　12 月 29 日～1 月 3 日<br>その他毎月 1 回不定期（月曜日）にメンテナンス休館有り<br>開館時間：　9:00～22:30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「文化施設」については、その将来的な存続や規模の在り方について地域の中での役割、周辺の類似施設との連携等の視点から検討していくが、稼働率の低下している施設は廃止や民間への譲渡も視野に入れて検討を行う。<br>継続的に保有する施設については、中長期的な改修計画に基づき施設及び各種設備の劣化状況や利用頻度等も勘案し、適時適切な施設改修・設備更新を実施する。特に舞台照明や音響機器等の大きな費用を要する改修については、その費用対効果を慎重に検討して実施する。</td></tr>
<tr><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | （公財）富山市民文化事業団<br>所在地：　富山市牛島町 9 番 28 号<br>代表者：　髙木　繁雄<br>事業概要：　芸術文化の創造、発信、提供及び普及、芸術文化に関する情報の収集及び提供、芸術文化活動拠点施設の管理 |

<table>
<tr><td></td><td>運営等<br>富山市との関係：　外郭団体</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>78,806</td><td>78,806</td><td>78,806</td><td>78,806</td><td>78,806</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数 1 者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円
<table>
<tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>5,000</td><td>5,000</td><td>5,000</td><td>5,000</td><td>5,000</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者は外郭団体であるが基本協定で精算条項を設定していない）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>夏休みスタインウェイピアノ体験「サマ☆スタ」</td><td>小学生から一般までの広範囲を対象にスタインウェイコンサートグランドピアノ D274 で練習できる体験の場を提供する。アマチュアピアノ愛好家にピアノの名器に触れる機会と小学生を中心にした夏休みの思い出作りの場を作るとともに、時代を担う若い世代の音楽活動の育成を図る。</td><td>参加料は市内小中学生が無料、市外小中学生及び市内高校生以上が 500 円、市外高校生以上が 1,000 円。参加者数は令和 1 年度で 63 人。収入は 51 千円、支出も 51 千円。</td></tr>
<tr><td>トヤマ・パフォーミングアーツ・フェスティバル</td><td>富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）と連携して利用者等の日頃の練習成果を発表する場を提供するとともに、桐朋学園富山キャンパスの学生や地域と連</td><td>ステージ発表は 3 千円、飲食系移動販売は 5 千円。参加者は令和 1 年度で 72 団体 4,200 人。収入は 4,330 千円、支出は 4,330 千円。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | 携した賑わいの創出を目指す。 | |
| 収益向上提案 | 指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「該当無し」となっている。 | | |

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 舞台稽古室 | 利用時間帯に応じて4,100円～14,200円 | 1 | 27,150 | 27,025 | 26,411 | 10,426 | 14,982 |
| リハーサル室 | 利用時間帯に応じて4,100円～14,200円 | 1 | 22,215 | 26,426 | 25,335 | 8,073 | 10,974 |
| 大練習室 | 利用時間帯に応じて2,700円～9,700円 | 1 | 82,570 | 80,315 | 78,231 | 45,996 | 55,575 |
| 中練習室 | 利用時間帯に応じて1,800円～6,700円 | 1 | 29,417 | 29,331 | 29,433 | 14,487 | 19,649 |
| 練習室 | 利用時間帯に応じて400円～2,800円 | 1 | 62,346 | 62,342 | 62,431 | 16,869 | 23,641 |
| 舞台美術制作室 | 1日当たり1,100円 | 1 | 1,263 | 2,078 | 1,279 | 355 | 467 |
| アトリエ | 1日当たり1,700円 | 1 | 967 | 944 | 1,027 | 1,465 | 594 |
| 研修室 | 利用時間帯に応じて1,300円～8,700円 | 1 | 1,322 | 1,807 | 970 | 256 | 846 |
| **合計** | | | **227,250** | **230,268** | **225,117** | **97,927** | **126,728** |

＜補足コメント＞

※1　利用者数について

当施設は、個人や団体が音楽、演劇、ダンス、美術等の創作活動を行うための練習専用施設であり、日本では類を見ない規模と設備を備えているため市内外を問わず幅広く利用されている。当施設は練習専用施設であるため、利用者数は富山県内で開催されるコンサートや演劇等のイベント開催状況に左右される傾向がある。

令和2年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和2年4月15日～5月19日、令和3年8月18日～9月26日）や各種イベントの自粛等により利用者数が減少している。一方で、当施設は他に類を見ない施設として富山県民に広く認知されており、利用ニーズ自体は衰えていない。そのため、足元では各種イベントの再開等もあり利用が活発になっており、令和4年度は利用者数が16～18万人程度まで回復する見込みである。

その他、当施設の利用目的別の利用者推移は以下のとおりである。

単位：人

| 種別 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 音楽 | 154,649 | 148,459 | 151,304 | 67,165 | 84,596 |
| バンド | 9,381 | 9,830 | 10,230 | 2,847 | 3,904 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 演劇 | 2,615 | 3,934 | 2,684 | 1,637 | 585 |
| 舞踊 | 50,350 | 55,495 | 51,175 | 23,392 | 33,819 |
| 美術 | 1,790 | 1,774 | 1,857 | 1,835 | 1,024 |
| その他 | 8,465 | 10,776 | 7,867 | 1,051 | 2,800 |
| **合計** | **227,250** | **230,268** | **225,117** | **97,927** | **126,728** |

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 42,093 | 42,403 | 42,567 | 17,410 | 32,608 |
| 目的外使用料 | 2 | 3,793 | 3,790 | 3,889 | 3,892 | 3,844 |
| 公共施設等適正管理推進事業債 | 3 | － | 26,900 | 26,900 | 7,600 | 12,500 |
| その他の歳入 | | － | － | 39 | － | － |
| **a.歳入実績合計** | | **45,886** | **73,094** | **73,397** | **28,902** | **48,952** |
| 委託料（指定管理料） | 4 | 74,479 | 75,624 | 76,412 | 77,004 | 78,806 |
| 委託料（その他） | 5 | 23,241 | 26,357 | 46,756 | 29,920 | 30,195 |
| 補助金（指定管理運営） | 6 | 25,920 | 27,812 | 28,675 | 29,414 | 29,211 |
| 工事請負費 | 7 | － | 12,926 | － | － | 13,915 |
| 機械器具費 | | 901 | 897 | 831 | 3,195 | 1,424 |
| **b.歳出実績合計** | | **124,543** | **143,618** | **152,674** | **139,534** | **153,552** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲78,656** | **▲70,523** | **▲79,277** | **▲110,631** | **▲104,599** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲85,375** | **▲70,460** | **▲71,579** | **▲87,295** | **▲97,522** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **6,718** | **▲63** | **▲7,698** | **▲23,335** | **▲7,077** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

施設や設備の使用料であり利用者数の増減により変動する。

利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　目的外使用料について

令和3年度の主な内訳は、「太陽光発電施設に係る目的外使用料3,656千円」である。

富山市は、平成27年度に当施設の遊休地を対象として太陽光発電事業プロポーザルを実施し、落札業者が太陽光発電事業を営んでいる。行政財産使用許可証（平成26年7月10日）によると、使用許可期間は平成26年7月10日～令和16年7月9日、使用料は3,656千円/年となっている。なお、富山市行政財産使用料条例に基づき計算した目的外使用料は8,520千円であるが、富山市はプロポーザル時に事業者が提出した事業計画書に基づき採算性が確保される水準（3,656千円）まで目的外使用料を減免している。行政財産使用許可証（平成26年7月10日）、プロポーザル時の事業計画書、令和3年度の行政材差異目的外使用料の減免調書等を確認したが、富山市の減免判断や目的外使用料の計算結果について重大な問題は発見されなかった。

※3　公共施設等適正管理推進事業債について

公共施設の集合・複合化事業、長寿命化事業、転用事業、立地適正化事業、ユニバーサルデザイン化事業、脱炭素化事業、除却事業を行う場合に起債が認められており、充当率 90%、交付税措置率は 30～50%（除却事業だけは 0%）となっている。

当施設では、長寿命化の工事を行う場合に起債しており、平成 30 年度は「屋根雨樋改修」及び「受変電機器及び高圧引込線更新」、令和 1 年度は「空調設備中央監視装置更新・電気設備受変電機器更新」、令和 2 年度は「受変電機器更新」、令和 3 年度は「屋根・外壁等改修工事」が実施されている。

※4　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。

※5　委託料（その他）について

令和 3 年度の主な内訳は、「電気設備火災警報装置・非常放送設備更新業務委託 12,650 千円」、「大練習室（1・3）床張替等更新業務委託 9,790 千円」である。

これらの委託業務について、「執行伺」、「契約方法決定書」、「入札経過調書」、「契約締結書兼支出負担行為決定書」、「業務委託契約書」、「委託業務完了届」を確認したが、重大な問題は発見されなかった。

※6　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

※7　工事請負費について

令和 3 年度の内訳は、「屋根・外壁等改修工事 13,915 千円」である。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 74,479 | 75,624 | 76,412 | 77,025 | 78,806 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 27,220 | 29,178 | 29,919 | 30,495 | 30,096 |
| 補助金収入(その他) | | － | － | － | 1,324 | － |
| その他の収入 | 3 | 1,522 | 1,603 | 3,895 | 727 | 871 |
| **a.収入合計** | | **103,221** | **106,405** | **110,226** | **109,571** | **109,773** |
| 人件費 | 4 | 27,220 | 29,178 | 29,919 | 30,495 | 30,096 |
| 光熱水費 | 5 | 32,229 | 31,302 | 29,935 | 27,678 | 31,581 |
| 修繕料 | | 3,773 | 5,868 | 8,265 | 9,009 | 4,997 |
| 委託料 | 6 | 34,018 | 33,428 | 33,218 | 33,446 | 34,277 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料返金等（富山市） | 7 | － | － | － | 20 | － |
| その他支出 | | 5,977 | 6,622 | 8,889 | 8,934 | 8,801 |
| **b.支出合計** | | **103,217** | **106,398** | **110,226** | **109,582** | **109,752** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **4** | **6** | **－** | **▲11** | **21** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲101,695** | **▲104,796** | **▲106,331** | **▲107,511** | **▲108,881** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入（富山市）について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

補助金と職員人件費とは整合的であり重大な問題は認められない。

なお、富山市は、当指定管理施設の職員の退職給付費用を本部管理人件費と見做して補助金を交付しているが、指定管理者は当施設の人件費として集計し、受取補助金も当施設に配賦して管理している。そのため、上記「ウ．富山市の歳入・歳出の状況」に記載した富山市の補助金交付額と当施設の補助金収入額に差が生じているが、問題はない。

※3　その他の収入について

主な内訳は、「自動販売機設置手数料」、「コピー使用料」等である。

令和2年度以降は、コロナ禍で施設利用者が減少したため発生額が減少している。

※4　人件費について

当施設で勤務している常勤プロパー職員3人、常勤嘱託職員1人、臨時常勤職員2人、臨時非常勤職員8人、夜間アルバイト4人の人件費である。当施設の職員はシフト制で勤務しており、昼間は3～4人体制、20時以降は2人体制で受付業務、利用者対応業務、巡回業務等を実施している。

なお、指定管理者は本部管理人件費について別途富山市から補助金を受領しているため、当施設に本社管理費を配賦していない。

令和3年度の1人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は1,672千円であり、非常勤職員が相応にいることを勘案すると大きな問題は認められない。

※5　光熱水費について

令和3年度の主な内訳は、「電気料（高圧契約）16,594千円」、「ガス代13,504千円」である。指定管理者は、北陸電気保安協会のデマンド監視サービスを利用し、最大電力料を抑制する取り組みを行っている。使用していない部屋の照明や空調をこまめに切ることで光熱水費の削減に努めている。

※6　委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「緑地維持管理委託 9,004 千円」、「清掃業務及び特定建築物管理業務委託 6,424 千円」、「保安業務委託 5,934 千円」等である。

※7　指定管理料返金等（富山市）について

指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を行っている。指定管理料の精算資料を査閲したが、計算誤り等の重大な問題は発見されなかった。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、市民に芸術活動の練習場所を提供し文化底上げを図る目的で開設された。当施設は広大な敷地を有しており、敷地内には当施設のほか太陽光発電施設（目的外使用料を徴収）、桐朋学園（平成 6 年から 30 年間無償貸与）が所在している。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

当施設は、公が運営する芸術活動の練習専用施設として日本では類を見ない規模と設備を備えており、利用者の 30%程度は富山市以外の住民となっている。令和 2 年度はコロナ禍で利用者数が減少したが、他に類を見ない施設であり利用ニーズは底堅く、足元では利用者数の回復傾向が見て取れる。

当施設の季節別稼働率は、年度初めの 4 月にやや低くなり夏休み期間や冬季に非常に高くなる傾向がある。また、曜日別稼働率は、月曜日にやや低くなり平日夜間と土日に非常に高くなる傾向がある。なお、平日昼間も 15 時ごろまでは高齢者サークル等で活発に利用されている。設備別稼働率は、バンド練習室（4 室）や中規模練習室が非常に高くなる傾向がある。

当施設は、過去は月 2 日（第 2、第 4 火曜日）休館日が設けられていたが、富山市の開館期間延長に関する取組みを受けて年末年始以外の休館日が無くなっていた。一方で、現在は働き方改革や施設管理のため、市長の承認を得て月 1 回（月曜日）メンテナンス休館日を設けている。メンテナンス休館日には、機材の交換、故障個所の確認、定期清掃等を行っている。

その他、指定管理者は、当施設を使用して「夏休みスタインウェイピアノ体験（サマ☆スタ）」や「トヤマ・パフォーミングアーツ・フェスティバル（富山市の委託事業で委託料は 4,000 千円）」を開催し、市民に良質な芸術文化に触れる機会を提供している。これらのイベントのアンケート結果を確認したが、他では得られない体験ができた等参加者から非常に高い評価を受けていた。

このように、当施設の機能は他では代替困難であり、実際に非常に活発に利用されているため、存在意義は十分に認められる。一方で、当施設は建設から 20 年以上が経過して老朽化が進んでいるため、その対応に課題が認められた。また、「市民が気軽に芸術に触れられる場所」という

当施設の特徴を踏まえると、より一層の活用余地があるように見受けられた。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 14【意見 5】 | クラウドファンディングの活用 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は建設から 20 年以上が経過しており、その機能を維持するとともに利用者ニーズに柔軟に対応していくためには大規模な投資や修繕が必要になってきている。一方で、当施設は、公が運営する芸術活動の練習専用施設として日本では類を見ない規模と設備を備えており、利用者に強い愛着を持たれている。<br>施設所管課と指定管理者においては、富山市の厳しい財政状態も勘案し、当施設の魅力を高める投資や修繕を行う際にクラウドファンディングを活用する余地が無いか検討することが望まれる。 | |
| 15【意見 6】 | 施設の強みを生かした有効利用の促進 |
| 全般的運用状況 | 該当なし |
| 当施設は、類似施設である富山市芸術文化ホール（大規模音楽ホール）と異なり、練習を通じて利用者が気軽に良質な芸術文化に触れることができるという強みがある。また、当施設を利用して成長したプロ、セミプロが多数存在するため、当施設に愛着を持つ彼ら／彼女らの協力を得ることで利用者に対し様々な体験の場を提供できる素地がある。一方で、現在の指定管理業務は施設の維持管理や事務管理に重きを置いており、利用者への芸術文化の普及促進という観点が弱くなっている。<br>施設所管課においては、指定管理者が当施設を活用して良質な芸術文化をより一層普及促進できるようにするため、必要な支援を行っていくことが望まれる。例えば、指定管理業務に芸術文化の普及事業を組み込んだり、当施設を活用したイベントに係る委託事業を増やしたりすることで、金銭面・人員面の支援を行っていくことが考えられる。なお、稼働率が低くなる 4 月や月曜日に以下のようなイベントを開催することで、施設の有効利用をより一層高めることができる可能性があるため、参考情報として付記する。<br>● 当施設で練習していたプロ、セミプロによる小学生等への指導教室の開催<br>● 認知度向上のための体験イベントの開催 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料、目的外使用料、公共施設等適正管理推進事業債である。当施設の使用料は機能や設備に比して割安感があり、利用者数が多い理由の一因となっている。また、当施設は学校減免（減免率 50%）や指定管理者主催イベント減免（減免率 100%）が多く、多額の使用料減免が発生している（令和 3 年度は学校減免が約 11,708 千円、指定管理者主催イベント減免が約 5,977 千円）。目的外使用料については、民間事業者が当施設の敷地で実施している太陽光発電事業に係るものである。発電した電気は民間事業者が外部に売電しており、当施設

では使用されていない。公共施設等適正管理推進事業債については、施設長寿命化のために活用されている。

富山市の主な歳出は、指定管理料、人件費補助金、施設の維持修繕に係る委託料や工事請負費である。指定管理料及び人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。委託料や工事請負費については、指定管理者が作成した長期修繕計画に基づいて指定管理者と施設所管課が協議しながら修繕対応を進めている。昨今では、特に舞台床や空調設備に関する修繕が増加傾向にある。

このように検討を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 16【意見 7】 | 使用料金体系の見直し要否の検討 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設の使用料金は機能や設備に比して割安に設定されている可能性がある。当施設は文化芸術の振興を主目的としており、採算性だけで使用料金を決定するべきではないが、一方で施設の老朽化が進んでおり修繕料の増加が見込まれることを勘案すると、受益者負担を適正化することも重要になってくる。<br>施設所管課においては、民間施設の使用料金体系の調査や将来の歳出増加見込額の見積り等を実施し、その結果を踏まえて使用料金体系を見直す必要が無いか検討することが望まれる。例えば、当施設は富山市民以外の利用も多いため、富山市民、県内他市町村の住民、県外の住民で使用料金に差を設けることが考えられる。また、当施設はその機能や設備が高く評価されているため、施設の設置目的を害しない範囲で長期の貸出しを許可し相応の使用料金を徴収することも考えられる。 | |
| 17【意見 8】 | 使用料減免の範囲、水準の再検討 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、学校減免（減免率 50%）や指定管理者主催イベント減免（減免率 100%）が多く、多額の使用料減免が発生している。当施設の設置目的は文化振興にあるため、その目的を達成するうえで使用料減免は非常に大切である。一方で、減免対象や減免率は長期間見直されておらず、減免の実態が当初の目的と乖離している可能性も否定できない。富山市の厳しい財政状態を勘案すると、目的や効果が曖昧になっている減免は適宜見直す必要がある。<br>施設所管課においては、本庁部署と連携しながら減免の実態を調査し、必要に応じて減免対象や減免率を見直すことが望まれる。例えば、学校減免については、学校が利用する場合に一律減免するのではなく、減免の目的を明確にしたうえで当該目的と整合的な使われ方をしているか、という目線で整理することが考えられる（学校利用であっても教育や文化振興に寄与しない場合があり得るため）。また、当施設は高校の吹奏楽部の練習等で多く利用されているが、富山市のスポーツ施設は部活利用でも減免されないため、扱いに差を設けることの合理性を整理しておくことが考えられる。その他、指定管理者主催イベントは、文化振興や施設の稼働率安定の面で非常に重要であるが、当該イベントを開催しすぎると一般利用が阻害され施設の収支が悪化してしまうため、頻度や時期の適正化に留意することが考えられる。 | |

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア. 施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は 1 者のみであり、外郭団体である富山市民文化事業団が指定管理者に選定されている。指定管理者は、類似施設である富山市芸術文化ホール（大規模音楽ホール）の指定管理業務も担当しており、これらの施設を実質一体で運営することでノウハウの共有を通じた効果的なイベントの開催、人事異動等を通じた効率的な業務運営を実現している。

その他、富山市は、外郭団体を指定管理者とする場合、原則として基本協定書に指定管理料の精算条項を設定しているが、当施設については精算条項の設定が漏れていた。これについては、包括外部監査の前に施設所管課が設定漏れに気付き令和 4 年度中に基本協定書を修正しているため、発見事項とはしないこととする。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ. 指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ. 指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料及び人件費補助金である。なお、指定管理者は富山市から委託を受けて当施設でイベントを開催しているが、自主事業は一切行っていない。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費、委託料である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費については、大規模施設であり電気料（高圧契約）が相応に発生しているが、指定管理者はデマンド監視サービスの利用による最大電力料の抑制を行っており、重大な問題は認められなかった。委託料については、広大な敷地の緑地管理業務委託や清掃業務委託等であり、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。

その他、指定管理者は、独自に HP の作成やネット予約システムの導入を行っており、事務の効率化と利便性向上を図っている。また、指定管理者は、当施設で楽器保管庫を運営しており、大型楽器の利用者から非常に高い評価を受けている。

このように、指定管理業務は概ね問題なく遂行されているが、一方で、年度報告書を査閲した結果、利用状況の報告方法に課題が認められた。

そのため、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 18【意見 9】 | 部屋別・時間帯別利用実績の年度報告書への添付 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 8）を識別している。 |
| 指定管理者は、年度報告書で月別・部屋別の利用人数を報告している。なお、指定管理者は内部管理目的で部屋別・時間帯別の利用実績を集計しているが、当該情報が年度報告書に添付されていなかった。施設所管課が指定管理業務の成果を評価するとともに、指定管理者と同じ目線で施設の利用促進策を検討するためには、双方の情報格差を極力解消する必要がある。<br>施設所管課においては、指定管理者に対して部屋別・時間帯別の利用実績集計も年度報告書に添付するよう指導することが望まれる。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象とされている。当該包括外部監査における発見事項（備品管理以外）に対する施設所管課の措置回答状況及びそれに対する監査手続実施結果は以下のとおりである。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 【指摘】管理業務報告書の提出期日の徹底について | |
| 過去の発見事項（要約） | 毎月の「管理業務報告書」が、3～4 か月まとめて提出されていることがある。管理業務報告書は期日までに提出する必要がある。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 基本協定書では、毎月 10 日までに前月の管理業務報告書を提出することと規定している。平成 25 年度以降は毎月施設所管課と指定管理者が相互に管理業務報告書の提出を確認することとした。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 施設所管課に確認した結果、「措置回答のとおり、基本協定書に定める期日までに管理業務報告書を入手している」との回答を得た。<br>監査人が令和 3 年度の管理業務報告書を確認した結果、施設所管課の回答通り運用されていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |

## ２． 富山能楽堂

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市友杉 1097 番地</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>文化国際課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市富山南総合公園文化体育施設条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>市民の文化の向上及びスポーツの振興に寄与する<br>※当施設は、富山市富山南総合公園文化体育施設条例において富山南総合公園内の一施設に位置づけられている</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積<br>（㎡）</th><th>建設費<br>（千円）</th></tr>
<tr><td>富山能楽堂</td><td>S61</td><td>50</td><td>15</td><td>1,627.01</td><td>643,974</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>開館期間</td><td>休館日：　12 月 29 日～1 月 3 日、毎週火曜日<br>開館時間：　9:00～21:00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「文化施設」については、演劇・能・茶道等の特定の活動を行うことを主目的とする空間であっても、利用されていない時間帯等に集会やイベント等当該目的以外の活動も許可することで施設の稼働率向上を図る工夫を行う。</td></tr>
<tr><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象となっており、機能維持の方針は「継続」となっている。また、機能の提供形態は「維持」が検討されており、整備手法は「修繕」、「長寿命化（大規模改修)」が検討されている。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

<table>
<tr><td>指定管理者</td><td>アルコット㈱<br>所在地：　富山市二口町三丁目 5 番地の 5<br>代表者：　浅野　端<br>事業概要：　総合ビルメンテナンス、ファシリティマネジメント<br>富山市との関係：　特記事項なし</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円<br><table><tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>指定管理料</td><td>18,751</td><td>18,751</td><td>18,751</td><td>18,751</td><td>18,751</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数 1 者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円<br><table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>500</td><td>500</td><td>500</td><td>500</td><td>500</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者が外郭団体以外であるため）。</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では「該当無し」となっている。</td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「該当無し」となっている。</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 見学者 | 無料 | 1 | 418 | 267 | 397 | 100 | 191 |
| 利用者 | ＜能舞台等＞<br>舞台、見所、第 2 舞台、楽屋（1、2、3）についてについて利用時間帯に応じて 1,320 円～39,600 円 | 2 | 3,525 | 3,240 | 2,577 | 1,129 | 1,181 |
| | ＜茶室＞<br>利用時間帯に応じて 2,750 円～8,250 円 | 3 | 1,805 | 1,960 | 1,359 | 615 | 643 |
| 観劇者 | 無料 | 4 | 3,783 | 4,017 | 3,240 | 887 | 1,058 |
| **合計** | | | **9,531** | **9,484** | **7,573** | **2,731** | **3,073** |

＜補足コメント＞

※1　見学者数について

小学校の課外学習（年間 3～4 件ほど）や施設の下見が多い。

令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和 2 年 4 月 15 日～5 月 31 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 26 日）及び課外学習の中止等により利用者が減少している。

※2　能舞台等の利用者について

主な利用者は富山県宝生会及びその関連団体であり、利用者全体の 50～60%程度を占

める。

令和2年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和2年4月15日～5月31日、令和3年8月18日～9月26日）及びイベントの自粛等により利用者が減少している。高齢化等によりコロナ禍前から利用者数が漸減傾向にあったため、現時点で稼働率が大きく回復する兆しは見えない。なお、能舞台等はコマ単位（時間単位）で利用可能であるが、監査人が指定管理者に計算を依頼して別途入手した利用可能コマ数ベースの施設稼働率は以下のとおりである。

単位：稼働率（利用コマ数÷利用可能コマ数）

| | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|
| 能舞台 | 6.9% | 2.9% | 3.8% |
| 見所 | 3.6% | 1.7% | 2.4% |
| 練習舞台 | 9.8% | 6.9% | 8.4% |
| 楽屋1 | 10.7% | 7.0% | 7.1% |
| 楽屋2 | 8.2% | 4.8% | 3.5% |
| 楽屋3 | 11.3% | 7.8% | 6.1% |

※3　茶室の利用者数について

茶道の教室やイベント等で利用されている。

令和2年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和2年4月15日～5月31日、令和3年8月18日～9月26日）及びイベントの自粛等により利用者が減少している。なお、下記のとおり利用可能コマ数ベースの施設稼働率は比較的安定している。

能舞台と比べると茶室は県内に類似施設が多いため、コロナ禍前から稼働率は低水準であった。現時点で稼働率が大きく回復する兆しは見えない。なお、茶室はコマ単位（時間単位）で利用可能であるが、監査人が指定管理者に計算を依頼して別途入手した利用可能コマ数ベースの施設稼働率は以下のとおりである。

単位：稼働率（利用コマ数÷利用可能コマ数）

| | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|
| 茶室1 | 1.6% | 3.0% | 2.6% |
| 茶室2 | 8.8% | 9.0% | 7.1% |
| 茶室3 | 6.0% | 3.2% | 6.3% |
| 茶室4 | 5.1% | 1.4% | 4.4% |

※4　観劇者数について

令和2年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和2年4月15日～5月31日、令和3年8月18日～9月26日）、イベントの自粛及びイベント時の入場者制限等により減少している。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 2,707 | 2,470 | 2,022 | 1,366 | 1,690 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 目的外使用料 | | － | － | 0 | － | － |
| **a.歳入実績合計** | | **2,707** | **2,470** | **2,022** | **1,366** | **1,690** |
| 委託料（指定管理料） | 2 | 17,120 | 17,227 | 17,227 | 17,227 | 18,751 |
| 委託料（その他） | | 2,160 | 1,031 | 1,037 | 1,789 | 299 |
| 庁用器具費 | | 264 | － | － | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **19,544** | **18,258** | **18,264** | **19,016** | **19,050** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲16,836** | **▲15,787** | **▲16,241** | **▲17,649** | **▲17,359** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲16,590** | **▲15,309** | **▲15,307** | **▲16,167** | **▲16,651** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **▲245** | **▲478** | **▲934** | **▲1,482** | **▲708** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

能舞台使用料と茶室使用料であり、利用者数の増減により変動する。利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 17,120 | 17,227 | 17,227 | 17,227 | 18,751 |
| **a.収入合計** | | **17,120** | **17,227** | **17,227** | **17,227** | **18,751** |
| 人件費 | 2 | 6,447 | 6,451 | 6,547 | 6,501 | 7,029 |
| 光熱水費 | 3 | 2,125 | 2,365 | 2,088 | 1,633 | 1,656 |
| 設備点検委託料 | | 759 | 759 | 766 | 773 | 809 |
| 茶庭管理委託料 | | 756 | 756 | 763 | 770 | 836 |
| 舞台調光設備保守料 | | 648 | 648 | 654 | 660 | 660 |
| その他支出 | | 1,709 | 1,542 | 1,757 | 1,710 | 2,048 |
| **b.支出合計** | | **12,444** | **12,521** | **12,575** | **12,047** | **13,038** |
| **c.収支差額（a-b）** | 4 | **4,676** | **4,706** | **4,652** | **5,180** | **5,713** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲12,444** | **▲12,521** | **▲12,575** | **▲12,047** | **▲13,038** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　人件費について

当施設で勤務している職員 7 人（受付担当 2 人、設備管理担当 3 人、清掃担当 2 人）の人件費である。当施設の職員はシフト制で勤務しており、2.5 人体制で受付業務、設備管理業務、清掃業務(半日)を実施している。

なお、指定管理者は、当施設に本社管理費を配賦していない。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 1,004 千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

※3　光熱水費について

主な内訳は電気料である。

令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和 2 年 4 月 15 日～5 月 31 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 26 日）及びイベントの自粛等により空調関係の電気料が減少している。

※4　収支差額について

指定管理業務に係る人件費や光熱水費の実績額が指定管理候補者選定時に提出された事業計画を継続的に大きく下回っており、結果として指定管理者に相応の利益が発生している。

**（2） 監査手続の実施結果と発見事項**

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、能楽を中心とした日本文化の維持、発展のため昭和 62 年 4 月に開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、大規模修繕等により長寿命化を図りつつ低稼働の時間帯等にイベント等の活動を許可することで施設の稼働率向上を図っていく方針が示されている。

当施設は、400 席（桟敷 25 席を含む）の能舞台を有しているが、大都市を除いてこれだけの規模の能舞台を持つことは珍しく、富山市が加賀宝生として有名な金沢市同様、能楽が盛んな地であったことが伺える。令和 2 年度以降はコロナ禍による休館等で利用者数が減少しているが、他に類を見ない施設であり営業日ベースでの稼働率はそれほど低下していない。一方で、当施設の主要な利用者である富山県宝生会は会員が高齢化しており、長期的に利用者数の減少が予想されている。

当施設の主な利用者は富山県民であり、県外からの利用は殆ど無い。行事は休日に、稽古は平日昼間に行われる傾向がある。能舞台は、富山県宝生会及びその関連団体の稽古、萬狂言の稽古（月 2～3 回程度)、おわら審査会の技術審査会、日本舞踊、琴、笛等の発表会、サルサバンドの音楽演奏会などで利用されている。能舞台は一般市民が広く利用する施設ではないため稼働率が低くなっている。また、茶室も富山市内に類似施設（佐藤記念美術館、民族民芸村、内山邸、浮田家等）が複数あることから稼働率が低くなっている。一方で、能舞台や茶室は設備や用具の手

入れ（清掃、乾燥等）のため使用後に一定の準備時間を設ける必要があり、コマ単位の稼働率は低くならざるを得ない面もある。令和 3 年度の年度報告書に記載された営業日ベースの稼働率（利用日÷営業日）は、能舞台が 28%、茶室が 20%となっており週 1 回以上は利用されていることが確認できる。指定管理者に確認したところ、現在の人員体制や設備、用具の準備時間等を勘案すると、週 2～3 回程度の稼働が望ましい旨の回答があった。

当施設は、指定管理者がビルメンテナンスを本業としていることもあって非常に丁寧に清掃、整備されており、利用者満足度は高くなっている。一方で、当施設は用途が特殊であること、指定管理者が自主事業を行っていないこと等により市民の認知度は低くなっている。

このように、当施設の機能は他では代替困難であり、日本文化を継承していくうえでも存在意義は十分に認められる。一方で、当施設は中長期的に利用の減少が予想されるため、施設の目的や雰囲気を害しない範囲で利用拡大のための施策を検討していく必要がある。また、当施設は条例で 9 時～21 時まで開館することになっているが、指定管理者は予約が無い日は 17 時で閉館しており、条例と異なる対応が取られていた。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 19【意見 10】 | 施設の強みを生かした有効利用の促進 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、良質の和室や日本庭園を有しており日本文化を体感できる施設として相応の強みを有している。一方で、当施設は、用途が特殊であり市民の認知度や施設稼働率が低くなっている。特に、当施設の主要な利用者である富山県宝生会は会員の高齢化が進んでおり、長期的に利用者数の減少が予想されている。<br>施設所管課及び指定管理者においては、高齢化による利用の減少を見据えて、施設の目的や雰囲気を害しない範囲で有効利用を促進するための施策を検討していくことが望まれる。例えば、一般市民への周知と利便性向上を目的として HP を作成し、施設イメージや予約状況を可視化したり多様な用途を発信したりすることが考えられる。なお、HP を作成する際には、動画を活用することで施設イメージを具体化しやすくなるが、この点、富山市芸術創造センターの指定管理者が作成している HP が参考になるため、適宜確認されたい。また、空き時間を利用して一般市民向けの簡易な能楽体験会を開催することも考えられる。加えて、施設の目的や雰囲気を害しないイベント（囲碁や将棋の大会、結婚式の前撮り等）を増やすため、企画会社への宣伝業務委託や関連団体への施設説明会の開催等を行うことが考えられる。 | |
| 20【指摘 10】 | 開館時間の変更申請漏れ |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、富山市富山南総合公園文化体育施設条例で開館時間が 21 時までと定められているが、指定管理者は利用予約が無い日の開館時間を 17 時に短縮していた。なお、条例第 2 条の 4 では「指定管理者は、特に必要があると認めるときは、市長の承認を得て臨時にこれを変更することができる」とされているが、指定管理者は承認申請を行っていなかった。<br>施設所管課においては、条例に定める開館時間を変更する場合は、事前に市長の承認を得るよう指定管理者に指導する必要がある。 | |

| | |
|---|---|
| 21【指摘 11】 | 開館時間の見直し |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、富山市富山南総合公園文化体育施設条例で開館時間が 21 時までと定められているが、平日夜間は殆ど利用が無くなっている。なお、昨今は電気料やガス代の高騰で施設管理費が上昇している。また、働き方改革や人手不足により夜間に施設を開館しておくことが難しくなってきている。<br>施設所管課においては、現在の利用実態を調査、分析し、住民サービスと財政負担とのバランスや条例改正と市民への周知に要する期間等を十分に検討したうえで、施設の開館時間を利用実態に即した形に見直す必要がある。例えば、当施設の平日の開館時間は長すぎる可能性があるため、利用実態に即して短縮することが考えられる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料である。当施設は稼働率が低く使用料金も低廉であるため、施設使用料は少額になっている。また、当施設では、富山市後援イベント減免（減免率 30%）が発生しているが、施設使用料が少額であるため減免額も少額となっている。

富山市の主な歳出は、指定管理料である。指定管理料は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は 1 者のみであり、アルコットが指定管理者に選定されている。指定管理者はビルメンテナンスを本業としており、業容拡大のため当施設の指定管理に応募した。当施設は能舞台、茶室、日本庭園を有しており独特の管理ノウハウが必要となるため、富山県内に対応可能な業者は多くない。この点、現地視察の結果、当施設は非常に丁寧に清掃、管理されており、指定管理者の強みが存分に生かされていた。

一方で、下記「(2)エ．指定管理業務の検討結果」に記載のとおり、当施設においては、指定管理業務に係る人件費や光熱水費が指定管理候補者選定時に提出された事業計画を継続的に下回

っており、結果として指定管理者に相応の利益が発生している。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧や施設所管課への質問を実施した結果、指定管理候補者選定時の事業計画について、過去実績との比較が行われていなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 22【指摘 3】 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 3）を識別している。 |
| 当施設では、指定管理業務に係る人件費や光熱水費が指定管理候補者選定時の事業計画を継続的に下回っており、結果として指定管理者に相応の利益が発生していた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧等を実施した結果、指定管理料の根拠となる事業計画と過去実績との比較検討が行われていなかった。<br>施設所管課においては、指定管理料を決定する際に事業計画と過去実績との比較や過去実績の内容検討を行う必要がある。当該検討の結果、過去実績やそれを基に作成された事業計画に不自然な点がある場合（過去に多額の収支差額が発生している、過去の収支差額が常にゼロである等）は、その原因に応じて適宜指定管理者に事業計画の見直しを指示し、指定管理料に重大な過不足が生じないようにする必要がある。 | |

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料である。なお、指定管理者は当施設で自主事業を営んでいない。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費、委託料である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費や委託料についても、他の施設と比較して相対的に少額であるほか、施設を良好な状態に維持するために必要十分な支出がなされており、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。

一方で、年度報告書を査閲した結果、施設稼働率の計算方法に課題が認められた。また、当施設においては、指定管理業務に係る人件費や光熱水費が指定管理候補者選定時に提出された事業計画を継続的に下回っており、結果として指定管理者に相応の利益が発生していた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 23【指摘 8】 | 稼働率計算の精緻化 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 8）を識別している。 |

指定管理者は、年度報告書で「能楽堂（能舞台、見所、練習舞台、楽屋 1～3 を合算）」と「茶室（茶室 1～4 を合算）」の区分で日数ベースの稼働率を報告している。一方で、当該計算方法によった場合、部屋別・時間帯別の稼働率が分からないだけでなく、1 日に複数回使用された場合稼働率が不正確になってしまう（例：1 日に茶室 1 と 2 をそれぞれ 1 コマ利用すると茶室の稼働率は 200%になる）。施設所管課が指定管理業務の成果を評価するとともに、指定管理者と同じ目線で施設の利用促進策を検討するためには、指定管理者から正確な稼働率情報を入手する必要がある。

施設所管課においては、指定管理者に対して稼働率計算の精緻化を指導することが望まれる。例えば、条例で使用料金が決められている部屋単位で「利用コマ数÷利用可能コマ数」の計算式により稼働率を算出することが考えられる。

| | |
|---|---|
| 24【指摘 9】 | 多額の収支差額が発生する原因の検討 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |

当施設では、指定管理業務に係る人件費や光熱水費が指定管理候補者選定時の事業計画を継続的に下回っており、結果として指定管理者に相応の利益が発生していた。指定管理料は事業計画の施設管理費見込額と同額になるように計算されているため、指定管理業務で多額の収支差額が発生するということは、指定管理業務が当初の計画通りに行われていないことを意味する。

施設所管課においては、年度報告書で多額の収支差額が生じている場合はその理由を検討する必要がある。また、検討の結果、指定管理業務の実施状況や報告内容に問題が認められる場合は、以下のような対応をとる必要がある。

- 指定管理料が妥当な水準になるよう見直す
- 指定管理者に業務の範囲や内容の見直しを指導する（例：機能維持や利用者満足度向上のために必要な修繕を実施させる、利用促進のためイベントや広告宣伝を増加させる等）
- 報告内容に誤りがある場合は修正を指導する（例：本社管理費の配賦漏れ等）

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## ３． 市営駐車場

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 桜町駐車場：　富山市桜町二丁目 1 番 1 号<br>総曲輪駐車場：　富山市総曲輪二丁目 8 番 3 号<br>富山駅北駐車場：　富山市牛島町 24 番 2 号 |
| 所管部署 | 管財課 |
| 関連条例等 | 富山市駐車場条例及び同条例施行規則 |
| 条例に定める施設の目的 | 駐車場法（昭和 32 年法律第 106 号）に基づき駐車場を管理運営する |
| 施設の主な建物の概要 | |

| 主な建物 | 建築年 | 耐用年数 | 残存年数 | 延床面積（㎡） | 建設費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 桜町駐車場 | H1 | 31 | 0 | 7,128.94 | 1,049,394 |
| 総曲輪駐車場 | H1 | 31 | 0 | 10,190.98 | 1,309,000 |
| 富山駅北駐車場 | H8 | 31 | 6 | 12,869.60 | 1,438,797 |

| | |
|---|---|
| 営業期間 | 休業日：　無し<br>開業時間：　0:00～24:00（24 時間営業）<br>ただし大型自動車と中型自動車は 8:00～23:00 |
| 公共施設マネジメント方針 | ＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>市営駐車場は、引き続き適正な維持管理に努める。 |
| | ＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象となっており、機能維持の方針は「継続」となっている。また、機能の提供形態は「維持」、整備手法は「修繕」、「長寿命化（大規模改修)」となっている。 |
| その他 | 当施設は、特別会計「駐車場事業」の対象となっている。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | ㈱五福興産<br>所在地：　富山市五福 1143 番地の 1<br>代表者：　須田　寛人<br>事業概要：　駐車場管理運営、ビル総合管理、宅地建物取引、不動産賃貸、ショッピングセンターの運営等<br>富山市との関係：　特記事項無し |
| 指定管理業務の概要 | ● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 料金の徴収に関する業務<br>● 上記のほか施設の管理に関して市長が必要と認める業務 |
| 指定期間 | 5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度） |
| 指定管理料 | ● 各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指 |

<table>
<tr><td></td><td>定管理者が協議の上定める（令和2年度締結の基本協定書）<br>● 各年度において駐車場使用料収入の合計額が前年度の駐車場使用料収入の合計額を超えた場合、富山市は超えた額の100分の10に相当する額を指定管理料に上乗せして支払う（基本協定第7条第4項）<br>単位：千円<br><table><tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>指定管理料</td><td>87,670</td><td>87,670</td><td>87,670</td><td>87,670</td><td>87,670</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数3者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議し、年度末に残額が生じた場合は精算する。<br>単位：千円<br><table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>2,000</td><td>2,000</td><td>2,000</td><td>2,000</td><td>2,000</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者が外郭団体以外であるため）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。<br><table><tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr><tr><td>情報発信ステーション事業への参加</td><td>デジタルサイネージを設置し観光案内や近隣施設情報等の利用者に役立つ情報を発信し駐車場のリピート利用につなげる</td><td>特に記載なし</td></tr><tr><td>シェアサイクリング事業への参加</td><td>シクロシティ富山が運営するアヴィレ(レンタル自転車)の1日利用カードの申込・貸出場所として3駐車場を登録している</td><td>令和1年度の取扱件数392件。市の全取扱件数に占めるシェア16.3%<br>事業費は収入20千円、支出20千円</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>● 顧客の利便性向上のため非接触型キャッシュレス決済機能を備えた事前精算機の導入を提案する。特に富山駅北駐車場がイベント時に混雑するため、出庫をスムーズに行うことで利便性を向上させ、それに伴う収益増加を期待する。</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：台数

| 条例に定める使用料上限 | 場所 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＜普通駐車＞ | 桜町 | 1 | 70,354 | 66,668 | 61,977 | 35,345 | 43,407 |

| 条例に定める使用料上限 | 場所 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1時間　330円 | 総曲輪 | 2 | 49,477 | 47,096 | 41,403 | 16,227 | 17,904 |
| 以後30分　110円 | 駅北 | 3 | 74,437 | 67,962 | 66,970 | 26,235 | 38,766 |
| ＜バス＞ | 桜町 | 1 | | | | | |
| 1時間当たり　1,100円 | 総曲輪 | 2 | 266 | 435 | 368 | 43 | 82 |
| 以後30分　300円 | 駅北 | 3 | 946 | 1,019 | － | － | － |
| ＜回数券＞ | 桜町 | 1 | 77,384 | 76,022 | 70,182 | 54,793 | 56,404 |
| 330円券11枚　3,300円 | | | | | | | |
| 110円券11枚　1,100円 | 総曲輪 | 2 | 22,739 | 24,303 | 20,238 | 14,395 | 14,063 |
| ＜パーキングカード＞ | | | | | | | |
| 3,300円相当　3,000円 | 駅北 | 3 | 16,459 | 15,900 | 14,671 | 10,235 | 15,494 |
| 5,500円相当　5,000円 | | | | | | | |
| ＜定期券利用＞ | 桜町 | 1 | 65,933 | 64,914 | 63,212 | 54,461 | 56,597 |
| 全日券　16,500円 | 総曲輪 | 2 | 108,409 | 98,210 | 89,084 | 69,522 | 68,013 |
| 昼間券　13,200円 | | | | | | | |
| 夜間券　9,900円 | 駅北 | 3 | 42,783 | 41,466 | 42,878 | 31,629 | 34,604 |
| 合計 | 桜町 | | 213,671 | 207,604 | 195,371 | 144,599 | 156,408 |
| | 総曲輪 | | 180,891 | 170,044 | 151,093 | 100,187 | 100,062 |
| | 駅北 | | 134,625 | 126,347 | 124,519 | 68,099 | 88,864 |
| | 計 | | **529,187** | **503,995** | **470,983** | **312,885** | **345,334** |

＜補足コメント＞

※1　桜町駐車場の利用状況について

富山駅前のCiCビルとつながっている7階建ての立体駐車場であり、収容台数は普通自動車305台である。CiCビルのテナントによる回数券利用（顧客への駐車券の配布）、周辺のホテルの回数券利用（宿泊客への駐車券の配布）、CiCビルへの納入業者の一般利用が多い。指定管理者の内部管理資料によると、駐車場別の1日当たり回転数（1日当たり累計利用台数÷収容可能台数）は1.7回と、総曲輪駐車場や駅北駐車場の0.6回を大きく上回っている。

令和2年度は、コロナ禍で一般利用が大きく減少しているが、令和3年度は回復の兆しがみられる。CiCビルには児童館などの富山市の施設が多く入居しているため、他の駐車場と比べると利用者の減少傾向は緩やかである。

※2　総曲輪駐車場の利用状況について

飲食街である総曲輪に立地している6階建ての立体駐車場であり、収容台数は普通自動車408台、バス4台である。周辺の企業の定期券利用、周辺のホテルや飲食店の回数券利用（宿泊客や顧客への駐車券の配布）が多くなっている。

令和2年度は、コロナ禍で飲食目的の一般利用が大きく減少しているほか、周辺の企業や飲食店による定期券や回数券の利用も大きく減少している。また、過去は近隣のホテルの回数券利用が多かったが、周辺に駐車場が増えた結果、当該ホテルでの回数券利

用が大幅に減少している。

※3　富山駅北駐車場の利用状況について

富山駅北口に立地している 7 階建ての立体駐車場であり、収容台数は普通自動車 635 台、バス 5 台である。周辺の企業の定期券利用、駅前再開発に係る工事業者の定期券利用、富山市芸術文化ホールでイベントがあった時の一般利用が多くなっている。

令和 2 年度はコロナ禍でイベント等が軒並み中止されたため一般利用が大きく減少していたが、令和 3 年度は回復の兆しがみられる。また、富山駅北口の再開発により平成 31 年 3 月以降バスの駐車スペースが無くなっていたが、令和 4 年 8 月からバスの利用が可能になるため、観光事業の活性化に伴う利用増が期待される（駐車スペースも 16 台に拡張した）。

近年は富山駅北口で再開発が進んでおり、中ホールや大規模企業オフィスの新築も進んでいる。近隣に立体駐車場が少ないこともあり、施設利用者移転してくる企業の定期券利用やイベントの再開による一般利用が増加していくものと予想される。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 395,081 | 371,553 | 353,338 | 236,668 | 259,087 |
| 目的外使用料 | 2 | 168 | 173 | 182 | 175 | 173 |
| その他の歳入 | 3 | 4,594 | 587 | 54 | 126 | 4,568 |
| **a.歳入実績合計** | | **399,845** | **372,314** | **353,574** | **236,971** | **263,830** |
| 人件費 | | 10,054 | 10,165 | 9,247 | 8,164 | 8,130 |
| 委託料（指定管理料） | 4 | 119,487 | 120,860 | 123,110 | 123,099 | 110,261 |
| 委託料（その他） | 5 | 21,050 | 14,042 | 26,740 | 33,952 | 40,969 |
| 修繕料 | | 2,055 | 2,002 | 1,390 | 1,721 | 1,538 |
| 借上料 | 6 | 11,923 | 14,746 | 14,746 | 15,126 | 18,900 |
| 工事請負費 | | － | 19,799 | － | － | － |
| 公課費 | 7 | 19,035 | 18,288 | 14,506 | 15,071 | 7,388 |
| その他歳出 | | 763 | 525 | 436 | 705 | 1,043 |
| **b.歳出実績合計** | | **184,367** | **200,427** | **190,175** | **197,838** | **188,229** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **215,477** | **171,887** | **163,398** | **39,132** | **75,601** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **231,184** | **194,524** | **179,343** | **40,969** | **75,602** |
| **e.予実差異(c-d)** | **8** | **▲15,706** | **▲22,636** | **▲15,944** | **▲1,836** | **▲1** |

＜補足コメント＞

※　上表の作成方法（歳入・歳出の集計単位）について

富山市は、市営駐車場として「桜町駐車場」、「総曲輪駐車場」、「富山駅北駐車場」、「城址公園駐車場」を所有しているが、人件費や修繕料等について個々の駐車場単位で歳入・歳出を把握しておらず、4 駐車場の合計額しか把握できていなかった。

なお、「城址公園駐車場」は令和3年度から別の指定管理者が指定管理業務を行っているが、上記理由により、上表は4駐車場を合計した歳入・歳出のみを記載する。そのうえで、個々の駐車場単位で金額が把握できる科目（施設使用料等）については、下記コメントで別途補足することとする。

※1　施設使用料について

駐車場の使用料である。利用台数の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

駐車場別の施設使用料の内訳は以下のとおりである。

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 桜町 | 116,401 | 114,137 | 110,167 | 85,905 | 95,424 |
| 総曲輪 | 109,184 | 100,932 | 89,893 | 61,494 | 60,882 |
| 駅北 | 129,289 | 117,016 | 114,267 | 64,660 | 78,986 |
| **小計** | **354,875** | **332,085** | **314,328** | **212,061** | **235,293** |
| 城址公園 | 40,206 | 39,468 | 39,010 | 24,607 | 23,794 |
| **合計** | **395,081** | **371,553** | **353,338** | **236,668** | **259,087** |

※2　目的外使用料について

主な内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料」等である。

※3　その他の歳入について

令和3年度の主な内訳は、消費税の還付金である。消費税は前年実績をもとに年4回概算払いし毎年9月に1年分を精算するが、令和2年度はコロナ禍で大幅減収となったため、令和3年9月の精算時に多額の還付が発生したものである。

※4　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

指定管理者が作成した駐車場別の指定管理料内訳は以下のとおりである。このうち、追加払い分とは、基本協定第7条第4項の定めにより、駐車場使用料収入額の合計額が前年度の当該合計額を超えた場合に超過額の10%を支払っているものである。上記※1の駐車場別施設使用料をもとに再計算した結果、追加払い金額に問題は認められなかった。

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 桜町 | 25,631 | 25,963 | 26,471 | 26,471 | 18,270 |
| 総曲輪 | 27,751 | 27,999 | 28,506 | 28,506 | 31,300 |
| 駅北 | 28,874 | 29,286 | 29,794 | 29,794 | 21,720 |
| 共通管理分 | 14,007 | 14,139 | 14,359 | 14,348 | 16,377 |
| 追加払い額 | － | － | － | － | 2,324 |
| **小計** | **96,263** | **97,387** | **99,130** | **99,119** | **89,991** |
| 城址公園 | 23,225 | 23,473 | 23,980 | 23,980 | 20,270 |
| **合計** | **119,487** | **120,860** | **123,110** | **123,099** | **110,261** |

※5　委託料（その他）について

令和 3 年度の主な内訳は、「総曲輪駐車場の出口精算機更新業務委託 10,504 千円」、「駅北駐車場の出口精算機更新業務委託 15,756 千円」、「駅北駐車場の事前精算機更新業務委託 5,252 千円」等である。

※6　借上料について

令和 3 年度の内訳は、桜町駐車場 16,250 千円、富山駅北駐車場 2,649 千円である。

桜町駐車場は全て民地を利用しており、9 筆分について土地所有者 8 名に対し地上権を設定し、固定資産税評価額×4.8%（852 千円/月）の使用料を支払っている。また、1 筆分については土地所有者 2 名と賃貸借契約を締結し、固定資産税×9%（502 千円/月）の賃料を支払っている。

駅北駐車場は、北陸電力から敷地の一部を賃借しており、固定資産税評価額の変動率等を加味しながら 220 千円/月の賃料を支払っている。

※7　公課費について

消費税の納付額である。消費税は前年実績をもとに年 4 回概算払いし毎年 9 月に 1 年分を精算するが、令和 2 年度はコロナ禍で大幅減収となったため、令和 3 年 9 月の精算時に還付となっている。そのため、令和 3 年度は 1 回分の納付が無く、過年度と比較して公課費が減少している。

※8　予実差異について

当施設は、歳入歳出差額について予算額と決算額との乖離が大きい傾向にある。当該乖離は主に施設使用料で生じているが、これは、施設使用料が漸減傾向にある状況下で所管課が前年の決算額と同水準で翌期予算額を策定しているためである。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 119,487 | 120,860 | 123,110 | 123,099 | 87,670 |
| **a.収入合計** | | **119,487** | **120,860** | **123,110** | **123,099** | **87,670** |
| 人件費 | 2 | 55,565 | 57,058 | 57,893 | 58,725 | 32,065 |
| 光熱水費 | 3 | 15,943 | 17,753 | 17,545 | 16,287 | 13,529 |
| 修繕料 | 4 | 2,487 | 2,488 | 2,499 | 2,488 | 1,997 |
| 管理諸費 | 5 | 3,843 | 3,532 | 5,158 | 2,709 | 2,532 |
| 管理保守費 | 6 | 16,065 | 15,287 | 15,921 | 15,507 | 11,326 |
| その他の支出 | | 4,445 | 4,410 | 4,043 | 3,702 | 4,495 |
| **b.支出合計** | | **98,348** | **100,528** | **103,059** | **99,418** | **65,944** |
| **c.収支差額（a-b）** | **7** | **21,139** | **20,331** | **20,050** | **23,680** | **21,726** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲98,348** | **▲100,528** | **▲103,059** | **▲99,418** | **▲65,944** |

＜補足コメント＞

※　上表の作成方法（施設収支の集計単位）について

指定管理者は、令和 2 年度までは「城址公園駐車場」を含む 4 駐車場を管理していた

が、令和 3 年度から「城址公園駐車場」以外の「桜町駐車場」、「総曲輪駐車場」、「富山駅北駐車場」のみを管理することになった。そのため、令和 3 年度は収入・支出の金額が減少している。

なお、指定管理者は個々の駐車場単位で収支を把握していないため、令和 2 年度までは 4 駐車場分、令和 3 年度は 3 駐車場分の収支を記載する。

※1　指定管理料（富山市）について

内容は、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

上述のとおり、指定管理者は令和 2 年度まで 4 駐車場を管理していたが、令和 3 年度以降は 3 駐車場のみを管理することになったため、令和 3 年度に指定管理料が減少している。また、令和 3 年度は基本協定第 7 条第 4 項に基づく指定管理料の追加払い 2,324 千円を受け取っているが、金額が確定したのが 5 月後半であったため、令和 3 年度の報告書には反映されていない（令和 4 年度の報告書に反映される予定)。

※2　人件費について

上述のとおり、指定管理者は令和 2 年度まで 4 駐車場を管理していたが、令和 3 年度以降は 3 駐車場のみを管理することになった。また、令和 3 年度以降は、夜間は総曲輪駐車場にのみ管理人を配置し他の駐車場は総曲輪駐車場の管理人が電話対応することになった。そのため、令和 2 年度まで 40 名であった駐車場管理人員（パート）は令和 3 年度に 23 人まで減少し、人件費が減少している（このうち、指定管理施設の減少による減員が 10 名、夜間管理を集中化したことによる減員が 7 名である）

なお、指定管理者は、当施設に本社管理費を配賦していない。

※3　光熱水費について

主な内訳は「電気料（高圧契約)」である。指定管理者は、施設所管課と相談しながら順次 LED 化を進め電気料の削減を図っている。

※4　修繕料について

主な内訳は、「エレベーターやインターホン等の機器関連の修繕料」である。建物が老朽化しており、施設所管課と相談しながら緊急度の高い案件を優先して修繕している。

※5　管理諸費について

主な内訳は、「精算機メーカーからの駐車券や回数券の購入代金」である。令和 2 年度以降は、コロナ禍で駐車場の利用が減少したため発生額が減少している。

※6　管理保守費について

主な内訳は、「精算機メーカーである㈱テクノトラストに対する精算機維持管理業務委託料 6,246 千円」である。

※7　収支差額について

指定管理業務に係る委託料、管理費（駐車券、回数券)、監視機器等費用の実績額が指定管理候補者選定時に提出された事業計画を継続的に大きく下回っており、結果として指定管理者に相応の利益が発生している。

### （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、平成 1 年～平成 8 年にかけてまちなかの賑わい創出や利便性向上に資する目的で開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、引き続き適正な維持管理に努める方針が示されている。

近年は富山市内にも民間駐車場が増加しており、富山市が駐車場を所有する必要性は小さくなってきている。一方で、当施設は市内中心部に位置し、観光客や周辺施設の利用者に活発に利用されるなど、中心市街地活性化の一翼を担っている。また、当施設は 24 時間営業であり、管理員を常駐させることで利用者の安心や利便性向上を図り、他の駐車場との違いを明確にできている。加えて、駐車場事業特別会計は従前から歳入超過を維持しており、一般会計への繰出金の拠出を通じて富山市の財政負担軽減に寄与している。

このように、現時点では市営駐車場の必要性や存在意義に重大な問題は生じていないと判断する。一方で、昨今はコロナ禍の影響で利用者数が減少しており、特に総曲輪駐車場で稼働率が低くなっている。また、現地視察の結果、桜町駐車場と総曲輪駐車場ではカラス対策のため屋上部分の利用ができなくなっていた。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 25【意見 11】 | 総曲輪駐車場の稼働率向上施策の検討 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 総曲輪駐車場は、繁華街に位置し周辺のホテルや飲食店関連の利用が多かったが、コロナ禍で飲食店関係の利用が低迷しており、他の駐車場と比較しても稼働率が低くなっている。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、総曲輪駐車場の稼働率向上のための施策を検討することが望まれる。例えば、一般利用による稼働率向上が望めない場合は、富山市の公用車の避難場所として活用するなど公の利用を増やすことも考えられる。 | |
| 26【意見 12】 | 桜町駐車場と総曲輪駐車場の屋上部分の利活用 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 桜町駐車場と総曲輪駐車場は、駐車場内へのカラスの侵入を防止するため屋上部分が出入り禁止になっている。原則的には利用者がいつでも利用できるよう屋上部分を開放するべきであるが、一方で、鳥害により既存利用者の満足度が低下する事態は避ける必要がある。<br>施設所管課においては、他の立体駐車場の屋上活用事例や鳥害対策事例を調査したうえで、桜町駐車場と総曲輪駐車場の屋上部分の利活用方針を整理することが望まれる。例えば、通常の方法での利活用が難しい場合は、富山市の公用車の避難場所として活用することが考えられる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料（駐車料金）である。富山市は、市営 4 駐車場を対象として駐車場事業特別会計を設定しているが、従来は多額の歳入超過となっていたため毎年一般会計に繰出金を拠出していた。一方で、令和 2 年度以降はコロナ禍で駐車場利用者数が減少しており、施設使用料収入も減少している。

富山市の主な歳出は、指定管理料、委託料、借上料である。指定管理料は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。委託料については、老朽化した施設の修繕料等であり、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。借上料については、桜町駐車場と駅北駐車場に係る地上権設定料又は賃借料である。契約書を確認したが、借上料の計算の前提や計算方法等について重大な問題は認められなかった。

一方で、当施設では歳入予算を策定する際に施設使用料（駐車料金）を前年度の決算額と同額程度で見積もっており、歳入予算が決算額と大きく相違する傾向にあった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 27【意見 13】 | 歳入予算の見積り精度の向上 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 施設所管課は、当施設の歳入予算を策定する際に施設使用料（駐車料金）を前年決算額と同額程度で見積もっている。一方で、昨今はコロナ禍により施設使用料（駐車料金）が減少傾向にあるため、歳入予算と決算額との乖離が大きくなっている。なお、当施設は特別会計を設定しており、従来は一般会計への繰出しが続いていたが、足元では歳入超過が減少しており、将来的に一般会計からの繰入れが必要になる可能性がある。一般会計からの繰入れが必要になった場合は、年度途中に補正予算を組むなど追加の対応が必要になってくる。<br>施設所管課においては、施設使用料（駐車料金）の見積りを精緻化し予算管理の精度を向上させることが望まれる。例えば、施設使用料（駐車料金）を見積もる際には、前年の決算額に過去 1～2 年の増減率等を加味することが考えられる。 | |

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数 3 者の中から五福興産が指定管理者に選定されている。なお、指定管理者は令和 2 年度まで「城址公園駐車場」を含む 4 駐車場を管理していたが、令和 3 年度から「城址公園駐車場」以外の「桜町駐車場」、「総曲輪駐車場」、「富山駅北駐車場」のみを管理することになった。そのため、令和 3 年度は指定管理料が減少している。

指定管理者は、駐車場の管理運営を主たる事業としており、本業で獲得したノウハウを生かして効果的、効率的に指定管理業務を実施している（例えば、夜間は総曲輪駐車場にのみ管理人を配置し他の駐車場は総曲輪駐車場の管理人が一元管理するよう変更している）。また、指定管理者は、長期間指定管理業務を担当することで当施設に関する知見を蓄積しており、これまで重大なクレームやトラブルは発生していない。

このように、指定管理者が当施設の指定管理業務を担当することには相応の合理性が認められる。一方で、下記「(2)エ．指定管理業務の検討結果」に記載のとおり、当施設では指定管理業務に係る委託料、管理費（駐車券、回数券）、監視機器等費用が指定管理候補者選定時に提出された事業計画を継続的に下回っており、結果として指定管理者に相応の利益が発生している。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧や施設所管課への質問を実施した結果、指定管理候補者選定時の事業計画について、過去実績との比較が行われていなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 28【指摘 3】 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 3）を識別している。 |
| 当施設では、指定管理業務に係る委託料、管理費（駐車券、回数券）、監視機器等費用が指定管理候補者選定時の事業計画を継続的に下回っており、結果として指定管理者に相応の利益が発生していた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧等を実施した結果、指定管理料の根拠となる事業計画と過去実績との比較検討が行われていなかった。<br>施設所管課においては、指定管理料を決定する際に事業計画と過去実績との比較や過去実績の内容検討を行う必要がある。当該検討の結果、過去実績やそれを基に作成された事業計画に不自然な点がある場合（過去に多額の収支差額が発生している、過去の収支差額が常にゼロである等）は、その原因に応じて適宜指定管理者に事業計画の見直しを指示し、指定管理料に重大な過不足が生じないようにする必要がある。 | |

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の収入は、指定管理料である。なお、指定管理者は多額の収支を伴う自主事業は行

っていない。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費、管理保守費である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費については、大部分が電気料（高圧契約）であるが、大規模施設であること、24 時間営業であること、施設所管課と協議しながら順次 LED 化を進めていること等を勘案すると、重大な問題は認められなかった。管理保守費については、自動精算機メーカーが限られており価格競争が起きにくいこと等を勘案すると、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。

一方で、当施設では指定管理業務に係る委託料、管理費（駐車券、回数券）、監視機器等費用が指定管理候補者選定時に提出された事業計画を継続的に下回っており、結果として指定管理者に相応の利益が発生していた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 29【指摘 9】 | 多額の収支差額が発生する原因の検討 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |
| 当施設では、指定管理業務に係る委託料、管理費（駐車券、回数券）、監視機器等費用が指定管理候補者選定時の事業計画を継続的に下回っており、結果として指定管理者に相応の利益が発生していた。指定管理料は事業計画の施設管理費見込額と同額になるように計算されているため、指定管理業務で多額の収支差額が発生するということは、指定管理業務が当初の計画通りに行われていないことを意味する。<br>施設所管課においては、年度報告書で多額の収支差額が生じている場合はその理由を検討する必要がある。また、検討の結果、指定管理業務の実施状況や報告内容に問題が認められる場合は、以下のような対応をとる必要がある。<br>● 指定管理料が妥当な水準になるよう見直す<br>● 指定管理者に業務の範囲や内容の見直しを指導する（例：機能維持や利用者満足度向上のために必要な修繕を実施させる、利用促進のためイベントや広告宣伝を増加させる等）<br>● 報告内容に誤りがある場合は修正を指導する（例：本社管理費の配賦漏れ等） | |

オ. 過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## ４． 中央児童館

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 富山市新富町一丁目 2 番 3 号 |
| 所管部署 | こども支援課 |
| 関連条例等 | 富山市児童館条例及び同条例施行規則 |
| 条例に定める施設の目的 | 児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）第 35 条第 3 項に基づき、児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、情操を豊かにするため施設を設置する |
| 施設の主な建物の概要 | 主な建物：CiC ビル 5 階<br>建築年：H3<br>耐用年数：50<br>残存年数：20<br>延床面積（㎡）：546.08<br>建設費（千円）：－ |
| 開館期間 | 休館日：　12 月 29 日～1 月 3 日、8 月と 12 月以外の各月第 3 火曜日、2 月の第 3 火曜日の翌日<br>開館時間：　10:00～18:00 |
| 公共施設マネジメント方針 | ＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「幼児・児童施設（児童館）」については、利用圏域等を踏まえると、現在の施設数を維持することが必要と考えられるが、利用者数等を勘案し、各施設の面積を維持又は縮小し効率化を図る。 |
| | ＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | 学校法人国際学園<br>所在地：　神奈川県横浜市青葉区さつきが丘 8 番 80<br>代表者：　宮澤　保夫<br>事業概要：　教育基本法、学校教育法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に従い、学校教育及び保育を行う。<br>富山市との関係：　特記事項なし。 |
| 指定管理業務の概要 | ● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務 |
| 指定期間 | 6 年間（平成 30 年度～令和 5 年度）<br>※当施設は平成 31 年 3 月に開設されており、平成 30 年度は 10 日間のみ運営されている。 |
| 指定管理料 | 各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（平成 30 年度締結の基本協定書）。 |

<table>
<tr><td></td><td>
単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>2,400</td><td>19,733</td><td>20,242</td><td>20,487</td><td>20,922</td><td>21,224</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数 3 者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>使用料が無料の施設であり該当無し。</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>
● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>
● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。
<br>単位：千円
<table>
<tr><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr>
<tr><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者が外郭団体以外であるため）。</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>
指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>日常の活動、行事</td><td>季節に応じた工作教室、運動、ゲーム、読書等を行う</td><td>月 1～2 回、小学校低学年 20～30 人を対象とする。経費は指定管理者が負担する</td></tr>
<tr><td>各種教室及びクラブ</td><td>体操教室、親子ヨガ教室、パソコン教室、クッキング教室等を開催する</td><td>年間 6～12 回開催する。参加者からは実費相当を徴収する</td></tr>
<tr><td>親子サークル</td><td>ちびっこクラブ、わかばクラブ、育児講座を開催し子育てのアドバイスを行う</td><td>毎月 1 回、小学生～高校生の保護者 20 人程度を対象とする（育児講座は予約制）</td></tr>
<tr><td>地域との交流事業</td><td>乳幼児と中高校生のふれあい会、とやままつりに参加するよさこいチームの結成等を行う</td><td>ふれあい会は年 3 回程度実施。それ以外の交流事業はイベント毎に実施する</td></tr>
<tr><td>ボランティア育成支援事業</td><td>新入生歓迎会、七夕会、ハロウィン、節分、お別れ会等をバックアップする</td><td>児童が自ら行う左記イベントを支援する</td></tr>
<tr><td>環境・共生に関する講演会</td><td>保護者向け、小中学生向け、高校生向けのセミナーや講演会を実施する</td><td>年数回程度を想定</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>
指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>
● 星槎大学出張ミニ講座の開設（自然環境、国際関係、教育心理）<br>
自然環境講座は、小学生～大人を対象に富山駅南図書館での調べ学習と星槎大学教授による指導講義を行う。教育心理講座では、子育て支援センタ
</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | ー等と連携して発達障害のシンポジウムや学習支援員の養成等を行う。<br>● 高校生発「やっぱり富山最高！」コンテストの開催<br>国際交流センターと連携して広く富山県内の高校生が参加できるイベントを計画するとともに、地域のお祭りに積極的に係る高校生のプロジェクトチームを結成する等、駅前に高校生が集う場所づくりを目指す。<br>● 利用促進を通じた付加価値向上<br>乳幼児親子や中学生・高校生の利用を促進するとともに、地域の方々に地域交流の拠点として利用できることを知ってもらうため、広報媒体を活用した広告活動（HP 開設、地域広報誌、行事チラシ、公共施設の掲示板等の活用）、地域住民との交流機会を活用した広報活動（地域行事への参加等）を実施する。 |

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 児童館 | 無料 | 1 | | 1,173 | 27,828 | 15,920 | 16,610 |

＜補足コメント＞

※1　利用者数について

当施設は、富山駅前のにぎわい創出を兼ねて平成 31 年 3 月に開館した。利用者は近隣小学校の児童が多いが、休日は富山駅近辺の商業施設を利用する県内各地の家族連れで賑わっている。

令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和 2 年 4 月 15 日～5 月 19 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 26 日）や感染拡大防止のための利用制限（同時利用を 15 組、1 回の利用時間を 1 時間に制限）等により利用者数が減少している。一方で、足元では駅前の人出回復等により利用が活発になっており、令和 4 年 8 月単月では前年同月比で利用者数が倍増している。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | | － | － | － | － |
| **a.歳入実績合計** | | | － | － | － | － |
| 委託料（指定管理料） | 2 | | 2,400 | 19,733 | 20,242 | 20,487 |
| **b.歳出実績合計** | | | **2,400** | **19,733** | **20,242** | **20,487** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | | **▲2,400** | **▲19,733** | **▲20,242** | **▲20,487** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | | **▲2,400** | **▲19,733** | **▲20,242** | **▲20,487** |
| **e.予実差異(c-d)** | | | **－** | **－** | **－** | **－** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設は使用料金が無料であり該当無し。

※2　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | | 2,400 | 19,733 | 20,242 | 20,487 |
| **a.収入合計** | | | **2,400** | **19,733** | **20,242** | **20,487** |
| 人件費 | 2 | | 1,343 | 11,952 | 12,470 | 11,810 |
| 光熱水費 | | | 19 | 729 | 923 | 888 |
| 修繕料 | | | － | 854 | 17 | 233 |
| 業務委託料 | | | 21 | 1,308 | 1,375 | 1,170 |
| 法人管理費 | 3 | | 479 | 3,195 | 3,622 | 4,292 |
| その他の支出 | | | 538 | 1,695 | 1,835 | 2,094 |
| **b.支出合計** | | | **2,400** | **19,733** | **20,242** | **20,487** |
| **c.収支差額（a-b）** | **4** | | **－** | **－** | **－** | **－** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | | **▲2,400** | **▲19,733** | **▲20,242** | **▲20,487** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　人件費について

当施設で勤務している常勤職員 5 人、非常勤職員 3 人の人件費である。当施設の職員はシフト制で勤務しており、3～4 人体制で受付業務、利用者対応業務、施設管理業務、イベント対応業務等を行っている。

なお、指定管理者は当施設に本社管理費を配賦していない（下記※3 の法人管理費は当施設の収支差額がゼロになるように設定されているものであり、本社管理費を配賦しているものではない)。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 1,476 千円であり、非常勤職員が相応にいることを勘案すると大きな問題は認められない。

※3　法人管理費について

指定管理者は、当施設の収支差額がゼロになるように法人管理費を計上している。

※4　収支差額について

上記※3 のとおり、法人管理費で収支差額を調整しているため、収支差額は常にゼロになっている。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、平成 5 年まで旧富山市立図書館内に存在していたが、図書館の移転に伴って長期間閉館していた。その後、平成 31 年に駅前の賑わい創出目的で現在地（CiC ビル 5 階）に再開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設を含む児童館については、現在の施設数を維持しつつ面積を維持又は縮小し効率化を図る方針が示されている。

当施設は、児童館として幼児室や遊戯室を備えている。令和 2 年度以降はコロナ禍による富山市の施設の一斉休業や施設の利用制限等により利用者数が減少していたが、足元では駅前の人出回復等により利用者数が増加している。一方で、少子化傾向により、長期的には利用者数の減少が予想されている。

当施設は、近隣小学校の児童による利用が多いが、休日は富山駅近辺の商業施設を訪れる県内各地の家族連れが利用している。当施設の利用者数の半数以上は休日利用である。また、CiC ビル 4 階には富山市子育て支援センターが入居しており、センターが閉館する 17 時以降に当施設の利用が急増する傾向にある。その他、他の児童館は年末年始以外開館しているが、当施設は CiC ビルの休館日に合わせて休館日を設定している。

富山市は、小学校区単位で「子ども会（地域児童健全育成事業)」や「放課後児童クラブ」を運営しており、児童館が無い地域であっても放課後児童に対して相応のサポートを提供できている。一方で、当施設は駅前に立地しており、家族連れ等を中心に相応の利用者数を維持できている。また、児童館特有の存在意義（定期的にイベントを開催できる、不登校児童の受入場所となり得る等）は依然として健在である。加えて、昨今は中学校教員の働き方改革が叫ばれており、土日の部活動顧問を児童館に代替してもらう等、活用の場が広がる可能性がある。

このように、当施設はその利用実態や役割の面から存在意義は十分に認められる。一方で、富山市の児童館全体にいえることだが、施設やイベントの周知方法、利用者の利便性向上といった点で改善の余地が認められる。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 30【意見 14】 | HP の機能向上 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 富山市は、当施設の概要やイベント等の情報を富山市の HP（育サポとやま）等を通じて発信している。一方で、当該 HP は機能や使い勝手の面で改善の余地が認められる。<br>施設所管課においては、当該 HP を運営していくうえで指定管理者や施設利用者から意見を聴取し、機能や使い勝手を継続的に向上させていくことが望まれる。例えば、現在、イベントの申込みは電話か受付窓口でのみ可能となっているが、HP 上で全児童館のイベントを一覧化 | |

| |
|---|
| しwebで申込みができるようにすることが考えられる（その場合、参加者多数の際には先着順ではなく抽選に統一する）。なお、HPの機能や運用方法について児童館の指定管理者（3者）の見解が相違する場合は、他の公の施設と同様に指定管理者に施設独自のHPの作成を許可し、育サポとやまには当該HPのリンクを張ることも考えられる。その他、HPを変更する際には富山市芸術創造センターの指定管理者が作成しているHPが参考になるため、適宜確認されたい。 |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第4章 第1部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の歳入は、施設の使用料金が無料であるため発生していない。

富山市の歳出は、指定管理料のみである。指定管理料は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第4章 第1部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っており、応募者数3者の中から国際学園が指定管理者に選定されている。指定管理者は横浜市の学校法人であるが、平成14年に富山市に通信制高校を開校し、平成15年から富山市で学童保育を開始している。指定管理者は、当施設が入館しているCiCビルの5階で通信制高校を経営しており、これらを一体運営することで効果的なイベントの開催や効率的な業務運営を実現している。

一方で、下記「(2)エ．指定管理業務の検討結果」に記載のとおり、指定管理者は法人管理費を調整することにより指定管理業務の収支差額が常にゼロになるように調整していた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧や施設所管課への質問を実施した結果、指定管理候補者選定時の事業計画について、過去実績の確認が行われていなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 31【指摘3】 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的 |

| | |
|---|---|
| | 運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 3）を識別している。 |
| 指定管理者は、法人管理費を調整することにより指定管理業務の収支差額を常にゼロとして報告していた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧等を実施した結果、指定管理料の根拠となる事業計画と過去実績との比較検討が行われていなかった。なお、当施設の指定管理料は他の児童館と比較して 1.5 倍程度になっているが、法人管理費の調整が無かった場合、指定管理業務で毎期 3～4 百万円程度の利益が発生していた可能性がある。<br>施設所管課においては、指定管理料を決定する際に事業計画と過去実績との比較や過去実績の内容検討を行う必要がある。当該検討の結果、過去実績やそれを基に作成された事業計画に不自然な点がある場合（過去に多額の収支差額が発生している、過去の収支差額が常にゼロである等）は、その原因に応じて適宜指定管理者に事業計画の見直しを指示し、指定管理料に重大な過不足が生じないようにする必要がある。 | |

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料である。なお、指定管理者は当施設でイベントや教室等の自主事業を行っているが、参加料は無料となっている。

指定管理者の主な支出は、人件費である。児童館には教員や保育士等の有資格者を最低 2 名配置する必要があるが、指定管理者は管理業務仕様書に定められたこれらの人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。

指定管理者は、学校法人を営んでいる強みを生かして多様性のある講師が多数のサークルや教室を開催している。令和 3 年度は、コロナ禍で一部開催できなかったものの、読み聞かせや科学実験等の行事を年 17 回 (25 回予定)、ジュニア体操やプログラミング等の各種教室を 11 教室 (登録制でそれぞれ年 7～10 回)、親子サークル「うさぎざ」を年 8 回（12 回予定)、親子サークル「こいぬざ」を年 15 回（24 回予定)、親子ふれあい活動を年 7 回（10 回予定）開催しており、特に親子サークルは大人気で倍率 2 倍弱の抽選となっている。また、富山市野外教育活動センターと連携して当施設特有のイベント「つくってみよう」や「ハンドメイドクリスマス」を開催している。その他、指定管理者の職員には元小学校教員や元子育て支援員が多数おり、子育て相談が充実していることから利用者満足度は高くなっている。

このように、指定管理者は自身の強みを生かした特徴ある施設運営を行っているが、一方で、他の児童館を運営する指定管理者との連携の面で課題が認められた。また、指定管理者は、境界知能の児童に対する対応ノウハウを豊富に有しているが、その強みを十分に発揮できていなかった。加えて、指定管理者は法人管理費を使用して収支差額がゼロになるように調整していた。

そのため、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 32【意見 15】 | 指定管理者同士の連携強化 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 富山市には当施設を含めて 13 の児童館が存在し、指定管理者のほか社会福祉事業団（外郭団体）とわかくさ福祉会が指定管理業務を請け負っている。これらは、年 1 回 9 月頃に 3 館長会議や厚生委員会議等を開催し情報交換を行っているが、時期が 9 月に偏っている、頻度が少ない、現場の若手担当者の参加が少ない等の課題が認められる。<br>施設所管課においては、指定管理者が児童館をより効果的、効率的に運営できるようにするため、指定管理者同士の情報交換の実効性を高める工夫を行うことが望まれる。例えば、現在開催されている会議の頻度を増やす、課題や良事例を共有する目的で現場担当者レベルの会議を新設する等の対応が考えられる。 | |
| 33【意見 16】 | 指定管理者の強みを生かした市民サービスの拡充 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 指定管理者は境界知能児童の対応ノウハウを豊富に有しているが、現状では児童館で親のみを対象としたイベントを開催することが認められておらず、その強みを生かし切れていない。<br>施設所管課においては、指定管理者と連携しながら、境界知能児童やその親に対するサービスを拡充する余地がないか検討することが望まれる。例えば、不登校児の親に対応するセミナーや親子で行うソーシャルスキルトレーニング等を開催することが考えられる。 | |
| 34【指摘 9】 | 収支差額がゼロとなる原因の検討 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |
| 指定管理者は、法人管理費を調整することにより指定管理業務の収支差額を常にゼロで報告していた。なお、当施設の指定管理料は他の児童館と比較して 1.5 倍程度になっているが、法人管理費の調整が無かった場合、指定管理業務で毎期 3～4 百万円程度の利益が発生していた可能性がある。<br>施設所管課においては、年度報告書で収支差額が継続的にゼロになっている場合はその理由を検討する必要がある。また、検討の結果、指定管理業務の実施状況や報告内容に問題が認められる場合は、以下のような対応をとる必要がある。<br>● 指定管理料が妥当な水準になるよう見直す<br>● 指定管理者に業務範囲や業務内容の見直しを指示する（例：施設の機能維持や利用者満足度の向上のため必要な修繕を実施させる、施設の利用促進のためイベントや広告宣伝を増加させる等）<br>● 報告内容に誤りがある場合は修正を指導する | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## ５． 山室児童館

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 富山市高屋敷 573 番地 5 |
| 所管部署 | こども支援課 |
| 関連条例等 | 富山市児童館条例及び同条例施行規則 |
| 条例に定める施設の目的 | 児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）第 35 条第 3 項に基づき、児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、情操を豊かにするため施設を設置する |
| 施設の主な建物の概要 | 主な建物：山室児童館／建築年：S53／耐用年数：47／残存年数：4／延床面積（㎡）：300.91／建設費（千円）：38,086 |
| 開館期間 | 休館日：　12 月 29 日～1 月 3 日<br>開館時間：　月～金は 9:30～18:00、土、日、祝日は 9:30～17:00 |
| 公共施設マネジメント方針 | ＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「幼児・児童施設（児童館）」については、利用圏域等を踏まえると、現在の施設数を維持することが必要と考えられるが、利用者数等を勘案し、各施設の面積は維持又は縮小し効率化を図る。 |
| | ＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象となっており、機能維持の方針は「継続」となっている。また、機能の提供形態は「維持」、「複合化」が検討されており、整備手法は「修繕」、「長寿命化（大規模改修)」、「建替え」が検討されている。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | （社福）富山市社会福祉事業団<br>所在地：　富山市蜷川 15 番地<br>代表者：　今本　雅祥<br>事業概要：　第一種社会福祉事業（母子生活支援施設、児童養護施設、養護老人ホームの運営)、第二種社会福祉事業（障害者福祉プラザ、児童館、老人福祉センターの運営等）その他社会福祉の増進のために行う事業<br>富山市との関係：　外郭団体 |
| 指定管理業務の概要 | ● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務 |
| 指定期間 | 5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度） |
| 指定管理料 | 各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書） |

<table>
<tr><td></td><td>単位：千円<br><table><tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>指定管理料</td><td>2,572</td><td>2,632</td><td>2,939</td><td>2,889</td><td>2,939</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数 1 者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>使用料が無料の施設であり該当無し。</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円<br><table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。<br><table><tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr><tr><td>日常の活動、行事</td><td>季節に応じた工作教室、運動、ゲーム、読書等を行う</td><td>月 1～2 回、30～120 人を対象とする。経費は指定管理者が負担</td></tr><tr><td>各種教室及びクラブ</td><td>体操教室、英語教室、クラフト教室等を開催する</td><td>年 4～7 回開催する。経費は指定管理者が負担</td></tr><tr><td>親子サークル</td><td>親子サークル（運動、手遊び、おもちゃ作り、音楽遊び、劇の上演等）、ベビーマッサージ等を実施する</td><td>親子サークルは年 34 回、ベビーマッサージは年 8 回、0 歳以上の乳幼児と保護者を対象とする。経費は指定管理者が負担</td></tr><tr><td>地域との交流、ボランティア育成支援事業</td><td>児童館まつりのコーナー運営、各種教室の手伝い、中学生～教員実習生の受入等を実施</td><td>経費は指定管理者が負担</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「当施設は児童厚生施設として地域において児童に健全な遊び場を提供し、健康を推進して豊かな情操を育むことを目標にしております。収益向上の提案は特に考えておりません」となっている。</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設 | 無料 | 1 | 14,564 | 16,393 | 15,800 | 7,884 | 9,453 |

＜補足コメント＞

※1　利用者数について

当施設は、山室小学校区に所在するが、富山市内の他の児童館と比べると小学校から離れた場所に立地しているため、利用者数はやや少なめになっている。

令和2年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（令和2年4月15日～5月19日、令和3年8月18日～9月26日）や各種教室の自粛等により利用者数が減少している。一方で、足元では一部の教室等が再開されたこともあり利用者数が回復基調にある。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| **a.歳入実績合計** | | － | － | － | － | － |
| 委託料（指定管理料） | 2 | 2,453 | 2,453 | 2,453 | 2,099 | 2,572 |
| 補助金（指定管理運営） | 3 | 7,689 | 7,790 | 7,768 | 7,769 | 9,054 |
| **b.歳出実績合計** | | **10,142** | **10,243** | **10,221** | **9,869** | **11,626** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲10,142** | **▲10,243** | **▲10,221** | **▲9,869** | **▲11,626** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲10,159** | **▲10,245** | **▲10,262** | **▲10,225** | **▲11,992** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **16** | **1** | **40** | **355** | **365** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設は使用料金が無料であり該当無し。

※2　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和2年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。

※3　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 2,453 | 2,453 | 2,453 | 2,359 | 2,572 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 7,689 | 7,790 | 7,768 | 7,769 | 9,054 |
| その他事業収益 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **a.収入合計** | | **10,142** | **10,243** | **10,221** | **10,129** | **11,627** |
| 人件費 | 3 | 7,803 | 7,905 | 7,878 | 8,157 | 9,158 |
| 光熱水費 | | 446 | 443 | 463 | 444 | 472 |
| 修繕料 | | 79 | 57 | 177 | 156 | 67 |
| 業務委託料 | | 105 | 64 | 105 | 66 | 166 |
| 法人管理費 | 4 | 903 | 903 | 903 | 903 | 903 |
| 指定管理料返金等（富山市） | 5 | － | － | － | 260 | － |
| その他の支出 | | 736 | 794 | 628 | 697 | 593 |
| **b.支出合計** | | **10,072** | **10,166** | **10,154** | **10,683** | **11,359** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **70** | **77** | **67** | **▲554** | **268** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲10,072** | **▲10,166** | **▲10,154** | **▲10,422** | **▲11,359** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

上表では補助金と職員人件費との間に差異が生じているが、これは人件費に外部講師への謝金等の補助金対象外支出が含まれているためであり、問題ない。

※3　人件費について

当施設で勤務している非常勤職員 4 人の人件費である。当施設の職員はシフト制で勤務しており、2 人体制で受付業務、利用者対応業務、施設管理業務、イベント対応業務等を行っている。

なお、指定管理者の本部事務局で勤務している職員（令和 4 年 3 月末時点で 5 名）の人件費は、法人管理費として別科目で配賦計上されている。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 2,289 千円であり、非常勤職員で対応していることを勘案すると大きな問題は認められない。

※4　法人管理費について

指定管理者は、富山市の公の施設（障害者福祉プラザ、愛育園、慈光園、和光寮、児童館、老人福祉施設）の指定管理業務のみを実施している。各施設に直接紐づく人件費や管理経費は施設単位で集計しているが、本部事務局の人件費や本部経費はその総額を法人管理費として各施設に配賦している。

指定管理者が作成した令和 3 年度の「法人管理費拠点別内訳表」を査閲した結果、法人管理費の予算総額（32,723 千円）と決算総額（30,394 千円）は概ね近似しており、重

大な配賦過不足は認められなかった。一方で、各施設への配賦基準を指定管理者に質問した結果、「従来から同じ配賦率を使っており基準の根拠は不明である」との回答を得た。

※5　指定管理料返金等（富山市）について

指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を行っている。指定管理料の精算資料を査閲したが、計算誤り等の重大な問題は発見されなかった。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、昭和 53 年に現在地に開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設を含む児童館については、現在の施設数を維持しつつ面積を維持又は縮小し効率化を図る方針が示されている。

当施設は、児童館として幼児室や遊戯室を備えている。令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業や各種教室の自粛等により利用者数が減少していたが、足元では一部の教室等が再開されたこともあり利用者数が回復基調にある。一方で、少子化傾向により、長期的には利用者数の減少が予想されている。

当施設は、山室小学校の児童の利用が多いが、当該小学校がやや離れた場所に立地しているため他の児童館と比較して利用者数が少なくなっている。なお、従来は児童館ごとに開館時間が異なっていたが、令和 2 年度以降は開館時間を統一している。

富山市は、小学校区単位で「子ども会（地域児童健全育成事業）」や「放課後児童クラブ」を運営しており、児童館が無い地域であっても放課後児童に対して相応のサポートを提供できている。一方で、当施設は昭和 53 年に開設されて以来地元住民に親しまれており、老若男女を問わず幅広い層に利用されている（中学生が帰宅前に卓球やバトミントンで遊んでいく、子供の時に利用していたおばあさんが孫と一緒に遊んでいく等）。また、児童館特有の存在意義（定期的にイベントを開催できる、不登校児童の受入場所となり得る等）は依然として健在である。加えて、昨今は中学校教員の働き方改革が叫ばれており、土日の部活動顧問を児童館に代替してもらう等、活用の場が広がる可能性がある。

このように、当施設はその利用実態や役割の面から存在意義は十分に認められる。一方で、富山市の児童館全体にいえることだが、施設やイベントの周知方法、利用者の利便性向上といった点で改善の余地が認められる。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 35【意見 14】 | HP の機能向上 |

| 全般的運用状況 | 該当無し |
|---|---|
| 富山市は、当施設の概要やイベント等の情報を富山市の HP（育サポとやま）等を通じて発信している。一方で、当該 HP は機能や使い勝手の面で改善の余地が認められる。<br>施設所管課においては、当該 HP を運営していくうえで指定管理者や施設利用者から意見を聴取し、機能や使い勝手を継続的に向上させていくことが望まれる。例えば、現在、イベントの申込みは電話か受付窓口でのみ可能となっているが、HP 上で全児童館のイベントを一覧化し web で申込みができるようにすることが考えられる（その場合、参加者多数の際には先着順ではなく抽選に統一する）。なお、HP の機能や運用方法について児童館の指定管理者（3 者）の見解が相違する場合は、他の公の施設と同様に指定管理者に施設独自の HP の作成を許可し、育サポとやまには当該 HP のリンクを張ることも考えられる。その他、HP を変更する際には富山市芸術創造センターの指定管理者が作成している HP が参考になるため、適宜確認されたい。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の歳入は、施設の使用料金が無料であるため発生していない。

富山市の歳出は、指定管理料と人件費補助金である。指定管理料と人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は 1 者のみであり、外郭団体である富山市社会福祉事業団が指定管理者に選定されている。当施設の指定管理者は、以前公募で民間事業者に変更されたが、設備や備品の管理に不備がありクレームが多発したため、再び富山市社会福祉事業団に戻された経緯がある。指定管理者は、長年富山市の公の施設（障害者福祉プラザ、愛育園、慈光園、和光寮、児童館、老人福祉施設）の指定管理業務を担当しており、蓄積されたノウハウにより安定的かつ低コストで業務を遂行できている。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算

方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ. 指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ. 指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料と人件費補助金である。なお、指定管理者は当施設でイベントや教室等の自主事業を行っているが、参加料は無料となっている。

指定管理者の主な支出は、人件費である。児童館には教員や保育士等の有資格者を最低 2 名配置する必要があるが、指定管理者は管理業務仕様書に定められたこれらの人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。

指定管理者は、富山市内の 11 児童館を一体で運営することで、ノウハウの共有を通じた効果的なイベントの開催や人事異動等を通じた効率的な業務運営を実現している。また、当施設は老朽化が進み修繕案件が多発しているが、指定管理者は施設所管課と緊密に連携しながら対応しており、重大なクレーム等は発生していない。

このように、指定管理者は自身の強みを生かした特徴ある施設運営を行っているが、一方で、他の児童館を運営する指定管理者との連携の面で課題が認められた。また、指定管理者は、事務局の人件費や本部経費を法人管理費として各施設に配賦しているが、各施設への配賦基準については従来から同じ配賦率を使っており根拠が不明であった。

そのため、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 36【意見 15】 | 指定管理者同士の連携強化 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 富山市には当施設を含めて 13 の児童館が存在し、指定管理者のほか国際学園とわかくさ福祉会が指定管理業務を請け負っている。これらは、年 1 回 9 月頃に 3 館長会議や厚生委員会議等を開催し情報交換を行っているが、時期が 9 月に偏っている、頻度が少ない、現場の若手担当者の参加が少ない等の課題が認められる。<br>施設所管課においては、指定管理者が児童館をより効果的、効率的に運営できるようにするため、指定管理者同士の情報交換の実効性を高める工夫を行うことが望まれる。例えば、現在開催されている会議の頻度を増やす、課題や良事例を共有する目的で現場担当者レベルの会議を新設する等の対応が考えられる。 | |
| 37【指摘 9】 | 本社管理費の配賦基準の見直し |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |

| |
|---|
| 指定管理者は、本部事務局の人件費や経費を法人管理費として各指定管理施設に配賦しているが、各施設への配賦基準については従来から同じ配賦率を使っており根拠が不明であった。<br>施設所管課においては、法人管理費の配賦基準を活動実態に即した適正な方法に見直すよう指定管理者に指導する必要がある。 |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## ６． 南老人福祉センター

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市今泉 88 番地 1</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>長寿福祉課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市老人福祉センター条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>老人福祉法（昭和 38 年法律第 133 号）第 15 条第 5 項に基づき施設を設置する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積（㎡）</th><th>建設費（千円）</th></tr>
<tr><td>南老人福祉センター</td><td>S55</td><td>47</td><td>6</td><td>793.10</td><td rowspan="2">227,943</td></tr>
<tr><td>付設ホール</td><td>H12</td><td>34</td><td>13</td><td>170.99</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>開館期間</td><td>休館日：　12 月 29 日～1 月 3 日<br>開館時間：　9:30～17:00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「高齢者福祉施設（老人福祉センター及び老人憩いの家）」については、当面は高齢者人口の増加が見込まれるが、2040 年代後半をピークに高齢者人口も減少に転ずることが予想されていることや、高齢者のニーズも多様化してきていること等を踏まえ、施設の更新は行わないこととする。具体的には、入浴に必要な機器等を更新しなければ運営できない場合は入浴施設を廃止する。また、その他の機能についても大規模修繕が必要な場合や利用者が一定の基準以下となった場合は、施設自体を廃止する。</td></tr>
<tr><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象となっており、機能維持の方針は「継続」となっている。また、機能の提供形態は「維持」、「一部用途変更」、「廃止・休止」が検討されており、整備手法は「修繕」、「解体」が検討されている。その他、補足説明で「入浴に必要な機器等の更新は行わない。また、施設の利用状況を考慮し施設廃止を行う」とのコメントがある。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | （社福）富山市社会福祉事業団<br>所在地：　富山市蜷川 15 番地<br>代表者：　今本　雅祥<br>事業概要：　第一種社会福祉事業（母子生活支援施設、児童養護施設、養護老人ホームの運営）、第二種社会福祉事業（障害者福祉プラザ、児童館、老人福祉センターの運営等） |

<table>
<tr><td></td><td>その他社会福祉の増進のために行う事業<br>富山市との関係：　外郭団体</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>42,442</td><td>42,520</td><td>42,890</td><td>42,938</td><td>42,986</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数 1 者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円
<table>
<tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>2,500</td><td>2,500</td><td>2,500</td><td>2,500</td><td>2,500</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）。</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では「該当無し」となっている。</td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「該当無し」となっている。</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設利用 | ＜施設入館者＞<br>入館料　100 円 | 1 | 38,094 | 35,960 | 33,172 | 8,655 | 10,470 |
| | ＜個別利用＞<br>会議室　660 円～<br>茶室　440 円～<br>教養室　440 円～ | 2 | － | － | － | － | － |
| シニアライフ講座 | ＜講座受講料＞<br>趣味コース　3,600 円<br>健康コース　3,600 円 | 3 | 3,238 | 2,989 | 2,709 | － | － |

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ※歳入は、当施設とは別に予算化されている | | | | | | |
| 福祉バス | 無料 | 4 | 510 | 375 | 349 | 162 | － |
| 健康相談 | 無料 | 5 | 397 | 833 | 1,392 | 5 | 6 |
| 機能回復訓練 | 無料 | 6 | 1,249 | 1,443 | 1,026 | 25 | － |
| 電位治療器 | 無料 | 7 | 10,096 | 10,580 | 8,852 | 50 | － |

＜補足コメント＞

※1　施設利用者数について

当施設の利用者は主に近隣に居住する高齢者であり、入館料 100 円を支払うと入浴や集会場等を自由に利用できる。

令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和 2 年 4 月 3 日～6 月 9 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 30 日）や各種教室の自粛、集会室の利用制限等により利用者数が大幅に減少している。足元においても集会室の利用制限は解除の見通しが立っておらず、利用者数の大幅回復は見込みにくくなっている。

その他、当施設は、運動器具が設置されている機能回復訓練室やカラオケが設置されている集会室があるが、何れもコロナ禍で利用を大幅に制限しているため利用者が殆どいなくなっている。なお、施設入館者にはシニアライフ講座への参加人数も含んでいる。

※2　個別施設の利用者数について

条例で入館料以外に別途使用料金が定められている会議室、教養室、茶室の利用者数である。

会議室、教養室、茶室は、過去 5 年間で一度も一般利用されておらず使用料金は発生していない。なお、現地視察の結果、会議室にはバンパー遊技台が設置されており会議に利用できなくなっていた。また、茶室は、コロナ禍前は指定管理者が指定管理業務として開催するシニアライフ講座（抹茶教室）で利用されていた。

※3　シニアライフ講座について

指定管理者が指定管理業務として開催する事業の 1 つであり、高齢者向けの習い事教室である。当施設で開催された講座の参加人数については、当施設の利用者数として集計している。シニアライフ講座の関連経費については、当施設の歳出として含まれており、講座受講料については、当施設の歳入に含まれていない。

令和 2 年度及び令和 3 年度については、コロナ禍でシニアライフ講座を中止しているため、利用者がいなくなっている。

※4　福祉バスの利用について

施設所管課が事業者と委託契約を締結し運行していた無料送迎バスの利用者である。

令和 2 年度に運行を委託していた民間事業者が撤退し、その後代替の事業者が見つからなかったため、現在は運行が休止されている。

※5　健康相談の利用者数について

当施設の利用者に対して、嘱託医による健康相談や看護師（非常勤臨時職員）による

保健相談、理学療法士による機能回復訓練を行うものである。

令和 2 年度以降は、コロナ禍で施設の利用を制限したため、利用者が殆どいなくなっている。

※6　機能回復訓練の利用者数について

機能回復訓練室で自主的に訓練を行った利用者数である。

令和 2 年度以降は、コロナ禍で施設の利用を制限したため、利用者が殆どいなくなっている。

※7　電位治療器の利用者数について

機能回復訓練室に設置されている電位治療器の利用者数である。

令和 2 年度以降は、コロナ禍で施設の利用を制限したため、利用者が殆どいなくなっている。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 3,382 | 3,198 | 2,958 | 865 | 1,047 |
| 目的外使用料 | 2 | 40 | 40 | 40 | 40 | 0 |
| **a.歳入実績合計** | | **3,422** | **3,238** | **2,998** | **905** | **1,047** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 19,560 | 19,560 | 19,560 | 1,573 | 22,086 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 18,193 | 19,603 | 19,673 | 19,618 | 18,664 |
| **b.歳出実績合計** | | **37,753** | **39,163** | **39,233** | **21,191** | **40,750** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲34,331** | **▲35,925** | **▲36,235** | **▲20,285** | **▲39,703** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲26,090** | **▲27,659** | **▲29,505** | **▲30,699** | **▲39,406** |
| **e.予実差異(c-d)** | **5** | **▲8,241** | **▲8,266** | **▲6,730** | **10,413** | **297** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

施設の入館料（100 円）であり、利用者数の増減により変動する。利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　目的外使用料について

主な内訳は「自動販売機設置に係る目的外使用料」である。令和 2 年度以前は指定管理者が施設内に自動販売機を設置していたため目的外使用料を徴収していたが、令和 2 年度中に採算性の問題から自動販売機が撤去されたため、目的外使用料が発生しなくなった。なお、令和 3 年度以降は敷地内に設置されている電柱について目的外使用料を徴収し始めた。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定

められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。

※4　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

※5　予実差異について

施設所管課は、所管する 5 つの老人福祉センターと 2 つの老人憩いの家を一体で予算化しているが、令和 2 年度までは施設毎の歳入予算を計算していなかった。そのため、上表でも令和 2 年度までの「予算額（歳入-歳出)」を計算する際に便宜的に 5 施設分の歳入予算合計額を使用しており、予算と実績の差額が大きくなっている。令和 3 年度以降は、施設毎の歳入予算を計算しているため、予算と実績は概ね近似した数字になっている。

その他、令和 2 年度は、上記※3 のとおり指定管理料の返金があったこと等により、多額の予算・決算差額が発生している。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 19,560 | 19,560 | 19,560 | 13,646 | 22,086 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 18,193 | 19,603 | 19,673 | 19,618 | 18,664 |
| その他の収入 | 3 | 62 | 62 | 171 | 40 | － |
| **a.収入合計** | | **37,815** | **39,226** | **39,405** | **33,304** | **40,750** |
| 人件費 | 4 | 18,470 | 19,864 | 19,919 | 20,207 | 19,316 |
| 光熱水費 | 5 | 5,733 | 5,945 | 5,750 | 3,638 | 3,955 |
| 燃料費 | 6 | 3,321 | 3,416 | 3,612 | 2,145 | 2,972 |
| 修繕料 | | 3,169 | 2,773 | 2,440 | 2,516 | 2,746 |
| 業務委託料 | 7 | 2,384 | 2,337 | 2,477 | 2,419 | 2,335 |
| 法人管理費 | 8 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 |
| 指定管理料返金等（富山市） | 9 | － | － | － | 12,073 | － |
| その他の支出 | | 1,546 | 1,702 | 1,935 | 1,843 | 1,345 |
| **b.支出合計** | | **35,748** | **37,162** | **37,258** | **45,965** | **33,794** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **2,067** | **2,064** | **2,147** | **▲12,661** | **6,956** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲35,686** | **▲37,100** | **▲37,086** | **▲33,852** | **▲33,794** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

※3　その他の収入について

当施設に自動販売機を設置するに当たって指定管理者と設置業者が協議し、電気代相当額を指定管理者が収受することになったため、当該金額が計上されている。

令和2年度に自動販売機が撤去されたため、発生しなくなっている。

※4　人件費について

当施設で勤務している常勤職員2人、非常勤職員5人の人件費である。当施設の職員はシフト制で勤務しており、利用者が少ない月曜日は2人体制で、月曜日以外は3～4人体制で受付業務等を実施している。常勤職員の主な職務は、受付業務、利用者対応業務、事務業務である。非常勤職員（看護師等）の主な職務は、保健相談、入館者の健康管理、リハビリ指導等である。非常勤職員（業務員）の主な職務は、受付業務、館内清掃業務等である。

なお、指定管理者の本部事務局で勤務している職員（令和4年3月末時点で5名）の人件費は、法人管理費として別科目で配賦計上されている。

令和3年度の1人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は2,759千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

※5　光熱水費について

令和2年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和2年4月3日～6月9日、令和3年8月18日～9月30日）があったため発生額が減少している。

※6　燃料費について

当施設は、入浴施設があるため燃料費は比較的多額となっている。

令和2年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和2年4月3日～6月9日、令和3年8月18日～9月30日）があったため発生額が減少している。

※7　業務委託料について

令和3年度の主な内訳は、「施設警備費498千円」、「館内清掃費1,320千円」、「ごみ収集費311千円」等である。指定管理者は、5つの老人福祉センターと2つの老人憩いの家についてこれらの施設管理業務委託を一括契約し、契約総額を施設別の見積金額に基づいて按分計上している。

令和3年度の業務委託料按分表を査閲したが、重大な問題は発見されなかった。

※8　法人管理費について

指定管理者は、富山市の公の施設（障害者福祉プラザ、愛育園、慈光園、和光寮、児童館、老人福祉センター、老人憩いの家）の指定管理業務のみを実施している。各施設

に直接紐づく人件費や管理経費は施設単位で集計しているが、本部事務局の人件費や本部経費はその総額を法人管理費として各施設に配賦している。

指定管理者が作成した令和 3 年度の「法人管理費拠点別内訳表」を査閲した結果、法人管理費の予算総額（32,723 千円）と決算総額（30,394 千円）は概ね近似しており、重大な配賦過不足は認められなかった。一方で、各施設への配賦基準を指定管理者に質問した結果、「従来から同じ配賦率を使っており基準の根拠は不明である」との回答を得た。

※9　指定管理料返金等（富山市）について

指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を行っている。指定管理料の精算資料を査閲したが、計算誤り等の重大な問題は発見されなかった。

**（2） 監査手続の実施結果と発見事項**

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

①　監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、昭和 55 年に地域の高齢者の健康増進、教養の向上等のための機会を提供する目的で開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設を含む老人福祉センターについては、入浴に必要な機器等の更新は行わず、施設の利用状況や大規模修繕の要否を考慮して適宜施設廃止の判断を行う方針が示されている。

当施設は、コロナ禍前から施設の老朽化や高齢者ニーズの変化（集団行動から個人行動への志向の変化、シニアライフ講座の講師代替わりによる受講者離れ等）により利用者数が漸減していた。そのような状況下で、コロナ禍により集会場の利用が制限され、カラオケをしながら飲食を楽しむという最大の機能が発揮できなくなった。また、送迎バスの中止やシニアライフ講座の中止により、現状は「近隣に住む 65 歳以上の高齢者が 100 円で利用できる入浴施設」という機能しか果たせておらず、施設の設置目的を達成できなくなっている。

一方で、当施設は運営にあたって多額の人件費や施設管理費が発生している。富山市は、当施設を含む 5 つの老人福祉センターを運営するにあたり、指定管理料と人件費補助金で 1 施設 30 百万円～40 百万円程度を支出しているが、利用者数が同程度でより運営負担が大きい児童館を 10 百万円～20 百万円程度で運営していることを考えると、老人福祉センターの運営支出は過大であると言わざるをえない。

このように、当施設は、利用者ニーズの変化、コロナ禍による機能の制限、多額の運営費支出等の問題を抱えており、存在意義に重大な疑義が生じている。また、機能別に見た場合、条例で使用料金が定められている会議室にバンパー遊技台が設置され、会議に利用できなくなっている。加えて、当施設は年末年始以外に休館日が無いが浴室清掃等により入浴ができない月曜日は利用

者が殆どいなくなっている。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 38【指摘 12】 | 施設廃止を見据えた対応方針の検討 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |

当施設を含む老人福祉センターは、富山市の公共施設等総合管理計画や第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン実行編において、「入浴に必要な機器等の更新は行わず、施設の利用状況や大規模修繕の要否を考慮して適宜施設廃止の判断を行う」方針が明確になっている。

当施設は、コロナ禍により利用者数が大きく減少しているが、コロナ禍前も利用者ニーズの変化や施設の老朽化により利用者数が漸減傾向にあった。また、当施設はコロナ禍により集会機能（集団でのカラオケや飲食）や教養機能（シニアライフ講座の開催）を制限しているが、高齢者がコロナの高リスク帯であることを勘案するとこれらの機能を完全に回復することは困難である可能性がある。加えて、富山市は、当施設を含む 5 つの老人福祉センターを運営するにあたり、指定管理料と人件費補助金合わせて 1 施設 30～40 百万円を支出しているが、利用者数が同程度でイベント開催等の運営負担が大きい児童館を 10 百万円～20 百万円程度で運営していることを考えると、老人福祉センターの運営支出は過大である可能性がある。

このように、当施設は施設の老朽化、利用者ニーズの変化、コロナ禍による機能の制限、多額の運営費支出等の問題を抱えており、存在意義に重大な疑義が生じている。

富山市は、限られた財源の中で時代のニーズにあったサービスを市民に広く提供する義務があり、その意味でも当施設に係る富山市の方針は妥当なものと考えられる。

施設所管課においては、当施設の廃止を見越して財政負担の軽減や市民サービス維持のため以下のような論点を検討しておく必要がある。

- 施設の機能や業務内容等を踏まえて人員体制の見直し要否を検討する
  （例：常勤職員 2 人、非常勤職員 5 人という人員体制が過大である可能性がある）
- 利用の大幅な回復が見込めない機能がある場合は、段階的な廃止の可否を検討する
  （例：看護師による健康相談など）
- 当施設の主要機能（入浴機能、教養機能、集会機能等）の代替先を検討する
  （例：高齢者入浴券の利用促進、公民館でのシニアライフ講座の開催可能性など）
- 当施設を廃止した場合の高齢者福祉予算の有効活用方法を検討する
  （例：コロナ禍でも利用者ニーズが旺盛な角川介護予防センターの機能拡充など）

| | |
|---|---|
| 39【指摘 13】 | 会議室の利用方針の整理 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |

当施設の会議室は条例で使用料金が設定されているが、現在はバンパー遊技台が 3 台設置されており会議に利用できなくなっている。なお、会議室は過去 5 年以上使用料が発生しておらず、長期間本来の目的（会議）で使用されていないと推察される。

施設所管課においては、会議室の利用実態や利用者ニーズを検討したうえで、本来の目的で使用するための現状復旧や施設機能の見直し（条例の改正）等の対応を行う必要がある。

| | |
|---|---|
| 40【指摘 11】 | 休館日の見直し |

| 全般的運用状況 | 該当無し |
|---|---|
| 当施設の休館日は条例で年末年始のみとされているが、清掃等で入浴ができない月曜日は利用者数が極端に少なくなっている。この点、利用者数が極端に少ない日に施設を開館した場合、市民サービスに比して過大な人件費や光熱水費が発生する可能性がある。<br>施設所管課においては、現在の利用実態を調査、分析し、住民サービスと財政負担とのバランスや条例改正と市民への周知に要する期間等を十分に検討したうえで、施設の開館日を利用実態に即した形に見直す必要がある。例えば、利用者数が極端に少なくなる月曜日は休館日とすることが考えられる。この点、八尾ゆめの森テニスコートや富山市パークゴルフ場は季節や曜日によって休業日や開業時間を弾力的に運用しているため、参考にされたい。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料（入館料）である、入館料はコロナ禍で利用者数が大きく減少しており減少傾向にある。

富山市の主な歳出は、指定管理料、人件費補助金である。指定管理料及び人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は 1 者のみであり、富山市の外郭団体である社会福祉事業団が指定管理者に選定されている。当施設は、使用料金が低廉であり、かつ利用者数も漸減傾向にあることから、利潤を求める民間企業は参入しにくいと考えられる。指定管理者は他の老人福祉センターの指定管理業務も請け負っており、管理ノウハウの共有等を図っている。

なお、基本協定書を確認したところ、指定管理料に人件費補助金が含まれており実際の指定管理料と異なる金額が記載されていた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 41【意見 2】 | 基本協定書における指定管理料の記載の見直し |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する意見（意見 2）を識別している。 |
| 基本協定書を確認したところ、指定管理料として人件費補助金が含まれた金額が記載されていた。一方で、令和 3 年度の年度協定書を確認したところ、指定管理料として人件費補助金を除いた金額が記載されていた。<br>施設所管課においては、基本協定書を更改する際に、指定管理料として人件費補助金を除いた金額を記載することが望まれる。 | |

エ. 指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ. 指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料及び人件費補助金である。なお、指定管理者は当施設を使用した自主事業は行っていない。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費、燃料費、業務委託料である。人件費については、コロナ禍で利用者数が大幅に減少し、かつ施設の機能が制限されている中で、常勤職員 2 名、非常勤職員 5 名という人員体制が過大である可能性が識別された。光熱水費及び燃料費については、施設を開館している以上必然的に発生する支出であり、現在の開館期間を前提とした場合重大な問題は認められなかった。業務委託料については、指定管理者は、指定管理業務を請け負っている老人福祉センターと老人憩いの家を一体として契約締結することにより委託料を引き下げており、重大な問題は認められなかった。

その他、指定管理者は、事務局の人件費や本部経費を法人管理費として各施設に配賦しているが、各施設への配賦基準については従来から同じ配賦率を使っており根拠が不明であった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 42【指摘 14】 | 人員体制の見直し |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 指定管理業務に係る支出は、その半分以上が人件費となっている。一方で、当施設の規模や利用状況を勘案した場合、常勤職員 2 人、非常勤職員 5 人という人員体制は過大である可能性がある。例えば、当施設には非常勤臨時職員の看護師・准看護師が 2 名在籍しているが、コロナ禍以降、看護師等による健康相談は殆ど実施されていない。また、集会場や機能回復訓練室の利用が制限されており指定管理者主催のイベントも開催されていないため、利用者対応業務の負担は他施設より軽い可能性がある。加えて、館内清掃や浴室清掃を外部業者に委託しているため、施設管理業務の負担も他施設より軽い可能性がある。この点、指定管理者は山室児童 | |

| | |
|---|---|
| 館の指定管理業務を人件費 9,158 千円（非常勤職員 4 人が常時 2 人体制で勤務）で実施しており、業務量を勘案した場合、19,316 千円という当施設の人件費は過大である可能性がある。<br>前述のとおり、当施設は利用者ニーズの変化、コロナ禍による機能の制限、多額の運営費支出等の問題を抱えており、存在意義に重大な疑義が生じている。そのため、施設所管課においては、可能な限り施設の費用対効果を向上させるべく、当施設の利用状況や勤務実態を調査したうえで人員体制の見直しを検討する必要がある。 | |
| 43【指摘 9】 | 法人管理費の配賦基準の見直し |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |
| 指定管理者は、本部事務局の人件費や経費を法人管理費として各指定管理施設に配賦しているが、各施設への配賦基準については従来から同じ配賦率を使っており根拠が不明であった。<br>施設所管課においては、法人管理費の配賦基準を活動実態に即した適正な方法に見直すよう指定管理者に指導する必要がある。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## 7． 四方チャレンジ・ミニ企業団地、同研修センター、とやまインキュベータ・オフィス

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>四方チャレンジ・ミニ企業団地：　富山市四方荒屋 497 番地 8<br>（以下、企業団地という）<br>四方チャレンジ・ミニ企業団地研修センター：　富山市四方荒屋 497 番地 13<br>（以下、研修センターという）<br>とやまインキュベータ・オフィス：　富山市中央通り二丁目 3 番<br>（以下、インキュベータ・オフィスという）　22 号</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>工業政策課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>企業団地：　富山市四方チャレンジ・ミニ企業団地条例及び同条例施行規則<br>研修センター：　富山市四方チャレンジ・ミニ企業団地研修センター条例及び同条例施行規則<br>インキュベータ・オフィス：　とやまインキュベータ・オフィス条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>企業団地：　挑戦する意欲をもって新たに独立開業しようとする者を支援し、もって地域経済の発展に寄与する<br>研修センター：　富山市の産業振興に資する人材の育成及び技術交流等の促進を図る<br>インキュベータ・オフィス：　創造性に富んだアイディア又は技術を基に事業化を図る者を育成し、もって地域経済の発展に寄与する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積<br>(㎡)</th><th>建設費<br>(千円)</th></tr>
<tr><td>研修センター</td><td>H2</td><td>31</td><td>0</td><td>320.30</td><td rowspan="4">239,333</td></tr>
<tr><td>企業団地Ｓ棟(1 棟)</td><td>H1</td><td>31</td><td>0</td><td>91.76</td></tr>
<tr><td>企業団地Ｓ棟(3 棟)</td><td>H2</td><td>31</td><td>0</td><td>281.13</td></tr>
<tr><td>企業団地Ｍ棟(5 棟)</td><td>H2</td><td>31</td><td>0</td><td>721.15</td></tr>
<tr><td>インキュベータ・オフィス</td><td>H14</td><td>50</td><td>31</td><td>241.06</td><td>115,598</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>営業期間</td><td>休業日：　企業団地とインキュベータ・オフィスは入居型施設であり休業日は無し。研修センターは 12 月 29 日～1 月 3 日及び日曜祝日に休館。<br>開業時間：　企業団地とインキュベータ・オフィスは入居型施設であり 24 時間利用可能。研修センターは 9:00～21:00 に開館。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| 公共施設マネジメント方針 | ＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「産業系施設」については、利用率の低い施設は改善を行いつつ、現在の社会環境から見たニーズに合わせた施設の普及促進を検討し、維持管理する。設置当初との社会環境の変化から時代のニーズに合わなくなった施設は更新を行わないこととする。<br>また、富山市の産業振興に資するため、今後も富山市が保有していく施設については、長期的な改修計画を策定するとともに、利用者の安全性と利便性等を考慮し適切な施設改修・設備更新を実施する。<br>その他、利用者の利便性向上及び収益性の向上に向け、運営体制の見直しを検討する。 |
| | ＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | 富山県中小企業団体中央会<br>所在地：　富山市総曲輪 2-1-3　富山商工会議所ビル 6 階<br>代表者：　高田　順一<br>事業概要：　組織化支援事業、調査指導事業、情報提供事業、人材確保育成支援事業、連携組織等支援事業、経営診断・審査事業、経営力向上・強化支援事業、企業団地及びインキュベータ・オフィス管理事業<br>富山市との関係：　特記事項なし。 |
| 指定管理業務の概要 | ● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 団地の作業棟を使用する者の企業診断及び経営指導に関する業務<br>● 団地の作業棟、センター及びオフィスのルームの使用料徴収に関する業務<br>● センター及びオフィスの施設の供用に関する業務<br>● センターの使用の承認に関する業務<br>● 経営管理及び技術開発等についての研修及び講習に関する業務<br>● 異業種交流の普及に関する業務<br>● 先端技術及び市場動向等についての情報提供及び資料収集に関する業務<br>● 創業者の交流の場の提供に関する業務<br>● 創業者の事業活動の支援に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務 |
| 指定期間 | 5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度） |
| 指定管理料 | 各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書） |

<table>
<tr><td></td><td>単位：千円<br><table><tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>指定管理料</td><td>13,582</td><td>13,582</td><td>13,582</td><td>13,582</td><td>13,582</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数1者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円<br><table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>1,100</td><td>1,100</td><td>1,100</td><td>1,100</td><td>1,100</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者が外郭団体以外であるため）。</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では「該当無し」となっている。</td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「該当無し」となっている。</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 企業団地作業棟 | ＜作業棟（全9棟）＞<br>S型棟　55,000円/月<br>M型棟　82,500円/月 | 1 | 6棟 | 5棟 | 8棟 | 8棟 | 8棟 |
| 研修センター | ＜大研修室＞<br>9:00～13:00　1,650円<br>13:00～17:00　1,650円<br>17:00～21:00　1,870円<br>冷暖房料　料金の20% | 2 | 164回 | 205回 | 206回 | 25回 | 32回 |
| | ＜小研修室＞<br>9:00～13:00　660円<br>13:00～17:00　660円<br>17:00～21:00　770円<br>冷暖房料　料金の20% | 2 | 16回 | 31回 | 50回 | 10回 | 15回 |
| インキュベータ・オフィス | ルーム1　24,640円/月<br>ルーム2　23,540円/月<br>ルーム3　18,260円/月<br>ルーム4　18,260円/月<br>ルーム5　25,080円/月<br>ルーム6　38,940円/月<br>ルーム7　44,000円/月<br>ルーム8　45,980円/月 | 3 | 6室 | 5室 | 6室 | 3室 | 3室 |

＜補足コメント＞

※1　企業団地作業棟の利用状況について

金属製品、一般機械器具製品などの製造業等を営む者が入居可能であり、入居期間は原則5年（10年まで延長可能）である。

令和3年度末時点では、作業棟全9棟のうち8棟が貸出されている。また、令和4年7月25日時点では残りの1棟も貸し出され入居率は100%になっている。

※2　研修センターの利用状況について

企業団地の入居企業や周辺企業が研修会や交流の場として利用している。

令和2年度以降は、コロナ禍でセミナー等がオンライン化されたこと、当企業団地の規模が縮小されたこと等により、利用件数が減少している。

※3　インキュベータ・オフィスの利用状況について

創造性に富んだアイディア又は技術を基に新たに事業化を図るもの又はそのような事業を開始してから5年未満のものが入居可能であり、施設所管課の内規により「ソフトウェア等の開発やデザイン業など」を営む事業者に限定されている。

令和3年度末の入居率は37%程度であるが、令和4年9月までに2室の追加入居があり、足元では入居率は62%となっている。対象業種が「ソフトウェア等の開発やデザイン業など」に限定されていること、ルーム3とルーム4が手狭なうえ窓がなく使い勝手が悪いこと等により入居率が低くなっている。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

①　企業団地及び研修センター

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 7,933 | 5,392 | 5,453 | 6,770 | 6,972 |
| 目的外使用料 | 2 | 23 | 23 | 23 | 17 | 12 |
| **a.歳入実績合計** | | **7,957** | **5,415** | **5,477** | **6,788** | **6,984** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 6,800 | 6,800 | 6,862 | 6,925 | 6,899 |
| 委託料（その他） | 4 | － | － | 4,058 | 291 | － |
| **b.歳出実績合計** | | **6,800** | **6,800** | **10,920** | **7,216** | **6,899** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **1,157** | **▲1,384** | **▲5,443** | **▲428** | **85** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **2,044** | **▲817** | **▲7,991** | **▲4,557** | **▲758** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **▲886** | **▲567** | **2,547** | **4,129** | **844** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

企業団地作業棟貸付料と研修センター使用料であり、作業棟の貸付状況によって多少変動するが、概ね安定的に推移している。

利用状況の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　目的外使用料について

主な内訳は、「企業団地内の電柱や支線に係る目的外使用料」である。

令和 2 年度に施設再編成（民間への一部売却）を実施し作業棟を 9 棟に減らした結果、目的外使用料が減少している。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

※4　委託料（その他）について

令和 1 年度の主な内訳は、施設再編成（民間への一部売却）のための「営業等調査積算業務委託 3,630 千円」、「境界画定測量及び地積更正業務委託 427 千円」である。このうち、「営業等調査積算業務委託」は入居者への移転補償金の積算委託である。

② インキュベータ・オフィス

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 1,142 | 1,939 | 1,949 | 1,260 | 1,082 |
| **a.歳入実績合計** | | **1,142** | **1,939** | **1,949** | **1,260** | **1,082** |
| 委託料（指定管理料） | 2 | 6,563 | 6,563 | 6,623 | 6,684 | 6,683 |
| **b.歳出実績合計** | | **6,563** | **6,563** | **6,623** | **6,684** | **6,683** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲5,420** | **▲4,623** | **▲4,674** | **▲5,424** | **▲5,600** |
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲3,751** | **▲5,324** | **▲4,767** | **▲5,587** | **▲5,586** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **▲1,669** | **700** | **92** | **162** | **▲14** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

ルームの貸付料であり、創業支援のため使用料金を安価に抑えていること、入居率が高くないこと等により発生額が少額になっている。

利用状況の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

① 企業団地及び研修センター

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 6,800 | 6,800 | 6,862 | 6,925 | 6,899 |
| **a.収入合計** | | **6,800** | **6,800** | **6,862** | **6,925** | **6,899** |
| センター事務員人件費 | 2 | 1,108 | 1,093 | 1,081 | 1,103 | 1,117 |
| 指定管理業務人件費 | 3 | 1,920 | 1,920 | 1,920 | 1,920 | 1,920 |
| 施設運営管理費 | | 2,432 | 2,141 | 2,045 | 1,838 | 1,363 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| その他の支出 | | 416 | 286 | 314 | 380 | 395 |
| **b.支出合計** | | **5,878** | **5,441** | **5,360** | **5,243** | **4,795** |
| **c.収支差額（a-b）** | **4** | **922** | **1,359** | **1,502** | **1,682** | **2,104** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲5,878** | **▲5,441** | **▲5,360** | **▲5,243** | **▲4,795** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　センター事務員人件費について

研修センターで平日 10 時～16 時まで勤務している臨時職員 1 名の人件費である。最低賃金に近い単価で雇用しているため、発生額が少なくなっている。

※3　指定管理業務人件費について

指定管理者の本部事務員の人件費である。

指定管理者は、本部事務員 1 名が企業団地、研修センター、インキュベータ・オフィスの管理業務に専従しているものと仮定し、指定管理者の平均人件費（会社負担社会保険料等を含む）である 3,200 千円を 3:2 の比率で企業団地（研修センター含む）とインキュベータ・オフィスに按分している。なお、指定管理者に本部事務員の業務内容を質問したところ「経費の支払業務、修繕発生時の対応、現地事務員への事務連絡、指定管理報告書の作成等であり、他の業務と兼務しながら実施している」との回答を得た。

※4　収支差額について

指定管理者が指定管理選定時に提出した事業計画では、企業団地やセンターの修繕料を年間 1,300 千円程度と見積もっている。一方で、実際の修繕料は毎年 100～200 千円程度にとどまっており、収支差額の原因となっている。

② インキュベータ・オフィス

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 6,563 | 6,563 | 6,623 | 6,684 | 6,683 |
| **a.収入合計** | | **6,563** | **6,563** | **6,623** | **6,684** | **6,683** |
| 事務員人件費 | 2 | 1,125 | 1,123 | 1,111 | 1,142 | 1,156 |
| 指定管理業務人件費 | 3 | 1,200 | 1,200 | 1,200 | 1,200 | 1,200 |
| 委託料 | 4 | 1,290 | 1,290 | 1,311 | 1,327 | 1,327 |
| 借上料 | 5 | 456 | 456 | 456 | 456 | 450 |
| 負担金 | 6 | 408 | 595 | 678 | 319 | 319 |
| その他の支出 | | 1,726 | 1,084 | 1,165 | 983 | 1,053 |
| **b.支出合計** | | **6,205** | **5,748** | **5,921** | **5,427** | **5,505** |
| **c.収支差額（a-b）** | **7** | **358** | **815** | **702** | **1,257** | **1,178** |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲6,205** | **▲5,748** | **▲5,921** | **▲5,427** | **▲5,505** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　事務員人件費について

インキュベータ・オフィスで平日 10 時～16 時まで勤務している臨時職員 1 名の人件費である。最低賃金に近い単価で雇用しているため、発生額が少なくなっている。

※3　指定管理業務人件費について

上記「①企業団地及び研修センター」の※3 と同じ内容であり、そちらを参照のこと。

※4　委託料について

令和 3 年度の主な内訳は「設備点検清掃業務委託料（週 2 回）855 千円」である。点検対象にはインキュベータ・オフィス専用エレベーターの保守点検業務等が含まれている。

※5　借上料について

令和 3 年度の主な内訳は、「来客用駐車場代（2 台分）324 千円」、「コピー機リース料 126 千円」等である。

※6　負担金について

令和 3 年度の主な内訳は、「ビル管理組合への負担金 210 千円」等である。

※7　収支差額について

指定管理者が指定管理選定時に提出した事業計画では、負担金を年間 800 千円と見積もっている。一方で、実際の負担金は令和 2 年度以降 300 千円程度にとどまっており、収支差額の原因となっている。

当オフィスは、富山市の市営住宅（中教院団地）の余剰部分を使用しているが、令和 2 年度以降ビル管理組合への負担金は富山市が全額負担することになったため、指定管理者の負担金支出が減少している。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

企業団地は、技術者の円滑な独立開業を推進し特色ある企業づくりと地域経済の発展に資することを目的として昭和 61 年に開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、企業団地については、個別具体的な方針は示されていない。

企業団地は、当初は作業棟 43 棟が存在しており入居率も 80%を超えていた。しかし、リーマンショック等を経て平成 23 年度に入居率が 56%まで低下したため、平成 25 年度に施設再編成（余剰区画の民間売却）を実施し作業棟を 17 棟まで減らしている。また、令和 2 年度には、施設の老朽化等により入居率が 40%台まで低迷したため、再度施設再編成（民間への一部売却）を実施し作業棟を 9 棟まで減らしている。企業団地は、入居率の低下を踏まえて都度施設再編成や入居要件の緩和（当初はプラスティック製造業を対象としていたが当該要件を撤廃）を実施しており、足元の入居率は 100%となっている。また、安価かつ好立地の空き工場は少ないため 2 か月に 1 回程度の頻度で入居の問い合わせがあり、ニーズの高さが伺える。その他、設立以来 67 名の卒業生が四方地区や水橋地区で独立開業しており、創業支援効果は高いと評価できる。これらの現状を勘案すると、施設の必要性や存在意義は認められる。

研修センターは、企業団地の入居企業や周辺企業が研修会や交流を行う場として整備された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、研修センターについては、個別具体的な方針は示されていない。

研修センターは、企業団地が縮小傾向にあることやコロナ禍でセミナー等がオンライン化されたことにより、利用件数が減少している。研修センターは施設の老朽化が進んでいることから、企業団地と一体で今後の管理運営方針を検討する必要がある。

インキュベータ・オフィスは、中教院東地区第一種市街地再開発事業（市営住宅の建設）にあたって保留床を取得したため、当時注目されていた SOHO を整備し、創造性に富んだアイディアや技術を基に事業化を図る者を支援する目的で整備された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、インキュベータ・オフィスについては、個別具体的な方針は示されていない。

インキュベータ・オフィスは市内中心部に所在するが、対象業種が制限されていることや使い勝手の悪い区画があることから、入居率が低くなっている。また、インキュベータ・オフィスは、創造性に富んだアイディアや技術を基に事業化を図る者を支援する目的に設立されたが、現状では指定管理者が年 4 回セミナーを実施しているのみであり、当該目的に沿った活動がなされているとは言い難い。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 44【意見 17】 | インキュベータ・オフィスの利用促進策の検討 |
|---|---|
| 本庁対応 | 該当なし |
| インキュベータ・オフィスは、長期間にわたって入居率が低くなっている。これは、内規で対象業種を「ソフトウェア等の開発やデザイン業など」に限定していること、使い勝手の悪い区画があること、支援機能が弱く差別化できていないこと等が原因と考えられる。<br>施設所管課においては、施設の利用促進のため以下のような対応策を検討することが望まれる。<br>● 対象業種の見直し（入居要件の緩和）<br>● 使い勝手の悪い区画の間取り見直し（特に手狭で窓が無いルーム 3 とルーム 4） | |

- 施設の設置目的を踏まえた入居者への支援機能の強化

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、企業団地作業棟貸付料、研修センター使用料、インキュベータ・オフィス貸付料である。歳入は貸付状況によって多少変動するが、概ね安定的に推移している。なお、インキュベータ・オフィスについては、創業支援のため使用料を安価に抑えていること、入居率が高くないこと等により施設使用料が少額になっている。

富山市の主な歳出は、指定管理料である。指定管理料は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は 1 者のみであり、富山県中小企業団体中央会が指定管理者に選定されている。指定管理者は、事業協同組合、商業組合、工業組合等の中小企業組合を支援する特別法人である。企業団地は、昭和 60 年に指定管理者が中心となって富山市に要望し開設されており、それ以来、指定管理者が管理業務を請け負っている。

企業団地の指定管理業務は主に以下のとおりである。このうち、経営支援業務と診断業務は指定管理者の強みを生かしたものとなっている。

- 企業団地の維持管理…施設の不具合の修繕対応。修繕の相談は年数件～10 件程度
- 使用料の徴収…月 1 回の口座引き落とし
- 経営支援…中小企業診断士が定期的に巡回し経営相談や退出時の支援等を実施
- 経営診断…年 1 回、中小企業診断士による決算書レビューを行い経営助言を実施

研修センターの指定管理業務は主に以下のとおりである。

- 研修室の維持管理…事務員が研修室の清掃等を実施
- 研修室の貸出…事務員が都度対応

インキュベータ・オフィスの指定管理業務は主に以下のとおりである。

- オフィスの維持管理…事務員がトイレの消耗品の入替え、宅配便の受取等を実施

- 使用料の徴収…月 1 回の口座引き落とし
- 入居者支援…入居者からの要望に基づく各種セミナーの開催（年 4 回程度）

このように、指定管理者は自身の強みを生かして指定管理業務を行っているが、一方で、施設が小規模化しており、そもそも指定管理施設とするべきかどうかについて課題が認識された。また、下記「(2)エ．指定管理業務の検討結果」に記載のとおり、企業団地の修繕料やインキュベータ・オフィスの負担金が指定管理候補者選定時に提出された事業計画を継続的に下回っており、結果として指定管理者に相応の利益が発生していた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧や施設所管課への質問を実施した結果、指定管理候補者選定時の事業計画について、過去実績との比較が行われていなかった。

そのため、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 45【意見 18】 | 指定管理施設とし続けるかどうかの検討 |
| 本庁対応 | 該当なし |
| 企業団地、研修センター、インキュベータ・オフィスは何れも小規模な施設であり、業務内容や付加価値の面から指定管理施設とする必要性が曖昧になっている。<br>施設所管課においては、今後の施設運営方針も踏まえて、これらの施設を指定管理施設とし続けるかどうか検討することが望まれる。例えば、指定管理施設の場合の費用対効果と、直営施設に切り替えて入居者支援業務のみ外部委託した場合の費用対効果とを比較検討することが考えられる。 | |
| 46【指摘 3】 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 3）を識別している。 |
| 当施設では、企業団地の修繕料やインキュベータ・オフィスの負担金が指定管理候補者選定時の事業計画を継続的に下回っており、結果として指定管理者に相応の利益が発生していた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧等を実施した結果、指定管理料の根拠となる事業計画と過去実績との比較検討が行われていなかった。<br>施設所管課においては、指定管理料を決定する際に事業計画と過去実績との比較や過去実績の内容検討を行う必要がある。当該検討の結果、過去実績やそれを基に作成された事業計画に不自然な点がある場合（過去に多額の収支差額が発生している、過去の収支差額が常にゼロである等）は、その原因に応じて適宜指定管理者に事業計画の見直しを指示し、指定管理料に重大な過不足が生じないようにする必要がある。 | |

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の収入は、指定管理料である。なお、指定管理者は当施設を使用した自主事業は行っていない。

指定管理者の主な支出は、人件費、指定管理業務人件費（本社管理費配賦額）である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。一方で、指定管理業務人件費（本社管理費配賦額）については、配賦結果が実際の稼働実態を反映していない可能性が認識された。また、企業団地の修繕料やインキュベータ・オフィスの負担金が指定管理候補者選定時に提出された事業計画を継続的に下回っており、結果として指定管理者に相応の利益が発生していた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 47【指摘 9】 | 多額の収支差額が発生する原因の検討 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |

当施設では、企業団地の修繕料やインキュベータ・オフィスの負担金が指定管理候補者選定時の事業計画を継続的に下回っており、結果として指定管理者に相応の利益が発生していた。指定管理料は事業計画の施設管理費見込額と同額になるように計算されているため、指定管理業務で多額の収支差額が発生するということは、指定管理業務が当初の計画通りに行われていないことを意味する。

施設所管課においては、年度報告書で多額の収支差額が生じている場合はその理由を検討する必要がある。また、検討の結果、指定管理業務の実施状況や報告内容に問題が認められる場合は、以下のような対応をとる必要がある。

- 指定管理料が妥当な水準になるよう見直す
- 指定管理者に業務の範囲や内容の見直しを指導する（例：機能維持や利用者満足度向上のために必要な修繕を実施させる、利用促進のためイベントや広告宣伝を増加させる等）
- 報告内容に誤りがある場合は修正を指導する（例：本社管理費の配賦漏れ等）

| 48【指摘 9】 | 本社管理費の配賦基準の見直し |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |

指定管理者は、本部事務員 1 名が企業団地、研修センター、インキュベータ・オフィスの管理業務に専従しているものと仮定し、指定管理者の平均人件費（会社負担社会保険料等を含む）である 3,200 千円を 3:2 の比率で企業団地（研修センター含む）とインキュベータ・オフィスに按分している。一方で、本部事務員は、他の業務と兼務しながら指定管理施設の業務（経費

支払、修繕対応、指定管理報告書の作成等）を行っており、本社管理費の配賦結果が本部事務員の稼働実態と整合していない可能性がある。

施設所管課においては、本社管理費の配賦基準を活動実態に即した適正な方法に見直すよう指定管理者に指導する必要がある。

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## ８． 野外教育活動センター

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市山田赤目谷 16 番地 2</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>学校教育課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市野外教育活動センター条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>豊かな自然環境の中での集団生活を通じて、心身ともに調和のとれた健全な少年の育成を図る</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積<br>（㎡）</th><th>建設費<br>（千円）</th></tr>
<tr><td>管理棟</td><td>H3</td><td>50</td><td>20</td><td>1,977.00</td><td rowspan="6">780,063</td></tr>
<tr><td>分宿棟 A</td><td>H3</td><td>22</td><td>0</td><td>330.15</td></tr>
<tr><td>分宿棟 B</td><td>H3</td><td>22</td><td>0</td><td>663.40</td></tr>
<tr><td>炊飯等</td><td>H3</td><td>22</td><td>0</td><td>599.79</td></tr>
<tr><td>五右衛門風呂棟</td><td>H3</td><td>15</td><td>0</td><td>57.94</td></tr>
<tr><td>ポンプ小屋</td><td>H3</td><td>15</td><td>0</td><td>12.80</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>営業期間</td><td>休業日：　5 月 8 日～7 月 20 日及び 9 月 1 日～11 月 30 日は日曜祝日。<br>それ以外の期間は月曜日、祝日の翌日、12 月 29 日～1 月 3 日。<br>開業時間：　滞在型施設であり条例で開業時間は明記されていない。なお、管理業務仕様書では通常は 8:30～17:15 まで、宿泊者がいる場合は常時開業とされている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>文部科学省の学習指導要領にも掲げている「体験活動の充実」という点を考慮しながら、国や県の類似施設の配置方針等も勘案し今後の在り方を検討する。</td></tr>
<tr><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | （公財）富山市体育協会<br>所在地：　富山市湊入船町 12 番地 1 号<br>代表者：　塩井　保彦<br>事業概要：　各種スポーツの普及啓発、指導者の育成、スポーツ団体の育成と相互の連携・協働の推進、スポーツ団体の功労者・優秀選手の表彰、スポーツ選手の育成強化、スポーツに関する調査・研究、スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営等<br>富山市との関係：　外郭団体 |

<table>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>
<ul>
<li>施設及び付属設備等の維持管理に関する業務</li>
<li>使用の承認に関する業務</li>
<li>使用料の徴収に関する業務</li>
<li>上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</li>
</ul>
</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>36,680</td><td>36,644</td><td>36,653</td><td>36,685</td><td>36,694</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数 1 者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>
<ul>
<li>経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。</li>
<li>これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。</li>
</ul>
単位：千円
<table>
<tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>2,000</td><td>2,000</td><td>2,000</td><td>2,000</td><td>2,000</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>残雪の牛岳登山に挑戦</td><td>残雪期の牛岳登山を実施し自然の美しさ、厳しさ、残雪登山の楽しさを知る</td><td>4 月中旬に日帰り。定員 50 人。参加料 500 円。収入、支出とも 25 千円</td></tr>
<tr><td>親子でキャンプ in 子どもの村</td><td>年中児以上と保護者を対象にキャンプや野外炊飯等を実施し、親子の絆や自然体験活動への理解、関心を深める</td><td>5 月中旬に 1 泊 2 日。定員 15 家族。参加料 3,500 円。収入、支出とも 157 千円程度</td></tr>
<tr><td>アウトドア竹クッキング</td><td>小学生以上の児童と保護者を対象に竹で箸や飯盒を作成し、自作の食器で野外炊飯を行うことで自然物の素晴らしさを知る</td><td>5 月中旬に日帰り。定員 50 人。参加料 1,200 円。収入、支出とも 60 千円程度</td></tr>
<tr><td>親子でそうめんスプラッシュ！</td><td>小学生以上の児童と保護者を対象に竹で箸や竹樋を作成し、自作の食器で流しそうめんを行うこ</td><td>7 月初旬に日帰り。定員 12 家族。参加料 700 円。収入、支出とも 22 千円</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | とで自然物の素晴らしさを知る | 程度 |
| | ワイルドキャンプ in 子どもの村 | 小学校 5、6 年生を対象に原生活体験を実施し、創意工夫や協力の大切さを教えるとともに、自主自立の精神を育む | 7 月下旬に 3 泊 4 日。定員 56 人。参加料 9,500 円。収入、支出とも 532 千円程度 |
| | ワンパクキッズ in 子どもの村 | 小学校 3、4 年生を対象に森遊びや野外炊飯を実施し、野外活動の楽しさ、協力の大切さを教え心と体をたくましく鍛える | 8 月中に 1 泊 2 日。定員 56 人。参加料 3,500 円。収入､支出とも 196 千円程度 |
| | 親子で楽しむ自然の森 | 年長児とその保護者を対象に森遊びや野外炊飯を実施し、親子の絆を深めるとともに自然体験活動の理解、興味を深める | 9 月中旬､11 月初旬に日帰り。定員 20 家族。参加料大人 800 円小人 600 円。収入、支出とも 28 千円程度 |
| | 紅葉の牛岳に出会う | 小学校 1 年生以上を対象に紅葉の牛岳に登山し、登山の楽しさと達成感を得る | 10 月中旬に日帰り。定員 60 人。参加料 500 円。収入、支出とも 30 千円程度 |
| | アクティブキッズ in 子どもの村 | 小学校 1、2 年生を対象に森遊びや野外炊飯を実施し、野外活動の楽しさ、協力の大切さを教え、心と体をたくましく鍛える | 10 月下旬に 1 泊 2 日。定員 24 人。参加料 4,000 円。収入、支出とも 96 千円程度 |
| | ハンドメイドクリスマス | 小学生以上を対象に当施設周辺の素材等を利用してクリスマスリースやオブジェを作成し、ものづくりの楽しさを教える | 12 月初旬に日帰り。定員 50 人。参加料 700 円。収入、支出とも 30 千円程度 |
| | エンジョイ！冬の子どもの村 | 小学生と保護者を対象にアイスキャンディ作りやスノーチューブ遊びを実施し、親子の絆を深めるとともに自然体験活動の理解、興味を深める | 1 月下旬に日帰り。定員 20 家族。参加料 820 円～。収入、支出とも 37 千円程度 |
| | Fun Fun winter 子どもの村 | 小学校 1、2 年生と保護者を対象にかんじきハイクやクロスカントリースキー等を実施し、親子の絆を深めるとともに冬の自然の素晴らしさを教える | 2 月下旬に 1 泊 2 日。定員 20 家族。参加料大人 4,500 円小人 3,000 円。収入､支出とも 150 千円程度 |
| | からだ元気 DAY | 小学生以上を対象にヨガ、かんじきハイク等を実施するとともに | 3 月初旬に日帰り。定員 30 人。参加料 1,700 円。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | 山田地域の特産品を使った食事を提供し体と心を元気にする | 収入、支出とも 51 千円程度 |
| 収益向上提案 | 指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>● 自動販売機設置事業：飲料等の提供<br>● 物販事業：薪・火起こし材料・絵馬等の販売 | | |

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 宿泊棟 | 1 泊　大人　860 円<br>小人　290 円 | 1 | 1,075 | 1,092 | 629 | 122 | 352 |
| 日帰り | 80 円 | | 247 | 493 | 337 | 488 | 542 |
| キャンプ場 | 1 泊　大人　140 円<br>小人　80 円 | | 74 | 136 | 113 | 31 | 31 |
| **合計** | | | **1,396** | **1,721** | **1,079** | **641** | **925** |

＜補足コメント＞

※1　利用者数について

当施設は、主に小中学校の課外学習で使用されている。団体でしか利用できないこと、原則として 1 ヶ月前までの予約が必要であること、事前に活動計画の提出する必要があること等から、一般利用は殆どなくなっている。

令和 2 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（4 月 15 日～5 月 24 日）及び課外学習の自粛等があり利用者が減少している。令和 3 年度も、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（8 月 18 日～9 月 26 日）があったが、課外学習の復活等で利用者数は増加している。足元では課外学習が復活しているが、従来 2 泊 3 日であったものが 1 泊 2 日に短縮される等の変化は生じている。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 477 | 483 | 286 | 99 | 195 |
| 目的外使用料 | 2 | － | － | 4 | 3 | 3 |
| その他の歳入 | 3 | 15,722 | 11,638 | 14,485 | 2,509 | 7,117 |
| **a.歳入実績合計** | | **16,199** | **12,121** | **14,776** | **2,612** | **7,316** |
| 人件費 | 4 | 14,322 | 13,571 | 13,248 | 13,223 | 13,569 |
| 委託料（指定管理料） | 5 | 35,061 | 35,061 | 35,389 | 28,561 | 36,175 |
| 委託料（その他） | | － | 1,139 | － | － | － |
| 補助金（指定管理運営） | 6 | 29,043 | 28,774 | 24,802 | 23,310 | 35,647 |
| 保険料 | | － | 32 | 30 | － | － |
| 修繕料 | | 713 | － | － | － | － |
| 借上料 | 7 | 414 | 414 | 392 | 396 | 396 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事請負費 | 8 | 3,595 | 1,609 | 4,276 | 2,554 | 5,126 |
| 機械器具費 | | 961 | － | － | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **84,112** | **80,602** | **78,139** | **68,044** | **90,914** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲67,913** | **▲68,481** | **▲63,363** | **▲65,432** | **▲83,598** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲69,367** | **▲72,798** | **▲67,091** | **▲67,095** | **▲77,661** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **1,454** | **4,317** | **3,727** | **1,662** | **▲5,936** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設の使用料であり、利用者数の増減により変動する。利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　目的外使用料について

令和３年度の内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料」である。

※3　その他歳入について

主な内訳は、基本協定書（管理業務仕様書）に定める供食業務に係る食事代受領額である。施設所管課は、供食業務に係る野外炊さん食材費や給食費の単価を内規で設定しており、指定管理者は当該単価を使用者から徴収して富山市に納付している。なお、供食業務に係る収入は富山市が収受しているが、基本協定書（管理業務仕様書）ではその帰属先が明確化されていない。

※4　人件費について

当施設で勤務している市派遣職員２人（所長と指導係長）の人件費である。所長は再雇用会計年度職員であり当施設の全体的な管理監督業務を、指導係長は野外教育活動の指導全般及び富山市教育委員会との連絡調整業務等を担っている。

※5　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和２年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。

※6　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

※7　借上料について

内容は、「施設専用自動車（四駆）のリース料」である。

※8　工事請負費について

令和３年度の内訳は、「分宿棟１棟の外壁塗装及び羽目板改修工事」である。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 35,061 | 35,061 | 35,389 | 35,617 | 36,175 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 29,043 | 28,774 | 24,802 | 23,310 | 35,647 |
| **a.収入合計** | | **64,104** | **63,835** | **60,191** | **58,927** | **71,822** |
| 人件費 | 3 | 29,043 | 28,774 | 24,802 | 23,310 | 35,785 |
| 光熱水費 | 4 | 5,347 | 5,321 | 4,884 | 4,171 | 4,169 |
| 修繕料 | | 1,877 | 2,061 | 2,254 | 1,938 | 1,001 |
| 委託料 | 5 | 17,938 | 18,200 | 18,357 | 14,369 | 15,668 |
| 消耗品費 | | 2,130 | 3,235 | 2,252 | 3,226 | 1,582 |
| 使用料及び賃借料 | 6 | 2,380 | 2,435 | 2,294 | 1,538 | 4,231 |
| 指定管理料返金等（富山市） | 7 | － | － | － | 7,056 | － |
| その他支出 | | 3,267 | 3,375 | 2,789 | 3,336 | 727 |
| **b.支出合計** | | **61,982** | **63,401** | **57,632** | **58,944** | **63,163** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **2,122** | **434** | **2,559** | **▲17** | **8,659** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲61,982** | **▲63,401** | **▲57,632** | **▲51,888** | **▲63,163** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

※3　人件費について

当施設で勤務しているプロパー職員 3 人、常勤嘱託職員 3 名、非常勤臨時職員 1 人の人件費である。当施設の職員はシフト制で勤務しており、6 名体制で広大な敷地や遊具の清掃および維持管理、宿直（2 名体制）、季節毎の設備の設置・撤去等を実施している。なお、これ以外で所長（富山市の再雇用会計年度職員）と指導係長（富山市の現職教員）の 2 名が勤務しているが、その人件費は富山市が直接支払っている。

令和 3 年度は、プロパー職員を増員し 4 人体制としたため人件費が増加しているが、令和 4 年度は従来通り 3 人体制に戻したため、人件費が減少する見込みである。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 4,473 千円であり、著しく高

額である等の問題は認められない。

※4　光熱水費について

令和 3 年度の主な内訳は、「電気料（高圧契約）1,833 千円」、「牛岳温泉使用料 2,122 千円」である。令和 2 年度以降は、コロナ禍による施設の休館があり光熱水費が減少している。

※5　委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「㈱石橋に対する供食、清掃及び一般廃棄物処理業務委託 12,923 千円」である。供食は、野外炊さんの食材提供及び管理棟食堂での食事提供であり、清掃は管理棟、浴室、分宿棟といった建物内部の清掃である。そのため、当施設の広大な屋外施設の草刈り、整備、維持管理等は当施設の職員が実施している。

当施設は、雪の少ない 12～1 月中旬や新学期が始まる 3～4 月は殆ど利用が無いが、当該業務委託は年間契約になっており毎月 1,164 千円の費用が発生している。なお、令和 3 年度はコロナ禍による供食サービスの利用減少を受け、3 月に 1,045 千円の返金を受けている。

※6　使用料及び賃借料

令和 3 年度の主な内訳は、「寝具リース料 2,443 千円」、「除雪機レンタル料 935 千円」である。寝具は、16 組×14 部屋分に予備分を加えて合計 280 組リースしている。令和 2 年度以前は、リース料は使用した布団分のみ、クリーニング料は使用したシーツ分と枕カバー分のみが対象であった。令和 3 年度はリース会社の依頼で契約を変更し、未使用分も含めた全ての布団のリース料を支払うことになったため、発生額が増加している。

※7　指定管理料返金等（富山市）について

指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を行っている。指定管理料の精算資料を査閲したが、計算誤り等の重大な問題は発見されなかった。

### （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

①　監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、富山市内の小中学生が課外学習を行う場として平成 4 年に開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、国や県の類似施設の配置状況等も勘案して今後の在り方を検討する方針が示されている。

富山県内には、類似の施設として「国立立山青少年自然の家（立山町）」、「富山県立呉羽青少年自然の家（富山市）」、「富山県立砺波青少年自然の家（砺波市）」、「黒部市立ふれあい交流館（黒

部市)」が存在する。このうち当施設は、中山間地に所在し広大な野外フィールドを活用した自然体験ができること、分宿棟になっていること、五右衛門風呂があること等の特徴がある。富山市内の小中学生は、当施設が開設される前は上市町の廃校や旧山田村の牛岳グリーンパレスで課外学習を行っていたが、当施設が開設されてからは当施設を利用するようになっている。課外学習は小中学校の教育カリキュラムに組み込まれており、富山市内の小学4年生と5年生は2泊3日（もしくは1泊2日）で当施設を利用している。

当施設は教育施設であるため、使用できる者は条例で「富山市立小学校及び中学校の児童及び生徒並びにその引率者」、「富山市内の少年団体の構成員及びその指導者」、「富山市教育委員会が適当と認める者」に限られている。当施設を使用するためには事前に活動計画を提出して滞在中のスケジュールを打合せておく必要があるため、事前予約が無いと使用できず、かつ予約は原則として使用の1ヶ月前までに行わなければならなくなっている。

当施設は、市民が自由に使用することができないため利用者数が少なくなっている。一方で、小中学生が課外学習を行うための施設は当施設を含めて県内に5か所しかなく、当施設が無くなった場合は小中学生が課外学習を行えなくなってしまう恐れがある。また、指定管理者は、課外学習がない時期に当施設を活用した自主事業（親子キャンプ等）を行っており、それらは非常に高い人気を博している。

このように、当施設は他の指定管理施設と比較すると利用者数が少ないものの、教育インフラとしてその存在意義は十分認められる。一方で、当施設は開設から相当の年月が経過しており、老朽化に伴う機能の劣化や利便性の低下といった課題が発生している。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 49【意見19】 | 設備の更新や修繕 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、分宿棟にエアコンが設置されておらず猛暑の時も扇風機で対応している。また、分宿棟のトイレが和式便器のみであり、小中学生が利用する際に不便になっている。加えて、A4分宿棟が地盤沈下で使用できなくなっているが、野外活動中に使い勝手が良いトイレはA2分宿棟とA4分宿棟のものであるため、野外活動を行う際に不便が生じている<br>施設所管課においては、当施設の必要性や存在意義を踏まえて適切な設備更新や修繕を行っていくことが望まれる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第4章 第1部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料と供食業務に係る食事代である。当施設は、条例で小中学生が課外活動授業を行う際の施設使用料を無料としている。なお、ボーイスカウト等の民間団体が当施設を使用する場合は条例に基づき施設使用料を徴収しているが、民間団体の利用は少なく、使用料金も廉価であるため施設使用料は少額になっている。供食業務に係る食事代については、施設所管課は野外炊さん食材費や給食費の単価（実費相当額）を内規で設定しており、指定管理

者は当該単価をもとに使用者から食事代を徴収して富山市に納付している。当該単価は消費税増税時に見直されているほか、課外学習利用（学食米）と一般利用（学食米以外）とで単価差を設けている。内規を確認したが設定された単価水準に大きな問題は認められなかった。一方で、供食業務に係る食事代収入は富山市が収受しているが、基本協定書（管理業務仕様書）ではその帰属先が明確化されていなかった。

富山市の主な歳出は、市派遣職員の人件費、指定管理料、人件費補助金、委託料である。市派遣職員の人件費については、施設運営のために必要な知見を有した職員が派遣されており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。指定管理料と人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 50【意見 20】 | 供食業務に係る食事代収入の帰属先の明確化 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 基本協定書（管理業務仕様書）では、指定管理業務として「利用者への供食業務」を明記している。なお、当該業務に係る収入は従来から富山市が収受しているが、基本協定書（管理業務仕様書）では収入の帰属先が明記されていない。<br>施設所管課においては、公募の際に指定管理候補者が指定管理業務の内容や採算性等を正しく理解できるようにするため、基本協定書や管理業務仕様書に供食業務収入の帰属先を明記することが望まれる。 | |

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は 1 者のみであり、外郭団体である富山市体育協会が指定管理者に選定されている。この点、当施設は市街地から遠く離れた中山間地に所在しており、利潤を求める民間企業は参入しにくいと考えられる。また、当施設は教育施設であり、富山市の教育政策と連動した運営が求められるため、人員や情報の共有が図りやすい外郭団体が運営することには合理性がある。加えて、指定管理者は長期間指定管理業務を請け負うことで施設運営のノウハウを蓄積しており、重大なクレームやトラブルなく施設を運営できている。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ. 指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ. 指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料及び人件費補助金である。当施設は主に課外学習で利用されているが、利用するためには事前予約が必要となるため、予約が無い日は利用者が全くいないことになる。そのため、指定管理者は課外学習が少ない月に積極的にイベント（自主事業）を開催している。指定管理者は、小中学校へのチラシ配布、HP や富山市の広報誌での情報発信等を通じてイベントの周知に努めており、その結果、全てのイベントで申込者が定員を上回る状態となっている。自主事業収入は年間 1,400 千円程度、自主事業支出は年間 1,200 千円程度であり、自主事業支出には消耗品費、材料費、富山市への施設使用料等が含まれるが、人件費は配賦されていない。また、指定管理者は年度報告書に自主事業収支を記載していない。

指定管理者の主な支出は、人件費、委託料、使用料及び賃借料である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。委託料については、供食、清掃及び一般廃棄物処理業務委託が大部分を占めるが、当施設は 12～1 月や 3～4 月に稼働が低くなるにも関わらず、当該委託は年間契約になっており毎月 1,164 千円の支出が固定的に発生していた。使用料及び賃借料については、令和 3 年度に寝具のリース契約が変更され、未使用分も含めた全ての布団のリース料を毎月支払うことになっていた。

その他、当施設は山林をそのまま活用した広大な野外活動スペースを有しているため、12 月～1 月は積雪期に向けての準備作業（遊具の撤去、オリエンテーリング等の看板撤去、雪囲い、スコップ設置等）が、3～4 月は無雪期に向けての準備作業（遊具の設置、オリエンテーリング等の看板設置、雪囲いの除去等）が必要になる。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 51【意見 21】 | 準備作業期間における機能や利用の制限 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は山林をそのまま活用した広大な野外活動スペースを有しているため、12 月～1 月は積雪期に向けての準備作業（遊具の撤去、オリエンテーリング等の看板撤去、雪囲い、スコップ設置等）が、3～4 月は無雪期に向けての準備作業（遊具の設置、オリエンテーリング等の看板設置、雪囲いの除去等）が必要となる。これらの時期は殆ど施設利用がないが、仮に 1 件でも予約が入ると準備作業が後ろ倒しになり、設備の安全性確保が難しくなるとともに職員の事務負担が大きく増加してしまう。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、これらの時期に施設の機能や受入を制限することができないか検討することが望まれる。例えば、これらの時期は遊具や野外炊さんの利 | |

| | |
|---|---|
| 用を停止することが考えられる。 | |
| 52【意見 22】 | 施設の利用実態に応じた固定契約の見直し |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、雪の少ない 12～1 月中旬や新学期が始まる 3～4 月は殆ど利用されなくなっている。一方で、委託料の大部分を占める「供食、清掃及び一般廃棄物処理業務委託」は年間契約となっており、毎月 1,164 千円の費用が固定的に発生している。また、指定管理者は寝具 280 組（16 組×14 部屋＋予備分）をリースしているが、令和 3 年度にリース契約が変更され、未使用分も含めた全ての布団のリース料を毎月支払っている。このように、施設の利用が少ない時期にも固定額の支払いを続けることで、施設管理費が割高になっている可能性がある。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、施設の利用実態に照らしてこれらの固定契約が合理的かどうか検討することが望まれる。例えば、供食、清掃及び一般廃棄物処理業務委託については、施設の稼働の波に合わせて業務の頻度や内容を変更できないか検討することが考えられる。また、寝具のリースについては、過去の利用実績等をもとに必要な寝具の数を再検討し、寝具の数を減らしたりリースと購入を組み合わせたりしてリース料の支払いを極力削減することが考えられる。 | |
| 53【意見 4】 | 自主事業の負担軽減とより一層の拡大 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（意見 4）を識別している。 |
| 指定管理者は利用者満足度の高いイベント（自主事業）を活発に行っているが、それらは職員全員が参加する大規模なものであり、事務負担が大きくなっている。また、当施設は 12～1 月や 3～4 月に稼働が低くなる傾向があるため、その時期に負担の小さいイベントを増やす余地が残されている。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、イベント（自主事業）の負担軽減やより一層の拡充策を検討することが望まれる。例えば、イベントに参加した学生の中にはボランティアでの手伝いを希望するものがいるため、学生ボランティアを組織化し体系的に活用していくことが考えられる。また、稼働が低い時期に常設オリエンテーションを活用した負担の小さいイベント（現状の半分の人数で、半日程度で開催できるもの）を企画していくことが考えられる。 | |
| 54【指摘 7】 | 自主事業の実績報告漏れ |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 7）を識別している。 |
| 指定管理者は、当施設を使用して活発に自主事業を行っているが、年度報告書で自主事業収支を報告していない。自主事業の実施結果は指定管理業務の成果（市民サービスや施設の有効利用の向上）を評価するうえで重要な判断材料になる。 | |

| | |
|---|---|
| 施設所管課においては、年度報告書で自主事業収支を区分報告するよう指定管理者に指導する必要がある。 | |
| 55【指摘 7】 | 自主事業収支への人件費の配賦 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 7）を識別している。 |
| 指定管理者は、自主事業に係る消耗品費、材料費、施設使用料等を自主事業収支として集計しているが、人件費については自主事業収支に配賦していない。自主事業収支に人件費を配賦しない場合、指定管理業務に係る支出が過大に計上され、指定管理料の妥当性を正確に判断できなくなってしまう。<br>施設所管課においては、人件費を自主事業収支に配賦するよう指定管理者に指導する必要がある。例えば、職員毎に自主事業に要する大まかな日数を集計して当該日数の比率で人件費を配賦することが考えられる。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象とされている。当該包括外部監査における発見事項（備品管理以外）に対する施設所管課の措置回答状況及びそれに対する監査手続実施結果は以下のとおりである。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 【指摘】精算条項の記載漏れについて | |
| 過去の発見事項（要約） | 基本協定書に「指定期間全体の管理運営経費が管理業務委託料を下回った場合はその差額を市に返還する」旨の記載が漏れている。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 平成 25 年 2 月に精算条項を記載した変更協定書を作成した。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 指定管理者及び施設所管課に確認した結果、「措置回答のとおり、現在では基本協定書に精算条項が記載されている」との回答を得た。<br>この点、監査人が令和 3 年度に係る基本協定書を確認した結果、措置回答のとおり精算条項が漏れなく記載されていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |
| 【指摘】自主事業収支の区分 | |
| 過去の発見事項（要約） | 指定管理業務の消耗品費や印刷製本費に自主事業支出が含まれていた。指定管理業務支出と自主事業支出は、適切に区分する必要がある。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 指定管理業務支出と自主事業支出とを区分し、自主事業に係る経費は自主事業の予算から支出することとした。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 指定管理者及び施設所管課に確認した結果、「措置回答のとおり、指定管理業務収支と自主事業収支とを区分して集計している」との回答を得た。 |

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| | この点、監査人が関連資料を確認した結果、自主事業に係る直接費（消耗品費等）は区分集計されていたが、人件費が配賦されていなかった。これについては、上記「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で発見事項として記載しているため、本項では記載しないものとする。 |
| 【指摘】個人情報の管理 | |
| 過去の発見事項（要約） | 個人情報を保存している PC にログインパスワードが設定されていない。適切なアクセス権限を設ける必要がある。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 個人情報を入力したエクセルファイルにはパスワードを設定して、施設職員以外の者は開けないようにした。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 指定管理者及び施設所管課に確認した結果、「個人情報データは ID とパスワードで管理されている PC でのみ保管している」との回答を得た。<br>この点、監査人が往査時に確認した結果、上記回答のとおり適切に管理されていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |

## ９． 富山市民球場

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市下飯野 30 番地 1</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>スポーツ健康課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市スポーツ施設条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>市民のスポーツ振興を図り、市民の健康増進に寄与する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積（㎡）</th><th>建設費（千円）</th></tr>
<tr><td>スタンド</td><td>H4</td><td>50</td><td>21</td><td>16,479.72</td><td rowspan="5">5,218,770</td></tr>
<tr><td>スコアボード室</td><td>H4</td><td>38</td><td>9</td><td>205.10</td></tr>
<tr><td>プロパン庫</td><td>H4</td><td>34</td><td>5</td><td>7.14</td></tr>
<tr><td>便所</td><td>H4</td><td>38</td><td>9</td><td>50.00</td></tr>
<tr><td>内野スタンド</td><td>H7</td><td>50</td><td>24</td><td>2,306.69</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>営業期間</td><td>休業日：　12 月 28 日～1 月 4 日<br>開業時間：　個人及び団体使用は、日曜祝日は 10:00～19:00、それ以外の日は 10:00～21:30。大会等の場合は 9:00～21:30。</td></tr>
<tr><td>公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「スポーツ施設」については、「A.市内全域を対象として大規模なスポーツ大会やイベント等が実施できる施設」、「B.複数地域を対象としてスポーツ大会が実施できる施設」、「C.地域を対象としてサークルスポーツ活動が実施できる施設」の 3 層構造に再編するとともに、A と B は引き続き市所有として存続させ、C は老朽化に合わせて利用状況や安全性、地域性等を踏まえそのあり方の見直しを行う。その中で、利用率の低い施設は改善を行いつつ、将来に渡って改善が見込まれないことが予想される施設については、廃止・統合を行う。また、民間が代替できる施設や機能については、原則廃止することとし、施設については民間へ譲渡する。<br>その他、市が所有する施設については「市有拠点スポーツ施設長寿命化基本計画」を踏まえ、計画的に適正な維持管理を行う「予防保全」を推進するとともに、利用者の利便性向上に向け、予約方法や使用料金等の運営体制の見直しについて検討を行う。<br>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

<table>
<tr><td>指定管理者</td><td>（公財）富山市体育協会<br>所在地：　富山市湊入船町 12 番 1 号<br>代表者：　塩井　保彦<br>事業概要：　各種スポーツの普及啓発、指導者育成、各種スポーツ団体の育成と相互の連携・協働の推進、功労者・優秀選手の表彰、スポーツ選手の育成強化、スポーツに関する調査研究、スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営等<br>富山市との関係：　外郭団体</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>59,340</td><td>59,595</td><td>59,857</td><td>60,127</td><td>60,405</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数 1 者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費が 1 件 500 千円未満の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。</td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）。</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>総合型スポーツクラブ運営事業（アルペンスポーツクラブ）</td><td>施設を効果的、効率的に活用しながら利用者の目的にあった生涯スポーツを推進し、スポーツ人口の拡大、コミュニティの醸成等を図るため、各種スクールを開催する</td><td>14 教室を開催し 9,480 千円程度の収入を見込む。以下教室の例示<br>・エンジョイシェイプ：年 36 回開催、定員 35 人<br>・少年少女野球教室：年 36 回開催、定員 35 人</td></tr>
<tr><td>イベント事業</td><td>岩瀬街並みウォーキング、いき</td><td>イベント参加料として</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | いきスポーツの日、バスハイク、救命講習会、体成分測定会等を開催する | 246 千円程度の収入を見込む。それぞれ年 1～2 回開催 |
| 収益向上提案 | 指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>以下のような事業を実施し、当指定管理者が管理する指定管理施設全体で 13,370 千円程度の収入を見込む。収入は「各種スポーツイベントの開催」、「ジュニア選手強化育成」、「中高年の健康・体力づくり推進」等に使用している。<br>● 自動販売機を設置して飲料等を提供する<br>● スポーツ用具等を販売・貸出しする<br>● コピーや FAX サービスを行う | | |

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市民球場 | ＜メイングラウンド＞ 単位：円<br>入場無料 / 入場有料<br>アマチュア 7,606～ / 35,290～<br>その他 70,590～ / 176,460～ | 1 | 54,784 | 65,093 | 48,017 | 14,135 | 33,447 |
| | ＜サブグラウンド＞<br>アマチュア 1 時間 1,180 円<br>その他 1 時間 11,760 円 | 2 | 4,108 | 4,183 | 3,729 | 1,488 | 2,400 |
| | ＜屋内練習場＞<br>アマチュア 1 時間 940 円<br>その他 1 時間 4,710 円 | 3 | 10,870 | 9,722 | 9,263 | 7,090 | 9,641 |
| | ＜フィットネスルーム＞<br>専用使用 2 時間 1,180 円<br>個人使用(大人) 2 時間 180 円<br>専用使用(小人) 2 時間 110 円 | 4 | 37,462 | 38,285 | 37,654 | 18,649 | 22,482 |
| | ＜研修室＞<br>小研修室 1～4 3,180 円～<br>大研修室 8,820 円～ | 5 | 3,477 | 3,735 | 3,965 | 3,497 | 11,369 |
| | **合計** | | **110,701** | **121,018** | **102,628** | **44,859** | **79,339** |

＜補足コメント＞

※1　メイングラウンドの利用者数について

主に社会人野球の大会や各種イベントで利用されており、利用者数は大会やイベントの開催状況に左右される。観客の定員は 30,000 人であるが、無理なく観戦するためには 20,000 人程度が限界となっている。

平成 30 年度は隔年で実施されているプロ野球巨人戦北陸シリーズが開催されたため利用者数が増加している。令和 2 年度は、コロナ禍で各種大会やプロ野球巨人戦北陸シ

リーズが中止されたため利用者数が減少している。令和 3 年度は、入場者数を制限したうえで各種大会やプロ野球巨人戦北陸シリーズが開催されたため、利用者数が増加している。

その他、12～2 月は利用実態と管理負担を勘案して内野部分を利用禁止としており、それに合わせて内野整備員（キーパー）も当該期間は勤務しなくなっている。外野部分は利用可能だが殆ど利用者はいない。外野部分は人工芝であり管理負担は無いほか、仮に使用者がいる場合は通常通りの使用料金を徴収している。

※2　サブグラウンドの利用者数について

主に大会開催時の練習等で使用されており、利用者数は大会の開催状況に左右される。観戦者が入れないためメイングラウンドに比べると利用者数が少なくなっている。メイングラウンドと同様の理由で利用者数が変動している。

※3　屋内練習場の利用者数について

雨天時や冬季も使用できるため少年団や部活の練習で使用されており、特に休日は利用度が高くなっている。

令和 2 年度はコロナ禍で利用者数が減少したが、近隣に類似の施設が無いため、令和 3 年度は利用者数が回復している。

※4　フィットネスルームの利用者数について

他の施設と比較すると使用料金が安いため、近隣の住民等が活発に利用している。

令和 2 年度はコロナ禍で利用者数が一時的に減少したが、使用料金が安いため令和 3 年度は利用者数に回復の兆しがみられる。

使用料金は、平成 4 年に開設された際に類似施設を参考に設定したため、富山市民プールや富山市総合体育館のフィットネスルームと比べても割安になっている。ただし、富山市民プールや富山市総合体育館には常駐の指導員がいるが当施設にはいないため、使用料金に差が生じること自体は不合理ではない。

※5　研修室の利用者数について

主に、大会開催時の打合せ、ベースボールクラブの講習会等で利用されており、利用者数は大会の開催状況等に左右される。

令和 2 年度は、フィットネスルームの空調が壊れた関係で一部のスポーツ教室を研修室で開催したため、コロナ禍にも関わらず利用者数が横ばいとなっている。令和 3 年度は、コロナワクチンの接種会場になったため利用者数が大幅に増加している。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 11,392 | 13,182 | 10,230 | 6,644 | 8,877 |
| 目的外使用料 | 2 | 169 | 160 | 160 | 66 | 70 |
| その他の歳入 | | 110 | 107 | 1,209 | 25 | 145 |
| **a.歳入実績合計** | | **11,672** | **13,450** | **11,600** | **6,736** | **9,093** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 57,000 | 57,000 | 57,454 | 57,343 | 58,329 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 委託料（その他） | 4 | 3,299 | － | 19,250 | 23,439 | 22,253 |
| 補助金（指定管理運営） | 5 | 19,121 | 19,226 | 19,474 | 24,452 | 25,134 |
| 修繕料 | | － | － | 302 | － | － |
| 工事請負費 | 6 | 8,856 | 8,802 | 8,745 | 8,783 | 8,800 |
| 備品購入費 | | － | － | 1 | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **88,277** | **85,028** | **105,228** | **114,019** | **114,516** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲76,605** | **▲71,577** | **▲93,627** | **▲107,282** | **▲105,423** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲76,991** | **▲73,784** | **▲92,084** | **▲90,759** | **▲105,645** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **385** | **2,207** | **▲1,543** | **▲16,522** | **222** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設の使用料であり、利用者数の増減により変動する。利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　目的外使用料について

令和3年度の内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料55千円」、「電柱占有料15千円」である。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和2年度及び令和3年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。

※4　委託料（その他）について

令和3年度の主な内訳は、「内野スタンド観客席更新業務委託22,000千円」である。当該修繕は一度に全て行うには高額であるため、3年計画で同額程度を支出し対応している。

※5　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

※6　工事請負費について

令和3年度の主な内訳は、「漏水対策工事8,800千円」である。施設の老朽化により毎年漏水が発生しており、同程度の工事請負費が継続的に発生している。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 57,000 | 57,000 | 57,454 | 57,912 | 58,329 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 19,121 | 19,226 | 19,474 | 24,452 | 25,012 |
| **a.収入合計** | | **76,121** | **76,226** | **76,928** | **82,364** | **83,341** |
| 人件費 | 3 | 19,121 | 19,226 | 19,474 | 24,452 | 25,134 |
| 光熱水費 | 4 | 17,341 | 19,441 | 18,927 | 14,283 | 14,218 |
| 修繕料 | 5 | 8,122 | 7,912 | 4,193 | 11,286 | 8,545 |
| 委託料 | 6 | 23,612 | 23,692 | 23,534 | 23,735 | 23,800 |
| 指定管理料返金等（富山市） | 7 | － | － | － | 569 | － |
| その他の支出 | | 5,638 | 5,252 | 7,574 | 7,617 | 10,763 |
| **b.支出合計** | | **73,834** | **75,523** | **73,702** | **81,942** | **82,460** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **2,287** | **703** | **3,226** | **422** | **881** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲73,834** | **▲75,523** | **▲73,702** | **▲81,373** | **▲82,460** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

また、指定管理者は、内部管理目的で補助金収入を各施設に振り分けているため、補助金収入は「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」の補助金と必ずしも一致しない。この点、差異は少額であることから重大な問題はないと判断する。

※3　人件費について

当施設で勤務している正規職員２人（場長１人、副主幹１人)、常勤嘱託職員２名（スポーツ指導員１人、一般事務１人)、常勤臨時職員３名（管理人３人)、非常勤臨時職員３名（管理人１人、夜間管理人２人)、内野キーパー9人（冬季以外の期間雇用）の人件費である。

令和２年度は、常勤嘱託職員（富山市再雇用職員）であった場長が正職員になったため人件費が増加している。

なお、指定管理者は法人管理部門の人件費についても富山市から補助金を受領してい

るが、施設別の年度報告書を作成する際には、法人管理部門の人件費や補助金を各施設に配賦していない。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 1,322 千円であり、非常勤臨時職員や期間雇用の内野キーパーが半数以上を占めていることを勘案すると大きな問題は認められない。

※4　光熱水費について

令和 3 年度の主な内訳は、「電気料（高圧契約）14,054 千円」である。当施設は大規模野球場であり、プロ野球の興行等で照明を使うため電気契約は高圧契約になっている。なお、全灯照明は年 1～2 回のプロ野球の興行でしか使用しないため、今後、照明を LED 化することで高圧契約の電気料を削減する方針である。

※5　修繕料について

令和 3 年度の主な内訳は、「メイングラウンド外野ラバーフェンス補強修繕 1,254 千円」等である。

※6　委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「清掃業務委託 8,476 千円」、「芝生・樹木管理業務委託料 6,600 千円」、「照明・スコアボード臨時保守点検業務委託料 2,723 千円」等である。清掃業務は主に屋内練習場等の館内清掃となっており、年間を通じて実施されている。芝生・樹木管理業務は、当施設の周辺に存在する緑地エリアの維持管理業務である。

※7　指定管理料返金等（富山市）について

指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を行っている。指定管理料の精算資料を査閲したが、計算誤り等の重大な問題は発見されなかった。

### （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、富山市政 100 周年の記念事業の一つとして平成 4 年に開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

当施設は北陸地方初の全面人工芝の野球場であり、富山県内で最大の規模を誇っている。当施設は、富山市郊外に位置し多数の駐車場を有するため、富山市内外から年間 10 万人以上の利用者が訪れている。特に、隔年で開催されるプロ野球巨人戦北陸シリーズがある年は利用者数が多くなる傾向がある。令和 2 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業や各種大会等の中止により利用者数が減少しているが、足元では大会の再開等により利用者数が回復傾向にある。

当施設は、12 月 28 日～1 月 4 日を除き開業しているが、12 月～2 月は積雪により利用が極端に減少するため、管理負担を勘案して内野部分を利用禁止としている。

このように、当施設は富山県を代表する野球場として多数の住民に利用されており、その存在意義は十分に認められる。

そのため、施設のあり方や存在意義について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料である。施設使用料は利用者数に連動するが、利用者数はイベントや大会の開催状況に大きく左右される。また、当施設は指定管理者が主催するスポーツクラブの使用が多く、スポーツ減免が相応に発生しているが、減免の事務手続に課題が認められた。

富山市の主な歳出は、指定管理料、人件費補助金、設備の更新や修繕に係る委託料である。指定管理料及び人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。委託料については、関連する資料を査閲したが、球場の機能を維持更新するためのものであり、その内容や金額に重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 56【意見 23】 | 減免申請手続の遅延 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 指定管理者は、前年度末までに自身が主催するスポーツクラブの 1 年分の使用予定と減免申請を施設所管課に提出しているが、令和 3 年度分については当該手続が漏れており、9 月に申請を行っていた。<br>施設所管課においては、減免手続に遅延が無いよう指定管理者を指導することが望まれる。 | |

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は 1 者のみであり、外郭団体である富山市体育協会が指定管理者に選定されている。この点、当施設は老朽化が進み修繕負担が

大きくなってきているため、利潤を求める民間企業は参入しにくいと考えられる。また、当施設は富山市の中核的なスポーツ施設であり、富山市のスポーツ行政と密接に連携した運営が求められるため、人員や情報の共有が図りやすい外郭団体が運営することには合理性がある。加えて、指定管理者は長期間指定管理業務を請け負うことで施設運営のノウハウを蓄積しており、重大なクレームやトラブルなく施設を運営できている。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ. 指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ. 指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料と人件費補助金である。なお、指定管理者は当施設で自主事業（スポーツクラブ運営）を実施しており、参加者から参加料を徴収するとともに、富山市に施設使用料を納付している。指定管理者は、指定管理業務収支と自主事業趣旨を区分集計しており、人件費についても自主事業を担当する職員（スポーツ振興部門に所属する職員）の人件費を指定管理業務収支から控除している（当該職員の人件費については、別途富山市からスポーツ振興事業補助金が交付されている）。なお、指定管理者は年度報告書に自主事業収支を記載していない。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費、委託料である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費については、年 1～2 回のプロ野球の興行でしか全灯照明を使用しないため高圧電力の基本料金が割高になる傾向が認められた。委託料については、施設の清掃業務委託、芝生樹木管理業務委託等であり、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 57【指摘 7】 | 自主事業の実績報告漏れ |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 7）を識別している。 |
| 指定管理者は、当施設を使用して自主事業（スポーツクラブの運営）を行っているが、年度報告書で自主事業収支を報告していない。自主事業の実施結果は指定管理業務の成果（市民サービスや施設の有効利用の向上）を評価するうえで重要な判断材料になる。<br>施設所管課においては、年度報告書で自主事業収支を区分報告するよう指定管理者に指導す | |

| | |
|---|---|
| る必要がある。 | |
| 58【意見 24】 | 最大電力量削減のための対応 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、照明で大量の電気を使用するため高圧電力となっている。一方で、当施設で全灯照明を使用する日は年間数日に限られており、最大電力量をもとに決定される基本料金が割高になっている可能性がある。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、最大電力量を削減するための施策を検討することが望まれる。例えば、照明を LED 化したり発電機を設置して最大電力量を抑えたりすることが考えられる。なお、発電機の設置については、設備投資コストと電力料削減効果とを比較検討することが望まれる。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象とされている。当該包括外部監査における発見事項（備品管理以外）に対する施設所管課の措置回答状況及びそれに対する監査手続実施結果は以下のとおりである。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 【指摘】精算条項の記載漏れについて | |
| 過去の発見事項（要約） | 基本協定書に「指定期間全体の管理運営経費が管理業務委託料を下回った場合はその差額を市に返還する」旨の記載が漏れている。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 平成 25 年 2 月に精算条項を記載した変更協定書を作成した。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 指定管理者及び施設所管課に確認した結果、「措置回答のとおり、現在では基本協定書に精算条項が記載されている」との回答を得た。<br>この点、監査人が令和 3 年度に係る基本協定書を確認した結果、措置回答のとおり精算条項が漏れなく記載されていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |
| 【指摘】自主事業に従事した職員の人件費の配賦ついて | |
| 過去の発見事項（要約） | プロパー職員が自主事業に従事した分の人件費が自主事業に配賦されておらず、全て対象施設の指定管理事業の事業費とされている。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 自主事業に従事した職員の人件費については、適切な配賦ができるか、指定管理者と検討していく。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 施設所管課及び指定管理者に確認した結果、「自主事業を担当する職員（スポーツ振興部門に所属する職員）の人件費は指定管理業務から区分して集計している」との回答を得た。関連資料を査閲した結果回答のとおり運用されていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |

## １０． 東富山温水プール、北部プール

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市米田 65 番地 4</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>スポーツ健康課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市スポーツ施設条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>市民のスポーツ振興を図り、市民の健康増進に寄与する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積（㎡）</th><th>建設費（千円）</th></tr>
<tr><td>東富山温水プール</td><td>S57</td><td>47</td><td>8</td><td>1,861.67</td><td rowspan="2">577,977</td></tr>
<tr><td>富山市体操練習場</td><td>H5</td><td>34</td><td>6</td><td>274.05</td></tr>
<tr><td>北部プール</td><td>H24</td><td>34</td><td>25</td><td>571.05</td><td>129,850</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>営業期間</td><td>休業日：　12 月 28 日～1 月 4 日<br>開業時間：　東富山温水プールは、個人及び団体使用の場合、日曜祝日は 10:00～16:30、土曜日は 10:00～20:00、それ以外の日は 12:00～20:00。大会等の場合は 9:00～21:00。<br>北部プールは、9:00～21:00。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「スポーツ施設」については、「A.市内全域を対象として大規模なスポーツ大会やイベント等が実施できる施設」、「B.複数地域を対象としてスポーツ大会が実施できる施設」、「C.地域を対象としてサークルスポーツ活動が実施できる施設」の 3 層構造に再編するとともに、A と B は引き続き市所有として存続させ、C は老朽化に合わせて利用状況や安全性、地域性等を踏まえそのあり方の見直しを行う。その中で、利用率の低い施設は改善を行いつつ、将来に渡って改善が見込まれないことが予想される施設については、廃止・統合を行う。また、民間が代替できる施設や機能については、原則廃止することとし、施設については民間へ譲渡する。<br>その他、市が所有する施設については「市有拠点スポーツ施設長寿命化基本計画」を踏まえ、計画的に適正な維持管理を行う「予防保全」を推進するとともに、利用者の利便性向上に向け、予約方法や使用料金等の運営体制の見直しについて検討を行う。</td></tr>
<tr><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

<table>
<tr><td>指定管理者</td><td>（公財）富山市体育協会<br>所在地：　富山市湊入船町 12 番 1 号<br>代表者：　塩井　保彦<br>事業概要：　各種スポーツの普及啓発、指導者育成、各種スポーツ団体の育成と相互の連携・協働の推進、功労者・優秀選手の表彰、スポーツ選手の育成強化、スポーツに関する調査研究、スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営等<br>富山市との関係：　外郭団体</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>38,959</td><td>39,033</td><td>39,002</td><td>39,018</td><td>39,084</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数 2 者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費が 1 件 300 千円未満の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。</td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>スポーツ教室（エンジョイアクアウォーク）</td><td>手軽に始められる水中ウォーキング教室を開催し、体力向上並びに健康増進を図る</td><td>年 36 回、定員 20 人、収入は 324 千円を見込む</td></tr>
<tr><td>イベント事業</td><td>気軽に取り組めるウォーキングイベントを開催し、体力向上並びに健康増進を図る</td><td>年 1 回、定員 30 人、収入は 6 千円を見込む</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>以下のような事業を実施し、当指定管理者が管理する指定管理施設全体で</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | 13,370 千円程度の収入を見込む。収入は「各種スポーツイベントの開催」、「ジュニア選手強化育成」、「中高年の健康・体力づくり推進」等に使用している。<br>● 自動販売機を設置して飲料等を提供する<br>● スポーツ用具等を販売・貸出しする<br>● コピーやFAXサービスを行う |

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東富山温水プール | ＜個人＞<br>大人2時間　230円<br>小人2時間　110円<br>＜期間利用＞　単位：円<br>1ヶ月 / 3カ月 / 6カ月 / 12ヶ月<br>大人：2,820 / 5,640 / 8,480 / 11,300<br>小人：1,420 / 2,820 / 4,240 / 5,640<br>＜大会等＞<br>入場無料　使用時間により9,420円～<br>入場有料　使用時間により23,530円～ | 1 | 23,668 | 73,361 | 70,541 | 45,754 | 53,632 |
| 北部プール | ＜個人＞<br>大人2時間　70円<br>小人2時間　30円<br>＜期間利用＞　単位：円<br>6カ月 / 12ヶ月<br>大人：2,120 / 2,820<br>小人：1,280 / 1,700 | 2 | 6,779 | 7,296 | 8,182 | 5,288 | 6,261 |

＜補足コメント＞

※1　東富山温水プールの利用者数の推移について

主な利用者は、近隣住民やスイミングクラブ参加者であり、使用料金が低廉であるため利用者数が相応に多くなっている。

平成29年度は、7月～翌年3月まで施設補修のため休業しており利用者数が減少している。令和2年度以降は、コロナ禍で利用者数が減少している。

当施設は昭和57年度に開設されており、使用料金は開設時のままとなっているため低廉になっている。その他、冬季よりも夏季、平日より休日、昼間より夜間の利用が多くなる傾向にあるが、利用状況に顕著な偏りは認められない。

※2　北部プールの利用者数の推移について

当施設は、水球の競技力を向上させる目的で作られており、非常に深いため一般開放はされていない。主な利用者は、学生（水球部の2～3団体）である。類似施設として富山県総合体育センタープールがあるが、そちらは富山市中南部にあり、富山市北部地域

には類似施設は存在しない。

令和 2 年度はコロナ禍で利用者数が一時的に減少したが、類似施設が少なく利用者も特定の団体に限られているため、令和 3 年度は利用者数が回復している。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 1,919 | 5,134 | 4,897 | 3,192 | 3,779 |
| 目的外使用料 | 2 | 43 | 40 | 40 | 25 | 22 |
| その他の歳入 | | 3 | 1 | 2 | － | 9 |
| **a.歳入実績合計** | | **1,966** | **5,177** | **4,940** | **3,218** | **3,811** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 36,497 | 36,497 | 38,043 | 36,100 | 37,948 |
| 委託料（その他） | | 1,512 | － | － | | － |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 19,038 | 28,384 | 28,915 | 29,382 | 36,128 |
| 修繕料 | | － | － | 302 | 333 | － |
| 使用料及び賃借料 | | 126 | 163 | 163 | 163 | 163 |
| 手数料 | | 81 | － | － | － | － |
| 工事請負費 | 5 | 40,791 | － | － | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **98,047** | **65,044** | **67,424** | **65,979** | **74,240** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲96,081** | **▲59,867** | **▲62,484** | **▲62,761** | **▲70,428** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲100,038** | **▲60,201** | **▲62,994** | **▲63,480** | **▲67,012** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **3,956** | **333** | **510** | **719** | **▲3,415** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設の使用料であり、利用者数の増減により変動する。利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　目的外使用料について

令和 3 年度の主な内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料 13 千円」である。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度及び令和 3 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。

※4　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合する

よう毎年度末に精算されている。

なお、平成 29 年度は「プール天井改修工事」により 7 月～翌年 3 月まで休館していたため、アルバイト（プール監視員）の人件費が減少し人件費補助金も減少している。令和 3 年度は、常勤嘱託職員（富山市再雇用職員）であった館長が正職員になったため人件費が増加し、人件費補助金も増加している。

※5　工事請負費について

平成 29 年度の主な内訳は、「プール天井改修工事」である。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 36,497 | 36,497 | 38,043 | 38,108 | 37,948 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 20,627 | 28,384 | 28,979 | 29,382 | 36,364 |
| **a.収入合計** | | **57,124** | **64,881** | **67,022** | **67,490** | **74,312** |
| 人件費 | 3 | 19,038 | 28,384 | 28,915 | 29,382 | 36,128 |
| 燃料費 | 4 | 7,274 | 14,640 | 13,523 | 11,393 | 16,703 |
| 光熱水費 | 5 | 6,553 | 13,996 | 13,300 | 11,744 | 12,744 |
| 修繕料 | | 5,730 | 1,814 | 4,641 | 4,647 | 1,586 |
| 委託料 | | 2,381 | 2,502 | 2,569 | 2,548 | 2,522 |
| 指定管理料返金等（富山市） | 6 | － | － | － | 2,008 | － |
| その他の支出 | | 6,796 | 3,472 | 3,982 | 5,400 | 3,847 |
| **b.支出合計** | | **47,772** | **64,808** | **66,930** | **67,122** | **73,530** |
| **c.収支差額（a-b）** | **7** | **9,352** | **73** | **92** | **368** | **782** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲47,772** | **▲64,808** | **▲66,930** | **▲65,114** | **▲73,530** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

また、指定管理者は、内部管理目的で補助金収入を各施設に振り分けているため、補助金収入は「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」の補助金と必ずしも一致しない。この点、差異は少額であることから重大な問題はないと判断する。

※3　人件費について

当施設で勤務している正規職員 2 人（館長 1 人、副主幹 1 人）、常勤嘱託職員 1 人（スポーツ指導員 1 人）、常勤臨時職員 2 人（管理人 2 人）、非常勤臨時職員 2 人（夜間管理人 1 人、清掃員 1 人）、アルバイト 17 人（プール監視員 17 人）の人件費である。

平成 29 年度は「プール天井改修工事」により 7 月～翌年 3 月まで休館していたため、アルバイト（プール監視員）の人件費が減少している。令和 3 年度は、常勤嘱託職員（富山市再雇用職員）であった館長が正職員になったため人件費が増加している。

なお、指定管理者は法人管理部門の人件費についても富山市から補助金を受領しているが、施設別の年度報告書を作成する際には、法人管理部門の人件費や補助金を各施設に配賦していない。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 1,505 千円であり、アルバイトが半数以上を占めていることを勘案すると大きな問題は認められない。

※4　燃料費について

令和 3 年度の主な内訳は、「灯油代 11,555 千円」、「木質ペレット購入代 4,950 千円」等である。灯油は東富山温水プールの加温のために、木質ペレットは北部プールの加温のために使用しており、何れも夜間はボイラーを停止する等経費削減に努めている。

※5　光熱水費について

令和 3 年度の主な内訳は、「電気料（高圧契約）8,506 千円」、「上下水道料 4,238 千円」である。当施設は大規模プールであり、照明等で大量の電気を使用するため電気契約は高圧契約になっている。なお、平成 29 年度に天井改修工事を実施した際、電球を全て LED 化している。

※6　指定管理料返金等（富山市）について

指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を行っている。指定管理料の精算資料を査閲したが、計算誤り等の重大な問題は発見されなかった。

※7　収支差額について

平成 29 年度は、7 月～翌年 3 月まで施設補修のため休館しておりアルバイト（プール監視員）の人件費等を中心に支出が減少した結果、収支差額が多額になっている。

### （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

東富山温水プールは、富山北部地域の中心的なプールとして昭和 57 年度に開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組み

を進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

東富山温水プールは、使用料金が低廉であるため近隣住民やスイミングクラブ参加者によって活発に利用されている。なお、冬季よりも夏季、平日より休日、昼間より夜間の利用が多くなる傾向にあるが、利用状況に顕著な偏りは認められない。平成 29 年度は、7 月～翌年 3 月まで施設の大規模修繕を行っていたため利用者数が減少している。令和 2 年度以降は、コロナ禍で利用者数が減少している。一方で、使用料金が低廉であること、近隣に類似施設が無いこと等から、足元では利用の回復が認められる。

北部プールは、水球の競技力向上を目的として開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

北部プールは、水深が非常に深いため一般開放されておらず、利用者数は少なくなっている。主な利用者は、水球部の学生である。富山市内には、類似施設として富山県総合体育センタープールがあるが、そちらは富山市中南部にあり富山市北部には類似施設は存在しない。令和 2 年度はコロナ禍で利用者数が一時的に減少したが、類似施設が少なく利用者も特定の団体に限られているため、令和 3 年度は利用者数が回復している。なお、北部プールは環境に配慮した木質ペレットボイラーを使用しているため加温に時間がかかり、営業期間や営業時間の短縮が難しくなっている。

このように、当施設は使用料金が低廉であること、富山市北部に類似施設が少ないこと等から、近隣住民等を中心に相応に利用されており、その存在意義は認められる。

そのため、施設のあり方や存在意義について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料である。東富山温水プールの使用料金は昭和 57 年度の開設以来見直されておらず低廉であるため、施設使用料は少額となっている。また、北部プールは水球の競技力向上目的で開設されており、使用料金が非常に低廉であることに加えて利用者数が少ないため、施設使用料は少額となっている。

富山市の主な歳出は、指定管理料、人件費補助金、設備の更新や修繕に係る委託料である。指定管理料及び人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。委託料については、関連する資料を査閲したが、施設の機能を維持するための業務としてその内容や金額に重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 59【意見 25】 | 利用料金体系の見直し要否の検討 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |

東富山温水プールの使用料金は大人 2 時間 230 円であり、北部プールの使用料金は大人 2 時間 70 円である。これは、富山市の類似施設と比較して低廉になっている（富山市民プールは大人 2 時間 450 円、八尾 B&G 海洋センタープールは大人 2 時間 340 円）。なお、東富山温水プールは、施設の老朽化に伴う修繕料や加温のための燃料費が相応に発生している。また、北部プールは、水球の競技力向上を目的としており使用料金を低廉にしているが、一般利用が制限され特定の団体が継続的に利用している施設であることを考えると、受益者負担の公平性の観点から議論の余地がある可能性がある。

施設所管課においては、当施設の利用状況や今後の大規模修繕の必要性、類似施設の使用料金水準等を整理したうえで、受益者負担の公平性の観点から妥当な使用料金の水準を検討することが望まれる。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っており、応募者数 2 者の中から外郭団体である富山市体育協会が指定管理者に選定されている。この点、指定管理候補者選定審査資料を査閲したが、他の応募者は組織体制や管理実績の面で課題が見受けられた。また、指定管理者は長期間指定管理業務を請け負うことで施設運営のノウハウを蓄積しており、重大なクレームやトラブルなく施設を運営できている。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料と人件費補助金である。なお、指定管理者は当施設で自主事業（スポーツクラブ運営）を実施しており、参加者から参加料を徴収するとともに、富山市に施設使用料を納付している。指定管理者は、指定管理業務収支と自主事業趣旨を区分集計しており、人件費についても自主事業を担当する職員（スポーツ振興部門に所属する職員）の人件費を指定管理業務収支から控除している（当該職員の人件費については、別途富山市

からスポーツ振興事業補助金が交付されている)。なお、指定管理者は年度報告書に自主事業収支を記載していない。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費及び燃料費である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費及び燃料費については、照明に係る電気料や加温のための燃料費であり、何れも現状の開館期間や開館時間を前提とすると重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 60【指摘 7】 | 自主事業の実績報告漏れ |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 7）を識別している。 |
| 指定管理者は、当施設を使用して自主事業（スポーツクラブの運営）を行っているが、年度報告書で自主事業収支を報告していない。自主事業の実施結果は指定管理業務の成果（市民サービスや施設の有効利用の向上）を評価するうえで重要な判断材料になる。<br>施設所管課においては、年度報告書で自主事業収支を区分報告するよう指定管理者に指導する必要がある。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象とされている。当該包括外部監査における発見事項（備品管理以外）に対する施設所管課の措置回答状況及びそれに対する監査手続実施結果は以下のとおりである。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 【指摘】精算条項の記載漏れについて | |
| 過去の発見事項（要約） | 基本協定書に「指定期間全体の管理運営経費が管理業務委託料を下回った場合はその差額を市に返還する」旨の記載が漏れている。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 平成 25 年 2 月に精算条項を記載した変更協定書を作成した。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 指定管理者及び施設所管課に確認した結果、「措置回答のとおり、現在では基本協定書に精算条項が記載されている」との回答を得た。<br>この点、監査人が令和 3 年度に係る基本協定書を確認した結果、措置回答のとおり精算条項が漏れなく記載されていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |

# １１． 北部錬成館等

## （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 北部錬成館：　富山市高畠町二丁目 11 番 47 号<br>蜷川ちびっこ広場(※1)：　富山市赤田 50 番地<br>和合運動広場(※1)：　富山市布目 3394 番地 8<br>五艘運動広場(※1)：　富山市五艘 2 番地<br>大久保運動広場(※1)：　富山市栗山 551 番地<br>呉羽運動広場(※1)：　富山市住吉 1081 番地 1<br>西番運動広場(※1)：　富山市西番 100 番地<br>奥田北少年サッカー広場(※1)：　富山市下新北町 2 番 11 号<br>相撲場(※1)：　富山市磯部町一丁目 1 番 10 号<br>馬場記念公園庭球場(※2)：　富山市蓮町一丁目 4 番 30 号<br>石坂庭球場(※2)：　富山市石坂 3452 番地 3<br>蜷川庭球場(※2)：　富山市赤田 50 番地<br>五艘庭球場(※2)：　富山市五艘 2 番地<br>呉羽庭球場(※2)：　富山市住吉 1073 番地 3<br>星井町庭球場(※2)：　富山市西中野町二丁目 1 番 24 号<br>布瀬南公園庭球場(※2)：　富山市布瀬町南三丁目 7 番地 1<br>城東ふれあい公園庭球場(※2)：　富山市荒川四丁目 1 番 70 号<br>東富山運動広場庭球場(※3)：　富山市米田 45 番地 1<br>東富山運動広場(※3)：　富山市米田 45 番地 1<br>屋内ゲートボール場：　富山市布瀬町南三丁目 7 番地 1<br>花木体育センター：　富山市花木 28 番地<br>※1：以下、「運動広場等」という<br>※2：以下、「庭球場等」という<br>※3：以下、「東富山運動広場等」という |
| 所管部署 | スポーツ健康課 |
| 関連条例等 | 富山市スポーツ施設条例及び同条例施行規則 |
| 条例に定める施設の目的 | 市民のスポーツ振興を図り、市民の健康増進に寄与する |

施設の主な建物の概要

| 主な建物 | 建築年 | 耐用年数 | 残存年数 | 延床面積（㎡） | 建設費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 北部錬成館 1 | S42 | 34 | 0 | 327.60 | 14,880 |
| 北部錬成館 2 | S49 | 34 | 0 | 104.00 | |
| 相撲場 | S57 | 34 | 0 | 81.00 | 10,700 |
| 屋内ゲートボール場 | H6 | 34 | 7 | 1,210.32 | 319,993 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 花木体育センター | S62 | 47 | 13 | 1,065.84 | 203,060 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 営業期間 | 休業日： | 北部錬成館： | 12 月 28 日～1 月 4 日 |
| | | 東富山運動広場： | 12 月 28 日～2 月 28 日 |
| | | その他の運動広場： | 休業日無し |
| | | 城東ふれあい公園庭球場： | 12 月 28 日～1 月 4 日 |
| | | その他の庭球場： | 12 月 28 日～2 月 28 日 |
| | | 相撲場： | 休業日無し |
| | | 屋内ゲートボール場： | 12 月 28 日～1 月 4 日 |
| | | 花木体育センター： | 12 月 28 日～1 月 4 日 |
| | 開業時間： | 北部錬成館： | 9:00～21:00 |
| | | 東富山運動広場： | 6 月～9 月は 9:00～19:00 |
| | | | それ以外は 9:00～17:00 |
| | | その他の運動広場： | 6:00～18:00 |
| | | 城東ふれあい公園庭球場： | 6 月～9 月は 9:00～19:00 |
| | | | それ以外は 9:00～17:00 |
| | | 星井町庭球場： | 9:00～21:00 |
| | | 東富山運動広場庭球場： | 9:00～21:00 |
| | | | 日曜祝日は 9:00～17:00 |
| | | その他の庭球場： | 9:00～17:00 |
| | | 相撲場： | 9:00～17:00 |
| | | 屋内ゲートボール場： | 9:00～17:00 |
| | | 花木体育センター： | 9:00～21:00 |
| | | | 日曜祝日は 9:00～17:00 |

**公共施設マネジメント方針**

＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞

当施設については直接的には言及されていない。

当施設を含む「スポーツ施設」については、「A.市内全域を対象として大規模なスポーツ大会やイベント等が実施できる施設」、「B.複数地域を対象としてスポーツ大会が実施できる施設」、「C.地域を対象としてサークルスポーツ活動が実施できる施設」の 3 層構造に再編するとともに、A と B は引き続き市所有として存続させ、C は老朽化に合わせて利用状況や安全性、地域性等を踏まえそのあり方の見直しを行う。その中で、利用率の低い施設は改善を行いつつ、将来に渡って改善が見込まれないことが予想される施設については、廃止・統合を行う。また、民間が代替できる施設や機能については、原則廃止することとし、施設については民間へ譲渡する。

その他、市が所有する施設については「市有拠点スポーツ施設長寿命化基本計画」を踏まえ、計画的に適正な維持管理を行う「予防保全」を推進するとともに、利用者の利便性向上に向け、予約方法や使用料金等の運営体制の見直しについて検討を行う。

| | |
|---|---|
| | ＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当指定管理施設に含まれる「相撲場」と「花木体育センター」はアクションプランの対象となっている。<br>「相撲場」は、機能維持の方針は「非継続」となっている。また、機能の提供形態は「提供主体変更」、「廃止・休止」が検討されており、整備手法は「譲渡」、「解体」が検討されている。<br>「花木体育センター」は、機能維持の方針は「継続」となっている。また、機能の提供形態は「維持」、「集約化」、「廃止・休止」が検討されており、整備手法は「修繕」、「解体」が検討されている。その他、補足説明で「必要最低限の機能維持に努めるとともに、大規模な修繕が必要になった際には廃止する」とのコメントがある。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | （公財）富山市体育協会<br>所在地：　富山市湊入船町 12 番 1 号<br>代表者：　塩井　保彦<br>事業概要：　各種スポーツの普及啓発、指導者育成、各種スポーツ団体の育成と相互の連携・協働の推進、功労者・優秀選手の表彰、スポーツ選手の育成強化、スポーツに関する調査研究、スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営等<br>富山市との関係：　外郭団体 |
| 指定管理業務の概要 | ● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務 |
| 指定期間 | 5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度） |
| 指定管理料 | 各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円 |

| | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|---|---|---|---|---|---|
| 北部錬成館、運動広場等、庭球場等、東富山運動広場等、屋内ゲートボール場、花木体育センター | 28,724 | 28,597 | 28,706 | 28,211 | 28,339 |

| | |
|---|---|
| 選定方法 | 公募（応募者数 1 者） |
| 使用料の帰属 | 富山市（使用料制） |
| 施設、設備、備品等の維持修 | ● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費が 1 件 300 千円未満の場合は、指定管理者 |

<table>
<tr><td>繕に係る費用の負担関係</td><td>がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。</td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td rowspan="2">総合型スポーツクラブ運営事業（東富山スポーツクラブ）</td><td>北部錬成館で小中学生を対象に柔道・剣道教室を開催する。</td><td>小中学生を対象に剣道 30 人、柔道 30 人を定員とし週 2～3 回開催する。収入は 845 千円</td></tr>
<tr><td>東富山運動広場で北部地域の生涯スポーツ及び競技スポーツの振興を図るため、各種クラブを運営する</td><td>小学生や社会人を対象にテニススクールやテニスサークルを開催する。収入は 912 千円</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>以下のような事業を実施し、当指定管理者が管理する指定管理施設全体で 13,370 千円程度の収入を見込む。収入は「各種スポーツイベントの開催」、「ジュニア選手強化育成」、「中高年の健康・体力づくり推進」等に使用している。<br>● 自動販売機を設置して飲料等を提供する<br>● スポーツ用具等を販売・貸出しする<br>● コピーや FAX サービスを行う</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

① 北部錬成館　　単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北部錬成館 | 施設使用料は無料 | 1 | 7,142 | 6,513 | 5,989 | 5,827 | 5,856 |

② 運動広場等　　単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 蜷川ちびっこ広場 | 施設使用料は無料 | 2 | － | － | － | － | － |
| 和合運動広場 | | | 8,035 | 8,839 | 9,413 | 7,290 | 6,513 |
| 五艘運動広場 | | 2 | 455 | 712 | 316 | 102 | 210 |
| 大久保運動広場 | | 2 | 1,836 | 1,385 | 1,435 | 1,482 | 935 |
| 呉羽運動広場 | | | 5,820 | 5,415 | 5,270 | 4,474 | 4,760 |
| 西番運動広場 | | | 5,200 | 4,221 | 5,295 | 3,952 | 4,826 |
| 奥田北少年サッカー広場 | | 2 | 7,362 | 7,030 | 8,277 | 6,169 | 17,779 |
| 相撲場 | | 2 | 590 | 200 | 123 | － | － |
| **合計** | | | **29,298** | **27,802** | **30,129** | **23,469** | **35,023** |

③　庭球場等　　単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 馬場記念公園庭球場 | 大人2時間　450円<br>小人2時間　230円 | | 1,528 | 1,474 | 1,601 | 1,473 | 1,345 |
| 石坂庭球場 | | 3 | 707 | 628 | 642 | 637 | 520 |
| 蜷川庭球場 | | 3 | 1,914 | 725 | 627 | 387 | 537 |
| 五艘庭球場 | | 3 | 3,203 | 3,248 | 3,561 | 2,905 | 2,558 |
| 呉羽庭球場 | | 3 | 152 | 236 | 124 | 52 | － |
| 星井町庭球場 | | | 1,343 | 821 | 1,258 | 1,014 | 1,031 |
| 布瀬南公園庭球場 | | | 4,250 | 3,380 | 3,063 | 2,435 | 2,931 |
| 城東ふれあい公園庭球場 | | | 6,598 | 5,777 | 4,830 | 6,974 | 7,753 |
| **合計** | | | **19,695** | **16,289** | **15,706** | **15,877** | **16,675** |

④　東富山運動広場等　　単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東富山運動広場 | 2時間1,180円 | 4 | 12,807 | 11,959 | 13,110 | 5,552 | 10,245 |
| 東富山運動広場庭球場 | 大人2時間　450円<br>小人2時間　230円 | 4 | 15,783 | 15,430 | 16,787 | 13,515 | 16,943 |
| **合計** | | | **28,590** | **27,389** | **29,897** | **19,067** | **27,188** |

⑤　屋内ゲートボール場　　単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 屋内ゲートボール場 | 大人　110円<br>小人　70円<br>専用(1面)　1,120円 | 5 | 8,927 | 8,711 | 8,622 | 6,800 | 8,286 |

⑥　花木体育センター　　単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 多目的ホール | 施設使用料は無料 | 6 | 24,147 | 25,925 | 26,440 | 21,033 | 23,506 |
| 運動広場 | | 6 | 620 | 794 | 886 | 199 | 624 |
| 第1研修室 | | 6 | 4,798 | 5,158 | 5,160 | 2,945 | 4,135 |
| 第2研修室 | | 6 | 998 | 1,270 | 1,138 | 758 | 804 |
| 第1会議室 | | 6 | 1,643 | 2,019 | 1,490 | 946 | 1,340 |
| 第2会議室 | | 6 | 1,834 | 1,548 | 1,403 | 404 | 613 |
| **合計** | | | **34,040** | **36,714** | **36,517** | **26,285** | **31,022** |

＜補足コメント＞

※1　北部錬成館の利用者数の推移について

主な利用者は地域の剣道クラブ等である。非常に古い施設であるが、使用料金が無料であるため一定の利用者数を維持できている。

※2　運動広場等の利用者数の推移について

主に社会人野球の練習等で使用されているが、規模や所在地等により利用が少ない施設が存在する。なお、指定管理者は、定期的に施設の草刈りや除草剤散布を行っているが、利用が少ない施設は利用者による管理が不十分となり施設が荒れ気味になっている。

蜷川ちびっこ広場は、過去に面積が縮小され利用が困難な大きさになっているため、利用者数がいなくなっている。

五艘運動広場は、面積が狭く野球の練習ができないため利用者数が少なくなっている。

大久保運動広場は、近隣に大沢野総合運動公園野球場、大沢野グラウンド、西大沢グラウンド等の類似施設が多数あり、利用者数が少なくなっている。

奥田北少年サッカー広場は、令和 3 年度に近隣の小学校で改修工事がありグラウンドが使えなくなったため、少年サッカークラブ等の利用が増加している。

相撲場は、老朽化が進んでおり、射水市に最新の相撲場が建設されたこともあり利用者数が減少している。富山市第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン実行編でも廃止の方向性が明確になっている。

※3　庭球場等の利用者数の推移について

庭球場は、近隣住民がテニスの練習等で使用しているが、規模や所在地等により利用が少ない施設が存在する。布瀬南公園庭球場と呉羽庭球場はハードコート、城東ふれあい公園庭球場は人工芝、それ以外はクレー（砂地）となっている。利用が少ない施設は利用者による管理が不十分になり施設が荒れ気味になっている。

石坂庭球場は、五艘庭球場と 200m 程度しか離れておらず機能が重複しているため利用が低迷している。なお、五艘庭球場は利用が低迷している五艘運動広場に隣接している。

蜷川庭球場は、施設老朽化等により利用が低迷している。

呉羽庭球場は、コート面のひび割れが酷いため令和 3 年度から使用を停止している。

その他の庭球場についても、砂地が減少し修繕が必要なものは利用状況を踏まえてコートを閉鎖する等、段階的な規模縮小を行っている。

※4　東富山運動広場等の利用者数の推移について

東富山運動広場は、富山市東北部の中心的な運動施設であり、1～2 月以外は指定管理者の職員が常駐してメンテナンスを行っているため良い状態が保たれている。そのため、他の運動広場と違って野球の大会も開催されており、利用者が多くなっている。

また、東富山運動公園庭球場は人工芝かつ 6 面の大規模コートであり、テニスの練習等で優先的に選択されているため利用者数が多くなっている。

※5　屋内ゲートボール場の利用者数の推移について

昨今ではゲートボール人口が急激に減少しているが、当施設は富山市唯一の大規模屋内ゲートボール場であり、ゲートボール協会主催の各種大会が開かれているため相応の利用者数を維持できている。

※6　花木体育センターの利用者数の推移について

当施設は使用料が無料であり、近隣に類似施設もないことから利用者数が非常に多くなっている。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

① 北部錬成館

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | － | － | － | － | － |
| **a.歳入実績合計** | | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 378 | 378 | 381 | ▲163 | 367 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 229 | 237 | 254 | 253 | 254 |
| **b.歳出実績合計** | | **607** | **615** | **635** | **90** | **621** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲607** | **▲615** | **▲635** | **▲90** | **▲621** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲608** | **▲608** | **▲619** | **▲610** | **▲612** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **0** | **▲7** | **▲16** | **519** | **▲9** |

＜補足コメント＞

※1 施設使用料について

当施設は使用料金が無料であり該当無し。

※2 目的外使用料について

当施設には自動販売機等は設置されておらず、目的外使用料は発生していない。

※3 委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。

※4 補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

② 運動広場等

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | 38 | 38 | 37 | 30 | 25 |
| その他の歳入 | | － | 5 | 8 | 10 | 0 |
| **a.歳入実績合計** | | **38** | **43** | **46** | **41** | **26** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 8,000 | 8,000 | 8,076 | 8,516 | 11,382 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 1,806 | 1,830 | 1,828 | 1,843 | 1,860 |
| 修繕料 | | － | － | － | － | 686 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **b.歳出実績合計** | | **9,806** | **9,830** | **9,904** | **10,359** | **13,928** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲9,768** | **▲9,787** | **▲9,858** | **▲10,318** | **▲13,902** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額(歳入-歳出)** | | **▲9,766** | **▲9,761** | **▲9,880** | **▲10,319** | **▲13,193** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **▲1** | **▲25** | **22** | **1** | **▲708** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設は使用料金が無料であり該当無し。

※2　目的外使用料について

令和3年度の内訳は、「電柱占有料25千円」である。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和2年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を上回っていたため、精算条項に基づく返金は行われていない。

令和3年度は、草刈業務委託料が大幅に増額されたこと等を踏まえて指定管理料を増額している。ただし、増額後の金額でも従前と同じ内容の草刈り業務は困難であるため、草刈りの回数を減らすことで対応している。

※4　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

③　庭球場等

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 1,899 | 1,697 | 1,505 | 1,550 | 1,461 |
| 目的外使用料 | | 0 | 0 | 0 | － | － |
| その他の歳入 | | 9 | － | 1 | － | 0 |
| **a.歳入実績合計** | | **1,909** | **1,698** | **1,507** | **1,550** | **1,461** |
| 委託料（指定管理料） | 2 | 2,200 | 2,200 | 2,225 | 2,157 | 2,204 |
| 委託料（その他） | 3 | － | 2,290 | 9,599 | 132 | 75 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 3,894 | 4,087 | 3,721 | 3,238 | 3,360 |
| 修繕料 | | 21 | 426 | 219 | － | 357 |
| 備品購入費 | | 6 | 9 | － | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **6,122** | **9,015** | **15,764** | **5,527** | **5,997** |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲4,212** | **▲7,317** | **▲14,257** | **▲3,976** | **▲4,534** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額(歳入-歳出)** | | **▲4,890** | **▲4,828** | **▲16,804** | **▲4,955** | **▲4,271** |
| **e.予実差異(c-d)** | 4 | **678** | **▲2,488** | **2,547** | **978** | **▲263** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

施設の使用料であり、利用者数の増減により変動する。利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和2年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を上回っていたため、精算条項に基づく返金は行われていない。

※3　委託料（その他）について

令和1年度の主な内訳は、「富山市城東ふれあい公園庭球場人工芝張替業務委託9,599千円」である。

※4　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

④　東富山運動広場等

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 2,118 | 2,136 | 2,472 | 1,967 | 2,377 |
| 目的外使用料 | 2 | 13 | 12 | 14 | 14 | 14 |
| その他の歳入 | | － | － | 17 | － | － |
| **a.歳入実績合計** | | **2,131** | **2,148** | **2,504** | **1,981** | **2,391** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 6,000 | 6,064 | 6,117 | 6,180 | 6,345 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 6,029 | 6,248 | 6,260 | 6,398 | 6,419 |
| 修繕料 | | 156 | － | 224 | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **12,185** | **12,312** | **12,601** | **12,578** | **12,764** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲10,053** | **▲10,163** | **▲10,097** | **▲10,596** | **▲10,373** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額(歳入-歳出)** | | **▲10,230** | **▲10,463** | **▲10,827** | **▲10,550** | **▲10,526** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **176** | **299** | **730** | **▲46** | **153** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

施設の使用料であり、利用者数の増減により変動する。利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　目的外使用料について

令和 3 年度の内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料 2 千円」、「電柱占有料 12 千円」である。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を上回っていたため、精算条項に基づく返金は行われていない。

※4　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

⑤　屋内ゲートボール場

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 678 | 650 | 643 | 549 | 640 |
| 目的外使用料 | 2 | 7 | 7 | 7 | 5 | 7 |
| その他の歳入 | | － | － | － | － | － |
| **a.歳入実績合計** | | **685** | **657** | **651** | **554** | **648** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 1,885 | 1,885 | 1,903 | ▲140 | 1,714 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 2,249 | 2,181 | 2,256 | 2,306 | 2,444 |
| 修繕料 | | － | 156 | 407 | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **4,134** | **4,222** | **4,566** | **2,165** | **4,158** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲3,449** | **▲3,564** | **▲3,914** | **▲1,611** | **▲3,509** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲3,025** | **▲3,129** | **▲3,382** | **▲3,346** | **▲4,026** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **▲423** | **▲435** | **▲532** | **1,735** | **516** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

施設の使用料であり、利用者数の増減により変動する。利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　目的外使用料について

令和３年度の内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料７千円」である。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和２年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。

※4　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

⑥　花木体育センター

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | 8 | 10 | 10 | 7 | 12 |
| **a.歳入実績合計** | | **8** | **10** | **10** | **7** | **12** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 2,750 | 2,750 | 2,780 | 2,822 | 3,175 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 7,933 | 8,018 | 8,164 | 8,181 | 8,287 |
| 修繕料 | | 2,699 | － | － | 646 | － |
| 工事請負費 | 5 | 6,287 | － | － | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **19,670** | **10,768** | **10,944** | **11,649** | **11,462** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲19,662** | **▲10,758** | **▲10,933** | **▲11,641** | **▲11,449** |
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲13,789** | **▲10,736** | **▲10,924** | **▲11,053** | **▲11,495** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **▲5,872** | **▲21** | **▲9** | **▲588** | **45** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設は使用料金が無料であり該当無し。

※2　目的外使用料について

当施設には自動販売機等は設置されておらず、目的外使用料は発生していない。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和２年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を上回っていたため、精算条項に基づく返金は行われていない。

※4　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

※5　工事請負費について

平成29年度の主な内訳は、「花木体育センター下水道接続工事6,287千円」である。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

①　北部錬成館

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 378 | 378 | 381 | 364 | 367 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 229 | 233 | 240 | 244 | 251 |
| **a.収入合計** | | **607** | **611** | **621** | **608** | **618** |
| 人件費 | 3 | 229 | 237 | 254 | 253 | 254 |
| 光熱水費 | | 163 | 166 | 174 | 136 | 144 |
| 修繕料 | | 71 | 108 | 37 | 103 | 79 |
| 委託料 | | 5 | 5 | 5 | 5 | 14 |
| 指定管理料返金等（富山市） | 4 | － | － | － | 527 | － |
| その他の支出 | | 10 | 49 | 26 | 31 | 22 |
| **b.支出合計** | | **478** | **565** | **496** | **1,055** | **513** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **129** | **46** | **125** | **▲447** | **105** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲478** | **▲565** | **▲496** | **▲528** | **▲513** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

また、指定管理者は、内部管理目的で補助金収入を各施設に振り分けているため、補助金収入は「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」の補助金と必ずしも一致しない。この点、差異は少額であることから重大な問題はないと判断する。

※3　人件費について

当施設で勤務する非常勤臨時職員1人（週1回の清掃員）の人件費である。

令和3年度の1人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は254千円であり、週1回の清掃業務のみであることを勘案すると大きな問題は認められない。

※4　指定管理料返金等（富山市）について

指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和2年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を行っている。指定管理料の精算資料を査閲したが、計算誤り等の重大な問題は発見されなかった。

② 運動広場等

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 8,000 | 8,000 | 8,076 | 8,516 | 11,382 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 1,797 | 1,830 | 1,828 | 1,843 | 1,860 |
| **a.収入合計** | | **9,797** | **9,830** | **9,904** | **10,359** | **13,242** |
| 人件費 | 3 | 1,806 | 1,830 | 1,828 | 1,843 | 1,860 |
| 光熱水費 | | 80 | 74 | 80 | 50 | 68 |
| 修繕料 | | 1,192 | 996 | 803 | 610 | 389 |
| 委託料 | 4 | 6,298 | 6,295 | 6,340 | 6,816 | 9,921 |
| その他の支出 | | 392 | 383 | 575 | 604 | 951 |
| **b.支出合計** | | **9,768** | **9,578** | **9,626** | **9,923** | **13,189** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **29** | **252** | **278** | **436** | **53** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲9,768** | **▲9,578** | **▲9,626** | **▲9,923** | **▲13,189** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

また、指定管理者は、内部管理目的で補助金収入を各施設に振り分けているため、補助金収入は「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」の補助金と必ずしも一致しない。この点、差異は少額であることから重大な問題はないと判断する。

※3　人件費について

当施設で勤務する常勤臨時職員 1 人（管理担当）の人件費である。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 1,860 千円であり、1 人で複数施設を管理していることを勘案すると大きな問題は認められない。

※4　委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「樹木及び芝生管理業務委託料 2,860 千円」である。なお、当該委託料は令和 3 年度に増額されている。

③　庭球場等

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 2,200 | 2,200 | 2,225 | 2,157 | 2,204 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 3,902 | 4,060 | 3,671 | 3,247 | 3,360 |
| **a.収入合計** | | **6,102** | **6,260** | **5,896** | **5.404** | **5,564** |
| 人件費 | 3 | 3,828 | 3,988 | 3,721 | 3,238 | 3,360 |
| 光熱水費 | | 222 | 240 | 214 | 224 | 228 |
| 修繕料 | | 362 | 419 | 272 | 375 | 615 |
| 委託料 | | 845 | 844 | 855 | 866 | 803 |
| その他の支出 | | 738 | 827 | 717 | 619 | 444 |
| **b.支出合計** | | **5,995** | **6,318** | **5,779** | **5,322** | **5,450** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **107** | **▲58** | **117** | **82** | **114** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲5,995** | **▲6,318** | **▲5,779** | **▲5,322** | **▲5,450** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

また、指定管理者は、内部管理目的で補助金収入を各施設に振り分けているため、補助金収入は「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」の補助金と必ずしも一致しない。この点、差異は少額であることから重大な問題はないと判断する。

※3　人件費について

当施設で勤務する非常勤嘱託職員 1 人（星井町庭球場にチケット販売員 1 人）、非常勤臨時職員 5 人（五艘・石坂庭球場の管理人 2 人。布瀬南庭球場と屋内ゲートボール場に

兼務の管理人２人。馬場記念公園庭球場に金・度・日・祝日のみ勤務する管理人１人）の人件費である。なお、城東ふれあい公園庭球場は、隣接する富山市民プールの指定管理者に管理業務を委託しているため人件費は発生していない。蜷川庭球場は、利用者が少ないため管理人を配置していない（利用者は、事前に近隣の体育施設でチケットを購入し、それを庭球場に備え付けられているボックスに入れて利用している)。呉羽庭球場は休止中であり管理人を配置していない。その他、当施設の管理人は日給制であり、当施設が休業する雨天時と1～2月は管理人が出勤しないため人件費は発生しない。

令和３年度の１人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は560千円であり、雨天時や冬季に勤務していないことを勘案すると大きな問題は認められない。

④　東富山運動広場等

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 6,000 | 6,064 | 6,117 | 6,180 | 6,345 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 6,272 | 6,270 | 6,369 | 6,398 | 6,419 |
| **a.収入合計** | | **12,272** | **12,334** | **12,486** | **12,578** | **12,764** |
| 人件費 | 3 | 6,029 | 6,248 | 6,260 | 6,398 | 6,419 |
| 光熱水費 | | 1,771 | 1,881 | 1,848 | 1,720 | 1,623 |
| 修繕料 | | 566 | 391 | 295 | 598 | 353 |
| 委託料 | 4 | 2,894 | 2,894 | 2,945 | 2,948 | 3,150 |
| その他の支出 | | 740 | 890 | 596 | 554 | 703 |
| **b.支出合計** | | **12,000** | **12,304** | **11,944** | **12,218** | **12,248** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **272** | **30** | **542** | **360** | **516** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲12,000** | **▲12,304** | **▲11,944** | **▲12,218** | **▲12,248** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

また、指定管理者は、内部管理目的で補助金収入を各施設に振り分けているため、補助金収入は「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」の補助金と必ずしも一致しない。この点、差異は少額であることから重大な問題はないと判断する。

※3　人件費について

当施設で勤務する嘱託職員 1 人（所長 1 人）、常勤臨時職員 2 人（管理人 2 人）、非常勤臨時職員 4 人（管理人 4 人）の人件費である。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 917 千円であり、非常勤臨時職員が多数であることを勘案すると大きな問題は認められない。

※4　委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「樹木及び芝生管理業務委託料 2,860 千円」である。

⑤　屋内ゲートボール場

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 1,885 | 1,885 | 1,903 | 1,792 | 1,714 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 1,996 | 2,159 | 2,147 | 2,306 | 2,334 |
| **a.収入合計** | | **3,881** | **4,044** | **4,050** | **4,098** | **4,048** |
| 人件費 | 3 | 2,249 | 2,181 | 2,256 | 2,306 | 2,444 |
| 光熱水費 | | 476 | 456 | 431 | 278 | 286 |
| 修繕料 | | 769 | 155 | 775 | 708 | 276 |
| 委託料 | | 110 | 110 | 111 | 112 | 80 |
| 指定管理料返金等（富山市） | 4 | － | － | － | 1,932 | － |
| その他の支出 | | 279 | 282 | 306 | 376 | 324 |
| **b.支出合計** | | **3,883** | **3,184** | **3,879** | **5,712** | **3,410** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **▲2** | **860** | **171** | **▲1,614** | **638** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲3,883** | **▲3,184** | **▲3,879** | **▲3,780** | **▲3,410** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

また、指定管理者は、内部管理目的で補助金収入を各施設に振り分けているため、補助金収入は「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」の補助金と必ずしも一致しない。この点、差異は少額であることから重大な問題はないと判断する。

※3　人件費について

当施設で勤務する非常勤臨時職員2人（布瀬南庭球場と兼務）の人件費である。

令和3年度の1人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は1,222千円であり、他施設と兼務している非常勤職員のみであることを勘案すると大きな問題は認められない。

※4　指定管理料返金等（富山市）について

指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和2年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を行っている。指定管理料の精算資料を査閲したが、計算誤り等の重大な問題は発見されなかった。

⑥　花木体育センター

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 2,750 | 2,750 | 2,780 | 2,822 | 3,175 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 8,173 | 8,018 | 8,164 | 8,181 | 8,287 |
| **a.収入合計** | | **10,923** | **10,768** | **10,944** | **11,003** | **11,462** |
| 人件費 | 3 | 7,933 | 8,018 | 8,164 | 8,181 | 8,287 |
| 光熱水費 | | 1,063 | 1,265 | 1,247 | 1,035 | 1,082 |
| 修繕料 | | 608 | 227 | 461 | 342 | 552 |
| 委託料 | | 432 | 341 | 344 | 347 | 697 |
| その他の支出 | | 596 | 623 | 655 | 1,072 | 787 |
| **b.支出合計** | | **10,632** | **10,474** | **10,871** | **10,977** | **11,405** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **291** | **294** | **73** | **26** | **57** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲10,632** | **▲10,474** | **▲10,871** | **▲10,977** | **▲11,405** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

また、指定管理者は、内部管理目的で補助金収入を各施設に振り分けているため、補助金収入は「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」の補助金と必ずしも一致しない。この点、差異は少額であることから重大な問題はないと判断する。

※3　人件費について

当施設で勤務する嘱託職員 1 人（所長）、常勤臨時職員 1 人（管理人）、非常勤臨時職員 4 人（管理人 2 人、夜間管理人 2 人）の人件費である。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 1,381 千円であり、非常勤臨時職員が多数であることを勘案すると大きな問題は認められない。

### （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、旧富山市地域に点在する小規模なスポーツ施設を、事務効率化を目的として一つの募集単位に集約したものである。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、スポーツ施設については、規模別・用途別に区分したうえで、利用率の改善が見込まれない小規模施設は廃止・統合する方針が示されている。また、相撲場は廃止が決定されており、花木体育センターは必要最低限の機能維持に努め、大規模な修繕が必要になった際には廃止する方針が示されている。

各スポーツ施設は、利用状況に大きな差が生じており、中には存在意義や必要性に疑義が生じている施設もある。また、各施設は休業日や開業時間が統一されておらず、開業期間が利用実態と乖離している可能性が認められた。加えて、富山市のスポーツ施設は富山市が運営する「とやまスポーツネット」で予約できるが、その機能性に改善の余地が認められた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 61【意見 26】 | 公共的建築物が無いスポーツ施設に係る再整備方針 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |

富山市は、公共的建築物が設置されている公の施設については「公共施設等総合管理計画」や「第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編)」を策定して再編整備方針を明示しているが、公共的建築物が無いスポーツ施設（例：庭球場、運動広場等）については具体的な再編整備方針を検討していない。

施設所管課においては、公共的建築物が設置されていないスポーツ施設（例：庭球場、運動広場等）についても公共施設マネジメントアクションプランを作成し、再編整備方針を明確にすることが望まれる。なお、現地視察の結果、以下の施設は維持管理や利用状況に課題が認められたため、参考にされたい。

- 北部錬成館
  老朽化が進んでいるほか、富山市北部には水橋錬成館があり機能の重複がみられる。
- 蜷川ちびっこ広場
  面積が縮小され利用困難な大きさになっており、実際に利用者も殆どいなくなっている。

- 五艘運動広場
  面積が狭く野球の練習ができないため利用者数が少なくなっている。現場視察の際には草が生い茂り利用が困難な状態になっていた。
- 大久保運動広場
  近隣に大沢野総合運動公園野球場、大沢野グラウンド、西大沢グラウンド等の類似施設が多数あり、利用者数が少なくなっている。
- 蜷川庭球場
  施設老朽化等により利用者数が少なくなっている。
- 五艘庭球場
  石坂庭球場と 200m しか離れておらず機能が重複している。
- 石坂庭球場
  現地視察の際は、入口に蔦が生い茂り利用案内板が見えにくくなっていた。また、4 面コートのうち 2 面には草が生い茂り利用が困難な状態になっていた。
- 呉羽庭球場
  コート面のひび割れが酷いため令和 3 年度から使用を停止している。
- 相撲場
  老朽化が進み利用者数が減少している。第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン実行編で廃止が決定している。

| 62【指摘 11】 | 休業日や開業時間の見直し |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |

東富山運動広場等、運動広場等、庭球場等は同じ機能を有する屋外施設であるが、休業日や開業時間が異なっている。また、北部錬成館、屋内ゲートボール場、花木体育センターは年末年始以外に休業日が無く、開業時間も利用実態に比して長時間になっている可能性がある。

施設所管課においては、現在の利用実態を調査、分析し、住民サービスと財政負担とのバランスや条例改正と市民への周知に要する期間等を十分に検討したうえで、施設の休業日や開業時間を利用実態に即した形に見直す必要がある。例えば、利用が殆ど無い季節、曜日、時間帯については、休業日を設けたり開業時間を短縮したりすることが考えられる。この点、八尾ゆめの森テニスコートや富山市パークゴルフ場は季節や曜日によって休業日や開業時間を弾力的に運用しているため、参考にされたい。

| 63【意見 27】 | とやまスポーツネットの利便性向上 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |

富山市のスポーツ施設は富山市が運営する「とやまスポーツネット」で予約できるが、現状では利用目的（やりたいスポーツ）と対象施設を選択しないと施設の空き状況を確認することができず、一覧性に欠けている。そのため、利用希望者が認識していない施設は空き状況の確認にまで至らず、利用率が向上しない一因になっている可能性がある。

施設所管課においては、他の予約サイトの事例等を調査し、「とやまスポーツネット」の機能性を向上させることが望まれる。例えば、利用目的が共通する施設について日別、時間帯別の空き状況を一覧表示できるようフォームを変更することが考えられる。なお、当該検討にあ

| |
|---|
| たっては富山市芸術創造センターの HP が参考になるため、適宜確認にされたい。 |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料、目的外使用料である。施設使用料については、使用料金が無料の施設も多数あるため発生額が少額になっている。目的外使用料については、自動販売機設置に係る目的外使用料や電柱占有料が大部分を占めている。なお、花木体育センターに入居している民間団体の目的外使用料の減免について課題が見受けられた。

富山市の主な歳出は、指定管理料と人件費補助金である。指定管理料と人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、以下の発見事項が識別された

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 64【意見 28】 | 花木体育センターにおける減免と実費負担の見直し |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 花木体育センターの事務室は民間団体（呉羽スポーツクラブ）が事務所として継続使用しているが、施設所管課は目的外使用料を全額減免するとともに電気料の実費相当額のみを徴収している。目的外使用料については、令和 3 年 8 月 2 日に管財課が通知した「行政財産目的外使用料及び普通財産貸付料の減免基準」に照らすと全額減免が過大である可能性がある。また、実費負担については、類似施設である八尾農村環境改善センターでは、会議室を占用していた土地改良区に対して占用部分の面積比で按分した以下の費用を実費徴収していた。<br>・電気料　・上下水道料　・消防設備保守点検費用　・自動ドア保守点検費用<br>・NHK 受信料　・防犯警備費用　・共用部の電気料　・火災警備用の FAX 使用料<br>施設所管課においては、他施設の事例等も踏まえて目的外使用料の減免の妥当性や実費負担の十分性を再検討することが望まれる。 | |

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は 1 者のみであり、外郭団体である富山市体育協会が指定管理者に選定されている。この点、当施設は小規模スポーツ施設の集合体であり、管理負担が大きいことや自主事業を行う余地が小さいことから、利潤を求める民間

企業は参入しにくいと考えられる。また、指定管理者は長期間指定管理業務を請け負うことで施設運営のノウハウを蓄積しており、重大なクレームやトラブルなく施設を運営できている。なお、財政負担の軽減や事務効率化のため小規模スポーツ施設は直営施設に転換することも考えられるが、各施設の支出は既に必要最低限の水準になっており、これ以上の削減は見込みにくい。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ. 指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ. 指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料と人件費補助金である。なお、指定管理者は当施設で自主事業を行っていない。

指定管理者の主な支出は、人件費、委託料である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。委託料については、施設の維持管理や清掃等の業務委託が大部分を占めており、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

オ. 過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## １２． 富山市パークゴルフ場

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市天池町１番地８</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>スポーツ健康課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市スポーツ施設条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>市民のスポーツ振興を図り、市民の健康増進に寄与する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積<br>（㎡）</th><th>建設費<br>（千円）</th></tr>
<tr><td>管理棟</td><td>H16</td><td>38</td><td>21</td><td>98.28</td><td rowspan="3">25,250</td></tr>
<tr><td>倉庫</td><td>H16</td><td>31</td><td>14</td><td>50.00</td></tr>
<tr><td>トイレ</td><td>H27</td><td>15</td><td>9</td><td>6.03</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>営業期間</td><td>休業日：　4月上旬から12月中旬までの期間で市長が定める日<br>開業時間：　5月～8月は8:00～19:00、それ以外の期間は9:00～17:00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和3年12月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「スポーツ施設」については、「A.市内全域を対象として大規模なスポーツ大会やイベント等が実施できる施設」、「B.複数地域を対象としてスポーツ大会が実施できる施設」、「C.地域を対象としてサークルスポーツ活動が実施できる施設」の3層構造に再編するとともに、AとBは引き続き市所有として存続させ、Cは老朽化に合わせて利用状況や安全性、地域性等を踏まえそのあり方の見直しを行う。その中で、利用率の低い施設は改善を行いつつ、将来に渡って改善が見込まれないことが予想される施設については、廃止・統合を行う。また、民間が代替できる施設や機能については、原則廃止することとし、施設については民間へ譲渡する。<br>その他、市が所有する施設については「市有拠点スポーツ施設長寿命化基本計画」を踏まえ、計画的に適正な維持管理を行う「予防保全」を推進するとともに、利用者の利便性向上に向け、予約方法や使用料金等の運営体制の見直しについて検討を行う。</td></tr>
<tr><td>＜第2次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | ㈱富山岸グリーンサービス<br>所在地：　富山市赤田827番地5<br>代表者：　水野 誠 |

<table>
<tr><td></td><td>事業概要：　芝生緑地の造成及び管理、緑地土木請負、造園・土木・緑地管理のトータルサポート等<br>富山市との関係：　特記事項無し。</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び附属設備等の維持管理に関する業務<br>● 施設の供用に関する業務<br>● 使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>18,500</td><td>18,500</td><td>18,500</td><td>18,500</td><td>18,500</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数 1 者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円
<table>
<tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>400</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者が外郭団体以外であるため）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>用具販売及びソフトアイス販売</td><td>利用者アンケート結果等を踏まえて利便性向上のため用品やソフトアイスを販売する</td><td>収入 1,050 千円、支出 700 千円程度</td></tr>
<tr><td>スポンサー杯の誘致</td><td>用品販売店や近隣企業からスポンサーを募りスポンサー杯を開催する</td><td>スポンサーが集まり次第年 3 回程度開催予定。参加人数 120 人、収入 140 千円程度</td></tr>
<tr><td>年間会員交流大会の実施</td><td>当施設の年間会員の大会を開催し会員同士の交流を図る</td><td>5 月、7 月、10 月に開催予定。参加人数 120 人、収入 84 千円程度</td></tr>
<tr><td>パークの日大会の実施</td><td>普及目的でとやまパークゴルフ協会と共同で参加自由の大会を開催する</td><td>8 月 9 日のパークの日に開催予定。参加人数 120 人、収入 94 千円程度</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ファミリーパークゴルフ大会 | 3 世代交流を目的にファミリー参加の大会を開催する | 9 月開催予定。参加人数は 30 家族。無料 |
| | 初心者向けパークゴルフ教室 | パークゴルフの普及目的で初心者向け教室を開催する | 9 月開催予定。参加人数は 50 人程度。無料 |
| | パークゴルフ交流大会の開催 | 指定管理者が管理している他市町村施設の年間会員と当施設の年間会員の交流大会を開催する | 10 月開催予定。参加人数は他施設、当施設からそれぞれ 60 人程度。収入は 120 千円程度 |
| 収益向上提案 | 指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>● 現在、富山市パークゴルフ場では地元地区体育協会の推薦を受けた方々が「富山市パークゴルフ場ボランティア協会」として 36 名登録されている。活動内容としては、地区体育協会毎に曜日を設定し、散水作業、除草作業、その他施設運営上必要な作業を年間約 80 日実施してもらっている。令和 3 年度以降もボランティアの方々に活動をお願いして芝生管理業務の経費削減を図りたいと考えている。 | | |

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 個人 | 280 円～ | 1 | 7,025 | 6,969 | 6,078 | 3,478 | 3,566 |
| 団体(一般) | 220 円～ | 1 | 890 | 564 | 461 | 94 | 150 |
| 団体(20%減免) | 180 円～ | 2 | － | － | － | － | － |
| 団体(50%減免) | 110 円～ | 2 | 1,554 | 1,626 | 1,064 | 193 | 1,506 |
| 団体施設利用券 | 220 円～ | 3 | 237 | 266 | 236 | 193 | 164 |
| 年間利用券・無料利用者 | 無料 | 4 | 70,953 | 71,984 | 71,870 | 59,177 | 52,944 |
| 年間利用券購入者 | 6,590 円～ | 5 | 1,202 | 1,171 | 1,131 | 931 | 786 |

＜補足コメント＞

※1　個人及び団体利用（一般）について

個人又は団体での一般利用である。

令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和 2 年 4 月 16 日～6 月 1 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 26 日）等があり利用者が減少している。

※2　団体利用（20%減免）及び団体利用（50%減免）について

「富山市パークゴルフ場運営・管理マニュアル」に基づく 20%減免対象団体又は 50%減免対象団体の利用である。

20%減免は「市が共催又は後援するもの」であるが、過去 5 年間に実績はない。

50%減免は「市長が特に必要と認めるもの」と「市が主催するもの、教育委員会が公認するアマチュアスポーツ団体が主催するアマチュアスポーツの行事」である。

令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和 2 年 4 月 16 日～6

月 1 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 26 日）等があり利用者が減少しているが、一方で令和 3 年度はとやまパークゴルフ協会の月例大会が再開されたことにより利用者数が回復している。

※3　団体施設利用券について

団体施設利用券の対象となる団体は、教職員厚生会と富山市勤労者福祉サービスセンターである。

令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和 2 年 4 月 16 日～6 月 1 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 26 日）等があり利用者が減少している。

※4　年間利用券について

年間利用券購入者による利用である。

令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和 2 年 4 月 16 日～6 月 1 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 26 日）等があり利用者が減少している。

※5　年間利用券購入者について

年間利用券の購入者数である。

令和 2 年度以降は、コロナ禍による外出自粛等により購入者数は大きく減少している。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 12,348 | 11,955 | 10,952 | 8,152 | 7,764 |
| 目的外使用料 | 2 | 141 | 142 | 143 | 51 | 43 |
| **a.歳入実績合計** | | **12,490** | **12,098** | **11,095** | **8,204** | **7,807** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 17,200 | 17,200 | 17,200 | 17,200 | 18,500 |
| その他の歳出 | | 950 | 284 | 298 | 328 | 283 |
| **b.歳出実績合計** | | **18,150** | **17,484** | **17,498** | **17,528** | **18,783** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲5,660** | **▲5,385** | **▲6,403** | **▲9,323** | **▲10,976** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲4,058** | **▲3,307** | **▲5,726** | **▲5,578** | **▲7,734** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **▲1,602** | **▲2,078** | **▲677** | **▲3,744** | **▲3,242** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設のプレー料であり、利用者数の増減により変動する。

利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　目的外使用料について

令和 3 年度の内訳は、「電柱占有料 10 千円」、「自主事業スペース（自動販売機、用品販売及びソフトアイス販売）に係る目的外使用料 4 千円」、「鉄塔及び線下に係る占有料 28 千円」等である。

令和 2 年度以降は、線下に係る行政財産使用期間更新に伴い使用料が変更され、発生額が減少している。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 17,200 | 17,200 | 17,200 | 17,200 | 18,500 |
| 自主事業収入 | 2 | 2,224 | 2,167 | 1,752 | 1,544 | 1,289 |
| **a.収入合計** | | **19,424** | **19,367** | **18,952** | **18,744** | **19,789** |
| 人件費 | 3 | 6,864 | 7,317 | 8,730 | 9,304 | 7,949 |
| 芝生、樹木管理費 | 4 | 6,815 | 6,703 | 4,996 | 6,158 | 7,342 |
| 法面等除草費 | | 1,089 | 849 | 1,383 | 936 | 904 |
| 光熱水費 | 5 | 953 | 991 | 944 | 763 | 689 |
| 修繕料 | | 114 | 686 | 394 | 367 | 198 |
| 自主事業支出 | 2 | 1,614 | 1,643 | 1,048 | 970 | 991 |
| その他の支出 | | 1,429 | 1,413 | 1,551 | 1,260 | 1,440 |
| **b.支出合計** | | **18,878** | **19,602** | **19,046** | **19,758** | **19,513** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **546** | **▲235** | **▲94** | **▲1,014** | **276** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲16,654** | **▲17,435** | **▲17,294** | **▲18,214** | **▲18,224** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　自主事業収入及び自主事業支出について

自主事業（用品販売、ソフトアイス販売、大会参加費、自動販売機設置）に係る収入及び支出である。

令和2年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和2年4月16日～6月1日、令和3年8月18日～9月26日）や当指定管理者が主催する大会の減少により、自主事業収入が大きく減少している。

※3　人件費について

当施設に勤務している常勤職員、非常勤職員及び本社管理部門からの応援人員に係る人件費である。当施設の職員はシフト制で勤務しており、平日は3～4人体制、土日は5人体制でコース維持、見回り、修繕等を行っている。なお、当施設は12月中旬から4月上旬まで休場しているため、現場作業員も開場期間に合わせてパートタイムで勤務している。その他、本社管理部門からの応援人員については、実際の応援時間に各人の人件費単価を乗じて計算している。

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 常勤職員 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3 |
| 非常勤職員 | 3 | 4 | 4 | 3 | 5 |
| 合計 | 6 | 8 | 8 | 7 | 8 |

令和 2 年度は、施設の統括責任者と管理事務所長が交代し引継ぎ等に時間を要したため人件費が増加している。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 993 千円であり、非常勤職員が多いことを勘案すると大きな問題は認められない。

※4　芝生、樹木管理費について

主な内訳は、ゴルフ場の芝生、樹木の維持管理費であり、気候によって殺菌剤の利用の程度や芝の刈込回数が変動するため増減する。

※5　光熱水費について

令和 3 年度の内訳は、「電気料 550 千円」、「上下水道代が 139 千円」である。経費削減を目的に、令和 2 年 10 月に電力会社を新電力に変更した結果、電気料が減少した。

**（2） 監査手続の実施結果と発見事項**

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、スポーツ振興と市民の健康増進に寄与する目的で平成 16 年に産業廃棄物処理場跡地に開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

当施設は、大規模な大会を開催できるほど規模が大きく、4 月～11 月しか開業していないにも関わらず利用者数が 5 万人を超えている。令和 2 年度以降は、コロナ禍で施設の休業があったことや各種大会が中止されたことにより利用者数が減少しているが、足元では大会の再開等により利用者数の回復傾向が認められる。一方で、近年は 70 歳まで働く高齢者が増えている関係でパークゴルフ協会の会員数が減少傾向にあり、今後は利用者数が減少に転じる可能性がある。

施設の開業期間や開業時間は利用実態に即しており、特に利用の多くなる夏季は開業時間を延長することで利用者ニーズに応えている。

このように、将来において利用者数が減少に転じる可能性はあるが、足元では非常に多くの高齢者に利用されており、施設の存在意義は十分に認められる。

そのため、施設のあり方や存在意義について発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料である。当施設は利用者数が非常に多いため、相応の施設使用料収入が発生している。なお、当施設は高齢者減免（減免率 50%）や障害者減免（減免率 100%）が多く、多額の減免が発生している。スポーツ団体減免を行う場合は、事前に団体から施設所管課に減免申請を提出してもらい、承認を得た後で減免を行っている。その他、指定管理者が自主事業（大会等）で当施設を使用する場合は、参加者から参加料を徴収したうえで富山市に施設使用料を支払っている。

富山市の主な歳出は、指定管理料である。指定管理料は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は 1 者のみであり、富山岸グリーンサービスが指定管理者に選定されている。指定管理者は緑地管理や造園土木を本業としており、業容拡大のため当施設の指定管理に応募した。当施設は、広大な敷地と多数のコースを有しており、これらを適切な状態に維持し続けるためには相応のノウハウが必要となる。現地視察の結果、当施設は丁寧に清掃、管理されており、指定管理者の強みが存分に生かされていた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料と自主事業収入である。特に、指定管理者は当施設で活発に自主事業を行っており、利用者満足度の向上や施設の採算性向上に努めている。指定管理者は、自主事業収支を指定管理業務収支と区分して集計している。自主事業収入にはソ

フトアイス販売収入、用品販売収入、大会参加費収入、自動販売機収入等が計上されており、自主事業支出には大会開催時の施設使用料等が計上されているが、人件費は配賦されていない。

指定管理者の主な支出は、人件費と芝生樹木管理費である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。芝生樹木管理費については、施設を良好な状態に維持するために必要十分な支出がなされており、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。

その他、指定管理者は定期的にコースの変更を行っており、利用者から高い評価を受けている。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 65【指摘 7】 | 自主事業収支への人件費の配賦 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 7）を識別している。 |
| 指定管理者は、自主事業に係る消耗品費、施設使用料等を自主事業収支として集計しているが、人件費については自主事業収支に配賦していない。自主事業収支に人件費を配賦しない場合、指定管理業務に係る支出が過大に計上され、指定管理料の妥当性を正確に判断できなくなってしまう。<br>施設所管課においては、人件費を自主事業収支に配賦するよう指定管理者に指導する必要がある。例えば、職員毎に自主事業に要する大まかな日数を集計して当該日数の比率で人件費を配賦することが考えられる。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## １３． 大沢野高齢者いきがい工房

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市春日 109 番地 1</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>大沢野行政サービスセンター地域福祉課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市大沢野高齢者いきがい工房条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>高齢者のいきがいづくり及び福祉活動の機会と場所を提供し、もって高齢者の健康意識の高揚及び福祉向上に資する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積<br>（㎡）</th><th>建設費<br>（千円）</th></tr>
<tr><td>工房倉庫</td><td>S53</td><td>31</td><td>0</td><td>53.54</td><td rowspan="3">159,180</td></tr>
<tr><td>いきがい工房 1</td><td>H12</td><td>34</td><td>13</td><td>319.00</td></tr>
<tr><td>いきがい工房 2</td><td>H14</td><td>34</td><td>15</td><td>348.50</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>開館期間</td><td>休館日：　12 月 28 日～1 月 3 日、土曜日、日曜日、祝日<br>開館時間：　9:00～17:00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「高齢者福祉施設（老人福祉センター及び老人憩いの家）」については、当面は高齢者人口の増加が見込まれるが、2040 年代後半をピークに高齢者人口も減少に転ずることが予想されていることや、高齢者のニーズも多様化してきていること等を踏まえ、施設の更新は行わないこととする。具体的には、入浴に必要な機器等を更新しなければ運営できない場合は入浴施設を廃止する。また、その他の機能についても大規模修繕が必要な場合や利用者が一定の基準以下となった場合は、施設自体を廃止する。</td></tr>
<tr><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象となっており、機能維持の方針は「継続」となっている。また、機能の提供形態は「維持」、「集約化」、「廃止・休止」が検討されており、整備手法は「修繕」、「利活用」、「転用」、「譲渡」、「解体」が検討されている。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

<table>
<tr><td>指定管理者</td><td>（社福）富山市社会福祉協議会<br>所在地：　富山市今泉 83 番地 1<br>代表者：　高城　繁<br>事業概要：　社会福祉事業<br>富山市との関係：　外郭団体</td></tr>
<tr><td>指定管理業務</td><td>● 施設及び附属設備等の維持管理運営に関する業務</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>の概要</td><td>● 使用の承認に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関し市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>6,397</td><td>6,397</td><td>6,397</td><td>6,397</td><td>6,397</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数 1 者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>使用料が無料の施設であり該当無し。</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円
<table>
<tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>300</td><td>300</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>教室・サークル交流会</td><td>年数回、日頃交流の無い各教室の受講者が講師を交えてそば打ち体験などを実施し交流を図る</td><td>1 回当たり 10～20 人を対象。費用は参加者負担</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「該当無し」となっている。</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設 | 無料 | 1 | 6,617 | 5,858 | 5,626 | 3,297 | 3,850 |

＜補足コメント＞

※1　<u>利用者数について</u>

令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和 2 年 4 月 6 日～5 月 31 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 24 日）に加え、一部の教室が中止になったため利用者が減少している。なお、足元では各種教室が部分的に再開され、受講者数がコロナ前の水準に戻ってきている。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | 4 | 5 | 14 | 14 | 14 |
| **a.歳入実績合計** | | **4** | **5** | **14** | **14** | **14** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 6,397 | 6,397 | 6,397 | 6,397 | 6,397 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 4,001 | 4,012 | 4,195 | 4,209 | 4,216 |
| **b.歳出実績合計** | | **10,398** | **10,409** | **10,592** | **10,606** | **10,613** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲10,394** | **▲10,404** | **▲10,578** | **▲10,592** | **▲10,599** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲10,409** | **▲10,403** | **▲10,615** | **▲10,613** | **▲10,598** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **15** | **▲1** | **37** | **21** | **▲1** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設は使用料金が無料であり該当無し。

※2　目的外使用料について

令和３年度の主な内訳は、「鉄塔、電柱に係る敷地使用料」である。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和２年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を上回っていたため、精算条項に基づく返金は行われていない。

※4　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 6,397 | 6,397 | 6,397 | 6,397 | 6,397 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 4,001 | 4,012 | 4,195 | 4,209 | 4,216 |
| その他事業収益 | 3 | 543 | 511 | 526 | 292 | 484 |
| **a.収入合計** | | **10,941** | **10,920** | **11,118** | **10,898** | **11,097** |
| 人件費 | 4 | 4,001 | 4,202 | 4,195 | 4,209 | 4,216 |
| 諸謝金 | 5 | 2,274 | 2,274 | 2,240 | 1,684 | 1,800 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 光熱水費 | 6 | 2,033 | 1,770 | 1,605 | 1,758 | 1,905 |
| 燃料費 | | 8 | 8 | 5 | 2 | 4 |
| 修繕料 | | 358 | 546 | 547 | 561 | 380 |
| 業務委託料 | 7 | 597 | 597 | 610 | 586 | 586 |
| その他の支出 | | 1,670 | 1,523 | 1,916 | 2,098 | 1,918 |
| **b.支出合計** | | **10,941** | **10,920** | **11,118** | **10,898** | **10,809** |
| **c.収支差額（a-b）** | 8 | **－** | **－** | **－** | **－** | **288** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲10,398** | **▲10,409** | **▲10,592** | **▲10,606** | **▲10,325** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

上表の人件費は補助金と一致しているが、平成30年度は70歳以上の職員が退職し70歳未満の職員が配置されたことで厚生年金の会社負担が生じたため差異が生じている。差額は委託料から充当している。

※3　その他事業収益について

各種教室の受講料収入である。夏休み交流体験教室の受講料は1人当たり1～2千円程度、その他の教室の受講料は1人当たり年間5千円となっている。なお、各種教室の開催は「富山市大沢野高齢者いきがい工房管理業務仕様書」の「施設管理業務以外の事業に関する事項」に明記されており、自主事業には該当しない。

令和2年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（4月6日～5月31日）に加え、一部の教室が中止になったため発生額が減少している。令和3年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（8月18日～9月24日）があったが、一方で教室が部分的に再開され、受講者数がコロナ前の水準に戻ってきたことにより発生額が増加している。

※4　人件費について

当施設で勤務している常勤職員2人（事務担当1人、技術指導担当1人)の人件費である。なお、指定管理者は、当施設に本社管理費を配賦していない。

令和3年度の1人当たり人件費（人件費÷職員数）は2,108千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

※5　諸謝金について

各種教室の講師への謝金であり、教室の開催回数に比例して発生する。

令和2年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（4月6日～5月31日）に加

え、一部の教室が中止になったため発生額が減少している。令和 3 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（8 月 18 日～9 月 24 日）があったが、一方で教室が部分的に再開され、受講者数がコロナ前の水準に戻ってきたことにより発生額が増加している。

※6　光熱水費について

令和 3 年度の主な内訳は「電気料(低圧契約)653 千円」、「ガス代 1,211 千円」である。

※7　業務委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「定期清掃委託」、「消防設備等点検委託」等である。

※8　収支差額について

指定管理者は、収支差額が極力出ないように厳密な予算管理を行っており、年度単位で指定管理料の余剰が生じそうな場合は先延ばししていた軽修繕や消耗品の購入等を行っているため、収支差額が殆ど発生しない状態になっている。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

### ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

#### ①　監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、平成 13 年に旧大沢野町地域福祉計画に基づき高齢者の生きがいづくりを目的として開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、維持を前提としつつ機能集約化や廃止等の選択肢も考慮されている。

当施設で開催される教室は 60 歳以上の富山市民のみが受講できるが、施設への入館や見学は誰でも自由に行うことができる。なお、かつてはワークスさるびあが当施設の一部を福祉作業所として使用していたが、廃業に伴って平成 31 年 3 月に撤退した。空きスペースは月 3 回程度教室で使用している。また、富山市シルバー人材センターも当施設の一部を作業所として使用していたが、令和 3 年 3 月に別の建物に移転した。空きスペースは週 4 回程度教室で使用している。

当施設は開館日には何かしらの教室が開催されており、教室が開催されない日は年間 10 日程度（冬季）となっている。教室が開催されない日には、職員が有給休暇を消化したり臨時休講となった教室を振替え開催したりしている。当施設の開館時間は 9 時～17 時であり、午前の教室は 10 時～12 時、午後の教室は 13 時 30 分～15 時 30 分に開催されている。職員は、教室が開催されていない時間帯に次の教室の準備や事務作業を実施している。

このように、当施設では年間を通じて利用者ニーズに対応した教室が開催されており、現時点で存在意義が認められる。一方で、当施設で開催されている教室は隣接する大沢野健康福祉センターの遊休スペースでも開催可能であり、将来大規模修繕が必要になった時に当施設を存続させるべきかどうかについては議論の余地がある。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 66【意見 29】 | 教室機能の移管可否の検討 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、旧大沢野町が高齢者の生きがいづくりを目的に開設した。一方で、当施設で開催されている教室は隣接する大沢野健康福祉センターの遊休スペースでも開催可能であり、将来大規模修繕が必要になった時に当施設を存続させるべきかどうかについては議論の余地がある。このように、当施設は機能の代替可能性、富山市の財政負担等を勘案すると、将来的にその存在意義に疑義が生じる可能性がある。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上機能の代替可能性を整理し、当施設の教室機能を他の施設に移管できないかどうか検討することが望まれる。例えば、遊休施設の有効利用とそれに伴う財政負担の軽減の観点から、当施設の教室機能を大沢野健康福祉センターに移管できないか検討することが考えられる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の歳入は、施設の使用料金が無料であるため発生していない。

富山市の歳出は、指定管理料と人件費補助金である。指定管理料と人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は 1 者のみであり、富山市の外郭団体である社会福祉協議会が指定管理者に選定されている。当施設は、富山市中心部から離れた場所に所在しており、かつ利用者数も少ないことから、利潤を求める民間企業は参入しにくいと考えられる。一方、指定管理者は、当施設に隣接する大沢野健康福祉センターに事務所を構えており、移動や人員配置の面で効率的に業務を遂行できている。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算

方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料及び人件費補助金、各種教室の受講料である。各種教室については、「富山市大沢野高齢者いきがい工房管理業務仕様書」で指定管理業務として規定されており、指定管理者はその受講料収入を収受している。受講料については、夏休み交流体験教室が 5 回開催で 1 人当たり 2 千円程度、木工教室等が 25 回開催で 1 人当たり 5 千円程度と割安になっている。受講料は消費税増税時を含め一度も見直されておらず、その計算根拠も不明となっている。その他、指定管理者は当施設を使用した自主事業を一切行っていない。

指定管理者の主な支出は、人件費、諸謝金である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。諸謝金については、各種教室の講師への謝金であり、教室の開催回数に比例して発生する。謝金は、以前は 10 千円であったが、周辺相場を検討したうえで 8 千円に変更している。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 67【意見 30】 | 受講料の見直し |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 指定管理者は指定管理業務として各種教室を開催しており、夏休み交流体験教室（5 回）で 1 人当たり 2 千円程度、木工教室（25 回開催）で 1 人当たり 5 千円程度の受講料を徴収している。一方で、当該受講料は、消費税増税時を含め一度も見直されておらず、その計算根拠も不明となっている。この点、過去に受講料を設定した時と比べると定員の見直しや諸経費の値上がり等の環境変化が生じている可能性がある。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、受講料の水準が妥当なものかどうか再検討することが望まれる。なお、再検討にあたっては、受講料により賄うべき経費の範囲を整理するとともに、現在の受講者数や経費の発生状況、他団体が実施している類似教室の受講料等を総合的に勘案することが望まれる。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## １４． 大沢野地域スポーツ施設、大沢野地域都市公園（猿倉山森林公園を除く）

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>大沢野総合運動公園野球場（※1）：　富山市八木山 650 番地<br>大沢野総合運動公園陸上競技場（※1）：　富山市八木山 650 番地<br>大沢野グラウンド（※1）：　富山市高内 116 番地 1<br>西大沢運動広場（※1）：　富山市西大沢 2525 番地<br>大沢野中央公園（※2）：　富山市高内 116 番地 1<br>大沢野中学校跡地公園（※2）：　富山市西大沢 148 番地<br>大沢野総合運動公園（※2）：　富山市八木山 650 番地<br>春日健康ふれあい公園（※2）：　富山市春日 102 番地 1<br>※1：以下、「大沢野地域スポーツ施設」という<br>※2：以下、「大沢野地域都市公園」という</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>大沢野地域スポーツ施設：　スポーツ健康課<br>大沢野地域都市公園：　土木事務所建設課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>大沢野地域スポーツ施設：　富山市スポーツ施設条例及び同条例施行規則<br>大沢野地域都市公園：　富山市都市公園条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>大沢野地域スポーツ施設：　市民のスポーツ振興や健康増進に寄与する<br>大沢野地域都市公園：　都市公園として災害防止、市民の休息等の用に供する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積（㎡）</th><th>建設費（千円）</th></tr>
<tr><td>大沢野グラウンド便所</td><td>H11</td><td>38</td><td>16</td><td>43.00</td><td>16,800</td></tr>
<tr><td>陸上競技場管理棟</td><td>S62</td><td>50</td><td>16</td><td>752.00</td><td>128,800</td></tr>
<tr><td>大沢野野球場管理棟</td><td>H6</td><td>50</td><td>23</td><td>220.00</td><td>72,615</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>営業期間</td><td>休業日：　大沢野総合運動公園野球場：　12 月 1 日～3 月 31 日、月曜日<br>大沢野総合運動公園陸上競技場：　12 月 1 日～3 月 31 日、月曜日<br>大沢野グラウンド：　1 月 1 日～2 月 28 日<br>西大沢運動広場：　12 月 1 日～2 月 28 日<br>大沢野地域都市公園：　都市公園であり常時利用可能<br>開業時間：　大沢野総合運動公園野球場：　9:00～17:00<br>大沢野総合運動公園陸上競技場：　9:00～17:00<br>大沢野グラウンド：　9:00～19:00<br>西大沢運動広場：　9:00～21:00<br>大沢野地域都市公園：　都市公園であり常時利用可能</td></tr>
<tr><td>公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>● 大沢野地域スポーツ施設<br>当施設については直接的には言及されていない。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | 当施設を含む「スポーツ施設」については、「A.市内全域を対象として大規模なスポーツ大会やイベント等が実施できる施設」、「B.複数地域を対象としてスポーツ大会が実施できる施設」、「C.地域を対象としてサークルスポーツ活動が実施できる施設」の3層構造に再編するとともに、AとBは引き続き市所有として存続させ、Cは老朽化に合わせて利用状況や安全性、地域性等を踏まえそのあり方の見直しを行う。その中で、利用率の低い施設は改善を行いつつ、将来に渡って改善が見込まれないことが予想される施設については、廃止・統合を行う。また、民間が代替できる施設や機能については、原則廃止することとし、施設については民間へ譲渡する。<br>その他、市が所有する施設については「市有拠点スポーツ施設長寿命化基本計画」を踏まえ、計画的に適正な維持管理を行う「予防保全」を推進するとともに、利用者の利便性向上に向け、予約方法や使用料金等の運営体制の見直しについて検討を行う。<br>● 大沢野地域都市公園<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「公園」については、現状のまま維持することを基本としつつ、社会情勢の変化や必要性を考慮したうえで、機能や配置の再編について検討するとともに、公園施設の計画的な管理を推進するため長寿命化の方針を定める。特に、避難場所として利用されることを考慮し、公園内に設置されている施設について適切な点検及び維持管理による安全確保を図る。また、指定管理者制度に基づいた業務の進捗管理や指定管理料の見直し等、維持管理・運営の改善や効率化を進めるとともに、公募設置管理制度（Park-PFI）により民間の視点を取り入れながら魅力的な公園づくりを進める。<br>その他、街区公園については、市民や地域団体等による清掃や除草等、市民との協働による施設管理を今後も継続していくとともに、地域でより利用しやすく管理しやすい施設となるよう努めていく。 |
| | ＜第2次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設のうち「陸上競技場管理棟」はアクションプランの対象となっており、機能維持の方針は「継続」となっている。また、機能の提供形態は「維持」が検討されており、整備手法は「修繕」、「長寿命化（大規模改修）」が検討されている。その他、補足説明で「市の中核施設につき長寿命化を図る」とのコメントがある。 |
| その他 | 大沢野地域施設には「猿倉山森林公園」も含まれるが、当該施設は農林水産部所管であり昨年度の包括外部監査で監査済みであるため、当年度は監査対象とはしない。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | （一財）富山市大沢野健康文化推進財団 |

<table>
<tr><td></td><td>所在地：　富山市春日 96 番地 1<br>代表者：　中田　俊彦<br>事業概要：　身体的健康の保持増進のための実践的活動事業、精神面での健康づくりの支援事業、大沢野健康福祉センターの管理運営等<br>富山市との関係：　外郭団体</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>3 年間（令和 3 年度～令和 5 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr>
<tr><td>大沢野地域スポーツ施設</td><td>10,648</td><td>10,648</td><td>10,648</td></tr>
<tr><td>大沢野地域都市公園</td><td>7,621</td><td>7,621</td><td>7,621</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>非公募（公募による申請が無かったため）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr>
<tr><td>大沢野地域スポーツ施設</td><td>2,000</td><td>2,000</td><td>2,000</td></tr>
<tr><td>大沢野地域都市公園</td><td>300</td><td>300</td><td>300</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者は外郭団体であるが基本協定で精算条項を設定していない）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>自動販売機の設置</td><td>利用者の休息に便宜を図る</td><td>行政財産使用料 10 千円</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>● 省エネルギー化と光熱水費の軽減のため、白熱灯から省エネ機器に段階的に取り換える<br>● 水道費用の削減を図るため、利用頻度が多い蛇口をワンプッシュ式蛇口に取り替える</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：千円

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大沢野地域スポーツ施設 | ＜大沢野総合運動公園野球場＞<br>入場無料の大人: 2時間1,480円<br>入場無料の小中学生: 2時間890円<br>入場有料の大人: 2時間14,710円<br>入場有料の小中学生: 2時間8,820円 | 1 | 8,702 | 7,321 | 7,540 | 5,619 | 7,316 |
| | ＜大沢野総合運動公園陸上競技場＞<br>大人(個人) 2時間110円<br>小人(個人) 2時間70円<br>大人(団体) 2時間88円<br>小人(団体) 2時間56円<br>大会(入場無料) 1,480円<br>大会(入場有料) 17,650円 | 2 | 12,230 | 9,901 | 8,969 | 4,052 | 4,012 |
| | ＜大沢野総合運動公園多目的広場＞<br>施設使用料 無料 | 3 | 6,072 | 3,446 | 5,798 | 2,344 | 3,337 |
| | ＜大沢野グラウンド＞<br>施設使用料 無料 | 4 | 1,874 | 1,275 | 721 | 991 | 280 |
| | ＜西大沢運動広場＞<br>施設使用料 無料<br>照明設備19時～21時 1,100円 | 5 | 3,205 | 3,105 | 2,832 | 625 | 804 |
| | **小計** | | **32,083** | **25,048** | **25,860** | **13,631** | **15,749** |
| 大沢野地域都市公園 | 無料 | 6 | ※6 | ※6 | ※6 | ※6 | ※6 |

＜補足コメント＞

※1　大沢野総合運動公園野球場の利用者数について

大沢野総合運動公園に所在する野球場であり、部活動や社会人野球の利用が多い。利用者数は大会の開催頻度に比例する。両翼98m、中堅122m、芝張りがされており、放送施設も有るが、照明施設は無い。

令和2年度は、コロナ禍で野球大会が自粛されたため利用者数が減少している。令和3年度は、野球大会が再開されたため利用者数が増加している。指定管理者は、当施設の整備委託や試合の審判の依頼等を通じて野球協会と連携しており、野球協会が当施設の利用を調整しているため早期に利用者数が回復した。

※2　大沢野総合運動公園陸上競技場の利用者数について

大沢野総合運動公園に所在する陸上競技場であり、隣接する大沢野中学校の部活動での利用が多い。トラック1周400m、直線コース100m 8コース、芝張りがされており、

照明施設や放送施設が設置されている。

令和 2 年度以降は、コロナ禍で部活動が自粛されたため利用者数が減少している。陸上競技は野球協会のような団体が存在せず、大会の数も少ないため利用者数の回復に時間がかかっている。

※3　大沢野総合運動公園多目的広場の利用者数について

大沢野総合運動公園に所在する多目的広場であり、部活動での利用が多い。2000 年国体でソフトボール競技を開催するために開設されており、現在も主にソフトボールの試合で使用されている。競技面積は 14,500 ㎡、ソフトボール用 2 面の区画があるが芝張りはされておらず、照明施設や放送施設も無い。

令和 2 年度以降は、コロナ禍でソフトボール大会が自粛されたため利用者数が減少している。なお、当施設は用途的にはスポーツ施設であるが条例で都市公園とされているため、令和 3 年度以降は大沢野地域スポーツ施設ではなく大沢野地域都市公園として指定管理業務が行われている。

※4　大沢野グラウンドの利用者数について

大沢野中央公園に所在する野球専用グラウンドであり、野球の練習等で使用されている。大沢野総合運動公園野球場ができるまでは大沢野地域の中心的な野球場であった。競技面積は 11,870 ㎡、軟式野球用 1 面の区画があり、芝張りがされている。照明施設や放送施設は無い。

当施設は、近隣に所在する大沢野総合運動公園野球場と機能が重複していること、照明設備が無く平日夜間の社会人野球での利用が難しいこと等の理由でコロナ禍前から利用者数が少なかった。令和 2 年度以降は、コロナ禍により利用者数が激減している。

※5　西大沢運動広場の利用者数について

多目的のグラウンドであり、主に少年野球の練習やソフトボールのナイターリーグ等で使用されている。旧大沢野中学校のグラウンドであり、設備の老朽化が進んでいる。競技面積は 12,399 ㎡、野球用 1 面、ソフトボール用 2 面の区画があるが芝張りはされていない。照明施設は有るが放送施設はない。

当施設は、近隣に所在する大沢野総合運動公園多目的広場と機能が重複していること等の理由でコロナ禍前から利用者数が少なかった。令和 2 年度以降は、コロナ禍によりソフトボールのナイターリーグが中止された結果、利用者数が激減している。

※6　大沢野地域都市公園の利用者数について

大沢野地域に所在する以下の 4 つの都市公園であり、何れも時間帯を問わず無料で利用可能であるため、利用者数の集計は行っていない。

春日健康ふれあい公園は、大沢野健康福祉センターの前に立地する芝生広場であり、大沢野健康福祉センターと実質一体で管理されている。

大沢野中央公園は、大沢野グラウンド、駐車場、弓道場跡地、テニスコート跡地で構成されており、公園としての指定管理対象は大沢野グラウンド以外となる。指定管理者は、駐車場部分の植栽や便所を維持管理するほか、弓道場跡地とテニスコート跡地の除草剤散布（3 回/年）及び草刈り（随時）を実施している。一方で、弓道場跡地とテニス

コート跡地は空き地のままであり市民が利用できる公園としては整備されていない。

大沢野中学校跡地公園は、西大沢運動広場の隣に位置し大沢野中学校の跡地である。利用者が少ないため遊具が利用不能になっているなど、全体的に老朽化が進んでいる。

大沢野総合運動公園自由広場（芝生広場）は、大沢野総合運動公園多目的広場に隣接しており、芝張り面積は17,385㎡、ジョギングコースや公衆便所等が設置されている。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

①　大沢野地域スポーツ施設

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 579 | 528 | 469 | 361 | 385 |
| 目的外使用料 | 2 | 10 | 18 | 18 | 18 | 16 |
| **a.歳入実績合計** | | **589** | **546** | **487** | **379** | **401** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 17,343 | 17,343 | 17,343 | 15,882 | 10,648 |
| 委託料（その他） | | 1,572 | 777 | － | 1,925 | － |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 12,732 | 11,550 | 11,359 | 11,363 | 9,450 |
| 修繕料 | | 355 | 169 | － | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **32,002** | **29,839** | **28,702** | **29,170** | **20,098** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲31,413** | **▲29,293** | **▲28,215** | **▲28,791** | **▲19,697** |
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲31,058** | **▲29,165** | **▲28,143** | **▲28,691** | **▲20,098** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **▲355** | **▲128** | **▲72** | **▲100** | **401** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

大沢野総合運動公園の野球場と陸上競技場の使用料であり、利用者数の増減により変動する。利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　目的外使用料について

主な内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料」である。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

令和3年度は、令和2年度まで指定管理施設であった「大沢野武道館」、「大沢野プール」、「大沢野青少年体育センター」が廃止されたため指定管理料が減少している。

※4　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

令和3年度は、令和2年度まで指定管理施設であった「大沢野武道館」、「大沢野プール」、「大沢野青少年体育センター」が廃止されたため補助金が減少している。

② 大沢野地域都市公園

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | 12 | 12 | 11 | 11 | 11 |
| **a.歳入実績合計** | | **12** | **12** | **11** | **11** | **11** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 6,142 | 6,142 | 6,202 | 6,255 | 7,621 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 3,962 | 3,120 | 2,405 | 2,556 | 4,320 |
| **b.歳出実績合計** | | **10,104** | **9,262** | **8,607** | **8,811** | **11,941** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲10,091** | **▲9,249** | **▲8,595** | **▲8,800** | **▲11,930** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲10,091** | **▲9,249** | **▲8,594** | **▲8,800** | **▲11,930** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **－** | **－** | **▲1** | **－** | **－** |

＜補足コメント＞

※1 施設使用料について

当施設は使用料金が無料であり該当無し。

※2 目的外使用料について

主な内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料」である。

※3 委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

※4 補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

① 大沢野地域スポーツ施設

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 17,343 | 17,343 | 17,343 | 15,882 | 10,648 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 12,732 | 11,550 | 11,359 | 11,363 | 9,450 |
| **a.収入合計** | | **30,075** | **28,893** | **28,702** | **27,245** | **20,098** |
| 人件費 | 3 | 15,654 | 14,283 | 12,349 | 12,413 | 9,453 |
| 修繕料 | 4 | 1,255 | 846 | 1,858 | 1,580 | 3,665 |
| 光熱水費 | 5 | 5,063 | 5,079 | 3,772 | 2,623 | 1,283 |
| 医薬材料費 | 6 | 953 | 1,444 | 1,822 | 1,557 | 1,610 |
| 委託料 | 7 | 5,601 | 5,195 | 5,916 | 6,422 | 1.867 |
| その他の支出 | | 1,917 | 1,954 | 2,972 | 2,257 | 2,160 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| b.支出合計 | | 30,443 | 28,801 | 28,689 | 26,852 | 20,038 |
| c.収支差額（a-b） | | ▲368 | 91 | 12 | 392 | 59 |
| （富山市からの収入を除いた収支差額） | | ▲30,443 | ▲28,801 | ▲28,689 | ▲26,852 | ▲20,038 |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

※3　人件費について

指定管理者は、職員 8 人（うちパート 7 人）で大沢野地域スポーツ施設、大沢野地域都市公園及び猿倉山森林公園の指定管理業務を行っている。職員 1 人は、8 時 30 分～17 時まで大沢野総合運動公園陸上競技場管理事務所に常駐し、受付業務、芝生及びグラウンド管理業務を実施している。職員 2 人は、猿倉山森林公園管理事務所に常駐し、受付業務や施設管理業務を実施している。他の職員は、それ以外の指定管理施設を巡回し日々芝生管理やグラウンド整備を実施している。

指定管理者は、職員 8 人の人件費を見積稼働時間に基づいて 3 施設に按分している。令和 3 年度は、令和 2 年度まで指定管理施設であった「大沢野武道館」、「大沢野プール」、「大沢野青少年体育センター」が廃止されたため、大沢野地域スポーツ施設への人件費按分額が減少している。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝大沢野地域スポーツ施設、大沢野地域都市公園及び猿倉山森林公園の人件費合計 20,585 千円÷職員数 8 人）は 2,573 千円であり、大部分がパート職員であることを勘案すると大きな問題は認められない。

その他、大沢野健康福祉センターで本部管理業務を担当しているプロパー職員 1 名と嘱託職員 2 名（総務経理業務担当）の人件費は、見積稼働時間に基づき他の指定管理施設（大沢野老人福祉センター、大沢野地域スポーツ施設、大沢野地域都市公園、猿倉山森林公園）に配賦している。

※4　修繕料について

令和 3 年度の主な内訳は、「大沢野総合運動公園陸上競技場の人工芝取替補修費 2,200 千円」である。

※5　光熱水費について

令和 3 年度は、令和 2 年度まで指定管理施設であった「大沢野武道館」、「大沢野プール」、「大沢野青少年体育センター」が廃止されたため発生額が減少している。

※6　医薬材料費について

令和3年度の主な内訳は、「芝生管理用薬剤の購入費」である。指定管理者は、一定量の在庫を纏め買いしているため、購入のタイミングにより支出額が変動している。

※7　委託料について

令和3年度は、令和2年度まで指定管理施設であった「大沢野武道館」、「大沢野プール」、「大沢野青少年体育センター」が廃止されたため発生額が減少している。

② 大沢野地域都市公園

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 6,142 | 6,142 | 6,202 | 6,255 | 7,621 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 3,962 | 3,120 | 2,405 | 2,556 | 4,320 |
| **a.収入合計** | | **10,104** | **9,262** | **8,607** | **8,811** | **11,941** |
| 人件費 | 3 | 5,367 | 3,806 | 2,465 | 2,580 | 4,324 |
| 修繕料 | | 185 | 308 | 289 | 374 | 204 |
| 光熱水費 | | 967 | 926 | 955 | 863 | 922 |
| 委託料 | 4 | 2,964 | 2,762 | 3,128 | 3,301 | 5,335 |
| その他の支出 | | 869 | 1,426 | 1,720 | 1,504 | 1,162 |
| **b.支出合計** | | **10,352** | **9,228** | **8,557** | **8,622** | **11,947** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **▲248** | **33** | **49** | **188** | **▲6** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲10,352** | **▲9,228** | **▲8,557** | **▲8,622** | **▲11,947** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

※3　人件費について

上記「①大沢野地域スポーツ施設」の「※3 人件費について」と同じ内容であり、そちらを参照。

指定管理者は、職員8人（うちパート7人）で大沢野地域スポーツ施設、大沢野地域都市公園及び猿倉山森林公園の指定管理業務を行っており、その人件費を見積稼働時間に基づいて3施設に按分している。令和3年度は、大沢野地域スポーツ施設のうち「大沢野武道館」、「大沢野プール」、「大沢野青少年体育センター」が廃止されたが、8人の人員体制に変化が無かったため、大沢野地域都市公園への按分額が増加している。

その他、大沢野健康福祉センターで本部管理業務を担当しているプロパー職員 1 名と嘱託職員 2 名（総務経理業務担当）の人件費は、見積稼働時間に基づき他の指定管理施設（大沢野老人福祉センター、大沢野地域スポーツ施設、大沢野地域都市公園）に配賦している。

※4　委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「大沢野総合運動公園自由広場の芝生植栽管理委託 1,848 千円」、「大沢野地域都市公園の施設管理及びトイレ清掃委託 1,936 千円」等である。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、大沢野地域に所在する 4 つの都市公園と 4 つのスポーツ施設を、事務効率化を目的として一つの募集単位に集約したものである。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、スポーツ施設については、規模別・用途別に区分したうえで、利用率の改善が見込まれない小規模施設は廃止・統合する方針が示されている。また、陸上競技場管理棟は、富山市の中核施設につき長寿命化を図る方針が示されている。公園については、現状のまま維持することを基本としつつ、社会情勢の変化や必要性を考慮したうえで機能や配置の再編、長寿命化等を行う方針が示されている。その他、大沢野地域では、公共施設マネジメントアクションプラン実行編に基づき公共施設の整理が進んでおり、それまで指定管理施設であった「大沢野武道館」、「大沢野プール」、「大沢野青少年体育センター」が令和 3 年度に廃止されている。

大沢野総合運動公園、大沢野総合運動公園野球場、大沢野総合運動公園陸上競技場は実質一体の施設であり、旧大沢野町がスポーツ施設を集約化して開設した。これらの施設は富山市南部における中核的なスポーツ施設として多くの市民に利用されている。特に野球場については、同規模の施設が富山市民球場（北部）と県営富山野球場（中心部）しか存在しないため、休日はほぼ予約で埋まっている。一方で、現地視察の結果、野球場通路に深刻な雨漏りが発見された。

大沢野中央公園と大沢野グラウンドは実質一体の施設であり、大沢野中央公園の中に大沢野グラウンド、駐車場、弓道場跡地、テニスコート跡地が存在する。このうち、弓道場跡地とテニスコート跡地は空き地になっており公園として整備されていない。また、大沢野グラウンドは、近隣の大沢野総合運動公園野球場と機能が重複していること、照明設備が無く夜間の社会人野球で利用できないこと等の理由でコロナ禍前から利用者数が少なかった。令和 2 年度以降は、コロナ禍により利用者数が激減している。

大沢野中学校跡地公園と西大沢グラウンドは実質一体の施設であり、何れも旧大沢野中学校の跡地を整備したものである。大沢野中学校跡地公園は、利用者が少ないため遊具が利用不能になっているなど、全体的に老朽化が進んでいる。西大沢グラウンドは、近隣の大沢野総合運動公園

多目的広場と機能が重複していること等の理由でコロナ禍前から利用者数が少なかった。令和2年度以降は、コロナ禍によりソフトボールのナイターリーグが中止された結果、利用者数が激減している。

春日健康ふれあい公園は、大沢野健康福祉センターの前面に立地する芝生広場であり、大沢野健康福祉センターと実質一体で管理されている。

その他、大沢野地域スポーツ施設は休業日や開業時間が統一されておらず、開業期間が利用実態と乖離している可能性が認められた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 68【意見31】 | 大沢野中央公園の弓道場跡地等の利活用 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 大沢野中央公園は、弓道場跡地とテニスコート跡地が空き地になっており公園として整備されていない。一方で、これらのエリアは指定管理対象となっているため、指定管理者は除草剤散布（年3回）と草刈り作業（随時）を実施している。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、弓道場跡地とテニスコート跡地の利活用方針を整理し、当該方針に基づいて管理方法を見直すことが望まれる。例えば、費用対効果の面から公園としての再整備が難しいと判断された場合は、跡地部分を普通財産化したうえで管財課に所管換えするとともに、指定管理対象から除外することが考えられる。なお、その場合は、大沢野中央公園の指定管理対象施設が駐車場とトイレのみになるため、指定管理対象施設を大沢野グラウンドと統一することが考えられる。 | |
| 69【意見32】 | 大沢野グラウンドの利活用 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 大沢野グラウンドは従来から利用者数が少なかったが、令和2年度以降はコロナ禍により利用者数が激減している。この点、以前は12チームほど存在していた大沢野地域の社会人野球チームがコロナ禍により3～4チームにまで激減しており、大沢野総合運動公園野球場だけで需要が満たされている可能性がある。また、当施設は照明施設やバックネット裏の防球ネットが無いため、機能面で使いにくい可能性がある。<br>施設所管課においては、指定管理者や野球協会と協議の上、当施設の利用が少ない原因を特定するとともに、利活用方針を整理することが望まれる。例えば、大沢野地域だけでは利用が見込めない場合は、他地域のチームの利用を促進することが考えられる。また、当施設はとやまスポーツネットを通じて予約されているが、その利便性に問題がある場合はスポーツ健康課と協議して利便性を高めることが考えられる（例：一覧性が無く空き施設の検索がしにくい等）。なお、利活用方針を検討した結果、利用の回復が見込めない場合は、富山市の財政負担軽減の観点から施設の廃止を検討することが望まれる。 | |
| 70【意見33】 | 都市公園等に係る再編整備方針 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 富山市は、公共的建築物が設置されている公の施設については「公共施設等総合管理計画」 | |

| |
|---|
| や「第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編)」を策定して再編整備方針を明示しているが、都市公園等については具体的な再編整備方針を検討していない。都市公園等は管理が滞ると急激に劣化するため相応の維持管理コストが必要になるが、利用実態を把握しにくいため費用対効果の面で必要性に疑義が生じているものが存在している可能性がある。<br>施設所管課においては、都市公園の統廃合に係る他自治体の取組事例を研究したうえで、適正配置や用途別の利用方針、管理手法等を整理し、マネジメントアクションプランとして具体化することが望まれる。例えば、大沢野中学校跡地公園は活発に利用されているとは言い難く、遊具やゲートボール場の整備も滞っているため、その必要性を再検討することが考えられる。 |

| | |
|---|---|
| 71【意見 34】 | 大沢野総合運動公園野球場の雨漏り修繕 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |

| |
|---|
| 大沢野総合運動公園野球場の現地視察を実施した際、通路部分に複数の雨漏りが確認された。富山市は、第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編)で大沢野総合運動公園に所在する陸上競技場管理棟を「市の中核施設につき長寿命化を図る」としている。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、当施設の位置付け等に応じた適切な修繕を行うことが望まれる。 |

| | |
|---|---|
| 72【指摘 11】 | 休業日や開業時間の見直し |
| 全般的運用状況 | 該当無し |

| |
|---|
| 大沢野地域スポーツ施設は、近距離圏内に位置し機能が類似しているにも関わらず休業日が異なっている。具体的には、大沢野総合運動公園野球場と陸上競技場は 12 月～3 月とそれ以外の期間の月曜日が、大沢野グラウンドは 1 月～2 月が、西大沢グラウンドは 12 月～2 月が休業日となっている。特に大沢野グラウンドと西大沢グラウンドは利用が低迷しており、費用対効果の面で大沢野総合運動公園野球場よりも長期間開業する必要があるのか疑問が残る。<br>施設所管課においては、現在の利用実態を調査、分析し、住民サービスと財政負担とのバランスや条例改正と市民への周知に要する期間等を十分に検討したうえで、施設の休業日や開業時間を利用実態に即した形に見直す必要がある。例えば、利用が殆ど無い季節、曜日、時間帯については、休業日を設けたり開業時間を短縮したりすることが考えられる。この点、八尾ゆめの森テニスコートや富山市パークゴルフ場は季節や曜日によって休業日や開業時間を弾力的に運用しているため、参考にされたい。 |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、大沢野総合運動公園野球場と大沢野総合運動公園陸上競技場の施設使用料である。なお、両施設は使用料金が廉価であるため施設使用料も少額となっている。それ以外の施設は使用料金が無料であるため施設使用料は発生していない。

富山市の主な歳出は、指定管理料と人件費補助金である。指定管理料と人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、外郭団体である大沢野健康文化推進財団が非公募で指定管理者に選定されている。富山市は、「公募の結果、申請者がいなかった」ため、それまで指定管理者であった大沢野健康文化推進財団を指定管理者に選定している。指定管理者は、旧大沢野町の時代から大沢野地域の公の施設（大沢野地域スポーツ施設、大沢野地域都市公園、大沢野健康福祉センター、大沢野老人福祉センター、猿倉山森林公園）の指定管理業務を請け負っているが、職員の高齢化等により大沢野地域スポーツ施設、大沢野地域都市公園、猿倉山森林公園の指定管理業務を行うことが困難になったため、令和 2 年度に行われた指定管理者の公募に応募しなかった。しかし、当該公募は応募者がいなかったため、施設所管課と協議の上、令和 3 年度～令和 5 年度に限定して指定管理業務を請け負うことになった。この点、当施設は施設使用料が廉価又は無料であり、自主事業を行う余地も小さいため、利潤を求める民間企業は参入しにくいと考えられる。また、指定管理者は長期間指定管理業務を請け負うことで施設運営のノウハウを蓄積しており、重大なクレームやトラブルなく施設を運営できている。

このように、指定管理者が当施設の指定管理業務を担当することには合理性が認められる。一方で、指定管理者は令和 6 年度以降の指定管理業務は請け負わない旨を施設所管課に伝達しているため、後任へ円滑に業務を移管するための準備が必要となる。また、大沢野総合運動公園には、指定管理者が管理している野球場と陸上競技場の他に富山市体育協会が指定管理業務を請け負っている屋内競技場が存在するが、指定管理者が異なることで一体的な施設運営が阻害されている可能性がある。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。なお、富山市は、外郭団体を指定管理者とする場合、原則として基本協定書に指定管理料の精算条項を設定しているが、当施設については精算条項の設定が漏れていた。これについては、包括外部監査の前に施設所管課が設定漏れに気付き令和 4 年度中に基本協定書を修正しているため、発見事項とはしないこととする。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 73【意見 35】 | 指定管理者の交代を見据えた準備 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |

指定管理者は、職員の高齢化等により令和 6 年度以降の指定管理業務を引き受けない旨、施設所管課に伝達している。

施設所管課においては、指定管理者の交代を見据えて、施設の運営管理に支障が生じないよう事前準備を行うことが望まれる。例えば、以下のような論点を検討することが考えられる

- 他の指定管理者が管理している大沢野総合運動公園屋内競技場は大沢野総合運動公園、野球場、陸上競技場と一体で機能しているため、募集単位を統一することが考えられる。
- 大沢野中央公園と大沢野グラウンド、大沢野中学校跡地公園と西大沢グラウンドはそれぞれ実質一体の施設であるため、引き続き募集単位を統一することが考えられる。
- これらの施設は利用状況が大きく異なっており、指定管理者にとっての魅力度（自主事業の拡大可能性等）や求められる管理の水準が異なる可能性がある。そのため、指定管理者が応募しやすい施設（大沢野総合運動公園関連の施設）とそれ以外の施設とで募集単位を区分し、後者に応募がない場合は、低コストで必要十分な管理ができる婦中公園緑地管理公社を非公募選定することが考えられる。

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料と人件費補助金である。なお、指定管理者は当施設で自動販売機設置に係る自主事業を行っている。

指定管理者の主な支出は、人件費、委託料である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。委託料については、公園の植栽管理や清掃等の業務委託が大部分を占めており、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## １５． 八尾地域都市公園、神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館、久婦須川ダム周辺広場

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>八尾地域都市公園：　※1<br>神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館(※2)：　富山市八尾町城生 91 番地 3<br>久婦須川ダム周辺広場(※3)：　富山市八尾町桐谷 16 番地 2 等<br>※1：旧八尾地域の 41 の都市公園を対象としており、住所の記載は省略する。<br>※2：以下、「学習館」という<br>※3：以下、「ダム広場」という</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>土木事務所建設課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>八尾地域都市公園：　富山市都市公園条例及び同条例施行規則<br>学習館：　富山市神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館条例及び同条例施行規則<br>ダム広場：　富山市久婦須川ダム周辺広場条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>八尾地域都市公園：　都市公園として災害防止、市民の休息等の用に供する<br>学習館：　神通川流域の豊かな自然環境を生かしながら有効にこれを利活用し、自然体験、自然観察、スポーツ、文化等の交流を通じて、川に関する情報発信と地域の交流活動を推進する<br>ダム広場：　訪れる人々が森や水辺に親しみ、心安らぐ憩いとレクリエーションの場を提供する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積（㎡）</th><th>建設費（千円）</th></tr>
<tr><td>自然ふれあい学習館</td><td>H13</td><td>38</td><td>18</td><td>538.00</td><td>361,554</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>営業期間</td><td>休業日：　八尾地域都市公園：　都市公園であり常時利用可能<br>学習館：　12 月 29 日～1 月 3 日<br>ダム広場：　広場であり常時利用可能<br>開業時間：　八尾地域都市公園：　都市公園であり常時利用可能<br>学習館：　9:00～19:00。ただし研修室は 9:00～22:00<br>ダム広場：　広場であり常時利用可能</td></tr>
<tr><td>公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>● 八尾地域都市公園、ダム広場<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「公園」については、現状のまま維持することを基本としつつ、社会情勢の変化や必要性を考慮したうえで、機能や配置の再編について検討するとともに、公園施設の計画的な管理を推進するため長寿命化の方針を定める。特に、避難場所として利用されることを考慮し、公園内に設置されている施設について適切な点検及び維持管理による安全確保</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | を図る。また、指定管理者制度に基づいた業務の進捗管理や指定管理料の見直し等、維持管理・運営の改善や効率化を進めるとともに、公募設置管理制度（Park-PFI）により民間の視点を取り入れながら魅力的な公園づくりを進める。<br>その他、街区公園については、市民や地域団体等による清掃や除草等、市民との協働による施設管理を今後も継続していくとともに、地域でより利用しやすく管理しやすい施設となるよう努めていく。<br>● 学習館<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「レクリエーション・観光施設」については、観光施設は他の分野に比べ民間事業者が参入しやすい分野であるため、民間に積極的に事業移管を行う。なお、民間への事業移管が困難な施設のうち、行政目的の高い施設は、運営の効率化を進め引き続き維持していく。それ以外の施設については廃止を推進する。<br>また、利用者の利便性向上に向け条例等の改正を行い、使用料金や利用時間の弾力化を行うとともに、民間のノウハウや経営手法を活用できるように運営体制の見直しを検討する。 |
| | ＜第2次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設のうち「学習館」はアクションプランの対象となっており、機能維持の方針は「継続」となっている。また、機能の提供形態は「維持」が検討されており、整備手法は「修繕」、「長寿命化（大規模改修)」が検討されている。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | ㈱八尾サービス<br>所在地：　富山市八尾町保内一丁目30番地の10<br>代表者：　今本　雅祥<br>事業概要：　公園緑地及び庭園、スポーツ施設の維持管理等<br>富山市との関係：　外郭団体 |
| 指定管理業務の概要 | ● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 学習館及びダム広場の使用承認に関する業務<br>● 都市公園及びダム広場の行為許可に関する業務<br>● 都市公園及び学習館の使用料徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務 |
| 指定期間 | 5年間（令和3年度～令和7年度） |
| 指定管理料 | 各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和2年度締結の基本協定書）<br>単位：千円 |

| | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|---|---|---|---|---|---|

<table>
<tr><td></td><td>
<table>
<tr><td>八尾地域都市公園</td><td>13,122</td><td>13,122</td><td>13,122</td><td>13,122</td><td>13,122</td></tr>
<tr><td>学習館</td><td>2,907</td><td>2,907</td><td>2,907</td><td>2,907</td><td>2,907</td></tr>
<tr><td>ダム広場</td><td>2,547</td><td>2,547</td><td>2,547</td><td>2,547</td><td>2,547</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数 1 者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>
● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>
● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>
単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>八尾地域都市公園</td><td>1,800</td><td>1,800</td><td>1,800</td><td>1,800</td><td>1,800</td></tr>
<tr><td>学習館</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td></tr>
<tr><td>ダム広場</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者は外郭団体であるが基本協定で精算条項を設定していない）。</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では「該当無し」となっている。</td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「該当無し」となっている。</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

<table>
<tr><th>種別</th><th>条例に定める使用料上限</th><th>※</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr>
<tr><td>八尾地域都市公園</td><td>無料</td><td>1</td><td>※1</td><td>※1</td><td>※1</td><td>※1</td><td>※1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習館</td><td>＜学習館＞<br>無料</td><td>2</td><td>26,615</td><td>22,739</td><td>19,765</td><td>12,784</td><td>9,790</td></tr>
<tr><td>＜研修室＞　単位:円/時間
<table>
<tr><th>区分</th><th>9～17 時</th><th>17～19 時</th><th>19～22 時</th></tr>
<tr><td>研修室 1</td><td>630</td><td>840</td><td>1,050</td></tr>
<tr><td>研修室 2</td><td>530</td><td>630</td><td>840</td></tr>
<tr><td>全開放</td><td>1,050</td><td>1,250</td><td>1,570</td></tr>
</table>
</td><td>2</td><td>3,106</td><td>2,803</td><td>3,033</td><td>709</td><td>1,320</td></tr>
<tr><td>ダム広場</td><td>無料</td><td>3</td><td>3,513</td><td>4,296</td><td>3,833</td><td>3,287</td><td>3,147</td></tr>
</table>

＜補足コメント＞

※1　<u>八尾地域都市公園の利用者数について</u>

旧八尾町に所在する 41 の都市公園である。何れも時間帯を問わず無料で利用可能であるため、利用者数の集計は行っていない。

※2　<u>学習館の利用者数について</u>

主な利用者は、隣接する神通川水辺プラザの利用者である。神通川水辺プラザはパークゴルフ場や広大な芝生広場を有しており、その利用者が休憩や地場産品を購入する目

的で学習館を利用している。また、学習館の研修室は、近隣住民が各種教室（フラワーアレンジメント、ヨガ、習字等）を開催しているほか、マラソン大会開催時の事務所兼更衣室として利用されている。

令和2年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（令和2年4月16日～5月31日、令和3年8月18日～9月26日）があったことに加え、コロナ禍を踏まえてパークゴルフ場の利用受付を施設入口で実施することになり、それらの人が集計対象から除外されたため利用者数が減少している。

※3　ダム広場の利用者数について

ダム広場は、市街地から遠く離れた中山間地に所在し時間帯を問わず無料で利用可能であるため、利用者数の集計は行っていない。なお、指定管理者はダム広場に所在するパークゴルフ場について利用者数を集計しているため、上表ではパークゴルフ場の利用者数を記載している。パークゴルフ場は、地元の同好会や行事で定期的に利用されているほか、知名度が低い分ゆっくりとプレーを楽しめるため、安定的に利用されている。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

①　八尾地域都市公園

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | 485 | 326 | 327 | 321 | 321 |
| **a.歳入実績合計** | | **485** | **326** | **327** | **321** | **321** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 12,119 | 12,119 | 12,232 | 12,347 | 13,122 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 18,378 | 18,391 | 18,410 | 18,439 | 18,378 |
| **b.歳出実績合計** | | **30,497** | **30,510** | **30,642** | **30,786** | **31,500** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲30,011** | **▲30,184** | **▲30,314** | **▲30,464** | **▲31,178** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲30,182** | **▲30,030** | **▲30,318** | **▲30,458** | **▲31,178** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **171** | **▲153** | **4** | **▲6** | **0** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設は使用料金が無料であり該当無し。

※2　目的外使用料について

令和3年度の主な内訳は、「自動販売機に係る目的外使用料3千円」及び「電柱占用料318千円」である。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

※4　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管

理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

② 学習館

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 316 | 307 | 402 | 128 | 282 |
| 目的外使用料 | 2 | 10 | 10 | 8 | 9 | 7 |
| **a.歳入実績合計** | | **327** | **317** | **411** | **138** | **290** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 2,408 | 2,408 | 2,440 | 2,471 | 2,907 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 12,241 | 12,343 | 12,406 | 12,477 | 12,197 |
| **b.歳出実績合計** | | **14,649** | **14,751** | **14,846** | **14,948** | **15,104** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲14,321** | **▲14,433** | **▲14,434** | **▲14,809** | **▲14,813** |
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲14,343** | **▲14,423** | **▲14,528** | **▲14,536** | **▲14,965** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **21** | **▲9** | **93** | **▲272** | **151** |

＜補足コメント＞

※1 施設使用料について

研修室の使用料である。

※2 目的外使用料について

令和３年度の内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料７千円」である。

※3 委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

※4 補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

③ ダム広場

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | 14 | 14 | 14 | 0 | － |
| **a.歳入実績合計** | | **14** | **14** | **14** | **0** | **－** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 2,341 | 2,341 | 2,363 | 2,385 | 2,547 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 190 | 190 | 190 | 190 | 190 |
| **b.歳出実績合計** | | **2,531** | **2,531** | **2,553** | **2,575** | **2,737** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲2,516** | **▲2,516** | **▲2,538** | **▲2,574** | **▲2,737** |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額(歳入-歳出)** | | **▲2,516** | **▲2,516** | **▲2,538** | **▲2,560** | **▲2,736** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **-** | **-** | **0** | **▲14** | **▲0** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設は使用料金が無料であり該当無し。

※2　目的外使用料について

以前はパークゴルフ場に自動販売機が設置されていたが、売れ行きが芳しくなく撤去されたため、目的外使用料が発生しなくなっている。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

※4　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

①　八尾地域都市公園

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 12,119 | 12,119 | 12,232 | 12,347 | 13,122 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 18,378 | 18,391 | 18,410 | 18,439 | 18,378 |
| その他の収入 | | 217 | 165 | 157 | 202 | 219 |
| **a.収入合計** | | **30,714** | **30,675** | **30,799** | **30,988** | **31,719** |
| 人件費 | 3 | 18,378 | 18,391 | 18,410 | 18,439 | 20,268 |
| 光熱水費 | | 1,243 | 1,161 | 1,234 | 1,193 | 1,166 |
| 修繕料 | 4 | 2,081 | 1,850 | 2,188 | 1,269 | 1,981 |
| 委託料 | 5 | 3,168 | 3,338 | 3,491 | 3,354 | 3,426 |
| その他管理費 | | 5,874 | 5,755 | 5,479 | 6,762 | 6,240 |
| **b.支出合計** | | **30,744** | **30,495** | **30,802** | **31,017** | **33,081** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **▲30** | **180** | **▲3** | **▲29** | **▲1,362** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲30,527** | **▲30,330** | **▲30,645** | **▲30,815** | **▲32,862** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

補助金と職員人件費とは整合的であるが、令和 3 年度については下記※3 の理由で不整合が生じている。

※3　人件費について

当施設で勤務しているプロパー常勤職員 2 人(令和 3 年 4 月～6 月のみ在籍)、嘱託職員 1 人、期間職員 7 人の人件費である。期間職員は、八尾地域都市公園の維持管理が必要となる 3 月 15 日～12 月 15 日に平日 8 時 30 分から 17 時 15 分まで勤務し、公園の遊具、芝生、樹木の維持管理等を実施している。

令和 3 年度は、令和 2 年度まで指定管理業務を担当していた八尾 B&G 海洋センタープールの職員が一時的に公園管理業務に携わっていたため発生額が増加している。当該職員は、令和 3 年 7 月以降は他団体に出向している。

なお、指定管理者は、当施設に本社管理費を配賦していない。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 2,026 千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。ただし、令和 3 年度の八尾地域都市公園の総勘定元帳を確認したところ、臨時職員賃金 2,412 千円を決算整理仕訳で他の指定管理施設に付け替えていた。指定管理者に理由を確認したところ、「八尾地域都市公園の指定管理業務で多額の赤字が発生しそうであったため、収支をならす目的で他の指定管理施設に付け替えた」との回答を得た。

※4　修繕料について

令和 3 年度の主な内訳は「福島 2 号公園引込開閉器盤修繕料 314 千円」、「神通川水辺プラザ PG スタート台人工芝張替修繕 195 千円」等である。

※5　委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「城ヶ山公園枯れ枝処分委託 489 千円」、「神通川水辺プラザ管理業務委託（富山市シルバー人材センター）1,245 千円」等である。

② 学習館

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 2,408 | 2,408 | 2,440 | 2,471 | 2,907 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 12,241 | 12,343 | 12,406 | 12,477 | 12,197 |
| その他の収入 | 3 | 1,279 | 1,148 | 1,164 | 986 | 787 |
| **a.収入合計** | | **15,928** | **15,899** | **16,010** | **15,934** | **15,891** |
| 人件費 | 4 | 12,241 | 12,343 | 12,406 | 12,477 | 12,197 |
| 管理費 | | 3,733 | 3,522 | 3,581 | 3,696 | 3,510 |
| **b.支出合計** | | **15,974** | **15,865** | **15,987** | **16,173** | **15,707** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **▲46** | **34** | **23** | **▲239** | **184** |
| **（富山市からの収入を** | | **▲14,695** | **▲14,717** | **▲14,823** | **▲15,187** | **▲14,920** |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **除いた収支差額)** | | | | | | |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

補助金と職員人件費とは整合的であり重大な問題は認められない。

※3　その他の収入について

令和 3 年度の内訳は、「販売委託手数料収入 508 千円」、「自動販売機手数料 207 千円」である。当指定管理者は、管理業務仕様書に基づき学習館で地元農産物等の委託販売を行っており、その販売手数料収入を計上している。

※4　人件費について

当施設で勤務している常勤プロパー職員 1 人、嘱託職員 2 人、パート 4 人の人件費である。当施設の職員はシフト制で勤務しており、常時 2 人体制で物品販売、館内清掃、受付業務（パークゴルフ場、芝生広場、バーベキュー場等）を実施している。

なお、指定管理者は、当施設に本社管理費を配賦していない。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 1,742 千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。ただし、令和 3 年度の学習館の総勘定元帳を確認したところ、臨時職員賃金 1,450 千円が決算整理仕訳で他の指定管理施設から付け替えられていた。指定管理者に理由を確認したところ、「八尾地域都市公園の指定管理業務で多額の赤字が発生しそうであったため、収支をならす目的で他の指定管理施設に付け替えた」との回答を得た。

③ ダム広場

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 2,341 | 2,341 | 2,363 | 2,385 | 2,547 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 190 | 190 | 190 | 190 | 190 |
| その他の収入 | | 17 | 18 | 18 | － | － |
| **a.収入合計** | | **2,548** | **2,549** | **2,571** | **2,575** | **2,737** |
| 人件費 | 3 | 190 | 190 | 190 | 190 | 190 |
| 管理費 | 4 | 2,357 | 2,336 | 2,361 | 2,436 | 2,326 |
| **b.支出合計** | | **2,547** | **2,526** | **2,551** | **2,626** | **2,516** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **1** | **23** | **20** | **▲51** | **221** |
| **(富山市からの収入を** | | **▲2,530** | **▲2,508** | **▲2,533** | **▲2,626** | **▲2,516** |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **除いた収支差額)** | | | | | | |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

補助金と職員人件費とは整合的であり重大な問題は認められない。

※3　人件費について

指定管理者は、ダム広場の維持管理業務を富山市シルバー人材センターに委託しているが、それとは別に八尾地域都市公園、学習館、ダム広場の全般的な管理統括を行っている嘱託職員 1 名の人件費の一部を当施設に配賦している。

なお、指定管理者は、当施設に本社管理費を配賦していない。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 190 千円であるが、活動実態等に照らすと重大な問題は認められない。

※4　管理費について

令和 3 年度の主な内訳は、「久婦須川ダム広場管理業務委託（富山市シルバー人材センター）1,769 千円」である。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

八尾地域都市公園は、旧八尾町内に所在する 41 の都市公園を、事務効率化を目的として一つの募集単位に集約したものである。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、公園については、現状のまま維持することを基本としつつ、社会情勢の変化や必要性を考慮したうえで機能や配置の再編、長寿命化等を行う方針が示されている。また、学習館については、維持を前提とした長寿命化の方針が示されている。

都市公園は、富山市都市公園条例等に基づき設置された公園であり、設置目的、誘致距離、敷地面積等に応じて街区公園、近隣公園、地区公園等に区分される。八尾地域都市公園は、旧八尾町内に存在する 37 か所の街区公園（敷地面積合計 54,408 ㎡）、2 か所の地区公園（同 106,700 ㎡）、2 か所の総合公園（同 216,545 ㎡）から構成される。総合公園は、旧八尾町中心部に所在す

る城ヶ山公園（96,460 ㎡）と神通川沿いに所在する神通川水辺プラザ（120,085 ㎡）であり、何れも広大な敷地を有している。城ヶ山公園は桜の名所であり地域住民に親しまれている。神通川水辺プラザには無料のパークゴルフ場やサッカー場が整備されており、高齢者や小学生等に利用されている。八尾地域都市公園は、何れも時間帯を問わず無料で利用可能であるため、利用者数の集計は行っていない。

八尾地域都市公園は、災害防止、風致の享受、市民の休息等の役割を担っているため、原則として存在意義が認められる。一方で、都市公園は用途変更や用途廃止されることが殆ど無く、また、一定規模以上の開発行為が行われる場合は、都市計画法施行令第 25 条に基づき、開発区域内に公園、緑地又は広場を設けなければならないため、その数は増加していく傾向にある。都市公園は管理を怠ると急激に劣化するため相応の維持管理コストが必要になるが、利用実態を把握しにくいため費用対効果の面で必要性に疑義が生じているものが存在している可能性がある。

学習館は、地元の要望を受けスーパー農道に隣接する廃材置き場を市民交流の場として整備したものである。学習館は神通川水辺プラザに隣接しており、以前はサッカー大会に参加する小学生等が多く利用していたが、少子化により利用者数が減少傾向にある。また、学習館の研修室は近隣住民がサークル活動等で利用している。学習館は 12 月 29 日～1 月 3 日以外の 9 時～19 時まで開館しており、研修室は 22 時まで開館しているが、冬季や夜間の利用が極端に減少する傾向にあり、例えば日没後（16 時以降）は研修室の利用実績が殆ど無くなっている。そのため、指定管理者は、事務負担を考慮して事前予約が無い場合に研修室を 19 時で閉館していた。

ダム広場は、久婦須川ダムを建設した際の残土置き場を広場として整備したものである。ダム広場は、市街地から遠く離れた中山間地に所在するが、富山市はダム広場の一部をパークゴルフ場やマウンテンバイクコースとして整備し有効活用を図っている。パークゴルフ場は、市民の認知度が低い分ゆったりと利用できるため、立地に比して相応の利用が認められる。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 74【意見 33】 | 都市公園等に係る再編整備方針 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 富山市は、公共的建築物が設置されている公の施設については「公共施設等総合管理計画」や「第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編)」を策定して再編整備方針を明示しているが、都市公園等については具体的な再編整備方針を検討していない。都市公園等は管理が滞ると急激に劣化するため相応の維持管理コストが必要になるが、利用実態を把握しにくいため費用対効果の面で必要性に疑義が生じているものが存在している可能性がある。<br>施設所管課においては、都市公園等の統廃合に係る他自治体の取組事例を研究したうえで、適正配置や用途別の利用方針、管理手法等を整理し、マネジメントアクションプランとして具体化することが望まれる。 | |
| 75【指摘 10】 | 開館時間の変更申請漏れ |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 学習館の研修室は、富山市神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館条例で開館時間が 22 時ま | |

| | |
|---|---|
| でと定められているが、指定管理者は利用予約が無い日の開館時間を 19 時に短縮していた。なお、条例第 3 条の 4 では「指定管理者は、特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更することができる」とされているが、指定管理者は承認申請を行っていなかった。<br>施設所管課においては、条例に定める開館時間を変更する場合は、事前に市長の承認を得るよう指定管理者に指導する必要がある。 | |
| 76【指摘 11】 | 学習館の休館日や開館時間の見直し |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 学習館の休館日は条例で年末年始のみとされているが、12 月～3 月は神通川水辺プラザのパークゴルフ場やサッカー場が閉鎖されるため利用者数が大きく減少する傾向にある。また、学習館の研修室は条例で 22 時までの開館が求められているが、日没後（16 時以降）は利用実績が殆ど無くなっている。この点、利用者数が極端に少ない日に施設を開館した場合、市民サービスに比して過大な人件費や光熱水費が発生する可能性がある。また、働き方改革や人手不足により夜間に施設を開館しておくことが難しくなってきている。<br>施設所管課においては、現在の利用実態を調査、分析し、住民サービスと財政負担とのバランスや条例改正と市民への周知に要する期間等を十分に検討したうえで、施設の開館期間や開館時間を利用実態に即した形に見直す必要がある。例えば、学習館は冬季の利用が少ないため、冬季に休館日を設けることが考えらえる。また、利用実態を踏まえると学習館と研修室の開館時間は長すぎる可能性があるため、短縮することが考えられる（例：原則 8 時 30 分～17 時までとし夏季と冬季で開館時間を変える等）。この点、八尾ゆめの森テニスコートや富山市パークゴルフ場は季節や曜日によって休業日や開業時間を弾力的に運用しているため、参考にされたい。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、学習館の研修室に係る施設使用料である。それ以外の施設は使用料金が無料であるため施設使用料は発生していない。なお、神通川水辺プラザやダム広場に設置されているパークゴルフ場は、当初の設立趣旨が福祉目的であったため使用料金が無料になっている。

富山市の歳出は、指定管理料と人件費補助金である。指定管理料と人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要

や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は1者のみであり、外郭団体である八尾サービスが指定管理者に選定されている。指定管理者は、旧八尾町時代から緑地や公園の管理を請け負っており、現在は富山市の公の施設（八尾地域都市公園、学習館、ダム広場、八尾ゆめの森ゆうゆう館）の指定管理業務のみを実施している。

富山市は、公園管理については地元町内会等を主体とする公園愛護会の組成を奨励している。公園愛護会は、年1回富山市から報奨金を受領して草刈り等の日常的な公園管理業務を実施しており、公園愛護会が対応困難な遊具の修理や高木剪定は、都度施設所管課が民間業者に業務委託している。一方で、旧大沢野町地域、旧婦中町地域及び旧八尾町地域の都市公園等については、過去の経緯から外郭団体が指定管理者となり公園愛護会が対応困難な遊具の修理や高木剪定等を行っている。

当施設は、八尾地域都市公園、学習館、ダム広場を集約した募集単位であるが、最も重要な指定管理対象施設は八尾地域都市公園である。八尾地域都市公園とダム広場は公園、広場として同じ機能を有しており、学習館も八尾地域都市公園に含まれている神通川水辺プラザと実質一体の施設であるため、これらを一つの募集単位とすることには合理性がある。

当施設は施設使用料が廉価又は無料であり、自主事業を行う余地も小さいため、利潤を求める民間企業は参入しにくいと考えられる。また、昨今では高齢化により公園管理技術者が減少しており、当施設の指定管理業務を行える業者は限られてきている。加えて、指定管理者は、長期間指定管理業務を請け負うことで効果的かつ効率的に業務を遂行するノウハウを蓄積しており、これまで重大なクレームやトラブルは発生していない。

このように、指定管理者が当施設の指定管理業務を担当することには合理性が認められる。

そのため、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。なお、富山市は、外郭団体を指定管理者とする場合、原則として基本協定書に指定管理料の精算条項を設定しているが、当施設については精算条項の設定が漏れていた。これについては、包括外部監査の前に施設所管課が設定漏れに気付き令和4年度中に基本協定書を修正しているため、発見事項とはしないこととする。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第4章 第1部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料と人件費補助金である。なお、指定管理者は当施設で自主事業を行っていない。

指定管理者の主な支出は、人件費である。指定管理者は、施設毎に常勤プロパー職員、嘱託職員、パート職員、期間雇用職員を配置して指定管理業務を実施している。特に、最も重要な指定管理施設である八尾地域都市公園は期間雇用職員が中心となって指定管理業務を行っているが、当該職員は公園管理が必要な 3～12 月の平日 8 時 30 分～17 時 15 分にのみ勤務しており、施設の利用状況に応じた働き方を実現することで人件費を最適化できている。なお、旧婦中町地域の都市公園の指定管理業務を行っている婦中公園緑地管理公社は、108 か所の婦中地域都市公園等を 34,625 千円（令和 3 年度）の支出で管理している。これに対して、指定管理者は 41 か所の八尾地域都市公園を 33,081 千円（令和 3 年度）の支出で管理しており、1 公園当たりの支出額は指定管理者のほうが多くなっている。これは、八尾地域都市公園に大規模な総合公園が 2 か所含まれているためであり、業務の効率性等の面で重大な問題は無いと考える（公園面積で比較した場合は、八尾地域都市公園が 377,653 ㎡と婦中地域都市公園の 186,236 ㎡の 2 倍近くになっている）。

一方で、指定管理者は八尾地域都市公園の指定管理業務で多額の赤字が発生しそうであったため、収支を調整する目的で人件費の一部を他の指定管理施設に付け替えていた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 77【指摘 9】 | 指定管理業務収支の正確な計算 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |
| 指定管理者は、八尾地域都市公園の指定管理業務で多額の赤字が発生しそうであったため、収支を調整する目的で人件費の一部を他の指定管理施設に付け替えていた。具体的には、令和 3 年度は八尾地域都市公園の臨時職員賃金 2,412 千円を他の指定管理施設（学習館の臨時職員賃金 1,450 千円等）に付け替えていた。指定管理業務収支を施設毎に正確に計算しないと、施設の存在意義や指定管理料の妥当性を判断できなくなってしまう。<br>施設所管課においては、施設間で収支を付替えないよう指定管理者に指導する必要がある。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## １６．婦中パークゴルフ場

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市婦中町羽根 1068 番地 8</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>スポーツ健康課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市スポーツ施設条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>市民のスポーツ振興を図り、市民の健康増進に寄与する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積（㎡）</th><th>建設費総額（千円）</th></tr>
<tr><td>四阿</td><td>H23</td><td>47</td><td>37</td><td>10.89</td><td rowspan="3">9,413</td></tr>
<tr><td>公衆便所</td><td>H23</td><td>31</td><td>21</td><td>9.97</td></tr>
<tr><td>休憩所</td><td>H30</td><td>34</td><td>31</td><td>25.68</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>営業期間</td><td>休業日：　12 月 1 日～3 月 31 日、火曜日<br>開業時間：　9:00～17:00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない</td></tr>
<tr><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

<table>
<tr><td>指定管理者</td><td>（一財）婦中公園緑地管理公社<br>所在地：　富山市婦中町羽根 1000 番 1<br>代表者：　川越　直樹<br>事業概要：　富山市の設置する都市公園施設、地域広場施設、その他広場施設、自然公園施設、街路樹、その他緑地の維持管理と運営業務<br>富山市との関係：　外郭団体</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理<br>● 使用の承認<br>● 上記のほか、施設の管理に関し市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>790</td><td>790</td><td>790</td><td>790</td><td>790</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数 1 者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>使用料が無料の施設であり該当無し。</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円<table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>650</td><td>650</td><td>650</td><td>650</td><td>650</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では「該当無し」となっている。</td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>● 冬季、使用実績がない水道を休止することで水道料金等の軽減を図る<br>● 外灯を修繕する場合 LED 化し電気代の軽減及び器具の長寿命化を図る<br>● 刈草、狩り芝の乾燥による減量後の処分委託により経費削減を図る</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パークゴルフ場 | 無料 | 1 | 7,506 | 8,580 | 10,206 | 10,045 | 10,006 |

＜補足コメント＞

※1　利用者数について

利用者は、主にパークゴルフを愛好する高齢者である。

当施設は屋外施設であり、4 月 1 日～11 月 30 日（火曜日除く）の期間にのみ営業している。当施設は、規模は小さいが専門家に依頼したコース設計（バンカーや植栽など）に特色があり、リピーターも非常に多いため、コロナ禍があったにも関わらず利用者数は減少していない。一方で、近年は 70 歳まで働く高齢者が増えている関係でパークゴルフ協会の会員数が減少傾向にあり、今後は利用者数が減少に転じる可能性がある。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| **a.歳入実績合計** | | **0** | **0** | **0** | **0** | **0** |
| 委託料（指定管理料） | 2 | 791 | 791 | 791 | 791 | 790 |
| 委託料（その他） | | － | 1,296 | － | － | － |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 補助金（指定管理運営） | 3 | 550 | 550 | 1,193 | 1,204 | 1,205 |
| 修繕料 | | － | 142 | － | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **1,341** | **2,779** | **1,984** | **1,995** | **1,995** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲1,340** | **▲2,779** | **▲1,984** | **▲1,994** | **▲1,994** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲1,340** | **▲1,341** | **▲1,340** | **▲1,994** | **▲1,994** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **－** | **▲1,438** | **▲643** | **－** | **－** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設は使用料金が無料であり該当無し。

※2　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和２年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を上回っていたため、精算条項に基づく返金は行われていない。

※3　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 791 | 791 | 791 | 791 | 790 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 550 | 550 | 1,193 | 1,204 | 1,205 |
| **a.収入合計** | | **1,341** | **1,341** | **1,984** | **1,995** | **1,995** |
| 人件費 | 3 | 550 | 550 | 1,193 | 1,204 | 1,205 |
| 消耗品費 | | 190 | 232 | 331 | 555 | 488 |
| 光熱水費 | | 102 | 102 | 25 | 36 | 21 |
| その他の支出 | | 499 | 457 | 435 | 200 | 281 |
| **b.支出合計** | | **1,341** | **1,341** | **1,984** | **1,995** | **1,995** |
| **c.収支差額（a-b）** | 4 | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲1,341** | **▲1,341** | **▲1,984** | **▲1,995** | **▲1,995** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

補助金と職員人件費とは整合的であり重大な問題は認められない。

※3　人件費について

指定管理者は、期間雇用職員 7 人と常勤職員 3 人(うち 1 人は公園管理業務と兼務)で富山市の公の施設（婦中地域都市公園等、婦中パークゴルフ場及び婦中ふるさと創生館）の指定管理業務と法人管理業務を行っており、これら 10 人分の人件費を指定管理開始時（平成 18 年）に定めた予算額比率に基づいて 3 施設に按分している。期間雇用職員は、3～12 月の平日 8 時 30 分～17 時 15 分のみ勤務し、公園の遊具、芝生、樹木等の維持管理業務を行っている。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝婦中地域都市公園等、婦中パークゴルフ場及び婦中ふるさと創生館の人件費合計 21,088 千円÷職員数 10 人）は 2,108 千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

※4　収支差額について

当指定管理者は、富山市の公の施設（婦中地域都市公園等、婦中パークゴルフ場及び婦中ふるさと創生館）の指定管理業務のみを実施している。

収支差額が生じていない理由を当指定管理者に質問した結果、「従来から指定管理年度報告の実績額は指定管理候補者選定時の事業計画と一致するように作成しており、当団体の実際の収支は 1,000～2,000 千円程度の赤字が続いている。赤字が続いている理由は、平成 25 年度に一般財団法人に移行した際に策定した公益目的支出計画で、移行時の公益目的財産額 52,807 千円を 58 年かけて公益目的で費消することを定めているからである」との回答を得た。

なお、当指定管理者の決算書を確認した結果、一般正味財産増減額は過去から継続して 1,000～2,000 千円程度の赤字になっており、施設経費を水増しして指定管理料を過大に請求する等の問題は認められなかった。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、周辺一帯に富山市の福祉関連施設を整備する過程で福祉施設として建設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組

みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

当施設は、規模は小さいが専門家に依頼したコース設計（バンカーや植栽など）に特色があり、口コミを通じて富山市民以外の利用者が増加傾向にある。また、パークゴルフ協会の会員を中心にリピーターが非常に多く、4月～11月しか開業していないにも関わらず利用者数が1万人を超えている。令和2年度以降も、コロナ禍にも関わらず利用者数は安定推移しており利用ニーズの高さが伺える。一方で、近年は70歳まで働く高齢者が増えている関係でパークゴルフ協会の会員数が減少傾向にあり、今後は利用者数が減少に転じる可能性がある。

このように、将来において利用者数が減少に転じる可能性はあるが、足元では非常に多くの高齢者に利用されており、施設の存在意義は十分に認められる。

そのため、施設のあり方や存在意義について発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第4章 第1部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の歳入は、施設の使用料金が無料であるため殆ど発生していない。当施設はスポーツ健康課が管理しているが、当初の設立趣旨が福祉目的であったため使用料金が無料になっている。

富山市の歳出は、指定管理料と人件費補助金である。指定管理料と人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第4章 第1部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は1者のみであり、外郭団体である婦中公園緑地管理公社が指定管理者に選定されている。指定管理者は、旧婦中町時代から緑地や公園の管理を請け負っており、現在は富山市の公の施設（婦中地域都市公園等、婦中パークゴルフ場及び婦中ふるさと創生館）の指定管理業務のみを実施している。当施設は、非常に小規模であり、施設使用料も無料であるため、利潤を求める民間企業は参入しにくいと考えられる。

一方、指定管理者は、平成 25 年度に策定した公益目的支出計画に基づき、移行時の公益目的財産額を毎年 1,000 千円～2,000 千円費消していく必要があるため、他の団体よりも廉価で指定管理業務を行うことができる。また、指定管理者は、長期間指定管理業務を請け負うことで効果的かつ効率的に業務を遂行するノウハウを蓄積しており、これまで重大なクレームやトラブルは発生していない。その他、当施設は機械を使った丁寧な芝生管理が必要になるが、管理用の機械は隣接する羽根ピースフル公園（婦中地域都市公園等）に配置されているため、婦中地域都市公園等の指定管理者である婦中公園緑地管理公社が当施設の指定管理業務を請け負うことは合理的である。

このように、指定管理者が当施設の指定管理業務を担当することには相応の合理性が認められる。一方で、下記「(2)エ．指定管理業務の検討結果」に記載のとおり、指定管理者は指定管理業務の収支がゼロになるように年度報告書をしていた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧や施設所管課への質問を実施した結果、指定管理料を決定する際に、指定管理業務の収支実績の確認が行われていなかった。また、当施設は非常に小規模であり、単独の募集単位とする必要性について課題が認識された。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 78【指摘 3】 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 3）を識別している。 |
| 指定管理者は、指定管理業務の収支差額を常にゼロとして報告していた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧等を実施した結果、指定管理料の根拠となる事業計画と過去実績との比較検討が行われていなかった。<br>施設所管課においては、指定管理料を決定する際に事業計画と過去実績との比較や過去実績の内容検討を行う必要がある。当該検討の結果、過去実績やそれを基に作成された事業計画に不自然な点がある場合（過去に多額の収支差額が発生している、過去の収支差額が常にゼロである等）は、その原因に応じて適宜指定管理者に事業計画の見直しを指示し、指定管理料に重大な過不足が生じないようにする必要がある。 | |
| 79【意見 36】 | 募集単位の見直し |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は非常に小規模であり、指定管理候補者選定に係る事務負担等を勘案すると単独の募集単位とする意義が乏しいと考えられる。この点、当施設は機能的、場所的に指定管理者が管理している婦中地域都市公園等と一体性が認められる（当施設は、婦中地域都市公園等に含まれる羽根ピースフル公園と隣接している。また、婦中地域都市公園等に含まれる神通川緑地公園にはパークゴルフ場が設置されている）。<br>施設所管課においては、今後の施設運営方針も踏まえて、当施設を婦中地域都市公園等と同 | |

| |
|---|
| 一の募集単位に統合すべきかどうか検討することが望まれる。なお、当施設と婦中地域都市公園等とは施設所管課が異なっているが、これについては大沢野地域施設が同様の状態となっているため、事務面などについて参考にされたい。 |

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料と人件費補助金である。なお、指定管理者は当施設で自主事業を行っていない。

指定管理者の主な支出は、人件費である。指定管理者は、期間雇用職員 7 人と常勤職員 3 人(うち 1 人は公園管理業務と兼務)で指定管理業務と法人管理業務を行っており、これら 10 人分の人件費を指定管理者制度導入時（平成 18 年）に定めた予算比率に基づいて各指定管理施設に按分している。按分計算結果を確認したが、職員の稼働実績と比較して著しい乖離は認められなかった。また、指定管理者は、上記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」に記載の通り低コストで必要十分なサービスを提供しており、指定管理業務自体について重大な問題は発見されなかった。一方で、指定管理者は指定管理業務の収支がゼロになるように年度報告書を作成していた。また、民間事業者が指定管理者となっている富山市パークゴルフ場では活発な自主事業が展開されているが、当施設では自主事業が一切行われていなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 80【指摘 9】 | 収支差額がゼロとなる原因の検討 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |

指定管理者は、指定管理業務の赤字を自身の負担とすることで指定管理業務の収支差額を常にゼロで報告していた。

施設所管課においては、年度報告書で収支差額が継続的にゼロになっている場合はその理由を検討する必要がある。また、検討の結果、指定管理業務の実施状況や報告内容に問題が認められる場合は、以下のような対応をとる必要がある。

- 指定管理料が妥当な水準になるよう見直す
- 指定管理者に業務範囲や業務内容の見直しを指示する（例：施設の機能維持や利用者満足度の向上のため必要な修繕を実施させる、施設の利用促進のためイベントや広告宣伝を増加させる等）
- 報告内容に誤りがある場合は修正を指導する

| | |
|---|---|
| 81【意見 4】 | 自主事業の拡充 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的 |

| | |
|---|---|
| | 運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（意見 4）を識別している。 |
| 指定管理者は、当施設で自主事業を一切行っていない。この点、当施設は相応の利用者数がいるため、自主事業を展開することで利用者満足度の向上や将来的な指定管理料の削減が期待できる。<br>施設所管課においては、他のパークゴルフ場の自主事業事例を調査し、その結果を踏まえて自主事業の拡充策を指定管理者と協議することが望まれる。なお、民間事業者が指定管理者となっている富山市パークゴルフ場では以下のように活発に自主事業が実施されているため、参考にされたい。<br>・用具及びソフトアイスの販売　・スポンサー杯の誘致　・年間会員交流大会の実施<br>・パークの日大会の実施　・ファミリーパークゴルフ大会の開催<br>・初心者向けパークゴルフ教室　　・パークゴルフ交流大会の実施 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## １７． 婦中地域都市公園及び地域広場

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 婦中地域都市公園(※2)： ※1<br>婦中バードヒル音川地域広場（※2)： 富山市婦中町外輪野 896 番地 2<br>※1：旧婦中町内に所在する 107 の都市公園であり住所の記載は省略する。<br>※2：以下、「婦中地域都市公園等」という。 |
| 所管部署 | 土木事務所建設課 |
| 関連条例等 | 婦中地域都市公園： 富山市都市公園条例及び同条例施行規則<br>婦中バードヒル音川地域広場： 富山市地域広場条例及び同条例施行規則 |
| 条例に定める施設の目的 | 婦中地域都市公園： 都市公園として、災害防止、風致の享受、市民の休息等の用に供する<br>婦中バードヒル音川地域広場： 地域住民に活動の拠点と憩いの場を提供する |
| 施設の主な建物の概要 | 都市公園に設置されている小規模な管理事務所や便所であり、記載は省略する。 |
| 営業期間 | 休業日： 都市公園及び広場であり常時利用可能<br>開業時間： 都市公園及び広場であり常時利用可能 |
| 公共施設マネジメント方針 | ＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「公園」については、現状のまま維持することを基本としつつ、社会情勢の変化や必要性を考慮したうえで、機能や配置の再編について検討するとともに、公園施設の計画的な管理を推進するため長寿命化の方針を定める。特に、避難場所として利用されることを考慮し、公園内に設置されている施設について適切な点検及び維持管理による安全確保を図る。また、指定管理者制度に基づいた業務の進捗管理や指定管理料の見直し等、維持管理・運営の改善や効率化を進めるとともに、公募設置管理制度（Park-PFI）により民間の視点を取り入れながら魅力的な公園づくりを進める。<br>その他、街区公園については、市民や地域団体等による清掃や除草等、市民との協働による施設管理を今後も継続していくとともに、地域でより利用しやすく管理しやすい施設となるよう努めていく。 |
| | ＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | (一財)婦中公園緑地管理公社<br>所在地： 富山市婦中町羽根 1000 番 1 |

<table>
<tr><td></td><td>代表者：　川越　直樹<br>事業概要：　富山市の設置する都市公園施設、地域広場施設、その他広場施設、自然公園施設、街路樹、その他緑地の維持管理と運営業務<br>富山市との関係：　外郭団体</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>15,026</td><td>15,026</td><td>15,026</td><td>15,026</td><td>15,026</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数 1 者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円
<table>
<tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>4,000</td><td>4,000</td><td>4,000</td><td>4,000</td><td>4,000</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では「該当無し」となっている。</td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>● 冬季、使用実績がない水道を休止することで水道料金等の減額を図る<br>● 外灯を修繕する場合 LED 化し電気代の減額及び器具の長寿命化を図る<br>● 刈草、狩り芝の乾燥による減量化後の処分委託により経費削減を図る</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 婦中地域都市公園等 | 無料 | 1 | ※1 | ※1 | ※1 | ※1 | ※1 |

＜補足コメント＞

※1　婦中地域都市公園等の利用者数について

旧婦中町に所在する 107 の都市公園と 1 つの地域広場である。何れも時間帯を問わず無料で利用可能であるため、利用者数の集計は行っていない。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | 137 | 137 | 140 | 140 | 140 |
| その他歳入 | | 45 | 10 | 8 | 44 | 1 |
| **a.歳入実績合計** | | **183** | **148** | **149** | **184** | **141** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 14,743 | 14,743 | 14,875 | 15,022 | 15,026 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 15,867 | 14,965 | 18,949 | 19,551 | 19,599 |
| **b.歳出実績合計** | | **30,610** | **29,708** | **33,824** | **34,573** | **34,625** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲30,426** | **▲29,559** | **▲33,674** | **▲34,388** | **▲34,483** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲30,472** | **▲29,570** | **▲33,686** | **▲34,432** | **▲34,484** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **45** | **10** | **11** | **43** | **1** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設は使用料金が無料であり該当無し。

※2　目的外使用料について

令和 3 年度の主な内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料 5 千円」及び「電柱占用料 134 千円」である。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を上回っていたため、精算条項に基づく返金は行われていない。

※4　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 14,743 | 14,743 | 14,875 | 15,022 | 15,026 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 補助金収入(富山市) | 2 | 15,867 | 14,965 | 18,949 | 19,551 | 19,599 |
| **a.収入合計** | | **30,610** | **29,708** | **33,824** | **34,573** | **34,625** |
| 人件費 | 3 | 15,867 | 14,965 | 18,949 | 19,551 | 19,599 |
| 光熱水費 | | 2,828 | 3,059 | 2,765 | 2,902 | 2,921 |
| 修繕料 | 4 | 3,983 | 3,830 | 3,777 | 3,785 | 4,037 |
| 委託料 | 5 | 2,796 | 2,766 | 3,000 | 3,016 | 2,970 |
| その他管理費 | | 5,136 | 5,088 | 5,333 | 5,319 | 5,098 |
| **b.支出合計** | | **30,610** | **29,708** | **33,824** | **34,573** | **34,625** |
| **c.収支差額（a-b）** | **6** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲30,610** | **▲29,708** | **▲33,824** | **▲34,573** | **▲34,625** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

補助金と職員人件費とは整合的であり重大な問題は認められない。

※3　人件費について

指定管理者は、期間雇用職員 7 人と常勤職員 3 人(うち 1 人は公園管理業務と兼務)で富山市の公の施設（婦中地域都市公園等、婦中パークゴルフ場及び婦中ふるさと創生館）の指定管理業務と法人管理業務を行っており、これら 10 人分の人件費を指定管理開始時（平成 18 年）に定めた予算額比率に基づいて 3 施設に按分している。期間雇用職員は、3～12 月の平日 8 時 30 分～17 時 15 分のみ勤務し、公園の遊具、芝生、樹木等の維持管理業務を行っている。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝婦中地域都市公園等、婦中パークゴルフ場及び婦中ふるさと創生館の人件費合計 21,088 千円÷職員数 10 人）は 2,108 千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

※4　修繕料について

令和 3 年度の主な内訳は、「鵜坂団地公園外 2 防護柵修繕 368 千円」、「婦中かたかご台公園複合遊具修繕 286 千円」、「羽根ピースフル公園街路灯修繕 384 千円」等である。

※5　委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「剪定枝葉処理委託 1,816 千円」、「芝草刈草処分委託 935 千円」等である。

※6　収支差額について

当指定管理者は、富山市の公の施設（婦中地域都市公園等、婦中パークゴルフ場及び婦中ふるさと創生館）の指定管理業務のみを実施している。

収支差額が生じていない理由を当指定管理者に質問した結果、「従来から指定管理年度報告の実績額は指定管理候補者選定時の事業計画と一致するように作成しており、当団体の実際の収支は 1,000～2,000 千円程度の赤字が続いている。赤字が続いている理由は、平成 25 年度に一般財団法人に移行した際に策定した公益目的支出計画で、移行時の公益目的財産額 52,807 千円を 58 年かけて公益目的で費消することを定めているからである」との回答を得た。

なお、当指定管理者の決算書を確認した結果、一般正味財産増減額は過去から継続して 1,000～2,000 千円程度の赤字になっており、施設経費を水増しして指定管理料を過大に請求する等の問題は認められなかった。

**（2） 監査手続の実施結果と発見事項**

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、旧婦中町内に所在する 107 の都市公園と地域広場を、事務効率化を目的として一つの募集単位に集約したものである。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、公園については、現状のまま維持することを基本としつつ、社会情勢の変化や必要性を考慮したうえで機能や配置の再編、長寿命化等を行う方針が示されている。

都市公園は、富山市都市公園条例等に基づき設置された公園であり、設置目的、誘致距離、敷地面積等に応じて街区公園、近隣公園、地区公園等に区分される。また、地域広場は、富山市地域広場条例等に基づき設置された広場であり、都市計画区域外において富山市が所有する土地を地域住民の活動や憩いの場として整備したものである。当施設は、旧婦中町内に存在する 103 か所の街区公園（敷地面積合計 94,156 ㎡）、2 か所の近隣公園（同 13,393 ㎡）、1 か所の地区公園（同 47,342 ㎡）、1 か所の緑地（同 30,455 ㎡）、1 か所の地域広場（同 890 ㎡）であるが、このうち緑地は、富山市が国から神通川の河川敷の使用許可を得てそれを婦中パークゴルフ協会に占有許可し、パークゴルフ場として整備したものである。当施設は、何れも時間帯を問わず無料で利用可能であるため、利用者数の集計は行っていない。

都市公園等は、災害防止、風致の享受、市民の休息等の役割を担っているため、原則として存在意義が認められる。一方で、都市公園等は用途変更や用途廃止されることが殆ど無く、また、一定規模以上の開発行為が行われる場合は、都市計画法施行令第 25 条に基づき、開発区域内に公園、緑地又は広場を設けなければならないため、その数は増加していく傾向にある。都市公園等は管理を怠ると急激に劣化するため相応の維持管理コストが必要になるが、利用実態を把握しにくいため費用対効果の面で必要性に疑義が生じているものが存在している可能性がある。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 82【意見 33】 | 都市公園等に係る再編整備方針 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 富山市は、公共的建築物が設置されている公の施設については「公共施設等総合管理計画」や「第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編)」を策定して再編整備方針を明示しているが、都市公園等については具体的な再編整備方針を検討していない。都市公園等は管理が滞ると急激に劣化するため相応の維持管理コストが必要になるが、利用実態を把握しにくいため費用対効果の面で必要性に疑義が生じているものが存在している可能性がある。<br>施設所管課においては、都市公園等の統廃合に係る他自治体の取組事例を研究したうえで、適正配置や用途別の利用方針、管理手法等を整理し、マネジメントアクションプランとして具体化することが望まれる。 | |

イ. 富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ. 富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の歳入は、施設の使用料金が無料であるため発生していない。なお、神通川緑地公園に設置されているパークゴルフ場は、当初の設立趣旨が福祉目的であったため使用料金が無料になっている。

富山市の歳出は、指定管理料と人件費補助金である。指定管理料と人件費補助金は、下記「(2)ウ. 指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ. 指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ. 指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア. 施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は 1 者のみであり、外郭団体である婦中公園緑地管理公社が指定管理者に選定されている。指定管理者は、旧婦中町時代から緑地や公園の管理を請け負っており、現在は富山市の公の施設（婦中地域都市公園等、婦中パーク

ゴルフ場及び婦中ふるさと創生館）の指定管理業務のみを実施している。

富山市は、公園管理については地元町内会等を主体とする公園愛護会の組成を奨励している。公園愛護会は、年１回富山市から報奨金を受領して草刈り等の日常的な公園管理業務を実施しており、公園愛護会が対応困難な遊具の修理や高木剪定は、都度施設所管課が民間業者に業務委託している。一方で、旧婦中町地域と旧八尾町地域の都市公園等については、過去の経緯から外郭団体が指定管理者となり公園愛護会が対応困難な遊具の修理や高木剪定等を行っている。

当施設は施設使用料が無料であり、自主事業を行う余地も小さいため、利潤を求める民間企業は参入しにくいと考えられる。また、昨今では高齢化により公園管理技術者が減少しており、当施設の指定管理業務を行える業者は限られてきている。一方、指定管理者は、平成 25 年度に策定した公益目的支出計画に基づき、移行時の公益目的財産額を毎年 1,000 千円～2,000 千円費消していく必要があるため、他の団体よりも廉価で指定管理業務を行うことができる。また、指定管理者は、長期間指定管理業務を請け負うことで効果的かつ効率的に業務を遂行するノウハウを蓄積しており、これまで重大なクレームやトラブルは発生していない。

このように、指定管理者が当施設の指定管理業務を担当することには合理性が認められる。一方で、富山市は、旧大沢野町地域、旧婦中町地域及び旧八尾町地域の都市公園等のみを指定管理施設としており、それ以外の地域の都市公園等と管理方法が異なっている。また、下記「(2)エ. 指定管理業務の検討結果」に記載のとおり、指定管理者は指定管理業務の収支がゼロになるように年度報告書をしていた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧や施設所管課への質問を実施した結果、指定管理料を決定する際に、指定管理業務の収支実績の確認が行われていなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 83【意見 37】 | 婦中公園緑地管理公社の役割の拡大 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 富山市は、旧大沢野町地域、旧婦中町地域及び旧八尾町地域の都市公園等を指定管理施設としており、それ以外の地域では必要に応じて民間に管理業務を委託している。この点、昨今では高齢化により公園管理を委託できる民間業者は限られてきているが、婦中公園緑地管理公社は、公園管理に関する豊富なノウハウと財務的余力を有しており、高品質なサービスを廉価で提供できる。<br>施設所管課においては、本庁の公園緑地課と連携しながら婦中公園緑地管理公社の業務拡大の可能性を検討することが望まれる。例えば、同社にプロパー職員の採用を許可し現場の体制を強化するとともに、スケールメリットを生かすため他の地域の公園管理業務を同社に集約していくことが考えられる。また、その過程で従来個別に業務委託していた都市公園等についても、指定管理施設に変更した場合の効果を検討し、経費削減や業務効率化が見込まれる場合は指定管理施設に変更することが考えられる。これにより、委託に係る個々の入札業務が無くなるため、施設所管課の事務負担は大きく軽減される可能性がある。 | |
| 84【指摘 3】 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的 |

| | |
|---|---|
| | 運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 3）を識別している。 |
| 指定管理者は、指定管理業務の収支差額を常にゼロとして報告していた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧等を実施した結果、指定管理料の根拠となる事業計画と過去実績との比較検討が行われていなかった。<br>施設所管課においては、指定管理料を決定する際に事業計画と過去実績との比較や過去実績の内容検討を行う必要がある。当該検討の結果、過去実績やそれを基に作成された事業計画に不自然な点がある場合（過去に多額の収支差額が発生している、過去の収支差額が常にゼロである等）は、その原因に応じて適宜指定管理者に事業計画の見直しを指示し、指定管理料に重大な過不足が生じないようにする必要がある。 | |

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料と人件費補助金である。なお、指定管理者は当施設で自主事業を行っていない。

指定管理者の主な支出は、人件費である。指定管理者は、期間雇用職員 7 人と常勤職員 3 人(うち 1 人は公園管理業務と兼務)で指定管理業務と法人管理業務を行っており、これら 10 人分の人件費を指定管理者制度導入時（平成 18 年）に定めた予算比率に基づいて各指定管理施設に按分している。按分計算結果を確認したが、職員の稼働実績と比較して著しい乖離は認められなかった。期間雇用職員は、公園管理が必要な 3～12 月の平日 8 時 30 分～17 時 15 分にのみ勤務しており、施設の利用状況に応じた働き方を実現することで人件費を最適化している。また、指定管理者は、上記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」に記載の通り低コストで必要十分なサービスを提供しており、指定管理業務自体について重大な問題は発見されなかった。一方で、指定管理者は指定管理業務の収支がゼロになるように年度報告書を作成していた。また、民間事業者が指定管理者となっている富山市パークゴルフ場では活発な自主事業が展開されているが、当施設に含まれる神通川緑地公園パークゴルフ場では自主事業が一切行われていなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 85【指摘 9】 | 収支差額がゼロとなる原因の検討 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |
| 指定管理者は、指定管理業務の赤字を自身の負担とすることで指定管理業務の収支差額を常 | |

にゼロで報告していた。

施設所管課においては、年度報告書で収支差額が継続的にゼロになっている場合はその理由を検討する必要がある。また、検討の結果、指定管理業務の実施状況や報告内容に問題が認められる場合は、以下のような対応をとる必要がある。

- 指定管理料が妥当な水準になるよう見直す
- 指定管理者に業務範囲や業務内容の見直しを指示する（例：施設の機能維持や利用者満足度の向上のため必要な修繕を実施させる、施設の利用促進のためイベントや広告宣伝を増加させる等）
- 報告内容に誤りがある場合は修正を指導する

| 86【意見 4】 | 自主事業の拡充 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（意見 4）を識別している。 |

指定管理者は、当施設に含まれる神通川緑地公園パークゴルフ場で自主事業を一切行っていない。この点、神通川緑地公園パークゴルフ場は令和 3 年度の利用者数が 10,699 人と活発に利用されているため、自主事業を展開することで利用者満足度の向上や将来的な指定管理料を削減が期待できる。

施設所管課においては、他のパークゴルフ場の自主事業事例を調査し、その結果を踏まえて自主事業の拡充策を指定管理者と協議することが望まれる。なお、民間事業者が指定管理者となっている富山市パークゴルフ場では以下のように活発に自主事業が実施されているため、参考にされたい。

・用具及びソフトアイスの販売　・スポンサー杯の誘致　・年間会員交流大会の実施
・パークの日大会の実施　・ファミリーパークゴルフ大会の開催
・初心者向けパークゴルフ教室　・パークゴルフ交流大会の実施

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## １８． 新産業支援センター

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市下野 16 番地</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>工業政策課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市新産業支援センター条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>新たな産業分野において、事業を営もうとする者及び技術又は商品の開発又は研究を行う者を支援し、もって地域経済の発展に寄与する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積<br>（㎡）</th><th>建設費<br>（千円）</th></tr>
<tr><td>新産業支援センター</td><td>H18</td><td>38</td><td>23</td><td>2016.18</td><td>502,834</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>営業期間</td><td>休館日：　12 月 29 日～1 月 3 日、祝日<br>開館時間：　職員配置時間は 8:30～17:30。ただし、レンタルラボは 24 時間利用可能。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「産業系施設」については、利用率の低い施設は改善を行いつつ、現在の社会環境から見たニーズに合わせた施設の普及促進を検討し、維持管理する。設置当初との社会環境の変化から時代のニーズに合わなくなった施設は更新を行わないこととする。<br>また、富山市の産業振興に資するため、今後も富山市が保有していく施設については、長期的な改修計画を策定するとともに、利用者の安全性と利便性等を考慮し適切な施設改修・設備更新を実施する。<br>その他、利用者の利便性向上及び収益性の向上に向け、運営体制の見直しを検討する。</td></tr>
<tr><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

<table>
<tr><td>指定管理者</td><td>国立大学法人富山大学<br>所在地：　富山市五福 3190 番地<br>代表者：　齋藤　滋<br>事業概要：　国立大学法人<br>富山市との関係：　特記事項無し</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 創業及び経営に関する相談、助言に関する業務<br>● 施設の供用に関する業務</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>
● 研修室の使用の承認に関する業務<br>
● 使用料の徴収に関する業務<br>
● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務
</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 1 年度～令和 5 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>
各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（平成 30 年度締結の基本協定書）<br>
単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>20,083</td><td>20,267</td><td>20,267</td><td>20,267</td><td>20,267</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>非公募（民間の所有する施設の一部を市が賃借し公の施設としているもので、所有者が施設全体を一体的に管理したほうが合理的かつ効率的であるため）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>
● レンタルラボ等の鍵等の取替え又は附帯設備の部品交換等の簡易なもの、経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>
● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>
単位：千円
<table>
<tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr>
<tr><td>500</td><td>500</td><td>500</td><td>500</td><td>500</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者が外郭団体以外であるため）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>
指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>経営支援セミナー</td><td>施設入居者、起業家、学生等を対象に年 1 回富山大学又は学外の講師を招聘し、経営や起業家に役立つような有用な情報を提供する</td><td>参加人数 40 人。大学講師の場合は経費不要。学外招聘の場合は産学連携推進センターのインキュベーション事業として実施</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>
指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>
● 富山大学産学連携推進センターと連携して「インキュベータ交流事業」等のイベントや「各種セミナー」を開催し、起業家支援及び新事業の創出・新産業の創造支援を積極的に行う<br>
● HP やパンフレットで当施設の PR を行い、施設の目的や事業内容を周知して利用を促進する<br>
● ビジネス・インキュベーション・コーディネーターの業務委託について週当たりの勤務日数の増加を図り、入居者へのサービス向上を図る<br>
● 富山市と定期的に利用者増加の方法について意見交換を行う
</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

| 種別 | 条例に定める使用料 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| レンタルラボ | 1室71,940円<br>～144,100円/月<br>(全16室) | 1 | 13室<br>(11社) | 15室<br>(12社) | 12室<br>(11社) | 14室<br>(12社) | 15室<br>(13社) |
| クリーンルーム | 1室195,580円/月<br>(全1室) | 2 | － | － | 1室 | 1室 | 1室 |
| プレゼンテーションルーム | 無料 | 3 | 90件 | 195件 | 180件 | 163件 | 154件 |
| 3F商談室 | 無料 | 4 | 70件 | 93件 | 57件 | 147件 | 155件 |
| 4F商談室 | 無料 | 4 | 240件 | 249件 | 167件 | 142件 | 108件 |
| 研修室 | 利用時間帯に応じて2,200円～2,750円で設定されている | 5 | 44件 | 61件 | 42件 | 45件 | 27件 |

＜補足コメント＞

※1　レンタルラボの利用について

医薬バイオやナノテク等に適した試作開発・化学実験タイプと、IT系に適したOAフロアタイプがある。見本市やHPでの宣伝により知名度が向上しており、利用室数は増加傾向にある。

※2　クリーンルームの利用について

エアシャワー設備を備えた無菌室であり、令和1年度以降は継続的に利用されている。

※3　プレゼンテーションルームの利用について

プロジェクター投影に対応したホワイトボードが設置されており、10名程度のプレゼンテーションに利用できる。入居者のみ利用可能であり使用料は無料である。

※4　商談室の利用について

3階と4階に1部屋ずつ存在し、6名程度を対象とした商談や打合せ等に利用できる。入居者のみ利用可能であり使用料は無料である。

※5　研修室の利用について

大型スクリーンに音響設備を設置しており、50名程度の講演会や展示会等に利用できる。入居者以外も利用可能となっている。

令和3年度は、コロナ禍によりオンラインの講演会等が増加したため、利用件数が減少している。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 8,469 | 11,133 | 14,679 | 15,382 | 16,638 |
| **a.歳入実績合計** | | **8,469** | **11,133** | **14,679** | **15,382** | **16,638** |
| 委託料（指定管理料） | 2 | 19,899 | 19,899 | 20,083 | 21,697 | 20,267 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **b.歳出実績合計** | | **19,899** | **19,899** | **20,083** | **21,697** | **20,267** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲11,429** | **▲8,765** | **▲5,403** | **▲6,314** | **▲3,628** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額(歳入-歳出)** | | **▲9,515** | **▲11,475** | **▲8,271** | **▲6,555** | **▲4,484** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **▲1,914** | **2,709** | **2,867** | **240** | **855** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

主な内訳は、レンタルラボやクリーンルームの使用料であり、利用が増加しているため発生額が増加している。利用状況の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

入居者数の増加と比較して施設使用料の増加が大きいが、これは家賃の高い部屋への入居が増えたことや消費税増税の影響によるものである。令和 3 年度の施設使用料について、各月各部屋の使用料を集計した資料との整合性を確認した。

なお、レンタルラボ等の使用料については、市長が特に必要と認めるとき以外にも、学校教育法第 1 条に規定する高等専門学校及び大学研究者及び学生が使用するときは使用料が 50%減免される。指定管理者への質問及び「富山市新産業支援センター使用承認書」を確認し、使用料の減免が所定の手続を経て適切に実施されていることを確認した。

※2　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 19,899 | 19,899 | 20,083 | 20,267 | 20,267 |
| **a.収入合計** | | **19,899** | **19,899** | **20,083** | **20,267** | **20.267** |
| 人件費 | 2 | 6,634 | 6,635 | 6,665 | 6,497 | 6,469 |
| 業務委託料 | 3 | 2,447 | 3,064 | 2,819 | 2,739 | 2,718 |
| 消耗品費 | 4 | 2,143 | 2,357 | 1,641 | 1,483 | 1,149 |
| 光熱水費 | 5 | 803 | 862 | 832 | 789 | 704 |
| 修繕料 | 6 | 1,919 | 1,301 | 1,221 | 2,805 | 2,371 |
| コーディネータ業務委託経費 | 7 | 3,029 | 2,970 | 3,683 | 3,769 | 3,795 |
| インキュベータ交流事業経費 | 8 | 1,005 | 1,504 | 1,488 | 1,047 | 1,775 |
| その他の支出 | | 1,919 | 1,206 | 1,734 | 1,138 | 1,286 |
| **b.支出合計** | | **19,899** | **19,899** | **20,083** | **20,267** | **20,267** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | **9** | **▲19,899** | **▲19,899** | **▲20,083** | **▲20,267** | **▲20,267** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　人件費について

当施設で勤務している非常勤職員（フルタイム）2 人の人件費である。

単位：人

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 再雇用職員 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 契約職員 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 合計 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |

なお、指定管理者は、当施設に本社管理費を配賦していない。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 3,234 千円であり、非常勤職員であることを勘案すると大きな問題は認められない。

※3　業務委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「建物清掃業務委託料 702 千円」、「昇降機設備保全業務委託料 445 千円」等である。

※4　消耗品費について

減少傾向にあるが、特殊な要因は無く日常的な経費削減努力によるものである。

※5　光熱水費について

令和 3 年度の内訳は、「電気料（低圧契約）646 千円」、「上下水道料 57 千円」である。電気料金は上昇傾向にあるが、施設内の LED 化や時間センサーの設置により電気料の削減に取り組んでおり、光熱水費全体として減少傾向にある。

※6　修繕料について

令和 2 年度以降は、施設の経年劣化に伴う雨漏り補修により発生額が増加した。

※7　コーディネータ業務委託経費について

主な内訳は、「入居者に各種経営助言を行う専門家への委託料」、「外部セミナー講師への謝金」等である。当施設の知名度向上に伴いコーディネータへの業務委託が増加傾向にあり、発生額が増加している。

※8　インキュベータ交流事業経費について

主な内訳は、「年 1 回開催のビジネスアイデアコンテスト開催業務委託」等ある。

令和 3 年度は、コロナ禍を踏まえ配信業務を外部委託したため発生額が増加している。

※9　収支差額について

当施設の指定管理業務は毎期若干の赤字となっているが、赤字相当額について富山大学学術研究・産学連携補本部の運営費予算から補填を受けているため、当該補填額を関連支出から減額することで収支差額がゼロになっている（令和 3 年度は 35 千円の赤字であったため、補填額について修繕料から 35 千円減額している）。

### （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、平成 18 年に、医薬バイオ、IT、ナノテク、環境など、今後成長が期待される新産業を育成するため、研究開発型ベンチャーや創業者、新たな事業化を目指す企業等を支援する目的で富山大学内に開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

当施設は、富山大学の研究者等を中心に活発に利用されており、知名度の向上に伴ってレンタルラボの入居者数が増加傾向にある。そのため、富山市の施設使用料収入も増加傾向にあり、富山市の財政負担は縮小している。また、当施設ではコーディネータによる無料相談、外部専門家の斡旋、ビジネスアイデアコンテストや各種勉強会の主催など、施設の設置目的に沿った活動が行われている。

そのため、施設のあり方や存在意義について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料である。施設使用料については、入居者数の増加に伴って増加傾向にある。また、施設使用料の減免は、学校教育法第 1 条に規定する高等専門学校及び大学研究者及び学生が使用する場合（減免率 50%）等で発生しているが、関連資料を査閲した結果、減免の水準や内容に問題は発見されなかった。

富山市の主な歳出は、指定管理料である。指定管理料は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては

「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、建物の所有者である富山大学が非公募で指定管理者に選定されている。富山市は、「民間の所有する施設の一部を市が賃借し公の施設としているもので、所有者が施設全体を一体的に管理したほうが合理的かつ効率的である」と判断し、継続して富山大学を指定管理者に選定している。この点、建物の一部を指定管理施設とする場合、建物の所有者を指定管理者とすることは施設管理業務の効率性、有効性の観点から合理的である。また、レンタルラボの入居者は富山大学の機器分析室を使用できるなど、当施設と富山大学は実質一体として機能している。加えて、当施設の利用者は大学関係者が多くなっており、富山大学が指定管理者となることで利用者ニーズに迅速かつ柔軟に対応することができる。

このように、富山大学が非公募で指定管理者に選定されることには相応の合理性が認められる。一方で、下記「(2)エ．指定管理業務の検討結果」に記載のとおり、指定管理者は指定管理業務の赤字を自身の負担とすることで指定管理業務の収支がゼロになるように調整していた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧や施設所管課への質問を実施した結果、指定管理料を決定する際に、指定管理業務の収支実績の確認が行われていなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 87【指摘 3】 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 3）を識別している。 |
| 指定管理者は、指定管理業務の赤字を自身の負担とすることで指定管理業務の収支差額を常にゼロとして報告していた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧等を実施した結果、指定管理料の根拠となる事業計画と過去実績との比較検討が行われていなかった。<br>施設所管課においては、指定管理料を決定する際に事業計画と過去実績との比較や過去実績の内容検討を行う必要がある。当該検討の結果、過去実績やそれを基に作成された事業計画に不自然な点がある場合（過去に多額の収支差額が発生している、過去の収支差額が常にゼロである等）は、その原因に応じて適宜指定管理者に事業計画の見直しを指示し、指定管理料に重大な過不足が生じないようにする必要がある。 | |

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料である。指定管理者は指定管理業務の範囲内で創業支援や経営支援を行っており、施設の目的や自身の強みを生かした業務を実施している。

指定管理者の主な支出は、人件費である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。また、指定管理者は、継続的に経費削減の努力を行っており、消耗品費や光熱水費について減少傾向が認められた。その他の経費についても、指定管理者が施設の機能を維持し、利用者に有用なサービスを提供するうえで必要十分なものと評価できた。

このように、指定管理者は自身の強みを生かした施設運営を行っているが、一方で、指定管理者は指定管理業務の赤字を自身の負担とすることで指定管理業務の収支がゼロになるように調整していた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 88【指摘 9】 | 収支差額がゼロとなる原因の検討 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |

指定管理者は、指定管理業務の赤字を自身の負担とすることで指定管理業務の収支差額を常にゼロで報告していた。

施設所管課においては、年度報告書で収支差額が継続的にゼロになっている場合はその理由を検討する必要がある。また、検討の結果、指定管理業務の実施状況や報告内容に問題が認められる場合は、以下のような対応をとる必要がある。

- 指定管理料が妥当な水準になるよう見直す
- 指定管理者に業務範囲や業務内容の見直しを指示する（例：施設の機能維持や利用者満足度の向上のため必要な修繕を実施させる、施設の利用促進のためイベントや広告宣伝を増加させる等）
- 報告内容に誤りがある場合は修正を指導する

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## １９．牛岳温泉健康センター

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 富山市山田赤目谷 31 番地 28 |
| 所管部署 | 観光政策課 |
| 関連条例等 | 富山市牛岳温泉健康センター条例及び同条例施行規則 |
| 条例に定める施設の目的 | 富山市牛岳温泉スキー場周辺の豊かな自然環境を通じて、市民の健全な余暇活動の推進及び観光の進行を図る |
| 施設の主な建物の概要 | <table><tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積（㎡）</th><th>建設費（千円）</th></tr><tr><td>牛岳温泉</td><td>H2</td><td>47</td><td>16</td><td>2,332.35</td><td rowspan="2">743,643</td></tr><tr><td>不老閣</td><td>H1</td><td>22</td><td>0</td><td>568.56</td></tr></table> |
| 開館期間 | 休館日：　条例で定められた休館日は無いが、指定管理者が個別に申請して毎週火曜日を休館日としている<br>開館時間：　10:00～21:00 |
| 公共施設マネジメント方針 | ＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「レクリエーション・観光施設」のうち「宿泊・入浴施設」については、民間への事業移管が困難なものは廃止する。廃止の際には民間類似施設の利用補助を行う等の代替手段を検討する。<br>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象となっており、機能維持の方針は「継続」となっている。また、機能の提供形態は「提供主体変更」、「廃止・休止」が検討されており、整備手法は「修繕」、「長寿命化（大規模改修)」、「利活用」、「譲渡」、「解体」が検討されている。その他、補足説明で「周辺施設との一体的な管理運営を検討する」とのコメントがある。 |
| その他 | 当施設は、特別会計「牛岳温泉健康センター事業」の対象となっている。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | ㈱石橋<br>所在地：　富山市草島 15-14<br>代表者：　石橋　隆二<br>事業概要：　環境管理、ビルメンテナンス、指定管理者事業等<br>富山市との関係：　特記事項無し |
| 指定管理業務の概要 | ● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務 |
| 指定期間 | 3 年間（令和 3 年度～令和 5 年度） |

<table>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和2年度締結の基本協定書）<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>47,669</td><td>47,669</td><td>47,669</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>非公募（公募の結果、申請者がいなかったため）</td></tr>
<tr><td>利用料の帰属</td><td>指定管理者（利用料金制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費が1件当たり500千円未満のもの、又は年度合計額が以下の金額未満の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円
<table>
<tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr>
<tr><td>1,300</td><td>1,300</td><td>1,300</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者が外郭団体以外であるため）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>ボランティア団体によるイベント実施</td><td>市内ボランティア団体に年数回、二階レストルームで演奏等を実施してもらい自己PRの場を提供する。また、施設利用者にも催し物を楽しんでもらう</td><td>参加料は無料。また、ボランティアグループへの活動協力であるため支出は団体への交通費程度</td></tr>
<tr><td>ちょこっとおでかけバスツアー</td><td>施設利用者を対象として、夏から秋の平日に山田地域の各所を巡る小旅行を計画する</td><td>参加人数は20名、参加料は弁当代込みで1人1,000円。収入は20千円、支出は13千円を予定する</td></tr>
<tr><td>りんご風呂に入ってお食事プラン</td><td>11月中旬に山田地域の特産であるりんご風呂を楽しんでもらった後で特製の昼食とりんごデザートを満喫してもらう</td><td>参加人数は20名、参加料は弁当代込みで1人1,500円。収入は30千円、支出は18千円を見込む</td></tr>
<tr><td>そばうち体験</td><td>山田地域の特産であるそばを知ってもらうため、1～3月にそば打ち体験会を実施する</td><td>参加人数は15名、参加料は1人500円。収入は7千円、支出は5千円を見込む</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>● 経験豊かな指定管理者のスタッフが日常清掃業務を指導し、効率性や安全性を向上させる。また、定期清掃業務は経験豊富な指定管理者が実施しコスト削減に努める<br>● 売店収入のテコ入れのため、適正在庫量を意識した在庫管理を実施し在庫</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | リスクを減らすとともに、仕入業者を選別して利益率を高める。また、商品構成を調整し顧客ニーズに見合った売れる商品を配置する<br>● レストランのメニューを簡易かつ高齢者に好まれるものに変更しレストランの収支改善を図る<br>● バスの送迎について、利用者サービス維持のため現状の運行を継続するとともに、必要に応じて路線の変更や停車場所の増設を検討する |

イ．施設の利用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める利用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 利用者数<br>（利用日数） | 入浴料　1人1回730円 | 1 | 55,801<br>（312日） | 37,004<br>（313日） | 35,769<br>（317日） | 30,231<br>（271日） | 30,606<br>（278日） |

＜補足コメント＞

※1　利用者数について

平成29年度以前は、当施設に加えて近隣のささみね（宿泊施設）、牛岳温泉グリーンパレス（宿泊施設）、森のコテージ木・MAMA（宿泊施設）が指定管理対象となっており利用者数に含まれていたが、平成30年度以降は当施設のみが指定管理対象となったため、利用者数が減少している。

令和2年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（令和2年度は4月16日～5月31日、令和3年度は8月20日～9月26日）があったため利用者数が減少している。一方で、当施設は規模が大きく密になりにくいこと、人数制限をしたうえでサウナを継続していたこと等により、1日当たりの利用者数はコロナ禍前と概ね同水準となっている。足元では、近隣の牛岳温泉スキー場やオートキャンプ場の利用者に割引券を発行する等により集客を図っている。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設利用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | 48 | 26 | 26 | 27 | 28 |
| **a.歳入実績合計** | | **48** | **26** | **26** | **27** | **28** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 63,230 | 41,402 | 41,786 | 42,169 | 47,669 |
| 委託料（コロナ補助） | 3 | － | － | － | 2,188 | 2,585 |
| 委託料（その他） | | 4,487 | 1,763 | 498 | 2,337 | － |
| 修繕料 | | 594 | － | － | － | － |
| 手数料 | | 3 | 1 | 2 | 1 | 3 |
| 保険料 | | 219 | 82 | 110 | 84 | 91 |
| 使用料 | | 77 | 19 | 19 | 19 | 19 |
| 借上料 | 4 | 1,310 | 840 | 827 | 827 | 827 |
| 工事請負費 | | 2,127 | 2,754 | － | － | － |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 負担金 | | 83 | － | － | － | － |
| 公課費 | | 141 | 44 | 89 | 44 | 45 |
| **b.歳出実績合計** | | **72,275** | **46,908** | **43,335** | **47,671** | **51,241** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲72,227** | **▲46,882** | **▲43,309** | **▲47,644** | **▲51,213** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲72,909** | **▲47,940** | **▲43,324** | **▲48,325** | **▲51,251** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **682** | **1,057** | **14** | **680** | **37** |

＜補足コメント＞

※1　施設利用料について

当施設は利用料金制であり、富山市の施設利用料収入はない。

※2　目的外使用料について

内訳は「自動販売機設置に係る目的外使用料」である。なお、指定管理者は、当施設で収益を得る目的で売店を運営しているほかマッサージチェアを設置し使用料を収受しているが、それらに関して目的外使用許可申請は提出されておらず、目的外使用料の徴収も行われていない。

※3　委託料（指定管理料）及び委託料（コロナ補助）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。なお、平成29年度以前は、当施設に加えて近隣のささみね（宿泊施設）、牛岳温泉グリーンパレス（宿泊施設）、森のコテージ木・MAMA（宿泊施設）が指定管理対象となっていたが、平成30年度以降は当施設のみが指定管理対象となったため指定管理料が減少している。

その他、令和2年度は、通常の指定管理料42,169千円に加えてコロナ禍による休館補償2,188千円（休館期間は4月16日～5月31日）が支出されている。令和3年度は、通常の指定管理料47,669千円に加えてコロナ禍による休館補償2,585千円（休館期間は8月20日～9月26日）が支払われている。これらの補償金は、休館期間中の収支差額と休館期間に対応する令和1年度の収支差額との差引で計算されており、計算根拠資料を確認したが重大な問題は認められなかった。

※4　借上料について

当施設は借地上に存在するため、地権者との間で土地賃貸借契約を締結し借地料を支払っている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 63,230 | 41,402 | 41,786 | 42,169 | 47,669 |
| コロナ補助(富山市) | 1 | － | － | － | 2,188 | 2,585 |
| 施設利用料収入等 | 2 | 122,211 | 25,382 | 24,866 | 21,228 | 20,774 |
| その他の収入 | 3 | 1,651 | 907 | 808 | 2,625 | 2,333 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **a.収入合計** | | **187,092** | **67,691** | **67,460** | **68,210** | **73,361** |
| 人件費 | 4 | 59,999 | 17,522 | 17,435 | 16,246 | 16,446 |
| 光熱水費 | 5 | 45,277 | 27,572 | 23,308 | 19,643 | 23,191 |
| 燃料費 | 6 | 8,540 | 5,712 | 5,114 | 4,649 | 8,104 |
| 修繕料 | | 1,702 | 930 | 1,990 | 1,502 | 1,624 |
| 消耗品費 | | 3,483 | 1,430 | 1,409 | 1,341 | 1,411 |
| 食材原価 | | 33,395 | 5,865 | 6,916 | 4,574 | 4,845 |
| その他支出 | 7 | 29,610 | 16,072 | 15,120 | 13,629 | 13,148 |
| **b.支出合計** | | **182,006** | **75,103** | **71,292** | **61,584** | **68,769** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **5,086** | **▲7,412** | **▲3,832** | **6,626** | **4,592** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲58,144** | **▲48,814** | **▲45,618** | **▲37,731** | **▲45,662** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市）及びコロナ補助（富山市）について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　施設利用料収入等について

当施設は利用料金制であり、施設利用料は指定管理者の収入となっている。なお、平成 29 年度以前は当施設に加えて近隣のささみね（宿泊施設)、牛岳温泉グリーンパレス（宿泊施設)、森のコテージ木・MAMA（宿泊施設）が指定管理対象となっていたが、平成 30 年度以降は当施設のみが指定管理対象となったため施設利用料が減少している。

施設利用料は、利用者数の増減により変動する。利用者数の推移は上記「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照。また、指定管理者は、年度報告書で施設利用料収入と自主事業収入を区分していない。令和 3 年度の内訳は、「入湯料（施設利用料）11,953 千円」、「売店売上（自主事業収入）2,254 千円」、「飲食収入（自主事業収入）6,528 千円)、「バスタオル等のレンタル売上（自主事業収入）38 千円」である。

その他、指定管理者は販促活動の一環で「回数券の販売」、「ポイントカードの運用」、「周辺施設利用者への割引券の配布」を行っているが、「ポイントカードの運用」と「周辺施設利用者への割引券の配布」については利用料減免申請を提出していない。

※3　その他収益について

令和 2 年度以降は、雇用調整助成金等により発生額が増加している。

※4　人件費について

当施設で勤務している常勤職員 1 人、パート職員 10 人の人件費である。当施設の職員はシフト制で勤務しており、5 名体制で受付業務(1 人)、清掃・見回り業務(1 人)、調理・配膳・厨房清掃業務（3 人）等を実施している。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 1,495 千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

その他、上記※2 のとおり平成 30 年度以降は指定管理対象が減少しているため、発生額が減少している。

※5　光熱水費について

令和 3 年度の主な内訳は、「電気料（高圧契約）7,568 千円」、「上下水道料 15,193 千円」である。当施設は、施設規模が大きく全館空調になっているため、夏季の冷房用に相応の電気料が発生している。

その他、上記※2 のとおり平成 30 年度以降は指定管理対象が減少しているため、発生額が減少している。

※6　燃料費について

令和 3 年度の主な内訳は、「ガソリン代 914 千円」、「重油代 6,814 千円」である。

ガソリン代は、主に送迎バスに係るものである。送迎バスは、富山駅コース（月、木）、大沢野地区コース（水）、八尾地区コース（水）、高岡コース（金）、砺波コース（月）を一往復運航しており、28 人乗りのバスに毎回 10～20 人程度が乗車している。

重油代は、主に冬季の館内暖房に使用されている。当施設は、施設規模が大きく全館空調であるため重油代が相応に発生している。なお、源泉温度が 60℃であるため温泉の加温は不要である。

その他、上記※2 のとおり平成 30 年度以降は指定管理対象が減少しているため、発生額が減少している。

※7　その他支出について

令和 3 年度の主な内訳は、「指定管理者の本社管理費 3,600 千円」、「富山市向けの牛岳温泉源泉使用料 6,336 千円」である。

本社管理費については、計算根拠を指定管理者に質問した結果、「過去から月 300 千円の固定額を計上しており計上根拠は不明である」との回答を得た。

その他、上記※2 のとおり平成 30 年度以降は指定管理対象が減少しているため、発生額が減少している。

**（2） 監査手続の実施結果と発見事項**

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

①　監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、旧山田村が牛岳温泉スキー場周辺を一体的に開発する過程で平成 2 年に開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設を含む「宿泊・入浴施設」については、民間への事業移管が困難なものは廃止の方向で検討する方針が示されている。また、当施設については、継続を前提としつつ周辺施設との一体的な管理運営を検討し、長寿命化、提供主体変更、廃止等のあらゆる選択肢が想定されている。なお、当施設の隣地には富山市の直営施設である不老閣とささみねが存

在している。不老閣は富山県建築百選に指定されている旧玄猿楼本館を移築したものであり、宴会等で利用されていた。ささみねは、宿泊施設として泊まり込みの会議や合宿等で利用されていた。これらの施設はコロナ禍で利用が極端に減少したため、現在は休館している。

当施設は、牛岳温泉スキー場の手前に位置しており、山田地域の住民やスキー場利用客等に利用されている。なお、過去に民間温泉施設の料金水準とバランスをとるため年間利用券を廃止しており、それ以来、山田地域の住民の利用が減少傾向にある。富山市は複数の温泉施設を有するが、コロナ禍前後の各施設の利用状況等は以下のとおりである。当施設は、他の温泉施設と比べると市街地から離れた場所に所在するが、リピーターが多いためコロナ禍でも利用者数の極端な落ち込みは見られない。

＜富山市の温泉施設（いずれも利用料金制の指定管理施設）の比較＞

| 施設名称 | 施設利用者数（人） | | 指定管理料（千円） | | 利用料収入（千円） | | 指定管理料を除く施設収支差額(千円) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | R1 | R2 | R1 | R2 | R1 | R2 | R1 | R2 |
| 古洞の森 | 69,853 | 36,744 | 19,489 | 45,977 | 74,322 | 32,277 | ▲17,524 | ▲45,715 |
| 八尾ゆめの森 | 136,848 | 67,556 | 25,577 | 43,907 | 214,313 | 91,967 | ▲25,744 | ▲77,435 |
| 楽今日館 | 116,146 | 79,172 | 7,408 | 28,395 | 210,633 | 117,115 | 6,330 | ▲27,710 |
| 牛岳温泉 | 35,769 | 30,231 | 41,786 | 44,357 | 24,866 | 21,228 | ▲45,618 | ▲37,731 |

※：古洞の森と八尾ゆめの森の利用者数は、温泉施設以外の利用者数も含む

当施設は、条例で定められた休館日は無いが、市長の承認を得て毎週火曜日を休館日としている。なお、当施設は年末年始も開館しているが、年末年始は帰省客や近隣の牛岳温泉スキー場利用客で賑わっており、開館することが明らかに不合理な状況にはなっていない。また、当施設の開館時間は 10 時から 21 時までとなっているが、以前は 22 時まで開館していたところ、事務負担や施設管理費を削減する目的で開館時間を短縮している。

当施設の近隣には牛岳温泉の源泉ポンプが存在するが、源泉を管理している富山市は、当施設や近隣の施設（野外活動教育センターと民間事業者 3 社）に源泉使用を許可し、温泉使用料を徴収している。また、指定管理者は、富山市市税条例に基づき利用者から入湯税を徴収して富山市に納税している。そのため、令和 3 年度の指定管理料は 47,669 千円であるが、牛岳温泉の源泉使用料 6,336 千円、当施設の入湯税 3,942 千円、当施設の上下水道料 15,193 千円を考慮すると、当施設に係る富山市の実質負担は 22,198 千円程度となる。

このように、当施設はコロナ禍にも関わらず利用者数が安定しており、仮に当施設が無くなった場合、牛岳温泉スキー場の利用者を中心に市民サービスに大きな影響を及ぼす可能性がある。また、富山市の実質負担は、源泉使用料や入湯税等を考慮すると著しく高額とは言えない。そのため、現時点では当施設の存在意義に重大な問題は生じていないと判断する。一方で、当施設の隣地に所在する不老閣とささみねは、コロナ禍で利用者が極端に減少したため休館中であり、今後の利活用方針に課題が認められた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 89【意見 38】 | 不老閣とささみねの利活用 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設の隣地には富山市の直営施設である不老閣とささみねが存在する。不老閣は富山県建築百選に指定されている旧玄猿楼本館を移築したものであり、宴会等で利用されていた。また、ささみねは、宿泊施設として泊まり込みの会議や合宿等で利用されていた。これらの施設はコロナ禍で利用が極端に減少したため、現在は休館している。<br>施設所管課においては、建物の文化的価値や今後の利用可能性、牛岳温泉スキー場周辺施設の一体性等を踏まえて不老閣とささみねの利活用方針を整理することが望まれる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、自動販売機設置に係る目的外使用料である。当施設は利用料金制を採用しているため、富山市の施設利用料収入は無い。なお、指定管理者は、収益を得る目的で当施設内に売店やマッサージチェアを設置しているが、それらに関して目的外使用許可を提出しておらず、目的外使用料も支払っていない。また、指定管理者は、販促活動として「回数券の販売」、「ポイントカードの運用（60 ポイントで入浴料無料)」、「周辺施設利用者への割引券の配布」を実施しているが、「ポイントカードの運用」と「周辺施設利用者への割引券の配布」については富山市に利用料減免申請を提出していない。

富山市の主な歳出は、指定管理料である。指定管理料は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。なお、富山市は令和 2 年度と令和 3 年度にコロナ禍による休館補償を支払っているが、これらの補償金は、休館期間中の収支差額と休館期間に対応する過年度の収支差額との差引で計算されており、計算根拠資料を確認した結果重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 90【意見 39】 | 売店等に係る目的外使用料の徴収漏れ |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 指定管理者は、収益を得る目的で当施設内に売店やマッサージチェアを設置しているが、それらに関して目的外使用許可を提出しておらず、目的外使用料も支払っていない。この点、売店やマッサージチェアの設置は、令和 3 年 8 月 2 日に管財課が通知した「行政財産目的外使用料及び普通財産貸付料の減免基準」に照らすと自主事業として目的外使用料の徴収対象になる可能性がある。実際に、富山市の他の指定管理施設では令和 3 年度以降目的外使用料を徴収している例が見受けられる。<br>施設所管課においては、管財課と協議のうえ売店やマッサージチェアについて目的外使用料を徴収するべきかどうか検討することが望まれる。 | |
| 91【指摘 15】 | 利用料の減免申請漏れ |

| 全般的運用状況 | 該当無し |
|---|---|
| 指定管理者は、販促活動の一環で「回数券の販売」、「ポイントカードの運用」、「周辺施設利用者への割引券の配布」を行っているが、「ポイントカードの運用」と「周辺施設利用者への割引券の配布」については利用料減免申請を提出していなかった。<br>施設所管課においては、条例が定める減免手続を順守するため、指定管理者に対して網羅的に減免申請を提出するよう指導する必要がある。 | |

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、石橋が非公募で指定管理者に選定されている。富山市は、「公募の結果、申請者がいなかった」ため、従前まで当施設の指定管理者であった㈱石橋を指定管理者に選定している。この点、当施設は市街地から遠く離れた中山間地に所在し、移動負担や利用状況等を鑑みると、利潤を求める民間企業は参入しにくいと考えられる。また、指定管理者はビルメンテナンスを主たる事業としており、清掃等の施設管理の面で自身の強みを発揮することにより、重大なトラブルなく施設を運営できている。加えて、指定管理者は送迎バスの運行や自主事業の展開を通じて施設の利便性向上に努めている。

このように、石橋が非公募で指定管理者に選定されることには相応の合理性が認められる。一方で、基本協定書を確認した結果、指定管理者が行う業務の範囲に「利用料の徴収に関する業務」が記載されていなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 92【意見 3】 | 基本協定書への利用料徴収業務の記載漏れ |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する意見（意見 3）を識別している。 |
| 基本協定書を査閲した結果、管理業務の範囲（第 3 条）の箇所に「利用料の徴収に関する業務」が記載されていなかった。なお、第 3 条には「上記の他、管理に関して市長が必要と認める業務」の記載があるが、利用料の徴収は指定管理業務の重要要素であり基本協定書に明記すべきと考える。<br>施設所管課においては、基本協定書を更改する際に、管理業務として「利用料の徴収に関する業務」を記載することが望まれる。 | |

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料、施設利用料（指定管理業務）、飲食収入（指定管理業務）、自主事業収入である。施設利用料については、コロナ禍で利用者が減少し発生額が減少している。飲食収入については、基本協定書（管理業務仕様書）でレストランの運営が指定管理業務に含まれており、令和 3 年度の収入額は 6,528 千円となっている。自主事業収入については、指定管理者は当施設を使用して自主事業を行っており、令和 3 年度は「売店売上 2,254 千円」、「バスタオル等のレンタル売上 38 千円」を計上している。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費、燃料費である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。

光熱水費と燃料費については、施設規模が大きく全館空調であるため電気料（冷房）と重油代（暖房）が多額に発生しているが、現状の空調設備や開館期間等を前提とした場合相応な水準であると考えられる。その他、指定管理者は、バスマットのクリーニング代の値上げ要請を踏まえてウレタンマットへの変更を検討しているほか、「浴槽への次亜塩素酸の投入を従業員が実施する」、「観葉植物を削減する」、「割り箸からプラ箸に変更する」など他の温泉施設の指定管理者が取り組んでいる経費削減策は概ね実施しており、経費削減への努力が認められる。

一方で、レストランの飲食収入は指定管理者が収受しているが、基本協定書（管理業務仕様書）ではその帰属先が明確化されていなかった。また、指定管理者は、年度報告書で指定管理業務収入（施設利用料収入や飲食収入）と自主事業収入を区分していなかった。加えて、指定管理者は当施設に本社管理費 3,600 千円を配賦しているが、その計算根拠は不明であった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 93【意見 40】 | 飲食収入の帰属先の明確化 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 基本協定書（管理業務仕様書）では、指定管理業務として「飲食の提供に関する業務（レストラン運営業務）」を明記している、なお、当該業務に係る飲食収入は従来から指定管理者が収受しているが、基本協定書（管理業務仕様書）では収入の帰属先が明記されていない。<br>施設所管課においては、公募の際に指定管理候補者が指定管理業務の内容や採算性等を正しく理解できるようにするため、基本協定書や管理業務仕様書に飲食収入の帰属先を明記することが望まれる。 | |
| 94【指摘 7】 | 指定管理業務収支と自主事業収支の区分漏れ |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行 |

| | |
|---|---|
| | 政経営課に対する指摘事項（指摘 7）を識別している。 |
| 指定管理者は、当施設を使用して自主事業を行っており、令和 3 年度は「売店売上 2,254 千円」、「バスタオル等のレンタル売上 38 千円」を計上している。一方で、指定管理者は年度報告書において自主事業収支を区分表示していない。指定管理業務収支と自主事業収支とが混同されていると指定管理業務収支を正確に把握することができず、指定管理業務の効率性や指定管理料の妥当性の検証が困難になる。また、自主事業の実施結果は指定管理業務の成果（市民サービスや施設の有効利用の向上）を評価するうえで重要な判断材料になる。<br>施設所管課においては、年度報告書で自主事業収支を区分報告するよう指定管理者に指導する必要がある。その際、職員の稼働実態を踏まえて人件費を自主事業収支に適切に配賦するよう指導する必要がある。 | |
| 95【指摘 9】 | 本社管理費の配賦基準の見直し |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |
| 指定管理者は、過去から継続して 3,600 千円（300 千円/月）の本社管理費を当施設に配賦している。一方で、本社管理費の配賦根拠は不明となっており、本社管理費の配賦結果が本部事務員の稼働実態と整合していない可能性がある。<br>施設所管課においては、本社管理費の配賦基準を活動実態に即した適正な方法に見直すよう指定管理者に指導することが望まれる。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象とされている。当該包括外部監査における発見事項（備品管理以外）に対する施設所管課の措置回答状況及びそれに対する監査手続実施結果は以下のとおりである。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 【指摘】実地棚卸における売店の委託商品の取扱いについて | |
| 過去の発見事項（要約） | 実地棚卸の際に売店の委託商品まで自社在庫としてカウントしており、富山市への実績報告で売上原価が過小に報告されている。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 実地棚卸にあたって自社商品のみをリスト化することで正確な実地棚卸ができるように変更する。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 指定管理者に確認した結果、「措置回答のとおり、現在では自社在庫と委託在庫を明確に区分して期末に棚卸している。委託在庫は野菜類だけであり区分管理できている」との回答を得た<br>この点、往査時に現場視察を実施した結果、上記と異なる管理実態は認められなかったため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |

## ２０．角川介護予防センター

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市星井町二丁目 7 番 30 号</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>長寿福祉課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市角川介護予防センター条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>市民が要介護状態若しくは要支援状態となることを予防し、又は要支援状態の改善を図るため施設を設置する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積<br>（㎡）</th><th>建設費<br>（千円）</th></tr>
<tr><td>角川介護予防センター</td><td>H23</td><td>50</td><td>40</td><td>3,689.09</td><td rowspan="2">1,943,833</td></tr>
<tr><td>屋外機械室</td><td>H23</td><td>38</td><td>28</td><td>13.50</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>開館期間</td><td>休館日：　12 月 30 日～1 月 3 日<br>開館時間：　9:30～21:00</td></tr>
<tr><td>公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設は、全国初の温泉水による多機能温泉プールを活用して多様な介護予防プログラムを提供している施設である。事業内容を充実させ、アクティブシニア等の利用者拡大を図る必要性がある。平成 23 年度に建設されており比較的新しい施設であるものの、温泉水を使用しているため配管劣化が水道水に比べて早く、計画的な修繕の実施により施設機能維持を図る必要がある。</td></tr>
<tr><td></td><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

<table>
<tr><td>指定管理者</td><td>(一財)北陸予防医学協会・㈱ウェルネスデベロップメント共同体（(一財)北陸予防医学協会を代表企業とし、㈱ウェルネスデベロップメントを構成員とする共同企業体）<br>所在地：　富山市星井町二丁目７番３０号<br>代表者：　永田　義邦<br>事業概要：　角川介護予防センターの維持管理運営業務<br>富山市との関係：　特記事項無し</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 富山市角川介護予防センター条例第 3 条第 1 号から第 5 号までに掲げる施設の使用の承認に関する業務<br>● 富山市角川介護予防センター条例第 4 条各号に掲げる事業に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和2年度締結の基本協定書）<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>122,200</td><td>122,200</td><td>122,200</td><td>122,200</td><td>122,200</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数1者）</td></tr>
<tr><td>利用料の帰属</td><td>指定管理者（利用料金制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円
<table>
<tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>1,800</td><td>1,800</td><td>1,800</td><td>1,800</td><td>1,800</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者が外郭団体以外であるため）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>介護予防対象者の特別教室事業</td><td>施設の余剰部分を活用し教室・イベントなどを実施し収入増加を図る</td><td>メタボ教室等の各種教室は5,625人/年×1,200円で6,750千円、気候療法等のイベントは500人/年×5,000円＝2,500千円、2次予防事業は112人/年×69,429円＝7,776千円を見込む</td></tr>
<tr><td>パーソナルケア事業</td><td>QOL ツアーや一般利用者にオプションとしてマンツーマンのパーソナルケアを提供し収入増加を見込む</td><td>パーソナルストレッチは560人/年×2,500円で1,400千円、和漢薬液浴利用は15人/年×5,000円＝75千円を見込む。原価は人件費900千円、経費80千円を見込む</td></tr>
<tr><td>物品販売事業</td><td>水着やタオル等のレンタル及び健康・入浴グッズの販売等により収入増加を見込む</td><td>レンタル収入は200人×750円＝150千円、販売品収入は9,160人×500円＝4,580千円を見込む。原価は人件費1,350千円、商品仕入2,828千円等を見込む</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>● 従業員を多能工化し人員を削減する（10人→8人）。指導員がレセプション業務やメンテナンス業務に携われるよう教育研修を実施することで、サービスを低下させず少ない人数で運営が可能となり、人件費を抑制する<br>● 一般利用者を角川運動温泉会員とビジターに区分し、前者の会費は毎月払と年一括払いの2種類とし、利用促進を図りながら収益向上に資する</td></tr>
</table>

イ．施設の利用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める利用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本事業（指定管理業務） | ＜QOL ツアー1 ヶ月体験コース＞<br>週 1 回 1 ヶ月 4 回　6,280 円 | 1 | 554 | 482 | 668 | 256 | 119 |
| | ＜QOL ツアー3 カ月コース＞<br>週 2 回 3 カ月 24 回　20,110 円 | 1 | 15,219 | 16,087 | 16,842 | 12,678 | 14,946 |
| | ＜角川運動温泉会員利用＞<br>月会費(毎月払)　7,330 円<br>年会費(年一括払)　73,330 円 | 2 | | | | | 45,791 |
| | 小計 | | 15,773 | 16,569 | 17,510 | 12,934 | 60,856 |
| 自主事業 | ＜無料体験＞…無料 | 3 | 255 | 221 | 236 | 150 | 185 |
| | ＜視察見学会＞…無料 | 4 | 534 | 1,221 | 413 | 113 | 78 |
| | ＜角川運動温泉会員利用＞<br>月会費(毎月払)　7,330 円<br>年会費(年一括払)　73,330 円 | 2 | 62,524 | 59,842 | 60,977 | 44,378 | |
| | ＜ビジター利用＞<br>入館料　1,570 円 | 5 | 17 | 52 | 39 | 32 | 22 |
| | ＜地域説明会＞<br>無料 | 6 | 800 | | | | |
| | ＜ボランティア活動＞<br>無料 | 7 | 573 | | | | |
| | ＜メタボリック教室＞<br>週 2 回全 24 回　25,140 円 | 8 | 3,182 | 3,316 | 3,618 | 2,193 | 2,885 |
| | ＜気候療法＞<br>参加料は都度決定（7,000 円程度） | 9 | 201 | 242 | 326 | － | 50 |
| | ＜その他イベント等＞<br>無料 | 10 | 201 | 173 | 69 | － | － |
| | ＜ロコモ教室＞<br>週 2 回全 24 回　25,140 円 | 11 | 496 | 729 | 911 | 664 | 909 |
| | ＜脳活性教室＞<br>週 1 回全 12 回　会員　3,660 円<br>会員外　14,660 円 | 12 | 936 | 899 | 1,063 | 817 | 858 |
| | 小計 | | 69,719 | 66,695 | 67,652 | 48,347 | 4,987 |
| 委託事業 | ＜角川介護予防教室＞<br>QOL ツアー3 カ月コース　12,000 円 | 13 | 1,934 | 1,858 | 2,227 | 1,253 | 2,160 |
| | ＜特定保健指導（メタボ教室）＞<br>メタボリック教室　無料 | 14 | 555 | 245 | 429 | 327 | 396 |

| 種別 | 条例に定める利用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 小計 | | 2,489 | 2,103 | 2,656 | 1,580 | 2,556 |

＜補足コメント＞

※1　QOL ツアー（指定管理業務）について

当施設の主要なサービスであり、無理のない楽しい運動を中心とした本格的な介護予防サービスである。初回に基礎測定（血圧、体脂肪、体重等）、身体機能測定（歩行機能等）、QOL 測定（生活の質）、ADL 測定（日常生活活動）を行い、測定結果を常駐の医師が評価して各人に合った利用サービスプランを作成する。そのうえで、週 2 回（全 24 回）、陸上運動、水中運動、温熱療法の各種プログラムを受講する。中間回と最終回には、再度基礎測定等を実施し、医師が体質の改善状況等をフィードバックしている。

令和 2 年度は、コロナ禍による休館（4 月 4 日～5 月 31 日）により利用者が大きく減少した。令和 3 年度は、コロナ禍による休館（8 月 19 日～9 月 26 日）があったものの令和 2 年度より休館期間が短かったこと、人気のコンテンツであること等により利用者数が回復している。

※2　角川運動温泉会員利用（指定管理業務）について

当施設の主要なサービスであり、会員になると、毎日好きな曜日の好きな時間に施設を自由に利用できる。従来は指定管理業務ではなく自主事業として整理されていたが、令和 2 年度にコロナ禍による富山市の施設の一斉休業があったにも関わらず指定管理料の補填（休業補償金）が受けられなかったため、富山市と協議のうえ令和 3 年度から指定管理業務に組み込んでいる。

令和 2 年度は、コロナ禍による休館（4 月 4 日～5 月 31 日）により利用者が大きく減少した。令和 3 年度は、コロナ禍による休館（8 月 19 日～9 月 26 日）があったものの令和 2 年度より休館期間が短かったこと等により利用者数は回復している。

※3　無料体験（自主事業）について

当施設を知ってもらうために毎週火・水・土・日の 13 時～15 時に開催している無料体験会である。体験会ではプールにも入るが、それに難色を示す人がいるため利用者数が少なくなっている。一方で、受付窓口では、施設やプログラムの概要等について毎日多数の問い合わせがある。

※4　視察見学会（自主事業）について

外部団体等による施設の見学である。平成 23 年の開設当初は、日本に類似の施設が無いことから、国内外の自治体や温泉事業者が多数視察に訪れていた。特に、国外の自治体が富山市を視察する際のルートに入っていたため、平成 30 年度は国外から多数の視察団体が訪れた。しかし、令和 2 年度以降はコロナ禍により大規模な視察見学会を中止していることから利用者数が減少している。

※5　ビジター利用（自主事業）について

QOL ツアー又は角川運動温泉会員以外の施設利用者である。富山市内の利用者は、医師の紹介や知人の口コミ等により QOL ツアーや角川運動温泉会員に参加する場合が多いこと、ビジター料金が相対的に割高であることからビジター利用者は県外からの旅行者

等に限られている。

※6　地域説明会（自主事業）について

地域住民への施設の周知を目的とした説明会である。平成23年の開設当初から実施していたが、利用者数が順調に推移したこと等により、富山市と協議のうえ平成30年度以降は開催を停止している。

※7　ボランティア活動（自主事業）について

平成 23 年の開設当初は人員不足により利用者からボランティアを募って施設運営を行っていた。平成30年度以降は、職員体制が充実したため従業員だけで施設運営するようになり、ボランティアはいなくなった。

※8　メタボリック教室（自主事業）について

メタボ対策のために栄養面と運動面の総合的な助言を行うものである。3 カ月コースであり、初回に管理栄養士が食事内容をヒアリングして改善目標を設定し、最終回でも管理栄養士が結果をフィードバックしている。

令和2年度は、コロナ禍による休館（4月4日～5月31日）により利用者が大きく減少した。令和3年度は、コロナ禍による休館（8月19日～9月26日）があったものの令和2年度より休館期間が短かったこと、人気のコンテンツであること等により利用者数は回復している。

※9　気候療法（自主事業）について

日曜日はQOLツアーを実施していないため、空いた送迎バスを利用して年4～5回山や海に行き、現地でウォーキング等の運動を行ったり食事をしたりしている。医師が同伴するため安心感があり、非常に人気が高いサービスである。

令和2年度以降は、コロナ禍で長期間中止していたため利用者が少なくなっている。

※10　その他イベント等（自主事業）について

各種教室以外で、医師、管理療法士、職員等が生活習慣に関する講演を行っている。

令和2年度以降は、コロナ禍で講演を中止しているため利用者がいなくなっている。

※11　ロコモ教室（自主事業）について

ロコモティブシンドローム（筋肉の衰えによる関節痛）を予防するための教室である。当施設はウォーキングに特化しており、館内や周辺コースでウォーキングを行っている。

令和2年度は、コロナ禍による休館（4月4日～5月31日）により利用者が大きく減少した。令和3年度は、コロナ禍による休館（8月19日～9月26日）があったものの令和2年度より休館期間が短かったこと、人気のコンテンツであること等により利用者数は回復している。

※12　脳活性教室（自主事業）について

認知症予防のために脳活性トレーニングを行う教室である。目を重点的にトレーニングし視野を広げることで脳を活性化し、体も動きを回復させるものである。

令和2年度は、コロナ禍による休館（4月4日～5月31日）により利用者が大きく減少した。令和3年度は、コロナ禍による休館（8月19日～9月26日）があったものの令和2年度より休館期間が短かったこと、人気のコンテンツであること等により利用者数

は回復している。

※13　角川介護予防教室（委託事業）について

富山市は、70 歳と 75 歳に到達した住民に「基本チェックリスト」を郵送しており、その回答を評価した結果、介護予防が必要と判断された人の名簿を当施設と共有している（毎年約 2,500 人）。当施設はこれら全員に無料体験会のチラシを郵送するとともに、QOL ツアー3 カ月コースの申込者について 20,110 円の利用料金を 12,000 円に減額している。そのうえで、別途、後日富山市から委託料を受領している。

※14　特定保健指導（メタボ教室）（委託事業）について

富山市保険年金課が、国保加入者のうち保険指導が必要と判断した人に対して当施設のメタボリック教室（自主事業）を紹介しているものである。当該紹介に基づいてメタボリック教室を受講する人に対して受講料を無料としており、差額は後日富山市から委託料として受領する。

令和 2 年度はコロナ禍で利用者数が減少したが、令和 3 年度は回復している。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設利用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | － | － | － | － | － |
| **a.歳入実績合計** | | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 120,000 | 120,000 | 121,051 | 122,102 | 122,200 |
| 委託料（コロナ補助） | 3 | － | － | － | － | 3,083 |
| **b.歳出実績合計** | | **120,000** | **120,000** | **121,051** | **122,102** | **125,283** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲120,000** | **▲120,000** | **▲121,051** | **▲122,102** | **▲125,283** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲120,000** | **▲120,000** | **▲121,051** | **▲122,102** | **▲125,283** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** |

＜補足コメント＞

※1　施設利用料について

当施設は利用料金制であり、富山市の施設利用料収入はない。

※2　目的外使用料について

指定管理者は、当施設で自動販売機の設置や自主事業としての物販事業を行っているが、施設所管課は「施設利用者の健康保持と利便性の向上を図り、もって高齢者福祉の増進に資するもの」と判断し、目的外使用料を全額減免していた。

しかし、他の公の施設における目的外使用料の徴収状況を鑑み、令和 4 年度以降は条例に基づき算出した目的外使用料を徴収している。

※3　委託料（指定管理料）及び委託料（コロナ補助）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、令和2年度は、コロナ禍による休館（4月4日～5月31日）があったが、休館補償は支払っていない。令和3年度は、通常の指定管理料122,200千円に加えてコロナ禍による休館補償3,082千円（休館期間は8月19日～9月26日）が支払われている。これらの補償金は、休館期間中の収支差額と休館期間に対応する過年度の収支差額との差引で計算されており、計算根拠資料を確認したが重大な問題は認められなかった。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 120,000 | 120,000 | 121,051 | 122,102 | 122,200 |
| コロナ補助(富山市) | 1 | － | － | － | － | 3,083 |
| 委託事業収入(富山市) | 2 | － | － | － | － | 8,409 |
| QOLツアー利用料収入 | 3 | 15,374 | 16,114 | 16,908 | 12,446 | 34,082 |
| 自主事業収入 | 4 | 50,062 | 49,404 | 50,454 | 32,944 | 9,035 |
| **a.収入合計** | | **185,436** | **185,519** | **188,413** | **167,493** | **176,810** |
| 人件費 | 5 | 80,498 | 79,392 | 79,600 | 71,118 | 71,236 |
| 光熱水費 | 6 | 20,438 | 22,101 | 23,276 | 18,784 | 23,935 |
| 修繕料 | | 1,896 | 2,142 | 1,281 | 1,326 | 3,185 |
| 業務委託料 | | 3,665 | 3,394 | 3,522 | 3,470 | 3,636 |
| バス運行費 | 7 | 24,976 | 26,442 | 25,734 | 23,889 | 25,426 |
| 租税公課 | 8 | 6,978 | 6,820 | 7,536 | 7,185 | 8,019 |
| 自主事業原価 | 4 | 3,982 | 4,310 | 5,239 | 1,379 | 2,003 |
| その他の支出 | 9 | 42,073 | 40,492 | 41,741 | 41,156 | 40,927 |
| **b.支出合計** | | **184,506** | **185,093** | **187,929** | **168,307** | **178,367** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **930** | **426** | **484** | **▲814** | **▲1,557** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲119,070** | **▲119,574** | **▲120,567** | **▲122,916** | **▲135,249** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市）及びコロナ補助（富山市）について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　委託事業収入（富山市）について

委託事業の内容は、「(1) イ.施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

令和2年度までは委託事業収入は自主事業収入に含まれていたが、令和3年度以降は、委託事業収入として別区分で集計されることになった。

※3　QOLツアー利用料収入について

QOLツアー利用料収入にはQOLツアー利用料と角川運動温泉会員利用収入が含まれる。それぞれの内容は、「(1) イ.施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

令和2年度までは角川運動温泉会員利用収入は自主事業収入に含まれていたが、令和

3 年度以降は、QOL ツアー利用料収入に含められているため、収入額が増加している。

※4　自主事業収入及び自主事業原価について

自主事業の内容は、「(1) イ.施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

令和 2 年度までは自主事業収入に角川運動温泉会員利用収入と委託事業収入が含まれていたが、令和 3 年度以降は、前者は QOL ツアー利用料収入に含まれ、後者は別区分で表記されることになったため、自主事業収入が減少している。

自主事業原価は、自主事業に係る商品原価や食材の材料費等である。

※5　人件費について

当施設で勤務している職員（令和 4 年 3 月末時点でプロパー職員 10 名、臨時職員 18 名、派遣職員 3 名）の人件費である。

令和 2 年度及び令和 3 年度は、コロナ禍による休館があったため臨時職員の給与を中心に人件費が減少している。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 2,297 千円であり、大部分が臨時職員や派遣職員が多いことを勘案すると大きな問題は認められない。

※6　光熱水費について

令和 3 年度の主な内訳は、「電気料 15,462 千円」、「灯油代 11,192 千円」、「上下水道料 3,646 千円」である。なお、当施設に入居している中央保健福祉センターからは光熱水費の負担分 6,366 千円を受領しており、当該金額を上記金額から控除している。

令和 2 年度は、コロナ禍による休館（4 月 4 日～5 月 31 日）により光熱水費が減少した。令和 3 年度は、コロナ禍による休館（8 月 19 日～9 月 26 日）があったものの令和 2 年度より休館期間が短かったこと、電気代、灯油代が高騰したこと等により光熱水費は増加している。指定管理者は、LED への切替や節電・節水の徹底により光熱水費の削減に取り組んでいる。

※7　バス運行費について

無料バス 4 台を運行して利用者の自宅から当施設までの送迎を実施しており、当該送迎に係る費用である。

令和 3 年度の主な内訳は、バス運転手 5 名の人件費 17,211 千円、バスのリース代 4,984 千円である。メンテナンス面での事務負担を軽減できること、指定期間が 5 年であること等を考慮し、バスはすべてリースで調達している。

※8　租税公課について

令和 3 年度の主な内訳は、消費税 8,019 千円である。

※9　その他の支出について

令和 3 年度の主な内訳は、共同企業体の構成員である(一財)北陸予防医学協会及び㈱ウェルネスデベロップメントへの運営管理費 31,680 千円である。

(一財)北陸予防医学協会は、主に共同体の経営や事務を担当しており、それらの人員の稼働割合に基づいて同社の管理費を按分計算し請求している。㈱ウェルネスデベロップメントは、日々のモニタリングや定期的な職員研修、運営ノウハウの提供を行っており、ノウハウ料や経営指導料を請求している。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、角川家からの寄付をもとに平成 23 年に小学校跡地に開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

当施設は、介護予防という目的を達成するために温泉療法等の手段を用いている日本に類を見ない施設である。当施設の主要な機能である QOL ツアーでは、最初に利用者の身体機能を計測し常駐の医師の評価のもと各人毎のトレーニングプランを作成する。その後、中間時と最終時に同様の計測を行い利用者に結果をフィードバックしている。このように、身体機能の改善結果を定量的に伝達することで、利用者が達成感を感じられるようになっている。また、指定管理者が自主事業として行っているロコモ教室、脳活性教室、気候療法等も当施設固有のコンテンツであり、利用者から高い評価を得ている。

当施設は、令和 2 年度以降のコロナ禍による一斉休館等により利用者数が減少したが、他では代替困難なサービスであるため、足元では利用者数が回復している。

このように、当施設は日本で類を見ない機能を有しており、相応の利用者数が確保されているため、その存在意義は十分に認められる。一方で、当施設のサービスをより多くの市民に提供していくうえで複数の課題が見受けられた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 96【意見 41】 | 利用対象者や機能の拡充 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、介護予防という目的と温泉療法等の手段を組み合わせた日本で類をみない公共施設であり、その存在は富山市の差別化要因ともなっている。また、当施設は多くの利用者数と高い利用者満足度を誇っており、指定管理者のたゆまぬ努力の結果生み出された豊富なコンテンツや運営ノウハウは、市民に高く評価されている。一方で、当施設は富山市中心部に所在するため、旧町村部の市民は市内中心部の市民と比較して相対的にサービスを享受しにくくなっている。また、昨今のデジタル化の流れを踏まえると、当施設の機能を高度化することで市民サービスをより一層向上できる余地が認められる。<br>施設所管課においては、富山市のまちづくりビジョンや施設利用者の反響等を踏まえて当施設の存在意義を再確認し、指定管理者との協議を通じて以下のような機能拡充策を検討することが望まれる。なお、施設所管課が所管している老人福祉センターは利用者ニーズの変化やコロナ禍による機能の制限により存在意義に疑義が生じているため、当該施設の廃止や経費削減 | |

| | |
|---|---|
| により生じた余剰予算を同じ高齢者向けサービスである当施設の機能拡充に充当することも考えられる。また、機能拡充にあたっては、後述のクラウドファンディングも併せて検討することが考えられる。<br>● 富山市南部の市民が当施設のサービスを利用しやすくするため、施設の設置目的や機能が類似しており、かつ多くの空きスペースがある「大沢野健康福祉センター」に当施設の分室を設置する<br>● 当施設の機能を高度化するため、例えばウェアラブル端末や電子カルテを使ったデジタル化を進め、個人別のセミ・オーダートレーニングプランの策定や効果の見える化を推進し、サービスの質を向上させる | |
| 97【意見 5】 | クラウドファンディングの活用 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、温泉ポンプや配管を中心に施設の老朽化が進んできている。また、当施設の利用者拡大や利用者満足度の向上を図っていくためには、相応の投資が必要になる。一方で、当施設は日本に類を見ない機能を有しており、利用者から非常に高く評価されている。<br>施設所管課と指定管理者においては、富山市の厳しい財政状態も勘案し、当施設の魅力を高める投資や修繕を行う際にクラウドファンディングを活用する余地が無いか検討することが望まれる。 | |
| 98【意見 42】 | 40 代～50 代の利用者の拡充 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、当初は 65 歳以上の高齢者を対象に開設されたが、現在は 40 代以上からサービスを利用できるようになっている。一方で、当施設の利用者は平均年齢が 75 歳前後になっており、40 代～50 代の利用者が殆どいなくなっている。この点、指定管理者は、社員の福利厚生で使用してもらうべく経営者協会で当施設をアピールするなど利用促進の努力をしているが、思ったように成果は出ていない。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、40 代～50 代の利用者を増やす施策を検討することが望まれる。例えば、共同企業体の構成員である(一財)北陸予防医学協会は企業向けの健康診断や人間ドックを行っているため、検査で問題が出た従業員に対して医師から当施設を勧めてもらうことが考えられる。 | |
| 99【意見 43】 | 個別委託事業の予算の拡充 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 富山市は、介護予防が必要と判断された人に対して QOL ツアーやメタボリック教室の参加料を補助する取組み（個別委託事業）を行っている。当該取組みは利用者ニーズが大きく多数の申し込みがある。<br>施設所管課においては、当施設の存在意義や市民の利用ニーズを踏まえて、これらの個別委託事業の予算枠を増やすことができないか検討することが望まれる。なお、当該検討にあたっては、前述のとおり存在意義に疑義が生じている老人福祉センターの予算を有効活用するという視点を持つことが望まれる。 | |
| 100【意見 44】 | 利用促進のための愛称の見直し |

| 全般的運用状況 | 該当無し |
|---|---|
| 当施設は、健康な中高年が将来介護状態に陥ることを予防するための運動施設である。一方で、角川介護予防センターという正式名称は介護施設のイメージが強く、第一印象で利用者に抵抗感を持たれ利用の間口を大きく狭めている可能性がある。また、当施設は「ほっとねす角川」という愛称があるが、こちらは入浴施設をイメージしてしまうほか、設立後 10 年以上を経過しても市民に全く定着していない。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、当施設の目的や機能を端的に表し、かつ利用者が当施設に興味を持てるような愛称を設定することが望まれる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

当施設は利用料金制を採用しているため、富山市の施設利用料収入は無い。なお、指定管理者は、当施設で自動販売機の設置や自主事業としての物販事業を行っているが、施設所管課は目的外使用料を全額減免していた。しかし、他の公の施設における目的外使用料の徴収状況を鑑み、令和 4 年度以降は条例に基づき算出した目的外使用料を徴収している。

富山市の主な歳出は、指定管理料である。指定管理料は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は 1 者のみであり、(一財)北陸予防医学協会・㈱ウェルネスデベロップメント共同体((一財)北陸予防医学協会を代表企業とし、㈱ウェルネスデベロップメントを構成員とする共同企業体)が指定管理者に選定されている。(一財)北陸予防医学協会は、会社向け健康診断や健康に関する指導、相談、調査研究等を行っており、当施設では主に共同体の経営や事務を担当している。㈱ウェルネスデベロップメントは、健康増進施設の設計・運営や健康増進に関するコンサルティング等を行っており、当施設では各種コンテンツの立案や職員への教育研修を担当している。指定管理者は当施設の建築段階から関与しており、介護予防という当施設の設立目的に適したコンテンツを立案してきた。また、指定管

理者は当施設を効率的に運営するため職員の多能工化を進めるなど、たゆまぬ努力を続けている。当施設は日本に類を見ない施設として利用者や国内外から高く評価されているが、これは指定管理者の努力の賜物といえる。

このように、(一財)北陸予防医学協会・㈱ウェルネスデベロップメント共同体が指定管理者に選定されることには相応の合理性が認められる。一方で、基本協定書を確認した結果、指定管理者が行う業務の範囲に「利用料の徴収に関する業務」が記載されていなかった。

そのため、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 101【意見 3】 | 基本協定書への利用料徴収業務の記載漏れ |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する意見（意見 3）を識別している。 |
| 基本協定書を査閲した結果、管理業務の範囲（第 3 条）の箇所に「利用料の徴収に関する業務」が記載されていなかった。なお、第 3 条には「上記の他、管理に関して市長が必要と認める業務」の記載があるが、利用料の徴収は指定管理業務の重要要素であり基本協定書に明記すべきと考える。<br>施設所管課においては、基本協定書を更改する際に、管理業務として「利用料の徴収に関する業務」を記載することが望まれる。 | |

エ. 指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ. 指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料、利用料収入、自主事業収入である。利用料収入は QOL ツアー利用料と角川運動温泉会員利用収入であるが、他では代替困難なコンテンツであるためコロナ禍にも関わらず安定的な利用者数を誇っている。自主事業収入は、ロコモ教室や脳活性教室等であり、こちらも人気のコンテンツであるためコロナ禍にも関わらず利用者数は大きく回復している。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費、バス運行費、運営管理費である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費については、当施設は大規模施設であり、照明や空調のために電気料や灯油代が相応に発生しているが、何れも現状の開館期間や開館時間を前提とすると重大な問題は認められなかった。バス運行費については、無料送迎バスを運行するための人件費やリース料であり、多数の利用者に利用されている実態を鑑みると重大な問題は認められなかった。運営管理費については、共同企業体の構成員である(一財)北陸予防医学協会と㈱ウェルネスデベロップメントへの運営委託料であり、請求書やその計算根拠等を確認したが、業務内容や金額に重大な問題は認

められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象とされている。当該包括外部監査における発見事項（備品管理以外）に対する施設所管課の措置回答状況及びそれに対する監査手続実施結果は以下のとおりである。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 【指摘】指定管理者からの施設等の改善要望について | |
| 過去の発見事項（要約） | 指定管理者から施設等の改善を要望している事項が多々ある。富山市で対応するものについては財政面を考慮しながら順次対応をしているが、全国的に例のない施設であることから、予期できなかった施設上の不備もあり、改善が困難なものや時間がかかるものもある。<br>施設等の不備により利用者や職員の身体生命に重要な影響を及ぼす可能性がある場合には、責任の所在を明確にして速やかに対策を講じる必要があると考える。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 指定管理者の公募時に予期できなかったもののうち、市で対応するものについては、優先順位を考慮しながら順次対応していく |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 施設所管課及び指定管理者に確認した結果、「現在は、指定管理者と施設所管課が密接に連携しながら施設の安全性や利便性向上の対応を順次進めている。これまで利用者や職員の安全面でのトラブルは発生していない」との回答を得た。そのため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |
| 【指摘】未払い計上漏れについて | |
| 過去の発見事項（要約） | 人件費は 15 日締め 25 日払いだが、3 月 16 日～31 日の人件費及び 3 月分の法定福利費が未払計上されていない。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 人件費の未払計上処理は平成 27 年度決算より対応した。また、法定福利費の計上処理は平成 28 年度決算より対応した。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 指定管理者に確認した結果、「上記の通り毎期適切に処理している」との回答を得た。令和 3 年度の総勘定元帳を確認した結果、上記回答のとおり処理されていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |

## ２１． 神保児童館

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 富山市婦中町上吉川 403 番地 1 |
| 所管部署 | こども支援課 |
| 関連条例等 | 富山市児童館条例及び同条例施行規則 |
| 条例に定める施設の目的 | 児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）1 第 35 条第 3 項に基づき、児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、情操を豊かにするため施設を設置する |
| 施設の主な建物の概要 | 主な建物：神保児童館／建築年：H14／耐用年数：24／残存年数：5／延床面積（㎡）：164.70／建設費（千円）：337,990 |
| 開館期間 | 休館日：　12 月 29 日～1 月 3 日<br>開館時間：　月～金は 9:30～18:00、土、日、祝日は 9:30～17:00 |
| 公共施設マネジメント方針 | ＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「幼児・児童施設（児童館）」については、利用圏域等を踏まえると、現在の施設数を維持することが必要と考えられるが、利用者数等を勘案し、各施設の面積は維持又は縮小し効率化を図る。 |
| | ＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設は対象施設とはなっていない。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | （社福）わかくさ福祉会<br>所在地：　富山市町村 166-4<br>代表者：　山崎　哲雄<br>事業概要：　保育園の運営<br>富山市との関係：　特記事項なし |
| 指定管理業務の概要 | ● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務 |
| 指定期間 | 5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度） |
| 指定管理料 | 各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書） |

単位：千円

| | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料 | 9,668 | 9,773 | 9,810 | 9,860 | 9,860 |

| | |
|---|---|
| 選定方法 | 公募（応募者数 1 者） |
| 使用料の帰属 | 使用料が無料の施設であり該当無し。 |

<table>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>
<ul>
<li>経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。</li>
<li>これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。</li>
</ul>
単位：千円
<table>
<tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者が外郭団体以外であるため）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>保育園看護師による乳幼児健康講座</td><td>乳幼児の健康増進を図るため、夏季、冬季にそれぞれ1時間、乳幼児を持つ保護者を対象にその時期によくみられる感染症や健康管理について講座を開催する</td><td>参加料、事業費とも無料を予定</td></tr>
<tr><td>神保お楽しみ会（神保児童クラブ共催）</td><td>児童の心身の健康を増進し情操を豊かにするとともに異年齢児の交流を図るため､7月末の日曜日10:00～12:00にゲームや工作等を行う</td><td>乳幼児から大人まで100名程度。参加料は無料、事業費は材料費等で10千円程度</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「該当無し」となっている。</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設 | 無料 | 1 | 28,268 | 28,514 | 22,784 | 13,840 | 14,663 |

＜補足コメント＞

※1　利用者数について

当施設は、神保小学校やじんぼ保育園の隣に立地しており、主な利用者はじんぼ保育園内に設置されている子育て支援センターを利用した親子連れや神保小学校の小学生となっている。

令和2年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（令和2年4月15日～5月19日、令和3年8月18日～9月26日）や各種教室の自粛等により利用者数が減少している。一方で、足元では一部の教室等が再開されたこともあり利用者数が回復基調にある。なお、少子化の影響で地域の児童数が減少しており、当施設の利用者数も長期減少傾向にある。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | － | － | － | － | － |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **a.歳入実績合計** | | **－** | － | － | － | － |
| 委託料（指定管理料） | 2 | 8,650 | 8,700 | 8,765 | 8,830 | 9,668 |
| **b.歳出実績合計** | | **8,650** | **8,700** | **8,765** | **8,830** | **9,668** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲8,650** | **▲8,700** | **▲8,765** | **▲8,830** | **▲9,668** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲8,650** | **▲8,700** | **▲8,765** | **▲8,830** | **▲9,668** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設は使用料金が無料であり該当無し。

※2　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 8,650 | 8,700 | 8,765 | 8,830 | 9,668 |
| その他事業収益 | | 0 | 0 | 8 | 18 | 3 |
| **a.収入合計** | | **8,650** | **8,700** | **8,773** | **8,848** | **9,671** |
| 人件費 | 2 | 7,375 | 7,471 | 7,284 | 7,247 | 8,137 |
| 光熱水費 | | 653 | 673 | 666 | 648 | 705 |
| 修繕料 | | 25 | 5 | 22 | 13 | 22 |
| 業務委託料 | | 29 | 29 | 29 | 137 | 22 |
| その他の支出 | | 568 | 522 | 772 | 803 | 785 |
| **b.支出合計** | | **8,650** | **8,700** | **8,773** | **8,848** | **9,671** |
| **c.収支差額（a-b）** | 3 | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲8,650** | **▲8,700** | **▲8,765** | **▲8,830** | **▲9,668** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　人件費について

当施設で勤務しているパート職員5人（週5日のフルタイムが2人、週3日程度のフルタイムが2人、週5日で午後のみ勤務が1人）の人件費である。当施設の職員はシフト制で勤務しており、平日午後は3人体制で、それ以外は2人体制で受付業務、利用者対応業務、施設管理業務、イベント対応業務等を行っている。

なお、指定管理者は、当施設に本社管理費を配賦していない。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 1,627 千円であり、パート職員で対応していることを勘案すると大きな問題は認められない。

※3　収支差額について

指定管理者は、収支差額がゼロになるように、収支差額が赤字になる場合は、人件費や消耗品費を自身が運営する他の施設（じんぼ保育園等）に付け替えて負担している。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、神保小学校の隣に神保公民館と一体の施設として設置されていたが、平成 21 年に神保地区センターが新築された際、当該建物内に移転した。建物内には神保地区コミュニティセンターと富山市立神保公民館も入居しており、神保児童館の機能は、児童館用玄関、児童館用事務室及び遊戯室のみとなっている。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設を含む児童館については、現在の施設数を維持しつつ面積を維持又は縮小し効率化を図る方針が示されている。

当施設は、児童館として遊戯室を備えている。令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業や各種教室の自粛等により利用者数が減少していたが、足元では一部の教室等が再開されたこともあり利用者数が回復基調にある。一方で、少子化傾向により、長期的には利用者数の減少が予想されている。

当施設は、神保小学校の児童の利用が 70%程度、隣接するじんぼ保育園の関係者（併設されている子育て支援センターの利用者を含む）の利用が 30%程度となっている。当施設は、平日午後（神保小学校の放課後）の利用が多くなっている。なお、従来は児童館ごとに開館時間が異なっていたが、令和 2 年度以降は開館時間を統一している。

富山市は、小学校区単位で「子ども会（地域児童健全育成事業)」や「放課後児童クラブ」を運営しており、児童館が無い地域であっても放課後児童に対して相応のサポートを提供できている。一方で、当施設は昭和 53 年に開設されて以来地元住民に親しまれており、老若男女を問わず幅広い層に利用されている（中学生が帰宅前に卓球やバトミントンで遊んでいく、子供の時に利用していたおばあさんが孫と一緒に遊んでいく等)。また、児童館特有の存在意義（定期的にイベントを開催できる、不登校児童の受入場所となり得る等）は依然として健在である。加えて、昨今は中学校教員の働き方改革が叫ばれており、土日の部活動顧問を児童館に代替してもらう等、活用の場が広がる可能性がある。

このように、当施設はその利用実態や役割の面から存在意義は十分に認められる。一方で、富山市の児童館全体にいえることだが、施設やイベントの周知方法、利用者の利便性向上といった点で改善の余地が認められる。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 102【意見 13】 | HP の機能向上 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 富山市は、当施設の概要やイベント等の情報を富山市の HP（育サポとやま）等を通じて発信している。一方で、当該 HP は機能や使い勝手の面で改善の余地が認められる。<br>施設所管課においては、当該 HP を運営していくうえで指定管理者や施設利用者から意見を聴取し、機能や使い勝手を継続的に向上させていくことが望まれる。例えば、現在、イベントの申込みは電話か受付窓口でのみ可能となっているが、HP 上で全児童館のイベントを一覧化し web で申込みができるようにすることが考えられる（その場合、参加者多数の際には先着順ではなく抽選に統一する）。なお、HP の機能や運用方法について児童館の指定管理者（3 者）の見解が相違する場合は、他の公の施設と同様に指定管理者に施設独自の HP の作成を許可し、育サポとやまには当該 HP のリンクを張ることも考えられる。その他、HP を変更する際には富山市芸術創造センターの指定管理者が作成している HP が参考になるため、適宜確認されたい。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の歳入は、施設の使用料金が無料であるため発生していない。

富山市の歳出は、指定管理料である。指定管理料は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は 1 者のみであり、(社福)わかくさ福祉会が指定管理者に選定されている。指定管理者は、富山市内でわかくさ保育園を経営していたが、平成 21 年に富山市立じんぼ保育園が民営化された際に施設の無償貸与を受け、じんぼ保育園の経営を開始した。その後、平成 23 年に当施設が指定管理施設となった際に公募に参加し、指定管理者に選定されている。指定管理者は、当施設とじんぼ保育園（併設されている子

育て支援センターを含む）を一体的に運営しており、じんぼ保育園に常駐している看護師が児童館利用者の健康相談を行うなど相乗効果を生み出せている。

一方で、下記「(2)エ．指定管理業務の検討結果」に記載のとおり、指定管理者は指定管理業務の赤字部分を自身が運営する他の施設に付け替えることで指定管理業務の収支差額が常にゼロになるように調整していた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧や施設所管課への質問を実施した結果、指定管理候補者選定時の事業計画について、過去実績の確認が行われていなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 103【指摘 3】 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 3）を識別している。 |
| 指定管理者は、指定管理業務の赤字部分を自身が運営する他の施設に付け替えることにより指定管理業務の収支差額を常にゼロとして報告していた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧等を実施した結果、指定管理料の根拠となる事業計画と過去実績との比較検討が行われていなかった。<br>施設所管課においては、指定管理料を決定する際に事業計画と過去実績との比較や過去実績の内容検討を行う必要がある。当該検討の結果、過去実績やそれを基に作成された事業計画に不自然な点がある場合（過去に多額の収支差額が発生している、過去の収支差額が常にゼロである等）は、その原因に応じて適宜指定管理者に事業計画の見直しを指示し、指定管理料に重大な過不足が生じないようにする必要がある。 | |

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料である。なお、指定管理者は当施設でイベントや教室等の自主事業を行っているが、参加料は無料となっている。

指定管理者の主な支出は、人件費である。児童館には教員や保育士等の有資格者を最低 2 名配置する必要があるが、指定管理者は管理業務仕様書に定められたこれらの人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。なお、当施設は神保地区コミュニティセンターや市立神保公民館と同じ建物に入居しており、光熱水費は富山市が建物全体の光熱水費を面積按分して指定管理者に請求している。光熱水費の按分表を査閲したが、計算誤り等の問題は発見されなかった。

指定管理者は、当施設とじんぼ保育園（併設されている子育て支援センターを含む）を一体的に運営しており、じんぼ保育園に常駐している看護師が児童館利用者の健康相談を行うなど相乗効果を生み出せている。指定管理者は自身の強みを生かした特徴ある施設運営を行っているが、

一方で、他の児童館を管理する指定管理者との連携の面で課題が発見された。また、指定管理者は指定管理業務の赤字部分を自身が運営する他の施設に付け替えることにより指定管理業務の収支差額がゼロになるように調整していた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 104【意見 14】 | 指定管理者同士の連携強化 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 富山市には当施設を含めて 13 の児童館が存在し、指定管理者のほか国際学園と社会福祉事業団（外郭団体）が指定管理業務を請け負っている。これらは、年 1 回 9 月頃に 3 館長会議や厚生委員会議等を開催し情報交換を行っているが、時期が 9 月に偏っている、頻度が少ない、現場の若手担当者の参加が少ない等の課題が認められる。<br>施設所管課においては、指定管理者が児童館をより効果的、効率的に運営できるようにするため、指定管理者同士の情報交換の実効性を高める工夫を行うことが望まれる。例えば、現在開催されている会議の頻度を増やす、課題や良事例を共有する目的で現場担当者レベルの会議を新設する等の対応が考えられる。 | |
| 105【指摘 9】 | 収支差額がゼロとなる原因の検討 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |
| 指定管理者は、指定管理業務の赤字部分を自身が運営する他の施設に付け替えることにより指定管理業務の収支差額を常にゼロで報告していた。<br>施設所管課においては、年度報告書で収支差額が継続的にゼロになっている場合はその理由を検討する必要がある。また、検討の結果、指定管理業務の実施状況や報告内容に問題が認められる場合は、以下のような対応をとる必要がある。<br>● 指定管理料が妥当な水準になるよう見直す<br>● 指定管理者に業務範囲や業務内容の見直しを指示する（例：施設の機能維持や利用者満足度の向上のため必要な修繕を実施させる、施設の利用促進のためイベントや広告宣伝を増加させる等）<br>● 報告内容に誤りがある場合は修正を指導する | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## ２２． 八尾おわら資料館、八尾曳山展示館

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>八尾おわら資料館：　富山市八尾町東町 2105 番地 1<br>八尾曳山展示館：　富山市八尾町上新町 2898 番地 1</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>観光政策課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>八尾おわら資料館：　富山市八尾おわら資料館条例及び同条例施行規則<br>八尾曳山展示館：　富山市八尾曳山展示館条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>八尾おわら資料館：　富山県民謡「越中おわら」に関する資料の保存や展示を通して、市民文化の向上と地域社会の振興に資する商業・サービス業集積関連施設として人々の交流、賑わいのある街づくりを推進する<br>八尾曳山展示館：　富山県指定有形民俗文化財である曳山の常時観覧を通し、観光客の利便や伝統文化財である曳山の保存及び活用を図り、郷土文化の向上に資するとともに、教養の向上、生活文化の進行を図る拠点とする</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積（㎡）</th><th>建設費（千円）</th></tr>
<tr><td>八尾おわら資料館</td><td>H12</td><td>50</td><td>29</td><td>683.00</td><td>416,800</td></tr>
<tr><td>曳山展示館 1</td><td>S59</td><td>50</td><td>13</td><td>1,999.96</td><td rowspan="2">721,030</td></tr>
<tr><td>曳山展示館 2</td><td>H15</td><td>50</td><td>32</td><td>629.08</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>開館期間</td><td>休館日：　八尾おわら資料館､八尾曳山展示館とも 12 月 29 日～1 月 3 日<br>開館時間：　八尾おわら資料館は 9:00～17:00。八尾曳山展示館は、展示室は 9:00～17:00、それ以外のスペースは 9:00～22:00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「レクリエーション・観光施設」については、観光施設は他の分野に比べ民間事業者が参入しやすい分野であるため、民間に積極的に事業移管を行う。なお、民間への事業移管が困難な施設のうち、行政目的の高い施設は、運営の効率化を進め引き続き維持していく。それ以外の施設については廃止を推進する。<br>また、利用者の利便性向上に向け条例等の改正を行い、利用料金や利用時間の弾力化を行うとともに、民間のノウハウや経営手法を活用できるように運営体制の見直しを検討する。</td></tr>
<tr><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象となっており、機能維持の方針は「継続」となっている。また、機能の提供形態は「維持」、「集約化」、「提供主体変更」、</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | 「廃止・休止」が検討されており、整備手法は「修繕」、「長寿命化（大規模改修)」、「譲渡」が検討されている。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | （一社）越中八尾観光協会<br>所在地：　富山市八尾町上新町 2898-1<br>代表者：　杉山　峰夫<br>事業概要：　八尾町の観光情報の提供、指定管理者事業等<br>富山市との関係：　特記事項無し |
| 指定管理業務の概要 | ● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務 |
| 指定期間 | 5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度） |
| 指定管理料 | 各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書） |

単位：千円

| | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|---|---|---|---|---|---|
| 八尾おわら資料館 | 9,564 | 9,564 | 9,564 | 9,564 | 9,564 |
| 八尾曳山展示館 | 7,850 | 7,850 | 7,850 | 7,850 | 7,850 |

| | |
|---|---|
| 選定方法 | 非公募（八尾曳山展示館は、曳山を所有する各町内から「地域に密着した信頼のおける団体」による管理を望まれている。また、八尾おわら資料館は、その性質上、地域に密着しおわら風の盆を運営している団体が適格である） |
| 利用料の帰属 | 指定管理者（利用料金制） |
| 施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係 | ● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費が 1 件につき 500 千円未満のもの、又は年度合計額が以下の金額未満の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。 |

単位：千円

| R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|---|---|---|---|---|
| 500 | 500 | 500 | 500 | 500 |

| | |
|---|---|
| 精算条項 | 無し（指定管理者が外郭団体以外であるため） |
| 自主事業提案 | 指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。 |

| 事業名 | 事業の概要 | 参加者数・収支等 |
|---|---|---|
| おわら鑑賞(曳山展示館) | おわら風の盆の楽器演奏や踊りなどの体験企画を町内の関係団体と連携して実施し、芸能や文化の奥深さを体感できる企画による誘客促進を図る | 団体客を対象に年間 4,000 人（60 人×66 回）を見込む、参加料は大人 1,500 円、小人無料。収入は 6,000 千円、支出は出演料等で 4,012 千円 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 踊り方教室(曳山展示館) | おわら風の盆の楽器演奏や踊りなどの体験企画を町内の関係団体と連携して実施し、芸能や文化の奥深さを体感できる企画による誘客促進を図る | 団体客を対象に年間 500 人(25 人×20 回)を見込む。参加料は大人 1,000 円、小人無料。収入は 500 千円、支出は出演料等で 247 千円 |
| | 特産品展示コーナー(曳山展示館) | 入館者に対して当地の特産品を展示し、特産品の PR 及び売上による収入増加を図る | 入館者全員を対象に通年実施し、収入は 7,898 千円、支出は 7,806 千円 |
| | おわら楽器演奏体験(おわら資料館) | おわら保存会と連携しておわら風の盆の楽器演奏の体験企画を開催し、来訪者の満足度向上を図る | 個人客を対象に 1 回 30 分で年 12 人程度。参加料は大人 4,000 円、小人無料。収入は 48 千円、支出は講師謝金等で 42 千円 |
| | おわら楽器演奏生ライブと踊り体験(おわら資料館) | おわら保存会と連携しておわら風の盆の楽器演奏や踊りなどの体験企画を開催し、来訪者の満足度向上を図る | 旅行ツアー客や町内会等の団体を対象に年間 20 回程度の開催を見込む。参加料は 1 団体 20,000 円、収入は 400 千円、支出は出演料等で 300 千円 |
| | おわら関連商品展示コーナー(おわら資料館) | 資料館見学後のおわら関連商品の購入ニーズに対応し、来訪者の滞在満足向上を図る | 入館者全員を対象に通年実施し、年間利用見込は 500 人程度、売上は 1 人 1,000 円程度で収入は 500 千円、支出は 410 千円程度 |
| 収益向上提案 | 指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「該当無し」となっている。 | | |

イ．施設の利用料及び利用者数の状況

① 八尾おわら資料館

単位：人

| 種別 | 条例に定める利用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 観覧スペース | ＜個人＞<br>一般 210 円<br>小学生～高校生 無料 | 1 | ※1 | 8,798 | 9,296 | 3,400 | 4,267 |
| | ＜団体＞<br>20 人以上 170 円 | 1 | ※1 | 2,124 | 1,631 | 73 | 89 |
| | ＜その他＞<br>小中学生の課外学習や障害者等の減免対象者 | 1 | ※1 | ※1 | ※1 | 260 | 364 |
| 展示室 | 1 時間 1,670 円 | 2 | ※2 | ※2 | ※2 | ※2 | ※2 |

| 種別 | 条例に定める利用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 和室 | 1時間　840円 | 3 | ※3 | ※3 | ※3 | ※3 | ※3 |
| **合計** | | **1** | **11,488** | **10,922** | **10,927** | **3,733** | **4,720** |
| うちおわら三味線体験入館者 | | | ※1 | ※1 | ※1 | 3 | 41 |
| うち資料館のみ入館者 | | | ※1 | ※1 | ※1 | 3,730 | 4,679 |

＜補足コメント＞

※1　観覧スペースの利用者数について

当施設は令和1年度まで直営施設であり利用者数の集計単位が現指定管理者と異なっていたため、令和1年度以前の利用者内訳が不明になっている。令和2年度以降は、コロナ禍で観光客が激減したこと等により利用者数が減少している。

※2　展示室の利用者数について

指定管理者は展示室の利用者数を集計していない。この点、指定管理者に確認した結果、「条例が定める展示室の場所には心当たりが無い」との回答を得た。

※3　和室の利用者数について

指定管理者は、和室の利用者数を集計していない。この点、指定管理者に確認した結果、「自主事業であるおわら三味線体験（定員6人で月4回コース。体験料は1人4,000円）以外では利用は殆どない」との回答を得た。

② 八尾曳山展示館

単位：人

| 種別 | 条例に定める利用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 展示室 | ＜個人＞<br>一般　530円<br>小学生～高校生　320円 | 1 | 17,311 | 15,765 | 14,815 | 3,916 | 5,263 |
| | ＜団体＞<br>20～99人　10%減免<br>100人～　20%減免 | 1 | 13,205 | 5,685 | 7,335 | 210 | 760 |
| | ＜その他＞<br>小中学生の課外学習や障害者等の減免対象者 | 1 | 575 | 899 | 458 | 558 | 885 |
| ホール | 9時-17時　5,240円<br>17時～21時　6,280円<br>21時～22時　6,810円 | 2 | ※2 | ※2 | ※2 | ※2 | ※2 |
| 研修室 | 9時-17時　840円<br>17時～21時　1,050円<br>21時～22時　1,250円 | 3 | ※3 | ※3 | ※3 | ※3 | ※3 |
| 講義室 | 9時-17時　840円<br>17時～21時　1,050円<br>21時～22時　1,250円 | 4 | ※4 | ※4 | ※4 | ※4 | ※4 |

| 種別 | 条例に定める利用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **合計** | | | **31,091** | **22,349** | **22,608** | **4,684** | **6,908** |
| うちおわら鑑賞ステージ入館者 | | | 12,609 | 8,985 | 9,467 | － | 670 |
| うち展示室のみの入館者 | | | 18,482 | 13,364 | 13,141 | 4,684 | 6,238 |

＜補足コメント＞

※1　入館者数について

長距離バスツアーの規制強化、団体旅行から個人旅行への旅行形態の変化等により利用者数は漸減傾向にある。令和 2 年度以降は、コロナ禍で観光客が激減したこと等により利用者数が減少している。

※2　ホールの利用者数について

指定管理者は、ホールの利用者集計を行っていない。この点、指定管理者に確認した結果、「主に自主事業であるおわらステージ鑑賞や地元団体の各種講演・イベント等で利用されている。令和 2 年度以降はコロナ禍で観光客が激減したこと等により利用者数が減少している」との回答を得た。

※3　研修室の利用者数について

指定管理者は、研修室の利用者集計を行っていない。この点、指定管理者に確認した結果、「研修室は、主におわらステージ鑑賞の演者の着替え等で利用されており、それ以外の利用は殆どない」とのことである。

現地視察の結果、研修室は利用申込みがあればいつでも利用できる状態になっていた。

※4　講義室の利用者数について

指定管理者は、講義室の利用者集計を行っていない。この点、指定管理者に確認した結果、「主におわら保存会や自治体等の会合で定期的に利用されている」との回答を得た。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

①　八尾おわら資料館

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設利用料 | 1 | 1,797 | 1,649 | 1,623 | － | － |
| **a.歳入実績合計** | | **1,797** | **1,649** | **1,623** | **－** | **－** |
| 委託料（指定管理料） | 2 | － | － | － | 9,145 | 9,564 |
| 委託料（コロナ補助） | 2 | － | － | － | 551 | 568 |
| 委託料（その他） | | 2,105 | 2,105 | 2,187 | － | － |
| 人件費 | | 5,939 | 6,035 | 6,038 | － | － |
| 消耗品費 | | 206 | 116 | 203 | － | － |
| 印刷製本費 | | 153 | 142 | 90 | － | － |
| 光熱水費 | | 2,355 | 2,413 | 2,478 | － | － |
| 修繕料 | | 572 | 112 | 706 | － | － |
| 通信運搬費 | | 112 | 112 | 121 | － | － |
| 負担金 | | 5 | － | － | － | － |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用料 | | 17 | 19 | － | － | － |
| 借上料 | | － | － | － | 205 | － |
| **b.歳出実績合計** | | **11,468** | **11,058** | **11,824** | **9,901** | **10,133** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲9,671** | **▲9,409** | **▲10,201** | **▲9,901** | **▲10,133** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額(歳入-歳出)** | | **▲9,836** | **▲9,290** | **▲9,940** | **▲9,814** | **▲9,564** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **164** | **▲119** | **▲260** | **▲87** | **▲569** |

＜補足コメント＞

※1　施設利用料について

令和 1 年度までは直営施設であり、富山市に施設利用料収入が発生している。令和 2 年度以降は利用料金制の指定管理施設となったため、富山市の施設利用料収入はない。

※2　委託料（指定管理料）、委託料（コロナ補助）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、令和 2 年度は、通常の指定管理料 9,145 千円に加えてコロナ禍による休館補償 551 千円（休館期間は 4 月 16 日～5 月 19 日）が支出されている。令和 3 年度は、通常の指定管理料 9,564 千円に加えてコロナ禍による休館補償 568 千円（休館期間は 8 月 18 日～9 月 12 日）が支払われている。これらの補償金は、休館期間中の収支差額と休館期間に対応する過年度の収支差額との差引で計算されており、計算根拠資料を確認したが重大な問題は認められなかった。

②　八尾曳山展示館

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設利用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | 7 | 16 | 13 | 12 | 44 |
| **a.歳入実績合計** | | **7** | **16** | **13** | **12** | **44** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | － | － | － | － | 7,850 |
| 委託料（コロナ補助） | 3 | － | － | － | － | 3,974 |
| 委託料（その他） | 4 | 1,857 | 1,174 | 424 | 551 | 1,782 |
| 工事請負費 | | 47,790 | － | － | － | － |
| 庁用器具費 | | － | － | 156 | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **49,647** | **1,174** | **581** | **551** | **13,607** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲49,640** | **▲1,158** | **▲567** | **▲538** | **▲13,562** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額(歳入-歳出)** | | **▲61,863** | **▲566** | **▲531** | **▲366** | **▲9,716** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **12,222** | **▲592** | **▲36** | **▲172** | **▲3,846** |

＜補足コメント＞

※1　施設利用料について

当施設は利用料金制であり、富山市の施設利用料収入はない。

※2　目的外使用料について

主な内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料」等である。

※3　委託料（指定管理料）、委託料（コロナ補助）について

当施設は利用料金制を採用しており、令和 2 年度までは利用料金や指定管理者の自主財源で施設管理費を賄っていたため指定管理料は発生していなかった。令和 3 年度は、指定管理の更新時期であったため、コロナ禍で施設利用料が大きく落ち込んでいることを考慮して利用料金と施設管理費との差額を指定管理料として支払っている。

なお、令和 3 年度は、通常の指定管理料 7,850 千円に加えてコロナ禍による休館補償 3,974 千円（休館期間は 8 月 18 日～9 月 12 日）が支払われている。これらの補償金は、休館期間中の収支差額と休館期間に対応する過年度の収支差額との差引で計算されており、計算根拠資料を確認したが重大な問題は認められなかった。

※4　委託料（その他）について

令和 3 年度の主な内訳は、「天井調査業務委託 473 千円」、「地下タンク気密検査及び清掃業務委託 242 千円」、「非常照明灯取替業務委託 1,067 千円」である。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

①　八尾おわら資料館

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | | | | 9,145 | 9,564 |
| コロナ補助(富山市) | 1 | | | | 551 | 568 |
| 施設利用料 | 2 | | | | 571 | 691 |
| 自主事業収支 | 3 | | | | 27 | 53 |
| **a.収入合計** | | | | | **10,294** | **10,877** |
| 人件費 | 4 | | | | 8,598 | 7,824 |
| 光熱水費 | | | | | 2,148 | 2,301 |
| 修繕料 | | | | | 78 | 196 |
| 委託料 | | | | | 1.945 | 1,907 |
| その他支出 | | | | | 951 | 323 |
| **b.支出合計** | | | | | **13,720** | **12,551** |
| **c.収支差額（a-b）** | | | | | **▲3,426** | **▲1,674** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | | | | **▲13,122** | **▲11,806** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)、コロナ補助(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　施設利用料について

令和 1 年度までは直営施設であり、施設利用料は富山市の歳入に計上されている。令和 2 年度以降は利用料金制の指定管理施設となっており、施設利用料は指定管理者の収入となっている。主な内訳は入館料であり、利用者数の増減により変動する。

利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照。

※3　自主事業収支について

主な内容は、おわら三味線体験（定員 6 人で月 4 回コース。体験料は 1 人 4,000 円）の収支差額である。なお、指定管理者は自主事業に係る支出として外部講師への謝金のみを集計しているが、これは当該自主事業において指定管理者の追加支出（人件費等）が殆ど発生しないためである。

※4　人件費について

当施設で勤務している常勤プロパー職員 1 人、パート 3 人の人件費である。当施設の職員はシフト制で勤務しており、2 人体制で受付業務と館内説明業務を行っている。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 1,956 千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

② 八尾曳山展示館

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | － | － | － | － | 7,850 |
| コロナ補助(富山市) | 1 | － | － | － | － | 3,974 |
| 施設利用料 | 2 | 14,732 | 10,491 | 10,563 | 2,211 | 3,127 |
| 自主事業収益 | 3 | － | － | ▲338 | ▲551 | ▲237 |
| その他の収入 | | 194 | 165 | 156 | 95 | 116 |
| **a.収入合計** | | **14,926** | **10,656** | **10,380** | **1,755** | **14,831** |
| 人件費 | 4 | 6,921 | 7,498 | 8,571 | 9,212 | 9,877 |
| 光熱水費 | 5 | 4,875 | 5,512 | 5,775 | 3,441 | 4,417 |
| 修繕料 | | 543 | 515 | 409 | 104 | － |
| 保守点検費 | | 1,762 | 1,762 | 1,782 | 2,069 | 2,076 |
| 展示関連費 | | 1,099 | 1,159 | 1,221 | 1,084 | 1,064 |
| その他支出 | | 1,233 | 1,248 | 1,067 | 727 | 922 |
| **b.支出合計** | | **16,433** | **17,694** | **18,825** | **16,637** | **18,356** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **▲1,507** | **▲7,038** | **▲8,445** | **▲14,882** | **▲3,525** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲1,507** | **▲7,038** | **▲8,445** | **▲14,882** | **▲15,350** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)、コロナ補助(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　施設利用料について

当施設は利用料金制であり、施設利用料は指定管理者の収入となっている。主な内訳は入館料であり、利用者数の増減により変動する。

利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照。

※3　自主事業収益について

主な自主事業は「おわら鑑賞ステージ」と「土産物販売」である。令和 2 年度以降はコロナ禍で来館者数が大幅に減少しているが、不採算であった他の自主事業イベントを中止したため自主事業収支は悪化していない。なお、指定管理者は、「土産物販売」で接客や記帳に要する人件費（2,700 円/日）を自主事業支出に集計しているが、令和 2 年度以降は来館者数の減少で土産物販売の利益が当該固定費を賄いきれなくなったため、自主事業として赤字になっている。その他、指定管理者は、平成 30 年度まで自主事業収支を報告していなかったため、上表での記載は省略する。

※4　人件費について

当施設で勤務している常勤プロパー職員 4 人、パート 3 人の人件費である。当施設の職員はシフト制で勤務しており、3～4 人体制で受付業務、館内説明業務、その他事務を行っている。指定管理者は当施設に事務所を構えており、職員全てが当施設かおわら資料館の指定管理業務に携わっているため、本社管理費の配賦は行っていない。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 1,411 千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

※5　光熱水費について

令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（令和 2 年 4 月 16 日～5 月 19 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 12 日）があり発生額が減少している。なお、当施設は全館空調になっているため電気料が高額になっている。

**（2） 監査手続の実施結果と発見事項**

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

八尾おわら資料館と八尾曳山展示館は、富山県民謡「越中おわら」や富山県指定有形民俗文化財である曳山の展示を通じ、市民文化の向上や地域社会の振興を図る目的で開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、両施設については、継続を前提としつつ、長寿命化、提供主体変更、廃止等のあらゆる選択肢が想定されている。

越中おわらは全国的な知名度を有するが、その資料館は八尾おわら資料館のみであり、富山市の観光スポットとして重要な役割を果たしている。また、曳山展示館はホールや売店を併設しており、おわらステージ鑑賞等が開催されているため、団体客の観光拠点となっている。

両施設は、おわら風の盆の時期には非常に多くの観光客で賑わうが、オフシーズンである冬季には利用者数が非常に少なくなる傾向にある。令和2年度以降は、コロナ禍で観光客が激減したこと等により利用者数が減少していたが、令和4年度はおわら風の盆が再開され利用者数が回復傾向にある。また、両施設とも開館時間は9時～17時までとなっているが、八尾曳山展示館のホールや研修室だけは町内の会合やおわら風の盆の準備等で使用されるため、利用可能時間が 22時までとなっている。

このように、両施設の機能は富山市の観光振興において代替困難であり、実際に多数の観光客が利用しているため、存在意義は十分に認められる。一方で、八尾おわら資料館については、条例に定められている展示室の場所が確認できなかった。また、両施設は年末年始以外に休館日が無いが、オフシーズンである冬季には利用者数が大幅に減少しており、開館期間について課題が見受けられた。加えて、八尾曳山展示館の展示室は照明の故障等により薄暗くなっており、曳山の展示に支障が生じていた。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 106【指摘16】 | 八尾おわら資料館展示室の場所の特定 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 富山市八尾おわら資料館条例によると、八尾おわら資料館には展示室が存在し、利用する場合には1時間につき1,670円の利用料を徴収することになっている。一方で、指定管理者に質問を実施した結果、展示室の場所が確認できなかった。<br>施設所管課においては、現地調査や指定管理者との協議を通じて展示室の場所を特定する必要がある。そのうえで、展示室の利用実態や利用者ニーズを検討したうえで、本来の目的で使用するための現状復旧や施設機能の見直し（条例の改正）等の対応を行う必要がある。 | |
| 107【指摘11】 | 休館日や開館時間の見直し |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 八尾おわら資料館と八尾曳山展示館の休館日は条例で年末年始のみとされているが、オフシーズンである冬季は利用者数が大幅に減少する傾向にある。この点、利用者数が極端に少ない日に施設を開館した場合、市民サービスに比して過大な人件費や光熱水費が発生する可能性がある。<br>施設所管課においては、現在の利用実態を調査、分析し、住民サービスと財政負担とのバランスや条例改正と市民への周知に要する期間等を十分に検討したうえで、施設の開館日や開館時間を利用実態に即した形に見直す必要がある。例えば、両施設は冬季の利用が少ないため、冬季に休館日を設けたり開館時間を短縮したりすることが考えられる。この点、八尾ゆめの森テニスコートや富山市パークゴルフ場は季節や曜日によって休業日や開業時間を弾力的に運用しており、芸術創造センターや牛岳温泉健康センターはメンテナンス休館日を積極的に活用しているため、参考にされたい。 | |
| 108【意見45】 | 八尾曳山展示館展示室のLED化 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 八尾曳山展示館の展示室には壮麗な曳山が展示されており、同施設の中核的な機能を果たし | |

ている。一方で、現地視察の結果、展示室の照明が部分的に切れていて薄暗くなっていた。指定管理者によれば、他の利用者からも「薄暗くて展示が見えにくい」とのクレームが出ている模様であった。

施設所管課においては、利用者満足度の向上、施設の長寿命化、電気料金削減等の観点から、展示室の電球を LED 化する等の対応を検討することが望まれる。

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、目的外使用料である。八尾おわら資料館と八尾曳山展示館は利用料金制を採用しているため、富山市の施設利用料収入は無い。

富山市の主な歳出は、指定管理料である。指定管理料は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。なお、富山市は令和 2 年度と令和 3 年度にコロナ禍による休館補償を支払っているが、これらの補償金は、休館期間中の収支差額と休館期間に対応する過年度の収支差額との差引で計算されており、計算根拠資料を確認した結果重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、(一社)越中八尾観光協会が非公募で指定管理者に選定されている。富山市は、「地元の要望（地域に密着した信頼のおける団体による管理）や施設の性質を考慮し、地域に密着しおわら風の盆を運営している団体が適格である」と判断し、継続して(一社)越中八尾観光協会を指定管理者に選定している。この点、(一社)越中八尾観光協会は旧八尾町の町民が中心となって長年八尾地域の観光振興を担っており、おわら風の盆を実質的に運営している唯一の団体である。また、指定管理者選定にあたって、地元が「地域に密着した信頼のおける団体による管理」を希望していることから、(一社)越中八尾観光協会は指定管理者として適格であると考えられる。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項が識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料、施設利用料、自主事業収入である。施設利用料については、令和 2 年度以降コロナ禍で観光客が激減し発生額が減少しているが、足元ではおわら風の盆の再開等により回復傾向が認められる。自主事業収入については、指定管理者は両施設を利用して「おわらステージ鑑賞」や「土産物販売」等を行っている。このうち、おわらステージ鑑賞は指定管理者の最も重要な自主事業であり、コロナ禍前は年間利用者が 4,000 人程度、年間収入が 6,000 千円程度となっていた。

指定管理者の主な支出は、人件費である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。

一方で、自主事業収入については、単価設定の面で課題が認められた。また、年度報告書では施設の機能ごとの利用者数が報告されていなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 109【意見 4】 | 自主事業の単価設定の見直し |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（意見 4）を識別している。 |

指定管理者は、八尾おわら資料館や八尾曳山展示館を使用して様々な自主事業を行っているが、それらの単価は長期間見直されておらず、サービスの価値に対して過度に安価になっている可能性がある。例えば、「おわらステージ鑑賞」は八尾曳山展示館のホールでおわらを間近に鑑賞できるイベントとして人気が高いが、料金は大人 1,500 円と廉価になっている。八尾おわらは富山市が世界に誇れる貴重なコンテンツであり、おわら風の盆の観光客数がその評価を裏付けている。おわらステージ鑑賞の鑑賞者は県内外の団体客であるが、彼ら／彼女らは限られた時間の中でここでしか得られない貴重な経験を求めているのであり、観賞料金の安さを求めている訳ではない。

施設所管課においては、指定管理者と協議の上、利用者の意見を広範に収集、分析し自主事業の単価をサービスの価値に見合ったものに引き上げるよう指導していくことが望まれる。なお、指定管理者が既存サービスの値上げに抵抗感を持っている場合は、例えばおわら鑑賞に踊り方教室を組み合わせるなど、参加者の満足度を高める新サービスを開発し、それに対して適正な値決めをするよう指導していくことが考えられる。また、値上げした料金の使途を明確にして利用者に説明できるようにすることも考えられる（例：値上げの一部を文化保存のための

| | |
|---|---|
| 具体的な活動に使用する等)。 | |
| 110【指摘 8】 | 利用状況の報告漏れ |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 8）を識別している。 |
| 条例では、八尾おわら資料館の研修室と八尾曳山展示館のホール、和室、講義室に利用料金が設定されているが、指定管理者はそれらの利用者数を集計・報告していなかった。施設所管課が指定管理業務の成果を評価するとともに、指定管理者と同じ目線で施設の利用促進策を検討するためには、指定管理者から正確な利用状況情報を入手する必要がある。<br>施設所管課においては、指定管理者に対して条例で利用料金が設定されているスペースの利用者数を報告するよう指導する必要がある。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## ２３． 富山市民プラザホール

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 富山市大手町 6 番 14 号 |
| 所管部署 | 文化国際課 |
| 関連条例等 | 富山市民プラザホール条例及び同条例施行規則 |
| 条例に定める施設の目的 | 市民の芸術文化の振興に寄与する |
| 施設の主な建物の概要 | 当施設は、指定管理者が所有する建物（富山市民プラザ）のホールを富山市が賃借しているものであり、富山市自身が所有する建物等は無い。 |
| 開館期間 | 休館日：　12 月 29 日～1 月 3 日<br>開館時間：　9:00～21:00 |
| 公共施設マネジメント方針 | ＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設は、指定管理者が所有する建物（富山市民プラザ）のホールを富山市が賃借しているものであり、富山市自身が所有する建物等は無いため、言及されていない。 |
| | ＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設は、指定管理者が所有する建物（富山市民プラザ）のホールを富山市が賃借しているものであり、富山市自身が所有する建物等は無いため、言及されていない。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | ㈱富山市民プラザ<br>所在地：　富山市大手町 6 番 14 号<br>代表者：　京田　憲明<br>事業概要：　店舗、事務所その他施設の賃貸、公共施設の管理運営受託、駐車場の経営、富山市中心市街地の活性化に関する事業、食料品等の販売、コミュニティバスの運行等<br>富山市との関係：　外郭団体 |
| 指定管理業務の概要 | ● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務 |
| 指定期間 | 5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度） |
| 指定管理料 | 各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書） |

| | |
|---|---|
| | 単位：千円<br>R3: 36,899 / R4: 36,899 / R5: 36,899 / R6: 36,899 / R7: 36,899（指定管理料） |
| 選定方法 | 非公募（外部団体が所有する施設の一部を富山市が賃借し公の施設としているものであり、所有者が施設全体を一体的に管理したほうが合理的かつ効率的であるため） |
| 使用料の帰属 | 富山市（使用料制） |
| 施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係 | 当施設は、指定管理者が所有する建物（富山市民プラザ）のホールを富山市が賃借しているものであり、富山市自身が所有する建物等は無いため、修繕料は全て指定管理者が負担している。 |
| 精算条項 | 有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する） |
| 自主事業提案 | 指定管理選定資料の「自主事業提案書」では「該当無し」となっている。 |
| 収益向上提案 | 指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「該当無し」となっている。 |

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：利用件数

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アンサンブルホール | 「営利以外の催物」と「その他の催物」について利用時間帯に応じて9,900円～71,280円で設定されている | 1 | 159 | 139 | 147 | 64 | 107 |
| マルチスタジオ | 「営利以外の催物」と「その他の催物」について利用時間帯に応じて2,640円～18,920円で設定されている | 2 | 143 | 149 | 117 | 172 | 128 |
| AVスタジオ | 「営利以外の催物」と「その他の催物」について利用時間帯に応じて3,190円～22,880円で設定されている | 3 | 150 | 132 | 113 | 86 | 80 |
| 練習室A、B、C | 利用時間帯に応じて880円～5,830円で設定されている | 4 | 74 | 63 | 61 | 15 | 35 |
| ギャラリーA、B、C、D | 「営利以外の催物」と「その他の催物」について利用時間帯に応じて4,840円～37,620円で設定されている | 5 | 47 | 36 | 32 | 17 | 25 |
| 会議室 | 利用時間帯に応じて1,280円 | 6 | 43 | 37 | 33 | 16 | 17 |

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ～3,340 円で設定されている | | | | | | |
| 付属設備 | 市長が別途定める額とされている | 7 | 235 | 229 | 210 | 74 | 135 |

＜補足コメント＞

※1　アンサンブルホールの利用状況について

283 席の小規模音楽ホールであり、規模の小さいコンサートや発表会等に適している。富山市には当施設に類似する小規模の音楽ホールが殆ど無いため、休日は年間を通じて予約で埋まっている。平日は休日に比べると稼働率が低くなるが、富山市民学習センターの講義等で数コマ利用されたりしている。なお、17 時以降の利用は少なくなっている。

令和 2 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（4 月 15 日～5 月 19 日）や各種イベントの自粛等により利用件数が減少した。令和 3 年度もコロナ禍による新規予約の受付停止期間（8 月 18 日～9 月 26 日）があったが、一方で各種イベントが再開されてきたこと等により利用件数が増加している。

※2　マルチスタジオの利用状況について

音響や照明設備が整った 130 ㎡のスペースであり、小演劇、各種パフォーマンス、研修会等多目的に利用できる。平日の午前は過去から継続してリズム体操の教室(5 つ)が使用している。休日は一般企業の研修会やアンサンブルホール利用者の控室等として利用されている。季節や曜日による極端な利用の偏りはない。

令和 2 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（4 月 15 日～5 月 19 日）や各種イベントの自粛等により利用件数が減少している。なお、指定管理者は利用申請書 1 枚につき利用件数 1 件とカウントしており、従前はリズム体操教室が 1 か月分（4 回分）纏めて 1 枚の申請書で申請していたが、令和 2 年度のみ施設の一斉休業の関係で開催日ごとに申請書を提出してきたため、利用件数が増加したように見えている。

令和 3 年度もコロナ禍による新規予約の受付停止期間（8 月 18 日～9 月 26 日）があったが、一方で各種イベントが再開されてきたこと等により利用件数は回復している。

※3　AV スタジオの利用状況について

100 インチ対応のプロジェクターや各種 AV 機器を備えたスタジオであり、当施設に入居しているテナントの定期イベント（健康食品の販売、モアビューティー講座等）や富山市の会合等で利用されている。季節や曜日による極端な利用の偏りはない。

令和 2 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（4 月 15 日～5 月 19 日）や各種イベントの自粛等により利用件数が減少している。令和 3 年度も、オンライン会議の普及等で対面の会合が減少した結果、利用件数は回復していない。

※4　練習室 A、B、C の利用状況について

防音仕様の小部屋であり、アンサンブルホール利用者がリハーサルを行うために設置された。現在は、リハーサルではなくアンサンブルホール利用者の控室として利用されており、利用頻度は月 2～3 回程度になっている。

令和 2 年度は、アンサンブルホールの利用件数が減少したため練習室の利用件数も減

少した。令和 3 年度はアンサンブルホールの利用件数が回復したため練習室の利用件数も回復している。

※5　ギャラリーA、B、C、D の利用状況について

美術展示に適したギャラリースペースであり、各種展示台やガラス壁面ケースが備え付けられている。美術学校の発表会や卒業展、指定管理が主催する各種イベント等で使用されている。コマ単位での利用が多く、1 日単位での利用は少ない。

令和 2 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（4 月 15 日～5 月 19 日）や各種イベントの自粛等により利用件数が減少したが、令和 3 年度以降は各種イベントの再開等により利用件数が回復している。

※6　会議室の利用状況について

小規模な会議室であり会議利用は殆ど無くカルチャー教室の講師の控室等として利用されている。建物の奥にあり市民の認知度は低く、月数回程度の利用に留まっている。

令和 2 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（4 月 15 日～5 月 19 日）や各種イベントの自粛により利用件数が減少しており、令和 3 年度も回復していない。

※7　付属設備の利用状況について

アンサンブルホールとマルチスタジオで使用できる付属設備の貸出件数である。

令和 2 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（4 月 15 日～5 月 19 日）や各種イベントの自粛等により利用件数が減少したが、令和 3 年度以降は各種イベントの再開等により利用件数が回復している。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 20,224 | 19,208 | 18,602 | 6,186 | 12,212 |
| 目的外使用料 | 2 | － | － | － | － | － |
| **a.歳入実績合計** | | **20,224** | **19,208** | **18,602** | **6,186** | **12,212** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 33,486 | 33,899 | 33,899 | 33,899 | 36,899 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 5,162 | 5,161 | 5,248 | 5,317 | 5,309 |
| **b.歳出実績合計** | | **38,648** | **39,060** | **39,147** | **39,216** | **42,208** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲18,423** | **▲19,851** | **▲20,544** | **▲33,029** | **▲29,995** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲18,189** | **▲18,601** | **▲18,688** | **▲19,073** | **▲22,863** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **▲234** | **▲1,250** | **▲1,856** | **▲13,956** | **▲7,132** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設の利用件数や稼働率により変動する。利用件数の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　目的外使用料について

当施設には自動販売機が設置されているが、施設所管課は目的外使用料を徴収してい

ない。この点、当施設は富山市が賃借しているものであり施設自体が公有財産（行政財産）に該当しないため、行政財産の目的外使用許可や目的外使用料の徴収は不要となる。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

※4　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員 4 人分の人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、対象となる職員は指定管理業務以外の業務も兼務しているため、富山市からの人件費補助金は 1 人 144,900 円/月と実際の人件費より低額になっている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 33,486 | 33,899 | 33,899 | 33,899 | 36,899 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 5,162 | 5,161 | 5,248 | 5,317 | 5,309 |
| **a.収入合計** | | **38,648** | **39,060** | **39,147** | **39,216** | **42,208** |
| 人件費 | 3 | 15,357 | 18,107 | 18,040 | 14,164 | 13,037 |
| 光熱水費 | 4 | 13,326 | 13,620 | 13,609 | 12,233 | 12,644 |
| 委託料 | 5 | 17,951 | 17,836 | 17,955 | 18,531 | 21,331 |
| その他の支出 | | 2,109 | 2,541 | 2,316 | 3,153 | 2,049 |
| **b.支出合計** | | **48,744** | **52,104** | **51,920** | **48,081** | **49,061** |
| **c.収支差額（a-b）** | **6** | **▲10,096** | **▲13,044** | **▲12,773** | **▲8,865** | **▲6,853** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲48,744** | **▲52,104** | **▲51,920** | **▲48,081** | **▲49,061** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、対象となる職員は指定管理業務以外の業務も兼務しているため、富山市からの人件費補助金は 1 人 144,900 円/月と実際の人件費より低額になっている。

※3　人件費について

指定管理者は、受付グループで勤務している常勤契約職員 4 人の人件費を指定管理業務に係る人件費として集計している。なお、指定管理業務のうちアンサンブルホールの設営等は専門知識が必要になるため外部業者に委託しており、受付グループの職員は受付業務や料金収納業務のみを行っている。受付グループの職員はシフト制で勤務してお

り、午前は2人体制、午後は3人体制となっている。本社管理費の配賦は行っていない。

令和3年度の1人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は3,259千円であり、非常勤職員が相応にいることを勘案すると大きな問題は認められない。

※4　光熱水費について

令和3年度の主な内訳は、「電気料（高圧契約）5,329千円」、「ガス代7,062千円」である。電気料は、指定管理対象区域の電気料をメーターで計測して計上している。当施設はLED化が完了しており、こまめな消灯等による節電を心掛けている。なお、指定管理者は過去に電気契約の見直しを検討したが、検討の結果、現契約は非常に有利な条件になっており、現在はそれ以上に有利な条件で契約できないことが判明したため、現契約を継続している。ガス代は空調に使用しており指定管理対象区域の使用量を個別に計測できないため、ガス代の総額を建物全体の面積に対する指定管理部分の面積の比率（18%程度）で按分して計上している。

※5　委託料について

令和3年度の主な内訳は、「ホール設備等管理運営委託12,012千円」、「清掃・机等設営業務7,402千円」、「HP更新・サーバー保守業務1,484千円」等である。

※6　収支差額について

当指定管理者は、受付グループで勤務している常勤契約職員4人の人件費を指定管理業務に係る人件費として集計している。一方で、対象となる職員は指定管理業務以外の業務も兼務しているため、富山市からの人件費補助金は1人144,900円/月と実際の人件費より低額になっている。そのため、上表では多額の収支差額が生じている。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第4章 第1部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、中心市街地の活力と賑わいを取り戻すための都市空間の構築を目的として平成1年に富山市民病院移転跡地に開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

当施設の建物は指定管理者が所有している。富山市は、当施設を建設する際に補助金を効率的に誘致するため指定管理者（富山市民プラザ）を設立し、指定管理者に建物を所有させたうえで、建物の一部を借り上げて指定管理施設としている。

当施設の主な利用者は一般市民や民間企業であり、利用目的はスクールやイベントの開催である。当施設の主な機能は283席の小規模音楽ホール（アンサンブルホール）であり、規模の小さいコンサートや発表会等に利用されている。富山市には小規模音楽ホールが殆ど無いため、休日は年間を通じて予約で埋まっている。令和2年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業や

各種イベント等の中止により利用件数が減少しているが、代替施設が殆ど無いため足元では利用が回復している。

当施設の休館日は年末年始のみであり、営業時間は 9 時～21 時となっている。なお、当施設は平日の稼働率が低下する傾向にあるが、指定管理者は稼働率の低い時期に当施設を使用して各種イベントを開催しており、稼働率を高める工夫を行っている。当施設の主要な機能であるアンサンブルホールでは、利用可能時間の合間が 1 時間に設定されているが、会場設営や片付けは予約された利用可能時間内で実施されているため、1 日に複数団体の使用が可能になっている。

このように、当施設は代替困難な存在であるため、その存在意義は十分に認められる。一方で、施設の利用状況を勘案すると休館日の設定や開館時間に課題が見受けられた。また、機能別に見た場合には稼働率が低い機能が見受けられた。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 111【指摘 11】 | 休館日や開館時間の見直し |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設の休館日は条例で年末年始のみとされているが、平日は稼働率が低くなる傾向にある。また、当施設の開館時間は 9 時～21 時までと長時間になっているが、19 時以降は利用が少なくなっている。この点、利用者数が極端に少ない日や時間帯に施設を開館した場合、市民サービスに比して過大な人件費や光熱水費が発生する可能性がある。<br>施設所管課においては、現在の利用実態を調査、分析し、住民サービスと財政負担とのバランスや条例改正と市民への周知に要する期間等を十分に検討したうえで、施設の開館日や開館時間を利用実態に即した形に見直す必要がある。例えば、当施設は 19 時以降の利用が少ないため、営業時間を短縮し希望がある場合は延長対応することが考えられる。また、平日は利用が少なくなっているため、それらの時期にメンテナンス休館日を設けたり開館時間を見直したりすることが考えらえる。この点、八尾ゆめの森テニスコートや富山市パークゴルフ場は季節や曜日によって休業日や開業時間を弾力的に運用しており、芸術創造センターや牛岳温泉健康センターはメンテナンス休館日を積極的に活用しているため、参考にされたい。 | |
| 112【意見 46】 | 練習室、会議室、ギャラリーの利用促進 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は複数の機能を有するが、特に練習室、会議室、ギャラリーは利用が低迷している。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上利用促進策を検討することが望まれる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料である。施設使用料はイベントやスクールの開催状況に左右されるが、足元ではイベント等が再開されてきており施設使用料は回復傾向にある。また、当施設では、富山市民文化事業団が主催するイベントでの減免（100%減免）や富山市又は教育委員会の後援がある場合の減免（30%減免）が多くなっているが、減免率や減免対象に課題が見受けら

れた。なお、当施設には自動販売機が設置されているが、施設所管課は目的外使用料を徴収していない。この点、当施設は富山市が賃借しているものであり施設自体が公有財産（行政財産）に該当しないため、目的外使用許可や目的外使用料の徴収は不要となる。

富山市の主な歳出は、指定管理料、人件費補助金である。指定管理料及び人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 113【意見 8】 | 使用料減免の範囲、水準の再検討 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |

当施設は、富山市民文化事業団が主催するイベントの減免（100%減免）や富山市又は教育委員会の後援がある場合の減免（30%減免）が多く、多額の使用料減免が発生している。当施設の設置目的は市民文化の向上にあるため、その目的を達成するうえで使用料減免は大切である。一方で、減免対象や減免率は長期間見直されておらず、減免の実態が当初の期待と乖離している可能性も否定できない。富山市の厳しい財政状態を勘案すると、目的や効果が曖昧になっている減免は適宜見直す必要がある。

施設所管課においては、本庁部署と連携しながら減免の実態を調査し、必要に応じて減免対象や減免率を見直すことが望まれる。例えば、以下のような論点を検討することが考えられる。

- 文化事業団減免の一つである富山市美術作家連合会展は、同事業団が主催し使用料を100%減免する意義が曖昧になっているため、過去の経緯や現在の運営体制、他の美術展との平仄（日展は減免していない）等を踏まえて、主催者を富山市美術作家連合会に変更できないか検討する
- 富山市美術展は、富山市主催（減免率 50%）にも関わらず特例で 100%減免となっているため、減免率の妥当性を再検討することが考えられる。なお、富山市美術展の開催は施設所管課にとって事務負担が非常に大きいため、富山市美術作家連合会展の運営ノウハウを有する富山市民文化事業団への委託に切り替えることも併せて検討するべきである。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、外郭団体であり建物の所有者である㈱富山市民プラザが非公募で指定管理者に選定されている。富山市は、「外郭団体の所有する施設の一部を賃借しており、所有者が施設全体を一体管理することが合理的かつ効率的」と判断し、継続して㈱富山市民プラザを指定管理者に選

定している。この点、建物の一部を指定管理施設とする場合に建物の所有者を指定管理者とすることは、施設管理業務の効率性、有効性の観点から合理的である。また、当施設は富山市のまちづくり政策と密接に連携した運営が求められるため、人員や情報の共有が図りやすい外郭団体が運営することには合理性がある。

このように、㈱富山市民プラザが非公募で指定管理者に選定されることには相応の合理性が認められる。一方で、当施設は、富山市が建物の一部を借り上げて指定管理施設としているが、施設所管課や指定管理者と意見交換した際に指定管理区域の認識が曖昧になっていた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 114【意見 47】 | 指定管理対象区域の明確化 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、富山市が建物の一部を借上げて指定管理施設としているが、施設所管課や指定管理者と意見交換した際に指定管理区域の認識が曖昧になっていた。指定管理対象区域が曖昧になっている場合、指定管理業務に過不足が生じてしまう恐れがある。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、指定管理対象区域の平面図を共有することで指定管理対象区域の認識共有を図ることが望まれる。 | |

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料、補助金である。なお、指定管理者は当施設で自主事業を営んでいるが、年度報告書には記載していない。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費、委託料である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費については、大規模施設であり電気料やガス代（空調用）が高額になっているが、現在の電気契約が非常に有利な条件になっていることや LED 化が完了していることから、重大な問題はないと判断する。委託料については、指定管理者は音響関係を全て外部委託しており、施設利用時に委託先のスタッフ 1 名が専従している。関連資料を査閲したが、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。その他、指定管理者は監査法人の会社法監査を受けており、財務諸表の適正性について一定の信頼性が保たれている。

一方で、年度報告書を査閲した結果、コマ単位の施設稼働率が報告されていなかった。また、指定管理業務に係る人件費について、他の業務に従事した時間の按分計算が行われていなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 115【指摘 7】 | 自主事業の実績報告漏れ |

| | |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 7）を識別している。 |
| 指定管理者は、当施設を使用して自主事業（各種イベント）を行っているが、年度報告書で自主事業収支を報告していない。自主事業の実施結果は指定管理業務の成果（市民サービスや施設の有効利用の向上）を評価するうえで重要な判断材料になる。<br>施設所管課においては、年度報告書で自主事業収支を区分報告するよう指定管理者に指導する必要がある。 | |
| 116【指摘 8】 | 稼働率計算の精緻化 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 8）を識別している。 |
| 指定管理者は、年度報告書で機能別の利用件数を報告しているが、稼働率を報告していない。施設所管課が指定管理業務の成果を評価するとともに、指定管理者と同じ目線で施設の利用促進策を検討するためには、指定管理者から正確な稼働率情報を入手する必要がある。<br>施設所管課においては、指定管理者に対して条例で使用料金が決められている機能別に稼働率を報告するよう指導する必要がある。この点、同じ指定管理者が管理しているまちなか賑わい広場では月毎の稼働率を報告しているため、参考にされたい。また、稼働率の算定にあたっては、利用状況を正確に把握するため時間別の稼働率や利用件数を報告することが望まれる。 | |
| 117【指摘 9】 | 指定管理業務に係る人件費計算の精緻化 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |
| 指定管理者は、受付グループで勤務している常勤契約職員 4 人の人件費を指定管理業務に係る人件費として集計している。一方で、対象となる職員は指定管理業務以外の業務も兼務しているが、指定管理者は人件費を按分計算していない。<br>施設所管課においては、職員の稼働実績を踏まえて人件費を指定管理業務とそれ以外に区分するよう指定管理者に指導する必要がある。なお、当該按分を行った結果、人件費補助金に過不足が発生する場合は、補助金額の見直しを検討することが望まれる。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## ２４． 富山国際会議場

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市大手町 1 番 2 号</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>観光政策課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山国際会議場条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>市民文化の向上及び国際交流の促進を図る</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積<br>（㎡）</th><th>建設費<br>（千円）</th></tr>
<tr><td>国際会議場</td><td>H11</td><td>47</td><td>25</td><td>1,477.81</td><td>846,741</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>開館期間</td><td>休館日：　12 月 29 日～1 月 3 日<br>開館時間：　9:00～21:00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「産業系施設」については、利用率の低い施設は改善を行いつつ、現在の社会環境から見たニーズに合わせた施設の普及促進を検討し、維持管理する。設置当初との社会環境の変化から時代のニーズに合わなくなった施設は更新を行わないこととする。<br>また、富山市の産業振興に資するため、今後も富山市が保有していく施設については、長期的な改修計画を策定するとともに、利用者の安全性と利便性等を考慮し適切な施設改修・設備更新を実施する。<br>その他、利用者の利便性向上及び収益性の向上に向け、運営体制の見直しを検討する。</td></tr>
<tr><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

<table>
<tr><td>指定管理者</td><td>富山大手町コンベンション㈱<br>所在地：　富山市大手町 1 番 2 号<br>代表者：　藤井　裕久<br>事業概要：　施設の賃貸に関する事業、不動産賃貸事業、会議場等の管理運営の受託に関する事業、駐車場の経営等<br>富山市との関係：　外郭団体</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 富山国際会議場条例第 3 条第 1 号から第 6 号までに掲げる施設の使用の承認に関する業務</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>3 年間（令和 3 年度～令和 5 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円<br><table><tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>指定管理料</td><td>130,834</td><td>130,302</td><td>130,952</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>非公募（外部団体が所有する施設の一部を富山市が賃借し公の施設としているものであり、所有者が施設全体を一体的に管理したほうが合理的かつ効率的であるため）</td></tr>
<tr><td>利用料の帰属</td><td>指定管理者（利用料金制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円<br><table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>8,000</td><td>8,000</td><td>8,000</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。<br><table><tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr><tr><td>備品等の有償貸出事業</td><td>利用者の利便性向上のため、条例規則の定め以外の備品（レーザーポインター、表彰盆、国旗・市旗等）を貸出し、利用者の利便性向上を図る</td><td>特に記載なし</td></tr><tr><td>自動販売機の設置</td><td>各フロアーに自動販売機を 1 台設置し利用者の利便性向上を図る</td><td>76 千円程度</td></tr><tr><td>飲み物の販売</td><td>食品衛生の観点から飲料を持ち込み禁止とし、指定管理者が手配する</td><td>64 千円程度</td></tr><tr><td>弁当、ケータリング等の取次</td><td>食品衛生の観点から食品を持ち込み禁止とし、指定管理者が手配する</td><td>104 千円程度</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>● 適正な管理委託料への見直し（地代を基礎とする算定方法から費用の積み上げによる算定方法に変更）<br>● 適正な賃貸料への見直し<br>● 富山市の減免制度の運用の見直しと減免による収入減の補填の要請</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | ● 減資による外形標準課税の免除（課税額 5,150 千円）<br>● 休館等に伴う施設利用料の減収分について指定管理料の補填を要請<br>● 国の持続化給付金の申請（2,000 千円受領済み）<br>● 清掃、施設管理、駐車場管理等で時短や減員による委託料を節減<br>● 予約の入っていない日は臨時休館とし、光熱水費や維持管理料を節減 |

イ．施設の利用料及び利用者数の状況

単位：実利用日数（稼働率）

| 種別 | 条例に定める利用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| メインホール | 利用時間帯に応じて 30,690 円～168,740 円で設定されている | 1 | 194 (56%) | 190 (56%) | 152 (55%) | 73 (21%) | 116 (34%) |
| 多目的会議室(201-204) | 利用時間帯に応じて 12,210 円～29,260 円で設定されている | 1 | 1,058 (77%) | 1,080 (79%) | 837 (75%) | 401 (29%) | 681 (50%) |
| 会議室(205-206) | 条例の会議室 1、2 であり利用時間帯に応じて 4,950 円～14,190 円で設定 | 1 | 448 (65%) | 461 (67%) | 366 (65%) | 177 (26%) | 268 (39%) |
| 特別会議室 | 利用時間帯に応じて 18,370 円～44,220 円で設定されている | 1 | 182 (53%) | 201 (58%) | 156 (55%) | 43 (12%) | 105 (30%) |
| 交流ギャラリー | 利用時間帯に応じて 11,330 円～27,170 円で設定されている | 1 | 194 (56%) | 219 (63%) | 121 (43%) | 17 (5%) | 26 (7%) |
| 会議室(101) | 条例の会議室 3 であり利用時間帯に応じて 3,630 円～8,690 円で設定 | 1 | | | | 19 (5%) | 37 (10%) |
| **合計** | | | **2,076 (67%)** | **2,151 (70%)** | **1,632 (64%)** | **730 (21%)** | **1,233 (36%)** |

＜補足コメント＞

※1　利用者数について

令和 1 年度は、1～2 月に施設の大改修を行い休館していたため稼働率が低下している。令和 2 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（4 月 16 日～5 月 31 日）により稼働率が低下している。令和 3 年度もコロナ禍による新規予約の受付停止期間（令和 3 年 8 月 20 日～9 月 12 日）があったため、稼働率が低下している。

なお、会議室（101）は令和 2 年 1～2 月に当施設を大改修した際に喫煙スペースを会議室に改装したものであり、それ以前は存在しなかった。

その他、当施設は時間区分単位での利用が可能だが、稼働率は分母を営業日数、分子を稼働日として計算しており、1 日 1 コマ(最小 3 時間)でも使用すれば稼働日として分

子に含まれるようになっている。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設利用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | － | － | － | － | － |
| 運営費補助金収入 | 3 | 28,597 | 28,849 | 26,081 | 20,538 | 69,290 |
| **a.歳入実績合計** | | **28,597** | **28,849** | **26,081** | **20,538** | **69,290** |
| 委託料（指定管理料） | 4 | 42,081 | 42,081 | 42,471 | 42,861 | 130,834 |
| 委託料（コロナ補助） | 4 | － | － | － | 9,341 | － |
| 補助金（指定管理運営） | 5 | 26,462 | 26,462 | 26,462 | 26,462 | 10,280 |
| 補助金（その他） | 6 | － | － | 1,928 | 66,995 | 200,622 |
| 保険料 | | 155 | 155 | 159 | 161 | 159 |
| 借上料 | 7 | 80,265 | 81,083 | 72,783 | 37,000 | 43,710 |
| 機械器具費 | | － | － | － | 1,041 | － |
| **b.歳出実績合計** | | **148,963** | **149,781** | **143,803** | **183,862** | **385,606** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲120,366** | **▲120,932** | **▲117,722** | **▲163,324** | **▲316,316** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲121,116** | **▲120,932** | **▲115,794** | **▲244,960** | **▲312,082** |
| **e.予実差異(c-d)** | 8 | **750** | **－** | **▲1,928** | **81,635** | **▲4,233** |

＜補足コメント＞

※1　施設利用料について

当施設は利用料金制であり、富山市の施設利用料収入はない。

※2　目的外使用料について

当施設には自動販売機が設置されているが、施設所管課は目的外使用料を徴収していない。この点、当施設は富山市が賃借しているものであり施設自体が公有財産（行政財産）に該当しないため、行政財産の目的外使用許可や目的外使用料の徴収は不要となる。

※3　運営費補助金収入について

富山県からの補助金収入であり、内訳は元利償還金補助金と運営費補助金に区分されている。富山市と富山県は「大手町地区整備に係る確認書（平成7年11月30日付）」で以下のとおり負担割合を決定しており、富山市はこれに基づく県負担分を計上している。

- 施設整備に係る負担の対象は出資金及び借入償還金（利子を含む）とし、負担割合は市が2/3、県が1/3とする
- 運営費に係る負担割合は市3/4、県1/4とし、県の負担限度額は県有地の土地貸付料年額とする

なお、当施設は令和2年1～2月に施設の大改修を実施しており、令和2年度以降の元利償還金補助金が増加している。一方で、令和2年度は、令和1年度決算の大改修工事に関連して多額の消費税還付が発生したため、その分富山県の施設整備に係る負担（元

利償還金補助金）が減少している。

※4　委託料（指定管理料）及び委託料（コロナ補助）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、従来は指定管理料を「富山県への支払地代×4」で計算していたが、地価の下落により富山県への支払地代が減少し指定管理業務を遂行するためのコストを賄えなくなっていたため、令和 3 年度以降は、指定管理業務に必要なコストを積算しそれに相当する金額だけ指定管理料を支払う方法に変更した。その際、コロナ禍で令和 3 年度～5 年度の施設利用料の正確な見積が困難であったため、最悪シナリオで見積もりを行った結果、指定管理料が大きく増加している。

その他、令和 2 年度は、通常の指定管理料に加えてコロナ禍による休館補償 9,341 千円が支出されている。当該休館補償は、休館期間中の収支差額と休館期間に対応する令和 1 年度の収支差額との差引で計算されており、計算根拠資料を確認したが重大な問題は認められなかった。なお、令和 3 年度もコロナ禍による新規予約の受付停止期間（令和 3 年 8 月 20 日～9 月 12 日）があったが、上述のとおり指定管理料の計算方法を変更し施設稼働率 20%前提で指定管理料を支払った結果、実際の施設稼働率が 20%を大きく上回り指定管理料が余ってしまったことから、休館補償を支払わなかった。

※5　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

令和 3 年度は、㈱ホクタテに施設管理業務及び施設運営業務を一括委託した結果、指定管理者の役職員 8 名のうち 5 名が㈱ホクタテに転籍などすることになったため補助金が減少している。

※6　補助金（その他）について

令和 3 年度の内訳は、「元利償還金補助金 172,388 千円」、「運営費補助金 24,000 千円」及び「コロナ禍に伴う指定管理者支援補助金 4,233 千円」である。

元利償還金補助金は、施設の大規模修繕等を行った際に指定管理者が実施する外部借入の元利償還金を負担するものである。当施設は令和 2 年 1～2 月に施設の大改修を実施しており、令和 2 年度以降の元利償還金補助金が増加している。一方で、令和 2 年度は、令和 1 年度決算の大改修工事に関連して多額の消費税還付が発生したため、その分富山市の施設整備に係る負担（元利償還金補助金）が減少している。「※3 運営費補助金収入」に記載の通り、当該補助金の 1/3 は県が負担している。

大手町コンベンション㈱運営費補助金は、指定管理者の本部人件費及び本部経費を補助するものである。令和 1 年度までは当施設の建物賃借料に含めて支払っていたが、令和 2 年度から対応コストを明確にするため補助金として区分された。

「コロナ禍に伴う指定管理者支援補助金」は、富山市の方針で、利用予定が令和 2 年 3 月 2 日以降であり予約日が 6 月 7 日までのものについて使用のキャンセルに係る使用

料等を請求しないこととしたが、それにより生じた指定管理者の追加損失を補填するものである。富山国際会議場条例施行規則第 8 条では、使用期日の 10 日前までにキャンセルする場合は、指定管理者は予約者に対して既納利用料の 70%を返金すれば良いことになっている。一方で、今回は富山市による一方的かつ全面的なキャンセルであったため、市の方針で 100%返金することになり、差額の 30%相当を指定管理者に補助金として支出した。

※7　借上料について

富山市は、富山市、富山県、指定管理者の共同所有になっている当施設の建物を一括借上げし、指定管理者に借上料を支払っている。

令和 1 年度までは、元利償還金相当額、イベント経費、備品購入費等を積み上げて借上料を計算していた。令和 2 年度以降は、施設コストとの対応関係を明確にするため借上料の範囲を必要最低限に変更し、指定管理者が支払った固定資産税と富山県向け借地料の合計額を借上料として支払うことになった。そのため発生額が減少している。

※8　予実差異について

上記※3 及び※4 のとおり、令和 2 年度に消費税還付があったため元利償還金補助金が想定よりも少なくなっており、多額の予実差異が発生している。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円（税抜）

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 38,963 | 38,963 | 38,964 | 38,964 | 118,940 |
| コロナ補助(富山市) | 2 | － | － | － | 9,341 | － |
| キャンセル補助(富山市) | 2 | － | － | 1,928 | 16,864 | 4,233 |
| 運営費補助(富山市) | 2 | － | － | － | 24,000 | 24,000 |
| 補助金収入(富山市) | 3 | 26,462 | 26,462 | 26,462 | 26,462 | 10,280 |
| 賃貸料（富山市） | 4 | 74,319 | 75,076 | 66,773 | 33,636 | 39,736 |
| 会議場施設使用料 | 5 | 53,110 | 56,867 | 46,423 | 18,978 | 39,622 |
| 会議場備品使用料 | 5 | 26,967 | 28,350 | 23,160 | 8,627 | 21,489 |
| 駐車場売上 | 6 | 64,072 | 60,472 | 60,470 | 36,353 | 47,827 |
| その他の収入 | 7 | 23,819 | 23,063 | 19,238 | 5,146 | 5,130 |
| **a.収入合計** | | **307,715** | **309,257** | **283,419** | **218,371** | **311,260** |
| 人件費 | 8 | 40,172 | 42,234 | 42,021 | 33,612 | 14,067 |
| 光熱水費 | 9 | 36,387 | 37,594 | 32,675 | 21,323 | 21,602 |
| 修繕料 | 10 | 3,530 | 6,318 | 63,343 | 4,772 | 22,829 |
| 租税公課 | 11 | 33,982 | 34,098 | 35,318 | 29,041 | 36,711 |
| 業務委託料 | 12 | 113,121 | 112,325 | 106,982 | 89,327 | 124,659 |
| その他支出 | | 31,990 | 30,498 | 32,207 | 29,057 | 32,503 |
| **b.支出合計** | | **259,182** | **263,067** | **312,546** | **207,132** | **252,371** |
| **c.収支差額（a-b）** | **13** | **48,532** | **46,190** | **▲29,127** | **11,239** | **58,889** |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲91,212** | **▲94,311** | **▲163,254** | **▲138,026** | **▲138,300** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。なお、上表は税抜ベースで作成されているため、上記ウ．の富山市による指定管理料支出（税込）とは一致しない。

※2　コロナ補助(富山市)、キャンセル補助(富山市)、運営費補助(富山市)について

内容は、「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。なお、富山市はこれ以外で元利償還金補助金を交付しているが、元本償還部分は指定管理者の収益にならないこと、利息部分は対応する支払利息を上表で含めていないことから、上表には記載しないこととする。

※3　補助金収入（富山市）について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、指定管理者は指定管理業務以外で駐車場業務や法人管理業務を行っており、人件費を各事業に按分している。このうち補助金の対象となるのは指定管理業務に係る人件費のみであるため、上表の人件費と補助金収入との間に差が生じている。人件費の按分資料を査閲したが、按分後の指定管理業務に係る人件費と補助金収入とは整合しており問題は認められなかった。

※4　賃貸料（富山市）について

内容は、「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」の「※7 借上料について」を参照のこと。なお、上表は税抜ベースで作成されているため、上記ウ．の富山市による借上料支出（税込）とは一致しない。

※5　会議場施設使用料及び会議場備品使用料について

当施設は利用料金制であり、施設利用料は指定管理者の収入となっている。施設利用料は稼働率により変動する。稼働率の推移等は、「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

※6　駐車場売上について

指定管理業務以外で指定管理者が独自に営んでいる地下駐車場に係る売上である。当施設の駐車場は近隣のホテルの指定駐車場となっており、主な利用者は当施設の利用者と同ホテルの宿泊者等である。このうち、同ホテルの宿泊者分については、指定管理者は宿泊者のチェックイン～チェックアウト時間に係る駐車料金の 1/2 相当（概ね 1,800 円程度）を同ホテルに請求している。

令和 2 年度以降は、コロナ禍で当施設や近隣のホテルの利用者が大幅に減少した結果、発生額が減少している。なお、当施設の駐車場は、立地的に個人や企業の利用が殆ど見

込めないこと、大規模な会議が開催されるときに空きスペースを確保する必要があること等を勘案し、定期券の販売は行っていない。

※7　その他の収入について

主な内訳は、当施設 1 階に所在するカフェでの飲食売上である。

令和 2 年度以降はカフェを休止しており、発生額が大きく減少している。

※8　人件費について

当施設で勤務している富山市 OB1 人、富山県 OB1 人、嘱託職員 1 人の人件費である。

指定管理者は、令和 2 年度まで施設の維持管理業務や運営業務を個別に外部委託していたが、令和 3 年度から全て㈱ホクタテに一括委託するようになった。その結果、指定管理者の役職員 8 人のうち 5 人が㈱ホクタテに転籍などし、人件費が大きく減少している。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 4,689 千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

※9　光熱水費について

令和 3 年度の主な内訳は、「電気料（高圧契約）16,458 千円」、「ガス代 3,503 千円」である。

令和 1 年度は、1～2 月に施設の大改修を行い休館していたため光熱水費が減少している。令和 2 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（4 月 16 日～5 月 31 日）があったことに加え、経費削減のため予約が無い日に全館空調を停止した結果、光熱水費が大きく減少している。令和 3 年度も、コロナ禍により 8 月 20 日～9 月 12 日に新規予約を停止していたことに加え、予約が無い日に全館空調を停止した結果、電気料等の単価上昇があったにも関わらず発生額は抑制できている。

※10　修繕料について

令和 3 年度の主な内訳は、「自動火災報知設備感知器更新工事 5,592 千円」、「3 階クロークの倉庫への改修工事 2,200 千円」等である。

※11　租税公課について

令和 3 年度の主な内訳は「固定資産税 36,546 千円」である。

※12　業務委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「㈱ホクタテへの施設管理及び運営委託料 118,722 千円」等である。指定管理者は、令和 2 年度まで施設の維持管理業務や運営業務を個別に外部委託していたが、令和 3 年度から全て㈱ホクタテに一括委託するようになった。その結果、指定管理者の役職員 8 人のうち 5 人が㈱ホクタテに転籍などしており、その人件費分も㈱ホクタテの委託料に含まれている。

※13　収支差額について

令和 3 年度は、コロナ禍で令和 3 年度～5 年度の施設利用料の正確な見積が困難であったため最悪シナリオで見積もりを行ったが、実際には施設利用料が上振れしたため収支差額が大きくなっている。なお、指定管理料の過払い分は指定管理最終年度（令和 5 年度）に精算条項に基づいて精算される予定である。

その他、上表では指定管理者に毎期多額の利益が発生しているように見えるが、実際には別途建物等の減価償却費（駐車場事業と本部管理で計上しており令和 3 年度は 67,213 千円）が計上されているため、殆ど利益は発生していない。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、中心市街地再開発の一環で平成 11 年に富山保健所移転跡地に開設された。当施設は近隣のホテルと地下 1 階通路で繋がっており、一体として複合的に利用する事ができる。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

当施設の土地は富山県が所有している。当施設の建物は 80%相当を指定管理者が所有し、20%相当を富山県と富山市が共同所有している。富山市は、当施設を建設する際に補助金を効率的に誘致するため指定管理者（富山大手町コンベンション㈱）を設立し、指定管理者に建物の大部分を所有させたうえで、建物全体を借り上げて指定管理施設としている。

当施設の主な利用者は自治体や民間企業であり、利用目的は会議やイベント開催である。当施設は県内随一の大規模コンベンションセンターであり、コロナ禍前は 70%程度の稼働率（日数ベース）を維持できていた。一方で、令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業や各種会議等の中止により稼働率が大幅に低下している。足元では県外利用は回復の目途が立っていないが、代わりに地元利用が大幅に増加している。

当施設の主な機能はメインホールと多目的会議室である。メインホールは、利用時に設備運営人員を 2 人専従させる必要があるため、短時間利用の場合は赤字になってしまう。一方で、多目的会議室は専従が不要であり、また間仕切りで部屋の大きさを自由に変更できるため、採算を確保しやすくなっている

当施設の休館日は年末年始のみであり、営業時間は 9 時～21 時となっている。なお、当施設は GW、お盆、冬季に稼働率が低下する傾向にあり、それらの時期は予約の受付開始日を前倒しすることで稼働率を高める努力をしている。

このように、当施設は富山県を代表する大規模コンベンションセンターであり、他の施設が代替困難な存在であるため、その存在意義は十分に認められる。一方で、施設の利用状況を勘案すると休館日の設定や開館時間に課題が見受けられた。また、当施設では遊休になっているスペースが見受けられ、施設の有効活用の面で課題が見受けられた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 118【指摘 11】 | 休館日や開館時間の見直し |

| | |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設の休館日は条例で年末年始のみとされているが、GW、お盆、冬季は稼働率が低くなる傾向にある。また、当施設の開館時間は 9 時～21 時までと長時間になっているが、夜間の利用が殆ど無くなっている。この点、利用者数が極端に少ない日や時間帯に施設を開館した場合、市民サービスに比して過大な人件費や光熱水費が発生する可能性がある。また、当施設を利用するためには 10 日前までの事前予約が必要であり、かつ、施設の性質上市民が気軽に来訪してくることもないため、予約が無い日に施設を一般開放しておく必要性が乏しい。<br>施設所管課においては、現在の利用実態を調査、分析し、住民サービスと財政負担とのバランスや条例改正と市民への周知に要する期間等を十分に検討したうえで、施設の開館期間や開館時間を利用実態に即した形に見直す必要がある。例えば、当施設は予約が無い日に一般開放しておく必要性が乏しいため、光熱水費を節約するためにもそれらの日に入口を閉鎖する取り組みを恒常化することが考えられる。また、夜間の時間帯の利用が殆ど無くなっているため、営業時間を短縮し希望がある場合は延長対応することが考えられる。その他、GW、お盆、冬季は利用が少なくなっているため、それらの時期に休館日を設けたり開館時間を見直したりすることが考えらえる。この点、八尾ゆめの森テニスコートや富山市パークゴルフ場は季節や曜日によって休業日や開業時間を弾力的に運用しており、芸術創造センターや牛岳温泉健康センターはメンテナンス休館日を積極的に活用しているため、参考にされたい。 | |
| 119【意見 48】 | メインホールの円滑な利用 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設のメインホールは利用時間区分の合間が 1 時間となっている。一方で、メインホールは利用のための改装に最低 2 時間を要するため、現状の利用時間区分では 1 日に 2 団体以上が利用することが困難になっている。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、メインホールを円滑に利用するための施策を検討することが望まれる。例えば、改装に要する時間を踏まえて条例が定める利用時間区分の設定を見直すことが考えられる。また、改装や準備を利用可能時間の中で実施することも考えられる。この点、類似の機能を有する富山市民プラザホール（アンサンブルホール）では、改装や準備を利用可能時間の中で実施しているため、参考にされたい。 | |
| 120【意見 49】 | カフェギャラリーの利活用 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設の 1 階には市民の利用を想定したカフェギャラリーが設置されていたが、現在は休止中となっている。カフェギャラリーはコロナ禍前から利用が著しく低迷していたが、これは、当施設が大規模な会議やイベントを開催するための施設であり一般市民と殆ど接点が無かったことや、立地的に周辺を散歩する人が殆どいなかったことに起因する。<br>施設所管課においては、当施設の存在意義や利用実態を整理したうえで、カフェギャラリーの利活用方針を検討することが望まれる。例えば、カフェギャラリーとしての利活用が難しい場合は、これを廃止したうえで利用者ニーズの高い多目的ホールの一部として活用することが考えられる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、富山県からの運営費補助金収入である。運営費補助金収入は「大手町地区整備に係る確認書（平成 7 年 11 月 30 日付)」に基づき富山県が負担している施設整備や運営に係る負担金である。なお、当施設は利用料金制を採用しているため、富山市の施設利用料収入は無い。一方で、指定管理者は富山市が定めた減免基準に基づき施設利用料を減免しているが、学校使用時の減免（50%減免）や富山市又は教育委員会の後援がある場合の減免（30%減免）が多くなっている。その他、当施設には自動販売機が設置されているが、施設所管課は目的外使用料を徴収していない。この点、当施設は富山市が賃借しているものであり施設自体が公有財産（行政財産）に該当しないため、行政財産の目的外使用許可や目的外使用料の徴収は不要となる。

富山市の主な歳出は、指定管理料、その他補助金である。指定管理料は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。その他補助金は元利償還金補助金、運営費補助金及びコロナ禍に伴う指定管理者支援補助金である。借上料は当施設の建物の一括借上料である。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 121【意見 8】 | 使用料減免の範囲、水準の再検討 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、学校使用時の減免（50%減免）や富山市又は教育委員会の後援がある場合の減免（30%減免）が多く、多額の利用料減免が発生している。当施設の設置目的は市民文化の向上や国際交流にあるため、その目的を達成するうえで利用料減免は大切である。一方で、減免対象や減免率は長期間見直されておらず、減免の実態が当初の期待と乖離している可能性も否定できない。富山市の厳しい財政状態を勘案すると、目的や効果が曖昧になっている減免は適宜見直す必要がある。<br>施設所管課においては、本庁部署と連携しながら減免の実態を調査し、必要に応じて減免対象や減免率を見直すことが望まれる。例えば、学校減免に関しては、学校が利用する場合に一律減免するのではなく、減免の目的を明確にしたうえで当該目的と整合的な使われ方をしているか、という目線で整理することが考えられる（学校利用であっても教育や文化振興に寄与しない目的で利用される場合もあり得るため)。また、後援減免に関しては、後援の定義等が曖昧になっている可能性があるため、定義の見直しを実施したうえで減免の必要性を再検討することが考えられる。 | |

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては

「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、外郭団体であり建物の所有者である富山大手町コンベンション㈱が非公募で指定管理者に選定されている。富山市は、「外部団体の所有する施設の一部を賃借しており、所有者が施設全体を一体管理することが合理的かつ効率的」と判断し、継続して富山大手町コンベンション㈱を指定管理者に選定している。この点、建物の一部を指定管理施設とする場合、建物の所有者を指定管理者とすることは施設管理業務の効率性、有効性の観点から合理的である。また、当施設は富山市のまちづくり政策と密接に連携した運営が求められるため、人員や情報の共有が図りやすい外郭団体が運営することには合理性がある。

このように、富山大手町コンベンション㈱が非公募で指定管理者に選定されることには相応の合理性が認められる。一方で、基本協定書を確認した結果、指定管理者が行う業務の範囲に「利用料の徴収に関する業務」が記載されていなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 122【意見 3】 | 基本協定書への利用料徴収業務の記載漏れ |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する意見（意見 3）を識別している。 |
| 基本協定書を査閲した結果、管理業務の範囲（第 3 条）の箇所に「利用料の徴収に関する業務」が記載されていなかった。なお、第 3 条には「上記の他、管理に関して市長が必要と認める業務」の記載があるが、利用料の徴収は指定管理業務の重要要素であり基本協定書に明記すべきと考える。<br>施設所管課においては、基本協定書を更改する際に、管理業務として「利用料の徴収に関する業務」を記載することが望まれる。 | |

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料、補助金、施設利用料である。

指定管理者の主な支出は、光熱水費、業務委託料である。光熱水費については、全館空調の大規模施設であるため電気料、ガス代（空調用）とも高額になっている。なお、指定管理者は施設所管課と協議の上、事前予約のない日に施設入口を閉鎖し全館空調を停止することで、光熱水費の削減に努めている。業務委託料については、㈱ホクタテへの施設管理及び運営委託料等である。指定管理者は、令和 2 年度まで施設の維持管理業務や運営業務を個別に外部委託していたが、令和 3 年度から㈱ホクタテに一括委託するようになった。その結果、指定管理者の役職員 8 人のう

ち 5 人が㈱ホクタテに転籍などしており、その人件費分も㈱ホクタテの委託料に含まれている。当施設の運営や維持管理を全般的に委託しているものであり、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。その他、指定管理者は以前大手監査法人の会社法監査を受けており、財務諸表の適正性について一定の信頼性が保たれている。

一方で、年度報告書を査閲した結果、施設の稼働率が日数ベースで計算されているという課題が識別された。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 123【指摘 8】 | 稼働率計算の精緻化 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 8）を識別している。 |
| 指定管理者は、年度報告書で施設の機能別に日数ベースの稼働率を報告している。一方で、当該計算方法によった場合、1 日 1 コマの利用でも稼働率が 100%となってしまい、稼働の実態が分かりにくくなる可能性がある。施設所管課が指定管理業務の成果を評価するとともに、指定管理者と同じ目線で施設の利用促進策を検討するためには、指定管理者から正確な稼働率情報を入手する必要がある。<br>施設所管課においては、指定管理者に対して稼働率計算の精緻化を指導することが望まれる。例えば、日数ベースの稼働率に加えて「利用コマ数÷利用可能コマ数」の計算式で稼働率を算定することが考えられる。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## ２５．恵光学園

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>恵光学園：　富山市石坂新 950 番地 1<br>こども発達支援室：　富山市総曲輪四丁目 4 番 8 号</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>障害福祉課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市恵光学園条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）第 35 条第 3 項に基づき、知的障害の児童に日常生活における基本的動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を提供する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積<br>（㎡）</th><th>建設費<br>（千円）</th></tr>
<tr><td>恵光学園</td><td>H7</td><td>22</td><td>－</td><td>852.93</td><td rowspan="2">273,053</td></tr>
<tr><td>恵光学園車庫</td><td>H7</td><td>17</td><td>－</td><td>32.00</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>開園期間</td><td>休園日：　12 月 29 日～1 月 3 日、土曜日、日曜日、祝日<br>開園時間：　8:30～17:00</td></tr>
<tr><td>公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「障害福祉施設」については、類似施設が少ないことから、当面は引き続き施設を運用していくが、民営化が図れると判断できた場合は、実績のある社会福祉法人等への移管を進める。移管が困難な施設は、計画的な修繕・改修により長寿命化を図る。<br>また、利用者の利便性向上に向け、民間のノウハウを活用しながら専門職の安定的な確保を含めサービス水準の向上や運営の効率化を図る。<br>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

<table>
<tr><td>指定管理者</td><td>（社福）富山市桜谷福祉会<br>所在地：　富山市山岸 95 番地<br>代表者：　篁　恵子<br>事業概要：　特別養護老人ホームの経営、幼保連携型認定こども園の経営、障害児通所支援事業、障害者相談支援事業等<br>富山市との関係：　特記事項無し</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和2年度締結の基本協定書）<br>単位：千円<br><table><tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>指定管理料</td><td>53,945</td><td>53,945</td><td>53,945</td><td>53,945</td><td>53,945</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>非公募（施設の性格や設置目的、富山市の政策的な方針等に照らし、特定の団体を指定することに合理性があるため）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>使用料が無料の施設であり該当無し。</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円<br><table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>600</td><td>600</td><td>600</td><td>600</td><td>600</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者が外郭団体以外であるため）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では「該当無し」となっている。</td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>● 児童発達支援センター、児童発達支援事業において、通常の療育のほかに作業療法士等の専門職による運動教室、大きなプールでの水遊び体験、どろんこ遊び、ボディペインティング等、家庭や他施設で経験しにくいダイナミックな遊びや専門職からのアドバイスを受ける機会を設けることで、療育日数・出席率の向上を図る。<br>● 土・日曜日に様々な行事を行うことで、平日仕事等のために育児に参加しにくい父親の参加率を高める。また、父親参観やその後の研修会を通じて子供の障害や将来について考える機会を与えていく。</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

① 恵光学園

| 種別 | 補足説明 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 児童発達支援センター | 1日当たりの平均利用人数（人） | 1 | 38 | 37 | 37 | 37 | 37 |
| 児童発達支援事業 | 1日当たりの平均利用人数（人） | 2 | 9 | 7 | 7 | 8 | 7 |
| 障害者相談支援事業 | 相談件数（件） | 3 | 831 | 1,145 | 2,008 | 2,016 | 1,442 |
| | 計画作成件数（件） | 3 | 182 | 252 | 381 | 406 | 371 |
| 保育所等訪問支援 | 年間延べ利用人数（人） | 4 | 17 | 22 | 15 | 17 | 47 |
| 日中一時支援 | 年間延べ利用人数（人） | 5 | － | 1 | － | － | － |

| 種別 | 補足説明 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業 | | | | | | | |
| 障害児等療育支援事業 | 訪問療育の訪問件数（件） | 6 | 51 | 29 | 42 | 40 | 23 |
| | 施設支援時の対象児童数（人） | 6 | 627 | 749 | 883 | 724 | 699 |

＜補足コメント＞

※1　児童発達支援センターについて

主に 3～5 歳の障害児を対象として月曜～金曜の日中に通園してもらい、生活訓練やプレイセラピィ等を実施するものである。定員は 36 人だが欠席者が一定数発生することから契約者数は 45 人を上限としている。平均利用者数はほぼ定員に達しておりフル稼働に近い状態である。なお、毎年、入園契約者数よりも希望者が多いため、障害の程度が軽い児童を中心に毎年 10～20 人程度は受入れを謝絶している。

当事業は児童福祉法に基づく「障害児通所支援事業」であり、指定管理者が国保連から「障害児通所給付費」を受領する。当事業は国の事業であるため、指定管理業務の対象ではあるものの富山市からの指定管理料の支払いはない。

※2　児童発達支援事業について

主に 3～5 歳の障害児を対象として月に 2 回程度並行通園（午前中は当施設に通園し午後は他の保育所等に通園する）をしてもらい、日常生活動作や集団参加等の支援及び相談を行うものである。1 日の定員は 10 人であり、100 人程度が契約している。平均利用者数は概ね定員に達しており、フル稼働に近い状態である。

当事業は児童福祉法に基づく「障害児通所支援事業」であり、指定管理者が国保連から「障害児通所給付費」を受領する。当事業は国の事業であるため、指定管理業務の対象ではあるものの富山市からの指定管理料の支払いはない。

※3　障害者相談支援事業について

障害者相談支援事業は、障害児の家族が抱えている家庭や保育所等での悩み、福祉サービスの利用方法等について相談に乗るものである。当事業は、国の事業である「地域生活支援事業」で、「計画策定以外の基本相談業務」としており、指定管理料 7,000 千円を支払っている。当事業について国から富山市への補助金交付は無い。

また、このほか、相談支援専門員が相談に乗りながら通所支援利用計画を作成し、関係機関との調整やサービス担当者会議の開催等を通じて障害児と家族がより良い福祉サービスを受けられるように継続支援も実施している。この事業については、指定管理者は国保連から「障害児相談支援給付費」と「計画相談支援給付費」を受領している。当事業は国の事業であるため、指定管理業務の対象ではあるものの富山市からの指定管理料の支払いはない。恵光学園では 3 人の職員が対応しており、フル稼働の状態になっている。

※4　保育所等訪問支援について

特別支援学級等に通っている障害児が集団生活に適応できるようにするため個別に支援を行うものである。具体的には、家族の許可を得て 2 週間に 1 回程度、小学校の特別

支援学級等を訪問し、障害児の学習の補助、担任教師への接し方の指導、集団生活に適応するための行動支援等を行っている。

当支援を受けるためには上記※3 で作成した通所支援利用計画が必要になり、他の類似施設でも実施している。

当支援は 3 カ月程度が目安となるが、家族の要請で長くなることも多い。家族のニーズは高いが、通所支援利用計画の作成が要件であること、人員面で余裕がなく障害児等療育支援事業の担当者が兼務していること等から利用人数は少なめになっている。

当事業は児童福祉法に基づく「障害児通所支援事業」であり、指定管理者が国保連から「障害児通所給付費」を受領する。当事業は国の事業であるため、指定管理業務の対象ではあるものの富山市からの指定管理料の支払いはない。

※5　日中一時支援事業について

毎日 15:00～17:00 に預り保育を行うものである。当該事業は、療育を伴わない一時保育であり他の施設でも広く行われていること、預り時間が変則的かつ短いため利用しにくいこと等の理由で、殆ど利用実績が無くなっている。

当事業は、国の事業である「地域生活支援事業」であるが、利用実績が殆ど無いため給付費や指定管理料は発生していない。

※6　障害児等療育支援事業について

当事業は大きく以下の活動を行っている。

外来療育：　発達の遅れが心配される乳幼児を対象に母子通園教室を開き、子供の療育について相談、支援を行う

訪問療育：　家庭や保健センターを訪問し、母親や子供の様子を確認したうえで療育に関する相談、支援を行う

施設支援：　年 2 回、保育所や小学校等を訪問し、教員に支援対象の児童を 4 人程度抽出してもらったうえで、当該児童の教育支援方法等を教員に指導する

恵光学園では保育所等訪問支援の担当者が兼務しており、ほぼフル稼働となっている。

当事業は、国の事業である「地域生活支援事業」であるが国保連から指定管理者へ給付費はなく、富山市固有の指定管理業務として指定管理料 8,000 千円が支払われている。また、当事業について国から富山市への補助金交付は無い。

② こども発達支援室（恵光学園分室）

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 児童発達支援事業 | 1 日当たりの平均利用人数（人） | 1 | 5 | 5 | 7 | 6 | 8 |
| 障害児相談支援事業 | 相談件数（件） | 2 | 2,174 | 1,428 | 1,428 | 1,129 | 1,354 |
| | 計画作成件数（件） | 2 | 462 | 335 | 348 | 264 | 374 |
| 発達障害児相談支援事業 | 面談・電話相談件数（件） | 3 | 57 | 76 | 68 | 194 | 419 |
| 乳幼児発達支援相談事業 | 延べ利用人数（人） | 4 | 2,251 | 3,091 | 3,053 | 2,309 | 1,995 |

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業者のネットワークづくり事業 | 講師派遣や各種ワーキンググループに参加。詳細は※5 参照 | 5 | ※5 | ※5 | ※5 | ※5 | ※5 |

＜補足コメント＞

※1　児童発達支援事業について

恵光学園の「児童発達支援事業」と同じ事業である。

主に 3～5 歳の障害児を対象として、月に 2 回程度並行通園（午前中は当施設に通園し午後は他の保育所等に通園する）をしてもらい、日常生活動作や集団参加等の支援及び相談を行うものである。1 日の定員は 10 人であり、100 人程度が契約している。

認知度の高まり等により利用者数は増加傾向にあり、フル稼働に近い状態である。

当事業は児童福祉法に基づく「障害児通所支援事業」であり、指定管理者が国保連から「障害児通所給付費」を受領する。当事業は国の事業であるため、指定管理業務の対象ではあるものの富山市からの指定管理料の支払いはない。

※2　障害児相談支援事業について

相談支援専門員が相談に乗りながら通所支援利用計画を作成し、関係機関との調整やサービス担当者会議の開催等を通じて障害児と家族がより良い福祉サービスを受けられるように継続支援を行うものである。こども発達支援室では 3 人の従業員が対応しており、フル稼働の状態になっている。なお、年間の計画作成件数は対応できる職員数によって変動する（職員が産休、育休に入ると計画作成件数が減少する）。

当事業は、児童福祉法に基づく「指定障害児相談支援事業」であり、指定管理者は国保連から「障害児相談支援給付費」と「計画相談支援給付費」を受領している。当事業は国の事業であるため、指定管理業務の対象ではあるものの富山市からの指定管理料の支払いはない。

※3　発達障害児相談支援事業について

発達障害を有する子供とその保護者の相談に応じ、ライフステージに応じた必要な情報提供を行うことにより、将来自立した日常生活または社会生活を営むことができるように支援するものである。

恵光学園が実施している「障害児等療育支援事業」とは相談を受ける等の部分で類似点があるが、「障害児等療育支援事業」は保護者支援だけではなく支援者支援（保育所等職員への療育に関する具体的技術支援の指導等）を行っている一方で、当事業は、発達障害児のライフステージに応じた一貫支援の立場から保護者支援のみを行っている。

当事業は、国の事業である「地域生活支援事業」であるが国保連から指定管理者へ給付費はなく、富山市固有の指定管理業務として指定管理料 7,000 千円が支払われている。また、国から富山市に対して実績の 1/2 以下の補助金が交付されている。

※4　乳幼児発達支援相談事業について

成長や発達が気になる乳幼児を持つ保護者からの相談に応じるとともに、こども発達支援室で毎日開催している遊びの教室（無料）を紹介し参加してもらう。

令和２年度以降は、コロナ禍の影響で参加人数が減少傾向にある。

当事業は、国の事業である「地域生活支援事業」であるが国保連から指定管理者へ給付費はなく、富山市固有の指定管理業務として指定管理料 14,000 千円が支払われている。また、国から富山市に対して実績の 1/2 以下の補助金が交付されている。

※5　事業者のネットワークづくり事業について

国の事業である「地域生活支援事業」であり、医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関及び団体等がネットワークの強化を図り、ライフステージに応じて障害児とその保護者が安心して地域で生活できるよう、早期から切れ目のない支援を行うものである。

令和３年度の活動実績は以下のとおりである。

- 富山市自立支援協議会で子供発達支援ワーキングを年５回開催
- 相談支援に係る現状と課題等を協議するワーキングを年７回開催
- 重症心身障害児に対する医療的ケアに関わる研修会への講師派遣２回
- 重症心身障害児の支援を行う関係者のネットワーク構築のため交流会を２回開催
- その他、関係機関の連携強化のため、関係者のケース会議等を多数開催

当事業は、国の事業である「地域生活支援事業」であるが国保連から指定管理者へ給付費はなく、富山市固有の指定管理業務として指定管理料 6,000 千円が支払われている。また、国から富山市に対して実績の 1/2 以下の補助金が交付されている。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 32,584 | 31,829 | 14,214 | 7,236 | 86 |
| 目的外使用料 | | － | － | － | － | － |
| 公共施設等適正管理推進事業債 | 2 | － | － | 24,700 | 8,700 | 5,000 |
| その他の歳入 | 3 | 101,932 | 115,619 | 123,973 | 147,072 | 13,593 |
| **a.歳入実績合計** | | **134,517** | **147,448** | **162,888** | **163,008** | **18,679** |
| 委託料（指定管理料） | 4 | 192,971 | 211,913 | 217,858 | 226,390 | 53,945 |
| 委託料（その他） | 5 | － | － | 27,540 | 10,021 | 5,665 |
| 修繕料 | 5 | 263 | 1,026 | － | － | － |
| 工事請負費 | | － | 2,376 | － | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **193,235** | **215,315** | **245,398** | **236,411** | **59,609** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲58,718** | **▲67,867** | **▲82,509** | **▲73,402** | **▲40,930** |
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲47,791** | **▲73,743** | **▲67,336** | **▲77,945** | **▲34,368** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **▲10,927** | **5,875** | **▲15,173** | **4,542** | **▲6,562** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

主な内訳は、富山市外の利用者が児童発達支援センターや児童発達支援事業等を利用した場合に国保連から給付される障害児通所給付費である。令和３年２月までは、富山

市外の利用者が児童発達支援センター等を利用した場合の障害児通所給付費は富山市が国保連に請求し、富山市が一時的に受領したうえで指定管理料に含めて指定管理者に支払っていた。このとき、富山市は国保連から一時的に受領した障害児通所給付費を歳入として計上していた。

令和3年3月以降は、富山市外の利用者も富山市内の利用者と同様に指定管理者が国保連から直接障害児通所給付費を受領することになった。そのため、富山市の一時預りが無くなり、歳入が殆ど発生しなくなった。

なお、令和1年度に施設使用料収入が減少しているが、これは富山市外の利用者が減少したためである（平成30年度8人→令和1年度4人）。

※2　公共施設等適正管理推進事業債について

公共施設の集合・複合化事業、長寿命化事業、転用事業、立地適正化事業、ユニバーサルデザイン化事業、脱炭素化事業、除却事業を行う場合に起債が認められており、充当率90%、交付税措置率は30～50%（除却事業だけは0%）となっている。

当施設では、長寿命化の工事を行う場合に起債している。

※3　その他の歳入について

主な内訳は、「障害児通所支援事業に係る国庫支出金及び県支出金」、「地域生活支援事業に係る国庫支出金及び県支出金」である。

このうち、「障害児通所支援事業に係る国庫支出金及び県支出金」は「障害児通所支援事業（児童発達支援センター、児童発達支援事業、保育所等訪問支援）」に対応するものである。令和2年度までは「障害児通所給付費」を富山市が指定管理者に支払い、当施設の委託料（指定管理料）として計上していたため、対応する「障害児通所支援事業に係る国庫支出金及び県支出金」も当施設の歳入として計上していた。令和3年度以降は、「障害児通所給付費」が国保連経由で指定管理者に支払われることになったため、「障害児通所給付費」を当施設の委託料（指定管理料）から除外し、同時に対応する「障害児通所支援事業に係る国庫支出金及び県支出金」も当施設の歳入から除外した。そのため、発生額が減少している。

※4　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

指定管理業務には、「施設維持管理業務」と「障害児へのサービス提供に係る業務」がある。このうち、「障害児へのサービス提供に係る業務」に含まれる「障害児通所給付費」について、上記※3のとおり令和3年度以降当施設の歳出に含めないことになったため、指定管理料が減少している。この結果、令和3年度以降は、指定管理業務の対象が「施設の維持管理委託業務」、「障害者相談支援事業」、「発達障害児相談支援事業」、「障害児等療育支援事業」、「乳幼児発達相談支援事業」、「事業者のネットワークづくり事業」に限られることとなった。

※5　委託料（その他）及び修繕料について

平成30年度の修繕料は、既存設備（排煙窓の窓枠等）の小修繕に係るものであったた

め修繕料として計上している。

一方で、令和 1 年度の改修工事は空調の全取り替え、令和 2 年度の改修工事は園児用トイレの大規模修繕、令和 3 年度の改修工事は外壁の全塗装といった建物工作物の大規模修繕であったため、特殊な技術や高度な専門知識を有する業者に委託することが効率的かつ経済的であると判断し、委託料として支出している。

令和 3 年度の外壁塗装回収業務委託について指名競争入札、契約、完了検査等に係る庁内資料を閲覧したが、重大な問題は発見されなかった。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

① 恵光学園

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料収入(富山市) | 1 | 17,650 | 17,650 | 17,650 | 17,650 | 17,650 |
| 補助金収入(その他) | 2 | 62 | - | 39 | 3,014 | 64 |
| 障害児通所給付費収入 | 3 | 114,723 | 128,447 | 126,894 | 131,691 | 153,292 |
| 障害児相談支援給付費収入 | 4 | 5,525 | 7,318 | 13,066 | 17,040 | 12,409 |
| 利用者負担金収益 | 5 | 4,006 | 4,292 | 1,978 | 17 | 35 |
| その他委託事業収入 | 6 | 1,031 | 493 | 424 | 226 | 275 |
| 特定費用収益 | 7 | 2,606 | 2,653 | 2,471 | 2,243 | 1,947 |
| 経常経費寄付金収入 | | 531 | 157 | 340 | 155 | 135 |
| サービス外収益 | 8 | 2,438 | 5,080 | 5,166 | 5,172 | 5,014 |
| **a.収入合計** | | **148,576** | **166,092** | **168,030** | **177,211** | **190,823** |
| 人件費 | 9 | 115,415 | 129,717 | 132,598 | 141,224 | 144,466 |
| 給食費 | 10 | 4,114 | 4,059 | 3,864 | 3,818 | 3,874 |
| 光熱水費 | 11 | 3,211 | 3,191 | 3,069 | 3,104 | 3,262 |
| 業務委託料 | | 1,685 | 1,183 | 1,126 | 1,067 | 990 |
| その他の支出 | | 11,854 | 11,850 | 12,108 | 14,175 | 13,772 |
| **b.支出合計** | | **136,279** | **150,000** | **152,765** | **163,388** | **166,364** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **12,297** | **16,092** | **15,265** | **13,823** | **24,459** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲5,353** | **▲1,558** | **▲2,385** | **▲3,827** | **6,809** |

＜補足コメント＞

※1 <u>指定管理料(富山市)について</u>

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

なお、「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」※4 に記載のとおり、富山市は令和 2 年度まで「障害児通所給付費」を指定管理料に含めていたが、指定管理者はそれらを「障害児通所給付費」や「障害児相談支援給付費収入」として指定管理料とは別の科目で計上していた。令和 3 年度以降は、富山市が指定管理料から「障害児通所給付費」を除いた

ため、富山市の指定管理料と指定管理者（恵光学園及びこども発達支援室）の指定管理料収入は整合することとなった。

※2　補助金収入(その他)について

令和 2 年度の主な内訳は、富山県からの「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業費補助金 1,127 千円」であり、消毒液や非接触型体温計等の購入に充てられている。

※3　障害児通所給付費収入について

「障害児通所支援事業（児童発達支援センター、児童発達支援事業、日中一時支援事業、保育所等訪問支援事業)」に係る「障害児通所給付費収入」である。サービスの利用日数や内容によって加算点数が決まっており、指定管理者が月次で利用実績を集計して国保連に請求し、国保連から入金される。昨今は加算項目や単価が上昇しており、利用者増加と相まって収入が増加傾向にある。

令和 4 年 3 月分の「障害児通所給付費・入所給付費等請求書」及びその内訳明細を通査したが、重大な問題は発見されなかった。

※4　障害児相談支援給付費収入について

恵光学園の「障害者相談支援事業」及びこども発達支援室の「障害児相談支援事業」について、指定管理者が国保連から受領している「障害児相談支援給付費」及び「計画相談支援給付費」である。サービスの利用日数や内容によって加算点数が決まっており、指定管理者が月次で利用実績を集計して国保連に請求し、国保連から入金される。昨今は加算項目や単価が上昇しているが、令和 3 年度は産休・育休による職員の離脱が多く、収入が減少している。

令和 4 年 3 月分「障害児通所給付費・入所給付費等請求書」及びその内訳明細を通査したが、重大な問題は発見されなかった。

※5　利用者負担金収益について

利用者が負担するサービス利用料である。従来は 3 歳児以上も利用者負担が発生していたが、制度改正により 3 歳児以上が無償化されたため、発生額が減少している。

※6　その他委託事業収入について

主な内訳は、富山市外の利用者が「障害児等療育支援事業」を利用した場合に富山県から収受する給付金である。

※7　特定費用収益について

主な内訳は、お昼寝用の布団代や給食費等の利用者からの実費徴収額である。

給食費は、使用料と同様に保護者の年収に応じて 3 階層になっており最低でも 100 円を収受している。

※8　サービス外収益について

令和 3 年度の主な内訳は、「職員や実習生からの給食費収入 1,985 千円」、「業務負担金収益 2,600 千円」である。

業務負担金収益は、指定管理業務以外の業務（桜谷キッズクラブ、放課後等デイサービスひかり）を行っている園長等 3 名の人件費を当施設でいったん支払っているため、当該人件費を各施設の年間収入の比率で按分した結果を各施設から収受しているもので

ある。

※9　人件費について

恵光学園で勤務している職員の推移は以下のとおりである。利用者数の増加や利用者ニーズの多様化に対応するため優秀な人材を積極的に採用しているほか、産休・育休を取る職員の補充が必要であることから常勤職員が増加傾向にあり、人件費の増加につながっている。令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 3,283 千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

単位：人

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 常勤職員 | 17 | 23 | 26 | 28 | 28 |
| 非常勤職員 | 16 | 12 | 9 | 10 | 13 |
| 嘱託（医師、作業療法士等） | 6 | 6 | 6 | 6 | 3 |
| **合計** | **39** | **41** | **41** | **44** | **44** |

※10　給食費について

給食費は食材原価のみが集計されており、人件費や経費等は含まれていない。

※11　光熱水費について

令和 3 年度の主な内訳は、「電気料 1,100 千円」、「ガス代 1,153 千円」、「上下水道代 682 千円」である。

②　こども発達支援室（恵光学園分室）

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 31,472 | 35,972 | 35,972 | 36,032 | 36,294 |
| 補助金収入(その他) | 2 | － | － | － | 641 | － |
| 障害児通所給付費収入 | 3 | 8,319 | 8,866 | 13,263 | 15,187 | 20,270 |
| 障害児相談支援給付費収入 | 4 | 12,272 | 8,920 | 9,797 | 10,359 | 13,294 |
| 利用者負担金収益 | | 880 | 952 | 688 | 217 | 296 |
| 特定費用収益 | | 45 | 64 | 67 | 31 | 34 |
| 経常経費寄付金収入 | | － | － | － | － | 100 |
| サービス外収益 | | 15 | 4 | 22 | 22 | 16 |
| **a.収入合計** | | **53,005** | **54,779** | **59,810** | **62,491** | **70,307** |
| 人件費 | 5 | 45,226 | 46,027 | 46,330 | 45,397 | 50,858 |
| 賃借料 | 6 | 3,652 | 3,650 | 3,680 | 3,711 | 3,711 |
| 業務委託料 | 7 | 3,021 | 2,760 | 2,774 | 2,958 | 3,064 |
| その他の支出 | | 5,267 | 7,767 | 6,665 | 7,477 | 8,798 |
| **b.支出合計** | | **57,166** | **60,204** | **59,449** | **59,543** | **66,431** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **▲4,161** | **▲5,425** | **361** | **2,948** | **3,876** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲35,633** | **▲41,397** | **▲35,611** | **▲33,084** | **▲32,418** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「①恵光学園」の※1 と同じである。

※2　補助金収入(その他)について

内容は、「①恵光学園」の※2 と同じである。

※3　障害児通所給付費収入について

内容及び増減理由は「①恵光学園」の※3 と同じである。

※4　障害児相談支援給付費収入について

内容及び増減理由は「①恵光学園」の※4 と同じである。

※5　人件費について

こども発達支援室で勤務している職員の推移は以下のとおりである。利用者数の増加や利用者ニーズの多様化に対応するため優秀な人材を積極的に採用しているほか、産休・育休を取る職員の補充が必要であることから常勤職員が増加傾向にあり、人件費の増加につながっている。令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 2,676 千円であり、著しく高額である等の問題は認められない（恵光学園よりも非常勤職員の比率が高いため 1 人当たり人件費は低くなっている)。

単位：人

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 常勤職員 | 8 | 8 | 9 | 9 | 10 |
| 非常勤職員 | 3 | 2 | 2 | 3 | 9 |
| 嘱託（医師、作業療法士等） | 5 | 4 | 7 | 5 | － |
| **合計** | **16** | **14** | **18** | **17** | **19** |

※6　賃借料について

保護者用 15 台分、職員用 2 台分の駐車場代である。

当施設は、市内中心部の富山市所有の建物に入居しており、利用者のために駐車スペースの確保が必要であったため、同じ建物内の駐車場を定期利用している。

※7　業務委託料について

入居している建物の施設管理費である。当施設は、富山市所有の建物に入居しており、毎年 3 月に清掃業務委託料や警備委託料等の負担分が請求されてくる。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、障害児に対して日常生活の基本的動作を指導するとともに独立自活に必要な知識技能を付与し、集団生活への適応のための訓練を提供する目的で昭和 48 年に開設された。その後、

平成 7 年に現在地に新築移転され平成 29 年に分室であるこども発達支援室が開設されている。富山市は限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため、公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設を含む障害福祉施設については、民営化が可能な施設は実績のある社会福祉法人等への移管を進め、移管が困難な施設は長寿命化を図る方針が示されている。

当施設は、障害に対する社会の認識が十分でなかった昭和の時代から障害児の教育・支援を行っており、かつては隣県からも入園希望者が訪れるなど北陸地域の障害児福祉に多大なる貢献を果たしてきた。また、長年障害児の教育や支援に携わってきたため多くのノウハウが蓄積されており、利用者満足度は高く入園希望者も高水準で推移している。近年は障害児の存在が社会に広く認知されるようになった結果、平成 29 年に設立したこども発達支援室の利用も急増しており、指定管理者はこれらの社会的ニーズに対応するため、専門職員の増員や教育研修の充実に積極的に取り組んでいる。

このように、当施設は障害児福祉の面から富山市を代表する施設となっており、その存在意義は十分に認められる。一方で、当施設は利用者数の増加に施設規模や予算が追い付いていない可能性がある。また、指定管理者が富山市から受託している事業の中には、殆ど利用実績が無いものが存在する。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 124【指摘 17】 | 市民の利用ニーズに応じた施設や人員の拡充 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |

当施設は、障害児の教育・支援ニーズの高まりを受けて利用者数が急増しており、施設規模や対応人員が不十分になっている。富山市としては、市民生活の向上のため明らかに社会的ニーズが高い分野には積極的な投資を行うべきである。

施設所管課においては、指定管理者と協議の上、当施設のサービス提供に支障が生じないよう規模や人員の十分性を検討する必要がある。例えば、以下のような点について対応方針を検討することが考えられる。なお、スペース不足を解消するためには他の公の施設の遊休部分を活用することが考えられるが、例えば、こども発達支援室が隣接する富山市民プラザには遊休部分があるため、その活用可能性を検討することが望まれる。

- 恵光学園とこども発達支援室は富山市中心部に位置しており、旧町村部の住民はサービスを受けにくくなっている可能性がある
- 恵光学園やこども発達支援室は、職員数の増加に伴って事務室が手狭になっており、執務や電話相談時の個人情報保護に支障を来している可能性がある
- 恵光学園には言語聴覚士、理学療法士、作業療法士が勤務しているが、発達障害児に療育を行うための指導部屋が存在しないためサービス提供に支障を来している可能性がある
- こども発達支援室は、利用者数の増加に伴ってプレイルームの規模が不足しており、利用者に不便を生じさせている可能性がある
- こども発達支援室の発達障害児相談支援事業は、相談件数に比して施設規模や対応人員（臨床心理士等）が不足しており、初回面談まで 1～2 か月待ちの状態になっている。

| 125【意見 50】 | 日中一時支援事業の見直し |
|---|---|

| 全般的運用状況 | 該当無し |
|---|---|
| 指定管理者は、指定管理業務の枠内で日中一時支援事業（国の事業である地域生活支援事業）を行っている。一方で、当該事業は療育を伴わない一時保育であり他の施設でも広く行われていること、預り時間が変則的かつ短いため利用しにくいこと等の理由により、過去5年間の利用者数が1名に留まっている。<br>施設所管課においては、指定管理者が自身の強みを最大限発揮できる業務に経営資源を投入できるようにするため、指定管理者が実施する必要性が乏しい事業について継続の要否を検討することが望まれる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第4章 第1部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、障害児通所支援事業に係る国庫支出金及び県支出金や地域生活支援事業に係る国庫支出金及び県支出金である。当施設は施設使用料が無料であり、富山市の歳入は国や県からの負担金及び補助金となっている。

富山市の主な歳出は、指定管理料、設備の老朽化等による取替投資（委託料）である。指定管理料は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。施設の修繕にあたっては、指定管理者が作成した長期修繕計画に基づいて指定管理者と施設所管課が協議しながら順次遂行している。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第4章 第1部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、（社福）富山市桜谷福祉会が非公募で指定管理者に選定されている。富山市は、施設の性格や設置目的、富山市の政策的な方針等に照らし、特定の団体を指定することに合理性があると判断し、継続して（社福）富山市桜谷福祉会を指定管理者に選定している。指定管理者は、昭和16年に桜谷託児所として開設し昭和24年に保育園に組織変更、その後、昭和37年に障害児受入施設となった。当施設は昭和48年に障害児専門の受入施設として開設されたが、当時は障害児の支援・教育ノウハウが社会に殆ど蓄積されておらず、当該事業に対応できるのは（社福）富山市桜谷福祉会だけであった。そのため、（社福）富山市桜谷福祉会に開設当初から業務運営を委

託し、指定管理者制度導入後は指定管理者となっている。当施設は現在でも障害児専門の受入施設として富山県内で高い知名度を誇っており、入園希望者や相談希望者は高水準で推移している。

指定管理者は、長年障害児の教育や支援に携わってきたため施設を運営するために必要十分な体制やノウハウを有しており、利用者から高い評価を受けている。また、指定管理者は隣接する桜谷保育園と当施設を一体で運営しており、健常児との交流などを通じて指定管理者ならではの障害児療育を実現している。加えて、当施設は純粋な福祉施設であり、利潤を求める民間企業は参入しにくい。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ. 指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ. 指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、当施設の最も重要な機能である「障害児通所支援事業（児童発達支援センター、児童発達支援事業、日中一時支援事業、保育所等訪問支援事業)」と「障害児相談支援事業」に係る国保連からの給付費収入である。なお、上記を含め指定管理者が当施設で実施している業務は全て指定管理業務と位置づけられているが、そのうち富山市から指定管理料を受領している業務は「施設の維持・管理等委託」、「障害者相談支援事業」、「障害児等療育支援事業」、「発達障害児相談支援事業」、「乳幼児発達支援事業」、「事業者のネットワークづくり事業」に限定されているため、指定管理料が相対的に少額となっている。

指定管理者の主要な支出は、人件費である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。なお、指定管理者は、利用者数の増加や利用者ニーズの多様化に対応するため優秀な人材を積極的に採用している。また、産休・育休を取る職員の補充が必要であることから常勤職員が増加傾向にある。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

オ. 過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象とされている。当該包括外部監査における発見事項（備品管理以外）に対する施設所管課の措置回答状況及びそれに対する監査手続実施結果は以下のとおりである。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 【指摘】費用の合理的な配賦計算について | |

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| 過去の発見事項（要約） | 障害者相談支援事業、障害児等療育支援事業、発達障害児相談支援機能強化事業の3つの事業は同一の施設内で行われており、担当する要員は各部門に従事する職員のほか、通園事業・児童デイサービス事業に従事する職員が兼任（応援）している。一方で、人件費や共通費用について合理的な配賦計算が行われていない。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 平成25年度に新社会福祉法人会計基準へ移行し、経理規程第6条で共通費を「合理的な基準に基づいて配布するもの」と規定し、経理規程細則の別添に「共通経費の配分基準表」を明記している。平成25年度決算で個々の科目ごとに当該基準表を用いて基準の組み合わせの試行を行い、合理的基準を決めたうえで事務処理を行った。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 指定管理者に確認した結果､「当施設で実施している業務は全て指定管理業務であり、指定管理業務内の各事業への費用按分は会計システムに登録した按分比率を用いて行っている。また、恵光学園の職員で指定管理業務以外の業務（他施設の放課後デイサービスとの兼務等）を行っている3名の人件費は、各業務の収益額比率で按分し指定管理業務の人件費から除いている」との回答を得た。<br>監査人が令和3年度の配賦計算資料等を確認した結果、指定管理者の説明通り適切に配賦計算が行われていたことから、当該発見事項については改善済みと判断する。 |
| 【指摘】個人情報の保管方法について | |
| 過去の発見事項（要約） | 紙媒体の個人情報データは鍵のかかるロッカーに保管しているが、一部鍵をかけていないロッカーに保管しているものがあるため、全て鍵をかけて保管すべきである。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 個人情報に関する書類は、全て園内にある鍵のかかる書庫に保管している。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 指定管理者及び施設所管課に確認した結果､「措置回答のとおり、紙媒体の個人情報データは鍵のかかる書庫で保管している」との回答を得た。<br>監査人が現場視察を実施したが、指定管理者は上記回答のとおり運用を行っていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |
| 【指摘】USBによる個人情報の保管について | |
| 過去の発見事項（要約） | エクセルデータの名簿が保存されているUSBメモリーは、各担当者が管理しており、各担当者の鍵のかかる机に保管している。ただし、名簿は恵光学園の全児童の個人情報が記録されている重要なデータであり、当該USBメモリーは、パスワードロックなどのセキュリティは施されていない。また、容易に持ち出し可能なUSBメモリーに保存すること自体セキュリティ上問題があると考える。例えば、ファイルサーバに保存し適切なアクセス制限を行うなどの対応が必要と考える。 |

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| 富山市の措置回答（要約） | 個人情報などの重要なデータについては、USB メモリーでの保存は禁止とし、データをパソコンのハードディスクに保存し、パソコン本体・データ(名簿等）にパスワードの設定を行っている。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 指定管理者及び施設所管課に確認した結果、「措置回答のとおり、現在では USB メモリーは運用しておらず、個人情報データは ID とパスワードで管理されている PC で保管している」との回答を得た。<br>監査人が往査時に確認した結果、上記回答のとおり個人情報が適切に管理されていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |

## ２６．障害者福祉プラザ

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 富山市蜷川 15 番地 |
| 所管部署 | 障害福祉課 |
| 関連条例等 | 富山市障害者福祉プラザ条例及び同条例施行規則 |
| 条例に定める施設の目的 | 在宅障害者に対する福祉事業を総合的に展開し、障害者福祉の向上を図る |
| 施設の主な建物の概要 | 主な建物 / 建築年 / 耐用年数 / 残存年数 / 延床面積（㎡） / 建設費（千円）<br>北館 / H10 / 47 / 24 / 2,040.07 / 1,599,855<br>付属棟 / H10 / 38 / 15 / 1,072.66<br>南館 / H9 / 38 / 14 / 1,829.93 |
| 開館期間 | 休館日：　12 月 29 日～1 月 3 日<br>開館時間：　9:00～21:00 |
| 公共施設マネジメント方針 | ＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「障害福祉施設」については、類似施設が少ないことから、当面は引き続き施設を運営していくが、民営化が図れると判断できた場合は、実績のある社会福祉法人等への移管を進める。移管が困難な施設は、計画的な修繕・改修により長寿命化を図る。<br>また、利用者の利便性向上に向け、民間のノウハウを活用しながら専門職の安定的な確保を含めサービス水準の向上や運営の効率化を図る。<br>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | （社福）富山市社会福祉事業団<br>所在地：　富山市蜷川 15 番地<br>代表者：　今本　雅祥<br>事業概要：　第一種社会福祉事業（母子生活支援施設、児童養護施設、養護老人ホームの運営）、第二種社会福祉事業（障害者福祉プラザ、児童館、老人福祉センターの運営等）その他社会福祉の増進のために行う事業<br>富山市との関係：　外郭団体 |
| 指定管理業務の概要 | ● 施設及び付属設備等の維持管理運営に関する業務<br>● 富山市障害者福祉プラザ条例第 4 条各号に掲げる事業に関する業務 |

<table>
<tr><td></td><td>（障害者の生活相談、機能訓練、福祉情報の提供等のサービス）<br>● 富山市障害者福祉プラザ条例第 14 条各号に掲げる事業に関する業務<br>（身体障害者デイサービスセンターで行う入浴、食事、介護、創作的活動、生活指導等のサービス）</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円<table><tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>指定管理料</td><td>42,867</td><td>42,867</td><td>44,578</td><td>44,578</td><td>44,578</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>非公募（施設の性格や設置目的、市の政策的な方針等に照らし、特定の団体を指定することが合理的であるため）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円<table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>3,000</td><td>3,000</td><td>3,000</td><td>3,000</td><td>3,000</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」は「該当無し」となっている。</td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「当施設は社会福祉施設であり、広く公益を重視することから収益向上の提案は考えていない」としている。</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 機能回復訓練室 | 無料 | 1 | 333 | 343 | 285 | 131 | 87 |
| 作業室 | 無料 | 1 | 358 | 292 | 219 | 240 | 120 |
| 料理実習室 | 無料 | 1 | 578 | 683 | 671 | 10 | 4 |
| 介護実習室 | 無料 | 1 | 2,814 | 2,833 | 2,907 | 1,271 | 1,265 |
| 多機能室 | 無料 | 1 | 2,470 | 2,354 | 1,786 | 723 | 894 |
| 教養室 | 無料 | 1 | 1,482 | 1,525 | 1,661 | 83 | 104 |
| 録音・編集室 | 無料 | 1 | 152 | 357 | 271 | 163 | 142 |
| 軽運動室 | 無料 | 1 | 1,218 | 918 | 1,123 | 576 | 634 |
| 相談室 | 無料 | 1 | 48 | 108 | 124 | 25 | 5 |

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 医務室 | 無料 | 1 | 42 | 47 | 38 | 7 | 1 |
| 温水訓練施設 | 無料 | 1 | 2,160 | 4,989 | 4,767 | 1,148 | 2,363 |
| 多目的ホール | 無料 | 1 | 17,761 | 16,103 | 14,903 | 3,705 | 4,432 |
| グラウンド | 無料 | 1 | 53 | － | 305 | 61 | 72 |
| その他 | 無料 | 1 | | | 622 | 28 | 4 |
| 基幹相談支援室 | 無料 | 1 | 254 | 316 | 341 | 197 | 185 |
| デイサービス | 無料 | 1 | 1,533 | 1,572 | 1,470 | 1,258 | 1,210 |
| 研修・体験・実習 | 無料 | 1 | 35 | 45 | 29 | － | － |
| 見学・視察者 | 無料 | 1 | 36 | 88 | 51 | 8 | 14 |
| **合計** | | | **31,327** | **32,573** | **31,573** | **9,634** | **11,536** |

＜補足コメント＞

※1　利用者数について

当施設の利用者は障害者又は地元団体に限られているが、障害者向けのサービスを一体的に提供する複合施設として県内随一の規模を誇っており、安定的に相応の利用者が利用している。

令和２年度以降は、コロナ禍で各種教室の開催を中止するとともに利用を大きく制限しており、利用者が減少している。足元では感染状況の推移を見定めながら利用制限の撤廃時期を検討しており、今後の利用者数の回復が見込まれている。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 43 | － | － | 2 | 27 |
| 目的外使用料 | 2 | － | － | － | － | － |
| その他の歳入 | 3 | 21,730 | 23,095 | 24,460 | 20,915 | 14,713 |
| **a.歳入実績合計** | | **21,774** | **23,095** | **24,460** | **20,917** | **14,740** |
| 人件費 | | 5,379 | 5,455 | 5,549 | 5,566 | 5,539 |
| 委託料（指定管理料） | 4 | 42,577 | 42,868 | 42,867 | 32,878 | 42,867 |
| 委託料（その他） | 5 | 99 | 5,186 | 11,942 | 14,179 | 10,274 |
| 補助金（指定管理運営） | 6 | 85,564 | 87,905 | 89,328 | 80,351 | 79,702 |
| 修繕料 | | 667 | － | － | － | － |
| 使用料 | | － | 3 | － | － | － |
| 借上料 | 7 | 805 | 1,485 | 2,437 | 2,437 | 2,437 |
| 工事請負費 | | 10,730 | 1,263 | 3,294 | － | － |
| 庁用器具費 | | － | 162 | － | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **145,824** | **144,329** | **155,418** | **135,413** | **140,821** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲124,049** | **▲121,234** | **▲130,958** | **▲114,495** | **▲126,080** |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| d.予算額（歳入-歳出） | | ▲124,690 | ▲123,552 | ▲133,844 | ▲137,184 | ▲131,017 |
| e.予実差異(c-d) | 8 | 640 | 2,317 | 2,885 | 22,688 | 4,936 |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設は、原則として使用料が無料であり施設使用料収入は殆ど発生しない。

なお、当施設内の団体事務室、障害者通所センター及び生活介護事業所には富山市身体障害者福祉協議会や富山市社会福祉協議会等の社会福祉団体が入居し、障害者への情報提供や福祉就労等を行っている。富山市は、これら社会福祉団体の施設使用について障害者福祉の増進に寄与するものと判断し、富山市行政財産使用料条例第5条第1項第1号に基づき使用料を減免している。

※2　目的外使用料について

当施設には自動販売機が複数台設置されている。従来は施設内の自動販売機について施設利用者の利便性向上に資すると判断し目的外使用料を減免していたが、令和4年度以降は他の公の施設と同様に目的外使用料を徴収する方針である。

※3　その他の歳入について

令和3年度の主な内訳は、「障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業に係る国庫支出金7,798千円」、「同事業に係る富山県補助金3,890千円」、「新型コロナウイルス臨時交付金3,025千円」である。

※4　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和2年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。

※5　委託料（その他）について

令和3年度の主な内訳は、「プール系統空調機器更新業務委託料3,025千円」、「中央監視装置更新業務委託料6,875千円」等である。なお、富山市が指定管理者に個別に委託している「基幹相談支援事業委託料」や「障害者就労支援促進事業委託料」は指定管理業務の対象外であるため、上表では含まれていない。

※6　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

※7　借上料について

令和3年度の主な内訳は、「福祉車両賃貸借（再リース）794千円」等である。

※8　予実差異について

令和 2 年度は、上記※4 のとおり指定管理料の返金があったこと、補助金（指定管理運営）についてプロパー職員（理学療法士）の欠員により当初交付額に余剰分が発生したため返還を受けたこと等により、多額の予算・決算差額が発生している。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 42,577 | 42,868 | 42,867 | 41,203 | 42,867 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 85,564 | 87,905 | 89,328 | 80,351 | 79,702 |
| その他事業収入(富山市) | 3 | 14,265 | 12,040 | 15,139 | 14,130 | 13,237 |
| その他の収入 | 4 | － | － | 2,213 | 168 | － |
| **a.収入合計** | | **142,406** | **142,813** | **149,548** | **135,853** | **135,807** |
| 人件費 | 5 | 94,811 | 101,010 | 105,083 | 93,822 | 93,184 |
| 光熱水費 | 6 | 14,284 | 16,813 | 16,504 | 14,288 | 15,897 |
| 修繕料 | 7 | 3,489 | 2,165 | 3,337 | 5,807 | 2,759 |
| 業務委託料 | 8 | 11,614 | 5,552 | 5,725 | 5,731 | 5,613 |
| 賃借料 | | 1,500 | 1,596 | 1,815 | 1,868 | 1,854 |
| 保守料 | | 3,370 | 3,370 | 3,370 | 3,845 | 3,788 |
| 法人管理費 | 9 | 6,089 | 6,089 | 6,089 | 6,089 | 6,089 |
| 指定管理料返金等（富山市） | 10 | － | － | － | 8,324 | － |
| その他の支出 | | 6,526 | 6,872 | 6,716 | 6,695 | 6,989 |
| **b.支出合計** | | **141,683** | **143,467** | **148,684** | **146,469** | **136,183** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **723** | **▲654** | **864** | **▲10,616** | **▲376** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲141,683** | **▲143,467** | **▲146,471** | **▲137,977** | **▲136,183** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

※3　その他事業収入（富山市）について

令和 3 年度の内訳は、「富山市からの基幹相談支援事業受託収入 5,181 千円」、「障害者就労支援促進事業受託収入 8,056 千円」である。

基幹相談支援事業は、「①障害に係る複雑かつ困難な事例に係る相談対応」、「②地域関係機関との情報交換等のネットワークづくり」、「③障害者の権利擁護のための各種制度（虐待対応、成年後見等）の利用支援」、「④地域の相談支援専門員のスキルアップのための研修会の開催」を行うものである。指定管理者に業務の実施状況を質問した結果、「市からの派遣職員1名を含め、相談員2名で業務を回しているが①の業務に忙殺され②～④の業務には十分対応できていない。また、相談員3名体制を想定して13,674千円の委託料を受け取っているが、新規採用ができず 2 名体制が続いており実際の支出が5,181 千円に留まっているため、毎年度末に差額を富山市に返還している」との回答を得た。

障害者就労支援促進事業は、障害者の福祉就労や一般就労を促進するため、「①就労継続支援 A 型・B 型事業所の巡回訪問」、「②一般企業への巡回訪問」、「③ハローワーク等との情報共有」を行っている。指定管理者に業務の実施状況を質問した結果、「富山市は一般就労の促進を期待しているが、現時点では福祉就労の支援で精一杯である」との回答を得た。

※4　その他の収入について

退職者に対する退職金支払額と全国社会福祉事業団体職員退職手当積立基金からの拠出額との差額である。積立額よりも支払額が多い場合は積立基金から差額が補填されるため収入が発生する。

※5　人件費について

当施設で勤務している常勤職員9名、非常勤職員16名の人件費である。

なお、指定管理者の本部事務局で勤務している職員（令和4年3月末時点で5名）の人件費は、法人管理費として別科目で配賦計上されている。

令和3年度の1人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は3,727千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

※6　光熱水費について

令和3年度の主な内訳は、「電気料（高圧契約）5,498 千円」、「ガス代 8,414 千円」、「上下水道料 1,985 千円」である。当施設は、多目的ホール、温水プール、障害者用の浴室等を有する大規模施設であるため、電気料とガス代が多くなっている。指定管理者は、デマンド監視サービスを利用し最大電力料を抑制する取り組みを行っている。

※7　修繕料について

指定管理者は、基本協定書に定めるリスク分担を踏まえて富山市と協議しながら修繕を行っている。建物の建設から20年以上が経過しているが、継続的に維持管理されているため重大な毀損は生じておらず、細かい修繕に都度対応している。

※8　業務委託料について

平成29 年度までは、基幹相談支援室の業務の一部（知的障害者部分）をセーナー苑に約6,000 千円で業務委託していた。平成29 年度途中に、同苑より業務継続が困難との話があり、平成30 年度からは指定管理者が対応することとなった。そのため、セーナー苑に業務委託していた6,000 千円の業務委託料が減少した。

※9　法人管理費について

指定管理者は、富山市の公の施設（障害者福祉プラザ、愛育園、慈光園、和光寮、児童館、老人福祉施設）の指定管理業務のみを実施している。各施設に直接紐づく人件費や管理経費は施設単位で集計しているが、本部事務局の人件費や本部経費はその総額を法人管理費として各施設に配賦している。

指定管理者が作成した令和 3 年度の「法人管理費拠点別内訳表」を査閲した結果、法人管理費の予算総額（32,723 千円）と決算総額（30,394 千円）は概ね近似しており、重大な配賦過不足は認められなかった。一方で、各施設への配賦基準を指定管理者に質問した結果、「従来から同じ配賦率を使っており基準の根拠は不明である」との回答を得た。

※10　指定管理料返金等（富山市）について

指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を行っている。指定管理料の精算資料を査閲したが、計算誤り等の重大な問題は発見されなかった。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、在宅障害者に対する福祉事業を総合的に展開し、障害者福祉の向上を図る目的で平成 10 年に開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

当施設は、富山市の障害者福祉の拠点として多目的ホール、温水プール、障害者通所センター及び生活介護事業所等を有しており、障害者やその家族向けの教室を多数開催しているため、市内外から広く利用者が訪れている。なお、令和 2 年度以降はコロナ禍で利用者数が減少したが、他に代替施設が無いことから利用ニーズは底堅く、足元では利用者数の回復傾向が見て取れる。

このように、当施設の機能は富山市の障害者福祉の観点から必要不可欠なものであり、利用状況にも問題は認められない。また、当施設は大規模福祉施設であり、利潤を求める民間企業が代替することは困難であるため、存在意義は十分に認められる。一方で、指定管理者への質問の結果、施設のあるべき姿を踏まえた体制整備の面で課題が認められた。また、当施設は条例で 9 時～21 時まで開館することになっているが、指定管理者は月曜日、日曜日、祝日は 17 時に閉館しており条例と異なる対応が取られていた。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 126【意見 51】 | 施設のあるべき姿を踏まえた体制整備 |

| 全般的運用状況 | 該当無し |
|---|---|

当施設は、富山市の障害者福祉の拠点として非常に重要な機能を担っており、今後においてもその役割を拡大させていくことが強く期待されている。一方で、現状では情報発信や人員体制の面で不十分な点が見受けられる。

施設所管課においては、当施設の必要性やあるべき姿を整理し、指定管理者と密接に連携しながら必要な人的、物的支援を行っていくことが望まれる。例えば、以下のような点で改善の余地が認められる。

- 施設の HP が存在しないため、潜在的利用者に対して当施設の機能を十分発信できていない可能性がある。他の公の施設のように当施設についても HP を作成することが望まれる。
- 指定管理者が既存の業務を円滑に遂行しながらその役割を拡大していくなかで、人材不足がボトルネックになっている可能性がある（例：在宅障害者向けの出前授業など）。指定管理者の前向きな意思を尊重しつつ、住民サービスと財政負担とのバランスを取りながら適切な人員を増強していくことが望まれる。
- 人員不足や役割分担の曖昧さにより富山市が指定管理者に委託している「基幹型相談支援事業」が十分に機能していない可能性がある。当該事業は 3 階層構造になっているが、各階層の役割が曖昧であり、本来は 1～2 階層目で対応すべき軽微な質問が当施設（3 階層）に持ち込まれている可能性がある。この点、施設所管課は可能な限り各階層が果たす役割を整理し、各階層に対して周知徹底することが望まれる。

  また、当該業務は本来 2 名以上の専門人員を配置する必要があり、指定管理者は社会福祉士を新規採用しようとしているが、富山市が提示する給与単価が安すぎて新規採用ができない状態が続いている。この点、施設所管課は、指定管理者と協議しながら必要な対応を検討することが望まれる（例：富山市から社会福祉士を 1～2 名派遣する、委託事業ではなく富山市の直営事業に変更する等）。

| 127【指摘 10】 | 開館時間の変更申請漏れ |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |

当施設は、富山市障害者福祉プラザ条例で開館時間が 21 時までと定められているが、指定管理者は施設の利用状況を踏まえて月曜日、日曜日、祝日の開館時間を 17 時までに短縮していた。なお、条例第 4 条の 2 では、「指定管理者は、特に必要があると認めるときは、市長の承認を得て臨時にこれを変更することができる」とされているが、指定管理者は承認申請を行っていなかった。

施設所管課においては、条例に定める開館時間を変更する場合は、事前に市長の承認を得るよう指定管理者に指導する必要がある。

なお、昨今は電気料やガス代の高騰で施設管理費が上昇している。また、働き方改革や人手不足により夜間に施設を稼働させる負担が大きくなってきている。そのため、利用が少ない時間帯に公の施設を開館しておく必要性については、市の財政負担等も考慮しながら慎重に検討をする必要がある。

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ. 富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業に係る国庫支出金や富山県負担金である。

富山市の主な歳出は、指定管理料、人件費補助金、委託料である。指定管理料及び人件費補助金は、下記「(2)ウ. 指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ. 指定管理業務の検討結果」で検討する。委託料については、老朽化した施設の修繕料等であり、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ. 指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア. 施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、外郭団体である富山市社会福祉事業団が非公募で指定管理者に選定されている。富山市は、施設の性格や設置目的、市の政策的な方針等に照らし、特定の団体を指定することが合理的であると判断し、継続して富山市社会福祉事業団を指定管理者に選定している。この点、当施設は純粋な福祉施設であり、利潤を求める民間企業は参入しにくい。また、富山市の障害者福祉政策と密接に連携した運営が求められるため、人員や情報の共有が図りやすい外郭団体が運営することには合理性がある。加えて、指定管理者は当施設を使用して多数の障害者向けイベントを開催しているが、重大なクレームやトラブルなくそれらを運営できている。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ. 指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ. 指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料及び人件費補助金である。なお、指定管理者は当施設を使用した自主事業は行っていない。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費である。人件費については、指定管理者は管理業

務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費については、大規模施設であり電気料（高圧契約）やガス代が相応に発生しているが、指定管理者はデマンド監視サービスの利用による使用状況のモニタリングや最大電力料の抑制等を行っており、重大な問題は認められなかった。

一方で、指定管理者は、事務局の人件費や本部経費を法人管理費として各施設に配賦しているが、各施設への配賦基準については従来から同じ配賦率を使っており根拠が不明であった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 128【指摘 9】 | 本社管理費の配賦基準の見直し |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |
| 指定管理者は、本部事務局の人件費や経費を法人管理費として各指定管理施設に配賦しているが、各施設への配賦基準については従来から同じ配賦率を使っており根拠が不明であった。<br>施設所管課においては、法人管理費の配賦基準を活動実態に即した適正な方法に見直すよう指定管理者に指導する必要がある。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象とされている。当該包括外部監査における発見事項（備品管理以外）に対する施設所管課の措置回答状況及びそれに対する監査手続実施結果は以下のとおりである。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 【指摘】決算月の経費の支払について | |
| 過去の発見事項（要約） | 平成 24 年 2 月の消耗品費（コピー代金）について 24,220 円の二重払いが発見された。通常月と同じように月末締で未払計上する必要がある。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 平成 24 年度からは、3 月分の支払い代金（コピー代金）を通常月と同様に月末締めで未払計上している。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 施設所管課に確認した結果、「措置回答のとおり、月末締めで未払計上している」との回答を得た。<br>また、令和 3 年 3 月分の支出内容を確認した結果、二重払い等の計上誤りは発見されなかった。そのため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |

## ２７． 愛育園、慈光園、和光寮

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>愛育園：　富山市西番 104 番地 1<br>慈光園：　富山市西番 104 番地 1<br>和光寮：　富山市西番 104 番地 1</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>愛育園：　こども健康課<br>慈光園：　長寿福祉課<br>和光寮：　こども健康課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>愛育園：　富山市立愛育園条例及び同条例施行規則<br>慈光園：　富山市立慈光園条例及び同条例施行規則<br>和光寮：　富山市立和光寮条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>愛育園：　保護者のいない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を、心身ともに健やかに育成し、併せてその自立を支援する<br>慈光園：　老人福祉法第 11 条第 1 項第 1 号の該当者（65 歳以上の者であって、環境上の理由等により居宅において養護を受けることが困難なもの）を入所し、養護する<br>和光寮：　配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を保護し、生活を支援することにより、これらの者の自立を促進する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積（㎡）</th><th>建設費（千円）</th></tr>
<tr><td>愛育園中央管理棟</td><td>H7</td><td>47</td><td>20</td><td>1,831.50</td><td rowspan="2">653,812</td></tr>
<tr><td>愛育園棟</td><td>H7</td><td>47</td><td>20</td><td>1,380.91</td></tr>
<tr><td>慈光園棟</td><td>H7</td><td>47</td><td>20</td><td>3,464.94</td><td rowspan="5">1,723,502</td></tr>
<tr><td>慈光園デイサービス棟</td><td>H7</td><td>38</td><td>11</td><td>374.22</td></tr>
<tr><td>慈光園中央管理棟</td><td>H7</td><td>50</td><td>23</td><td>582.69</td></tr>
<tr><td>慈光園体育館棟</td><td>H7</td><td>47</td><td>20</td><td>579.53</td></tr>
<tr><td>慈光園作業所棟</td><td>H7</td><td>38</td><td>11</td><td>130.00</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>開園期間</td><td>何れも入所型の施設であり、年中無休で 24 時間稼働している。</td></tr>
<tr><td>公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>愛育園：　少子化の進行や国が進める里親委託による当施設への入所児童数への影響を見極めながら、今後の在り方を検討する。<br>慈光園：　対象となる利用者を考慮し当面は存続させることとする。<br>和光寮：　当施設については直接的には言及されていない。<br>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | 愛育園：　当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。<br>慈光園：　当施設はアクションプランの対象となっており、機能維持の方針は「継続」となっている。また、機能の提供形態は「維持」の方針が明確になっており、整備手法は「修繕」、「長寿命化（大規模改修）」が検討されている。<br>和光寮：　当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。 |
| その他 | 愛育園、慈光園、和光寮は一つの建物の中に一体となって存在する。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | （社福）富山市社会福祉事業団<br>所在地：　富山市蜷川 15 番地<br>代表者：　今本　雅祥<br>事業概要：　第一種社会福祉事業（母子生活支援施設、児童養護施設、養護老人ホームの運営）、第二種社会福祉事業（障害者福祉プラザ、児童館、老人福祉センターの運営等）その他社会福祉の増進のために行う事業<br>富山市との関係：　外郭団体 |
| 指定管理業務の概要 | ● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務 |
| 指定期間 | 5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度） |
| 指定管理料 | 各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円 |

| | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|---|---|---|---|---|---|
| 愛育園 | 76,802 | 77,110 | 78,102 | 78,102 | 78,410 |
| 慈光園 | 93,149 | 93,149 | 94,449 | 94,449 | 94,449 |
| 和光寮 | 2,628 | 2,936 | 2,943 | 2,943 | 3,251 |
| **合計** | **172,579** | **173,195** | **175,494** | **175,494** | **176,110** |

| | |
|---|---|
| 選定方法 | 非公募（児童と高齢者への対処、母子保護の実施を同時に行える能力及び経験が必要とされるため） |
| 使用料の帰属 | 富山市（使用料制） |
| 施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係 | ● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円 |

| | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|---|---|---|---|---|---|
| 愛育園 | 1,800 | 1,800 | 1,800 | 1,800 | 1,800 |
| 慈光園 | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 3,000 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 和光寮 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 |
| 精算条項 | 有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する） | | | | | |
| 自主事業提案 | 指定管理選定資料の「自主事業提案書」では「該当無し」となっている。 | | | | | |
| 収益向上提案 | 指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「該当無し」となっている。 | | | | | |

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 愛育園 | 無料 | 1 | | | | | |
| | 入所者数 | | 6 | 5 | 2 | 1 | 1 |
| | 退所者数 | | 3 | 5 | 3 | 3 | 2 |
| | 年度末入所者数 | | 26 | 26 | 25 | 23 | 22 |
| 慈光園 | 無料 | 2 | | | | | |
| | 入所者数 | | 5 | 2 | 5 | 3 | 2 |
| | 退所者数 | | 15 | 4 | 6 | 11 | 2 |
| | 年度末入所者数 | | 57 | 55 | 54 | 46 | 46 |
| 和光寮 | 無料 | 3 | | | | | |
| | 入所者数 | | － | － | 2 | － | － |
| | 退所者数 | | － | － | － | － | 2 |
| | 年度末入所者数 | | － | － | 2 | 2 | － |

＜補足コメント＞

※1　愛育園の入所者数について

富山県内には、児童養護施設が 3 施設（富山市愛育園、高岡愛育園、ルンビニ園）存在し、当施設以外は民営である。また、北陸地区では、石川県に 8 施設（定員合計 356 名）、福井県に 5 施設（定員合計 195 名）の児童養護施設が存在する。

児童養護施設は、児童相談所の判断に基づき都道府県知事が入所措置を行っており、3 つのどの児童養護施設に入所措置を行うかは富山県（児童相談所）が判断している。

愛育園の定員は 50 名であり、令和 3 年度末の入所率は 44%となっている。内訳は小学生 13 名、中学生 5 名、高校生 4 名であり未就学児は入所していない。愛育園の入所者数は漸減傾向にあるが、これは少子化により子供の数が減っていることに加え、虐待防止のための公の支援体制が整ってきたこと、社会的養護は原則として家庭養護を優先する方針になってきていること等が原因と考えられる。

他の児童養護施設の HP に記載されている第三者評価結果報告書（富山県社会福祉協議会が実施）によると、高岡愛育園は令和 2 年の入所者数が 26 名（定員 45 名）、ルンビニ園は令和 3 年の入所者数が 49 名（定員 100 名）となっており、何れも 50%程度の入所率となっている。

※2　慈光園の入所者数について

富山県内には、養護老人ホームが 4 つ（慈光園、ながれすぎ光風苑、志貴野長生寮、楽寿荘）存在し、慈光園以外は民営である。このうち、ながれすぎ光風苑は県立の施設が、志貴野長生寮は市立の施設が民営化されたものである。また、北陸地区では、石川県に 9 施設（定員合計 700 名）、福井県に 7 施設（定員合計 480 名）の養護老人ホームが存在する。

慈光園は、日常生活は自分でできるが、経済的理由や家庭内虐待等で自宅に住めない概ね 65 歳以上の高齢者を対象としており、富山市が様々な支援策を検討する一環で当施設への入所措置を行っている。慈光園は養護老人ホームであり、介護が必要な方を受け入れる特別養護老人ホームではないため、長期入院や介護が必要になった場合は民間の病院や特別養護老人ホームに移転してもらうことになる。

慈光園の定員は 120 名であり、令和 3 年度末の入所率は 38%となっている。他の施設の入所者数は不明であるが、定員はながれすぎ光風苑が 60 名、志貴野長生寮が 100 名、楽寿荘が 50 名となっている。

慈光園は、上述のとおり富山市からの措置により入所することになるが、足元では入所者数は漸減傾向にある。これは、集団生活を好まない高齢者が増えたこと、介護保険制度が定着し要介護認定を受ければ区分に応じた各種サービスが受けられるようになったこと（介護保険制度が定着する前は、富山市の措置も生活保護か当施設への入所に限られていた）等が原因と考えられる。

※3　和光寮の入所者数について

富山県には、母子生活支援施設は和光寮しか存在しない。北陸地区では、石川県に 2 施設（定員合計 34 名）、福井県に 1 施設（定員 15 世帯）存在する。

和光寮は、虐待等にさらされている母子を保護し、生活を支援することを目的としており、こども健康課が様々な支援策を検討する一環で当施設への入所も案内している。

和光寮の定員は 2 世帯であるが、令和 3 年度末時点で入所者はおらず、平成 29 年以降でも 1 世帯 2 名のみとなっている。和光寮は、上述のとおりこども健康課からの紹介で入所することになるが、24 時間警備体制にないため追跡 DV に対応できないこと、立地が悪く生活に不便であること、生活面・経済面での指導（自立化支援）を窮屈に感じる人がいること、昨今は生活保護、市営住宅、児童扶養手当、貸付金制度等の支援制度が整備されているため、それらの制度を活用し地域での生活を選択する場合があること等の理由で殆ど利用がない状態となっている。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

①　愛育園

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| その他の歳入 | 2 | 122,577 | 123,990 | 124,387 | 125,678 | 121,200 |
| **a.歳入実績合計** | | **122,577** | **123,990** | **124,387** | **125,678** | **121,200** |
| 人件費 | 3 | 70,796 | 65,415 | 62,823 | 55,945 | 51,293 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 委託料（指定管理料） | 4 | 76,802 | 76,802 | 77,100 | ▲3,410 | 76,802 |
| 委託料（その他） | 5 | － | － | 1,269 | 2,005 | 20,128 |
| 補助金（指定管理運営） | 6 | 58,125 | 65,895 | 66,678 | 68,874 | 69,505 |
| 消耗品費 | | － | 388 | 345 | 496 | － |
| 借上料 | | － | － | － | － | 358 |
| 庁用器具費 | | － | － | － | 2,180 | － |
| 機械器具費 | | － | － | － | 460 | 962 |
| **b.歳出実績合計** | | **205,724** | **208,502** | **208,216** | **126,553** | **219,049** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲83,146** | **▲84,511** | **▲83,828** | **▲874** | **▲97,849** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲87,804** | **▲87,312** | **▲87,393** | **▲101,608** | **▲105,333** |
| **e.予実差異(c-d)** | **7** | **4,657** | **2,800** | **3,564** | **100,733** | **7,483** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設は使用料金が無料であり該当無し。

※2　その他の歳入について

令和3年度の主な内訳は、「児童福祉法による児童入所施設措置費（県負担金）119,353千円」、「職員給食費 1,302 千円」等である。児童入所施設措置費は、児童福祉法で種目ごとの計算単価や算出方法が決まっており、毎月富山県に請求している。

※3　人件費について

愛育園で勤務している従業員の内訳は以下のとおりである。

単位：人

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市派遣職員 | 14 | 13 | 12 | 10 | 10 |
| プロパー職員 | 1 | 2 | 2 | 3 | 4 |
| 嘱託等職員（臨時含む） | 18 | 19 | 10 | 9 | 10 |
| **合計** | **33** | **34** | **24** | **22** | **24** |

このうち、市派遣職員（主に保育士）の人件費は富山市の歳出（人件費）として計上されており、プロパー職員と嘱託等職員の人件費が当施設に係る指定管理者の人件費として計上されている。

愛育園の入所者数が減少し、市派遣職員も減少傾向にあるため、人件費も減少している。令和3年度の1人当たり人件費（＝人件費÷市派遣職員数）は5,129千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

※4　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定

められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。

※5　委託料（その他）について

令和 3 年度の内訳は、「冷暖房機・冷却水ポンプ取替業務委託料」である。当該設備は建物の慈光園部分に存在するが、建物全体に影響する機能であるため、委託料総額を愛育園・慈光園・和光寮で按分負担している。

※6　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

※7　予実差異について

令和 2 年度は、上記※4 のとおり指定管理料の返金があったこと等により、多額の予算・決算差額が発生している。

② 慈光園

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 |
| その他の歳入 | 3 | 17,489 | 14,825 | 15,302 | 13,623 | 14,466 |
| **a.歳入実績合計** | | **17,509** | **14,845** | **15,322** | **13,643** | **14,486** |
| 人件費 | 4 | 29,469 | 29,485 | 28,573 | 35,326 | 36,499 |
| 委託料（指定管理料） | 5 | 95,015 | 95,015 | 95,015 | 17,712 | 93,149 |
| 委託料（その他） | 6 | | 305 | 1,269 | 1,813 | 33,080 |
| 補助金（指定管理運営） | 7 | 52,700 | 55,241 | 59,534 | 61,767 | 64,005 |
| 消耗品費 | | 15 | 388 | 345 | 751 | － |
| 修繕料 | | 274 | － | － | － | － |
| 備品購入費 | | 65 | － | － | 460 | 1,100 |
| 工事請負費 | | － | 5,641 | 5,316 | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **177,539** | **186,077** | **190,054** | **117,833** | **227,835** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲160,030** | **▲171,231** | **▲174,731** | **▲104,189** | **▲213,348** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲161,943** | **▲173,552** | **▲178,498** | **▲191,324** | **▲219,747** |
| **e.予実差異(c-d)** | **8** | **1,912** | **2,320** | **3,767** | **87,135** | **6,399** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設は使用料金が無料であり該当無し。

※2　目的外使用料について

自動販売機設置に係る目的外使用料である。

※3　その他の歳入について

令和 3 年度の主な内訳は、「老人保護措置費負担金（本人分）12,267 千円」等である。

老人保護措置費負担金は、「富山市老人ホーム等の被措置者に係る措置に要する費用の徴収に関する規則（平成 17 年 4 月 1 日富山市規則第 97 号）」に基づき、入所者の前年の収入から社会保険料等の必要経費を控除した額（対象収入）に基づき算定している。

※4　人件費について

慈光園で勤務している従業員の内訳は以下のとおりである。

単位：人

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市派遣職員 | 5 | 5 | 4 | 5 | 5 |
| プロパー職員 | 3 | 3 | 3 | 4 | 5 |
| 嘱託等職員（臨時含む） | 8 | 9 | 10 | 8 | 7 |
| **合計** | **16** | **17** | **17** | **17** | **17** |

このうち、市派遣職員の人件費は富山市の歳出（人件費）として計上されており、プロパー職員と嘱託等職員の人件費が当施設に係る指定管理者の人件費として計上されている。

慈光園の人件費は市派遣職員数に大きな変化が無いが増加傾向にあり、令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷市派遣職員数）は 7,299 千円と愛育園より高くなっている。内訳をみると、愛育園の市派遣職員は副主幹 1 名、主査 7 名、主任 1 名、保育士 1 名で 20～40 代が中心となっている。一方、慈光園は主幹 1 名、副主幹 1 名、主査 3 名で全員 45 歳以上となっている。市派遣職員の給与体系等に差異はないため、両施設の人件費の差額は職階、年齢、勤続年数によるものと考えられる。人員内訳を考慮した場合、人件費が著しく高額である等の問題は認められない。

※5　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。

※6　委託料（その他）について

令和 3 年度の内訳は、「冷暖房機・冷却水ポンプ取替業務委託料」である。当該設備は建物の慈光園部分に存在するが、建物全体に影響する機能であるため、委託料総額を愛育園・慈光園・和光寮で按分負担している。

※7　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

※8　予実差異について

令和 2 年度は、上記※5 のとおり指定管理料の返金があったこと等により、多額の予算・決算差額が発生している。

③　和光寮

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| その他の歳入 | 2 | 49 | 77 | 21,491 | 2,160 | 2,008 |
| **a.歳入実績合計** | | **49** | **77** | **21,491** | **2,160** | **2,008** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 2,723 | 2,723 | 2,936 | ▲316 | 2,628 |
| 委託料（その他） | | － | － | － | － | 580 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 6,453 | 6,737 | 7,152 | 7,247 | 8,416 |
| 消耗品費 | | － | － | － | 517 | － |
| 庁用器具費 | | － | － | － | 396 | － |
| **b.歳出実績合計** | | **9,176** | **9,460** | **10,088** | **7,845** | **11,625** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲9,126** | **▲9,383** | **▲11,402** | **▲5,684** | **▲9,617** |
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲11,390** | **▲11,331** | **▲11,409** | **▲12,193** | **▲11,643** |
| **e.予実差異(c-d)** | **5** | **2,263** | **1,947** | **7** | **6,508** | **2,025** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

当施設は使用料金が無料であり該当無し。

※2　その他の歳入について

令和 3 年度の主な内訳は、「母子生活支援施設に係る国庫負担金 1,981 千円（事務費の 1/2 相当）」である。

令和 1 年度は、平成 25 年度分～平成 30 年度分の負担金請求漏れが発覚し、一括して請求した結果、発生額が多額になっている。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。

※4　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

※5　予実差異について

令和 2 年度は、上記※3 のとおり指定管理料の返金があったこと等により、多額の予

算・決算差額が発生している。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

① 愛育園

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 76,802 | 76,802 | 77,100 | 59,261 | 76,802 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 58,125 | 65,895 | 66,678 | 68,874 | 69,505 |
| その他事業収入 | 3 | 7,584 | 7,636 | － | － | － |
| その他の収入 | | 844 | 706 | 66 | 11 | － |
| **a.収入合計** | | **143,356** | **151,040** | **143,844** | **128,147** | **146,307** |
| 人件費 | 4 | 65,464 | 73,192 | 66,846 | 69,006 | 69,599 |
| 給食費 | 5 | 8,818 | 10,200 | 9,892 | 9,885 | 9,081 |
| 光熱水費 | 6 | 12,780 | 12,685 | 12,936 | 12,796 | 13,689 |
| 教育指導費 | 7 | 7,046 | 6,844 | 5,790 | 6,195 | 5,403 |
| 修繕料 | | 2,092 | 2,021 | 1,480 | 1,551 | 1,540 |
| 業務委託料 | 8 | 15,409 | 15,420 | 15,922 | 15,753 | 16,519 |
| 法人管理費 | 9 | 4,500 | 4,500 | 4,500 | 4,500 | 4,500 |
| 指定管理料返金等（富山市） | 10 | － | － | － | 62,671 | － |
| その他の支出 | | 9,211 | 9,539 | 8,599 | 8,357 | 7,496 |
| **b.支出合計** | | **125,320** | **134,401** | **125,965** | **190,714** | **127,827** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **18,036** | **16,639** | **17,879** | **▲62,567** | **18,480** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲116,891** | **▲126,058** | **▲125,899** | **▲128,031** | **▲127,827** |

＜補足コメント＞

※1 指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2 補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

※3 その他事業収入について

主な内訳は、「24時間子育て相談電話対応事業・子どもホットダイヤル事業」の受託事業収入である。令和1年度より同事業は富山市が直接実施することになったため、事業収入が無くなった。なお、現在も場所は提供しており、毎日夕方から朝まで市の相談員

が常駐し電話相談に応じている。

※4　人件費について

愛育園で勤務している従業員の内訳は以下のとおりである。

単位：人

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市派遣職員 | 14 | 13 | 12 | 10 | 10 |
| プロパー職員 | 1 | 2 | 2 | 3 | 4 |
| 嘱託等職員（臨時含む） | 18 | 19 | 10 | 9 | 10 |
| **合計** | **33** | **34** | **24** | **22** | **24** |

このうち、市派遣職員の人件費は富山市の歳出（人件費）として計上されており、プロパー職員と嘱託等職員の人件費が当施設に係る指定管理者の人件費として計上されている。

平成 29 年度まで園長が市派遣職員（富山市の人件費として処理）であったが、平成 30 年度以降は再雇用により嘱託等職員（愛育園の人件費として処理）となったため、平成 30 年度に人件費が増加している。一方で、平成 30 年度までは嘱託職員として「子育て電話相談員 8 人」と「家庭教育電話相談員 1 人」が配置されていたが、令和 1 年度に当該事業が終了し嘱託等職員数が減少したため、人件費も減少している。

なお、指定管理者の本部事務局で勤務している職員（令和 4 年 3 月末時点で 5 名）の人件費は、法人管理費として別科目で配賦計上されている。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷（プロパー職員数＋嘱託等職員数））は 4,971 千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

※5　給食費について

愛育園の入所者及び職員に係る給食費である。令和 4 年 3 月分の請求書を確認した結果、入所者の朝食は 250 円、昼食及び夕食は 270 円、職員の朝食は 275 円、昼食及び夕食は 330 円とされており、当該単価に食事回数を乗じて請求額が計算されていた。

なお、当該支出には外部委託業者の固定費相当（人件費等）は含まれておらず、それは別途業務委託料（※8 参照）で支払っている。業務委託料として支払っている金額は年間 14,820 千円であり、これを加味しても 1 食あたりの単価は 400 円～500 円程度と合理的な水準であるため、給食関連の支出に重大な問題は認められない。

※6　光熱水費について

令和 3 年度の主な内訳は、「電気料 4,510 千円」、「ガス代 6,057 千円」、「上下水道料 3,120 千円」である。なお、愛育園、慈光園、和光寮は一つの建物内に存在するため、当該建物に係る電気料総額 12,053 千円、ガス代総額 16,277 千円、水道代総額 8,339 千円を各施設の延床面積の比率（慈光園 61.5%、愛育園 37.422%、和光寮 1.078%）で按分している。延床面積を用いて再計算を実施したが、按分計算に重大な問題は認められなかった。

その他、当施設が入所する建物は、ガスヒートポンプ式の冷暖房システムを利用しており、ガス代が多額になる傾向があるため、入所者の健康に配慮しながら 21 時以降は冷

暖房を切るなど経費削減努力を行っている。

※7　教育指導費について

入所者の通学用定期代、授業料、教材費、給食費、被服費等である。

※8　業務委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「給食調理業務委託料 14,820 千円」等である。

当該委託料の内容は※5 を参照。なお、当該委託料は、年間総額 28,380 千円を按分方針決定時の愛育園と慈光園の職員比率（愛育園 52.2%、慈光園 47.8%）で按分している。

※9　法人管理費について

指定管理者は、富山市の公の施設（障害者福祉プラザ、愛育園、慈光園、和光寮、児童館、老人福祉施設）の指定管理業務のみを実施している。各施設に直接紐づく人件費や管理経費は施設単位で集計しているが、本部事務局の人件費や本部経費はその総額を法人管理費として各施設に配賦している。

指定管理者が作成した令和 3 年度の「法人管理費拠点別内訳表」を査閲した結果、法人管理費の予算総額（32,723 千円）と決算総額（30,394 千円）は概ね近似しており、重大な配賦過不足は認められなかった。一方で、各施設への配賦基準を指定管理者に質問した結果、「従来から同じ配賦率を使っており基準の根拠は不明である」との回答を得た。

※10　指定管理料返金等（富山市）について

指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を行っている。なお、指定管理料の精算資料を査閲した結果、計算誤り等の問題は発見されなかった。一方で、指定管理者は実際の入所者数や暫定定員数を基に事業計画書を提出し、それに基づいて指定管理料を受領しているが、入所者の逓減傾向を考慮した計画とはなっておらず、計画と実績に乖離が生じているため、多額の返還が生じていることが確認された。

② 慈光園

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 95,015 | 95,015 | 95,015 | 76,479 | 93,149 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 52,700 | 55,241 | 59,534 | 61,767 | 64,005 |
| 補助金収入(その他) | | － | － | － | 440 | － |
| **a.収入合計** | | **147,715** | **150,256** | **154,549** | **138,687** | **157,154** |
| 人件費 | 3 | 54,662 | 56,766 | 61,067 | 62,583 | 64,920 |
| 給食費 | 4 | 18,088 | 17,763 | 17,116 | 16,031 | 15,409 |
| 光熱水費 | 5 | 21,047 | 20,905 | 21,321 | 21,077 | 22,540 |
| 修繕料 | | 3,261 | 3,445 | 2,006 | 3,605 | 3,320 |
| 業務委託料 | 6 | 20,302 | 20,224 | 20,455 | 20,736 | 20,916 |
| 法人管理費 | 7 | 4,500 | 4,500 | 4,500 | 4,500 | 4,500 |
| 指定管理料返金等（富山市） | 8 | － | － | － | 58,767 | － |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| その他の支出 | | 11,145 | 8,993 | 11,943 | 10,589 | 8,934 |
| **b.支出合計** | | **133,005** | **132,596** | **138,408** | **197,888** | **140,539** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **14,710** | **17,660** | **16,141** | **▲59,201** | **16,615** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲133,005** | **▲132,596** | **▲138,408** | **▲138,680** | **▲140,539** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

※3　人件費について

慈光園で勤務している従業員の内訳は以下のとおりである。

単位：人

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市派遣職員 | 5 | 5 | 4 | 5 | 5 |
| プロパー職員 | 3 | 3 | 3 | 4 | 5 |
| 嘱託等職員（臨時含む） | 8 | 9 | 10 | 8 | 7 |
| **合計** | **16** | **17** | **17** | **17** | **17** |

このうち、市派遣職員の人件費は富山市の歳出（人件費）として計上されており、プロパー職員と嘱託等職員の人件費が当施設に係る指定管理者の人件費として計上されている。

令和 1 年度は、嘱託職員を 1 名増員し総人員数が 1 名増加したことにより、人件費が増加した。令和 2 年度以降はプロパー職員を増員していることにより人件費が増加傾向にある。

なお、指定管理者の本部事務局で勤務している職員（令和 4 年 3 月末時点で 5 名）の人件費は、法人管理費として別科目で配賦計上されている。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷（プロパー職員数＋嘱託等職員数））は 5,410 千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

※4　給食費について

慈光園の入所者の給食費である。令和 4 年 3 月分の請求書を確認した結果、朝食 220 円、昼食 250 円、夕食 250 円とされており、当該単価に食事回数を乗じて請求額が計算

されていた。

なお、当支出には外部委託業者の固定費相当（人件費等）は含まれておらず、それは別途業務委託料（※6 参照）で支払っている。業務委託料として支払っている金額は年間 13,560 千円であり、これを加味しても 1 食あたりの単価は 400 円～500 円程度と合理的な水準であるため、給食関連の支出に重大な問題は認められない。

※5　光熱水費について

令和 3 年度の主な内訳は、「電気料 12,053 千円」、「ガス代 16,277 千円」、「上下水道料 5,128 千円」である。なお、愛育園、慈光園、和光寮は一つの建物内に存在するため、当該建物に係る電気料総額 12,053 千円、ガス代総額 16,277 千円、水道代総額 8,339 千円を各施設の延床面積の比率（慈光園 61.5%、愛育園 37.422%、和光寮 1.078%）で按分している。延床面積を用いて再計算を実施したが、按分計算に重大な問題は認められなかった。

その他、当施設が入所する建物は、ガスヒートポンプ式の冷暖房システムを利用しており、ガス代が多額になる傾向があるため、入所者の健康に配慮しながら 21 時以降は冷暖房を切るなど経費削減努力を行っている。

※6　業務委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「給食調理業務委託料 13,560 千円」、「富山市シルバー人材センターに対する施設管理（宿日直）業務委託料約 3,600 千円」等である。

このうち、給食調理業務委託料の内容は※4 を参照。なお、当該業務委託料は、年間総額 28,380 千円を按分方針決定時の愛育園と慈光園の職員比率（愛育園 52.2%、慈光園 47.8%）で按分している。

※7　法人管理費について

指定管理者は、富山市の公の施設（障害者福祉プラザ、愛育園、慈光園、和光寮、児童館、老人福祉施設）の指定管理業務のみを実施している。各施設に直接紐づく人件費や管理経費は施設単位で集計しているが、本部事務局の人件費や本部経費はその総額を法人管理費として各施設に配賦している。

指定管理者が作成した令和 3 年度の「法人管理費拠点別内訳表」を査閲した結果、法人管理費の予算総額（32,723 千円）と決算総額（30,394 千円）は概ね近似しており、重大な配賦過不足は認められなかった。一方で、各施設への配賦基準を指定管理者に質問した結果、「従来から同じ配賦率を使っており基準の根拠は不明である」との回答を得た。

※8　指定管理料返金等（富山市）について

指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を行っている。なお、指定管理料の精算資料を査閲した結果、計算誤り等の問題は発見されなかった。一方で、指定管理者は実際の入所者数や暫定定員数を基に事業計画書を提出し、それに基づいて指定管理料を受領しているが、入所者の逓減傾向を考慮した計画とはなっておらず、計画と実績に乖離が生じているため、多額の返還が生じていることが確認された。

③ 和光寮

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 2,723 | 2,723 | 2,936 | 2,022 | 2,628 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 6,453 | 6,737 | 7,152 | 7,247 | 8,416 |
| その他事業収益 | | 331 | － | － | － | － |
| **a.収入合計** | | **9,508** | **9,460** | **10,088** | **9,269** | **11,044** |
| 人件費 | 3 | 6,573 | 6,857 | 7,272 | 7,367 | 8,536 |
| 光熱水費 | | 372 | 364 | 297 | 262 | 332 |
| 修繕料 | | － | 37 | － | 19 | 108 |
| 業務委託料 | | 346 | 38 | 346 | 38 | 38 |
| 法人管理費 | 4 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 |
| 指定管理料返金等（富山市） | 5 | － | － | － | 2,339 | － |
| その他の支出 | | 242 | 457 | 492 | 458 | 505 |
| **b.支出合計** | | **8,658** | **8,878** | **9,532** | **11,608** | **10,644** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **850** | **582** | **556** | **▲2,339** | **400** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲8,326** | **▲8,878** | **▲9,532** | **▲9,269** | **▲10,644** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

※3　人件費について

和光寮で勤務している従業員の内訳は以下のとおりである。

単位：人

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市派遣職員 | － | － | － | － | － |
| プロパー職員 | － | － | － | － | － |
| 嘱託等職員 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 |
| **合計** | **3** | **3** | **4** | **4** | **4** |

当施設は、平成 29 年度～平成 30 年度は入所者がおらず、令和 1 年度～3 年度の入所

者も 1 世帯のみであり利用が低迷している。しかし、母子生活支援施設であるため国からの通達に基づいて母子指導員、少年指導員、嘱託医を配置する必要があり、相応の人件費が発生している。入所者がいない期間は、職員は研修の受講等を実施している。

なお、指定管理者の本部事務局で勤務している職員（令和 4 年 3 月末時点で 5 名）の人件費は、法人管理費として別科目で配賦計上されている。

※4　法人管理費について

指定管理者は、富山市の公の施設（障害者福祉プラザ、愛育園、慈光園、和光寮、児童館、老人福祉施設）の指定管理業務のみを実施している。各施設に直接紐づく人件費や管理経費は施設単位で集計しているが、本部事務局の人件費や本部経費はその総額を法人管理費として各施設に配賦している。

指定管理者が作成した令和 3 年度の「法人管理費拠点別内訳表」を査閲した結果、法人管理費の予算総額（32,723 千円）と決算総額（30,394 千円）は概ね近似しており、重大な配賦過不足は認められなかった。一方で、各施設への配賦基準を指定管理者に質問した結果、「従来から同じ配賦率を使っており基準の根拠は不明である」との回答を得た。

※5　指定管理料返金等（富山市）について

指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を行っている。なお、指定管理料の精算資料を査閲した結果、計算誤り等の問題は発見されなかった。一方で、指定管理者は実際の入所者数や暫定定員数を基に事業計画書を提出し、それに基づいて指定管理料を受領しているが、入所者の逓減傾向を考慮した計画とはなっておらず、計画と実績に乖離が生じているため、多額の返還が生じていることが確認された。

**（2） 監査手続の実施結果と発見事項**

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

愛育園は、保護者のいない児童や虐待されている児童等を心身ともに健やかに育成し、その自立を支援する目的で開設され、平成 7 年に現在地に新築移転した。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、愛育園については、少子化の進行や国が進める里親委託による当施設への入所児童数への影響を見極めながら、今後の在り方を検討する方針が示されている。

富山県内には、児童養護施設が 3 施設存在し、愛育園以外は民営である。児童養護施設は、児童相談所の判断に基づき都道府県知事が入所措置を行っており、どの児童養護施設に入所措置を行うかは富山県（児童相談所）が判断している。愛育園は定員 50 名に対して入所率 45%程度であり、入所者数は漸減傾向にある。これは少子化により子供の数が減っていることに加え、虐待防

止のための公の支援体制が整ってきたこと、社会的養護は原則として家庭養護を優先する方針になってきていること等が原因と考えられる。入所率は富山県内の他の児童養護施設と同程度となっており、重大な問題は認められない。富山県は、石川県（8 施設で定員合計 356 名）や福井県（5 施設で定員合計 195 名）と比較して児童養護施設が少ない傾向にある。また、愛育園は大舎制であるのに対して他の施設は小規模化を進めており、機能面や役割面で差別化が図られている。そのため、現時点で当施設の存在意義は十分認められる。

慈光園は、環境上の理由等により居宅において養護を受けることが困難な 65 歳以上の高齢者を養護する目的で開設され、平成 7 年に現在地に新築移転した。慈光園は養護老人ホームであるため、長期入院や介護が必要になった場合は民間の病院や特別養護老人ホームに移転してもらうことになる。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、慈光園については、対象となる利用者を考慮し当面は存続させる方針が示されている。

富山県内には、養護老人ホームが 4 施設存在し、慈光園以外は民営である。富山市は、様々な支援策を検討する一環で慈光園への入所を措置している。慈光園は定員 120 名に対して入所率 38%となっており、入所者数は漸減傾向にある。これは、集団生活を好まない高齢者が増えたこと、介護保険制度が定着し要介護認定を受ければ区分に応じた各種サービスが受けられるようになったこと等が原因と考えられる。富山県内の他の養護老人ホームの入所者数は不明であるが、定員数は慈光園と同程度である。富山県は、石川県（9 施設で定員合計 700 名）、福井県（7 施設で定員合計 480 名）と比較して養護老人ホームが少ない傾向にある。また、慈光園は愛育園と同じ建物内に存在し、児童と高齢者が世代間交流を図れるようになっているなど、他の養護老人ホームにはない特徴を有している。そのため、現時点で当施設の存在意義は十分認められる。

和光寮は、配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を保護し、生活を支援することにより、これらの者の自立を促進する目的で開設され、平成 28 年に現在地に移転した。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、和光寮については、個別具体的な方針は示されていない。

富山県には、母子生活支援施設は和光寮しか存在しない。和光寮の定員は 2 世帯であるが、令和 3 年度末時点で入所者はおらず、平成 29 年以降でも 1 世帯 2 名のみとなっている。和光寮は、上述のとおりこども健康課からの紹介で入所することになるが、24 時間警備体制にないため追跡 DV に対応できないこと、立地が悪く生活に不便であること、生活面・経済面での指導（自立化支援）を窮屈に感じる人がいること、昨今は生活保護、市営住宅、児童扶養手当、貸付金制度等の支援制度が整備されているため、それらの制度を活用し地域での生活を選択する場合があること等の理由で殆ど利用がない状態となっている。なお、富山県は、石川県（2 施設で定員合計 34 名）や福井県（1 施設で定員 15 世帯）と比較して母子生活支援施設が少ない傾向にある。和光寮は過去の利用実態が殆ど無いが、一方で富山県内に母子生活支援施設が全くない状態は福祉行政の観点から問題があるため、その存在意義が認められる。一方で、和光寮の利用促進の面からは課題が認められる。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 129【意見 52】 | 和光寮の利用促進 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 和光寮は、富山県内に 1 か所しかない母子生活支援施設であるが、従来から殆ど利用実績が無い状態が続いている。富山県に母子生活支援施設の潜在的利用者がいないという事態は考えにくく、施設の認知度や機能の面で何らかの問題が存在する可能性がある。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、和光寮の利用が少ない原因を特定し、対応策を立案、実施することが望まれる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

愛育園に係る富山市の主な歳入は、「児童福祉法による児童入所施設措置費（県負担金)」である。慈光園に係る富山市の主な歳入は、「老人保護措置費負担金（本人分)」である。和光寮に係る富山市の主な歳入は、「母子生活支援施設に係る国庫負担金」である。

愛育園、慈光園、和光寮に係る富山市の主な支出は、市派遣職員の人件費、指定管理料、人件費補助金、委託料である。市派遣職員の人件費については、保育士など施設運営のために必要な知見を有した職員が派遣されており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。指定管理料及び人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。委託料については、老朽化した施設の修繕料等であり、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、外郭団体である（社福）富山市社会福祉事業団が非公募で指定管理者に選定されている。富山市は、児童と高齢者への対処、母子保護の実施を同時に行える能力及び経験が必要と判断し、継続して（社福）富山市社会福祉事業団を指定管理者に選定している。この点、当施設は純粋な福祉施設であり利潤を求める民間企業は参入しにくい。また、富山市の福祉政策と密接

に連携した運営が求められるため、人員や情報の共有が図りやすい外郭団体が運営することには合理性がある。加えて、職員は入所者（特に児童）と十分な信頼関係を築く必要があるが、指定管理者が交代し職員が大きく入れ替わった場合、入所者との関係で問題が生じる可能性がある。この点、現状では、指定管理者は長期間指定管理業務を請け負うことで施設運営のノウハウや入所者との信頼関係を構築しており、重大なクレームやトラブルなく施設を運営できている。

このように、（社福）富山市社会福祉事業団が非公募で指定管理者に選定されていることについては相応の合理性があると考えられる。一方で、指定管理者は外郭団体であり指定期間終了時に指定管理料を精算することが求められているが、令和 2 年度に愛育園で 62,671 千円、慈光園で 58,767 千円という多額の精算が発生していた。これは、指定管理者が、実際の入所者数や暫定定員数を基に事業計画書を提出し、それに基づいて指定管理料を受領しているが、入所者の逓減傾向を考慮した計画とはなっておらず、計画と実績に乖離が生じているためであり、例えば愛育園では、給食費、教育指導費（消耗品等）、本人支給額（お小遣い等）の実績額が事業計画を大きく下回っていた。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧や施設所管課への質問を実施した結果、指定管理候補者選定時の事業計画について、過去実績との比較が行われていなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 130【指摘 3】 | 指定管理料決定時の事業計画の妥当性検討 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 3）を識別している。 |

愛育園と慈光園では、指定管理業務に係る支出(例えば愛育園の給食費、教育指導費、本人支給額等）が指定管理候補者選定時の事業計画を継続的に下回っており、多額の収支差額が発生していた。これは、指定管理者が、実際の入所者数や暫定定員数を基に事業計画書を提出し、それに基づいて指定管理料を受領しているが、入所者の逓減傾向を考慮した計画とはなっておらず、計画と実績に乖離が生じているためである。この点、指定管理候補者選定資料の閲覧等を実施した結果、指定管理料の根拠となる事業計画と過去実績との比較検討が行われていなかった。

施設所管課においては、指定管理料を決定する際に事業計画と過去実績との比較や過去実績の内容検討を行う必要がある。当該検討の結果、過去実績やそれを基に作成された事業計画に不自然な点がある場合（過去に多額の収支差額が発生している、過去の収支差額が常にゼロである等）は、その原因に応じて適宜指定管理者に事業計画の見直しを指示し、指定管理料に重大な過不足が生じないようにする必要がある。

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料及び人件費補助金である。なお、指定管理者は当施設で自主事業は行っていない。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費、業務委託料である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費については、指定管理者はこまめな消灯や空調の調整により節電を心掛けており、建物全体の光熱水費の按分計算結果についても、特段問題は認められなかった。業務委託料については、給食調理業務委託料など施設を運営するうえで必要な支出であったが、給食調理業務委託料の各施設への按分基準については課題が認められた。

その他、指定管理者は外郭団体であり指定期間終了時に指定管理料を精算することが求められているが、令和2年度に愛育園で62,671千円、慈光園で58,767千円という多額の精算が発生していた。これは、指定管理者が、実際の入所者数や暫定定員数を基に事業計画書を提出し、それに基づいて指定管理料を受領しているが、入所者の逓減傾向を考慮した計画とはなっておらず、計画と実績に乖離が生じているためであり、例えば愛育園では、給食費、教育指導費（消耗品等）、本人支給額（お小遣い等）の実績額が事業計画を大きく下回っていた。加えて、指定管理者は、事務局の人件費や本部経費を法人管理費として各施設に配賦しているが、各施設への配賦基準については従来から同じ配賦率を使っており根拠が不明であった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 131【意見53】 | 給食費（固定部分）の按分比率の見直し |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 指定管理者は、入所者への給食サービスに係る給食調理業務委託料を愛育園と慈光園に按分する際、施設設立当初の職員比率を使用している。指定管理業務収支を施設毎に正確に計算しないと、施設の存在意義や指定管理料の妥当性を判断できなくなってしまう。<br>施設所管課においては、給食調理業務委託料の按分比率を実態に即したもの（例：現在の給食サービス利用者数の比率等）に見直すよう指導することが望まれる。 | |
| 132【指摘9】 | 多額の収支差額が発生する原因の検討 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第3章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘9）を識別している。 |
| 愛育園と慈光園では、指定管理業務に係る支出（例えば愛育園の給食費、教育指導費、本人支給額等）が指定管理候補者選定時の事業計画を継続的に下回っており、多額の収支差額が発生していた。これは、指定管理者が、実際の入所者数や暫定定員数を基に事業計画書を提出し、それに基づいて指定管理料を受領しているが、入所者の逓減傾向を考慮した計画とはなっておらず、計画と実績に乖離が生じているためである。指定管理料は事業計画の施設管理費見込額と同額になるように計算されているため、指定管理業務で多額の収支差額が発生するというこ | |

| | |
|---|---|
| とは、指定管理業務が当初の計画通りに行われていないことを意味する。<br>施設所管課においては、年度報告書で多額の収支差額が生じている場合はその理由を検討する必要がある。また、検討の結果、指定管理業務の実施状況や報告内容に問題が認められる場合は、以下のような対応をとる必要がある。<br>● 指定管理料が妥当な水準になるよう見直す<br>● 指定管理者に業務の範囲や内容の見直しを指導する（例：機能維持や利用者満足度向上のために必要な修繕を実施させる、利用促進のためイベントや広告宣伝を増加させる等）<br>● 報告内容に誤りがある場合は修正を指導する（例：本社管理費の配賦漏れ等） | |
| 133【指摘 9】 | 本社管理費の配賦基準の見直し |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |
| 指定管理者は、本部事務局の人件費や経費を法人管理費として各指定管理施設に配賦しているが、各施設への配賦基準については従来から同じ配賦率を使っており根拠が不明であった。<br>施設所管課においては、法人管理費の配賦基準を活動実態に即した適正な方法に見直すよう指定管理者に指導する必要がある。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象とされている。当該包括外部監査における発見事項（備品管理以外）に対する施設所管課の措置回答状況及びそれに対する監査手続実施結果は以下のとおりである。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 【指摘】USB による個人情報の保管について | |
| 過去の発見事項（要約） | USB に個人情報が保管されているが、ID、パスワードを設けアクセスを制限することが必要と考える。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 平成 25 年 3 月末にネットワーク化されたことに伴い、USB への個人情報の保管を取りやめた。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 施設所管課及び指定管理者に確認した結果、「措置回答のとおり、現在は USB への個人情報の保管は行っていない。また、ネットワークに入るためにはログイン ID とパスワードが必要になっている」との回答を得た。<br>そのため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |

## ２８．富山ガラス工房

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 富山市古沢 152 番地 |
| 所管部署 | 企画調整課<br>（令和 4 年度組織改正により報告日現在の所管部署は文化国際課である） |
| 関連条例等 | 富山ガラス工房条例及び同条例施行規則 |
| 条例に定める施設の目的 | ガラス工芸を担う人材の育成及び自立の支援並びにガラス工芸に関する知識の普及啓発を図り、もって富山市のガラス工芸産業の振興に資する |
| 施設の主な建物の概要 | 下表参照 |
| 開館期間 | 休館日：　12 月 28 日～1 月 4 日<br>開館時間：　9:00～17:00 |
| 公共施設マネジメント方針 | ＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「産業系施設」については、利用率の低い施設は改善を行いつつ、現在の社会環境から見たニーズに合わせた施設の普及促進を検討し、維持管理する。設置当初との社会環境の変化から時代のニーズに合わなくなった施設は、更新を行わないこととする。<br>産業振興に資するため今後も保有していく施設については、長期的な改修計画を策定するとともに、利用者の安全性と利便性等を考慮し適切な施設改修・設備更新を実施する。また、利用者の利便性向上及び収益性の向上に向け、運営体制の見直しを検討する。 |
| | ＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

| 主な建物 | 建築年 | 耐用年数 | 残存年数 | 延床面積（㎡） | 建設費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 工房 | H5 | 38 | 10 | 609.79 | 885,430 |
| アトリエ | H16 | 38 | 21 | 1,007.45 | |
| ギャラリー | H23 | 50 | 40 | 19.45 | |
| 個人工房 1 号棟 | H8 | 31 | 6 | 129.60 | |
| 個人工房 2 号棟 | H9 | 31 | 7 | 129.60 | |
| 個人工房 3 号棟 | H10 | 31 | 8 | 129.60 | |
| 個人工房 4 号棟 | H12 | 31 | 10 | 129.60 | |
| 第 2 工房 | H24 | 31 | 22 | 1,087.28 | |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | （一財）富山市ガラス工芸センター<br>所在地：　富山市古沢 152 番地 |

<table>
<tr><td></td><td>代表者：　今本　雅祥<br>事業概要：　高度なガラス工芸の技能を有する人材の育成、ガラス工芸品の開発、研究及び制作、ガラス工芸に関する情報の収集及び提供、ガラス工芸品等の展示及び市民への製品普及、富山市から委託を受けて行う富山ガラス工房の管理運営等<br>富山市との関係：　外郭団体</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 富山ガラス工房条例（平成 17 年条例第 198 号）第 3 条各号に掲げる事業に関する業務<br>● 制作工房の使用の承認に関する業務<br>● 制作工房（共同工房を除く）の使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>65,468</td><td>65,468</td><td>65,468</td><td>65,468</td><td>65,468</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>非公募（ガラス工房の設立目的を踏まえると、施設管理や事業の実施には行動な専門的技術や技能を要するため）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円
<table>
<tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>1,950</td><td>1,950</td><td>1,950</td><td>1,950</td><td>1,950</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）</td></tr>
<tr><td>自主事業</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>体験事業</td><td>吹きガラス体験のほか季節行事に関連した吹きガラス体験イベントやキルンワーク講座、バーナーワーク、サンドブラスト講座を実施するなど、ガラスの魅力を</td><td>令和 1 年度は吹きガラス 3,725 人で 9,222 千円、ペーパーウェイト 953 人で 1,458 千円、</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | 実感してもらうとともに、ショップ企画展との連携により販売促進につなげる | その他 7,250 人で 16,271 千円等 |
| 収益向上提案 | 指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「該当無し」となっている。 | | |

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 入館者 | 無料 | 1 | 101,086 | 98,946 | 97,139 | 68,557 | 73,069 |
| 創作工房 | アトリエ 1日2,200円<br>コールド加工機 1時間220円<br>ガラス溶解炉等A 4時間5,500円<br>ガラス溶解炉等B 4時間6,050円<br>電気炉(1.5kw) 1日440円<br>電気炉(23kw) 1日2,640円<br>電気炉(40kw) 1日4,620円 | 2 | 4,966 | 4,738 | 4,857 | 4,068 | 4,821 |
| 吹きガラス体験等 | 条例では設定しておらず、指定管理者が数百円～数千円で個別に設定している。 | 3 | 13,084 | 12,198 | 11,988 | 9,398 | 11,063 |

＜補足コメント＞

※1　入館者数について

入館者数は、創作工房、第2工房、ショップ、カフェギャラリーの合計人数であり、入口カウンターで集計している。ショップや見学のための入館は無料である。

令和2年度以降はコロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和2年4月15日～5月10日、令和3年8月18日～9月12日）や外出控えにより利用者数が減少している。

※2　創作工房の利用者推移

主に富山市内のガラス芸術家が制作のために利用している。ガラス製造には相応の設備や材料が必要であり、収入が不安定な芸術家がそれらの設備を自身で保有することは困難である。また、容易に利用可能な民間施設も無いことから、利用者数は高水準で推移している。

令和2年度はコロナ禍による富山市の施設の一斉休業（4月15日～5月10日）や外出控えにより利用者数が減少しているが、令和3年度は、一斉休業があったにも関わらず利用者数はコロナ禍前まで回復している。

※3　吹きガラス体験等の利用者推移

第2工房で一般市民を対象に実施されている吹きガラス等の体験者数であり、指定管理者が自主事業として毎開館日実施している。

指定管理者は、富山市の広報誌やHPで積極的にアピールしているほか、10名以上の団体利用の場合には無料送迎バスを出すことで利便性を高めており利用者数は安定推移している。

令和2年度はコロナ禍による富山市の施設の一斉休業（4月15日～5月10日）や外出

控えにより利用者数が減少しているが、令和 3 年度は、一斉休業があったにも関わらず利用者数はコロナ禍前まで回復している。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 18,262 | 17,572 | 18,810 | 15,192 | 17,888 |
| 目的外使用料 | 2 | 12 | 26 | 27 | 27 | 27 |
| その他の歳入 | 3 | 1,065 | 1,000 | 288 | 214 | 164 |
| **a.歳入実績合計** | | **19,340** | **18,600** | **19,125** | **15,433** | **18,079** |
| 委託料（指定管理料） | 4 | 56,045 | 57,057 | 57,542 | 58,114 | 65,468 |
| 委託料（個別業務委託） | 5 | 12,217 | 34,490 | 31,175 | 32,350 | 8,940 |
| 委託料（その他） | 6 | 3,186 | 129 | 3,485 | 6,800 | 982 |
| 補助金（指定管理運営） | 7 | 80,930 | 80,664 | 81,364 | 81,816 | 81,711 |
| 補助金（その他） | 8 | 12,047 | 11,442 | 13,517 | 9,251 | 8,878 |
| 機械器具費 | | 723 | 2,398 | 1,059 | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **165,149** | **186,181** | **188,143** | **188,331** | **165,980** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲145,809** | **▲167,581** | **▲169,018** | **▲172,898** | **▲147,901** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲152,976** | **▲172,358** | **▲173,509** | **▲174,068** | **▲152,341** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **7,167** | **4,777** | **4,491** | **1,170** | **4,440** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

令和 3 年度の内訳は、「創作工房のレンタル料 14,720 千円」、「個人工房使用料 3,168 千円」であり、創作工房や個人工房の使用状況によって変動する。利用状況の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

個人工房は、ガラス芸術家が自由に使用できるスペースであり、4 棟の建物（1 棟 2 室）について 1 部屋 33 千円/月で貸し出されている。個人工房はガラス工房に隣接しており利便性もよいため、8 部屋全てが貸し出されている。

※2　目的外使用料について

主な内訳は「自動販売機(2 台)設置に係る目的外使用料」、「LP ガス貯蔵庫等に係る目的外使用料」である。

※3　その他の歳入について

令和 3 年度の主な内訳は、「吹きガラス講座受講料」である。吹きガラス講座は、定員 6 名、受講料 25 千円、年 3 回期間 3 カ月（全 12 回で毎週土曜日に半日）で募集しており、工房職員の付き添いのもと吹きガラス製造を一から学ぶものである。最小履行人数は 3 人であり、毎回 3～4 人程度の申し込みがある。

なお、平成 30 年度以前は、それ以外に市内中心部に存在した「富山市まちなかミニ工房」の施設使用料が計上されていた。当該施設は、近隣に富山市ガラス美術館が完成し

たこと等により平成30年に廃止されたため、令和1年度以降の発生額が減少している。

※4　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

令和3年度は、令和2年度まで富山市から個別に委託されていた「ガラス文化施設利用促進事業4,174千円（無料バスの送迎事業）」と「プロ作家共演パフォーマンス事業（イベント実施事業）533千円」が指定管理業務に組み込まれたため、指定管理料収入が増加している。

※5　委託料（個別業務委託）について

指定管理業務とは別の個別委託事業に係る委託料である。

令和3年度の主な内訳は、「ラグジュアリーブランド開発事業補助金7,286千円」、「ガラス作家育成・定着支援事業補助金1,654千円」である。令和3年度は、「富山ガラスラグジュアリーブランド開発事業委託料」が24,300千円から7,286千円に減少したこと、令和2年度まで個別委託されていた「ガラス文化施設利用促進事業4,174千円（無料バスの送迎事業）」と「プロ作家共演パフォーマンス事業（イベント実施事業）533千円」が、指定管理業務に含まれることになったこと等により発生額が減少している。

「富山ガラスラグジュアリーブランド開発事業」は富山の魅力を発信できるようなガラスアートを開発し富山やガラスをPRするものであり、令和2年度までは商品開発段階であったため委託料が多額になっていた。令和3年度は、商品開発が完了し販売促進や知名度向上を行っているため委託料が減少している。

※6　委託料（その他）について

令和2年度の主な内訳は、「共同工房溶解炉設置業務委託5,500千円」等である。

※7　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

指定管理者は、所属する従業員を「管理運営担当（事務局・営業企画）」、「創作工房担当（創作工房）」、「人材育成担当（共同工房）」、「商品開発担当（共同工房）」、「販売普及担当（事務局・営業企画）」、「体験担当（第2工房）」に区分しており、そのうち「管理運営担当」、「創作工房担当」、「人材育成担当」、「共同工房担当の一部」、「販売普及担当」、「創作工房担当の一部」を指定管理業務に係る人員と見做して人件費補助金の計算を行っている。

※8　補助金（その他）について

指定管理業務とは別の個別委託事業に係る補助金である。

令和3年度の主な内訳は、「富山ガラス造形研究所学生宿舎及びアーティストレジデンス運営補助金4,715千円」、「ラグジュアリーブランド開発事業補助金1,951千円」、「ガラス作家育成・定着支援事業補助金1,862千円」である。

このうち、指定管理者が学生宿舎及びアーティストレジデンスを運営することになっ

た経緯等は、下記「エ．指定管理施設の収入・支出の状況」の※7 を参照のこと。富山市は学生宿舎等の運営に必要な借上料、光熱水費、委託料、使用料、手数料、保険料、消耗品費について補助金を支出している。

また、「富山ガラスラグジュアリーブランド開発事業」の内容は上記※5 を参照のこと。「富山ガラスラグジュアリーブランド開発事業」と「ガラス作家育成・定着支援事業」は、それぞれ臨時職員 1 名が専担で事務を行っており、その人件費について補助金を交付している。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 56,045 | 57,057 | 57,542 | 58,114 | 65,468 |
| 委託事業収入(富山市) | 2 | 12,217 | 34,490 | 31,175 | 32,350 | 8,940 |
| 運営補助金(富山市) | 3 | 80,930 | 80,664 | 81,364 | 81,816 | 81,711 |
| その他補助金（富山市） | 4 | 12,047 | 11,442 | 13,517 | 9,251 | 8,878 |
| 売上収入(自主事業) | 5 | 86,733 | 99,182 | 69,482 | 90,598 | 63,919 |
| 体験収入(自主事業) | 6 | 31,485 | 29,774 | 27,132 | 21,358 | 26,183 |
| その他収入 | 7 | 18,398 | 18,080 | 19,510 | 18,513 | 20,682 |
| **a.収入合計** | | **297,858** | **330,692** | **299,725** | **312,002** | **275,784** |
| 人件費 | 8 | 118,215 | 112,262 | 117,574 | 116,565 | 116,870 |
| 使用料 | 9 | 23,316 | 20,972 | 17,189 | 19,396 | 17,075 |
| 光熱水費 | | 15,791 | 16,700 | 18,298 | 15,254 | 16,584 |
| 燃料費 | 10 | 21,561 | 23,624 | 21,210 | 18,252 | 26,986 |
| 消耗品費 | | 14,508 | 13,640 | 13,466 | 11,218 | 10,019 |
| 修繕料 | | 5,692 | 6,387 | 3,407 | 10,543 | 4,657 |
| 委託料 | 11 | 20,626 | 50,054 | 33,451 | 50,993 | 16,587 |
| 商品仕入高 | 12 | 25,988 | 26,502 | 24,808 | 21,759 | 26,712 |
| 原材料費 | 13 | 18,174 | 16,938 | 9,938 | 13,050 | 9,400 |
| その他の支出 | | 26,153 | 31,148 | 31,876 | 25,839 | 21,429 |
| **b.支出合計** | | **290,024** | **318,227** | **291,217** | **302,869** | **266,319** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **7,833** | **12,465** | **8,508** | **9,133** | **9,465** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲153,406** | **▲171,188** | **▲175,090** | **▲172,398** | **▲155,532** |

＜補足コメント＞

※1　<u>指定管理料(富山市)について</u>

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　<u>委託事業収入(富山市)について</u>

内容は、「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」の※5 を参照のこと。

※3　運営補助金（富山市）について

内容は、「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」の※7 を参照のこと。なお、補助金の交付対象は指定管理業務に係る人件費のみであり、自主事業に係る人件費は補助金の交付対象に含まれていない。そのため、補助金収入と人件費とは整合しない。

※4　その他補助金（富山市）について

内容は、「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」の※8 を参照のこと。なお、補助金の交付対象は個別委託業務に係る人件費や経費であり、自主事業に係る人件費は補助金の交付対象に含まれていない。そのため、補助金収入と人件費とは整合しない。

※5　売上収入(自主事業)について

自主事業として営んでいるショップ等でのガラス製品の売上である。当該売上は、富山市からガラス関連の工事受注の有無で大きく変動する傾向がある。

令和 2 年度は、富山市民族民芸村に所在する篁牛人記念美術館の「ガラススクリーン改修工事 29,999 千円」等があったため発生額が増加している。

※6　体験収入(自主事業)について

自主事業として営んでいる体験事業の収入である。指定管理者は、吹きガラス体験、キルンワーク講座、バーナーワーク、サンドブラスト講座等を開催しており、受講料を収受している。体験収入は、体験事業の参加者数によって変動する。体験事業の参加者推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

令和 2 年度はコロナ禍で参加者数が減少したが、令和 3 年度は参加者数がコロナ禍前まで回復しており、発生額も増加している。

※7　その他収入について

令和 3 年度の内訳は、「富山ガラス造形研究所の学生宿舎の家賃収入 7,840 千円」、「創作工房のレンタルに伴う原材料費の実費徴収額 5,829 千円」、「自社の製品や体験事業で参加者が制作した製品を郵送する際の桐箱代及び送料 7,013 千円」である。

原材料費の実費負担額は、創作工房等をレンタルした者がレンタル翌日に製品を計量し、計量結果に 880 円/kg を乗じて算定している。レンタル 1 回当たりの原材料使用量は平均すると 1kg 程度であり、定期的に嘱託職員が原材料の棚卸を実施している。単価は従来 750 円であったが、昨今の燃料費高騰等を踏まえ、近傍の類似施設の単価調査結果を踏まえて令和 4 年 7 月 1 日に変更している。

※8　人件費について

当施設で勤務しているプロパー常勤職員 4 人、嘱託職員 20 人、臨時職員 12 人の人件費である。なお、これ以外で市派遣職員が 1 人いるが、その人件費は富山市から直接支給されており、当施設の人件費には含まれていない。

なお、指定管理者は当施設の指定管理業務のみを行っているため、当施設に全ての人件費が集計されている。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 3,246 千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

※9　使用料について

令和 3 年度の主な内訳は、「富山ガラス造形研究所の学生宿舎及びアーティストレジデンス（講師等の宿泊施設）の一括借上料 12,000 千円」、「無料送迎バスのリース料」等である。

学生宿舎とアーティストレジデンスは、民間業者が建設・所有しており、指定管理者は学生宿舎 20 室を 1 室当たり 45 千円/月で、アーティストレジデンス 1 室を 100 千円/月で借り上げたうえで学生等に賃貸している。これは、建物を建設する際のプロポーザル募集要項で、指定管理者が学生宿舎等を一括借上げすることにしたためである。

※10　燃料費について

当施設は、ガラス製造のため LP ガスを多用しており燃料費が高くなっている。

令和 2 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（4 月 15 日～5 月 10 日）があったため発生額が減少している。令和 3 年度も、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（8 月 18 日～9 月 12 日）があったが、LP ガス単価が大幅に上昇したため発生額が増加している。

※11　委託料について

令和 2 年度は、上記※5 のとおり「篁牛人記念美術館のガラススクリーン改修工事」があったため、それに係る工事委託料が 20,000 千円程度発生している。

※12　商品仕入について

指定管理者は、ショップで個人作家の作品や指定管理者の職員が勤務時間外に制作した作品を販売しており、販売時に販売価格の 65%を商品仕入としたうえで、月末締め翌月 20 日払いで制作者に支払っている。なお、これらの作品は委託販売商品であり指定管理者の在庫ではない。

※13　原材料費について

創作工房、第 1 工房、第 2 工房でガラス製造に使用している原材料費の購入費である。

**（2） 監査手続の実施結果と発見事項**

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

①　監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、ガラス作家の自立支援やガラス工芸に関する知識の普及啓発を目的として平成 5 年に開設され、その後順次機能を拡張してきた。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

当施設は、施設本来の機能である創作工房に加え、制作したガラス製品を販売するショップ、制作したガラス製品を食器として利用するカフェ、体験事業で使用される第 2 工房などが設置されている。また、隣地には日本で唯一の公的なガラス専門教育機関である富山ガラス造形研究所（富山市の直営施設）が設置されており、その学生や卒業生が当施設を利用して技術を磨くこと

でガラス作家の育成とガラス工芸の普及啓発を一体的に行えるようになっている。当施設は市民へのガラス工芸の普及啓発のため、積極的に体験事業を行っており、毎年多数の市民が当施設を利用している。令和2年度はコロナ禍で利用者数が減少したが、他に類を見ない施設であり利用ニーズは底堅く、足元では利用者数の回復傾向が見て取れる。

このように、当施設は日本で唯一無二の規模と機能を有しており、日本のガラス工芸にとってなくてはならない存在である。

そのため、施設のあり方や存在意義について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第4章 第1部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料である。施設使用料は、創作工房のレンタル料と個人工房使用料であり、創作工房や個人工房の使用状況によって変動する。当施設の使用料金はガラス作家の育成のため比較的安価に設定されており、利用が多い一因となっている。また、当施設は代替困難な機能を有しており稼働率が非常に高いため、使用料減免は殆ど行っていない（学生利用も多いが学生減免の制度は設けていない）。

富山市の主な歳出は、指定管理料、人件費補助金、個別事業委託料及び補助金である。指定管理料及び人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。個別事業委託料及び補助金については、ガラス工芸の普及啓発や富山市のPR等に係るものであり、その内容や金額に重大な問題は認められなかった。

一方で、指定管理者は当施設を使用して自主事業を行っているが、その場合の目的外使用料の徴収要否について課題が認められた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

| 134【指摘18】 | 自主事業実施時の目的外使用の扱い |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 指定管理者は、当施設で自主事業（ショップでの製品販売、カフェでの飲食提供、第2工房等での体験事業）を行っている。なお、自主事業に係る収入は指定管理者が収受しているが、指定管理者は富山市に対して施設の目的外使用許可の申請や目的外使用料の支払いを行っていない。この点、管財課は収入の有無をもって自主事業に該当するかどうかを判断し、自主事業に該当する場合は目的外使用料を徴収する方針を採用しているが、当該方針が指定管理者制度を所管する行政経営課と共有できていない可能性がある。<br>施設所管課においては、行政経営課や管財課と協議の上、当施設の自主事業に係る目的外使用の扱いを検討する必要がある。なお、当該事業が富山市の文化政策上必要なものである場合 | |

は、これらを指定管理業務に組み込むことで目的外使用料を徴収しないことが考えられる。この点、大沢野高齢者生きがい工房（使用料制）では、管理業務仕様書で高齢者向け教室を指定管理業務に組み込んだうえでその受講料を指定管理者に帰属させているため、参考にされたい。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、外郭団体である(一財)富山市ガラス工芸センターが非公募で指定管理者に選定されている。富山市は、当施設の管理や事業運営を円滑に行うためには高度な専門的技術や技能を要する団体を選定する必要があると判断し、継続してある(一財)富山市ガラス工芸センターを指定管理者に選定している。(一財)富山市ガラス工芸センターは、当施設の管理運営を行うために富山市が商工会議所や県内の地銀、一般事業会社と共同で設立した。当施設は日本でも類を見ない規模と機能を誇っており、施設の維持管理や円滑なイベント開催のためには高度な知見が必要になるが、指定管理者は長期間指定管理業務を請け負うことで必要十分な体制やノウハウを有しており、重大なトラブルなく施設を運営できている。また、指定管理者は、市民へのガラス工芸の普及啓発のため多数の体験事業を行っているが、それらはコロナ禍でも利用者数に大きな減少がみられないなど、市民から高く評価されている。加えて、当施設は富山市の文化振興政策と密接に連携した運営が求められるため、人員や情報の共有が図りやすい外郭団体が運営することには合理性がある。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料及び人件費補助金、個別事業委託料及び補助金、自主事業収入（売上収入、体験収入）である。個別事業委託料及び補助金については、ガラス工芸の普及啓発や富山市の PR 等に係るものであり、その内容や金額に重大な問題は認められなかった。自主事業収入（売上収入、体験収入）については、基本協定書等に照らした場合、当該業務が指定管理業務なのか自主事業なのかが曖昧になっていた。また、指定管理者は積極的な PR 等により自主業務から相応の収入を獲得しているが、自主業務に係る支出の区分方法や販

売単価等の見直し要否に課題が見受けられた。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費及び燃料費、商品仕入高である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費及び燃料費については、特に LP ガスを多量に使用する施設であり、発生額が高額になっているが、現状の運用を前提とする場合、重大な問題は認められなかった。商品仕入高は、ショップでの委託販売時の手数料等であり、内容や金額に重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 135【指摘 4】 | 指定管理業務と自主事業の区分の明確化 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 4）を識別している。 |
| 指定管理者は、自主事業としてショップでの製品販売、カフェでの飲食提供、第 2 工房等での体験事業を行っている。一方で、基本協定書第 3 条第 2 号では、指定管理業務として「富山ガラス工房条例第 3 条各号に掲げる事業に関する業務」を規定しており、当該条例の該当条文では「市民のガラス工芸への理解と関心を深めるための事業」等を規定している。また、富山ガラス工房管理業務仕様書 1(5)では、指定管理業務の管理態勢（職員配置）として「ギャラリー、ショップの製品の展示業務」や「吹きガラス体験指導」を規定している。一方で、同仕様書 1(12)では、「同条例第 3 条各号に掲げる事業に付随する自主事業」として「ガラス作品の研究開発、販売普及、イベント開催、ギャラリー運営、ガラス体験実施」を規定している。<br>このように、指定管理者が自主事業として実施しているョップでの製品販売、カフェでの飲食提供、第 2 工房等での体験事業は、指定管理業務か自主事業かが不明確になっている。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、現在自主事業として営まれている業務が指定管理業務に該当しないかどうか検討する必要がある。その際、富山市が政策上その実施を強く希望している業務は自主事業とは言い難いため、性能発注の指定管理業務として整理することが考えられる。この点、大沢野高齢者生きがい工房（使用料制）では、管理業務仕様書で高齢者向け教室を指定管理業務に組み込んだうえでその受講料を指定管理者に帰属させているため、参考にされたい。なお、指定管理業務として整理した場合は、基本協定書や管理業務仕様書に当該業務から生じた収入の帰属先を明記することが望まれる。 | |
| 136【指摘 7】 | 自主事業収支への人件費等の配賦方法見直し |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 7）を識別している。 |
| 指定管理者は、自主事業としてショップでの製品販売、カフェでの飲食提供、第 2 工房等で | |

<table>
<tr><td colspan="2">の体験事業を行っている。なお、指定管理者は、指定管理業務と自主事業（特に体験事業）に係る人件費を職員別に按分しているが、実際には各職員がこれらを兼務しているため、按分結果が実態を表していない可能性がある。また、施設経費については、例えば体験事業で使用される第 2 工房の光熱水費 7,807 千円、ガス代 4,278 千円等について自主事業への按分計算が行われていない可能性がある。加えて、ショップ販売する製品の原価を計算する際に、指定管理業務に係る人件費補助金の対象者（商品開発部門の嘱託以外の 2 名）の人件費が原価計算に含まれている。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、指定管理業務収支と自主事業収支を正確に区分するよう指導する必要がある。</td></tr>
<tr><td>137【意見 4】</td><td>ガラス製品の販売価格や吹きガラス体験料の見直し</td></tr>
<tr><td>全般的運用状況</td><td>複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（意見 4）を識別している。</td></tr>
<tr><td colspan="2">指定管理者は、自主事業としてショップでのガラス製品の販売を行っているが、令和 3 年度の原価計算資料を確認したところ、売価還元法で計算された原価率が 100%を超えていた。これは、商品企画部門 2 名の人件費について人件費補助金を考慮せずに計算しているためであり、人件費補助金を考慮すると原価率は 85%程度になる。一方で、昨今では原材料費や光熱水費等の高騰により原価率が高騰しており、指定管理者が目標とする原価率 70%とは大きな乖離が生じている。また、指定管理者が自主事業として行っている吹きガラス体験は、体験料が長期間見直されていない。指定管理者は外郭団体として富山市と実質一体の存在であるため、自主事業の採算が悪化した場合、結果的に富山市の財政負担が増加してしまう可能性がある。<br>施設所管課においては、原価計算の結果や類似施設の価格調査結果等を踏まえて、製品売価や吹きガラス体験料の見直し要否を指定管理者と協議していくことが望まれる。</td></tr>
</table>

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## ２９．ファミリーパーク

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 富山市古沢 254 番地 |
| 所管部署 | 公園緑地課 |
| 関連条例等 | 富山市ファミリーパーク条例及び同条例施行規則 |
| 条例に定める施設の目的 | 動植物に関する知識の普及を図るとともに、野外レクリエーション等の場を提供して市民の健全な余暇活用に資する |

施設の主な建物の概要

| 主な建物 | 建築年 | 耐用年数 | 残存年数 | 延床面積（㎡） | 建設費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 旧事務所棟 | S58 | 50 | 12 | 572.40 | 1,085,635 |
| ライチョウ舎 | H26 | 31 | 24 | 137.78 | |
| 研修棟 | S58 | 24 | 0 | 135.30 | |
| 猛獣舎 | S58 | 38 | 0 | 126.91 | |
| 郷土動物館 | S58 | 38 | 0 | 565.19 | |
| ニワトリ舎 | S58 | 31 | 0 | 438.81 | |
| カモシカ舎 | S58 | 17 | 0 | 137.89 | |
| レストハウス | S58 | 20 | 0 | 165.62 | |
| 里山生態園 | H20 | 38 | 25 | 279.50 | |
| きりん食堂 | S58 | 41 | 3 | 325.46 | |
| 芝生大テント | H2 | 31 | 0 | 200.00 | |
| 自然体験センター | H17 | 50 | 34 | 1,555.40 | |

| | |
|---|---|
| 開園期間 | 休園日：　12 月 28 日～1 月 4 日、3 月 1 日～3 月 14 日<br>開園時間：　3 月 15 日～11 月 30 日は 9:00～16:30、12 月 1 日～2 月 28 日は 10:00～15:30 |
| 公共施設マネジメント方針 | ＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「レクリエーション・観光施設」については、観光施設は他の分野に比べ民間事業者が参入しやすい分野であるため、民間に積極的に事業移管を行う。なお、民間への事業移管が困難な施設のうち、行政目的の高い施設は、運営の効率化を進め引き続き維持していく。それ以外の施設については廃止を推進する。<br>また、利用者の利便性向上に向け条例等の改正を行い、利用料金や利用時間の弾力化を行うとともに、民間のノウハウや経営手法を活用できるように運営体制の見直しを検討する。 |
| | ＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象となっており、機能維持の方針は「継続」 |

| | |
|---|---|
| | となっている。また、機能の提供形態は「維持」が検討されており、整備手法は「修繕」、「長寿命化（大規模改修）」が検討されている。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

<table>
<tr><td>指定管理者</td><td>（公財）富山市ファミリーパーク公社<br>所在地：　富山市古沢 254 番地<br>代表者：　三浦　良平<br>事業概要：　富山市の委託を受けてするファミリーパーク施設の管理運営、動物及び自然を活用した飼育展示や教育啓発等、地域住民等との連携を通じた地域活性化、呉羽丘陵の利用促進及び里山再生等<br>富山市との関係：　外郭団体</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 富山市ファミリーパーク条例（平成 17 年条例第 237 号）第 3 条各号に掲げる事業に関する業務<br>● 入園料及び使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>134,775</td><td>137,652</td><td>135,056</td><td>135,056</td><td>137,649</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>非公募（施設の性格や設置目的、市の政策的な方針等に照らし、特定の団体を指定することに合理的な理由があるため）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円
<table>
<tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>4,019</td><td>3,414</td><td>3,804</td><td>2,836</td><td>3,965</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
</table></td></tr>
</table>

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 売店、食堂事業 | 入園者の利用状況やニーズを調査しメニューや商品開発に努める。また、物品販売を見直しオリジナル商品の開発に努める | 売店は収入 13,500 千円、支出 13,500 千円。食堂は収入 17,000 千円、支出 17,000 千円 |
| | その他物販事業 | ベビーカーの貸出、バーベキュー場の貸出、自動販売機設置、出張販売の誘致、バッテリーカーの導入等利用者ニーズにあった様々な企画や物品販売を展開する | 収入は 6,260 千円。うちバーベキュー使用料 2,800 千円、自動販売機手数料 2,000 千円。支出は諸経費等で 6,260 千円 |
| | ホースライド事業 | 乗馬体験や餌やりなどの参加料を徴収する体験型サービスの展開を図る | 収入は 5,120 千円、支出は人件費等で 5,120 千円 |
| | ライチョウ基金 | 平成 29 年度に設置した「ライチョウ基金」を活用して環境省、日本動物園水族館協会、大学等と連携しながらライチョウの飼育繁殖や保全等に係る調査研究を行う | 収入は基金からの繰り入れや寄附で 4,000 千円、支出は保全活動経費等で 4,000 千円 |
| 収益向上施策 | 指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>● 共通パスポート購入者増加対策の充実を図る<br>● 教育施設や一般企業等の団体利用者の誘致を図る<br>● リピーターが訪れやすいイベントの研究と実施を行う<br>● HP や SNS を活用した情報提供の充実による一般入園者の増加を図る<br>● 入園者増を目指した公告、広報計画の充実と対策の検討を行う<br>● 当施設で実施している全イベントについて分析、評価、検証を行う | | |

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 有料エリア | ＜有料入園者＞<br>大人　500 円<br>30 人以上団体　400 円 | | 93,514 | 77,690 | 85,794 | 77,889 | 80,490 |
| | （うち大人） | 1 | (63,981) | (53,134) | (59,418) | (54,464) | (52,625) |
| | （うち 70 歳以上） | | (331) | (401) | (438) | (455) | (431) |
| | （うち団体） | 1 | (8,078) | (7,195) | (7,528) | (5,283) | (8,616) |
| | （うち共通パスポート購入者・利用者） | 2 | (21,124) | (16,960) | (18,410) | (17,687) | (18,818) |
| | ＜無料入園者＞<br>中学生以下　無料 | 3 | 140,617 | 136,899 | 159,260 | 103,963 | 102,163 |

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | （うち孫とお出かけ支援事業入園者） | 4 | (21,428) | (17,695) | (19,322) | (19,835) | (20,481) |
| 無料エリア | 貸しボート、遊園地などは別途料金が発生 | 5 | 96,650 | 93,811 | 103,047 | 90,306 | 85,323 |
| **入園者合計** | | | **330,781** | **308,400** | **348,101** | **272,158** | **267,976** |
| その他、遊具使用者 | | | 125,816 | 102,007 | 108,176 | 84,888 | 95,642 |

＜補足コメント＞

※1　有料エリアの有料入園者数（大人及び団体）について

当施設の主要な機能である動物園部分の有料入園者である。

平成 30 年度は、最も利用者数が多い 10～11 月にサルが 2 回脱走し、24 日間休園したこと等により利用者数が減少している。令和 2 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（4 月 15 日～5 月 10 日）や大雪による休園（1 月 9 日～1 月 15 日）があったため利用者が減少している。令和 3 年度も、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（8 月 18 日～9 月 12 日）により団体客を中心に利用者が減少している。なお、屋外施設であるため、コロナ禍でも開園日当たりの利用者数に大きな落ち込みは見られない。

※2　有料エリアの有料入園者数（共通パスポート）について

富山市内の特定の施設を特定の期間利用し放題になるものであり、文化国際課が発行している。年間パスポート（1,500 円）と 3 日間パスポート（700 円）があり、当パスポートを使うと入園料は無料となる。そのうえで、翌年度に施設別のパスポート利用者比率に応じてパスポート収入が各施設に配分される。パスポート利用者の 70%以上は当施設を利用する傾向にある。

当施設は屋外施設であり、コロナ禍でも安定してパスポート利用者が訪れている。

※3　有料エリアの無料入園者数について

主に中学生以下の小人や無料イベント開催時の入園者である。

令和 2 年度は、コロナ禍で 4 月 28 日の開園記念日（無料開園）が休園になっていたこと、コロナ禍で小学校の遠足がほぼなかったこと、年間を通して各種イベントが中止されていたこと等により利用者数が減少している。

令和 3 年度も、引き続きコロナ禍で小学校の遠足がほぼなかったこと、年間を通して各種イベントが中止されていたこと等により利用者数が減少している。

※4　孫とお出かけ支援事業について

祖父母が孫と特定の施設に来館すると入園料が無料になる取り組みであり、富山県内の朝日町と入善町以外の市町村で実施されている。

※5　無料エリアの入園者数について

無料エリアには、貸ボート乗り場、遊園地、ホースライド、バーベキューコーナーが設置されている。入口は 3 か所あり、センサーカウンターを設置して入園者数をカウントしている。

上記※1 のとおり、令和 2 年度と令和 3 年度はコロナ禍等による休園期間があったため利用者が減少している。なお、屋外施設であるため、コロナ禍でも開園日当たりの利

用者数に大きな落ち込みは見られない。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 66,201 | 54,099 | 58,853 | 51,203 | 53,650 |
| 公園使用料 | 2 | － | － | － | － | － |
| **a.歳入実績合計** | | **66,201** | **54,099** | **58,853** | **51,203** | **53,650** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 129,438 | 130,334 | 130,905 | 129,119 | 134,775 |
| 委託料（その他） | 4 | 7,536 | 4,555 | 3,838 | 29,626 | 10,357 |
| 補助金（指定管理運営） | 5 | 266,561 | 275,465 | 275,934 | 275,171 | 257,046 |
| 手数料 | | 5 | 8 | 2 | 4 | 1 |
| 負担金 | | 4,500 | 4,715 | 4,883 | 3,500 | 4,500 |
| 報償金 | | － | － | 3 | － | － |
| 普通旅費 | | － | － | 45 | － | － |
| 消耗品費 | | 60 | 60 | 43 | 49 | 50 |
| 通信運搬費 | | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 借上料 | 6 | 1,979 | 2,613 | 2,730 | 3,155 | 3,607 |
| 工事請負費 | 7 | 97,089 | 8,510 | － | － | 106,249 |
| 機械器具費 | | 270 | － | － | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **507,444** | **426,266** | **418,391** | **440,630** | **516,591** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲441,242** | **▲372,166** | **▲359,537** | **▲389,426** | **▲462,941** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲507,676** | **▲359,680** | **▲364,800** | **▲399,112** | **▲606,387** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **66,433** | **▲12,486** | **5,262** | **9,685** | **143,445** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

入園料であり、有料入園者数によって変動する。利用状況の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

令和 2 年度以降は、コロナ禍等による休園の影響等で大人の利用者数が減少しており施設使用料が減少している。

※2　公園使用料について

当施設は都市公園であるため、食堂・売店や自動販売機等を設置する場合は都市公園法に基づき富山市の設置許可が必要となる。指定管理者は、当施設に食堂・売店 3 か所、自動販売機 11 台、カプセルトイ 30 台、プリクラ 1 台、ホースライドプレハブ、バーベキューコーナーを設置し設置許可を得ている。その際、富山市は富山市都市公園条例第 10 条に基づき公園使用料を減免している。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見

込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。具体的には、平成 29 年度～令和 2 年度までの当該差額 3,655 千円を一括収受している（平成 28 年度分は平成 28 年度に精算済み）。

※4　委託料（その他）について

令和 3 年度の主な内訳は、「厩前園路復旧測量設計業務委託 4,898 千円」、「オオカミ舎フェンス補修等業務委託 2,244 千円」等である。施設の老朽化が進んでおり、散発的に修繕が発生している。

※5　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

※6　借上料について

主に動物の治療機器（麻酔機器やレントゲン機器）を期間 5 年でリースしている

※7　工事請負費について

令和 3 年度の内訳は、「熱帯鳥類保全施設建設のための解体工事費 25,289 千円」、「同建設費 80,960 千円」である。熱帯鳥類保全施設は、寄付金をもとに設立した基金を使用して建設しており、令和 4 年 9 月に完成している。

工事契約は一般競争入札で行われている。入札経過調書を査閲したが、富山市 HP で公表されている予定価格は 184,100 千円（税抜）、落札額は 184,000 千円（税抜）であった。その他、契約書、出来高検査復命書（5 月 12 日付）を査閲したが特段問題は認められなかった。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 129,438 | 130,334 | 130,905 | 132,775 | 134,775 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 266,561 | 275,465 | 275,934 | 275,171 | 257,046 |
| 自主事業収入 | 3 | 38,550 | 35,106 | 38,949 | 27,113 | 28,903 |
| その他の収入 | | 27,869 | 2,053 | 5,976 | 4,136 | 1,199 |
| **a.収入合計** | | **462,418** | **442,958** | **451,764** | **439,195** | **421,923** |
| 給与手当（事業費） | 4 | 238,852 | 248,017 | 246,598 | 239,484 | 224,110 |
| 給与手当（管理費） | 4 | 20,211 | 20,602 | 22,158 | 26,617 | 23,563 |
| 退職給付費用(事業費) | 4 | 14,341 | 14,528 | 14,450 | 14,420 | 14,295 |
| 退職給付費用(管理費) | 4 | 1,196 | 1,009 | 1,087 | 1,118 | 1,243 |
| 光熱水費（事業費） | 5 | 24,288 | 24,998 | 23,859 | 21,657 | 22,688 |
| 修繕料（事業費） | | 15,987 | 12,312 | 17,208 | 19,507 | 18,941 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 動物飼料費（事業費） | 6 | 17,516 | 17,986 | 19,452 | 17,217 | 19,236 |
| 委託料（事業費） | 7 | 44,901 | 43,579 | 38,394 | 39,569 | 42,235 |
| 指定管理料返金等（富山市） | 8 | － | － | － | 3,655 | － |
| その他の支出 | | 62,964 | 64,352 | 69,580 | 60,154 | 56,607 |
| **b.支出合計** | | **440,256** | **447,383** | **452,786** | **443,398** | **422,918** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **22,162** | **▲4,425** | **▲1,022** | **▲4,203** | **▲995** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲373,837** | **▲410,224** | **▲407,861** | **▲408,494** | **▲392,816** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入（富山市）について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

※3　自主事業収入について

自主事業として食堂・売店、ホースライド、バーベキュー等を行っており、各年度の内訳は以下のとおりである。

単位：千円

| | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 売店 | きりん食堂 | 5,155 | 4,455 | 5,082 | 3,257 | 2,692 |
| | かふぇ・ムー | 4,655 | 5,235 | 5,922 | 5,873 | 6,928 |
| | 小計 | 9,811 | 9,690 | 11,005 | 9,130 | 9,620 |
| 食堂 | きりん食堂 | 3,571 | 2,940 | 3,067 | 1,513 | 1,669 |
| | かふぇ・ムー | 6,669 | 6,214 | 6,738 | 5,706 | 5,863 |
| | 小計 | 10,240 | 9,155 | 9,805 | 7,219 | 7,532 |
| ホースライド | | 6,296 | 5,682 | 5,993 | 4,956 | 6,292 |
| バーベキュー使用料 | | 2,413 | 2,238 | 2,498 | 531 | 148 |
| 自動販売機手数料 | | 3,004 | 2,550 | 2,262 | 2,045 | 2,111 |
| その他 | | 6,783 | 5,787 | 7,385 | 3,229 | 3,197 |
| **自主事業収入合計** | | **38,550** | **35,106** | **38,949** | **27,113** | **28,903** |

令和 2 年度以降は、コロナ禍による利用者減少の影響で減収となっている。なお、きりん食堂の売上減少と比較して、かふぇ・ムーの売上がさほど減少していないのは、人

件費削減のためきりん食堂の営業時間を短縮した結果、かふぇ・ムーに顧客が流れたためと考えられる。

※4　給与手当及び退職給付費用について

令和 3 年度の事業ごとの人件費の内訳は以下のとおりである。下記金額は役員報酬・給料・諸手当・賃金・福利厚生費の合計額である。

単位：千円

| | 公益目的事業 | 収益事業 | 法人 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 事業費 | 210,063 | 14,046 | － | 224,110 |
| 管理費 | － | － | 23,563 | 23,563 |

令和 3 年度末時点の人員数は、役員 9 名（理事長 1 名、常務理事 1 名、理事 5 名、監事 2 名)、正職員 24 名、嘱託職員 23 名、アルバイト 10 名である。このうち、常務理事と事務局長は富山市 OB、その他の職員はプロパー職員である。また、役員のうち、常務理事以外は無報酬である。

常務理事及び正職員 24 名の役員報酬及び給料の合計額は 92,592 千円であり、1 人あたりの平均年収額は 3,858 千円と著しく高額である等の問題は認められない。また、嘱託職員の賃金は平均月額約 145 千円、アルバイトの時給は一律 863 円である。

※5　光熱水費について

主な内訳は、「電気料（高圧契約)」である。令和 2 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（4 月 15 日～5 月 10 日）や大雪による休園（1 月 9 日～1 月 15 日）があり、令和 3 年度もコロナ禍による富山市の施設の一斉休業（8 月 18 日～9 月 12 日）があったため、発生額が減少している。

※6　動物飼料費について

飼育動物の飼料であり、野菜、魚、果物、肉類、固形飼料等を購入している。1 カ月あたり 1,400～1,600 千円程度の飼料を購入しているが、そのうち肉食獣用の馬肉（月 300～400 千円程度）が最も高額になっている。

※7　委託料について

主な内訳は、消防用設備、遊戯機械、動物関係設備等の保守点検業務、園内清掃業務、園内警備業務、汚水処理施設維持管理業務等の委託料である。

※8　指定管理料返金等（富山市）について

指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を行っている。指定管理料の精算資料を査閲したが、計算誤り等の重大な問題は発見されなかった。

### （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

①　監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利

用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、呉羽丘陵の城山公園内に位置しおり、昭和 56 年に策定された「ファミリーパーク建設基本計画」に基づき昭和 59 年に開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、継続を前提として修繕や長寿命化を行う方針が示されている。

当施設は呉羽丘陵の里山をそのまま活用しており、非常に広大な敷地内に様々な施設や動植物が点在している。なお、当施設は、国からの補助金や市民の寄付等を活用して順次施設の更新を行っており、平成 27 年にはライチョウ舎が、令和 4 年には熱帯鳥類保全施設が建設されている。その他、当施設は有料エリアと無料エリアに分かれており、有料エリアには動物園が、無料エリアには貸しボート乗り場、遊園地、ホースライド、バーベキューコーナー等が設置されている。以前は全て有料エリアだったが、賑わいづくりと呉羽丘陵全体の回遊性を高めるために無料エリアを設置した。

当施設は富山県内で唯一の本格的な動物園であり、富山県中心部に位置しているため富山市内外から年間 30 万人以上の利用者が訪れている。なお、令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業や大雪による休園があったため利用者数が減少しているが、開園日 1 日当たりの利用者数には大きな減少は見られない。また、属性別では有料エリアの無料利用者（中学生以下）が減少しているが、これはコロナ禍による遠足の中止等によるものであり、有料エリアの有料利用者数や無料エリアの利用者数は大きな減少は見られない。足元では、令和 4 年 7 月時点で前年同月比 2 万人の利用者増加となっており、回復基調が認められる。

当施設は、以前は 12 月 15 日～3 月 15 日とそれ以外の期間の月曜日に休園していたが、現在は 12 月 28 日～1 月 4 日と 3 月 1 日～3 月 14 日（メンテナンス休園）以外は開園している。

このように、当施設は実質的に富山県唯一の動物園として多数の住民に利用されており、その存在意義は十分に認められる。一方で、当施設は広大な敷地を有するが、その中には利用状況に課題がある機能が見受けられた。また、当施設は建設から 40 年近くが経過し老朽化が進んでいるため、その対応に課題が認められた。加えて、当施設は 12 月 28 日～1 月 4 日と 3 月 1 日～3 月 14 日以外は開園しているが、利用実態を踏まえると開園期間に課題が見受けられた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 138【意見 54】 | 見晴らし広場の利活用 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設の北東部分には広大な見晴らし広場が存在し、指定管理者の職員 1 人が週 1 回 1 日がかりで芝刈りを行っている。一方で、見晴らし広場は施設の奥まった場所にあり、現状では殆ど利用者がいなくなっている。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、見晴らし広場の利用実態や利用者ニーズの調査を行い、その結果を踏まえて利活用方針を検討することが望まれる。 | |
| 139【意見 5】 | クラウドファンディングの活用 |

| | |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は建設から 40 年以上が経過しており、その機能を維持するとともに利用者ニーズに柔軟に対応していくためには大規模な投資や修繕が必要になってきている。一方で、当施設は実質的に富山県唯一の動物園として富山県民に長らく愛されている。<br>施設所管課と指定管理者においては、富山市の厳しい財政状態も勘案し、当施設の魅力を高める投資や修繕を行う際にクラウドファンディングを活用する余地が無いか検討することが望まれる。 | |
| 140【指摘 11】 | 休園日や開園時間の見直し |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、以前は 12 月 15 日～3 月 15 日とそれ以外の期間の月曜日に休園していたが、現在は 12 月 28 日～1 月 4 日と 3 月 1 日～3 月 14 日（メンテナンス休園）以外は開園している。一方で当施設は広大な丘陵地に存在するため、夏季と冬季に利用者数が減少する傾向にある。この点、利用者数が極端に少ない日に施設を開館した場合、市民サービスに比して過大な人件費や光熱水費が発生する可能性がある。<br>施設所管課においては、現在の利用実態を調査、分析し、住民サービスと財政負担とのバランスや条例改正と市民への周知に要する期間等を十分に検討したうえで、施設の開園期間や開園時間を利用実態に即した形に見直す必要がある。例えば、当施設は夏季と冬季の利用が少ないため、それらの時期に休園日を設けたり開館時間を短縮したりすることが考えられる。この点、八尾ゆめの森テニスコートや富山市パークゴルフ場は季節や曜日によって休業日や開業時間を弾力的に運用しており、芸術創造センターや牛岳温泉健康センターはメンテナンス休館日を積極的に活用しているため、参考にされたい。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料である。施設使用料は入園料（高校生以上 500 円、団体 400 円）であり、有料入園者数によって変動する。なお、当施設は、開園記念日等に無料開放を行っており、それによる使用料減免が発生している。また、公園使用料については、指定管理者は当施設で自主事業（売店、食堂、ホースライド、バーベキュー、自動販売機設置等）を行っているが、施設所管課は都市公園条例第 10 条及び内規に基づき全額減免している。

富山市の主な歳出は、指定管理料、人件費補助金、施設建設に係る工事請負費である。指定管理料及び人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。また、令和 3 年度の工事請負費は熱帯鳥類保全施設の建設に係るものであり、寄付金をもとに設立した基金を使用して建設している。工事に関連する資料を査閲したが、重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 141【意見 55】 | 入園料の見直し要否の検討 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設の入園料は高校生以上が 500 円、団体が 400 円となっているが、当該金額は平成 20 年に現在の料金に変更して以来見直されていない。この点、他の動物園と比較した場合、県立いしかわ動物園は高校生以上 840 円、団体 740 円、3 歳以上中学生以下 410 円となっている。昨今では人手不足で人件費単価が上昇傾向にあり、また、ウクライナ情勢の影響で飼料や電力料等が高騰しているため、施設管理費が長期的に増加し続けることが予想される。<br>施設所管課においては、他園の入園料水準の調査や将来の歳出増加見込額の見積り等を実施し、その結果を踏まえて使用料金体系を見直す必要が無いか検討することが望まれる。 | |
| 142【指摘 18】 | 自主事業実施時の公園使用料の扱い |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 指定管理者は、当施設で自主事業（売店、食堂、ホースライド、バーベキュー、自動販売機設置等）を行っている。当施設は都市公園であり、施設所管課は、都市公園条例第 10 条及び内規に基づき、指定管理者が富山市の外郭団体であることをもって公園使用料を全額減免している。一方で、当該判断目線は、富山市の行政財産目的外使用料徴収方針（令和 3 年 8 月 2 日管財課通知「行政財産目的外使用料及び普通財産貸付料の減免基準」）と平仄が取れていない可能性がある。<br>施設所管課においては、内規と富山市の行政財産目的外使用料徴収方針（令和 3 年 8 月 2 日管財課通知「行政財産目的外使用料及び普通財産貸付料の減免基準」）とを比較検討し、減免判断に係る内規の妥当性を再検討する必要がある。 | |

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、外郭団体である（公財）富山市ファミリーパーク公社が非公募で指定管理者に選定されている。富山市は、施設の性格や設置目的、市の政策的な方針等に照らし、特定の団体を指定することに合理的な理由があると判断し、継続して（公財）富山市ファミリーパーク公社を指定管理者に選定している。（公財）富山市ファミリーパーク公社は、当施設の管理運営を行うために富山市が設立した。当施設は実質的に富山県唯一の動物園であり、施設の維持管理や円滑なイベント開催のためには高度なノウハウが必要になるが、指定管理者は長期間指定管理業務を請け負うことで必要十分な体制やノウハウを有しており、重大なトラブルなく施設を運営できている。また、指定管理者は、ライチョウ基金事業（ライチョウの飼育繁殖技術の確立）や繁殖研究事業など施設の目的に即した公益性が高い活動を行っているほか、市民への教育普及目的で当施設を活用した多数の体験型参加イベントを開催しており、それらは利用者に高く評価されている。

加えて、当施設は富山市の文化政策と密接に連携した運営が求められるため、人員や情報の共有が図りやすい外郭団体が運営することには合理性がある。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料及び人件費補助金、自主事業収入である。自主事業収入については、指定管理者は当施設を利用して様々な自主事業を行っているが、基本協定書等に照らした場合、当該業務が指定管理業務なのか自主事業なのかが曖昧になっていた。また、自主事業に係る支出の区分方法や自主事業の採算性向上に課題が見受けられた。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費、委託料である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費については、広大な動物園であり、現状の開園期間等を前提とした場合、重大な問題は認められなかった。委託料については、消防用設備、遊戯機械、動物関係設備等の保守点検業務、園内清掃業務、園内警備業務、汚水処理施設維持管理業務等であり、内容や金額に重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 143【指摘 4】 | 指定管理業務と自主事業の区分の明確化 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 4）を識別している。 |
| 富山市ファミリーパーク管理業務仕様書では、「2. 施設管理業務以外の事業に関する事項」として「売店・食堂運営事業」を規定しているが、指定管理者は売店・食堂事業を自主事業として整理しており、その収入を自社で収受している。また、指定管理者は、遊園地事業、貸ボート事業、バーベキュー事業、ホースライド事業等を実施している。この点、基本協定書第 3 条(2)では、管理業務の範囲として「富山市ファミリーパーク条例第 3 条各号に掲げる事業（動植物の知識の普及、展示、調査研究、野外レクリエーションのための施設の供用等）」と明記しており、富山市ファミリーパーク管理業務仕様書 1(6)ア③では、「遊園地の運営に関すること」を指定管理業務と明記している。一方で、指定管理者は、遊園地事業と貸ボート事業を指定管理業務とし、それ以外のバーベキュー事業やホースライド事業等を自主事業と位置付けて | |

| | |
|---|---|
| いる。このように、基本協定書等に照らした場合、指定管理者が営んでいる多くの事業について指定管理業務とすべきか自主事業とすべきかの判断が曖昧になっているように見受けられる。<br>施設所管課においては、基本協定書等に照らして指定管理業務の範囲を明確にするとともに、必要に応じて指定管理業務の範囲を実態に即した形に見直す必要がある。その際、富山市が政策上その実施を希望している業務は自主事業とは言い難いため、性能発注の指定管理業務として整理することが考えられる。この点、大沢野高齢者生きがい工房（使用料制）では、管理業務仕様書で高齢者向け教室を指定管理業務に組み込んだうえでその受講料を指定管理者に帰属させているため、参考にされたい。なお、指定管理業務として整理した場合は、基本協定書や管理業務仕様書に当該業務から生じた収入の帰属先を明記することが望まれる。 | |
| 144【意見 4】 | 自主事業の拡充 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（意見 4）を識別している。 |
| 指定管理者は、当施設で売店や食堂等の自主事業を行っているが、料金設定や商品開発の面で課題が見受けられる。例えば、当施設内の「かふぇ・ムー」では動物の顔を模したカレーを 500 円で販売しているが、石川県立いしかわ動物園では同様のカレーを 800 円で販売している。また、当施設内の「きりん食堂」では、レトルトのカレーを 500 円で販売している。当施設は、富山県民を中心に非常に多くの利用があるが、人口減少で入園者数が頭打ちになっており、入園料の見直しに先立ってできる限り収支改善の努力を行う必要がある。また、指定管理者は外郭団体として富山市と実質一体の存在であるため、自主事業の採算が悪化した場合、結果的に富山市の財政負担が増加してしまう可能性がある。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、自主事業の採算性や魅力度を向上させるための施策を検討することが望まれる。例えば、収支改善の余地がある売店・食堂事業について、「かふぇ・ムー」と「きりん食堂」との位置付けを整理し、適切な原価計算や類似施設の事例調査（商品構成、料金体系等）を行ったうえで商品構成や料金を見直すことが考えられる。 | |
| 145【指摘 9】 | 光熱水費の配賦基準の見直し |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |
| 指定管理者は、人件費など事業に紐付け可能な収支は各事業に賦課し、紐付けできない収支は一定の配賦基準で各事業に配賦している。一方で、このうち光熱水費は従来から配賦基準が変更されておらず、配賦結果が利用実態を表していない可能性がある。<br>施設所管課においては、光熱水費の配賦基準について利用実態が反映されるような方法（例：面積割等）に変更するよう指定管理者に指導する必要がある。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象とされている。当該包括外部監査における発見事項（備品管理以外）に対する施設所管課の措置回答状況及びそれに対する監査手続実施結果は以下のとおりである。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 【指摘】退職給付金引当金の不足について | |
| 過去の発見事項（要約） | 退職給付引当金および退職給付引当預金の残高が平成 23 年度決算で、7,092 万円不足している。退職給付引当金は必要額を引当て、退職給付引当預金も同額を積立てる必要がある。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 退職給付引当金と退職給付引当預金を毎期適切に計上している。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 指定管理者に確認した結果、「措置回答のとおり、現在は退職給付引当金と退職給付引当預金を毎期計上している」との回答を得た<br>この点、監査人が決算書のレビュー等を実施したが、上記回答のとおり処理されていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |

## ３０． 芸術文化ホール

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市牛島町 9 番 28 号</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>文化国際課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市芸術文化ホール条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>市民の芸術文化の創造及び振興に寄与する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積<br>（㎡）</th><th>建設費<br>（千円）</th></tr>
<tr><td>芸術文化ホール</td><td>H8</td><td>50</td><td>25</td><td>22,331.89</td><td rowspan="2">18,590,621</td></tr>
<tr><td>とやままちづくり情報センター</td><td>H7</td><td>50</td><td>24</td><td>1,923.68</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>開館期間</td><td>休館日：　12 月 29 日～1 月 3 日<br>開館時間：　9:00～22:00。ハイビジョンシアターは 9:00～20:00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>今後整備する中ホールと合わせて引き続き富山市の中核的な文化施設としての役割を果たしていくため存続させることとする。併せて、定員に対する稼働率を高める工夫を行う。</td></tr>
<tr><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

<table>
<tr><td>指定管理者</td><td>（公財）富山市民文化事業団<br>所在地：　富山市牛島町 9 番 28 号<br>代表者：　髙木　繁雄<br>事業概要：　芸術文化の創造、発信、提供及び普及、芸術文化に関する情報の収集及び提供、芸術文化活動拠点施設の管理運営等<br>富山市との関係：　外郭団体</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（平成 29 年度～令和 3 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>● 各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（平成 28 年度締結の基本協定書）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>
● 平成 30 年 4 月 1 日と平成 31 年 4 月 1 日に「基本協定書の一部を変更する協定書」が締結され、指定管理料が増額されている。<br>
単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr>
<tr><td>当初</td><td>353,923</td><td>353,923</td><td>353,923</td><td>353,923</td><td>353,923</td></tr>
<tr><td>平成 30 年変更</td><td></td><td>356,530</td><td>356,530</td><td>356,530</td><td>356,530</td></tr>
<tr><td>平成 31 年変更</td><td></td><td></td><td>360,026</td><td>363,132</td><td>363,132</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>非公募（富山市の主要施策を推進する中核的施設であり、富山市と指定管理者が密接に連携しながら事業の実施と施設の管理運営を一体的に行う必要があるため）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>
● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>
● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>
単位：千円
<table>
<tr><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr>
<tr><td>9,785</td><td>9,785</td><td>9,785</td><td>9,785</td><td>9,785</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>
指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>劇場ツアー</td><td>日頃目にすることのできない舞台裏を舞台スタッフの案内で見学することで、劇場に興味をもってもらい利用者増加につなげる</td><td>参加料無料で参加者は 180 名程度。支出は 205 千円程度</td></tr>
<tr><td>ベーゼンドルファーピアノ体験</td><td>当施設が所蔵するピアノの名器ベーゼンドルファーを当施設の舞台上で演奏する機会を提供し、その素晴らしさを体感してもらう</td><td>小中学生無料、高校生 1,000 円で参加者は 20 名程度。支出は 50 千円程度</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「該当無し」となっている。</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大ホール | 全部使用と一部使用の区分で、かつ利用時間帯に応じて 22,000 円～330,000 円 | 1 | 182,550 | 166,734 | 165,199 | 31,281 | 76,087 |

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| リハーサル室 | 利用時間帯に応じて2,530円～13,200円 | 2 | ※2 | ※2 | ※2 | ※2 | ※2 |
| ハイビジョンシアター | 1時間につき660円 | 3 | ※3 | ※3 | ※3 | ※3 | ※3 |

＜補足コメント＞

※1　大ホールの利用者数について

当施設は、本州日本海側でも最大級の音楽ホールであり、コンサートや演劇、学会等に幅広く利用されている。利用者数は、各種イベントの開催状況に左右される。

令和2年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和2年4月15日～5月19日、令和3年8月18日～9月26日）や各種イベントの自粛等により利用者数が減少したが、日本海側有数の大規模・多機能ホールであり、コロナ禍を経ても潜在的なニーズは衰えていない。そのため、足元では各種イベントの再開等もあり利用が活発になっており、令和4年度は10万人程度まで利用者数が回復する見込みとなっている。

なお、当施設はコマ単位（時間単位）で利用可能であるが、大規模な公演での利用が多く、通常は日単位で利用される。使用可能日を分母として日単位で計算した稼働率は以下のとおりである。当施設は、多種多様な舞台装置を備えており、設備の保守点検に相応の日数が必要になるため、使用可能日は限られている。また、下表の「富山市委託」は、文化振興事業として富山市から委託を受けて実施しているイベントであり、当施設の使用料は全額減免されている。「その他貸館」は、文化振興事業以外で当施設を利用しているものであり、条例に定める施設使用料が発生している。

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 年間保守日数 | 120日 | 122日 | 110日 | 180日 | 159日 |
| 年間使用可能日数（A） | 245日 | 243日 | 256日 | 185日 | 206日 |
| 富山市委託 | 62日 | 79日 | 65日 | 45日 | 56日 |
| その他貸館 | 139日 | 120日 | 127日 | 49日 | 74日 |
| 使用日数計（B） | 201日 | 199日 | 192日 | 94日 | 130日 |
| 稼働率（B÷A） | 82% | 81% | 75% | 50% | 63% |

※2　リハーサル室の利用者数について

リハーサル室は、大ホール利用者がリハーサルを行うために利用しており一般利用されていないため、利用者数の集計を行っていない。使用可能日数を分母として、又は大ホール使用日数を分母として日単位で計算した稼働率は以下のとおりである。

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 富山市委託 | 55日 | 70日 | 50日 | 35日 | 42日 |
| その他貸館 | 38日 | 36日 | 21日 | 5日 | 30日 |
| 小計（C） | 93日 | 106日 | 71日 | 40日 | 72日 |
| 稼働率(C÷A) | 36% | 43% | 27% | 21% | 35% |
| 稼働率(C÷B) | 46% | 53% | 36% | 42% | 55% |

※3　ハイビジョンシアターの利用者数について

指定管理者は、ハイビジョンシアターの利用者数の報告を行っていない。なお、指定管理者が内部管理用に集計していた日数ベースの稼働率は以下のとおりである。ハイビジョンシアターの存在が市民に認識されていないこともあり、稼働率は低迷している。

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 利用日数 | 63 日 | 59 日 | 65 日 | 44 日 | 68 日 |
| 稼働率 | 18% | 17% | 20% | 14% | 19% |

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 55,339 | 50,236 | 48,894 | 12,879 | 29,732 |
| 目的外使用料 | 2 | 4,722 | 4,595 | 4,638 | 4,621 | 4,209 |
| 公共施設等適正管理推進事業債 | 3 | － | 41,400 | － | 36,300 | 110,600 |
| その他の歳入 | 4 | 7,837 | 7,181 | 7,622 | 6,856 | 7,238 |
| **a.歳入実績合計** | | **67,898** | **103,413** | **61,156** | **60,657** | **151,780** |
| 委託料（指定管理料） | 5 | 353,923 | 356,530 | 360,026 | 363,132 | 314,800 |
| 委託料（その他） | 6 | 71,166 | 54,045 | 53,198 | 67,485 | 122,925 |
| 補助金（指定管理運営） | 7 | 157,125 | 166,883 | 168,734 | 168,965 | 169,214 |
| 借上料 | 8 | 113,097 | 113,097 | 113,097 | 113,097 | 113,097 |
| 機械器具費 | | 6,048 | 2,080 | － | － | 1,606 |
| **b.歳出実績合計** | | **701,360** | **692,636** | **695,055** | **712,679** | **721,643** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲633,461** | **▲589,222** | **▲633,899** | **▲652,022** | **▲569,862** |
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲637,684** | **▲583,275** | **▲629,761** | **▲617,064** | **▲601,084** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **4,222** | **▲5,946** | **▲4,138** | **▲34,957** | **31,221** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

大ホールやリハーサル室の使用料であり、イベント開催数（稼働率）により変動する。

利用者数や稼働率の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　目的外使用料について

令和3年度の主な内訳は、「地下駐車場の職員利用に係る目的外使用料3,572千円」である。当施設の地下駐車場は、催事主催者が搬入等で使用するために一般開放されていないが、イベントが無い時は利用されないため、指定管理者の職員等が通勤等で使用している。そのため、当該使用部分について目的外使用料を徴収しているものである。

※3　公共施設等適正管理推進事業債について

公共施設の集合・複合化事業、長寿命化事業、転用事業、立地適正化事業、ユニバーサルデザイン化事業、脱炭素化事業、除却事業を行う場合に起債が認められており、充当率90%、交付税措置率は30～50%（除却事業だけは0%）となっている。

当施設では、長寿命化の工事を行う場合に起債しており、平成 30 年度は「舞台機構及び客席天井昇降壁改修業務委託」、「照明制御装置改修業務委託」、令和 2 年度は「加圧給水ポンプ設備更新業務委託」、「空気調和機オーバーホール及び付属設備整備業務委託」、令和 3 年度は「施設管理制御システム更新業務委託」、「空気調和機オーバーホール及び付属設備整備業務委託」が実施されている。

※4　その他の歳入について

令和 3 年度のその他の歳入は「地下駐車場維持負担金等 7,238 千円」である。

当施設は、民間事業者が所有、運営しているアーバンプレイスと一体になっているため、建設時に当該民間事業者と合意書及び覚書を締結し、建設費と維持管理費の負担割合を整理している。維持管理費の負担割合は、市民ロビー分が「富山市 60%、民間事業者 40%（面積比率）」、駐車場分が「富山市 66/96、民間事業者 30/96（利用台数按分）」となっており、富山市は毎年実費をもとに民間事業者から負担分を徴収している。「オーバード・ホール及びアーバンプレイスの協調に関する合意書（平成 8 年 2 月 2 日）」、「富山市芸術文化ホール内の地下駐車場管理費及びアーバンプレイス内の屋内型公開空地維持管理費の負担に関する覚書（平成 9 年 3 月 31 日）を確認したが、重大な問題は認められなかった。

※5　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。

※6　委託料（その他）について

令和 3 年度の主な内訳は、「施設管理制御システム更新業務委託 44,550 千円」、「空気調和機オーバーホール及び付属設備整備業務委託 78,375 千円」である。

これらの委託業務について、「執行伺」、「契約方法決定書」、「入札経過調書」、「契約締結書兼支出負担行為決定書」、「業務委託契約書」、「委託業務完了届」を確認したが、重大な問題は発見されなかった。

※7　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

※8　借上料について

令和 3 年度の内訳は「舞台設備借上料」である。これは、当施設を建設した際予算上の制約があったため、舞台の機構機器、照明機器及び音響機器を民間事業者からリースする形を取ったことによるものである。リース料総額は 1,148,070 千円、リース期間は平成 24 年 5 月 19 日～令和 5 年 5 月 18 日、リース期間満了後に物件の所有権が富山市に帰属することになる。「富山市芸術文化ホール舞台設備賃貸借契約書（平成 23 年 8 月 25

日）を確認したが、重大な問題は発見されなかった。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 353,923 | 356,530 | 360,026 | 363,132 | 363,133 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 68,485 | 74,619 | 79,668 | 80,433 | 82,904 |
| 補助金収入(その他) | | － | － | － | 875 | － |
| その他の収入 | | 279 | 224 | 1,916 | 1,667 | 831 |
| **a.収入合計** | | **422,687** | **431,373** | **441,610** | **446,107** | **446,868** |
| 人件費 | 3 | 68,485 | 74,619 | 79,668 | 80,433 | 82,904 |
| 光熱水費 | 4 | 135,839 | 141,058 | 138,630 | 127,222 | 134,306 |
| 修繕料 | | 16,596 | 11,553 | 11,398 | 13,082 | 16,582 |
| 委託料 | 5 | 178,472 | 172,769 | 175,211 | 169,621 | 174,758 |
| 指定管理料返金等（富山市） | 6 | － | － | － | － | 48,332 |
| その他支出 | | 20,091 | 25,524 | 28,031 | 32,842 | 30,618 |
| **b.支出合計** | | **419,483** | **425,523** | **432,938** | **423,200** | **487,500** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **3,203** | **5,849** | **8,672** | **22,906** | **▲40,632** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲419,205** | **▲425,300** | **▲431,022** | **▲420,659** | **▲438,337** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入（富山市）について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

補助金と職員人件費とは整合的であり重大な問題は認められない。

なお、富山市は、指定管理者の本部人件費に係る補助金も当施設に係る人件費補助金として集計しているため、指定管理者が認識している当施設の補助金収入と「ウ．富山市の歳入・歳出の状況」の補助金（指定管理運営）が相違している。これについては、指定管理者の部門別収支計算書を査閲し、当施設の補助金収入と本部人件費に係る補助金収入の合計額が「ウ．富山市の歳入・歳出の状況」の補助金（指定管理運営）と一致していることを確認しており、問題ない。

※3　人件費について

指定管理者は、当施設で勤務している従業員の人件費を、各従業員の稼働実績に基づいて「文化振興事業（富山市からの個別委託事業)」、「指定管理業務」、「法人管理業務」に区分している。

指定管理者が作成した按分比率算定表を査閲したが、稼働実態や按分比率の計算等について重大な問題は発見されなかった。

※4　光熱水費について

令和 3 年度の主な内訳は、「電気料（高圧）44,392 千円」、「ガス料金 88,420 千円」である。当施設は大規模音楽ホールであり、照明や空調（熱交換ユニット）に係る電気料、ガス代が多額に発生する。

※5　委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「舞台管理業務委託 23,839 千円」、「設備保守点検業務委託 16,381 千円」、「清掃業務委託 15,549 千円」、「保安警備及び防災センター等管理業務委託 12,460 千円」等である。

※6　指定管理料返金等（富山市）について

主な内訳は指定管理料の返金額である。令和 3 年度は指定管理最終年度であり、指定期間の管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、基本協定の返金条項に基づき当該差額を返還している。

**（2） 監査手続の実施結果と発見事項**

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、本州日本海側でも最大級の音楽ホールであり、大規模なコンサートや演劇等を開催し、市民の芸術文化の創造及び振興に寄与する目的で平成 8 年に開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

富山市内には、類似のホールとして富山県民会館、富山県教育文化会館、婦中ふれあい館などが存在するが、何れも規模の面で当施設には及ばず当施設の機能を代替できるものではない。

当施設の利用者数や稼働率は、コンサートや演劇等の大規模イベントの開催状況に左右される。令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業（令和 2 年 4 月 15 日～5 月 19 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 26 日）や各種イベントの自粛等により利用者数が減少したが、足元では各種イベントの再開等もあり利用が活発になっており、令和 4 年度は 10 万人程度まで利用者数が回復する見込みとなっている。

このように、当施設の機能は他では代替困難であり、実際に活発に利用されているため、存在意義は十分に認められる。一方で、当施設は 5 月、9 月、2 月の稼働率がやや低くなる傾向にあり、施設の有効活用の面から課題が見受けられる。また、当施設の条例上の開館時間は 22 時までとなっているが、指定管理者はイベントが無いときの開館時間を富山市の承認がないまま 19 時に変更していた。加えて、富山市は当施設の隣接地に中ホールを建設中であり、機能が類似する当該施設との役割分担を明確にする必要がある。その他、当施設内に存在するハイビジョンシ

アターは、その存在が市民に認識されておらず稼働率が低迷している。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 146【意見 56】 | 稼働率が低い月の原因分析と施設の利活用 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、興行主催者のツアースケジュール等によって稼働率が変動するが、一般に 5 月、9 月、2 月に稼働率が低くなる傾向がある。このうち、2 月は積雪、5 月はゴールデンウィークの行楽が影響しているものと考えられるが、9 月の稼働率が低い理由は分析できていない。<br>施設所管課においては、稼働率が低い月の原因分析を行うとともに、これらの月の稼働率を高めるための施策を指定管理者と協議することが望まれる。例えば、7 月に開催している市民向け劇場ツアーをこれらの月に振り替えたり、事務負担の小さい市民向け施設周知イベントを新設したりすることが考えられる。 | |
| 147【指摘 10】 | 開館時間の変更申請漏れ |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、富山市芸術文化ホール条例で開館時間が 22 時までと定められているが、指定管理者はイベントが無い日は開館時間を 19 時までに短縮していた。なお、条例第 3 条の 4 では、「指定管理者は、特に必要があると認めるときは、市長の承認を得て臨時にこれを変更することができる」とされているが、指定管理者は承認申請を行っていなかった。<br>施設所管課においては、条例に定める開館時間を変更する場合は、事前に市長の承認を得るよう指定管理者に指導する必要がある。 | |
| 148【意見 57】 | 中ホールとの役割分担 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 富山市は、令和 5 年 7 月に当施設の隣接地に中ホールを開設する予定であるが、同ホールの機能は当施設と類似しており、利用者の取り合いが発生してしまう可能性がある。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議しながら当施設と中ホールと役割分担を整理し、当施設の利用促進策を具体化することが望まれる。例えば、文化振興事業として実施しているイベントは中ホールで対応できる小規模なものが殆どであるため、施設使用料が発生しない当該イベントは使用料金の安い中ホールで開催し、当施設は貸館事業に専念して施設使用料の拡大を追求することが考えられる。 | |
| 149【意見 58】 | ハイビジョンシアターの利活用 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設に存在するハイビジョンシアターは、料金が廉価で個人でも気軽に利用できるが、その存在が市民に認識されていないため稼働率が低迷している。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議のうえハイビジョンシアターの利活用方針を検討することが望まれる。例えば、富山市の広報誌で具体的な利用事例などを積極的に発信していくことが考えられる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料、目的外使用料、公共施設等適正管理推進事業債である。当施設の使用料金は、富山市内の類似施設（富山県民会館等）と比較しても過不足無い水準となっている。施設使用料については、当施設は学校減免（減免率 50%）や指定管理者主催イベント減免（減免率 100%）が多く、多額の使用料減免が発生している（令和 3 年度の減免額は約 13,181 千円)。目的外使用料については、地下駐車場の職員利用に係るものであり、空きスペースの有効活用と評価できる。公共施設等適正管理推進事業債については、施設長寿命化のために活用されている。その他、指定管理者は富山市から文化振興事業を受託し各種イベントを実施しているため、自主事業は一切営んでいない。

富山市の主な歳出は、指定管理料、人件費補助金、施設の維持修繕に係る委託料、舞台設備借上料である。指定管理料及び人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。委託料については、指定管理者が作成した長期修繕計画に基づいて指定管理者と施設所管課が協議しながら修繕対応を進めている。舞台設備借上料は、当施設を建設した際の予算上の制約から舞台の機構機器等をリースしたものであり、令和 5 年 5 月のリース期間満了後に物件の所有権が富山市に帰属することになっている。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 150【意見 8】 | 使用料減免の範囲、水準の再検討 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、学校減免（減免率 50%）や指定管理者主催イベント減免（減免率 100%）が多く、多額の使用料減免が発生している。当施設の設置目的は文化振興にあるため、その目的を達成するうえで使用料減免は非常に大切である。一方で、減免対象や減免率は長期間見直されておらず、減免の実態が当初の目的と乖離している可能性も否定できない。富山市の厳しい財政状態を勘案すると、目的や効果が曖昧になっている減免は適宜見直す必要がある。<br>施設所管課においては、本庁部署と連携しながら減免の実態を調査し、必要に応じて減免対象や減免率を見直すことが望まれる。例えば、学校減免については、学校が利用する場合に一律減免するのではなく、減免の目的を明確にしたうえで当該目的と整合的な使われ方をしているか、という目線で整理することが考えられる（学校利用であっても教育や文化振興に寄与しない場合があり得るため)。また、指定管理者主催イベントでの利用は、文化振興や施設の稼働率安定の面で非常に重要であるが、当該イベントを過剰に開催すると一般利用が阻害され施設の収支が悪化してしまうため、頻度や時期の適正化、中ホールとの役割分担を心掛けることが考えられる。 | |

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要

や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、外郭団体である(公財)富山市民文化事業団が非公募で指定管理者に選定されている。富山市は、市の主要施策を推進する中核的施設であり、富山市と指定管理者が密接に連携しながら事業の実施と施設の管理運営を一体的に行う必要があると判断し、継続して(公財)富山市民文化事業団を指定管理者に選定している。この点、当施設は日本でも有数の大規模音楽ホールであり、施設の維持管理や円滑なイベント開催のためには高度なノウハウが必要になるが、指定管理者は長期間指定管理業務を請け負うことで必要十分な体制やノウハウを有しており、重大なトラブルなく施設を運営できている。また、指定管理者は、音楽や演劇等の練習施設である富山市民芸術創造センターの指定管理業務も担当しており、これらの施設を実質一体で運営することでノウハウの共有を通じた効果的なイベントの開催、人事異動等を通じた効率的な業務運営を実現している。加えて、当施設は富山市の文化振興政策と密接に連携した運営が求められるため、人員や情報の共有が図りやすい外郭団体が運営することには合理性がある。

このように、(公財)富山市民文化事業団が非公募で指定管理者に選定されることには相応の合理性が認められる。

そのため、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料及び人件費補助金である。なお、指定管理者は富山市から文化振興事業を受託して当施設を使用した各種イベントを開催しているが、自主事業は一切行っていない。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費、委託料である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費については、大規模施設であるため電気料、ガス代（空調用）とも高額になっている。なお、当施設は北陸電力が所有するアーバンプレイスと一体型の建物になっており、ガスもアーバンプレイス側に設置されている冷温水機を使った DHC（地域冷暖房システム）となっているため、指定管理者単独での節減には限界がある。電気は個別契約になっており、イベントが無いときはアーバンプレイスが閉館する 19 時に消灯するなど節電を心掛けている。委託料については、舞台装置や設備の保守点検委託料であり、当施設が日本有数の大規模音楽ホールであることを鑑みる

と業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。

一方で、富山市は当施設の隣接地に中ホールを建設中である。類似施設を一体管理する観点から指定管理者が中ホールの指定管理業務を請け負う可能性があるが、その場合の人員体制について課題が見受けられた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 151【意見 59】 | 中ホール開設後の人員体制 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 富山市は、令和 5 年 7 月に当施設の隣接地に中ホールを開設する予定であるが、その際、類似施設の一体運営の観点から指定管理者が中ホールの指定管理業務を請け負う可能性がある。なお、音楽ホールを円滑に管理運営するためには高度な専門人材が必要になるため、人員体制を適切に整備しないと当施設や中ホールの指定管理業務でトラブルが発生する恐れがある。<br>施設所管課においては、中ホール完成後の指定管理者の人員体制の十分性を検討し、必要に応じて人員補充等の支援を行うことが望まれる。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象とされている。当該包括外部監査における発見事項（備品管理以外）に対する施設所管課の措置回答状況及びそれに対する監査手続実施結果は以下のとおりである。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 【指摘】管理業務報告書の提出期日の徹底について | |
| 過去の発見事項（要約） | 毎月の「管理業務報告書」が、3～4 か月まとめて提出されていることがある。管理業務報告書は期日までに提出する必要がある。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 基本協定書では、毎月 10 日までに前月の管理業務報告書を提出することと規定している。平成 25 年度以降は毎月施設所管課と指定管理者が相互に管理業務報告書の提出を確認することとした。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 施設所管課に確認した結果、「措置回答のとおり、基本協定書に定める期日までに管理業務報告書を入手している」との回答を得た。<br>監査人が令和 3 年度の管理業務報告書を確認した結果、施設所管課の回答通り運用されていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |

## ３１． 総合体育館

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市湊入船町 12 番 1 号</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>スポーツ健康課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市スポーツ施設条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>市民のスポーツ振興を図り、市民の健康増進に寄与する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積（㎡）</th><th>建設費（千円）</th></tr>
<tr><td>総合体育館</td><td>H11</td><td>47</td><td>25</td><td>28,681.97</td><td>9,855,825</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>開館期間</td><td>休館日：　12 月 28 日～1 月 4 日<br>開館時間：　9:00～21:30。日曜祝日は 9:00～19:00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「スポーツ施設」については、「A.市内全域を対象として大規模なスポーツ大会やイベント等が実施できる施設」、「B.複数地域を対象としてスポーツ大会が実施できる施設」、「C.地域を対象としてサークルスポーツ活動が実施できる施設」の 3 層構造に再編するとともに、A と B は引き続き市所有として存続させ、C は老朽化に合わせて利用状況や安全性、地域性等を踏まえそのあり方の見直しを行う。その中で、利用率の低い施設は改善を行いつつ、将来に渡って改善が見込まれないことが予想される施設については、廃止・統合を行う。また、民間が代替できる施設や機能については、原則廃止することとし、施設については民間へ譲渡する。<br>その他、市が所有する施設については「市有拠点スポーツ施設長寿命化基本計画」を踏まえ、計画的に適正な維持管理を行う「予防保全」を推進するとともに、利用者の利便性向上に向け、予約方法や利用料金等の運営体制の見直しについて検討を行う。</td></tr>
<tr><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | （公財）富山市体育協会<br>所在地：　富山市湊入船町 12 番 1 号<br>代表者：　塩井　保彦<br>事業概要：　各種スポーツの普及啓発、指導者育成、各種スポーツ団体の育成と相互の連携・協働の推進、功労者・優秀選手 |

<table>
<tr><td></td><td>の表彰、スポーツ選手の育成強化、スポーツに関する調査研究、スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営等<br>富山市との関係：　外郭団体</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>1 年間（令和 3 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円<table><tr><td></td><td>R3</td></tr><tr><td>指定管理料</td><td>206,610</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>非公募（施設の性格や設置目的、市の政策的な方針等に照らし、特定の団体を指定することに合理的な理由があるため）</td></tr>
<tr><td>利用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費が 1 件 500 千円未満の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。</td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。<table><tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr><tr><td>総合型スポーツクラブ運営事業（スポーツクラブ富山）</td><td>スポーツコミュニティの情勢やスポーツ振興に努め、地域社会の健全な発達に寄与するため、各種スクールを開催する</td><td>スクールコース、サークルコース、イベント、セミナーを開催し 46,000 千円の収入を見込む</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>以下のような事業を実施し、当指定管理者が管理する指定管理施設全体で 13,370 千円程度の収入を見込む。収入は「各種スポーツイベントの開催」、「ジュニア選手強化育成」、「中高年の健康・体力づくり推進」等に使用している。<br>● 自動販売機を設置して飲料等を提供する<br>● スポーツ用具等を販売・貸出しする<br>● コピーや FAX サービスを行う</td></tr>
</table>

イ．施設の利用料及び利用者数の状況

単位：人

<table>
<tr><th>種別</th><th>条例に定める利用料上限</th><th>※</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr>
<tr><td rowspan="6">総合体育館</td><td>＜第1・第2アリーナ：個人＞<br>大人　230円<br>小人　110円<br>＜第1アリーナ：大会等＞　単位：円<br><table><tr><th></th><th>入場無料</th><th>入場有料</th></tr><tr><td>アマチュア</td><td>5,640～</td><td>16,940～</td></tr><tr><td>その他</td><td>22,690～</td><td>105,880～</td></tr><tr><td>興行目的</td><td colspan="2">158,820～</td></tr></table>＜第2アリーナ：大会等＞　単位：円<br><table><tr><th></th><th>入場無料</th><th>入場有料</th></tr><tr><td>アマチュア</td><td>2,650～</td><td>7,950～</td></tr><tr><td>その他</td><td>10,590～</td><td>29,420～</td></tr><tr><td>興行目的</td><td colspan="2">44,120～</td></tr></table></td><td>1</td><td>270,091</td><td>315,087</td><td>283,143</td><td>147,479</td><td>187,654</td></tr>
<tr><td>＜フィットネス：個人＞<br>大人　450円<br>小人　230円<br>＜フィットネス：期間利用＞単位：円<br><table><tr><th></th><th>1ヶ月</th><th>3カ月</th><th>6カ月</th><th>12ヶ月</th></tr><tr><td>大人</td><td>5,640</td><td>11,300</td><td>16,940</td><td>22,590</td></tr><tr><td>小人</td><td>2,820</td><td>5,640</td><td>8,480</td><td>11,300</td></tr></table></td><td>2</td><td>168,877</td><td>162,562</td><td>156,352</td><td>92,923</td><td>92,611</td></tr>
<tr><td>＜ランニングコース：個人＞<br>大人　230円<br>小人　110円</td><td>2</td><td>44,243</td><td>38,965</td><td>33,436</td><td>17,960</td><td>17,085</td></tr>
<tr><td>＜卓球練習場：個人＞<br>大人　230円<br>小人　110円</td><td>3</td><td>7,621</td><td>7,257</td><td>6,272</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>＜軽運動室：個人＞<br>大人　110円<br>小人　70円<br>＜軽運動室：大会等＞<br>使用時間に応じて1,180円～</td><td>4</td><td>18,863</td><td>19,579</td><td>17,917</td><td>－</td><td>9,865</td></tr>
<tr><td>＜弓道練習場：個人＞<br>大人　340円<br>小人　180円<br>＜弓道練習場：期間利用＞</td><td>5</td><td>8,849</td><td>7,417</td><td>7,360</td><td>4,382</td><td>6,056</td></tr>
</table>

| 種別 | 条例に定める利用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 大人 12 カ月券　16,940 円<br>小人 12 カ月券　8,480 円<br>＜弓道練習場：大会等＞<br>使用時間に応じて 1,180 円～ | | | | | | |
| | ＜体操練習場：個人＞<br>大人　340 円<br>小人　180 円<br>＜体操練習場：期間利用＞<br>大人 12 カ月券　16,940 円<br>小人 12 カ月券　8,480 円<br>＜体操練習場：大会等＞<br>使用時間に応じて 2,650 円～ | 6 | 10,837 | 11,490 | 11,426 | 8,289 | 11,002 |
| | ＜ボクシング場：個人＞<br>大人　340 円<br>小人　180 円<br>＜ボクシング場：期間利用＞<br>大人 12 カ月券　16,940 円<br>小人 12 カ月券　8,480 円<br>＜ボクシング場：大会等＞<br>使用時間に応じて 1,180 円～ | 7 | 1,376 | 1,354 | 1,627 | 1,111 | 1,613 |
| | ＜研修室＞<br>使用時間に応じて 3,060 円～ | 8 | 6,787 | 6,125 | 7,033 | 9,659 | 6,110 |
| | **合計** | | **537,544** | **569,836** | **524,566** | **281,803** | **331,996** |

＜補足コメント＞

※1　アリーナの利用者数について

当施設は富山県内で最も大きな体育館であり、各種イベント、大規模大会及び富山グラウジーズのホームゲーム等で利用されている。利用者数は、各種イベントや大会の開催状況に左右される。

平成 30 年度は、バスケットボールのワールドカップが開催されたため利用者数が増加している。令和 2 年度以降は、コロナ禍で各種興行（ワールド・オン・アイス等）が中止されたため利用者数が減少している。

※2　フィットネス及びランニングコースの利用者数について

当施設は富山駅近くに位置し駐車場も豊富にあるため、近隣の住民やアリーナ利用者等を中心に幅広く利用されている。

令和 2 年度以降はコロナ禍で利用者数が減少したが、足元では回復の兆しがみられる。

※3　卓球練習場の利用者数について

卓球台が常設されており、気軽に遊びたい中学生等が利用している。本格的な卓球の

練習や試合はアリーナで実施されている。

令和 2 年度以降は感染防止のため閉鎖しており、再開の目途はたっていない。

※4　軽運動室の利用者数について

フィットネスルーム内の壁面鏡が設置された運動スタジオである。当施設は富山駅近くに位置し駐車場も豊富にあるため、近隣住民やアリーナ利用者等を中心に幅広く利用されている。

令和 2 年度は、空調の故障で閉鎖しており利用者がいなくなっている。令和 3 年度は、コロナ禍ではあるが密にならないように利用を再開しており、利用者数が回復している。

※5　弓道練習場の利用者数について

近的用の弓道練習場であり、主に練習用に使用されている。類似施設として富山県営弓道場があるが、そちらは遠的用の弓道場であり大規模な大会等で利用されている。当施設は富山駅近くに位置し駐車場も豊富にあるため、利用者数が多くなっている。

令和 2 年度はコロナ禍で利用者数が一時的に減少したが、類似施設が少ないため令和 3 年度は利用者数が回復している。

※6　体操練習場の利用者数について

器械体操の練習場であり、吊り輪や鉄棒等が常設されている。類似施設として富山県総合体育センターがあるが、そちらは吊り輪等の設備が常設されていない。当施設は富山駅近くに位置し駐車場も豊富にあるため、利用者数が多くなっている。

令和 2 年度はコロナ禍で利用者数が一時的に減少したが、類似施設が少ないため令和 3 年度は利用者数が回復している。

※7　ボクシング場の利用者数について

ボクシング練習場であり、初心者がフィットネス等を目的として使用している。当施設は富山駅近くに位置し駐車場も豊富にあるため、利用者数が多くなっている。

令和 2 年度はコロナ禍で利用者数が減少したが、令和 3 年度は回復している。

※8　研修室の利用者数について

主にイベントや大会を開催する際の打合せ等で利用されており、利用者数は大会等の開催状況等に左右される。

令和 2 年度は、軽運動室の空調が壊れた関係でスポーツ教室を研修室で実施した結果、コロナ禍にも関わらず利用者数が増加している。令和 3 年度は、軽運動室の空調が修繕されたため利用者数が通常の水準に戻っている。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設利用料 | 1 | 93,828 | 91,149 | 93,819 | 51,179 | 55,008 |
| 目的外使用料 | 2 | 116 | 105 | 104 | 107 | 90 |
| その他の歳入 | | 200 | 2,075 | 2,922 | 2,478 | 2,597 |
| **a.歳入実績合計** | | **94,146** | **93,329** | **96,845** | **53,764** | **57,696** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 187,412 | 190,551 | 199,212 | 198,699 | 201,004 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 委託料（その他） | 4 | 145,537 | 10,125 | 154,805 | 118 | 16,060 |
| 補助金（指定管理運営） | 5 | 25,845 | 24,926 | 31,640 | 28,782 | 29,485 |
| 使用料及び賃借料 | | 167 | 167 | 167 | 170 | 170 |
| 工事請負費 | | 31,860 | 10,260 | － | － | － |
| 備品購入費 | | 1,857 | 679 | 777 | 377 | 499 |
| **b.歳出実績合計** | | **392,680** | **236,708** | **386,602** | **228,148** | **247,220** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲298,534** | **▲143,378** | **▲289,756** | **▲174,384** | **▲189,523** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲329,724** | **▲154,227** | **▲333,525** | **▲133,507** | **▲171,905** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **31,190** | **10,848** | **43,769** | **▲40,876** | **▲17,617** |

＜補足コメント＞

※1　施設利用料について

各種イベントや大会の開催を主因とする利用者数増減により変動する。利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　目的外使用料について

令和3年度の内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料90千円」である。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和2年度及び令和3年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。

※4　委託料（その他）について

平成29年度の主な内訳は、「第1アリーナ4面映像装置等設計・制作設置業務委託136,080千円」である。令和1年度の主な内訳は、「第1アリーナ大型LED映像装置等製作・設置等業務委託59,184千円」、「第1アリーナLED照明更新業務委託29,808千円」、「第1アリーナ音響設備更新業務委託64,900千円」である。令和3年度の主な内訳は、「電気室エアコン更新業務委託16,060千円」である。

※5　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 187,412 | 190,551 | 199,212 | 200,254 | 206,104 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 補助金収入(富山市) | 2 | 27,873 | 27,778 | 28,788 | 28,782 | 29,485 |
| **a.収入合計** | | **215,285** | **218,329** | **228,000** | **229,036** | **235,589** |
| 人件費 | 3 | 25,845 | 27,778 | 28,788 | 28,782 | 29,485 |
| 光熱水費 | 4 | 71,242 | 72,876 | 73,842 | 74,433 | 72,228 |
| 修繕料 | 5 | 10,879 | 11,416 | 6,029 | 13,284 | 13,021 |
| 委託料 | 6 | 90,969 | 90,718 | 90,191 | 90,867 | 99,660 |
| 指定管理料返金等（富山市） | 7 | － | － | － | 1,555 | 5,100 |
| その他の支出 | | 13,969 | 14,862 | 12,746 | 18,536 | 16,095 |
| **b.支出合計** | | **212,904** | **217,650** | **211,596** | **227,457** | **235,589** |
| **c.収支差額（a-b）** | **8** | **2,381** | **679** | **16,404** | **1,579** | **－** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲212,904** | **▲217,650** | **▲211,596** | **▲225,902** | **▲230,489** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、上表の人件費には補助金の対象外の費目が含まれる場合があり補助金と人件費は必ずしも一致しない。当施設においては、補助金と人件費が概ね整合しており重大な問題はないと判断する。

また、指定管理者は、内部管理目的で補助金収入を各施設に振り分けているため、補助金収入は「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」の補助金と必ずしも一致しない。この点、差異は少額であることから重大な問題はないと判断する。

※3　人件費について

当施設で勤務している正規職員3人（館長代理1人、スポーツ指導員2人)、常勤嘱託職員6人（館長1人、看護師1人、一般事務1人、スポーツ指導員3人)、常勤臨時職員1人（管理人)、非常勤臨時職員2人（夜間管理人2人）の人件費である。

なお、指定管理者は法人管理部門の人件費についても富山市から補助金を受領しているが、施設別の年度報告書を作成する際には、法人管理部門の人件費や補助金を各施設に配賦していない。

令和3年度の1人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は2,457千円であり、著しく高額である等の大きな問題は認められない。

※4　光熱水費について

令和3年度の主な内訳は、「電気料（高圧契約）42,115千円」、「冷暖房用のガス使用料

26,209 千円」である。当施設は大規模体育施設であり、照明や冷暖房で大量の電気を使用するため電気契約は高圧契約になっている。照明に係る電気料を削減するため第 1 アリーナは LED に転換済みであり、今後も順次 LED 化を行っていく方針である。

※5　修繕料について

令和 3 年度の主な内訳は、「非常用発電設備蓄電池更新 2,770 千円」等である。

※6　委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「施設管理・駐車場等管理業務委託 40,920 千円」、「清掃業務委託 19,651 千円」、「フィットネスルームトレーナー派遣料 16,317 千円」等である。

※7　指定管理料返金等（富山市）について

指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度及び令和 3 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を行っている。指定管理料の精算資料を査閲したが、計算誤り等の重大な問題は発見されなかった。

※8　収支差額について

令和 1 年度は修繕が少なかったため収支差額が大きくなっている。令和 3 年度は指定期間が 1 年であり、指定管理料の精算を行った結果、収支差額がゼロとなっている。

**（2） 監査手続の実施結果と発見事項**

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

①　監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、2000 年とやま国体に向けて旧富山市体育館を建て替える形で着工され、平成 11 年に完成した。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

当施設は富山県内では最大級の体育館であり、開設以来ワールドカップバレーボールの会場の一つとして使用されているほか、B リーグ・富山グラウジーズのホームアリーナとなっている。当施設は、富山駅近辺に存在し多数の駐車場を有するため、コロナ禍前は富山市内外から年間 50 万人以上の利用者が訪れていた。令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休業や各種大会等の中止により利用者数が減少しているが、足元では大会やイベントの再開等により利用者数が回復傾向にある。

当施設は、非常に多くの利用者がいるため 12 月 28 日～1 月 4 日を除き開館しており、開館時間も長時間となっている。

このように、当施設は富山県を代表する体育館として多数の住民に利用されており、その存在意義は十分に認められる。

そのため、施設のあり方や存在意義について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料である。施設使用料は利用者数に連動するが、利用者数はイベントや大会の開催状況に大きく左右される。当施設は富山グラウジーズのホームアリーナであり、プロスポーツ減免が非常に多くなっているが、減免の事務手続に課題が認められた。

富山市の主な歳出は、指定管理料、人件費補助金、設備の更新や修繕に係る委託料である。指定管理料及び人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。委託料については、関連する資料を査閲したが、重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 152【指摘 19】 | 減免申請手続の漏れ |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 指定管理者は、前年度末までに自身が主催するスポーツクラブの 1 年分の使用予定と減免申請を施設所管課に提出しているが、令和 3 年度分については当該手続が行われていなかった。<br>施設所管課においては、減免手続に漏れが無いよう指定管理者を指導する必要がある。 | |

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、外郭団体である(公財)富山市体育協会が非公募で指定管理者に選定されている。富山市は、当施設を PFI で再整備する計画を立てており、令和 1 年 8 月に「富山市総合体育館運営等事業民間提案募集要項」を公表し、令和 4 年度から新事業者による運営に移行する予定であった。しかし、施設の改修範囲など詳細設計に時間を要し運営移行が令和 5 年度以降に後ろ倒しになったため、既存の指定管理者である(公財)富山市体育協会を期間 1 年で指定管理者に選定している。この点、上記のような大方針が決まっている状況において、指定管理者を公募選定することは合理的でない。また、指定管理者は長期間指定管理業務を担当することで施設運営のノウハウを蓄積しており、重大なクレームやトラブルなく施設を運営できている。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算

方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ. 指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ. 指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料と人件費補助金である。なお、指定管理者は当施設で自主事業（スポーツクラブ運営）を実施しており、参加者から参加料を徴収するとともに、富山市に施設使用料を納付している。指定管理者は、指定管理業務収支と自主事業収支を区分集計しており、人件費についても自主事業を担当する職員（スポーツ振興部門に所属する職員）の人件費を指定管理業務収支から控除している（当該職員の人件費については、別途富山市からスポーツ振興事業補助金が交付されている）。なお、指定管理者は年度報告書に自主事業収支を記載していない。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費、委託料である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費については、大規模施設であり電気料やガス代が相応に発生しているが、指定管理者はデマンド監視サービスによる使用状況のモニタリングや最大電力料の抑制等を行っており、重大な問題は認められなかった。委託料については、施設や駐車場の管理委託、清掃委託、フィットネスルームトレーナー派遣料等であり、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 153【指摘 7】 | 自主事業の実績報告漏れ |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 7）を識別している。 |
| 指定管理者は、当施設を使用して自主事業（スポーツクラブの運営）を行っているが、年度報告書で自主事業収支を報告していない。自主事業の実施結果は指定管理業務の成果（市民サービスや施設の有効利用の向上）を評価するうえで重要な判断材料になる。<br>施設所管課においては、年度報告書で自主事業収支を区分報告するよう指定管理者に指導する必要がある。 | |

オ. 過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象とされている。当該包括外部監査における発見事項（備品管理以外）に

対する施設所管課の措置回答状況及びそれに対する監査手続実施結果は以下のとおりである。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 【指摘】募集要項の未作成について | |
| 過去の発見事項（要約） | 非公募の場合も募集要項を作成する必要があるが、作成していなかった。また、所管課において選定基準に基づき指定申請書等の審査を行う必要があるが、審査過程を示す書類がなかった。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 平成 24 年度更新の際は、募集要項に代わる「指定申請書作成要領及び仕様書」を作成し指定管理候補予定者に通知している。また、指定管理候補予定者から入手した指定申請書等について、指定申請書等点検要領に基づき施設所管課で内容点検を行った後、審査基準に基づき「公募によらない指定管理候補者の審査結果」を作成し、適正に審査を行っている。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 施設所管課に確認した結果、「措置回答のとおり対応している」との回答を得た。令和 3 年度の指定管理候補者選定資料を確認した結果、措置回答のとおり運用されていたため、当該発見事項は改善済みと判断する。 |
| 【指摘】自主事業に従事した職員の人件費の配賦ついて | |
| 過去の発見事項（要約） | プロパー職員が自主事業に従事した分の人件費が自主事業に配賦されておらず、全て対象施設の指定管理事業の事業費とされている。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 自主事業に従事した職員の人件費については、適切な配賦ができるか、指定管理者と検討していく。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 施設所管課及び指定管理者に確認した結果、「自主事業を担当する職員（スポーツ振興部門に所属する職員）の人件費は指定管理業務から区分して集計している」との回答を得た。関連資料を査閲した結果回答のとおり運用されていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |
| 【指摘】個人情報の DB へのアクセス権限について | |
| 過去の発見事項（要約） | サーバーで個人情報をデータベース化し端末でそれらを確認できるようになっているが、業務上、個人情報を閲覧する必要がある者のみがデータベースにアクセスできるよう仕組みを整える必要がある。 |
| 富山市の措置回答（要約） | サーバーに保管されている個人情報は、ID やパスワードでアクセス制限を設けている。また、紙媒体の管理については、「個人情報保護に関する留意事項」に基づき管理している。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 指定管理者に確認した結果、「スポーツネットの予約情報の閲覧は専用端末に当施設専用のログイン ID とパスワードを入力する必要がある。スポーツクラブの個人情報は当施設の専用 PC に保管されており、ログイン ID とパスワードで管理されている。紙媒体の個人情報は鍵付き BOX で管理している」との回答を得た。現場視察を実施した結果、上記のとおり運用されていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |

## ３２． 富山市民プール

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 富山市荒川四丁目 1 番 70 号 |
| 所管部署 | スポーツ健康課 |
| 関連条例等 | 富山市スポーツ施設条例及び同条例施行規則 |
| 条例に定める施設の目的 | 市民のスポーツ振興を図り、市民の健康増進に寄与する |
| 施設の主な建物の概要 | 主な建物 / 建築年 / 耐用年数 / 残存年数 / 延床面積（㎡） / 建設費（千円）<br>市民プール / H10 / 47 / 24 / 9,167.82 / 4,349,572<br>ゴミ置き場 / H10 / 38 / 15 / 5.40<br>自転車小屋 / H10 / 24 / 1 / 88.00 |
| 開館期間 | 休館日：　12 月 28 日～1 月 4 日<br>開館時間：　個人及び団体使用は、日曜祝日は 10:00～19:00、それ以外の日は 10:00～21:30。大会等の場合は 9:00～21:30。 |
| 公共施設マネジメント方針 | ＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「スポーツ施設」については、「A.市内全域を対象として大規模なスポーツ大会やイベント等が実施できる施設」、「B.複数地域を対象としてスポーツ大会が実施できる施設」、「C.地域を対象としてサークルスポーツ活動が実施できる施設」の 3 層構造に再編するとともに、A と B は引き続き市所有として存続させ、C は老朽化に合わせて利用状況や安全性、地域性等を踏まえそのあり方の見直しを行う。その中で、利用率の低い施設は改善を行いつつ、将来に渡って改善が見込まれないことが予想される施設については、廃止・統合を行う。また、民間が代替できる施設や機能については、原則廃止することとし、施設については民間へ譲渡する。<br>その他、市が所有する施設については「市有拠点スポーツ施設長寿命化基本計画」を踏まえ、計画的に適正な維持管理を行う「予防保全」を推進するとともに、利用者の利便性向上に向け、予約方法や使用料金等の運営体制の見直しについて検討を行う。 |
| | ＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | 富山 FS パートナーズ（㈱フクシ・エンタープライズを代表企業とし、三幸㈱を構成員とする共同企業体） |

<table>
<tr><td></td><td>所在地：　東京都江東区大島一丁目 9 番 8 号<br>代表者：　福士　昌<br>事業概要：　スポーツ施設、文化施設の指定管理業務<br>富山市との関係：　特記事項なし</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>243,164</td><td>242,914</td><td>242,914</td><td>243,064</td><td>242,914</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数 2 者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費が 1 件 500 千円未満の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。</td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者が外郭団体以外であるため）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>プール教室事業</td><td>健康増進～競技力向上まで幅広く市民ニーズに対応するため水泳・水中プログラムを実施</td><td>通年で 28 教室を開催。料金は教室毎に決定</td></tr>
<tr><td>フィットネス教室事業</td><td>フィットネスプログラムを通じたプール利用者の開拓を実施</td><td>通年で 15 の教室を開催。料金は教室毎に決定</td></tr>
<tr><td>イベント・還元事業</td><td>教室参加者等が楽しめるイベントとしてトップアスリートを招聘して行う利益還元事業を行う</td><td>定員 20 名程度を想定し、料金はプログラム毎に決定</td></tr>
<tr><td>普及・育成事業</td><td>水泳、水中運動の指導者育成を図るほか、市民向けの着衣泳講習会、安全管理講習会等を実施</td><td>無料で年 4 回講習会を実施</td></tr>
<tr><td>物販・レンタル事業</td><td>ゴーグルやキャップ等のプール用品やサプリメントを販売する</td><td>市場価格等を見ながら料金を決定</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>収益向上を「利用者増加による富山市歳入の増加」と「自主事業による施設の</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | 収益向上」と定義し、これらが相乗効果を発揮できるようにする。そのうえで、収益向上の施策を「コンテンツの充実」と「プロモーションの充実」に分解し、それぞれ以下の施策を立案・実施する。<br>● コンテンツの充実<br>フィットネスプログラムの充実により新規利用者を増やし、相乗効果としてプール及びトレーニング室の利用率を向上させる。また、フィットネスルーム及びプールの利用者向けに無料のサービスプログラムを提供する<br>● プロモーションの充実<br>施設 HP のリニューアル、話題性の高い事業に関する記者クラブへの取材案内、転入者への無料施設お試し券の配布等を実施 |

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| プール | ＜個人＞<br>大人 2 時間　450 円<br>小人 2 時間　180 円<br>＜期間利用＞　単位：円<br>1 ヶ月 / 3 カ月 / 6 カ月 / 12 ヶ月<br>大人　5,640 / 11,300 / 16,940 / 22,590<br>小人　2,120 / 4,240 / 6,360 / 8,480<br>＜大会等＞<br>入場無料　使用時間により 14,120 円～<br>入場有料　使用時間により 38,830 円～ | 1 | 261,440 | 241,891 | 231,457 | 155,251 | 159,746 |
| フィットネス | ＜個人＞<br>大人 2 時間　450 円<br>小人 2 時間　230 円<br>＜期間利用＞　単位：円<br>1 ヶ月 / 3 カ月 / 6 カ月 / 12 ヶ月<br>大人　5,640 / 11,300 / 16,940 / 22,590<br>小人　2,820 / 5,640 / 8,480 / 11,300 | 2 | 56,345 | 56,649 | 51,565 | 26,517 | 26,783 |
| サウナ | ＜個人＞<br>大人 2 時間　480 円<br>小人 2 時間　240 円 | 3 | 5,775 | 5,327 | 5,146 | － | 430 |
| 研修室及び多目的ホール | ＜研修室 1.2＞<br>使用時間により 2,350 円～<br>＜多目的ホール 1.2＞<br>使用時間により 3,530 円～ | 4 | 6,638 | 6,287 | 5,378 | 2,155 | 2,279 |
| **合計** | | | **330,198** | **310,154** | **293,546** | **183,923** | **189,238** |

＜補足コメント＞

※1　プールの利用者数について

当施設は 50m プールと 25m プールを要する県内有数の大規模プールであり、一般利用やスイミングスクール利用のほか、各種大会で利用されている。大まかな利用者比率は、5:5 である。

令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（令和 2 年 4 月 16 日～5 月 19 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 26 日）や水泳大会の中止等があり利用者数が減少している。

※2　フィットネスの利用者数について

令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（令和 2 年 4 月 16 日～5 月 19 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 26 日）や外出自粛により利用者数が減少している。

※3　サウナの利用者数について

コロナ禍を受けて令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 12 月 31 日までサウナを閉鎖していたため利用者数が減少している。

※4　研修室及び多目的ホールの利用者数について

主に大会開催時の事務室や会合等で使用されている。

令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（令和 2 年 4 月 16 日～5 月 19 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 26 日）や水泳大会の中止等があり利用者数が減少している。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 47,151 | 46,877 | 44,522 | 25,811 | 27,707 |
| 目的外使用料 | 2 | 33 | 40 | 40 | 37 | 32 |
| その他の歳入 | | 4,800 | － | 245 | 490 | 485 |
| **a.歳入実績合計** | | **51,985** | **46,917** | **44,807** | **26,338** | **28,225** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 166,404 | 169,232 | 177,082 | 162,754 | 243,164 |
| 委託料（その他） | | － | 40,362 | 3,436 | － | 1,573 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 71,551 | 71,718 | 73,977 | 73,128 | － |
| 賃借料 | | 196 | 196 | 196 | 189 | 186 |
| 備品購入費 | | 27,540 | － | － | － | － |
| 手数料 | | 34 | － | 122 | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **265,726** | **281,510** | **254,815** | **236,072** | **244,923** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲213,740** | **▲234,592** | **▲210,007** | **▲209,734** | **▲216,698** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲187,814** | **▲242,205** | **▲203,628** | **▲207,713** | **▲198,681** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **▲25,925** | **7,613** | **▲6,379** | **▲2,020** | **▲18,016** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

各種大会の開催を主因とする利用者数増減により変動する。利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　目的外使用料について

令和3年度の内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料32千円」である。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、令和2年度までは指定管理者が(公財)富山市体育協会（外郭団体）であったため、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められていた。令和2年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を受けている。

令和3年度は、指定管理者が(公財)富山市体育協会（外郭団体）から富山FSパートナーズ（民間）に交代になり、従来補助金で支払われていた指定管理業務に係る人件費相当を指定管理料に含めて支払うことになったため、指定管理料が増加している。

※4　補助金（指定管理運営）について

令和2年度までは指定管理者が(公財)富山市体育協会（外郭団体）であったため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

令和3年度は、指定管理者が(公財)富山市体育協会（外郭団体）から富山FSパートナーズ（民間）に交代になり、従来補助金で支払われていた指定管理業務に係る人件費相当を指定管理料に含めて支払うことになったため、補助金が発生しなくなっている。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 166,404 | 169,232 | 177,082 | 178,226 | 243,164 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 71,213 | 71,718 | 73,173 | 73,128 | － |
| 自主事業収入 | 3 | － | － | － | － | 1,980 |
| **a.収入合計** | | **237,617** | **240,950** | **250,255** | **251,354** | **245,144** |
| 人件費 | 4 | 71,551 | 71,718 | 73,977 | 73,128 | 71,027 |
| 光熱水費 | 5 | 78,859 | 82,604 | 77,230 | 72,402 | 80,203 |
| 修繕料 | | 11,113 | 11,500 | 13,389 | 26,490 | 10,541 |
| 委託料 | 6 | 61,310 | 59,783 | 57,720 | 58,460 | 59,327 |
| 自主事業原価 | 3 | － | － | － | － | 1,916 |
| 指定管理料返金等（富山市） | 7 | － | － | － | 15,472 | － |
| その他の支出 | | 14,584 | 14,060 | 11,893 | 12,587 | 20,855 |
| **b.支出合計** | | **237,417** | **239,665** | **234,209** | **258,539** | **243,869** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **200** | **1,285** | **16,046** | **▲7,185** | **1,275** |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲237,417** | **▲239,665** | **▲234,209** | **▲243,067** | **▲241,889** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

令和 2 年度までは指定管理者が(公財)富山市体育協会(外郭団体)であったため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受取っていた。

令和 3 年度は、指定管理者が(公財)富山市体育協会（外郭団体）から富山 FS パートナーズ（民間）に交代になり、従来補助金で支払われていた指定管理業務に係る人件費相当を指定管理料に含めて支払うことになったため、補助金が発生しなくなっている。

※3　自主事業収入及び自主事業原価について

令和 3 年度の自主事業収入の主な内訳は、「自動販売機設置手数料 1,450 千円」である。なお、当施設では、過去から NPO 法人富山スイミングクラブが水泳教室を開いているため、指定管理者が主催するスポーツ教室は開かれていない。

※4　人件費について

当施設で勤務している正規職員 3 人（館長、副館長、プール施設運営管理統括責任者)、パート 46 人（プール監視員 35 人、受付事務 11 人）の人件費である。当施設の職員はシフト制で勤務しており、パートはプール監視員が 8～10 人体制、受付事務員が 2～3 人体制（総合受付 1～2 人、プール受付 1 人）で勤務している。

なお、指定管理者の本部事務局で勤務している職員の人件費は、業務管理費として別科目で配賦計上されている。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 1,449 千円であり、大部分がパート職員であることを勘案すると大きな問題は認められない。

※5　光熱水費について

令和 3 年度の主な内訳は、「電気料（高圧契約）40,355 千円」、「ガス代 34,041 千円」である。

令和 2 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（4 月 16 日～5 月 19 日）等があり発生額が減少している。令和 3 年度も、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（8 月 18 日～9 月 26 日）等があったが、燃料費単価の上昇等があり発生額が増加している。

※6　委託料について

主な内訳は、「㈱三幸に対する施設管理委託料 41,600 千円」、「フィットネスのトレーナー派遣料 11,000 千円」等である。

※7　指定管理料返金等（富山市）について

指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指

定期間の指定管理料合計額を下回っていたため、当該差額の返還を行っている。指定管理料の精算資料を査閲したが、計算誤り等の重大な問題は発見されなかった。

### （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、2000 年とやま国体に向けて平成 11 年に開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

当施設は、50m プールと 25m プールを有する県内有数の大規模プールであり、日本水泳連盟の公認を得ているため公式の大会を開くことができる。当施設は、コロナ禍前は年間 30 万人以上の利用者が訪れていた。令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（令和 2 年 4 月 16 日～5 月 19 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 26 日）や水泳大会の中止等があり利用者数が減少している。

当施設は、一般利用とスイミングスクール利用が半々となっており、平日は高齢者の利用が多くなっている。当施設はスイミングスクールや大会等で相当程度利用されており、市民の自由な利用を確保するためとやまスポーツネットでの予約ができなくなっている。

当施設は、非常に多くの利用者がいるため 12 月 28 日～1 月 4 日を除き開館しており、開館時間も長時間となっている。一方で、当施設は大規模施設であり、設備の保守点検や大会開催のため年間 10～15 日程度は臨時休館している。

このように、当施設は富山県を代表するプールとして多数の住民に利用されており、その存在意義は十分に認められる。一方で、当施設は老朽化が進んでおり、施設の修繕の面で課題が見受けられた。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 154【意見 60】 | 施設機能を維持するための適切な更新投資 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、プールの照明に水銀灯を使用しているが、安定器の不具合で調光が不安定になっている。また、昨今は水銀灯が製造されなくなってきており、交換や修繕が難しくなっている。プールの照明に大規模な不具合が生じた場合、施設利用に大きな影響を及ぼす可能性がある。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、LED 化等の更新投資を検討することが望まれる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳

出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料である。施設使用料は利用者数に連動するが、足元ではコロナ禍による外出自粛等の影響で利用者数が少なくなっている。なお、当施設ではNPO法人富山スイミングが水泳教室を開催している。富山スイミングクラブは、(公財)富山市体育協会が当施設に紐付けて設立した団体であり、総合型地域スポーツクラブ（スポーツ活動を目的とした市内のNPO法人）であるため、施設使用料の減免対象（50%減免）となっている。また、富山スイミングクラブは当施設の事務室に事務所を構えているが、その目的外使用料を全額減免されている。富山スイミングクラブは、年度初めに事務所の目的外使用許可申請と年間の使用予定表を施設所管課に提出するとともに、使用の都度、指定管理者に減免申請書を提出している。指定管理者は、減免申請書を都度承認するとともに、毎月1回富山スイミングクラブが提出する利用実績表を添付して富山市に減免報告をしている。

富山市の主な歳出は、指定管理料、人件費補助金である。指定管理料及び人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 155【意見28】 | 目的外使用料の減免と実費負担の見直し |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |

当施設の事務室はNPO法人富山スイミングクラブが事務所として継続使用しているが、施設所管課は目的外使用料を全額減免するとともに、電気料の実費相当額のみを徴収している。目的外使用料については、令和3年8月2日に管財課が通知した「行政財産目的外使用料及び普通財産貸付料の減免基準」に照らすと全額減免が過剰である可能性がある。また、実費負担については、例えば八尾農村環境改善センターでは、会議室を占用していた土地改良区に対して占用部分の面積比で按分した以下の費用を実費徴収していた。

・電気料　・上下水道料　・消防設備保守点検費用　・自動ドア保守点検費用
・NHK受信料　・防犯警備費用　・共用部の電気料　・火災警備用のFAX使用料

施設所管課においては、他施設の事例等も踏まえて目的外使用料の減免の妥当性や実費負担の十分性を再検討することが望まれる。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第4章 第1部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っており、応募者数2者の中から富山FSパートナー

ズ（㈱フクシ・エンタープライズを代表企業とし三幸㈱を構成員とする共同企業体）が指定管理者に選定されている。㈱フクシ・エンタープライズは、東北、関東、中部地方を中心に様々なスポーツ施設や文化施設の指定管理業務を請け負っている。また、数多くのプールでの管理実績を持ち合わせており、管理運営を通じてまちづくりへの協力体制も構築されている。三幸㈱は、全国規模で総合ビルメンテナンスを営んでおり、豊富なノウハウや人員体制により安定的に施設の維持管理を行っている。三幸㈱は八尾 B&G 海洋センタープールでも他の運営団体と共同企業体を組成して指定管理業務を請け負っている。なお、指定管理候補者選定審査資料を査閲したが、他の応募者は施設の収益向上に向けた取り組みの面で課題が見受けられた。また、指定管理者は、他の指定管理業務で蓄積したノウハウを生かして柔軟な修繕対応や施設の有効利用の促進（自主事業の新設、多目的ホールへの富山グラウジーズダンスチームの練習誘致等）を行っており、重大なクレームやトラブルなく施設を運営できている。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料と人件費補助金である。なお、指定管理者は令和 3 年度に指定管理業務を請け負ってから「オリンピアを交えたイベント（年 1 回)」、「小学生以下を対象とした運動教室（多目的ホールでカワイ体育教室が開催)」、「水中ウォーキング教室（年 30 日～40 日程度)」等の自主事業を新設している。水中ウォーキング教室は、定員 20 人に対して参加者が数人のこともあるが、スイミングスクールのない月曜日に実施することで施設の稼働率向上に貢献している。なお、指定管理者は、自主事業を実施する際に参加者から参加料を徴収しているが、参加料が低廉であるため自主事業収益の大部分は自動販売機設置手数料となっている。自主事業原価は、プールや多目的ホールの使用に係る施設使用料やオリンピアに支払う諸経費であるが、人件費は配賦されていない。その他、当施設で開催されているスイミングスクールや物販事業は、NPO 法人富山スイミングクラブが継続して実施している。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費、委託料である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費については、大規模施設であり照明や空調に係る電気料（高圧契約）とガス代が相応に発生しているが、何れも現状の開館期間や開館時間を前提とすると重大な問題は認められなかった。委託料については、三幸㈱に対する施設管理委託料 41,600 千円が大半を占める。三幸㈱は、設備の運転や定期点検を実施する常駐職員の人件費（2.5 人分)、日常清掃業務の外注委託料（6～7 人分)、機械設備、消防設備、エレベーター等の定期メンテナンス費用等を請求している。また、フィットネスジムの運営委託料が 11,000 千円発生しており、これは安全管理やマシンのメンテナ

ンスのために常駐している民間スポーツクラブの派遣職員 2 名分の人件費である。その他、指定管理者は本社管理費を業務管理費として配賦しているが、その計算方法が明確になっていない。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 156【指摘 7】 | 自主事業収支への人件費の配賦 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 7）を識別している。 |
| 指定管理者は、自主事業に係る施設使用料や諸経費を自主事業収支として集計しているが、人件費については自主事業収支に配賦していない。自主事業収支に人件費を配賦しない場合、指定管理業務に係る支出が過大に計上され、指定管理料の妥当性を正確に判断できなくなってしまう。<br>施設所管課においては、人件費を自主事業収支に配賦するよう指定管理者に指導する必要がある。例えば、指定管理者は自主事業ごとに指導手当を設定しているため、指導手当を自主事業支出に含めることが考えられる。また、水中ウォーキング教室は職員 1 名が対応しているため、当該職員が自主事業に要する大まかな日数を集計して当該日数の比率で人件費を配賦することが考えられる。 | |
| 157【指摘 9】 | 本社管理費の配賦基準の見直し |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |
| 指定管理者は、令和 3 年度に 3,417 千円の本社管理費（業務委託料）を当施設に配賦している。一方で、本社管理費の配賦根拠は不明となっており、本社管理費の配賦結果が本部事務員の稼働実態と整合していない可能性がある。<br>施設所管課においては、本社管理費の配賦基準を活動実態に即した適正な方法に見直すよう指定管理者に指導する必要がある。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象とされている。当該包括外部監査における発見事項（備品管理以外）に対する施設所管課の措置回答状況及びそれに対する監査手続実施結果は以下のとおりである。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 【指摘】募集要項の未作成について | |
| 過去の発見事項（要約） | 非公募の場合も募集要項を作成する必要があるが、作成していなかった。また、所管課において選定基準に基づき指定申請書等の審査を行う |

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| | 必要があるが、審査過程を示す書類がなかった。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 平成 24 年度更新の際は、募集要項に代わる「指定申請書作成要領及び仕様書」を作成し指定管理候補予定者に通知している。また、指定管理候補予定者から入手した指定申請書等について、指定申請書等点検要領に基づき施設所管課で内容点検を行った後、審査基準に基づき「公募によらない指定管理候補者の審査結果」を作成し、適正に審査を行っている。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 施設所管課に確認した結果、「措置回答のとおり対応している」との回答を得た。令和 3 年度の指定管理候補者選定資料を確認した結果、措置回答のとおり運用されていたため、当該発見事項は改善済みと判断する。 |
| 【指摘】自主事業に従事した職員の人件費の配賦ついて | |
| 過去の発見事項（要約） | プロパー職員が自主事業に従事した分の人件費が自主事業に配賦されておらず、全て対象施設の指定管理事業の事業費とされている。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 自主事業に従事した職員の人件費については、適切な配賦ができるか、指定管理者と検討していく。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 措置回答は令和 2 年度まで指定管理者であった(公財)富山市体育協会が行ったものである。令和 3 年度は指定管理者が富山 FS パートナーズに交代しているが、上記「(2)エ．指定管理業務の検討結果」のとおり指定管理者は自主事業に人件費を配賦していなかった。そのため、当該発見事項については改善未了と判断する。なお、当該発見事項は上記「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で記載しているため、本項では記載しない。 |
| 【指摘】個人情報の DB へのアクセス権限について | |
| 過去の発見事項（要約） | サーバーで個人情報をデータベース化し端末でそれらを確認できるようになっているが、業務上、個人情報を閲覧する必要がある者のみがデータベースにアクセスできるよう仕組みを整える必要がある |
| 富山市の措置回答（要約） | サーバーに保管されている個人情報は、ID やパスワードでアクセス制限を設けている。また、紙媒体の管理については、「個人情報保護に関する留意事項」に基づき管理している。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 指定管理者に確認した結果、「スポーツクラブの個人情報は当施設の専用 PC に保管されており、ログイン ID とパスワードで管理されている。紙媒体の個人情報は鍵付き BOX で管理している」との回答を得た。現場視察等を実施した結果、上記のとおり運用されていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |

## ３３． 大沢野健康福祉センター、大沢野老人福祉センター

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>大沢野健康福祉センター：　富山市春日 96 番地 1<br>大沢野老人福祉センター：　富山市春日 96 番地 1</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>大沢野行政サービスセンター地域福祉課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>大沢野健康福祉センター：　富山市大沢野健康福祉センター条例及び同条例施行規則<br>大沢野老人福祉センター：　富山市老人福祉センター条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>大沢野健康福祉センター：　市民の健康増進と福祉活動の機会と場所を提供し、もって市民の健康意識の高揚及び福祉向上に資する<br>大沢野老人福祉センター：　老人福祉法（昭和 38 年法律第 133 号）第 15 条第 5 項に基づき施設を設置する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積<br>（㎡）</th><th>建設費<br>（千円）</th></tr>
<tr><td>大沢野健康福祉センター1</td><td>H9</td><td>50</td><td>26</td><td>7,878.90</td><td rowspan="2">3,283,845</td></tr>
<tr><td>大沢野健康福祉センター2</td><td>H16</td><td>50</td><td>33</td><td>504.71</td></tr>
<tr><td>大沢野老人福祉センター</td><td>H9</td><td>50</td><td>26</td><td>619.71</td><td>2,997,300</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>開館期間</td><td>休館日：　大沢野健康福祉センター：　毎月第 2、第 4 火曜日<br>大沢野老人福祉センター：　毎月第 2、第 4 火曜日<br>12 月 29 日～1 月 3 日<br>開館時間：　大沢野健康福祉センター：　日曜祝日及び 12 月 1 日～3 月 31 日は 10:00～21:00<br>それ以外は 10:00～22:00<br>大沢野老人福祉センター：　9:30～17:00</td></tr>
<tr><td>公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>● 大沢野健康福祉センター<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「レクリエーション・観光施設」のうち「宿泊・入浴施設」については、民間への事業移管が困難なものは廃止する。廃止の際には民間類似施設の利用補助を行う等の代替手段を検討する。<br>また、健康増進及び介護予防等社会的に今後重要となる機能を強化し、</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | 近隣の民間類似施設と機能が重複するレクリエーション機能は廃止する。<br>● 大沢野老人福祉センター<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「高齢者福祉施設（老人福祉センター及び老人憩いの家)」については、当面は高齢者人口の増加が見込まれるが、2040 年代後半をピークに高齢者人口も減少に転ずることが予想されていることや、高齢者のニーズも多様化してきていること等を踏まえ、施設の更新は行わないこととする。具体的には、入浴に必要な機器等を更新しなければ運営できない場合は入浴施設を廃止する。また、その他の機能についても大規模修繕が必要な場合や利用者が一定の基準以下となった場合は、施設自体を廃止する。 |
| | ＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編）2022～2026＞<br>● 大沢野健康福祉センター<br>当施設はアクションプランの対象となっており、機能維持の方針は「継続」となっている。また、機能の提供形態は「維持」、「一部用途変更」、「提供主体変更」、「廃止・休止」が検討されており、整備手法は「修繕」、「長寿命化（大規模改修)」、「利活用」、「転用」、「譲渡」、「解体」が検討されている。その他、補足説明で「施設機能を段階的に縮小する」とのコメントがある。<br>● 大沢野老人福祉センター<br>当施設はアクションプランの対象となっており、機能維持の方針は「継続」となっている。また、機能の提供形態は「維持」、「一部用途変更」、「廃止・休止」が検討されており、整備手法は「修繕」、「解体」が検討されている。その他、補足説明で「入浴に必要な機器等の更新は行わない。また、施設の利用状況を考慮し施設廃止を行う」とのコメントがある。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | （一財）富山市大沢野健康文化推進財団<br>所在地：　富山市春日 96 番地 1<br>代表者：　中田 俊彦<br>事業概要：　身体的健康の保持増進のための実践的活動事業、精神面での健康づくりの支援事業、大沢野健康福祉センターの管理運営等<br>富山市との関係：　外郭団体 |
| 指定管理業務の概要 | ● 富山市大沢野健康福祉センター条例（平成 17 年富山市条例第 137 号）第 4 条の 3 及び富山市老人福祉センター条例（平成 17 年富山市条例第 153 号）第 3 条の 3 に掲げる業務 |
| 指定期間 | 3 年間（令和 3 年度～令和 5 年度） |

<table>
<tr><td>指定管理料</td><td>各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和2年度締結の基本協定書）<br>単位：千円<br><table><tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>指定管理料</td><td>125,022</td><td>126,888</td><td>127,559</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>非公募（施設の性格や設置目的、市の政策的な方針等に照らし、特定の団体を指定することに合理的理由があるため）</td></tr>
<tr><td>利用料の帰属</td><td>大沢野健康福祉センター：　指定管理者（利用料金制）<br>大沢野老人福祉センター：　富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円<br><table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>10,000</td><td>10,000</td><td>10,000</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。<br><table><tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr><tr><td>売店や自動販売機等の設置</td><td>利用者の利便性向上を図り利用者の増加につなげるため、スイミング用品等の販売、レンタル及び清涼飲料水等の販売を行う</td><td>事業費は年間 600 千円程度</td></tr><tr><td>地域健康づくりの実施</td><td>小学校や地域からの要請に基づき、健康づくりの運動指導を行い、健康づくりの普及啓発を推進する</td><td>支出は指定管理者のトレーナースタッフの人件費相当</td></tr><tr><td>ギャラリー展の開催</td><td>ロビーに写真展や絵手紙展、園児の作品展などを展示し、利用者の増加を図る</td><td>事業費は特段発生しない見込みである</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>● 燃料費の節減<br>開館時間後にプールや露天風呂に保温シートをすることで重油使用量を削減するとともに、燃焼効率がよい LSA 重油を使用して燃費を向上させる。また、重油単価上昇時は上昇前の月末に、下落時は月初に補給を行う。その他、熱交換省エネシステムの導入による重油削減を引き続き行う。<br>● 上下水道代の節減</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | 節水シャワー及び節水コマを引き続き導入し、水道使用量を削減する<br>● 電気料の節減<br>デマンド警報を活用し、電気使用量を一定枠内に抑え電気使用量を抑制することで基本料金を削減する。また、深夜電力を活用するとともに、段階的に高効率蛍光灯、LED 照明等に切り替えることで電気料を節減する<br>● 効率的な維持管理<br>適材適所の人員配置や使用済み用紙の裏面利用、トナーのリサイクル品使用等による経費削減を行う<br>● 各部屋の有効利用<br>空き部屋に段ボール迷路や卓球台を設置し、施設の利活用に努める<br>● 体組成計測定料の設定<br>体脂肪等が図れる体組成計測定を有料化する<br>● 自動車保険のフリート契約<br>10 台以上の車両を一括で保険に加入させることで保険料を節減する |

イ．施設の利用料及び利用者数の状況

① 大沢野健康福祉センター

単位：人

| 種別 | 条例に定める利用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ウェルネス会員 | 大人：入会金 13,200 円／料金 5,280 円/月 | 1 | 96,731 | 99,424 | 94,334 | 44,999 | 65,556 |
| ヘルシー会員 | 大人：入会金 13,200 円／料金 4,400 円/月<br>中人：入会金 6,600 円／料金 3,300 円/月<br>小人：入会金 4,400 円／料金 2,200 円/月 | 2 | 133,674 | 130,357 | 128,185 | 59,882 | 90,538 |
| 法人会員 | 会員券 220,000 円<br>利用料 1 回 550 円 | 3 | 27,582 | 29,090 | 31,008 | 13,139 | 20,446 |
| ビジター | ＜プール等共通＞<br>大人 1,540 円<br>中人 1,100 円<br>小人 770 円<br>幼児 550 円<br>＜トレーニングルーム＞<br>大人 330 円 | 4 | 43,103 | 42,584 | 37,751 | 7,849 | 21,072 |
| 入浴 | 大人 880 円<br>中人 770 円<br>小人 550 円<br>幼児 330 円 | 5 | 19,315 | 18,465 | 16,656 | 5,500 | 6,448 |

| 種別 | 条例に定める利用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 320,405 | 319,920 | 307,934 | 131,369 | 204,060 |

＜補足コメント＞

※1　ウェルネス会員の利用者数について

当施設全体（プール、温泉、トレーニングジム）を利用できる会員である。

令和2年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館及び建物工事による休館（4月4日～8月31日）があり利用者が減少している。令和3年度も、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（8月18日～9月26日）があり利用者が減少している。

なお、ウェルネス会員は60歳以上の高齢者が多かったが、コロナ禍が長期化するなかで高齢者の利用離れが起きており、令和3年度末の会員数は65歳以上が208人、65歳未満が209人と同程度になっている。高齢者は、一度辞めると戻ってきにくい傾向にあり、会員数は足元でコロナ禍前の70～80%水準に留まっている。

※2　ヘルシー会員の利用者数について

当施設のうちプールと温泉のみ利用できる会員である。

令和2年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館及び建物工事による休館（4月4日～8月31日）があり利用者が減少している。令和3年度も、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（8月18日～9月26日）があり利用者が減少している。

なお、ヘルシー会員はトレーニングジムを必要としない高齢者の利用が多くなっており、令和3年度末の会員数は65歳以上が407人、65歳未満が130人となっている。ウェルネス会員と同様の理由で足元の会員数はコロナ禍前の70～80%水準に留まっている。

※3　法人会員の利用者数について

従業員の福利厚生等を目的とした法人契約の会員であり、年間契約となっている。法人会員は当施設を割引料金で利用できるほか、年間で無料利用券を5枚もらえる。

令和2年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館及び建物工事による休館（4月4日～8月31日）があり利用者が減少している。令和3年度も、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（8月18日～9月26日）があり利用者が減少している。

その他、コロナの感染拡大防止のため会社として従業員に利用を控える指示があったこと、業績が悪化し法人会員を続けられなくなった会社が数社あったこと等も利用者減少の大きな要因となっている。足元でも明確な回復基調は認められない。

※4　ビジターの利用者数について

会員以外の利用者であり、「プールとバーデと入浴」か「入浴」に大人（高校生以上）はトレーニングルームを追加で利用できる。夏場の家族連れによるプール利用が大きな割合を占めており、当施設の主要な収入源となっている。

令和2年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館及び建物工事による休館（4月4日～8月31日）があり利用者が減少している。令和3年度も、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（8月18日～9月26日）があり利用者が減少している。足元では、令和4年7月の3連休までは顕著な回復傾向が認められたが、7月後半の感染拡大により利用者数の回復が滞っている。

※5　入浴の利用者数について

会員以外の利用者のうち「入浴のみ」の利用者である。

令和2年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館及び建物工事による休館（4月4日～8月31日）があり利用者が減少している。令和3年度も、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（8月18日～9月26日）があり利用者が減少している。

なお、同じ建物内には大沢野老人福祉センターの温泉もあり、こちらは60歳以上であれば100円で入浴できるため、機能の重複が生じている。

② 大沢野老人福祉センター

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設利用 | ＜施設入館者＞<br>入館料　100円 | 1 | 44,946 | 44,983 | 44,624 | 15,868 | 18,295 |

＜補足コメント＞

※1　利用者数について

令和2年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館及び建物工事による休館（4月4日～8月31日）があり利用者が減少している。令和3年度も、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（8月18日～9月26日）があり利用者が減少している。

なお、利用者の便宜を図るため、各地区老人クラブへの送迎や巡回バスの運行を行っていたが、コロナ禍により令和2年4月から運休しており利用者減少の一要因となっている。バス運行は令和4年10月から再開予定であり、利用者増が期待される。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

① 大沢野健康福祉センター

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設利用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | 84 | 80 | 81 | 178 | 286 |
| **a.歳入実績合計** | | **84** | **80** | **81** | **178** | **286** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 43,218 | 57,884 | 67,197 | 64,429 | 70,232 |
| 委託料（コロナ補助） | 3 | － | － | － | 21,007 | 15,989 |
| 委託料（休館補償） | 3 | － | － | － | 11,330 | － |
| 委託料（その他） | 4 | 3,564 | 14,256 | 29,709 | 4,235 | 10,230 |
| 補助金（指定管理運営） | 5 | 33,348 | 28,724 | 28,605 | 32,169 | 38,436 |
| 使用料及び賃借料 | | 1,833 | 400 | 400 | 400 | 400 |
| 工事請負費 | | 27,000 | 6,133 | － | 6,545 | － |
| 備品購入費 | | 162 | － | － | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **109,125** | **107,397** | **125,911** | **140,115** | **135,287** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲109,041** | **▲107,317** | **▲125,830** | **▲139,937** | **▲135,001** |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| d.予算額（歳入-歳出） | | ▲115,495 | ▲117,526 | ▲128,942 | ▲141,181 | ▲135,833 |
| e.予実差異(c-d) | | 6,454 | 10,209 | 3,112 | 1,244 | 832 |

＜補足コメント＞

※1　施設利用料について

当施設は利用料金制であり、富山市の施設利用料収入はない。

※2　目的外使用料について

大沢野健康福祉センター及び大沢野老人福祉センターに設置されている自動販売機、冷蔵庫、ゴミ箱、ゲーム機、売店棚、マッサージ機について目的外使用料を徴収している。なお、指定管理者は大沢野健康福祉センターロビーで物販や各種イベント等の自主事業を行っているが、令和2年度以降はそれらについても目的外使用料を徴収している。

※3　委託料（指定管理料、コロナ補助、休館補償）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和2年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を上回っていたため、精算条項に基づく返金は行われていない。

その他、令和2年度は、通常の指定管理料64,429千円に加えてコロナ禍による休館補償21,007千円及び工事休館補償11,330千円（休館期間は4月4日～8月31日）が支出されている。令和3年度は、通常の指定管理料70,232千円に加えてコロナ禍による休館補償15,989千円（休館期間は8月18日～9月26日）が支払われている。これらの補償金は、休館期間中の収支差額と休館期間に対応する令和1年度の収支差額との差引で計算されており、計算根拠資料を確認したが重大な問題は認められなかった。

※4　委託料（その他）について

令和3年度の主な内訳は、「不活性ガス消火設備取替業務委託3,410千円」、「受変電設備高圧機器更新業務委託6,820千円」である。当施設は、建設後20年以上が経過しており設備や機械類が更新時期に来ているため、指定管理者が作成した中長期修繕計画に基づき施設所管課と協議の上、段階的に修繕を行っている。

※5　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、当施設では補助金の対象はプロパー職員分と富山市OB分のみとなっており、嘱託職員分は指定管理料に含めて支払われている。

② 大沢野老人福祉センター

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 4,388 | 4,393 | 4,355 | 1,586 | 1,829 |
| 目的外使用料 | 2 | － | － | － | － | － |
| **a.歳入実績合計** | | **4,388** | **4,393** | **4,355** | **1,586** | **1,829** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 46,430 | 49,504 | 52,482 | 51,820 | 54,790 |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | － | － | － | － | － |
| **b.歳出実績合計** | | **46,430** | **49,504** | **52,482** | **51,820** | **54,790** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲42,042** | **▲45,111** | **▲48,127** | **▲50,234** | **▲52,961** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲41,852** | **▲44,643** | **▲47,812** | **▲47,470** | **▲50,440** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **▲190** | **▲468** | **▲315** | **▲2,764** | **▲2,521** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

施設の入館料（100 円）であり、利用者数の増減により変動する。利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照。

※2　目的外使用料について

施設所管課は、大沢野老人福祉センターに設置されている自動販売機等についても目的外使用料を徴収しているが、それらを大沢野健康福祉センターの目的外使用料に含めて予算・決算処理している。そのため、上表においては目的外使用料が発生していない。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を上回っていたため、精算条項に基づく返金は行われていない。

その他、大沢野老人福祉センターは使用料制であり、コロナ禍による休業補償は支払っていない。

※4　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、当施設では補助金の対象はプロパー職員分と富山市 OB 分のみとなっており、嘱託職員分は指定管理料に含めて支払われている。当施設の専従職員は嘱託職員のみであり、また、当施設と大沢野健康福祉センターを兼務しているプロパー職員及び富山市 OB については、大沢野健康福祉センターで一括して補助金を支払っているため、当施設で

は補助金が計上されていない。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

① 大沢野健康福祉センター

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 43,218 | 57,884 | 67,197 | 64,429 | 70,232 |
| コロナ補助(富山市) | 1 | － | － | － | 21,007 | 15,989 |
| 休館補償(富山市) | 1 | － | － | － | 11,330 | － |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 33,348 | 28,724 | 28,605 | 32,169 | 38,436 |
| 施設利用料収入 | 3 | 120,635 | 119,666 | 122,231 | 37,357 | 87,011 |
| 自主事業収益 | 4 | 7,398 | 7,166 | 7,025 | 2,568 | 2,791 |
| その他の収入 | 5 | 106 | 148 | 175 | 7,464 | 7,260 |
| **a.収入合計** | | **204,705** | **213,588** | **225,233** | **176,324** | **221,719** |
| 人件費 | 6 | 72,885 | 75,667 | 67,687 | 68,626 | 76,648 |
| 光熱水費 | 7 | 47,645 | 51,398 | 49,266 | 24,879 | 38,474 |
| 燃料費 | 8 | 19,219 | 20,942 | 21,057 | 9,201 | 22,030 |
| 消耗品費 | 9 | 11,012 | 10,061 | 8,950 | 10,187 | 11,588 |
| 修繕料 | 10 | 8,211 | 6,314 | 13,412 | 12,608 | 17,316 |
| 委託料 | 11 | 19,415 | 22,073 | 41,451 | 34,372 | 33,518 |
| 使用料賃借料 | | 9,774 | 9,475 | 8,152 | 5,613 | 6,335 |
| その他支出 | | 14,977 | 17,866 | 15,648 | 11,018 | 14,816 |
| **b.支出合計** | | **203,138** | **213,796** | **225,623** | **176,504** | **220,725** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **1,567** | **▲208** | **▲390** | **▲180** | **994** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲74,999** | **▲86,816** | **▲96,192** | **▲129,115** | **▲123,663** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市）、コロナ補助（富山市)、休館補償（富山市）について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入（富山市）について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

なお、当施設では補助金の対象はプロパー職員分と富山市 OB 分のみとなっており、嘱託職員分は指定管理料に含めて受け取っているため、補助金と人件費が一致しない。

※3　施設利用料収入について

当施設は利用料金制であり、施設利用料は指定管理者の収入となっている。施設利用料は利用者数の増減により変動する。利用者数の推移等は、「(1)イ．施設の利用料及び

利用者数の状況」を参照のこと。

※4　自主事業収益について

主な内訳は、自動販売機設置手数料、マッサージチェア利用料、ゲーム機利用料、野菜等の商品販売収入、スポーツ用品の販売委託手数料等である。

令和2年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館及び建物工事による休館（4月4日～8月31日）があり利用者数が大きく減少したため、自主事業収益が減少している。令和3年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（8月18日～9月26日）があったこと等により自主事業収益が減少している。

※5　その他の収入について

令和2年度以降の主な内訳は、「雇用調整助成金等の補助金収入」である。

※6　人件費について

職員の内訳は以下のとおりである。

単位：人

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 富山市OB | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| プロパー職員 | 4 | 4 | 3 | 4 | 5 |
| 嘱託等職員（臨時含む） | 3 | 4 | 5 | 5 | 5 |
| **合計** | **9** | **10** | **10** | **11** | **12** |

令和1年度と令和2年度はプロパー職員が減少していたため人件費が減少している。令和3年度の1人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は6,387千円と高い水準に見えるが、これは、人件費には上記職員以外のパート10名とアルバイト（プール監視員）数名の人件費が含まれているためであり、それらを考慮すると著しく高額である等の問題は認められない。

その他、当施設で本部管理業務を担当しているプロパー職員1名と嘱託職員2名（総務経理業務担当）の人件費は、見積稼働時間に基づき他の指定管理施設（大沢野老人福祉センター、大沢野地域スポーツ施設、大沢野地域都市公園）に配賦している。

※7　光熱水費について

指定管理者は、建物全体の電気料や上下水道料を大沢野健康福祉センターと大沢野老人福祉センターの面積比率（71:29）で按分している。

令和2年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館及び建物工事による休館（4月4日～8月31日）があり発生額が減少している。令和3年度も、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（8月18日～9月26日）があり発生額が減少している。

なお、按分比率の計算資料を査閲したが、老人福祉センターの面積に2階共有スペースが全て含まれており、按分比率が実態と乖離している可能性がある。

※8　燃料費について

指定管理者は、建物全体の重油代等を大沢野健康福祉センターと大沢野老人福祉センターの面積比率（71:29）で按分している。

令和2年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館及び建物工事による休館（4月

4 日～8 月 31 日）があり発生額が減少している。令和 3 年度も、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（8 月 18 日～9 月 26 日）があったが、年度末にかけて重油代が大幅に値上がりしたため減少幅は少なくなっている。なお、按分比率の計算資料を査閲したが、老人福祉センターの面積に 2 階共有スペースが全て含まれており、按分比率が実態と乖離している可能性がある。

※9　消耗品費について

主な内訳は、「機械設備の交換部品の購入代金」である。当施設は、建設後 20 年以上が経過しており設備や機械類が更新時期に来ているため、指定管理者が作成した中長期修繕計画に基づき施設所管課と協議の上、段階的に修繕を行っている。

※10　修繕料について

主な内訳は、「ポンプ交換費用や配管交換費用」等である。当施設は、建設後 20 年以上が経過しており設備や機械類が更新時期に来ているため、指定管理者が作成した中長期修繕計画に基づき施設所管課と協議の上、段階的に修繕を行っている。

※11　委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「㈱ホクタテに対する建物設備等維持管理業務及び清掃業務委託 41,412 千円」である。当該委託料は建物全体に係るものであるため、大沢野健康福祉センターと大沢野老人福祉センターの面積比率（71:29）で按分している。

平成 30 年度以前は、指定管理者の職員が建物設備の維持管理や清掃業務を実施していたが、高齢化や人数減少により対応が困難になったため、令和 1 年度から外部業者に委託している。なお、按分比率の計算資料を査閲したが、老人福祉センターの面積に 2 階共有スペースが全て含まれており、按分比率が実態と乖離している可能性がある。

② 大沢野老人福祉センター

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 46,430 | 49,504 | 52,482 | 51,820 | 54,790 |
| **a.収入合計** | | **46,430** | **49,504** | **52,482** | **51,820** | **54,790** |
| 人件費 | 2 | 11,453 | 12,486 | 9,532 | 9,716 | 9,635 |
| 光熱水費 | 3 | 18,681 | 19,969 | 18,983 | 15,467 | 14,315 |
| 燃料費 | 4 | 7,703 | 8,284 | 7,064 | 7,087 | 8,682 |
| 修繕料 | | 2,983 | 406 | 3,366 | 2,624 | 2,876 |
| 委託料 | 5 | 6,949 | 5,886 | 11,321 | 12,867 | 17,518 |
| その他支出 | | 2,483 | 2,312 | 2,042 | 3,906 | 1,494 |
| **b.支出合計** | | **50,252** | **49,343** | **52,308** | **51,667** | **54,520** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **▲3,822** | **161** | **174** | **153** | **270** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲50,252** | **▲49,343** | **▲52,308** | **▲51,667** | **▲54,520** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　人件費について

職員の内訳は以下のとおりである。

単位：人

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 富山市 OB | － | － | － | － | － |
| プロパー職員 | － | － | － | － | － |
| パート職員 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| **合計** | **4** | **5** | **5** | **5** | **5** |

パート職員 5 人の内訳は、受付担当 1 人とバス運転手 4 人である。当施設は 2～3 人体制で日常業務を行っており、1 人は受付業務等を担当し、1～2 人は巡回バスの運行（月、水、木、金)、地域老人クラブの送迎（予約時のみ)、昼食時間帯の受付業務等を担当している。

令和 2 年度以降はコロナ禍で巡回バスや地域老人クラブの送迎を中止しており、人件費が減少している。令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 1,927 千円であり、パート職員のみであることを勘案すると大きな問題は認められない。

その他、大沢野健康福祉センターで本部管理業務を担当している嘱託職員 2 名（総務経理業務担当）の人件費は、見積稼働時間に基づき他の指定管理施設（当施設、大沢野地域スポーツ施設、大沢野地域都市公園）に配賦している。

※3　光熱水費について

上記「①大沢野健康福祉センター」の「※7 光熱水費について」と同じ内容でありそちらを参照。

※4　燃料費について

上記「①大沢野健康福祉センター」の「※8 燃料費について」と同じ内容でありそちらを参照。

※5　委託料について

上記「①大沢野健康福祉センター」の「※11 委託料について」と同じ内容でありそちらを参照。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

①　監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

大沢野健康福祉センターは、市民の健康増進と福祉向上に資する目的で平成 9 年に開設された。また、大沢野老人福祉センターは、平成 9 年に地域の高齢者の健康増進、教養の向上等のた

めの機会を提供する目的で開設された。これらの施設は一つの建物内に入居しており、実質一体として機能している。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、大沢野健康福祉センターについては、継続を前提としつつ施設機能を段階的に縮小し、長寿命化、提供主体変更、廃止等のあらゆる選択肢を想定している。また、当施設を含む老人福祉センターについては、入浴に必要な機器等の更新は行わず、施設の利用状況や大規模修繕の要否を考慮して適宜施設廃止の判断を行う方針が示されている。

大沢野健康福祉センターは、温泉、温水プール、トレーニングスタジオ、リラクゼーションルーム等を有する大規模レクリエーション施設であり、富山市南部の住民を中心に年間 30 万人以上が訪れている。また、大沢野老人福祉センターは、大沢野健康福祉センターと一体で機能しているため老人福祉センターの中では最大の利用者数を誇っている。

このように、当施設は富山市南部を代表する公共施設としてその存在意義や必要性は十分認められる。一方で、当施設は空き部屋が非常に多くなっており、施設の有効活用の面で課題が見受けられる。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 158【指摘 20】 | 施設の空きスペースの利活用 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |

当施設は温泉やプール、トレーニングジム等を備えた大規模施設であり、コロナ禍前は年間 30 万人以上の利用者数を誇っていた。一方で、当施設は建物の東半分が広大な遊休スペースになっており、利活用に重大な問題を抱えている。特に、当施設の建物は全館空調になっているため、広大な遊休スペースがあると光熱水費や修繕料の費用対効果が大きく低下してしまう。

施設所管課においては、指定管理者と協議の上、これらの遊休スペースを利活用する施策を早急に検討する必要がある。例えば、以下のような施策を検討することが考えられるが、検討にあたっては、施設の設置目的や利用ニーズを踏まえた自由な発想が求められる。また、遊休スペースについて条例で定める用途を変更する場合には条例改正が必要になるため、可及的速やかに検討を開始する必要がある。

- 富山市南部の高齢者向けサービスを充実させるため、施設の設置目的（健康増進による医療費削減）や機能（温泉、温水プール、トレーニングジム、教室スペース、高齢者送迎バス等）が類似しており、かつ市民のニーズや満足度が高い角川介護予防センターの分室を設置する
- 当施設に隣接しており、かつ機能が類似している大沢野高齢者生きがい工房の教室機能を移転する
- 過去にこれらの遊休スペースで行っていたシニアライフ講座や各種文化教室を再開する

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1) ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、大沢野老人福祉センターの施設利用料である。大沢野健康福祉センターは利用料金制を採用しているため、富山市の施設利用料収入は無い。

富山市の主な歳出は、指定管理料、人件費補助金、施設の維持修繕に係る委託料である。指定管理料及び人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。委託料については、建設後 20 年以上が経過しており設備や機械類が更新時期に来ているため、指定管理者が作成した中長期修繕計画に基づき施設所管課と協議の上、段階的に修繕を行っている。なお、富山市は令和 2 年度と令和 3 年度にコロナ禍による休館補償や工事休館補償を支払っているが、これらの補償金は、休館期間中の収支差額と休館期間に対応する過年度の収支差額との差引で計算されており、計算根拠資料を確認した結果重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、外郭団体である（一財）富山市大沢野健康文化推進財団が非公募で指定管理者に選定されている。富山市は、施設の性格や設置目的、市の政策的な方針等に照らし、特定の団体を指定することに合理的理由があると判断し、継続して（一財）富山市大沢野健康文化推進財団を指定管理者に選定している。この点、当施設は、富山市南部を代表する大規模公共施設であり、富山市の旧町村部活性化政策と密接に連携した運営が求められるため、人員や情報の共有が図りやすい外郭団体が運営することには合理性がある。また、指定管理者は、施設運営のノウハウを蓄積しており、重大なクレームやトラブルなく施設を運営できている。

一方で、当施設は利用料金制を採用しているが、同時に指定管理者が外郭団体であるため精算条項が設定されており、利用料金制の導入意義が損なわれていた。また、指定管理料を計算する際に自主事業収支が計算過程に含まれており、自主事業の拡充が阻害されていた。加えて、当施設では、他の外郭団体が管理する指定管理施設と比較すると補助金対象の人件費が限定されているという課題が認められた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 159【指摘 5】 | 利用料金制の施設における精算条項の解除 |

| | |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 指定管理者制度の効果的、効率的な運用を阻害する影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 5）を識別している。 |
| 当施設は利用料金制が導入されているが、同時に指定管理者が外郭団体であるため指定管理料の精算条項が設定されていた。指定管理料の精算条項が設定されていた。利用料金制を導入した場合、指定管理者は施設の収支差額を事業計画より改善することで利益を得られるため、収支改善のモチベーションが生まれる。一方で、精算条項が設定されていると、当該利益を富山市に返金することになるため、利用料金制を導入する意味が無くなってしまう。<br>施設所管課においては、当施設で利用料金制を導入するのであれば、基本協定書を変更して精算条項を解除する必要がある。 | |
| 160【指摘 21】 | 指定管理料計算過程からの自主事業収支の除外 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 一般的に、利用料金制の施設では施設利用料と施設管理費の差額として指定管理料を算定するが、当施設では、これに自主事業収支差額を加えて指定管理料を算定している。その結果、指定管理者が自主事業で利益を計上してもその分指定管理料が削減されることになり、指定管理者の自主事業拡充の意欲を削いでしまっている。自主事業の拡充は、市民サービスの向上、施設の有効利用、指定管理者（外郭団体）の経営基盤安定等の観点で非常に重要である。<br>施設所管課においては、他の利用料金制の指定管理施設と同様に自主事業収支を指定管理料の計算過程から除外する必要がある。 | |
| 161【指摘 6】 | 人件費補助金の交付対象の見直し |
| 全般的運用状況 | 富山市や指定管理者に多大な財政負担を生じさせる発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 6）を識別している。 |
| 富山市は、外郭団体が指定管理者である場合に、指定管理業務に係る職員人件費を補助金で支払っている。一方で、当施設では、平成 26 年度に本庁所管課と協議した結果、人件費補助金の対象者がプロパー職員と富山市 OB のみとなっており、それ以外の職員の人件費は指定管理料に含めて支払われていた。人件費相当を指定管理料で支払った場合、指定管理者に消費税負担が生じてしまう。<br>施設所管課においては、外郭団体が管理する他の指定管理施設と同様に、指定管理業務に係る職員人件費を補助金で支払う必要がある。 | |
| 162【意見 3】 | 基本協定書への利用料徴収業務の記載漏れ |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する意見（意見 3）を識別している。 |
| 基本協定書を査閲した結果、管理業務の範囲（第 3 条）が参照する設置条例の条項や管理業 | |

| |
|---|
| 務仕様書に「利用料の徴収に関する業務」が記載されていなかった。なお、条例では「上記の他、管理に関して市長が必要と認める業務」の記載があるが、利用料の徴収は指定管理業務の重要要素であり基本協定書に明記すべきと考える。<br>施設所管課においては、基本協定書を更改する際に、管理業務として「利用料の徴収に関する業務」を記載することが望まれる。 |

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料及び人件費補助金、施設利用料、自主事業収益である。施設利用料や自主事業収入については、コロナ禍等による休館等により減少していたが、足元では行動自粛の反動でビジター会員の利用が増加しており回復傾向が認められる。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費、燃料費、委託料である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費及び燃料費については、大規模施設であり照明や空調に係る電気料（高圧契約）と重油代が相応に発生しているが、何れも現状の開館期間や開館時間を前提とすると重大な問題は認められなかった。委託料の大部分は、建物設備等維持管理業務及び清掃業務委託である。これについては、施設の規模や指定管理者の人員体制を考えると外部委託は必要であり、その業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。

一方で、当施設は、建物の東半分に条例で利用料金が設定されている部屋が多数存在するが、指定管理者はそれらのスペースについて利用者数を集計・報告していなかった。また、他の温泉入浴施設と比較した場合、当施設の運営経費に削減余地が認められた。加えて、建物共通経費（光熱水費や修繕料等）を大沢野健康福祉センターと大沢野老人福祉センターに区分する際の按分比率に実態相違が認められた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 163【指摘 8】 | 利用状況の報告漏れ |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 8）を識別している。 |
| 当施設の東半分には条例で利用料金が設定されている部屋が多数存在するが、指定管理者はそれらについて利用者数を集計・報告していなかった。これらの部屋は長期間利用されておらず、その利活用に重大な課題を抱えている。施設所管課が指定管理業務の成果を評価するとともに、指定管理者と同じ目線で施設の利用促進策を検討するためには、指定管理者から正確な利用状況情報を入手する必要がある。 | |

| | |
|---|---|
| 施設所管課においては、指定管理者に対して条例で利用料金が設定されている部屋の利用者数を報告するよう指導する必要がある。 | |
| 164【意見 61】 | 運営経費の削減施策の検討 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 指定管理者は、当施設の経費削減のため様々な経営努力を行っているが、他の温泉入浴施設での取り組み等と比較した場合、以下のような点で経費削減の可能性が識別された。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、これらの経費削減策の実現可能性を検討し、効果が認められるものは積極的に導入支援を行っていくことが望まれる。<br>● サウナマットのウレタンマットへの変更（クリーニング代の削減。楽今日館で導入済み）<br>● ESCO 事業の導入（省エネ改修や光熱水費の削減など。富山市では導入事例無し）<br>● インバーターを活用したモーター回転速度の制御（電気料の削減。角川介護予防センターで導入済み） | |
| 165【指摘 9】 | 共通経費の施設別按分比率の見直し |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |
| 指定管理者は、建物に係る共通経費（光熱水費、燃料費、修繕料等）を大沢野健康福祉センターと大沢野老人福祉センターの面積比率（71:29）で按分している。一方で、施設の図面等を確認した結果、建物の 2 階共有部分が大沢野老人福祉センターの面積に含まれていた。指定管理業務収支を施設毎に正確に計算しないと、施設の存在意義や指定管理料の妥当性を判断できなくなってしまう。<br>施設所管課においては、共通経費の按分比率を実態に即したものに変更するよう指定管理者に指導する必要がある。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象とされている。当該包括外部監査における発見事項（備品管理以外）に対する施設所管課の措置回答状況及びそれに対する監査手続実施結果は以下のとおりである。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 【指摘】業務委託の契約方法（競争見積り）について | |
| 過去の発見事項（要約） | 指定管理者は、冷温水発生機保守点検委託業務について、平成 21 年に競争見積りを実施し期間 1 年で委託した後、平成 22 年度は前年度の発注業者に同額で委託している。毎年競争見積りすることが不適切であれば、発注期間の見直しを検討する必要がある。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 平成 23 年度からは毎年競争見積りを行い、透明性及び競争性を高め適正なコストの削減に努めていく。 |
| 措置回答に関する | 施設所管課及び指定管理者に確認した結果、「平成 23 年度以降は毎年 |

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| 監査人の検討結果 | 競争見積りを実施している。なお、今後は指定期間に合わせて複数年契約を前提とした競争見積りを検討していく」との回答を得た。そのため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |
| 【指摘】個人情報の DB へのアクセス権限について | |
| 過去の発見事項（要約） | 会員台帳を管理している PC には ID とパスワードが設定されていない。ID とパスワードによりアクセスを制限すべきである。 |
| 富山市の措置回答（要約） | 平成 25 年 4 月から、会員台帳を管理している入館者管理システムにアクセスする際に、ID とパスワードによるアクセスの制限を設けた。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 指定管理者に確認した結果、「上記の通り ID とパスワード管理を実施している」との回答を得た。現場視察等を実施した結果、上記回答のとおり運用されていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |

## ３４． 八尾 B&G 海洋センタープール、八尾ゆめの森テニスコート

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>八尾 B&G 海洋センタープール：　富山市八尾町福島 181 番<br>（以下、B&G プールという）<br>八尾ゆめの森テニスコート：　富山市八尾町下笹原 508 番<br>（以下、ゆめの森テニスコートという）</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>スポーツ健康課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市スポーツ施設条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>市民のスポーツ振興を図り、市民の健康増進に寄与する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積（㎡）</th><th>建設費（千円）</th></tr>
<tr><td>プール</td><td>H8</td><td>47</td><td>22</td><td>1,592.66</td><td rowspan="2">469,930</td></tr>
<tr><td>多目的ホール</td><td>R2</td><td>47</td><td>46</td><td>84.39</td></tr>
<tr><td>テニスコート</td><td>H10</td><td>34</td><td>11</td><td>435.00</td><td>90,370</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>開館期間</td><td>休館日：　B&G プール：　12 月 29 日～1 月 3 日<br>ゆめの森テニスコート：　月曜日、12 月 1 日～3 月 31 日<br>開館時間：　B&G プール：　10:00～21:00<br>ゆめの森テニスコート：　13:00～21:00。土曜日は 9:00～21:00。日曜祝日は 9:00～17:00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「スポーツ施設」については、「A.市内全域を対象として大規模なスポーツ大会やイベント等が実施できる施設」、「B.複数地域を対象としてスポーツ大会が実施できる施設」、「C.地域を対象としてサークルスポーツ活動が実施できる施設」の 3 層構造に再編するとともに、A と B は引き続き市所有として存続させ、C は老朽化に合わせて利用状況や安全性、地域性等を踏まえそのあり方の見直しを行う。その中で、利用率の低い施設は改善を行いつつ、将来に渡って改善が見込まれないことが予想される施設については、廃止・統合を行う。また、民間が代替できる施設や機能については、原則廃止することとし、施設については民間へ譲渡する。<br>その他、市が所有する施設については「市有拠点スポーツ施設長寿命化基本計画」を踏まえ、計画的に適正な維持管理を行う「予防保全」を推進するとともに、利用者の利便性向上に向け、予約方法や利用料金等の運営体制の見直しについて検討を行う。</td></tr>
<tr><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | 当施設のうち、ゆめの森テニスコートはアクションプランの対象となっており、機能維持の方針は「継続」となっている。また、機能の提供形態は「維持」が検討されており、整備手法は「修繕」、「長寿命化(大規模修繕)」が検討されている。その他、補足説明で「市の中核施設につき長寿命化を図る」とのコメントがある。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | スポーツマックス・三幸共同企業体（㈱スポーツマックスを代表企業とし、三幸㈱を構成員とする共同企業体）<br>所在地：　愛知県名古屋市緑区池上台二丁目 37 番地 1<br>代表者：　兵藤　大二郎<br>事業概要：　八尾B&G海洋センタープール及び八尾ゆめの森テニスコートの指定管理業務<br>富山市との関係：　特記事項無し |
| 指定管理業務の概要 | ● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 利用料金の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務 |
| 指定期間 | 5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度） |
| 指定管理料 | 各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）<br>単位：千円 |

| | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料 | 55,027 | 54,718 | 54,410 | 54,101 | 53,792 |

| | |
|---|---|
| 選定方法 | 公募（応募者数 3 者） |
| 利用料の帰属 | 指定管理者（利用料金制） |
| 施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係 | ● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。<br>単位：千円 |

| R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|---|---|---|---|---|
| 2,500 | 2,500 | 2,500 | 2,500 | 2,500 |

| | |
|---|---|
| 精算条項 | 有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する） |
| 自主事業提案 | 指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。 |

| 事業名 | 事業の概要 | 参加者数・収支等 |
|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| | スポーツ教室 | 水泳、キッズダンス等の 6 種類の教室(3 カ月コース)を年 4 回開催 | 年間 860 人程度が参加し 26,183 千円程度の支出を見込む |
| 収益向上提案 | 指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>● 自主事業の参加費から人件費・利用料・消耗品等を差し引いた利益 5,000 千円を指定管理料から減額している。<br>● 利用料金は平成 30 年度実績より毎年 2%増加し、令和 7 年度には 10%増を見込む。これにより、最終の令和 7 年度に 1,544 千円の委託料を削減している。 | | |

イ．施設の利用料及び利用者数の状況

単位：人

| 種別 | 条例に定める利用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| B&G プール | ＜個人＞<br>大人 2 時間 340 円<br>小人 2 時間 230 円<br>未就学児 2 時間 110 円<br>＜期間利用＞ 単位：円<br>1 ヶ月 / 3 カ月<br>大人 4,040 / 10,750<br>小人 2,690 / 7,170<br>未就学児 1,340 / 3,590<br>＜大会等＞<br>入場無料　使用時間により 9,420 円～<br>入場有料　使用時間により 23,530 円～ | 1 | 76,553 | 74,771 | 58,704 | 52,711 | 53,085 |
| ゆめの森テニスコート | ＜個人利用＞<br>大人 1 時間 450 円<br>小人 1 時間 230 円 | 2 | 9,647 | 8,274 | 8,668 | 5,357 | 6,461 |
| | ＜会議室＞<br>1 室 1 回につき 570 円 | 3 | ※3 | ※3 | ※3 | ※3 | ※3 |

＜補足コメント＞

※1　B&G プールの利用者数について

当施設は八尾地域の室内温水プールであり、利用者は主に近隣住民となっている。

当施設の利用者は一般利用とスクール・イベント利用に分かれており年間では 5:5～6:4 程度の比率となっている。一般利用は夏季に増加し冬季に減少する傾向があり、冬季は 1 日 50 人程度の利用に留まる。一方で、スイミングスクールは年間を通じて安定的な利用が見込める。指定管理者は、当施設の認知度を向上させ一般利用を増やすため各種イベントを強化している。

令和 1 年度は、建物大規模改修工事による休館（12 月 16 日～3 月 31 日）があり利用

者数が減少している。令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（令和 2 年 4 月 16 日～5 月 19 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 26 日）等があり利用者数が減少している。令和 4 年度は、コロナ禍で引き続きスクールの回数が減少しており利用者数は 50,000 人前後になる見込みである。

※2　ゆめの森テニスコートの利用者数について

当施設は人工芝 12 面で観客席もある大規模テニスコートであり、主にテニスの大会や高校・大学の合宿等で利用されている。富山市南部には同規模のテニスコートは無く、当施設の利用状況はテニス大会の開催状況に左右させれる。なお、当施設は中山間地にあるため 12～3 月は休館している。

令和 2 年度は、コロナ禍で大会や合宿が軒並みキャンセルされ利用者数が減少したが、令和 3 年度は大会等が徐々に再開され利用者数が回復している。

※3　ゆめの森テニスコート会議室の利用者数について

主にテニス大会の準備や大会開催時の事務室として利用されている。指定管理者は従来から会議室の利用者数を集計していない。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設利用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | 30 | 26 | 28 | 29 | 26 |
| **a.歳入実績合計** | | **30** | **26** | **28** | **29** | **26** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 14,152 | 11,194 | 11,194 | 11,194 | 55,027 |
| 委託料（その他） | | － | － | 6,787 | － | － |
| 補助金（指定管理運営） | 4 | 54,961 | 55,394 | 55,704 | 56,124 | － |
| 旅費 | | － | 29 | － | － | － |
| 工事請負費 | 5 | － | － | 22,839 | 22,800 | － |
| **b.歳出実績合計** | | **69,113** | **66,617** | **96,524** | **90,118** | **55,027** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲69,082** | **▲66,591** | **▲96,496** | **▲90,088** | **▲55,000** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲69,082** | **▲66,591** | **▲66,926** | **▲67,288** | **▲55,000** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **－** | **0** | **▲29,570** | **▲22,800** | **－** |

＜補足コメント＞

※1　施設利用料について

当施設は利用料金制であり、富山市の施設利用料収入はない。

※2　目的外使用料について

令和 3 年度の主な内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料 26 千円」である。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、令和 2 年度までは指定管理者が㈱八尾サービス（外郭団体）であったため、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められていた。令和 2 年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を上回っていたため、精算条項に基づく返金は行われていない。

令和 3 年度は、指定管理者が㈱八尾サービス（外郭団体）からスポーツマックス・三幸共同企業体（民間）に交代になり、従来補助金で支払われていた指定管理業務に係る人件費相当を指定管理料に含めて支払うことになったため、指定管理料が増加している。なお、指定管理料と補助金を合計した金額で比較した場合、令和 2 年度以前よりも富山市の歳出負担は大きく減少している。

※4　補助金（指定管理運営）について

令和 2 年度までは指定管理者が㈱八尾サービス（外郭団体）であったため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で支払っている。なお、当該補助金は実際の職員人件費と整合するよう毎年度末に精算されている。

令和 3 年度は、指定管理者が㈱八尾サービス（外郭団体）からスポーツマックス・三幸共同企業体（民間）に交代になり、従来補助金で支払われていた指定管理業務に係る人件費相当を指定管理料に含めて支払うことになったため、補助金が発生しなくなっている。

※5　工事請負費について

令和 1 年度及び令和 2 年度の主な内訳は、「八尾 B&G 海洋センター大規模改修工事」である。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 14,152 | 11,194 | 11,194 | 11,194 | 55,027 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 54,961 | 55,394 | 55,704 | 56,124 | - |
| 施設利用料収入 | 3 | 15,885 | 15,436 | 12,192 | 10,603 | 11,540 |
| その他収入 | | 556 | 549 | 639 | 244 | 1,294 |
| **a.収入合計** | | **85,555** | **82,574** | **79,729** | **78,165** | **67,862** |
| 人件費 | 4 | 54,961 | 55,394 | 55,704 | 56,124 | 34,395 |
| 燃料費 | 5 | 6,790 | 6,421 | 3,582 | 4,583 | 8,477 |
| 光熱水費 | 6 | 8,371 | 9,177 | 7,390 | 6,980 | 9,091 |
| 修繕料 | | 7,418 | 1,432 | 1,058 | 4,607 | 973 |
| 委託料 | | 2,823 | 2,860 | 2,829 | 2,576 | 2,544 |
| その他の支出 | 7 | 8,131 | 6,641 | 6,058 | 7,052 | 15,362 |
| **b.支出合計** | | **88,494** | **81,925** | **76,621** | **81,922** | **70,842** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **▲2,939** | **649** | **3,108** | **▲3,757** | **▲2,980** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲72,053** | **▲65,940** | **▲63,790** | **▲71,075** | **▲58,007** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

令和 2 年度までは指定管理者が㈱八尾サービス（外郭団体）であったため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費を指定管理料ではなく補助金で受け取っていた。

令和 3 年度は、指定管理者が㈱八尾サービス（外郭団体）からスポーツマックス・三幸共同企業体（民間）に交代になり、従来補助金で支払われていた指定管理業務に係る人件費相当を指定管理料に含めて支払うことになったため、補助金が発生しなくなっている。

※3　施設利用料収入について

当施設は利用料金制であり、施設利用料は指定管理者の収入となっている。施設利用料は利用者数の増減により変動する。利用者数の推移等は、「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

なお、指定管理者は、施設利用料収入として「一般利用者の施設利用料金」と「自主事業入館者の施設利用料金相当額」を計上しており、それ以外の自主事業収益（スクール受講料等から施設利用料金相当額を控除した残額）は報告書に計上していない。

※4　人件費について

当施設で勤務しているプロパー常勤職員 4 人（3 人は事務業務に加えてインストラクターと兼務、1 名はシフトづくりや機械整備等の事務業務)、アルバイト 33 人（プール監視員 19 人、水泳指導員 7 人、インストラクター7 人）の人件費である。

なお、指定管理者は、当施設に本社管理費を配賦していない。

指定管理者は入水表等をもとに人件費を指定管理業務と自主事業に区分しており、指定管理報告書に記載された人件費は指定管理業務に係るもののみとなっている。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 929 千円であり、大部分がアルバイトであることを勘案すると大きな問題は認められない。

※5　燃料費について

温水プールの加温と館内暖房のために灯油を使用している。6,000ℓ のタンクを使用しているため給油の時期によって発生額が変動する。夏場はプールを加温せず燃料費の削減を図っている。

令和 1 年度は、建物改修による休館（12 月 16 日～3 月 31 日）があり発生額が減少している。令和 2 年度以降は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（令和 2 年 4 月 16 日～5 月 19 日、令和 3 年 8 月 18 日～9 月 26 日）等があり発生額が減少している。

※6　光熱水費について

令和 3 年度の主な内訳は、「電気料（高圧契約）7,343 千円」である。プールは LED ではなく水銀灯であるため発生額が高額になっている。テニスコートは、事務所部分は家庭用契約であり、コートの照明のみが高圧契約となっている。

令和 1 年度は、建物大規模改修工事による休館（12 月 16 日～3 月 31 日）があり発生額が減少している。令和 2 年度は、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（4 月 16 日～5 月 19 日）等があり発生額が減少している。令和 3 年度も、コロナ禍による富山市の施設の一斉休館（8 月 18 日～9 月 26 日）等があったが、電気料単価の上昇等があり発生額が増加している。

※7　その他の支出について

指定管理者は令和 3 年度から指定管理業務を行っているが、初年度は業務の引継ぎや安定化に時間がかかり、旅費（本社からの出張）、消耗品費（職員ユニフォーム等）、原材料費（物販商品）等が予算よりも多く発生したため、発生額が多くなっている。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

B&G プールは、公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（以下、B&G 財団という）が建設した海洋センタープールを平成 8 年に旧八尾町が無償取得したものである。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、B&G プールについては、個別具体的な方針は示されていない。

海洋センタープールは、B&G 財団が競艇の「特別協賛競走」と「特別競走」の収益金を財源として昭和 51 年から平成 12 年までに全国各地に建設された。B&G 財団は、自治体からの申請を受けて現地調査や諮問委員会などを行ったうえで建設地を選定しており、建設から 3 年後に施設を自治体に無償譲渡し、その後の運営は自治体が行っている。なお、海洋センタープールを運営するためには B&G 財団が認定するアクアインストラクターを 1～2 人配置する必要がある。アクアインストラクターはプール指導員に類似した知見を求められており、年 1 回 B&G 財団が主催する指導員研修会に参加する必要がある。また、B&G 財団は施設目的に即したイベント等の実施を求めており、当該イベントの実施回数、施設の利用者数、研修参加回数等に応じて各施設を特 A～C にランク付けし、ランクに応じて補助金を交付している。B&G プールは、後述の理由での利用者数が全国の海洋センタープールの中で上位 10 位以内に入るほど多くなっており、過去から継続して特 A ランクを維持している。

B&G プールは富山市南部の代表的な屋内プールである。なお、令和 2 年度までは選手育成等を目的とした地元のスイミングスクール（YBG 水泳教室）の利用が非常に多かったが、それにより一般市民の利用が妨げられている側面があった。そのため、令和 3 年度の指定管理者交代を期にスイミングスクールの利用を減らし、一般利用を増やす方針に転換している。具体的には、令和 2 年度以前は 3 カ月で 11 回のスクールを年 4 回開催していたが、指定管理者は民間のスイミングスクールの会員システムを導入し、1 回入会するといつでも使用可能な形に変更した。また、令和 2 年度以前は、YBG 水泳教室が選手育成コース（20 人）で週 4～5 回、朝練、夜練を実施し

ており一般利用が制限されていたが、令和 3 年度以降は B&G プール以外でも練習をしてもらうことにした。これによりコースの空き時間が増えたため、当該時間を使って着衣泳、大人の水球、サップヨガ等の新しい教室を開催したり、クリスマスや創立記念日に新しいイベントを実施したりして利用者のすそ野拡大を図っている。

利用者数は、令和 1 年度の大規模改修や令和 2 年度以降のコロナ禍による一斉休館等により減少傾向にある。足元でも、令和 3 年 3 月まで 11 回開催していたスイミングスクールを令和 3 年 10 月から 9 回に減らしているため減少傾向は続いており、令和 4 年度の利用者数は 50,000 人前後になる見込みである。一方で、新たな自主事業による集客は順調であり、今後は利用者数の反転増加が見込まれる。また、令和 4 年度も B&G 財団の特 A ランクを維持できる見込みである。

B&G プールの休館日は年末年始のみであり、開館時間は 10 時～21 時となっている。冬季は夜館や日曜日の利用者が少なくなる傾向にある。

ゆめの森テニスコートは、人工芝 12 面で観客席もある大規模テニスコートである。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、ゆめの森テニスコートについては、市の中核施設につき長寿命化を図る方針が示されている。

富山市南部には同規模のテニスコートは無く、主にテニスの大会や高校・大学の合宿等で利用されている。令和 2 年度は、コロナ禍で大会や合宿が軒並みキャンセルされ利用者数が減少したが、令和 3 年度は大会等が徐々に再開され利用者数が回復している。

ゆめの森テニスコートは、積雪で利用できない 12～3 月、それ以外の期間の月曜日、おわら風の盆が開催される 3 日間は休館している。開館時間は平日 13 時～21 時、土曜日 9 時～21 時、日曜祝日 9 時～17 時となっている。

このように、両施設は富山市南部の代表的なプール及びテニスコートであり、近隣に代替施設がなく、相応の利用者数が確保されているため、その存在意義は十分に認められる。一方で、施設の利用状況を勘案すると休館日の設定や開館時間に課題が見受けられた。また、当施設は老朽化が進んでおり、施設の修繕の面で課題が見受けられた。加えて、ゆめの森テニスコートの会議室については利用者数の報告が行われていなかった。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 166【指摘 11】 | 休館日や開館時間の見直し |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| B&G プールの休館日は条例で年末年始のみとされているが、冬季の夜間や日曜日は利用者が少なくなる傾向にある。この点、利用者数が極端に少ない日や時間帯に施設を開館した場合、市民サービスに比して過大な人件費や光熱水費が発生する可能性がある。<br>施設所管課においては、現在の利用実態を調査、分析し、住民サービスと財政負担とのバランスや条例改正と市民への周知に要する期間等を十分に検討したうえで、施設の開館日や開館時間を利用実態に即した形に見直す必要がある。例えば、当施設は冬季の夜間や日曜日の利用が少ないため、冬季に休館日を設けたり開館時間を見直したりすることが考えらえる。この点、八尾ゆめの森テニスコートや富山市パークゴルフ場は季節や曜日によって休業日や開業時間 | |

| | |
|---|---|
| を弾力的に運用しており、芸術創造センターや牛岳温泉健康センターはメンテナンス休館日を積極的に活用しているため、参考にされたい。また、B&G プールの休館日（12 月 29 日～1 月 3 日）は旧富山市の他のスポーツ施設の休館日（12 月 28 日～1 月 4 日）と相違しているため、統一することが考えられる。 | |
| 167【意見 62】 | 施設機能を維持するための適切な更新投資 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、プールの照明に水銀灯を使用しているが、昨今は水銀灯が製造されなくなってきており、交換や修繕が難しくなっている。プールの照明に大規模な不具合が生じた場合、施設利用に大きな影響を及ぼす可能性がある。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、LED 化を検討することが望まれる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、目的外使用料である。当施設は利用料金制を採用しているため、富山市の施設利用料収入は無い。なお、当施設の主な利用料減免は障害者減免や高齢者減免など一般的なものである。

富山市の主な歳出は、指定管理料である。指定管理料は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っており、応募者数 3 者の中からスポーツマックス・三幸共同企業体（㈱スポーツマックスを代表企業とし三幸㈱を構成員とする共同企業体）が指定管理者に選定されている。㈱スポーツマックスは、日本初のオリンピック女子金メダリストである前畑秀子の子息が愛知県に設立した会社であり、プール等の指定管理業務やスポーツ施設へのコーチ派遣等を本業としている。従来は中京圏を中心に活動していたが、業容拡大のため当施設の指定管理に応募した。三幸㈱は、全国規模で総合ビルメンテナンスを営んでおり、豊富なノウハウや人員体制により安定的に施設の維持管理を行っている。三幸㈱は、名古屋市の指定管理業

務で㈱スポーツマックスと共同企業体を組成したことをきっかけとして、共同で指定管理提案を行うようになった。三幸㈱は富山市民プールでも他社と共同企業体を組成して指定管理業務を請け負っている。

なお、指定管理候補者選定審査資料を査閲したが、指定管理者は他の応募者と比較して自主事業の多様性や提案金額の面で強みが認められた。また、指定管理者は、他の指定管理業務で蓄積したノウハウを生かして事務の堅確化や利用者のすそ野拡大など、富山市の求める施策を着実に実行している。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。なお、富山市は、外郭団体を指定管理者とする場合、原則として基本協定書に指定管理料の精算条項を設定しているが、当施設については指定管理者が外郭団体でないにも関わらず精算条項が設定されていた。これについては、包括外部監査の前に施設所管課が設定誤りに気付き令和 4 年度中に基本協定書を修正しているため、発見事項とはしないこととする。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ. 指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ. 指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料、施設利用料である。施設利用料は利用者数に連動するが、足元ではスイミングスクールの回数減少等により利用者数が減少している。なお、指定管理者は当施設を使用して自主事業（スイミングスクール等）を実施しており、参加者から参加料を徴収するとともに、富山市に施設利用料を納付している。指定管理者の交代に伴ってスイミングスクールの会員数が 700 人台から 600 人前後に減少しているが、受講料が上昇しているため自主事業収益は好調に推移している。その他、指定管理者は、年度報告書の自主事業収支として自動販売機収支と物販収支のみを計上しており、スイミングスクールや各種イベントの収支を含めていない。

指定管理者の主な支出は、人件費、燃料費及び光熱水費である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。燃料費及び光熱水費については、プールの照明に係る電気料（高圧契約）と空調や加温に使われる灯油代が相応に発生しているが、何れも現状の開館期間や開館時間を前提とすると重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 168【指摘 7】 | 自主事業収支の網羅的な報告 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的 |

| | |
|---|---|
| | 運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 7）を識別している。 |
| 指定管理者は、年度報告書に自主事業収支を記載しているが、当該収支には自動販売機収支と物販収支しか計上しておらず、スイミングスクールや各種イベントに係る収支が報告されていない。自主事業の実施結果は指定管理業務の成果（市民サービスや施設の有効利用の向上）を評価するうえで重要な判断材料になる。<br>施設所管課においては、年度報告書で自主事業収支を区分報告するよう指定管理者に指導する必要がある。 | |
| 169【指摘 8】 | ゆめの森テニスコート会議室の利用状況の報告漏れ |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 8）を識別している。 |
| 条例では、ゆめの森テニスコート会議室に利用料金が設定されているが、指定管理者はその利用者数を集計・報告していなかった。施設所管課が指定管理業務の成果を評価するとともに、指定管理者と同じ目線で施設の利用促進策を検討するためには、指定管理者から正確な利用状況情報を入手する必要がある。<br>施設所管課においては、指定管理者に対して条例で利用料金が設定されているスペースの利用者数を報告するよう指導する必要がある。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象とされている。当該包括外部監査における発見事項（備品管理以外）に対する施設所管課の措置回答状況及びそれに対する監査手続実施結果は以下のとおりである。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 【指摘】個人情報の DB へのアクセス権限について | |
| 過去の発見事項（要約） | B&G プールで個人情報を保管している PC にログインパスワードがなく、アクセス制限が行われていない |
| 富山市の措置回答（要約） | 平成 24 年 9 月に職員のパスワードによるログイン方式に改めた。 |
| 措置回答に関する監査人の検討結果 | 施設所管課及び指定管理者に確認した結果、「個人情報は当施設の専用 PC にのみ保管されており、ログイン ID とパスワードで管理されている。紙の個人情報は鍵付き BOX で管理している」との回答を得た。現場視察等を実施した結果、上記回答のとおり運用されていたため、当該発見事項については改善済みと判断する。 |

## ３５．まちなか賑わい広場

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 富山市総曲輪 3 丁目 8 番 39 号 |
| 所管部署 | 中心市街地活性化推進課<br>（令和 4 年度組織改正により報告日現在の所管部署はまちづくり推進課である） |
| 関連条例等 | 富山市まちなか賑わい広場等条例及び同条例施行規則 |
| 条例に定める施設の目的 | 中心市街地において、市民の交流を促進し、賑わいを創出する |
| 施設の主な建物の概要 | <table><tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積（㎡）</th><th>建設費（千円）</th></tr><tr><td>まちなか賑わい広場</td><td>H19</td><td>38</td><td>24</td><td>1,552.27</td><td>1,287,804</td></tr></table> |
| 営業期間 | 休業日：　広場であり常時利用可能<br>開業時間：　広場であり常時利用可能だが、専用は 10:00～22:00 |
| 公共施設マネジメント方針 | ＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>まちなか賑わい広場については、市中心部の賑わい創出の拠点の一つとして運営していく。<br>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | ㈱富山市民プラザ<br>所在地：　富山市大手町 6 番 14 号<br>代表者：　京田　憲明<br>事業概要：　店舗、事務所その他施設の賃貸、公共施設の管理運営受託、駐車場の経営、富山市中心市街地の活性化に関する事業、食料品等の販売、コミュニティバスの運行等<br>富山市との関係：　外郭団体 |
| 指定管理業務の概要 | ● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 中心市街地の賑わい創出に関する業務<br>● 市民の交流を促進し、賑わいを創出するために必要な業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務 |
| 指定期間 | 5 年間（令和 2 年度～令和 6 年度） |
| 指定管理料 | 各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 1 年度締結の基本協定書） |

<table>
<tr><td></td><td>単位：千円<br><table><tr><th></th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>指定管理料</td><td>7,230</td><td>7,230</td><td>7,230</td><td>7,230</td><td>7,230</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>非公募（富山市の主要施策を推進する中核的施設であり、富山市と指定管理者が密接に連携しながら事業の実施と施設の管理運営を一体的に行う必要があるため）</td></tr>
<tr><td>利用料の帰属</td><td>指定管理者（利用料金制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費が 1 件 500 千円未満の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。</td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>有り（指定期間の各年度に要した施設管理費の合計額が、指定期間の各年度分として支払った指定管理料の合計額を下回った場合は、指定管理者はその差額を富山市に返還する）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。<br><table><tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr><tr><td>超絶！ザ・SUGOWAZA SHOW</td><td>親子連れをターゲットとしてパフォーマーによる大道芸等を実施する</td><td>年 5 回開催。参加者は 1 回 700 人程度。総事業費 6,000 千円程度</td></tr><tr><td>富山こすぷれフェスタ</td><td>コスプレやアニメ等のカルチャー好きな方を対象にコスプレの祭典を開催する</td><td>年 1 回開催。参加者は 2,500 人程度。収入 4,500 千円、事業費 11,000 千円程度</td></tr><tr><td>ハロウィンナイト</td><td>ハロウィンワークショップの開催、仮装体験、フォトロケーションの設置等を行う</td><td>年 1 回開催。参加者は 3,000 人程度。収入 200 千円、事業費 6,000 千円程度</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「該当無し」となっている。</td></tr>
</table>

イ．施設の利用料及び利用者数の状況

上段：稼働率（稼働日数÷利用可能日数）

下段：貸出率（貸出日数÷利用可能日数）

<table>
<tr><th>種別</th><th>条例に定める利用料上限</th><th>※</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr>
<tr><td>まちなか賑わい広場</td><td>＜興行・募金・物販等＞　単位：円<br><table><tr><th></th><th>10-14 時</th><th>14-18 時</th><th>18-22 時</th><th>10-22 時</th></tr><tr><td>平日</td><td>1,320</td><td>1,650</td><td>1,650</td><td>3,300</td></tr><tr><td>休日</td><td>2,200</td><td>2,750</td><td>2,750</td><td>5,500</td></tr></table>＜全面専用使用＞　単位：円<br><table><tr><th></th><th>10-14 時</th><th>14-18 時</th><th>18-22 時</th><th>10-22 時</th></tr><tr><td>平日</td><td>57,200</td><td>71,500</td><td>71,500</td><td>143,000</td></tr><tr><td>休日</td><td>88,000</td><td>110,000</td><td>110,000</td><td>220,000</td></tr></table></td><td>1</td><td>87.4%<br>35.9%</td><td>92.9%<br>35.9%</td><td>86.9%<br>36.3%</td><td>34.7%<br>13.0%</td><td>52.7%<br>26.3%</td></tr>
</table>

| 種別 | 条例に定める利用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

＜1/2 専用使用＞　　単位：円

| | 10-14 時 | 14-18 時 | 18-22 時 | 10-22 時 |
|---|---|---|---|---|
| 平日 | 39,600 | 49,500 | 49,500 | 99,000 |
| 休日 | 61,600 | 77,000 | 77,000 | 154,000 |

＜1/5 専用使用＞　　単位：円

| | 10-14 時 | 14-18 時 | 18-22 時 | 10-22 時 |
|---|---|---|---|---|
| 平日 | 17,600 | 22,000 | 22,000 | 44,000 |
| 休日 | 26,400 | 33,000 | 33,000 | 66,000 |

＜補足コメント＞

※1　稼働率等の推移について

当施設は駐車場と百貨店の間にある広場であり、通常は自由に通行や休憩ができるが、各種イベントで独占的に使用（貸出）する場合は利用料が発生する。上表のうち貸出率は、当施設を貸し出して利用料を受け取った日の比率であり、稼働率は、それに加えて指定管理者が自主的に賑わい創出イベントを実施した日の比率である。当施設は、土日は貸し出しでほぼ埋まっているが、平日は余裕があるため指定管理者が施設利用料無料で賑わい創出イベントを主催している。

令和 2 年度以前は、冬季以外の 9 時から 17 時まで子供向けの積み木広場を設置していたため稼働率が高くなっている。令和 2 年度以降は、コロナ禍を受けて子供向けの積み木広場を中止したため稼働率が低くなっている。足元では、コロナ禍による行動自粛の反動で貸出需要が非常に高まっており、令和 4 年度の利用料収入はコロナ禍前を上回ることが予想されている。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設利用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | 3 | 3 | 3 | 9 | 39 |
| **a.歳入実績合計** | | **3** | **3** | **3** | **9** | **39** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 8,384 | 8,686 | 7,857 | 7,230 | 7,230 |
| 委託料（コロナ補助） | 3 | － | － | － | 1,838 | 793 |
| 委託料（その他） | 4 | － | － | － | 3,080 | 28,930 |
| 補助金（指定管理運営） | 5 | 18,938 | 19,188 | 19,500 | 19,313 | 19,500 |
| 補助金（その他） | | － | － | 158 | 421 | － |
| **b.歳出実績合計** | | **27,322** | **27,874** | **27,515** | **31,883** | **56,453** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲27,319** | **▲27,870** | **▲27,511** | **▲31,873** | **▲56,413** |
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲31,184** | **▲31,572** | **▲31,816** | **▲32,198** | **▲60,360** |
| **e.予実差異(c-d)** | **6** | **3,865** | **3,701** | **4,304** | **324** | **3,946** |

＜補足コメント＞

※1　施設利用料について

当施設は利用料金制であり、富山市の施設利用料収入はない。

※2　目的外使用料について

令和3年度の主な内訳は、「NTT 5Gアンテナ設置料35千円」等である。

※3　委託料（指定管理料）、委託料（コロナ補助）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、指定管理者は外郭団体であり、基本協定書で指定管理最終年度の精算条項が定められている。令和1年度は指定管理最終年度であったが、指定期間の施設管理費合計額が指定期間の指定管理料合計額を上回っていたため、精算条項に基づく返金は行われていない。

その他、令和2年度は、通常の指定管理料7,230千円に加えてコロナ禍による休業補償1,838千円（休業期間は4月15日～5月26日）が支出されている。令和3年度は、通常の指定管理料7,230千円に加えてコロナ禍による休業補償793千円（休館期間は8月18日～9月26日）が支払われている。これらの補償金は、休業期間中の収支差額と休館期間に対応する令和1年度の収支差額との差引で計算されており、計算根拠資料を確認したが重大な問題は認められなかった。

※4　委託料（その他）について

令和3年度の内訳は、「ガラス破片落下防止業務委託28,930千円」である。当施設の天井は硝子板になっており、破損、落下した場合は重大な事故につながる恐れがあるため、落下防止の補強を行っている。委託に関する庁内ファイルを閲覧したが、重大な問題は発見されなかった。

※5　補助金（指定管理運営）について

指定管理者が外郭団体であるため、富山市は指定管理業務に係る職員人件費（5人分）を指定管理料ではなく補助金で支払っている。

※6　予実差異について

当施設の天井は硝子板になっており、破損、落下した場合は重大な事故につながる恐れがあるため、毎年取替業務委託3,500千円程度を予算要求している。破損が無ければ当該予算は執行されないため予実差異が発生している。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | 8,384 | 8,686 | 7,857 | 7,230 | 7,230 |
| コロナ補助(富山市) | 1 | － | － | － | 1,838 | 793 |
| 補助金収入(富山市) | 2 | 18,938 | 19,188 | 19,500 | 19,313 | 19,500 |
| 施設利用料 | 3 | 14,481 | 14,162 | 14,764 | 4,410 | 10,584 |
| その他の収入 | | 1,462 | － | 158 | 421 | 816 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **a.収入合計** | | **43,265** | **42,036** | **42,280** | **33,212** | **38,923** |
| 人件費 | 4 | 18,154 | 18,727 | 20,852 | 19,551 | 22,214 |
| 光熱水費 | 5 | 3,548 | 3,439 | 3,338 | 2,237 | 1,861 |
| 修繕料 | | 1,140 | 632 | 1,425 | 257 | 654 |
| 委託料 | 6 | 6,997 | 7,613 | 7,723 | 6,761 | 7,171 |
| 借上料 | 7 | 3,520 | 3,217 | 3,247 | 3,191 | 3,145 |
| 賑わい事業費 | 8 | 8,457 | 6,646 | 5,161 | 2,032 | 1,821 |
| その他の支出 | | 2,112 | 2,318 | 1,861 | 1,095 | 2,291 |
| **b.支出合計** | | **43,928** | **42,592** | **43,607** | **35,124** | **39,157** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **▲663** | **▲556** | **▲1,327** | **▲1,912** | **▲234** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **▲27,985** | **▲28,430** | **▲28,684** | **▲30,293** | **▲27,757** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)、コロナ補助(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入(富山市)について

指定管理者が外郭団体であるため、指定管理者は指定管理業務に係る職員人件費（5 人分）を指定管理料ではなく補助金で受け取っている。なお、補助金は決められた人件費単価をもとに 5 人分の人件費相当額の交付を受けているため、補助金収入と実際の人件費との間には差が生じている。

※3　施設利用料について

当施設は利用料金制であり、施設利用料は指定管理者の収入となっている。施設利用料は貸出率の増減により変動する。

貸出率の推移等は、「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

※4　人件費について

当施設で勤務している常勤プロパー職員 2 人、常勤契約職員 3 人の人件費である。当施設の職員はシフト制で勤務しており、2～3 人体制で受付業務、イベント対応業務、事務業務等を行っている。

なお、本社管理費の配賦は行っていない。

令和 3 年度は、常勤プロパー職員が 1 人増加したため人件費が増加している。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 4,442 千円であり、非常勤職員が相応にいることを勘案すると大きな問題は認められない。

※5　光熱水費について

令和 3 年度の主な内訳は、電気料である。令和 3 年度は、コロナ禍による休業やイベントの減少に加えて、令和 2 年 9 月に大型ディスプレイを入れ替えたことで消費電力が節減された結果、電気料が減少している。

※6　委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「清掃業務委託 3,432 千円」、「大型ビジョン装置保守点検業務 660 千円」等である。

※7　借上料について

令和 3 年度の主な内訳は、「事務所家賃 2,778 千円」等である。

※8　賑わい事業費について

令和 3 年度の主な内訳は、「段ボール迷路製作費 1,155 千円」等である。

富山市まちなか賑わい広場管理運営業務仕様書では、指定管理業務（施設運営業務）として「中心市街地において市民の交流を促進し、賑わいを創出するために必要な事業を実施すること」を規定している。そのため、指定管理者は、当施設を利用して実施した賑わい創出の各種イベント費用を賑わい事業費として区分計上している。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、平成 19 年 9 月に総曲輪地区再開発の一環で周辺の市道を集約して開設された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、市中心部の賑わい創出の拠点の一つとして運営していく方針が示されている。

当施設は、富山市中心市街地活性化基本計画の施策の一つとして整備されており、中心市街地に人を呼び込み、賑わいを創出することを目的としている。当施設は、総曲輪フェリオとグランドプラザパーキングに挟まれており、両サイドに民地が残されている。当施設の範囲や富山市の管理対象部分、管理費用の負担関係等については、西町・総曲輪再開発ビル管理組合との間で「富山市まちなか賑わい広場の維持管理及び運営に関する協定書」が締結され、明確になっている。

当施設は、買い物客や大和の利用者等で賑わっている。なお、令和 2 年度以降はコロナ禍で各種イベントが自粛されていたため貸出率や稼働率が低迷していたが、足元では、コロナ禍による行動自粛の反動で貸出需要が非常に高まっており、令和 4 年度の利用料収入はコロナ禍前を上回ることが予想されている。当施設は、飲食店が集まって食のイベントを開催したり、企業や行政が PR イベントを開催したり、個人がのみの市を開催したりして利用されている。

当施設は、イベントに適した秋季に貸出率が高まる傾向がある。また、当施設は、休日は年間を通じて貸出予約で埋まっているが、平日昼間は、周辺歩行者が少なく集客イベントを開催するニーズが低いため殆ど貸出実績が無くなっている。そのため、指定管理者はこれらの時期に指定管理業務の一環で子供向けの積み木広場や段ボール迷路等を開催している。また、冬季は、富山市から別途受託しているにぎわい創出事業の一環でエコリンクを運営している。エコリンクの利用料は 700 円程度であり、富山市からの委託料と合わせて収支トントンとなっている。

当施設の貸出可能時間は 10 時～22 時となっている。この点、休日は朝からイベントを開催するニーズがあるため開始時間を 9 時に早めることも考えられるが、現状のままでも有効利用に大きな問題はない。また、終了時間は夜間の懇親会ニーズがあるため、現状のままで問題はない。

このように、当施設は富山市中心部の活性化のコア施設として機能しており、存在意義は十分に求められる。一方で、富山市は駅周辺で大規模な再開発事業を進めており、中心市街地活性化の観点から当施設の位置付けを明確にする必要性が認識された。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 170【意見 63】 | 当施設の存在意義や位置付けの再確認 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 富山市は、中ホールの建設など駅周辺で大規模な再開発を進めているが、それにより総曲輪地区に所在する当施設の位置付けが曖昧になる恐れがある。<br>施設所管課においては、駅周辺も含めた中心市街地活性化のためのビジョンを指定管理者と共有し、当施設や指定管理者に期待する役割について認識相違が生じないよう、密接に意見交換を行うことが望まれる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、目的外使用料である。当施設は利用料金制を採用しているため、富山市の施設利用料収入は無い。

富山市の主な歳出は、指定管理料、人件費補助金、施設の維持修繕に係る委託料である。指定管理料及び人件費補助金は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。委託料については、施設の特性や天井ガラス破損時の事故リスク等を踏まえて指定管理者と施設所管課が協議しながら順次遂行している。なお、富山市は令和 2 年度と令和 3 年度にコロナ禍による休業補償を支払っているが、これらの補償金は、休業期間中の収支差額と休業期間に対応する過年度の収支差額との差引で計算されており、計算根拠資料を確認した結果重大な問題は認められなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制

度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、外郭団体である㈱富山市民プラザが非公募で指定管理者に選定されている。富山市は、市の主要施策を推進する中核的施設であり、富山市と指定管理者が密接に連携しながら事業の実施と施設の管理運営を一体的に行う必要があると判断し、継続して㈱富山市民プラザを指定管理者に選定している。この点、当施設は、富山市中心市街地活性化基本計画の施策の一つとして整備されており、富山市の中心市街地活性化政策と密接に連携した運営が求められるため、人員や情報の共有が図りやすい外郭団体が運営することには合理性がある。また、指定管理者は、隣接するグランドプラザパーキングを所有・運営しているほか、総曲輪地区で地場もん屋等の賑わい創出事業を営んでおり、これらを実質一体で運営することで効果的、効率的な業務運営を実現できている。加えて、当施設は富山市の中心部に位置しており、街中の雰囲気に適した様々なイベントを誘致することが求められるが、指定管理者は長期間指定管理業務を請け負うことで市内外の関係者とコネクションを構築しており、重大なトラブルなく各種イベントを開催できている。

このように、㈱富山市民プラザが非公募で指定管理者に選定されることには相応の合理性が認められる。一方で、当施設は利用料金制を採用しつつも精算条項も設定しており、利用料金制の導入意義が損なわれていた。また、基本協定書を確認した結果、指定管理者が行う業務の範囲に「利用料の徴収に関する業務」が記載されていなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 171【指摘 5】 | 利用料金制の施設における精算条項の解除 |
| 全般的運用状況 | 指定管理者制度の効果的、効率的な運用を阻害する影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 5）を識別している。 |
| 当施設は利用料金制が導入されているが、同時に指定管理者が外郭団体であるため指定管理料の精算条項が設定されている。利用料金制を導入した場合、指定管理者は施設の収支差額を事業計画より改善することで利益を得られるため、収支改善のモチベーションが生まれる。一方で、精算条項が設定されていると、当該利益を富山市に返金することになるため、利用料金制を導入する意味が無くなってしまう。<br>施設所管課においては、当施設で利用料金制を導入するのであれば、基本協定書を変更して精算条項を解除する必要がある。 | |
| 172【意見 3】 | 基本協定書への利用料徴収業務の記載漏れ |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する意見（意見 3）を識別している。 |

| |
|---|
| 基本協定書を査閲した結果、管理業務の範囲（第 2 条）の箇所に「利用料の徴収に関する業務」が記載されていなかった。なお、第 2 条には「上記の他、管理に関して市長が必要と認める業務」の記載があるが、利用料の徴収は指定管理業務の重要要素であり基本協定書に明記すべきと考える。<br>施設所管課においては、基本協定書を更改する際に、管理業務として「利用料の徴収に関する業務」を記載することが望まれる。 |

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料及び人件費補助金、施設利用料である。施設利用料については、指定管理者は施設利用料が発生する外部貸出を優先し、それ以外の時間帯に施設使用料が発生しない指定管理者主催の賑わい創出イベント（段ボール迷路、遊具の設置等）を実施している。当施設は、コロナ禍による行動自粛の反動で貸出ニーズが非常に高まっており、令和 4 年度の施設利用料はコロナ禍前を上回る予定である。なお、当施設は富山市後援イベント減免（減免率 30%）や指定管理者主催イベント減免（減免率 100%）が相応にあるが、特に後者は貸出ニーズが低い時間帯に実施しているものであり、賑わい創出の観点では意味があるものと考えられる。また、指定管理者は、指定管理業務とは別に富山市から賑わい創出事業（エコリンク、コスプレフェスタ等）を受託しているが、それらは指定管理業務とは関係ないため指定管理報告書に記載していない。このように、指定管理者は当施設で様々なイベントを開催しているが、何れも指定管理業務か別の個別委託事業として実施しており、自主事業は行っていない。

指定管理者の主な支出は、人件費、委託料、賑わい事業費である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。委託料については、当施設の清掃業務委託等であり、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。賑わい事業費については、コロナ禍前は指定管理業務の一環で賑わい創出イベントを活発に実施していたが、令和 2 年度以降はイベント自粛のため発生額が減少している。

なお、当施設では指定管理業務に賑わい創出事業が含まれているため、指定管理者はまちなか活性化のための様々なイベントを開催しているが、賑わいの定義や評価指標が明確になっておらず指定管理業務の成果を客観的に評価できていない可能性が認識された。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 173【指摘 8】 | 賑わい創出結果の評価方法の策定 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 8）を識別している。 |

当施設の指定管理業務には賑わい創出事業が含まれているが、賑わいの定義や賑わい創出結果を評価するための指標が明確になっておらず、指定管理業務の成果を客観的に評価できなくなっている。例えば、普段使いの賑わいとイベントでの賑わいはその性質が異なるものであり、どちらを優先するのかによって指定管理者の行動も変わってくることになる。

施設所管課においては、他団体の事例等を研究の上、当施設における賑わいの定義を明確にする必要がある。そのうえで、当施設のあるべき姿を指定管理者と共有し、賑わい創出活動の結果を客観的に評価するための KPI（重要業績評価指標）を設定していく必要がある。

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## ３６． 富山市・医師会急患センター

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市今泉北部町 2 番地 76</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>福祉政策課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市・医師会急患センター条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>救急の医療を必要とする者に対し応急の医療を行う</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積（㎡）</th><th>建設費（千円）</th></tr>
<tr><td>急患センター</td><td>H23</td><td>38</td><td>28</td><td>1,532.86</td><td>497,533</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>令和 3 年度の診療体制（令和 4 年度以降は変更有り）</td><td>
<table>
<tr><th>診療科目</th><th>診療日</th><th>診療時間</th></tr>
<tr><td>内科</td><td>日曜日、祝日</td><td>9:00～17:30、18:30～6:00</td></tr>
<tr><td></td><td>土曜日</td><td>14:00～6:00</td></tr>
<tr><td></td><td>月曜日～金曜日</td><td>19:00～6:00</td></tr>
<tr><td>外科</td><td>日曜日、祝日</td><td>9:00～17:30、18:30～24:00</td></tr>
<tr><td></td><td>土曜日</td><td>14:00～24:00</td></tr>
<tr><td></td><td>月曜日～金曜日</td><td>19:00～24:00</td></tr>
<tr><td>小児科</td><td>日曜日、祝日</td><td>9:00～17:30、18:30～24:00</td></tr>
<tr><td></td><td>月曜日～土曜日</td><td>19:00～24:00</td></tr>
<tr><td>眼科</td><td>毎月第 2、第 4 日曜日</td><td>9:00～17:30</td></tr>
<tr><td></td><td>月曜日～金曜日</td><td>19:30～22:30</td></tr>
<tr><td>耳鼻咽喉科</td><td>日曜日、祝日</td><td>9:00～17:30</td></tr>
<tr><td>皮膚科</td><td>毎月第 1、第 2、第 4 日曜日</td><td>9:00～17:30</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「保健施設・医療施設」については、中長期的な改修計画に基づき、適時適切な施設改修・設備更新を実施する。</td></tr>
<tr><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>特記事項無し。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | （公社）富山市医師会<br>所在地：　富山市大泉北町 9 番 23 号<br>代表者：　舟坂　雅春<br>事業概要：　急患センター事業、情報提供事業、学校保健・予防接種 |

| | |
|---|---|
| | 事業、健診事業、看護専門学校運営事業、在宅医療事業、検査事業等<br>富山市との関係：　特記事項無し |
| 指定管理業務の概要 | ● 急患センターにおける診療に関する業務<br>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 条例第 7 条に規定する手数料の納付に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務 |
| 指定期間 | 5 年間（平成 29 年度～令和 3 年度） |
| 指定管理料 | 利用料金制であり、かつ利用料だけで管理経費を賄えているため、指定管理料の支払いはない（平成 28 年度締結の基本協定書）。 |
| 選定方法 | 非公募（施設を活用した事業の実施と施設管理を合わせて行うことにより、施設の設置目的を有効に達成でき、かつそれらの業務の実施にあたって高度な資格や技能等を要する施設であるため） |
| 利用料の帰属 | 指定管理者（利用料金制） |
| 施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係 | ● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費が 1 件 500 千円未満の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。 |
| 精算条項 | 無し（指定管理者が外郭団体以外であるため） |
| 自主事業提案 | 指定管理選定資料の「自主事業提案書」では「該当無し」となっている。 |
| 収益向上提案 | 指定管理選定資料の「収益向上提案書」では「該当無し」となっている。 |

イ．施設の利用料及び利用者数の状況

単位：受診者数

| 種別 | 条例に定める利用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 夜間診療 | 富山市病院事業の設置等に関する条例（平成 17 年富山市条例第 167 号）第 7 条に定める利用料金及び手数料とする | 1 | 19,133 | 18,982 | 18,977 | 8,981 | 11,694 |
| 深夜診療 | | 1 | 6,576 | 6,738 | 6,667 | 3,320 | 3,533 |
| 待機 | | 1 | 1,629 | 1,610 | 1,406 | 801 | 516 |
| 日･祝日の昼間診療 | | 1 | 16,435 | 16,279 | 18,978 | 7,606 | 12,358 |
| **合計** | | | **43,773** | **43,609** | **46,028** | **20,708** | **28,101** |

＜補足コメント＞

※1　受診者数について

夜間診療は、日曜・祝日の昼間以外の診療のうち診療開始から 22 時までのものであり。深夜診療は 22 時～2 時まで、待機は 2 時～翌朝 6 時までのものである。

令和 2 年度は、隣接する富山市民病院で新型コロナの感染者が発生したこと等により受診が控えられた結果、受診者数が激減している。令和 3 年度は、行動自粛や受診控えが緩和されてきたこと加えて新型コロナの感染者数が増加傾向にあったため、受診者数が増加している。足元ではコロナ第 7 波の影響で受診者数が大幅に増加している。

なお、嘱託医の高齢化や働き方改革等により 24 時以降の診療を順次短縮しており、待機の受診者数が減少している。具体的には、翌朝 6 時までであった外科と小児科の診療時間を令和 3 年度に 24 時までに短縮している。また、翌朝 6 時までであった内科の診療時間も令和 4 年度に 2 時までに変更しており、令和 5 年度には 24 時までに短縮する予定である。

診療科ごとの受診者数の推移は以下のとおりである。緊急性の高い患者が少ない眼科、耳鼻科、皮膚科の患者数が少ない傾向にある。

単位：受診者数

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 内科 | 18,982 | 19,241 | 18,726 | 8,524 | 11,369 |
| 小児科 | 13,943 | 13,553 | 14,682 | 4,097 | 7,013 |
| 外科 | 7,566 | 7,329 | 7,308 | 5,682 | 6,856 |
| 眼科 | 1,283 | 1,249 | 1,315 | 816 | 867 |
| 耳鼻科 | 787 | 796 | 2,389 | 773 | 1,008 |
| 皮膚科 | 1,212 | 1,441 | 1,608 | 816 | 988 |
| **合計** | **43,773** | **43,609** | **46,028** | **20,708** | **28,101** |

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設利用料 | 1 | － | － | － | － | － |
| 目的外使用料 | 2 | － | － | － | － | 14 |
| 診断書等交付手数料 | 3 | 3,895 | 3,330 | 3,642 | 1,910 | 2,548 |
| **a.歳入実績合計** | | **3,895** | **3,330** | **3,642** | **1,910** | **2,562** |
| 委託料（指定管理料） | 4 | － | － | － | － | － |
| 補助金（その他） | 5 | － | － | － | 159,490 | － |
| **b.歳出実績合計** | | **－** | **－** | **－** | **159,490** | **－** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **3,895** | **3,330** | **3,642** | **▲157,579** | **2,562** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **4,200** | **4,300** | **4,068** | **▲155,682** | **3,624** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **▲304** | **▲969** | **▲425** | **▲1,897** | **▲1,061** |

＜補足コメント＞

※1　施設利用料について

当施設は利用料金が無料であり該当無し。

※2　目的外使用料について

令和 3 年度の主な内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料 14 千円」である。令和 2 年度以前は目的外使用料を全額減免していたが、令和 3 年度以降は他施設の減免状況等を踏まえて目的外使用料を徴収するよう変更している。

※3　診断書等交付手数料について

診断書その他診療に関する証明書の発行手数料であり、富山市・医師会急患センター条例第7条に基づき指定管理者が窓口で手数料を受領し、富山市に納付している。

※4　委託料（指定管理料）について

当施設は利用料金制であり、かつ利用料だけで施設管理費を賄えているため、指定管理料の支払いはない。

※5　補助金（その他）について

令和2年度の内訳は、「富山市・医師会急患センター事業継続支援補助金」であり、令和3年3月15日に施行された「富山市・医師会急患センター事業継続支援補助金交付要綱」基づき交付されている。

指定管理者は、診療報酬等を原資として指定管理業務を実施しており富山市からの指定管理料の支払はなかった。しかし、令和2年度はコロナ禍による受診控えが顕著となり、診療報酬等が支出を大幅に下回る状態となったため、指定管理業務の継続に大きな影響が生じた。当該状況を踏まえ、富山市の初期救急医療体制を維持・確保するため、指定管理者に対して臨時的な支援を行ったものである。

当該補助金は、当施設の管理運営に係る人件費と経費を対象としており、令和3年3月15日時点で指定管理者が提出した通期赤字見込額に近似する金額を支払っている。なお、当該補助金は、「令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の充当事業であり、別途国から富山市に対して臨時交付金159,490千円が交付されている。

その他、令和4年度中に令和3年度以降を対象とする同様の補助金18,747千円を交付している。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 急患センター事業収入 | 1 | 510,625 | 508,930 | 534,628 | 249,926 | 385,419 |
| 補助金収入（富山市） | 2 | － | － | － | 159,490 | － |
| 補助金収入（その他） | 3 | － | － | － | 1,000 | 11,152 |
| その他の収入 | | 907 | 904 | 991 | 1,554 | 2,544 |
| **a.収入合計** | | **511,533** | **509,835** | **535,619** | **411,970** | **399,115** |
| 人件費 | 4 | 198,463 | 213,399 | 237,715 | 212,302 | 201,413 |
| 報償費 | 5 | 180,637 | 171,980 | 173,195 | 166,265 | 126,995 |
| 光熱水費 | 6 | 5,421 | 5,348 | 4,943 | 5,873 | 7,110 |
| 修繕料 | | 859 | 314 | 763 | 391 | 629 |
| 委託料 | 7 | 13,411 | 13,354 | 12,922 | 12,372 | 14,026 |
| 検査材料費 | 8 | 34,407 | 42,685 | 30,295 | 13,020 | 31,469 |
| 手数料 | 9 | 14,838 | 15,632 | 18,736 | 14,562 | 18,974 |
| その他の支出 | | 24,141 | 22,373 | 22,103 | 18,538 | 18,357 |
| **b.支出合計** | | **472,177** | **485,085** | **500,672** | **443,323** | **418,973** |
| **c.収支差額（a-b）** | | **39,356** | **24,749** | **34,947** | **▲31,353** | **▲19,857** |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | **39,356** | **24,749** | **34,947** | **▲190,843** | **▲19,857** |

＜補足コメント＞

※1　急患センター事業収入について

指定管理者は、富山市病院事業の設置等に関する条例（平成 17 年富山市条例第 167 号）第 7 条に基づき、「診療報酬の算定方法（平成 20 年厚生労働省告示第 59 号）」等に基づいて算出した利用料金及び手数料を収受している。具体的には、富山市民病院と同様の計算方法で診療報酬等を算定し、そこに深夜料金を上乗せしている。

急患センター事業収入は受診者数と連動している。受診者数の推移等は「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

※2　補助金収入（富山市）について

内容は、「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

当該補助金は、急患センターの管理運営に係る人件費及び経費を対象としており、3 月 15 日時点で指定管理者が提出した通期赤字見込額に近似する金額で計算されている。なお、当該補助金で補填し切れなかった赤字は指定管理者が負担している。

※3　補助金収入（その他）について

主に国からの補助金であり、令和 2 年度はコロナ対応のための機器整備関連の補助金を受領している。令和 3 年度は、令和 2 年 11 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日の受診者数が前年同期比で減少しているため、減収補填として補助金として受領している。

※4　人件費について

当施設で勤務する常勤職員 21 人（医師 1 人、看護師 7 人、医療事務員 11 人、管理事務員 2 人）、パート職員 17 人（看護師 12 人、医療事務員 5 人）の人件費である。当施設の職員はシフト制で勤務しており、平日夜間は医師 1 人（2 日に 1 日程度）、看護師 6 人、医療事務員 5 人が、休日は医師 1 人、看護師 9 人（うちパート職員 2 人）、医療事務員 8 人が勤務している。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 5,300 千円であり、医療機関であることを勘案すると大きな問題は認められない。

※5　報償費について

当施設で勤務する嘱託医や薬剤師への報酬である。平日夜間は医師 6 人（診療科ごとに 1 人）、薬剤師 1 人が勤務しており、休日昼間は医師 6 人以上（診療科ごとに 1 人及び発熱外来で 1～3 人）、薬剤師 2 人が勤務している。報酬単価は指定管理者の理事会で決定しており、富山県内の他の一次医療機関と同等の水準となっている。

令和 3 年度は、外科と小児科の診療時間を 24 時までに短縮した結果、減少している。

※6　光熱水費について

令和 3 年度の主な内訳は、「電気料（高圧契約）6,696 千円」である。当施設の電気料は、主に空調や照明等に使用されている。

令和 3 年度は、発熱外来に陰圧ブースを設置したこと等により電気使用量が増加した

ことに加え、電気料単価が上昇した影響で発生額が増加している。

※7　委託料について

令和 3 年度の主な内訳は、「施設清掃委託料 3,780 千円」、「医療廃棄物処理業務委託料 2,034 千円」、「検査委託料 1,016 千円」等である。

令和 3 年度は、コロナ禍で感染性廃棄物が増加した結果、発生額が増加している。

※8　検査材料費について

令和 3 年度の主な内訳は、「薬品費 25,002 千円」、「診察材料費 6,454 千円」等である。

令和 2 年度は、受診控えにより受診者数が減少した結果、発生額が減少している。令和 3 年度は、10 月にコロナの陽性検査を開始したことに伴い発生額が増加している。

※9　手数料について

令和 3 年度の主な内訳は、「富山市民病院に対するレントゲン共同利用（撮影委託）手数料 18,940 千円」等である。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の利用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、昭和 48 年に富山市丸の内に富山市救急センターとして開設された。その後、平成 23 年 10 月に富山市民病院の隣に新築移転し、名称も富山市・医師会急患センターに変更された。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。

富山県は、地域医療計画に基づき富山医療圏（富山市、立山町、上市町、舟橋村、滑川市）、高岡医療圏、新川医療圏、砺波医療圏を設定し、それぞれに一次医療機関、二次医療機関、三次医療機関を設定しているが、当施設は富山医療圏の一次医療機関となっている。一次医療機関は初期救急（入院不要な受診者）に、二次医療機関は入院が必要な場合に、三次医療機関は生命に係る重大事案に対応する。当施設は、産婦人科以外の主要な診療科を網羅している（産婦人科は通常かかりつけ医がいるため当施設を受診することは稀であり、設置していない)。また、当施設の受診者は、医師によって入院が必要と判断された場合は二次医療機関に搬送されるが、搬送率は全受診者の 10%未満である。

受診者は、平日夜間（22 時まで）と休日昼間が多くなっている。診療科別では内科、小児科、外科が多くなっており、緊急性の高い患者が少ない眼科、耳鼻科、皮膚科は患者数が少なくなっている。なお、年末年始は他の医療機関が休診しており受診者数が増加する傾向にあるため、内科と小児科の医師を増員して対応している。その他、嘱託医の高齢化や働き方改革等により内科、外科、小児科の 24 時以降の診療時間が順次短縮されているが、事前に周知を徹底していたため市民からのクレーム等は殆ど無い。

このように、当施設はその利用実態や役割の面から存在意義は十分に認められる。一方で、当

施設は建設後 10 年以上が経過しており、設備のメンテナンスに課題が認められた。

そのため、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 174【意見 64】 | 施設機能を維持するための適切な更新投資 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設では 3 年続けて空調機が故障（屋上室外機からのガス漏れ等）しており、その都度指定管理者が修繕を行っている。一方で、今後については施設自体が老朽化しており、都度の修繕では対応しきれない事態が発生する可能性がある。当施設は医療機関であり、夏季や冬季に空調機が故障した場合、施設の運営や受診者の利便性に重大な問題を生じさせる恐れがある。<br>施設所管課においては、空調機の実態について指定管理者と協議を行い、必要に応じて本格的に故障する前に取替工事等を行うことが望まれる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の歳入は、診断書等交付手数料である。当該手数料は受診者個人の利益になるものであり、条例に基づき富山市が収受することになっている。当該手数料の計算方法は、富山市民病院の関連規程に準じている。

富山市の主な歳出は、コロナ禍に対応した事業継続支援補助金である。令和 2 年度は、コロナ禍で指定管理者の診療報酬等が激減したため、富山市の初期救急医療体制を維持・確保するべく「富山市・医師会急患センター事業継続支援補助金」を交付している。当該補助金は、「令和 2 年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の充当事業であり、別途国から富山市に対して同額の臨時交付金が交付されている。なお、当施設は利用料金制であり、かつ利用料だけで施設管理費を賄えているため、指定管理料の支払いはない。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、昭和 48 年に富山市救急センターとして開設されたが、(公社)富山市医師会は開設当初から診療業務を受託していた。その後、当施設が平成 23 年 10 月に富山市民病院の隣に新築

移転したことを機に、平成 24 年度から非公募で指定管理者に選定され診療業務を行っている。

(公社)富山市医師会は、富山市内で勤務医と開業医が加盟している公益社団法人であり、急患センター事業、情報提供事業、学校保健・予防接種事業、健診事業、看護専門学校運営事業、在宅医療事業、検査事業等を通じて地域医療を支えている。当施設の指定管理業務には施設を活用した事業（診療行為）も含まれるため、指定管理業務を行える団体は公益性、専門性等の面で富山市医師会以外に存在せず非公募とすることに重大な問題は認められない。

また、当施設は利用料金制であり、かつ利用料だけで施設管理費を賄えているため、指定管理料の支払いはない。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ. 指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ. 指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、受診者からの診療報酬等である。指定管理者は、「診療報酬の算定方法(平成 20 年厚生労働省告示第 59 号)」等に基づき富山市民病院と同様の計算方法で診療報酬等を算定し、そこに深夜料金を上乗せして収受している。

指定管理者の主な支出は、人件費、報償費、委託料、検査材料費、手数料である。人件費と報償費は、当施設で勤務している看護師、医療事務員、嘱託医の人件費である。指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。委託料、検査材料費、手数料については、診療行為に必要な薬品費、レントゲン撮影委託手数料等であり、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。

その他、指定管理者は、受診者が増加する年末年始には嘱託医を増やすとともに、嘱託医の高齢化等を踏まえて受診者が殆どいない 24 時以降の診療を短縮化するなど、利用実態に応じた柔軟な運営を行っている。これらの対応については、事前に施設所管課と十分協議したうえで条例改正や市民への周知を行っており、重大なクレーム等は発生していない。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

オ. 過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## ３７． 市営住宅

### （1） 概要

ア．施設および指定管理の概要

① 施設の概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 市内全域 |
| 所管部署 | 市営住宅課 |
| 関連条例等 | ● 富山市営住宅条例及び同条例施行規則<br>● 富山市特定公共賃貸住宅条例及び同条例施行規則<br>● 富山市地域特別賃貸住宅条例及び同条例施行規則<br>● 富山市稲代住宅条例及び同条例施行規則<br>● 富山市賃貸住宅及び賃貸店舗の設置・管理に関する条例及び同条例施行規則 |
| 条例に定める施設の目的 | 公営住宅：　公営住宅法に基づく市営住宅及び共同施設を設置する<br>特定公共賃貸住宅：　中堅所得者などの居住の用に供する居住環境が良好な賃貸住宅の供給を促進し、もって市民生活の安定と福祉の増進を図る<br>地域特別賃貸住宅：　入居者の家賃負担を軽減した定住性の高い良質な賃貸住宅を供給し、住生活の安定と向上、良好な地域形成を行う<br>稲代住宅：　富山市稲代住宅の設置及び管理を行う<br>賃貸住宅・店舗：　賃貸住宅及び賃貸店舗の設置および管理 |
| 施設の主な建物の概要 | 各住宅用建物（詳細後述） |
| 営業期間 | 何れも入所型の施設であり、年中無休で 24 時間稼働している。 |
| 公共施設マネジメント方針 | ＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>世帯数の減少が見込まれることを勘案し、原則として新たな団地の整備は行わず、戸数の調整を図っていく。また、できる限り地域単位による集約を検討し、小規模団地を解消する。耐用年数を迎えた施設については廃止に努めるとともに、廃止が見込まれる施設の大規模修繕は実施しない。公営住宅の空き家については民間への譲渡や転用などの活用を検討する。 |
| | ＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン（実行編）2022～2026＞<br>当施設のうち、複数の住宅がアクションプランの対象となっている。奥田団地は耐震性能不足により廃止が決定している。月岡団地は建替えによる集約化が決定している。城村団地と殿様林団地は、新規入居募集停止中のため、不用な建物の解体と跡地の活用を進める方針が明確になっている。その他、朝菜町団地、辰尾団地、水橋新保団地、中滝団地、井田団地、妙川寺団地、竹の内団地について、修繕、解体などの整備手法が検討されている。 |
| その他 | 特記事項無し。 |

② 指定管理者および指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | ㈱ホクタテ |

<table>
<tr><td></td><td>所在地：　富山市中野新町 1 丁目 2 番 10 号<br>代表者：　上願　宏幸<br>事業概要：　建物および付帯設備の維持管理、営繕保守、運転、警備、清掃など<br>富山市との関係：　特記事項なし</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 市営住宅等の維持管理に関する業務<br>● 家賃等の収納に関する業務<br>● 上記の他、市営住宅の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>● 各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和 2 年度締結の基本協定書）。<br>● 令和 3 年度の管理業務委託料は 245,000 千円（税込み）とすることで合意している（令和 3 年 4 月 1 日付け年度協定書）。<br>単位：千円<br><table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>245,000</td><td>245,000</td><td>245,000</td><td>245,000</td><td>245,000</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>公募（応募者数 2 者）</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品などの維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費が 1 件 1,000 千円未満のものは、指定管理者が負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。</td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。<br><table><tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr><tr><td>自動販売機の設置</td><td>自動販売機収入は団地で使用する備品や消耗品等に充当し入居者サービスの向上を図る</td><td>1 台当たり年間で 54 千円の収入、34 千円の支出を見込む</td></tr><tr><td>安心サポート倶楽部</td><td>鍵の紛失、水回りトラブル、ガラス破損等の保証や健康・医療相談、在宅確認サービスを提供し、入居サービスの付加価値向上につなげる</td><td>月額450円で年間1,890千円の収入、同額の支出を見込み、収支はゼロとなる</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。<br>● 居室の原状回復工事を内製化し、管理費率を 28%から 15%に引き下げる<br>● 空室率が 4 割以上となっている特定公共賃貸住宅等について、地域の特性に応じた入居の促進を図り、家賃収入を増加させる。</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料および利用者数の状況

① 使用料の決定方法

使用料（家賃）は、住宅の種類、入居世帯の収入や住宅の広さ、築年数、住宅環境や設備などの利便性によって異なっている。具体的には、公営住宅には収入に応じた高低があり（入居者は、入居後毎年収入申告をし、収入に応じて次の年度の家賃が決定される）、特定公共賃貸住宅・地域特別賃貸住宅には低所得世帯等に対する一部減額があるが、賃貸住宅（稲代含む）には収入による家賃の変動はない。また、所得要件は、住宅の種類によって以下のとおり異なっている。

| 種　類 | 所得要件 |
|---|---|
| 公営住宅法に基づく市営住宅（準公営含む） | 公営住宅法に基づき、住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で賃貸する住宅として、収入分位（国が定めた収入分布の位置）25%（158,000 円）以下の世帯を本来階層とし、高齢者のみ世帯等は裁量階層として 40%（214,000 円）以下の世帯収入の上限を設けている。 |
| 特定公共賃貸住宅（特公賃）<br>地域特別賃貸住宅（地特） | 特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律に基づき、中堅所得者向けに賃貸する住宅として、収入分位 25%（158,000 円）以上 80%（487,000 円）以下の世帯を対象としている。 |
| 賃貸住宅（今泉・奥田） | 富山市が独自に整備・管理している中堅所得者向け住宅であり、収入 158,000 円以上の世帯を対象とし、上限はない。 |
| 稲代賃貸住宅 | 旧大沢野町の定めた基準を引き継いでおり、収入分位 10%（104,000 円）以下の障害者世帯を対象としている。 |

上表の収入とは、公営住宅法施行令に規定する収入月額である。政令月収区分は以下の 6 段階である。

| 収入区分 | 政令月収額 |
|---|---|
| 1 | 104,000 円以下 |
| 2 | 104,001 円以上 123,000 円以下 |
| 3 | 123,001 円以上 139,000 円以下 |
| 4 | 139,001 円以上 158,000 円以下 |
| 5（裁量世帯のみ） | 158,001 円以上 186,000 円以下 |
| 6（裁量世帯のみ） | 186,001 円以上 214,000 円以下 |

② 管理戸数の推移

各市営住宅の 4 月 1 日時点の管理戸数と政策空家戸数は以下のとおりである。政策空家とは、建替えなどが予定されているため、新規募集を行っていない空き家である。

単位：室

| 種類 | 区域 | 団地名 | 管理戸数 | | | | | 政策空家戸数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
| 公営 | 富　山 | 山室 | 72 | 72 | 72 | 72 | 72 | － | － | － | － | － |
| | | 中市 | 280 | 280 | 280 | 280 | 280 | － | － | － | － | － |
| | | 朝菜町 | 96 | 96 | 96 | 96 | 96 | － | － | － | － | － |

| 種類 | 区域 | 団地名 | 管理戸数 | | | | | 政策空家戸数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
| | | 高原町 | 286 | 286 | 286 | 286 | 286 | － | － | － | － | － |
| | | 上赤江 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | － | － | － | － | － |
| | | 有沢 | 356 | 356 | 356 | 356 | 356 | － | － | － | － | － |
| | | 広田 | 304 | 304 | 304 | 304 | 304 | － | － | － | － | － |
| | | 針原 | 384 | 384 | 384 | 384 | 384 | － | － | － | － | － |
| | | 布目 | 140 | 140 | 140 | 140 | 140 | － | － | － | － | － |
| | | 辰尾 | 228 | 228 | 228 | 228 | 228 | － | － | － | － | － |
| | | 城村 | 229 | 224 | 219 | 208 | 208 | 119 | 124 | 131 | 124 | 130 |
| | | 月岡（既存） | 295 | 261 | 261 | 229 | 211 | 203 | 174 | 178 | 172 | 154 |
| | | 月岡（新築） | 124 | 124 | 124 | 164 | 164 | － | － | － | － | － |
| | | 水橋新保 | 74 | 74 | 74 | 74 | 74 | － | － | － | － | － |
| | | 水橋中村 | 86 | 86 | 86 | 86 | 86 | － | － | － | － | － |
| | | 五艘 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | － | － | － | － | － |
| | | 海岸通 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | － | － | － | － | － |
| | | 下赤江 | 268 | 268 | 268 | 268 | 268 | － | － | － | － | － |
| | | 今泉 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | － | － | － | － | － |
| | | 中教院 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | － | － | － | － | － |
| | | イーストタウンコート | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | － | － | － | － | － |
| | | ドルチェ・ヴィータ呉羽 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | － | － | － | － | － |
| | | グッドヒルズ豊田 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 | － | － | － | － | － |
| | | コーポ窪新町 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | － | － | － | － | － |
| | | リットコーポラス 32 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 | － | － | － | － | － |
| | | ソレアード | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | － | － | － | － | － |
| | | パナメゾン窪新町 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | － | － | － | － | － |
| | | パナメゾン布瀬 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | － | － | － | － | － |
| | | グランコンフォール西長江 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | － | － | － | － | － |
| | 大沢野 | 笹津 | 116 | 116 | 116 | 116 | 116 | － | － | － | － | － |
| | 大　山 | 殿様林 | 37 | 37 | 37 | 37 | 37 | 16 | 17 | 18 | 21 | 22 |
| | | 中滝 | 54 | 54 | 54 | 54 | 54 | － | － | － | － | － |
| | | 福沢 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | － | － | － | － | － |
| | | 新曙町 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | － | － | － | － | － |
| | | サザンコート大山 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | － | － | － | － | － |
| | 八　尾 | 妙川寺 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 | － | － | － | － | － |
| | | 高熊 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | － | － | － | － | － |
| | | 寺山 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | － | － | － | － | － |

| 種類 | 区域 | 団地名 | 管理戸数 | | | | | 政策空家戸数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
| | | 源川原 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 | － | － | － | － | － |
| | | 新上野 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | － | － | － | － | － |
| | 婦　中 | 宮ケ島 | 90 | 90 | 90 | 90 | 90 | － | － | － | － | － |
| | | 長沢 | 102 | 102 | 102 | 102 | 102 | － | － | － | － | － |
| | | 千里(廃止済) | 5 | 5 | 5 | 5 | － | 3 | 3 | 3 | 5 | － |
| | 山　田 | 竹の内 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | | 山田中村 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | － | － | － | － | － |
| | 細　入 | 楡原西部 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | － | － | － | － | － |
| | 計 | | 4,405 | 4,366 | 4,361 | 4,358 | 4,335 | 345 | 322 | 334 | 326 | 310 |
| 準特優賃 | 大　山 | 新曙町 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | － | － | － | － | － |
| | 八　尾 | 寺山 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | － | － | － | － | － |
| | | 井田 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | － | － | － | － | － |
| | 計 | | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | － | － | － | － | － |
| 公営住宅計 | | | 4,432 | 4,393 | 4,388 | 4,385 | 4,362 | 345 | 322 | 334 | 326 | 310 |
| 特公賃 | 富　山 | 上赤江 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | － | － | － | － | － |
| | | 中教院 | 31 | 31 | 31 | 31 | 31 | － | － | － | － | － |
| | 大　山 | 新曙町 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | － | － | － | － | － |
| | 八　尾 | 高熊 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | － | － | － | － | － |
| | | 寺山 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | － | － | － | － | － |
| | | 源川原 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | － | － | － | － | － |
| | 山　田 | 山田中村 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | － | － | － | － | － |
| | 計 | | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 | － | － | － | － | － |
| 賃貸 | 富　山 | 今泉 | 61 | 61 | 61 | 61 | 61 | － | － | － | － | － |
| | | 奥田 | 204 | 204 | 204 | 204 | 204 | 120 | 126 | 133 | 140 | 147 |
| | 大沢野 | 稲代 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | － | － | － | － | － |
| | 計 | | 274 | 274 | 274 | 274 | 274 | 120 | 126 | 133 | 140 | 147 |
| 地特 | 八　尾 | 井田 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | － | － | － | － | － |
| | 計 | | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | － | － | － | － | － |
| 賃貸住宅計 | | | 364 | 364 | 364 | 364 | 364 | 120 | 126 | 133 | 140 | 147 |
| 全住宅計 | | | 4,796 | 4,757 | 4,752 | 4,749 | 4,726 | 465 | 448 | 467 | 466 | 457 |

③　入居戸数の推移

各市営住宅の４月１日時点の入居戸数と入居率は以下のとおりである。入居率は、政策空家を除外して計算している（入居率＝入居戸数÷(総管理戸数－政策空家戸数)）。

| 種類 | 区域 | 団地名 | 入居戸数（単位：戸） | | | | | 入居率（単位：%） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
| 公営 | 富山 | 山室 | 72 | 72 | 69 | 65 | 67 | 100 | 100 | 95 | 90 | 93 |
| | | 中市 | 268 | 268 | 264 | 262 | 255 | 95 | 95 | 94 | 93 | 91 |
| | | 朝菜町 | 85 | 82 | 75 | 69 | 64 | 88 | 85 | 78 | 71 | 66 |
| | | 高原町 | 266 | 264 | 261 | 261 | 251 | 93 | 92 | 91 | 91 | 87 |
| | | 上赤江 | 117 | 116 | 117 | 119 | 118 | 97 | 96 | 97 | 99 | 98 |
| | | 有沢 | 311 | 297 | 292 | 277 | 256 | 87 | 83 | 82 | 77 | 71 |
| | | 広田 | 228 | 215 | 205 | 189 | 181 | 75 | 70 | 67 | 62 | 59 |
| | | 針原 | 268 | 261 | 249 | 234 | 224 | 69 | 68 | 64 | 60 | 58 |
| | | 布目 | 129 | 134 | 129 | 125 | 117 | 92 | 95 | 92 | 89 | 83 |
| | | 辰尾 | 137 | 129 | 119 | 108 | 95 | 60 | 56 | 52 | 47 | 41 |
| | | 城村 | 110 | 100 | 88 | 84 | 78 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | 月岡（既存） | 92 | 87 | 83 | 57 | 57 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | 月岡（新築） | 121 | 123 | 118 | 151 | 153 | 97 | 99 | 95 | 92 | 93 |
| | | 水橋新保 | 48 | 47 | 46 | 42 | 40 | 64 | 63 | 62 | 56 | 54 |
| | | 水橋中村 | 83 | 84 | 80 | 81 | 82 | 96 | 97 | 93 | 94 | 95 |
| | | 五艘 | 16 | 15 | 14 | 16 | 14 | 88 | 83 | 77 | 88 | 77 |
| | | 海岸通 | 12 | 9 | 9 | 8 | 10 | 100 | 75 | 75 | 66 | 83 |
| | | 下赤江 | 226 | 224 | 210 | 205 | 204 | 84 | 83 | 78 | 76 | 76 |
| | | 今泉 | 19 | 20 | 21 | 20 | 17 | 90 | 95 | 100 | 95 | 81 |
| | | 中教院 | 20 | 20 | 20 | 19 | 19 | 100 | 100 | 100 | 95 | 95 |
| | | イーストタウン | 22 | 24 | 24 | 22 | 23 | 91 | 100 | 100 | 91 | 95 |
| | | ドルチェ・ヴィータ | 16 | 16 | 15 | 16 | 16 | 100 | 100 | 93 | 100 | 100 |
| | | グッドヒルズ | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | コーポ窪新町 | 23 | 24 | 21 | 24 | 24 | 95 | 100 | 87 | 100 | 100 |
| | | リットコーポラス | 30 | 32 | 31 | 31 | 32 | 93 | 100 | 96 | 96 | 100 |
| | | ソレアード | 15 | 15 | 16 | 15 | 14 | 93 | 93 | 100 | 93 | 87 |
| | | パナメゾン窪新町 | 34 | 33 | 32 | 34 | 33 | 100 | 97 | 94 | 100 | 97 |
| | | パナメゾン布瀬 | 39 | 40 | 38 | 39 | 40 | 97 | 100 | 95 | 97 | 100 |
| | | グランコンフォール | 14 | 15 | 15 | 15 | 14 | 93 | 100 | 100 | 100 | 93 |
| | 大沢野 | 笹津 | 106 | 106 | 96 | 98 | 93 | 91 | 91 | 82 | 84 | 80 |
| | 大山 | 殿様林 | 21 | 20 | 19 | 16 | 15 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | 中滝 | 36 | 38 | 35 | 32 | 31 | 66 | 70 | 64 | 59 | 57 |
| | | 福沢 | 8 | 7 | 7 | 5 | 3 | 66 | 58 | 58 | 41 | 25 |
| | | 新曙町 | 28 | 24 | 24 | 22 | 20 | 70 | 60 | 60 | 55 | 50 |

| 種類 | 区域 | 団地名 | 入居戸数（単位：戸） | | | | | 入居率（単位：%） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
| | | サザンコート大山 | 23 | 22 | 19 | 23 | 23 | 95 | 91 | 79 | 95 | 95 |
| | 八尾 | 妙川寺 | 57 | 50 | 45 | 43 | 40 | 67 | 59 | 53 | 51 | 47 |
| | | 高熊 | 10 | 9 | 8 | 9 | 10 | 62 | 56 | 50 | 56 | 62 |
| | | 寺山 | 9 | 8 | 7 | 7 | 7 | 75 | 66 | 58 | 58 | 58 |
| | | 源川原 | 41 | 38 | 33 | 32 | 36 | 93 | 86 | 75 | 72 | 81 |
| | | 新上野 | 78 | 77 | 76 | 77 | 69 | 97 | 96 | 95 | 96 | 86 |
| | 婦中 | 宮ケ島 | 87 | 86 | 89 | 89 | 86 | 96 | 95 | 98 | 98 | 95 |
| | | 長沢 | 90 | 93 | 90 | 82 | 74 | 88 | 91 | 88 | 80 | 72 |
| | | 千里(廃止済) | 2 | 2 | 2 | － | － | 100 | 100 | 100 | － | － |
| | 山田 | 竹の内 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 100 | 100 | 66 | 66 | 66 |
| | | 山田中村 | 6 | 6 | 5 | 5 | 4 | 100 | 100 | 83 | 83 | 66 |
| | 細入 | 楡原西部 | 12 | 9 | 9 | 8 | 7 | 40 | 30 | 30 | 26 | 23 |
| | 計 | | 3,470 | 3,396 | 3,259 | 3,170 | 3,050 | 85 | 84 | 80 | 78 | 75 |
| 準特優賃 | 大山 | 新曙町 | 8 | 9 | 9 | 9 | 9 | 80 | 90 | 90 | 90 | 90 |
| | 八尾 | 寺山 | 3 | 4 | 4 | 4 | 5 | 27 | 36 | 36 | 36 | 45 |
| | | 井田 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 33 | 16 | 16 | 33 | 33 |
| | 計 | | 13 | 14 | 14 | 15 | 16 | 48 | 51 | 51 | 55 | 59 |
| 公営住宅計 | | | 3,483 | 3,410 | 3,273 | 3,185 | 3,066 | 85 | 83 | 80 | 78 | 75 |
| 特公賃 | 富山 | 上赤江 | 13 | 15 | 14 | 15 | 15 | 65 | 75 | 70 | 75 | 75 |
| | | 中教院 | 25 | 23 | 20 | 21 | 20 | 80 | 74 | 64 | 67 | 64 |
| | 大山 | 新曙町 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 100 | 50 | 50 | 100 | 50 |
| | 八尾 | 高熊 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 40 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| | | 寺山 | － | － | － | 1 | 1 | － | － | － | 100 | 100 |
| | | 源川原 | 2 | 4 | 4 | 3 | 3 | 25 | 50 | 50 | 37 | 37 |
| | 山田 | 山田中村 | 11 | 9 | 8 | 6 | 6 | 91 | 75 | 66 | 50 | 50 |
| | 計 | | 57 | 53 | 48 | 49 | 47 | 67 | 63 | 57 | 58 | 56 |
| 賃貸 | 富山 | 今泉 | 59 | 56 | 61 | 57 | 53 | 96 | 91 | 100 | 93 | 86 |
| | | 奥田 | 84 | 78 | 71 | 64 | 57 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | 大沢野 | 稲代 | 6 | 6 | 5 | 5 | 3 | 66 | 66 | 55 | 55 | 33 |
| | 計 | | 149 | 140 | 137 | 126 | 113 | 96 | 94 | 97 | 94 | 89 |
| 地特 | 八尾 | 井田 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 50 | 50 | 50 | 50 | 33 |
| | 計 | | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 50 | 50 | 50 | 50 | 33 |
| 賃貸住宅計 | | | 209 | 196 | 188 | 178 | 162 | 85 | 82 | 81 | 79 | 74 |
| 全住宅計 | | | 3,692 | 3,606 | 3,461 | 3,363 | 3,228 | 85 | 83 | 80 | 78 | 75 |

④　取得価格などの状況

| 種類 | 区域 | 団地名 | 建築年度 | 延床面積<br>（㎡） | 取得価格<br>（千円） | 改修費<br>（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 公営 | 富　山 | 山室 | S52～S53 | 5,404.13 | 307,176 | 104,783 |
| | | 中市 | S54～S58 | 18,910.13 | 5,224,840 | 43,730 |
| | | 朝菜町 | S49～S51 | 5,663.09 | 546,150 | 10,908 |
| | | 高原町 | S57～S61、H5 | 19,703.92 | 3,961,325 | 40,948 |
| | | 上赤江 | H9、H15 | 11,467.16 | 2,939,330 | |
| | | 有沢 | S58～H2 | 24,472.28 | 3,119,774 | 140,982 |
| | | 広田 | H5～H9、H11～H12 | 22,085.75 | 5,000,252 | |
| | | 針原 | S63～H5 | 26,691.97 | 3,767,352 | 98,216 |
| | | 布目 | H13～H14、H16 | 10,739.89 | 2,753,741 | |
| | | 辰尾 | S37～S42 | 9,990.81 | 不明 | |
| | | 城村 | S37～S43 | 9,639.12 | 不明 | |
| | | 月岡（既存） | S44～S48 | 22,588.97 | 1,877,518 | 61,844 |
| | | 月岡（新築） | H26、H28～H29 | | | |
| | | 水橋新保 | S37～S38、S40～S43 | 3,577.54 | 不明 | |
| | | 水橋中村 | H17、H19～H20 | 6,179.31 | 1,481,250 | |
| | | 五艘 | S48 | 914.01 | 49,940 | |
| | | 海岸通 | S48 | 564.01 | 36,770 | |
| | | 下赤江 | S51～S55、S57～S58 | 16,839.02 | 1,830,729 | |
| | | 今泉 | H3 | 8,525.12 | 1,642,747 | |
| | | 中教院 | H14 | 2,976.63 | 1,126,531 | |
| | | イーストタウン | H21 | 借上住宅 | | |
| | | ドルチェ | H22 | 借上住宅 | | |
| | | グッドヒルズ | H22 | 借上住宅 | | |
| | | コーポ窪新町 | H22 | 借上住宅 | | |
| | | リットコーポラス | H22 | 借上住宅 | | |
| | | ソレアード | H23 | 借上住宅 | | |
| | | パナ窪新 | H25 | 借上住宅 | | |
| | | パナ布瀬 | H26 | 借上住宅 | | |
| | | グラン | H27 | 借上住宅 | | |
| | 大沢野 | 笹津 | H12～H14、H16、<br>H18、H20～H21、H23 | 9,401.64 | 1,825,061 | 4,178 |
| | 大　山 | 殿様林 | S35～S40、S46、S48 | 1,976 | 49,185 | |
| | | 中滝 | S57～S60 | 3,845.63 | 562,132 | |
| | | 福沢 | H1 | 849.78 | 157,278 | 15,931 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 新曙町 | H6、H8～H9 | 4,137.06 | 959,784 | |
| | | サザンコート | H24 | 借上住宅 | | |
| | 八　尾 | 妙川寺 | H1～H6 | 6,860.77 | 16,510 | |
| | | 高熊 | H11 | 1,817.6 | 161,080 | |
| | | 寺山 | H12 | 1,765.57 | 319,860 | |
| | | 源川原 | H14～H15 | 4,319.48 | 942,970 | |
| | | 新上野 | H19～H22 | 5,385.41 | 563,864 | |
| | 婦　中 | 宮ケ島 | S63～H3 | 6,808.04 | 372,610 | 36,642 |
| | | 長沢 | H8～H13 | 8,579.01 | 465,020 | 12,906 |
| | | 千里(廃止済) | S41 | 173 | 40,825 | |
| | 山　田 | 竹の内 | S62、H11 | 617.8 | 90,840 | |
| | | 山田中村 | H11、H12、H14 | 1,823.14 | 402,997 | |
| | 細　入 | 楡原西部 | S53～S54 | 1,664 | 124,578 | 2,382 |
| 準特優賃 | 大　山 | 新曙町 | 上記公営住宅欄の記載に含む | | | |
| | 八　尾 | 寺山 | 上記公営住宅欄の記載に含む | | | |
| | | 井田 | S62 | 1,104.1 | 208,490 | |
| 特公賃 | 富　山 | 上赤江 | 上記公営住宅欄の記載に含む | | | |
| | | 中教院 | 上記公営住宅欄の記載に含む | | | |
| | 大　山 | 新曙町 | 上記公営住宅欄の記載に含む | | | |
| | 八　尾 | 高熊 | 上記公営住宅欄の記載に含む | | | |
| | | 寺山 | 上記公営住宅欄の記載に含む | | | |
| | | 源川原 | 上記公営住宅欄の記載に含む | | | |
| | 山　田 | 山田中村 | 上記公営住宅欄の記載に含む | | | |
| 賃貸 | 富　山 | 今泉 | 上記公営住宅欄の記載に含む | | | |
| | | 奥田 | S41～S43 | 15,354.73 | 437,800 | 26,951 |
| | 大沢野 | 稲代 | H1 | 382.46 | 3,438 | |
| 地特 | 八　尾 | 井田 | 上記準特優賃欄の記載に含む | | | |

⑤　専有面積・賃料の状況

| 種類 | 区域 | 団地名 | 専有面積（㎡） | 月家賃（円） |
|---|---|---|---|---|
| 公営 | 富　山 | 山室 | 51.8～56.6 | 16,700～39,300 |
| | | 中市 | 56.7～56.9 | 18,900～41,800 |
| | | 朝菜町 | 45.8～46.7 | 13,600～29,700 |
| | | 高原町 | 45.8～64.8 | 14,200～45,500 |
| | | 上赤江 | 48.7～66.1 | 20,700～55,700 |
| | | 有沢 | 40.1～64.8 | 14,300～46,800 |
| | | 広田 | 45.6～65.5 | 17,000～52,200 |
| | | 針原 | 47.1～59.1 | 17,200～46,700 |

| 種類 | 区域 | 団地名 | 専有面積（㎡） | 月家賃（円） |
|---|---|---|---|---|
| | | 布目 | 52.7～66.4 | 21,600～54,200 |
| | | 辰尾 | 31.4～62.8 | 2,800～16,800 |
| | | 城村（新規募集停止） | 31.4～69.1 | 2,700～18,100 |
| | | 月岡 | 35.1～78.0 | 4,900～60,600 |
| | | 水橋新保 | 36.3～74.7 | 3,400～19,600 |
| | | 水橋中村 | 51.0～78.5 | 21,500～64,900 |
| | | 五艘 | 43.2 | 12,000～23,600 |
| | | 海岸通 | 39.2 | 10,100～20,000 |
| | | 下赤江 | 51.2～58.3 | 16,300～42,300 |
| | | 今泉 | 39.8～77.3 | 17,200～49,500 |
| | | 中教院 | 55.7 | 26,000～51,100 |
| | | イーストタウンコート | 40.5～55.8 | 19,500～52,700 |
| | | ドルチェ・ヴィータ呉羽 | 59.4～62.2 | 27,000～53,900 |
| | | グッドヒルズ豊田 | 40.6～59.9 | 18,600～52,900 |
| | | コーポ窪新町 | 55.9～71.0 | 25,900～62,300 |
| | | リットコーポラス 32 | 55.8～70.7 | 25,500～63,400 |
| | | ソレアード | 49.3～68.7 | 21,200～58,200 |
| | | パナメゾン窪新町 | 55.2～70.3 | 25,900～64,800 |
| | | パナメゾン布瀬 | 55.0～70.3 | 25,600～64,300 |
| | | グランコンフォール | 54.9～69.6 | 25,700～64,100 |
| | 大沢野 | 笹津 | 55.8～73.6 | 17,500～46,800 |
| | 大山 | 殿様林（新規募集停止） | 27.5～61.9 | 1,600～19,500 |
| | | 中滝 | 62.5 | 16,800～34,500 |
| | | 福沢 | 62.5 | 20,100～39,600 |
| | | 新曙町 | 73.9～77.9 | 22,400～47,800 |
| | | サザンコート大山 | 55.9～71.0 | 19,100～47,700 |
| | 八　尾 | 妙川寺 | 63.9～71.4 | 18,700～43,500 |
| | | 高熊 | 54.6～64.0 | 14,400～33,200 |
| | | 寺山 | 52.3～66.4 | 15,800～39,500 |
| | | 源川原 | 59.3～72.5 | 18,600～44,700 |
| | | 新上野 | 54.6～72.5 | 15,400～40,400 |
| | 婦　中 | 宮ケ島 | 59.1 | 22,300～45,600 |
| | | 長沢 | 68.8～76 | 27,600～59,800 |
| | 山　田 | 竹の内 | 65.1 | 13,600～30,700 |
| | | 山田中村 | 80 | 22,000～43,200 |
| | 細　入 | 楡原西部 | 55.5 | 11,100～22,200 |

| 種類 | 区域 | 団地名 | 専有面積（㎡） | 月家賃（円） |
|---|---|---|---|---|
| 準特優賃 | 大　山 | 新曙町 | 73.9～77.9 | 22,400～47,800 |
| | 八　尾 | 寺山 | 52.3～66.4 | 15,800～39,500 |
| | | 井田 | 51.3～66.4 | 14,300～38,000 |
| 特公賃 | 富　山 | 上赤江 | 70.4～79.6 | 56,300～77,500 |
| | | 中教院 | 約 35～約 70 | 60,300～78,700 |
| | 大　山 | 新曙町 | 77.9 | 50,600～65,000 |
| | 八　尾 | 高熊 | 73.6 | 47,800～65,000 |
| | | 寺山 | 58.0 | 39,300～53,600 |
| | | 源川原 | 72.5～77.2 | 47,100～68,000 |
| | 山　田 | 山田中村 | 75.8～80.0 | 35,200～40,000 |
| 賃貸 | 富　山 | 今泉 | 46.2～75.6 | 44,000～58,000 |
| | | 奥田（新規募集停止） | 43.7 | 16,000 |
| | 大沢野 | 稲代 | 35.2 | 4,000 |
| 地特 | 八　尾 | 井田 | 51.3～66.4 | 40,400～51,000 |

⑥　老朽化した建物の解体の状況

補助金は国から受領する補助金である。

| 年度 | 団地 | 戸数（戸） | 工事費（千円） | うち補助金（千円） |
|---|---|---|---|---|
| 令和１年度 | 城村 | 5 | 7,150 | 3,123 |
| 令和２年度 | 城村 | 11 | 7,150 | 3,217 |
| | 月岡 | 32 | 37,662 | 18,331 |
| 令和３年度 | 千里(廃止済) | 5 | 6,380 | 5,611 |
| | 城村 | 2 | 6,050 | 3,025 |
| | 月岡 | 18 | 22,550 | 11,275 |
| 令和４年度(予定) | 城村 | 8 | 15,110 | 5,134 |
| | 辰尾 | 6 | 12,000 | 6,000 |

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

①　富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 1,112,273 | 1,098,239 | 1,076,017 | 1,043,501 | 1,010,298 |
| 目的外使用料 | | 87 | 87 | － | － | － |
| その他の歳入 | 2 | 659,666 | 232,092 | 218,395 | 887,619 | 206,702 |
| **a.歳入実績合計** | | **1,772,026** | **1,330,418** | **1,294,412** | **1,931,120** | **1,217,001** |
| 人件費 | 3 | 101,805 | 100,216 | 98,802 | 102,443 | 64,989 |
| 委託料（指定管理料） | 4 | － | － | － | － | 245,000 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 委託料（その他） | | 70,389 | 66,002 | 68,179 | 103,880 | 27,410 |
| 需用費 | 5 | 150,806 | 150,494 | 146,824 | 164,314 | 9,433 |
| 工事請負費 | | 59,784 | 118,300 | 119,094 | 120,132 | 93,189 |
| 負担金・補助金 | | 11,779 | 16,586 | 16,500 | 19,081 | 18,801 |
| 借上市営住宅費 | 6 | 176,005 | 200,201 | 188,490 | 188,699 | 187,184 |
| 月岡団地建替事業費 | | 493,666 | 48,279 | 49,476 | 687,303 | 28,607 |
| 特別会計における償還金 | 7 | 134,932 | 88,410 | 88,410 | 80,983 | 80,983 |
| その他 | | 20,551 | 23,061 | 22,339 | 23,214 | 20,830 |
| **b.歳出実績合計** | | **1,219,719** | **811,549** | **798,114** | **1,490,049** | **776,427** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **552,307** | **518,869** | **496,298** | **441,071** | **440,574** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **536,806** | **508,872** | **481,959** | **454,261** | **454,170** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **15,501** | **9,997** | **14,339** | **▲13,190** | **▲13,596** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

入居者からの住宅および駐車場の使用料収入である（共益費の収入は除く）。

※2　その他の歳入について

補助金、共益費、起債などによる収入である。

※3　人件費について

富山市の職員の給料および諸手当である。人員の推移は以下のとおりである。

単位：人

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 富山市職員 | 17 | 17 | 16 | 17 | 9 |

※4　委託料（指定管理料）について

令和 3 年度から指定管理対象施設になったため、指定管理料が発生している。指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

※5　需用費について

主な内訳は、修繕料、共益費を受領している一部の団地の光熱水費、消耗品費、印刷製本費、公用車ガソリン代などである。

※6　借上市営住宅費について

借上住宅について支払っている借上料である。借上げ期間の 20 年間について支払う賃料が合意されており、5 年ごとに借上料が漸減する契約内容となっている。

※7　特別会計における償還金について

市営住宅のうち、公営住宅（46 団地 4,385 戸）は一般会計で、特定公共賃貸住宅（7 団地 84 戸）、地域特別賃貸住宅（1 団地 6 戸）および賃貸住宅（3 団地 274 戸）は特別会計で処理されている。当科目は、特別会計で処理されている特定公共賃貸住宅と地域特別賃貸住宅の建設に係る起債の償還金であり、令和 16 年度に完済予定である。

② 指定管理導入前5年間の団地別収支状況

借上住宅の支出は借上料のみである。また、借上住宅については5年間で国庫補助収入205,031千円を受け取っている。

単位：千円

| 団地名 | 収入 | | | 管理・運営にかかるコスト | | | | | 差額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 使用料 | その他 | 合計 | 修繕料 | 管理委託料 | 減価償却費 | その他 | 合計 | |
| 山室 | 86,890 | 1,840 | 88,730 | 18,042 | 6,264 | 71,692 | 1,324 | 97,322 | ▲8,592 |
| 中市 | 365,767 | 8,159 | 373,926 | 59,970 | 12,485 | 634,004 | 5,020 | 711,479 | ▲337,553 |
| 朝菜町 | 85,320 | 4,526 | 89,846 | 35,298 | 4,909 | 110,295 | 2,350 | 152,852 | ▲63,006 |
| 高原町 | 381,471 | 11,375 | 392,846 | 52,044 | 9,592 | 548,771 | 5,183 | 615,590 | ▲222,744 |
| 上赤江 | 277,226 | 16,931 | 294,157 | 27,653 | 15,759 | 347,105 | 8,782 | 399,299 | ▲105,142 |
| 有沢 | 449,107 | 13,024 | 462,131 | 51,285 | 17,409 | 487,818 | 6,856 | 563,368 | ▲101,237 |
| 広田 | 368,761 | 10,817 | 379,578 | 41,896 | 21,369 | 566,585 | 5,740 | 635,590 | ▲256,012 |
| 針原 | 411,869 | 13,383 | 425,252 | 34,594 | 8,451 | 508,342 | 6,902 | 558,289 | ▲133,037 |
| 布目 | 236,174 | 5,579 | 241,753 | 36,839 | 19,434 | 333,010 | 4,533 | 393,816 | ▲152,063 |
| 辰尾 | 85,407 | 7,012 | 92,419 | 26,507 | 5,710 | － | 5,700 | 37,917 | 54,502 |
| 城村 | 79,851 | 1,471 | 81,322 | 21,748 | 5,652 | 689 | 9,055 | 37,144 | 44,178 |
| 月岡 | 252,957 | 4,680 | 257,637 | 36,690 | 28,359 | 469,459 | 9,477 | 543,985 | ▲286,348 |
| 水橋新保 | 36,554 | 2,766 | 39,320 | 6,758 | 2,865 | － | 2,159 | 11,782 | 27,538 |
| 水橋中村 | 151,644 | 2,331 | 153,975 | 13,494 | 10,862 | 105,500 | 7,065 | 136,921 | 17,054 |
| 五艘 | 14,260 | 4,742 | 19,002 | 4,352 | 618 | 71,571 | 331 | 76,872 | ▲57,870 |
| 海岸通 | 8,029 | 690 | 8,719 | 2,732 | 351 | 52,805 | 2,593 | 58,481 | ▲49,762 |
| 下赤江 | 292,329 | 9,504 | 301,833 | 38,380 | 8,639 | 311,093 | 10,412 | 368,524 | ▲66,691 |
| 今泉 | 283,502 | 37,007 | 320,509 | 23,815 | 42,696 | 192,015 | 29,555 | 288,081 | 32,428 |
| 中教院 | 113,151 | 12,994 | 126,145 | 18,714 | 4,840 | 135,070 | 75,075 | 233,699 | ▲107,554 |
| イースト | 35,535 | | 35,535 | | | | 85,932 | 85,932 | ▲50,398 |
| ドルチェ | 27,773 | | 27,773 | | | | 60,405 | 60,405 | ▲32,631 |
| グッド | 48,442 | | 48,442 | | | | 86,909 | 86,909 | ▲38,467 |
| コーポ | 45,383 | | 45,383 | | | | 78,365 | 78,365 | ▲32,982 |
| リット | 58,641 | | 58,641 | | | | 126,343 | 126,343 | ▲67,703 |
| ソレアード | 28,570 | | 28,570 | | | | 57,526 | 57,526 | ▲28,957 |
| パナ窪新 | 66,033 | | 66,033 | | | | 137,933 | 137,933 | ▲71,900 |
| パナ布瀬 | 76,792 | | 76,792 | | | | 167,163 | 167,163 | ▲90,372 |
| グラン | 28,274 | | 28,274 | | | | 68,473 | 68,473 | ▲40,200 |
| 笹津 | 160,598 | 3,161 | 163,759 | 26,116 | 8,714 | 243,819 | 1,391 | 280,040 | ▲116,281 |
| 殿様林 | 16,472 | 377 | 16,849 | 1,883 | 2,283 | － | 460 | 4,626 | 12,223 |

| 団地名 | 収入 | | | 管理・運営にかかるコスト | | | | | 差額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 使用料 | その他 | 合計 | 修繕料 | 管理委託料 | 減価償却費 | その他 | 合計 | |
| 中滝 | 49,339 | 1,739 | 51,078 | 8,233 | 1,682 | 97,227 | 1,417 | 108,559 | ▲57,481 |
| 福沢 | 11,806 | 500 | 12,306 | 1,598 | 261 | 21,632 | 437 | 23,928 | ▲11,622 |
| 新曙町 | 71,718 | 5,459 | 77,177 | 11,075 | 1,425 | 107,755 | 3,608 | 123,863 | ▲46,686 |
| サザン | 30,634 | | 30,634 | | | | 72,631 | 72,631 | ▲41,997 |
| 妙川寺 | 86,310 | 3,043 | 89,353 | 13,011 | 4,375 | 120,597 | 1,693 | 139,676 | ▲50,323 |
| 高熊 | 20,517 | 372 | 20,889 | 4,902 | 480 | 37,160 | 526 | 43,068 | ▲22,179 |
| 寺山 | 13,968 | 369 | 14,337 | 3,173 | 668 | 38,350 | 484 | 42,675 | ▲28,338 |
| 源川原 | 65,832 | 1,036 | 66,868 | 7,356 | 2,319 | 113,060 | 724 | 123,459 | ▲56,591 |
| 新上野 | 106,262 | 1,946 | 108,208 | 16,161 | 2,370 | 155,776 | 1,418 | 175,725 | ▲67,517 |
| 宮ケ島 | 141,528 | 3,660 | 145,188 | 31,493 | 14,474 | 52,375 | 1,262 | 99,604 | 45,584 |
| 長沢 | 176,278 | 4,559 | 180,837 | 33,070 | 4,796 | 56,725 | 1,257 | 95,848 | 84,989 |
| 千里(廃止) | 1,105 | 21 | 1,126 | 138 | 1,884 | － | 68 | 2,090 | ▲964 |
| 竹の内 | 3,795 | 344 | 4,139 | 1,376 | 9 | 15,405 | 96 | 16,886 | ▲12,747 |
| 山田中村 | 31,161 | 98 | 31,259 | 4,396 | 476 | 48,860 | 1,134 | 54,866 | ▲23,607 |
| 楡原西部 | 11,538 | 1,079 | 12,617 | 3,419 | 1,134 | 142 | 569 | 5,264 | 7,353 |
| 井田 | 7,364 | － | 7,364 | 2,408 | 146 | 39,215 | 262 | 42,031 | ▲34,667 |
| 奥田 | 127,392 | 23,998 | 151,390 | 11,873 | 47,309 | 2,596 | 17,808 | 79,586 | 71,804 |
| 稲代 | 3,143 | 181 | 3,324 | 512 | 377 | － | 106 | 995 | 2,329 |
| 合計 | 5,532,466 | 220,773 | 5,307,168 | 733,004 | 321,446 | 6,096,518 | 232,832 | 7,383,800 | ▲2,572,239 |

③　使用料の収納率（収入総額）

単位：千円

| 年度 | 区分 | 調定 | 収納 | 未納 | 不納欠損 | 収納率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | A | B | A-B-C | C | B/A |
| H29 | 住宅使用料 | 1,080,257 | 1,067,335 | 12,922 | － | 98.80% |
| | 駐車場使用料 | 20,595 | 20,353 | 241 | － | 98.83% |
| | 共　益　費 | 16,832 | 16,592 | 239 | － | 98.58% |
| | 計 | 1,117,684 | 1,104,281 | 13,403 | － | 98.80% |
| H30 | 住宅使用料 | 1,073,654 | 1,062,329 | 11,325 | － | 98.95% |
| | 駐車場使用料 | 20,346 | 20,112 | 234 | － | 98.85% |
| | 共　益　費 | 16,142 | 15,994 | 149 | － | 99.08% |
| | 計 | 1,110,143 | 1,098,435 | 11,708 | － | 98.95% |
| R1 | 住宅使用料 | 1,053,059 | 1,041,676 | 11,382 | － | 98.92% |
| | 駐車場使用料 | 19,681 | 19,481 | 199 | － | 98.99% |
| | 共　益　費 | 15,563 | 15,450 | 113 | － | 99.27% |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 | 1,088,302 | 1,076,607 | 11,695 | － | 98.93% |
| R2 | 住宅使用料 | 1,018,270 | 1,010,806 | 7,464 | － | 99.27% |
| | 駐車場使用料 | 19,301 | 19,188 | 113 | － | 99.41% |
| | 共　益　費 | 15,211 | 15,169 | 42 | － | 99.72% |
| | 計 | 1,052,782 | 1,045,163 | 7,619 | － | 99.28% |
| R3 | 住宅使用料 | 987,457 | 982,046 | 5,396 | 14 | 99.45% |
| | 駐車場使用料 | 18,936 | 18,817 | 120 | － | 99.37% |
| | 共　益　費 | 14,543 | 14,450 | 92 | － | 99.36% |
| | 計 | 1,020,936 | 1,015,314 | 5,608 | 14 | 99.45% |

④　使用料の収納率（滞納繰越分）

滞納繰越分の「調定額」は、前年度の滞納繰越分の残額に前年度に発生した未納額を加算した金額である。ただし、一部訴訟結果をふまえた調整などがあるため、一致しない場合がある。

単位：千円

| 年度 | 区分 | 調定 | 収納 | 未納 | 不納欠損 | 収納率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | A | B | A-B-C | C | B/A |
| H29 | 住宅使用料 | 72,368 | 24,236 | 46,310 | 1,822 | 33.49% |
| | 駐車場使用料 | 493 | 349 | 5 | 139 | 70.81% |
| | 共　益　費 | 545 | 421 | 124 | － | 77.17% |
| | 計 | 73,406 | 25,006 | 46,439 | 1,961 | 34.06% |
| H30 | 住宅使用料 | 59,232 | 15,555 | 41,172 | 2,505 | 26.26% |
| | 駐車場使用料 | 385 | 243 | 83 | 59 | 63.07% |
| | 共　益　費 | 364 | 149 | 215 | － | 40.83% |
| | 計 | 59,981 | 15,946 | 41,470 | 2,564 | 26.59% |
| R1 | 住宅使用料 | 52,759 | 14,644 | 34,184 | 3,930 | 27.76% |
| | 駐車場使用料 | 321 | 215 | 91 | 15 | 66.96% |
| | 共　益　費 | 399 | 240 | 113 | 47 | 60.04% |
| | 計 | 53,479 | 15,099 | 34,387 | 3,992 | 28.23% |
| R2 | 住宅使用料 | 45,566 | 13,278 | 30,904 | 1,384 | 29.14% |
| | 駐車場使用料 | 290 | 230 | 61 | － | 79.12% |
| | 共　益　費 | 240 | 111 | 129 | － | 46.40% |
| | 計 | 46,096 | 13,618 | 31,093 | 1,384 | 29.54% |
| R3 | 住宅使用料 | 37,941 | 9,324 | 27,992 | 626 | 24.57% |
| | 駐車場使用料 | 174 | 111 | 59 | 4 | 63.81% |
| | 共　益　費 | 133 | 68 | 64 | － | 51.46% |
| | 計 | 38,248 | 9,503 | 28,115 | 630 | 24.85% |

⑤　使用料の減免の状況

単位：千円

| H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|
| 94 | 72 | 59 | 80 | 50 |

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | | | | | 245,000 |
| その他事業収入 | 2 | | | | | － |
| その他の収入 | | | | | | － |
| **a.収入合計** | | | | | | **245,000** |
| 人件費 | 3 | | | | | 76,393 |
| 消耗品費 | | | | | | 1,156 |
| 燃料費 | | | | | | 187 |
| 印刷製本費 | | | | | | 255 |
| 修繕料 | 4 | | | | | 103,382 |
| 通信運搬費 | | | | | | 1,001 |
| 広告料 | | | | | | 132 |
| 保険料 | | | | | | 1,413 |
| 委託料 | 5 | | | | | 47,673 |
| その他の支出 | | | | | | 13,184 |
| **b.支出合計** | | | | | | **244,776** |
| **c.収支差額（a-b）** | | | | | | **224** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | | | | | **▲244,776** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設および指定管理の概要」および「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　その他事業収入について

自主事業として安心サポート倶楽部の運営がなされているが、その会費収入および必要経費の支出が含まれていない（詳細は後述）。安心サポート倶楽部とは、水回りの修繕、ガラスの修繕、鍵の紛失の際の製作費用など入居者の負担になる費用（指定管理料からの修繕料としての支出ができないもの）について、無料で修繕対応するサービスである。

※3　人件費について

当施設で勤務する職員の人件費（法定福利費含む）の内訳は以下のとおりである。

| 種類 | 人数（人） | 金額（千円） |
|---|---|---|
| 管理事務所職員 | 9 | 50,417 |
| 督促パート職員 | 1 | 2,698 |
| 営繕専門職員 | 5 | 13,690 |

| | | |
|---|---|---|
| 住宅管理人手数料 | 176 | 1,138 |
| 社内応援振替人件費 | － | 8,450 |
| 合計 | 191 | 76,393 |

営繕専門職員が行った修理作業分については、後述のとおり社内工事費として修繕料に計上している。営繕専門職員の総人件費から社内工事費に計上した費用分を差し引いた金額が上記営繕専門職員の人件費である。

社内応援振替人件費とは、市営住宅専門職員以外の職員が本社から派遣されて作業を行った場合に、作業時間をもとに単価を 2,550 円/h として計上している人件費である。

※4　修繕料について

修繕料は、外注費（外部業者に発注した修繕工事費）、社内工事費（指定管理者の職員が対応した工事について人件費相当額を修繕料として計上しているもの）、共通経費（共通仮設費、現場管理費、一般管理費）に区分されており、令和 3 年度のそれぞれの金額は以下のとおりである。

単位：千円

| 外注費 | | 社内工事費 | | 共通経費 | | | 総合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 外注費 | 消費税 | 直接材料費 | 直接工事費 | 共通仮設 | 現場管理 | 一般管理 | |
| 53,282 | 5,328 | 6,750 | 8,650 | 2,473 | 9,037 | 13,793 | 103,382 |

共通経費のうち、共通仮設費は外注費（税抜）および社内工事費の合計額の 3.6%、現場管理費は同合計額の 12.7%、一般管理費は外注費（税抜）、社内工事費、共通仮設費、現場管理費の合計額の 17.2%を計上している。これは公共建築工事共通費積算基準（平成 28 年改定）（国土交通省）をもとに各費用において算定基準とされている率の最低率（小数点以下第 2 位を四捨五入）を参照している。

※5　委託料について

消防設備点検、エレベーター保守点検、清掃、除草、配管洗浄などの業務を委託している。なお、指定管理者の他部門の人員が行った作業費（人件費）分を一部委託料として計上している（貯水槽清掃・調整池清掃業務。合計 2,244 千円）。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、富山市民に住居を提供するものであり、「低所得者向けの公営住宅（46 団地 4,385 戸）」、「中堅所得者など向けの特定公共賃貸住宅（7 団地 84 戸）」、「定住性の高い良質な賃貸を提供するための地域特別賃貸住宅（1 団地 6 戸）」、「富山市が独自に整備し、管理している賃貸住宅（3 団地 274 戸）」の 4 種類がある。また、公営住宅のうち 10 団地 257 戸は公民連携の借上げ住宅である。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメ

ントの取り組みを進めているが、市営住宅については、老朽化が著しい施設や稼働率が少ない施設、市場性が高く行政が運営を行わなくても支障がない施設などについて譲渡や廃止、機能の複合化や集約化、施設の長寿命化などの方針が示されている。団地毎の個別具体的なアクションプランは以下のとおりである。

| 団地名 | 方針 |
|---|---|
| 朝菜町 | 維持する。大規模修繕も行う。 |
| 奥田 | 廃止 |
| 辰尾 | 団地は継続するが空き家について解体も進める。 |
| 月岡 | 建替えを行って再整備し、集約化を図る。 |
| 城村 | 新規入居募集を停止し、不要な建物の解体と跡地の活用を進める。 |
| 水橋新保 | 維持しつつ、集約化を進め、不要な建物は解体する。 |
| 殿様林 | 新規入居募集を停止し、不要な建物の解体と跡地の活用を進める。 |
| 中滝 | 維持する。大規模修繕も行う。 |
| 井田 | 維持する。大規模修繕も行う。 |
| 妙川寺 | 維持する。大規模修繕も行う。 |
| 竹の内 | 維持しつつ、集約化を進め、不要な建物は解体する。 |

公営住宅のうち、新曙団地および寺山団地は各 12 戸が特定公共賃貸住宅として建設されたが、用途変更され、新曙団地の 10 戸、寺山団地の 11 戸が公営住宅（準特定優良賃貸住宅）として使用されている。井田団地は 12 戸が地域特別賃貸住宅として建設されたが、うち 6 戸が用途変更され、公営住宅（準特定優良賃貸住宅）として使用されている。

賃貸住宅のうち、稲代住宅についてのみ独自の条例（富山市稲代住宅条例）が制定されている。稲代住宅は、昭和 28 年 1 月、住宅に困っている母子家庭の住居の確保のため、当時の青年学校舎を利用改造し母子寮を建設したのが始まりであり、その後、低所得者、障害者を対象に町営アパートとして管理されてきた。建物の老朽化により平成 1 年度に木造平屋建てで 1 棟 9 戸が新築されて現在に至っている。同条例により、入居にあたっては身体障害者であることなどが要件とされ、また、収入が月額 104 千円以下（公営住宅制度における政令月収収入区分 1 相当）と定められている（富山市稲代住宅条例施行規則第 4 条）。

管理戸数・入居戸数の推移は、上記「1(1)イ．②および③」に記載のとおりである。管理戸数（政策空家は控除）は平成 30 年 4 月 1 日時点の 4,331 戸（総戸数 4,796－政策空家 465＝4,331 戸）から令和 4 年 4 月 1 日時点で 4,269 戸（総戸数 4,749－政策空家 457＝4,269 戸）となり、62 戸減少している。一方、入居戸数は平成 30 年 4 月 1 日時点の 3,692 戸（入居率 85.2%）から令和 4 年 4 月 1 日時点の 3,228 戸（入居率 75.6%）へと 464 戸減少しており、5 年間で急速に入居率が悪化している。この点、富山市は今後建替え以外で新たに市営住宅を造成する予定はなく、集約化や廃止によって総管理戸数を削減していく方針である。また、借上住宅（10 団地 257 戸）については 20 年の借上げ期間が経過すれば原則住人には退去（別の市営住宅への転居、又は借上げ期間終了後の家主と入居契約を新たに締結し継続入居すること等）を求める予定であり、総管理戸数を減少させることができる。借上げ住宅の住人には、入居時にあらかじめその旨説明をし、契約書にも期限を明記している。

市営住宅は、減価償却費を含めた収支差額が指定管理者制度導入前の 5 年間累計で 2,572,239 千円の赤字（借上げ住宅に関する国庫補助金収入 205,031 千円を考慮すると、2,367,208 千円の赤字）となっているが、当該赤字水準は 1 世帯あたり月 12 千円程度の補助金を支出しているのと同様の計算となり、低所得者などに対する住居費の援助として不当な水準ではない。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 175【意見 65】 | 市営住宅跡地の利活用 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 市営住宅は、利用者数が年々減少しており、老朽化した空家の取り壊しも順次進めていることから、広大な敷地をいかに有効に活用するかが課題となる。また、空家の取り壊しは予算の都合上、毎年一定数にとどまっていることから、廃墟化した建物の管理も課題となる。<br>施設所管課においては、特に敷地が広く老朽化が進行している団地（殿様林団地、城村団地、月岡団地、辰尾団地など）について、街づくりの観点から跡地の利活用方針を組織横断的に検討することが望まれる。 | |
| 176【意見 66】 | 稲代住宅の入居条件や今後の在り方の検討 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 稲代住宅は、身体障害者かつ収入が月額 104 千円以下でなければ入居できず、入居要件が他よりも厳しいため 3 戸しか入居者がいなくなっている（入居率 33.3%）。また、木造で築 30 年以上経過しているため、老朽化が進行している。加えて、身体障害者用の住居のため敷地入り口にスロープが設けられているが、玄関は狭く段差もあるため障害者にとって利便性が高い住居とも言えない。地理的にも障害者にとって利便性の高い場所にあるとは言えない。市営住宅の需要が高く、容易に入居できない状況下であれば、身体障害者かつ低所得者用の住宅を確保する必要性はあると考えられるが、市営住宅全体や稲代住宅の入居率が低下している現在の状況に照らせば、あえて稲代住宅に厳しい入居条件を設けて身体障害者専用の施設として維持する必要性は乏しい。身体障害者の住居確保については、他の市営住宅で身体障害者用の優遇措置（使用料を低額に設定するなど）を設けることによっても対応可能と考えられる。<br>施設所管課においては、稲代住宅について入居条件の見直しや将来的な施設の存廃を検討することが望まれる。 | |
| 177【意見 67】 | 高熊団地（特定公共賃貸住宅）の在り方 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 高熊団地は、公営住宅 16 戸と特定公共賃貸住宅 10 戸により構成されており、特定公共賃貸住宅 10 戸と公営住宅 16 戸は隣接しているが、別区画に建設されている。特定公共賃貸住宅の専有面積の方が若干広く、ファミリー向けの間取りとなっている。使用料（月額）は、公営住宅が 14,400 円～33,200 円であるのに対し、特定公共賃貸住宅は 47,800 円～65,000 円となっている。入居率は、公営住宅が 62.5%であるのに対し、特定公共賃貸住宅は令和 1 年度以降 10%（10 戸中 1 戸のみ入居）が続いている。<br>施設の外観および室内を視察したが、施設の状態や管理状況に特筆すべき問題は認められな | |

| |
|---|
| かった。よって、入居率が長期間低迷しているのは、地理的な問題などによって特定公共賃貸住宅としての需要が低いためと考えられる。市営住宅全体の入居率が低下していることや、特に八尾地域については全体的に入居率が低いことに鑑みれば、現状のまま継続しても入居率が改善する可能性は低いといわざるを得ない。また、入居者が長期間現れなければ、その分建物の傷みも進み、維持管理に要する費用も嵩むことが懸念される。<br>施設所管課においては、高熊団地（特定公共賃貸住宅）について現在の入居状況等を踏まえて今後のあり方を検討することが望まれる。例えば、特定公共賃貸住宅の枠を外して公営住宅として使用したり、民間企業への売却を検討したりすることが考えられる。 |

| | |
|---|---|
| 178【意見 68】 | 井田団地の在り方 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |

井田団地は、公営住宅（準特定優良賃貸住宅）6 戸と地域特別賃貸住宅 6 戸から構成されている。もともと 12 戸全体が地域特別賃貸住宅として建設されたが、うち 6 戸が用途変更され、公営住宅（準特定優良賃貸住宅）として使用されている。そのため、2 種類の住宅から構成されているが、間取りは同じである。使用料（月額）は、公営住宅が 14,300 円～38,000 円、地域特別賃貸住宅は 40,400 円～51,000 円である。井田団地は、公営住宅（準特定優良賃貸住宅）も地域特別賃貸住宅も入居率は低迷しており、令和 4 年 4 月 1 日時点でいずれも入居率は 33.3%にとどまっている。これは、平成 30 年度以降の入居率と同程度である。

施設の外観および室内を視察したが、施設の状態や管理状況に特筆すべき問題は認められなかった。中堅所得者向けに建設された建物であり、間取りは単身者でもファミリーでも使い勝手のよいものとなっている。にもかかわらず、地域特別賃貸住宅部分のみならず、公営住宅部分の入居率が長期間低迷しているということは、地理的な問題などによって需要が低いためと考えられる。市営住宅全体の入居率が低下していることや、特に八尾地域については全体的に入居率が低いことに鑑みれば、現状のまま継続しても入居率が改善する可能性は低いといわざるを得ない。少なくとも地域特別賃貸住宅として維持する必要性は乏しいと考えられる。

施設所管課においては、井田団地について現在の入居状況等を踏まえて今後のあり方を検討することが望まれる。例えば、地域特別賃貸住宅としての利用の是非を検討したり、その結果を踏まえて民間企業への売却可否を検討したりすることが考えられる。

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容などについては、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料である。施設使用料は住宅および駐車場の使用料収入であり入居者数によって変動する。当施設の入居者数は長期的に減少傾向にあり、施設使用料も漸減している。

富山市の主な歳出は、指定管理料、人件費、借上市営住宅費、施設修繕等に係る工事請負費である。指定管理料は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。人件費については、市営住宅課の担当職員の人件費である。令和 3 年度に指定管理施設に移行してから担当職員数が減少しており、人件

費も減少している。借上市営住宅費については、借上住宅について支払っている借上料である。借上げ期間の 20 年間について支払う賃料が合意されており、5 年ごとに借上料が漸減する契約内容となっている。契約内容や賃料水準を確認した結果、重大な問題は認められなかった。

なお、当施設は公営住宅（46 団地 4,385 戸）が一般会計で、特定公共賃貸住宅（7 団地 84 戸）、地域特別賃貸住宅（1 団地 6 戸）および賃貸住宅（3 団地 274 戸）が特別会計で処理されており、実質的に目的や機能が類似する施設にも関わらず会計区分が相違している。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 179【意見 69】 | 一般会計と特別会計の統一 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、公営住宅は一般会計で、特定公共賃貸住宅、地域特別賃貸住宅、賃貸住宅は特別会計で管理されている。この点、住宅によって異なる会計で管理する合理性は乏しい。<br>施設所管課においては、市営住宅の会計を一般会計か特別会計に統一することが望まれる。 | |

ウ．管理者の選定過程および指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っており、応募者数 2 者の中から㈱ホクタテが指定管理者に選定されている。㈱ホクタテは、建物や付帯設備の維持管理、運営、警備、清掃等を本業としており、富山県内の他市の市営住宅の指定管理者となっている。㈱ホクタテは、他市での指定管理業務を通じて得た豊富なノウハウや人員体制により安定的に市営住宅の維持管理を行っている。なお、指定管理候補者選定審査資料を査閲したが、指定管理者は他の応募者と比較して類似業務の経験や ISO14001 の取得状況等で強みが認められた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程および指定管理料の計算方法について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収入・支出の推移や内容などについては、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

当施設は、令和 3 年度から指定管理施設に移行しているため、指定管理者の収支について過年

度との比較分析を行うことはできない。そのため、富山市の直営時代（令和 2 年度以前）と比較しつつ、指定管理業務における支出の妥当性を検証する必要がある。

富山市の支出全体から、指定管理者に委託した業務に関する支出を抜粋すると、過去 5 年間（指定管理者制度導入前）の推移は以下のとおりである。

単位：千円

| 科目 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|
| 人件費 | 55,228 | 58,591 | 57,609 | 59,042 | 58,320 |
| 消耗品費 | 2,671 | 2,767 | 3,143 | 2,356 | 1,922 |
| 燃料費 | 138 | 216 | 220 | 228 | 227 |
| 印刷製本費 | 218 | 258 | 195 | 232 | 514 |
| 修繕料 | 142,033 | 137,422 | 136,482 | 134,037 | 143,609 |
| 通信運搬費 | 998 | 1,111 | 1,067 | 1,015 | 985 |
| 広告料 | 22 | 130 | 130 | 131 | 132 |
| 手数料 | 1,821 | 1,714 | 1,679 | 1,881 | 1,879 |
| 保険料 | 16 | 50 | 37 | 34 | 34 |
| 委託料 | 49,814 | 46,895 | 54,040 | 55,121 | 49,291 |
| 使用料および賃借料 | 223 | 915 | 376 | 263 | 263 |
| **合計** | **253,182** | **250,068** | **254,978** | **254,340** | **257,177** |

また、令和 3 年度における指定管理者の事業計画と実績の比較結果は以下のとおりである。

単位：千円

| 項目 | 計画 | 実績 | 内訳 |
|---|---|---|---|
| 人件費 | 46,812 | 76,393 | 職員、督促パート、住宅管理人手数料など |
| 消耗品費 | 2,625 | 1,156 | コピー、その他消耗品代 |
| 燃料費 | 254 | 187 | ガソリン代 |
| 印刷製本費 | 96 | 255 | 案内書、申込書など印刷費 |
| 修繕料 | 132,734 | 103,382 | 退去修繕、一般修繕、緊急修繕 |
| 通信運搬費 | 832 | 1,001 | 通信料、発送費など |
| 広告料 | 189 | 132 | 募集広告掲載料など |
| 手数料 | 556 | 70 | 振込手数料など |
| 保険料 | 529 | 1,413 | 施設賠償保険（身体・財物）など |
| 委託料 | 54,246 | 47,673 | 消防点検、エレベーター点検、警備、清掃など |
| その他経費 | 6,127 | 13,114 | 使用料、賃借料、備品購入費など |
| **合計** | **245,000** | **244,776** | |

指定管理者は、当施設で自主事業（安心サポート倶楽部）を行っている。安心サポート倶楽部とは、1 世帯あたり月 660 円（税込）の会費を支払うことで入居者が負担しなければならない支出（鍵の紛失、水回りトラブル、ガラス破損など）の保障を受けられるサービスであり、令和 3 年度は収入 52 千円（税込）、支出 42 千円（税込）となっている。なお、指定管理者は令和 3 年度から試行的に運用している指定管理者モニタリングレポート（指定管理者が自身の業務を自己

点検する枠組み）で自主事業の収支を報告しているほか、施設所管課への月例報告で加入者数を報告している。一方で、指定管理者は年度報告書で自主事業報告を行っていない。

また、指定管理者は、令和 3 年度にスペース委員会手数料として 1,552 千円を支出している。これは指定管理者制度導入前の富山市の取り扱いを踏襲したものである。スペース委員会とは各団地の駐車場の管理を行うための団体であり、各団地の住民で構成されている。スペース委員会は、富山市への駐車場使用申請等手続の取り次ぎ、駐車場の配置管理、車庫証明の発行、駐車場の維持管理などを行っている。なお、除雪費用などの駐車場の管理に必要な支出はスペース委員会が負担している。従来、市営住宅では、入居者が組織した管理組合（駐車スペース委員会）が自主的に管理するという条件で、敷地の一部を自動車保管場所として無料で使用許可してきた。その後、平成 8 年の公営住宅法の改正により駐車場が市営住宅に必要な共同施設として位置づけられたため、富山市では特定の利用者に受益者負担金を求めることとした。具体的には、平成 8 年以降建替を行った団地において駐車場有料化への切り替えを実施し、有料化した団地において委託業務に対し委託料を支払ってきたという経緯による。

指定管理導入前の支払基準および支払額（年間）の推移は以下のとおりであり、指定管理者制度導入後も同様の基準で支払われている。

（単位：千円）

| 団地名 | 積算根拠 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 上赤江 | @100 円×140 台×12 月 | 168 | 168 | 168 | 168 | 171 |
| 布目 | @100 円×173 台×12 月 | 208 | 208 | 208 | 208 | 211 |
| 水橋中村 | @100 円×114 台×12 月 | 137 | 137 | 137 | 137 | 139 |
| 新上野 | @100 円×124 台×12 月 | 149 | 149 | 149 | 149 | 152 |
| 月岡 | H28,29@100 円× 96 台×12 月<br>H30～ @100 円×149 台×12 月 | 115 | 115 | 179 | 179 | 182 |
| 楡原西部 | @100 円×32 台×12 月 | 38 | 38 | 38 | 38 | 39 |
| 奥田 | 月額 49,000 円×12 月 | 588 | 588 | 588 | 588 | 599 |

※令和 2 年度に金額が変わっているのは消費税率の変更によるものである。

※奥田団地は平成 8 年以降に建替えが行われた団地ではないが、同団地の 1 階の貸店舗の借主が加入する商店組合（スペース委員）との合意により金額が決められている。奥田団地は廃止が決定しており、スペース委員会への委託も廃止予定となっている。

その他、特別会計分は直営であった令和 2 年度まで団地単位で経費を把握していたため、令和 3 年度以降も指定管理者に対して団地単位での収支の報告を求めている。一方、一般会計分は従来から団地単位での収支管理をしていなかったため、令和 3 年度以降も指定管理者に対して団地単位での収支報告は求めていない（一般会計に係る市営住宅全体としての賃料収入と管理経費しか報告されていない）。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 180【指摘 7】 | 自主事業収支の年度報告書への添付 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 7）を識別している。 |
| 指定管理者は、当施設で自主事業（安心サポート倶楽部）を行っている。なお、指定管理者は令和 3 年度から試行的に運用している指定管理者モニタリングレポート（指定管理者が自身の業務を自己点検する枠組み）で自主事業の収支を報告しているほか、施設所管課への月例報告時に加入者数を報告している。一方で、指定管理者は年度報告書で自主事業報告を行っていない。<br>施設所管課においては、年度報告書で自主事業収支を区分報告するよう指定管理者に指導する必要がある。 | |
| 181【意見 70】 | 団地単位での収支報告 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は、公営住宅は一般会計で、特定公共賃貸住宅、地域特別賃貸住宅、賃貸住宅は特別会計で管理されている。特別会計分は直営であった令和 2 年度まで団地単位で経費を把握していたため、令和 3 年度以降も指定管理者に対して団地単位での収支報告を求めている。一方、一般会計分は従来から団地単位で収支管理をしていなかったため、令和 3 年度以降も指定管理者に対して団地単位の収支報告を求めていない（公営住宅全体としての賃料収入と管理経費しか報告されていない）。この点、施設所管課が各団地の存在意義や収支の改善可能性を評価し、その結果を踏まえて統廃合方針を検討するうえでは、団地別の収支報告が必要になると考える。<br>施設所管課においては、指定管理者から公営住宅（一般会計分）に係る団地単位での収支報告を入手することが望まれる。 | |
| 182【意見 71】 | スペース委員会手数料の実績報告 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 指定管理者は、駐車場の管理を行っているスペース委員会から実施報告書を入手しているが、当該報告書には収支報告が記載されておらず、業務内容もごく簡単なものとなっている。<br>施設所管課においては、スペース委員会から活動実態や収支の内容が分かる詳細な報告書を入手し、手数料の金額に過不足が生じていないか、目的通りに使用されているか等を検証するよう指定管理者に指導することが望まれる。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## ３８． 城址公園、城址公園駐車場

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>施設名称及び所在地</td><td>城址公園：　富山市本丸 1 番 1<br>城址公園駐車場：　富山市本丸 1 番 42</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>城址公園：　公園緑地課<br>城址公園駐車場：　管財課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>城址公園：　富山市都市公園条例及び同条例施行規則<br>城址公園駐車場：　富山市駐車場条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>城址公園：　都市公園として、市民の休息、災害時の避難場所等の用に供する<br>城址公園駐車場：　駐車場法（昭和 32 年法律第 106 号）に基づき駐車場を管理運営する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積（㎡）</th><th>建設費（千円）</th></tr>
<tr><td>城址公園管理事務所</td><td>S53</td><td>38</td><td>0</td><td>189.60</td><td rowspan="8">51,672</td></tr>
<tr><td>城址公園公衆便所(芝生広場)</td><td>H2</td><td>31</td><td>0</td><td>71.12</td></tr>
<tr><td>城址公園売店</td><td>S55</td><td>20</td><td>0</td><td>137.20</td></tr>
<tr><td>城址公園休憩所 2</td><td>H25</td><td>24</td><td>16</td><td>4.50</td></tr>
<tr><td>城址公園公衆便所(バス駐車場)</td><td>H19</td><td>38</td><td>24</td><td>71.28</td></tr>
<tr><td>城址公園親水の庭四阿</td><td>S63</td><td>24</td><td>0</td><td>9.00</td></tr>
<tr><td>城址公園芝生広場ステージ</td><td>H20</td><td>38</td><td>25</td><td>210.10</td></tr>
<tr><td>城址公園駐車場 1</td><td>S46</td><td>38</td><td>0</td><td>4,236.85</td><td rowspan="2">344,004</td></tr>
<tr><td>城址公園駐車場 2</td><td>H19</td><td>38</td><td>24</td><td>42.59</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>営業期間</td><td>休業日：　城址公園：　都市公園であり常時利用可能<br>城址公園駐車場：　無し<br>開業時間：　城址公園：　都市公園であり常時利用可能<br>城址公園駐車場：　0:00～24:00（24 時間営業）</td></tr>
<tr><td>公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>● 城址公園<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「公園」については、現状のまま維持することを基本としつつ、社会情勢の変化や必要性を考慮したうえで、機能や配置の再編について検討するとともに、公園施設の計画的な管理を推進するため長寿命化の方針を定める。特に、避難場所として利用されることを考慮し、公園内に設置されている施設について適切な点検及び維持管理による安全確保を図る。また、指定管理者制度に基づいた業務の進捗管理や指定管理料の</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | 見直し等、維持管理・運営の改善や効率化を進めるとともに、公募設置管理制度（Park-PFI）により民間の視点を取り入れながら魅力的な公園づくりを進める。<br>● 城址公園駐車場<br>市営駐車場は、引き続き適正な維持管理に努める。 |
| | ＜第2次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>● 城址公園<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。<br>● 城址公園駐車場<br>当施設はアクションプランの対象となっており、機能維持の方針は「継続」となっている。また、機能の提供形態は「維持」が検討されており、整備手法は「修繕」、「長寿命化（大規模改修）」が検討されている。 |
| その他 | 当施設のうち城址公園駐車場は、特別会計「駐車場事業」の対象となっている。 |

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

| | |
|---|---|
| 指定管理者 | 富山城址公園パークマネジメント共同企業体（㈱久郷一樹園を代表企業とし、（一社）地域デザイン研究所、㈱TOYAMATO、㈱野上緑化、㈱ビーマックスを構成員とする共同企業体）<br>所在地：　富山市丸の内3丁目2番6号<br>代表者：　久郷　愼治（共同企業体の代表企業である久郷一樹園の代表取締役社長）<br>事業概要：　城址公園及び城址公園駐車場の管理運営業務<br>富山市との関係：　特記事項無し |
| 指定管理業務の概要 | ● 城址公園施設の運営に関する業務<br>● 城址公園施設の維持管理に関する業務<br>● 城址公園駐車場の運営管理に関する業務<br>● その他、市長が必要と認める業務 |
| 指定期間 | 3年間（令和3年度～令和5年度） |
| 指定管理料 | 各年度の指定管理料は下記金額を基本とし、各年度の開始前に富山市と指定管理者が協議の上定める（令和2年度締結の基本協定書）<br>単位：千円 |

| | R3 | R4 | R5 |
|---|---|---|---|
| 指定管理料 | 62,037 | 62,037 | 62,037 |

| | |
|---|---|
| 選定方法 | 公募（応募者数1者） |
| 使用料の帰属 | 富山市（使用料制） |
| 施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係 | ● 経年劣化によるもの、又は相手方が特定できない第三者の行為によるもののうち、原状回復に要する経費の年度合計額が以下の金額以下の場合は、指定管理者がこれを負担する。<br>● これを超えることが見込まれるときは、富山市と事前協議する。 |

<table>
<tr><td></td><td>
● 修繕料は管理委託料に含めることとし、年度末に不用額が生じた場合は、公園施設、地下駐車場それぞれにおいて精算する。
<br>単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr>
<tr><td>公園施設</td><td>3,000</td><td>3,000</td><td>3,000</td></tr>
<tr><td>地下駐車場</td><td>625</td><td>625</td><td>625</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者が外郭団体以外であるため）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>
指定管理選定資料の「自主事業提案書」では以下の提案がある。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業の概要</th><th>参加者数・収支等</th></tr>
<tr><td>TOYAMA JYOSHI SPORTS DAY</td><td>実施時期は令和3年9～10月、城址公園の芝生広場を活用し、富山の3スポーツ団体が協力のもと、子供たちや地域が一緒になって遊べる参加型スポーツイベントを開催する</td><td>参加人数300名。収入はキッチンカーでの飲食販売等で530千円、支出は人件費等で530千円を見込む</td></tr>
<tr><td>城址公園の日イベント</td><td>市民に「城址公園ではいつ来ても何かをやっている」と認識してもらうべく、春夏秋冬に1～2回ずつ定期イベントを実施する</td><td>参加料は1人1,000円、参加人数は数百～数千人。収入、支出とも1イベント500千円程度</td></tr>
<tr><td>パークアーティストによるミニライブ</td><td>城址公園の日イベントで開催されるオーディションに合格したアーティストにライブの場を提供し、アーティストの発掘と育成を目指す</td><td>収入は無く支出は40千円程度を見込む</td></tr>
<tr><td>ビアガーデン＆バーベキュー</td><td>夏季の週末に芝生広場周辺や南西広場に飲食スペースを作り、公園内で飲食を楽しんでもらう</td><td>1回当たりの収入は94千円程度、支出も94千円程度を見込む</td></tr>
<tr><td>移動販売車誘致事業</td><td>共同企業体の構成員である地域デザイン研究所が主催する「トヤマキッチンカーオーナーズクラブ」の協力を得てイベント開催時等に飲食販売を実施する</td><td>1店舗1回当たりの収入は3千円、支出は1千円を見込む</td></tr>
<tr><td>コインパーキングの設置、運営</td><td>地下駐車場だけでは駐車スペースが不十分であり、また停車後すぐに芝生広場を利用できるようにするため、公園空き地にコインパーキングを設置し利便性の向上に努める</td><td>駐車料金収入(運営経費控除後)は1ヶ月120千円、支出は占用料44千円を見込む</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>
指定管理選定資料の「収益向上提案書」では以下の提案がある。
<br>● 地下駐車場の利用率向上のため、周辺駐車場との連携による空き駐車場への誘導、定期券利用者の新規獲得への注力、PRチラシの作成等を実施する
</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | ● バス駐車場の利用率向上のため、集合写真撮影補助、国内施設と連携したツアー企画、幼稚園の遠足誘致、簡易洗車設備の無料貸し出し等を行う<br>● 芝生広場近傍に常設の管理事務所を設け、日中はスタッフが常駐し利用者の案内や利用説明を行う。また、平常時サービスの一環としてシトロエンカフェを併設し公園の日常使いを演出する。<br>● 公園専用の web サイトを開設するとともに Youtube で情報発信を行い、利用者増加につなげる<br>● 城址公園フォトコンテストを開催し、四季折々の公園の魅力に触れてもらうことで来園頻度向上を図る<br>● 城址公園のガイド冊子を発刊する<br>● 無料のレンタル遊具や一部有料のレンタル備品を整備し利用者の満足度を向上させる |

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

① 城址公園

単位：人

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 城址公園 | 無料 | 1 | ※1 | ※1 | ※1 | ※1 | ※1 |

＜補足コメント＞

※1　利用者数について

当施設は、時間帯を問わず無料で利用可能であるため正確な利用者数は把握できていない。なお、指定管理者は、令和 3 年度に以下のにぎわい創出イベントを実施しているが、夏季はコロナ感染者数が急増したためイベントを開催できなかった。また、イベントの参加人数はリストバンド等で集計できている場合もあるが、集計できていない場合も多い。

- 城址公園パークセンター及びカフェカー
  11 月から運用を開始した。なお、当施設は園外から公園内部を見通しにくく、平日のカフェカーの利用者数が少なかったため、金～日に限定して実施した。
- コインパーキング
  6 月に設置工事を実施し 7 月から事業を開始した。当該駐車場収入はにぎわい創出のためのイベント実施費用の一部に充当している。
- 城址公園フォトコンテスト
  来園頻度の向上等を目的として、4 月 30 日～12 月 20 日の期間で作品を募集した。県内外より 161 件の応募があり表彰結果は城址公園 HP で公表した。
- アウトドア×スポーツイベント
  10 月にツリークライミングや火起こし体験等のアウトドア分野と、キックターゲットやストラックアウトなどのスポーツアクティビティを織り交ぜて体験できるイベントを開催した。県内のプロスポーツチームから選手を招き参加者との交流を図るとともに、キッチンカーを中心とした飲食コンテンツを充実させ、公園のにぎわい

創出や利用促進を行った。入場者数は感覚的に 1,000 人程度と考えられる。

- 大手-駅北冬のぐるめぐり　県内野菜たっぷり！あつあつグルメ編
  1 月 15 日～16 日に駅北の公園や近隣の商店街等と連携してライブパフォーマンス、野菜販売、デジタルスタンプラリー、イルミネーションウォーク等を実施した。入場者数は感覚的に 1,000 人程度と考えられる。
- まちなかミュージック＆フードフェスティバル　＃おとめし 2022
  3 月に県内飲食店 28 店舗による飲食ブースの出店、カフェカーでの飲食提供、観賞無料のライブパフォーマンス、子供向けワークショップブースの設置、パレルサウナ体験、自動車展示等を実施した。悪天候により 2 日間の日程を 1 日に短縮したが、約 3,800 人の来場者があり、年間を通して最も集客があるイベントとなった。

② 城址公園駐車場

単位：台数

| 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ＜普通駐車＞<br>1 時間　330 円<br>以後 30 分　110 円 | 1 | 39,700 | 39,984 | 42,574 | 20,635 | 18,831 |
| ＜回数券＞<br>330 円券 11 枚　3,300 円<br>110 円券 11 枚　1,100 円<br>＜パーキングカード＞<br>3,300 円相当　3,000 円<br>5,500 円相当　5,000 円 | 1 | 2,900 | 2,738 | 2,186 | 953 | 1,034 |
| ＜定期券利用＞<br>全日券　16,500 円<br>昼間券　13,200 円<br>夜間券　9,900 円 | 1 | 22,657 | 21,360 | 21,144 | 18,406 | 19,234 |
| **合計** | | **65,257** | **64,082** | **65,904** | **39,994** | **39,099** |

＜補足コメント＞

※1　利用者数について

令和 2 年度以降は、コロナ禍により市内中心部の人出が減少したこと、各種イベントが中止されたこと等により普通駐車の利用者数が大きく減少している。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

① 城址公園

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 公園使用料 | 1 | 246 | 430 | 2,348 | 788 | 2,234 |
| 公園占用料 | | 34 | 34 | 32 | 48 | 32 |
| その他の歳入 | 2 | 318 | 283 | 353 | 281 | － |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **a.歳入実績合計** | | **598** | **747** | **2,734** | **1,118** | **2,267** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | － | － | － | － | 41,754 |
| 委託料（その他） | 4 | 17,657 | 17,673 | 25,204 | 26,332 | 3,242 |
| 修繕料 | | 4,734 | 994 | 2,773 | 3,809 | － |
| 光熱水費 | | 9,842 | 9,698 | 9,128 | 9,143 | － |
| **b.歳出実績合計** | | **32,235** | **28,366** | **37,106** | **39,286** | **44,997** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲31,637** | **▲27,619** | **▲34,371** | **▲38,168** | **▲42,728** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲30,615** | **▲30,615** | **▲37,855** | **▲36,467** | **▲42,145** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **1,022** | **2,995** | **3,483** | **▲1,701** | **▲583** |

＜補足コメント＞

※1　公園使用料について

城址公園の使用料や園内バス駐車場の駐車料であり、令和3年度の主な内訳は、「園内バス駐車場の駐車料1,306千円」等である。イベント回数や駐車台数等に連動するが、令和3年度に開催されたイベント等については、上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。

令和1年度は、7月から園内バス駐車場が有料になったことにより発生額が増加している。令和2年度は、コロナ禍でバスの駐車台数が大幅に減少したため、発生額が減少している。

※2　その他の歳入について

令和2年度以前の主な内訳は、「イベント時に発生する電気料や水道料等の実費徴収額」である。当施設は、令和2年度まで富山市の直営施設であり富山市が立替払いした電気料等をイベント開催者から徴収していた。なお、令和3年度から指定管理施設となりイベント時の電気料等も指定管理者が負担するようになったため、発生額がなくなっている。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

なお、当施設の管理業務仕様書では「公園施設の年間修繕料を3,000千円とし年度末に不用額が生じた場合は精算する」とされている。これにもとづき、令和3年度は公園施設で12千円の返金が発生している。

※4　委託料（その他）について

令和3年度の主な内訳は、「松川べり休憩所管理業務委託1,141千円」、「城址公園景雲橋木製欄干改修業務委託2,101千円」等である。

② 城址公園駐車場

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 40,206 | 39,468 | 39,010 | 24,607 | 23,794 |
| 目的外使用料 | 2 | 47 | 47 | 47 | 47 | 50 |
| **a.歳入実績合計** | | **40,253** | **39,515** | **39,057** | **24,654** | **23,844** |
| 委託料（指定管理料） | 3 | 23,225 | 23,473 | 23,980 | 23,980 | 20,270 |
| **b.歳出実績合計** | | **23,225** | **23,473** | **23,980** | **23,980** | **20,270** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **17,028** | **16,042** | **15,077** | **674** | **3,574** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | **4** | | | | | |
| **e.予実差異(c-d)** | **4** | | | | | |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

城址公園駐車場の駐車料金であり、利用者数等に連動する。利用者数等の推移は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

令和3年度の大まかな内訳は、定期券が約6割、普通駐車が約4割となっている。

※2　目的外使用料について

主な内訳は、「自動販売機設置に係る目的外使用料」である。

※3　委託料（指定管理料）について

指定管理料は、指定管理候補者選定時に提出された事業計画（各年度の施設管理費見込額）をもとに計算されている。

令和3年度は、指定管理者の交代に伴って指定管理料が減少している。

※4　予算額及び予実差異について

富山市は、特別会計である市営駐車場4施設を一体として予算化している。そのため、城址公園駐車場のみの予算額を計算することが困難であり、予算・決算比較は省略する。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

①　城址公園

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | | | | | 41,754 |
| 自主事業収益 | 2 | | | | | 1,309 |
| **a.収入合計** | | | | | | **43,064** |
| 人件費 | 3 | | | | | 6,144 |
| 光熱水費 | 4 | | | | | 8,793 |
| 植物管理費 | 5 | | | | | 11,264 |
| 清掃管理費 | | | | | | 1,026 |
| 施設設備管理費 | | | | | | 3,899 |
| 修繕料 | 6 | | | | | 2,987 |
| 利用促進費 | | | | | | 2,999 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自主事業原価 | 2 | | | | | 998 |
| その他支出 | | | | | | 3,656 |
| **b.支出合計** | | | | | | **41,766** |
| **c.収支差額（a-b）** | | | | | | **1,298** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | | | | | **▲40,456** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　自主事業収益及び自主事業原価について

令和3年度の自主事業収益の内訳は、「コインパーキングの駐車料及びカフェカー売上995千円」、「光熱水費使用者負担分306千円」等である。

※3　人件費について

当施設で勤務するパークセンター長とパークスタッフリーダー2 人の人件費である。当施設では、火曜日以外に1～2名が常駐している。なお、指定管理者の構成員である各社の社長は、毎月運営会議等を行っているが報酬は受け取っていない。

令和3年度の1人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は2,048千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

※4　光熱水費について

主な内訳は「電気料（低圧契約)」である。特に和風庭園の滝ポンプを稼働させるために多額の電気料が発生している。

※5　植物管理費について

主な内訳は、「指定管理者の代表企業である㈱久郷一樹園に対する公園管理委託料」である。主な業務内容は、草刈り、高木剪定、濠の水質管理、ゴミ収集等である。

※6　修繕料について

令和3年度の主な内訳は、「ゴミBOX修繕料565千円」、「和風庭園滝ポンプ交換費534千円」等である。

② 城址公園駐車場

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料(富山市) | 1 | | | | | 20,270 |
| 自主事業収益 | 2 | | | | | 42 |
| **a.収入合計** | | | | | | **20,312** |
| 人件費 | 3 | | | | | 14,000 |
| 光熱水費 | 4 | | | | | 3,283 |
| 施設設備管理費 | | | | | | 2,875 |

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 修繕料 | | | | | | 625 |
| 自主事業原価 | 2 | | | | | 33 |
| その他支出 | | | | | | 2,024 |
| **b.支出合計** | | | | | | **22,840** |
| **c.収支差額（a-b）** | | | | | | **▲2,528** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | | | | | **▲22,798** |

＜補足コメント＞

※1　指定管理料(富山市)について

内容は、「(1)ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

※2　自主事業収益及び自主事業原価について

自主事業収益の主な内訳は「自動販売機設置手数料収入」である。

※3　人件費について

当施設で勤務する駐車場管理事務員 11 人の人件費である。当施設の職員は 24 時間シフト制で勤務しており、1 人が事務所に常駐している。人件費単価は、「富山城址公園パークマネジメント共同企業体経理取扱規則」で決められており、時間帯によって 1,360 円～1,760 円となっている。

令和 3 年度の 1 人当たり人件費（＝人件費÷職員数）は 1,272 千円であり、著しく高額である等の問題は認められない。

※4　光熱水費について

主な内訳は「電気料（高圧契約)」であり、駐車場の空調用動力ファンの稼働等に使用されている。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、富山市中心部に存在する富山城跡地を整備した都市公園とその地下に存在する駐車場である。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、公園については、現状のまま維持することを基本としつつ、社会情勢の変化や必要性を考慮したうえで機能や配置の再編、長寿命化等を行う方針が示されている。また、城址公園駐車場については、引き続き適正な維持管理に努める方針が示されている。

城址公園は、佐々成政や富山藩主前田家の居城跡であり、石垣やお濠、和風庭園、芝生広場、富山市郷土博物館（富山市の直営施設)、富山市佐藤記念美術館（富山市の直営施設）などが設

置されている。城址公園は富山市中心部の大規模都市公園であり、桜の名所である松川に隣接しているため春先には多くの花見客で大混雑する。このように、城址公園は富山市中心部に所在する大規模都市公園であり、富山市が掲げる中心市街地活性化の観点からその存在意義は十分認められる。一方で、城址公園は、公園機能の整備が不十分なエリアが存在する。

城址公園駐車場は、昭和 46 年にまちなかの賑わい創出や利便性向上に資する目的で開設された。城址公園駐車場は、富山市中心部に位置し、県庁や市役所、オフィス街に近く、観光客や周辺施設の利用者に活発に利用されている。また、城址公園駐車場は 24 時間営業であり、管理員を常駐させることで利用者の安心や利便性向上を図り、他の駐車場との違いを明確にできている。加えて、駐車場事業特別会計は従前から歳入超過を維持しており、一般会計への繰出金の拠出を通じて富山市の財政負担軽減に寄与している。このように、城址公園駐車場は、現時点でその必要性や存在意義に重大な問題は生じていないと判断する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 183【意見 72】 | 城址公園北側の未整備エリアの利活用 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 城址公園は、平成 16 年以降断続的に再整備構想が検討されているが、具体的な方針を決定できないまま現在に至っている。そのため、城址公園の北側には未整備エリアが存在し、公園の賑わい創出機能を低下させている可能性がある。現在、当該エリアには富山市環境部が有害鳥獣（カラス）捕獲檻を設置しており、殺伐とした雰囲気になっている。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、当該エリアの利活用方針を検討することが望まれる。例えば、当該エリアは大木が生えていて森林の雰囲気を味わえるため、有害鳥獣捕獲檻を撤去したうえで、雰囲気にあったイベント（バーベキュー、森林セラピー、動物や昆虫とのふれあい企画等）を開催することが考えられる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ．富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料（公園使用料、駐車場使用料）である。

富山市の主な歳出は、指定管理料である。指定管理料は、下記「(2)ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ．指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

ウ．指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要

や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア．施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

指定管理者が選定された際の指定管理候補者選定委員会資料を査閲したが、選定にあたっては「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「富山市公の施設の指定管理者制度運用に関する指針」に則った事務手続及び判断が行われていた。また、指定管理料は、指定管理者が指定管理候補者選定委員会に提出した施設管理費の事業計画をもとに決定されていた。

当施設は、指定管理者の選定を公募で行っているが、応募者数は1者のみであり、富山城址公園パークマネジメント共同企業体（㈱久郷一樹園を代表企業とし、(一社)地域デザイン研究所、㈱TOYAMATO、㈱野上緑化、㈱ビーマックスを構成員とする共同企業体）が指定管理者に選定されている。このうち、久郷一樹園は平成10年から城址公園の管理業務を受託しており、㈱野上緑化とともに公園管理業務を担当している。(一社)地域デザイン研究所と㈱TOYAMATOは、まちづくりに関する企画やコンサルティング、観光事業等を営んでおり、城址公園のにぎわい創出（イベント開催等）を担当している。㈱ビーマックスは駐車場等の管理業務を行っており、城址公園駐車場の運営管理を担当している。このように、共同企業体の構成員は、それぞれの分野で施設を維持運営していくための豊富なノウハウを有しており、当施設の指定管理業務を遂行する上で十分な適格性を有していると評価できる。

一方で、基本協定書を確認した結果、指定管理者が行う業務の範囲に「使用料の徴収に関する業務」が記載されていない、修繕料の精算条項が記載されていない等の問題が発見された。また、富山市は、指定管理者の選定にあたって城址公園の賑わい創出を重視しているが、そのための財源措置がなされていなかった。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 184【意見3】 | 基本協定書への使用料徴収業務の記載漏れ |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第3章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する意見（意見3）を識別している。 |
| 基本協定書を査閲した結果、管理業務の範囲（第3条）の箇所に「使用料の徴収に関する業務」が記載されていなかった。なお、第3条には「上記の他、管理に関して市長が必要と認める業務」の記載があるが、使用料の徴収は指定管理業務の重要要素であり基本協定書に明記すべきと考える。<br>施設所管課においては、基本協定書を更改する際に、管理業務として「使用料の徴収に関する業務」を記載することが望まれる。 | |
| 185【指摘4】 | 賑わい創出活動の財源確保 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第3章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘4）を識別している。 |

富山市は、指定管理者の選定にあたって城址公園の賑わい創出を重視しているが、賑わい創出は指定管理業務や個別委託事業とはなっていない。そのため、指定管理者は、コインパーキングの運営やイベントの開催といった自主事業による収入をもって賑わい創出活動を行っている。しかし、これらの自主事業から多額の利益を得ることは困難であるため財源が恒常的に不足しており、中長期的に賑わい創出活動を継続できなくなる恐れがある。

施設所管課においては、指定管理者と協議の上、賑わい創出活動のための金銭面・体制面の支援策を検討する必要がある。例えば、城址公園の賑わい創出が富山市のまちづくり政策上必要不可欠なものである場合は、それに係る業務は自主事業とは言い難いため、性能発注の指定管理業務として整理することが考えられる。この点、まちなか賑わい広場（グランドプラザ）の管理業務仕様書では「中心市街地において市民の交流を促進し、賑わいを創出するために必要な事業を実施すること」を指定管理業務に含めており、賑わい事業費を指定管理料に上乗せしているため、参考にされたい。また、賑わい創出活動を指定管理業務に組み込まず個別委託事業として発注したり、指定管理者が賑わい創出活動（イベント）を開催する際に城址公園や城址公園駐車場の使用料を減免したりして支援することが考えられる。その他、他の市営駐車場の指定管理業務では駐車場使用料が前期比で増加した場合にその一部をインセンティブとして指定管理者に支払っているため、城址公園駐車場でも同様の枠組みを導入し、駐車場の利用促進と賑わい創出活動の財源確保を図ることが考えられる。

エ．指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1．(2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ．指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料である。なお、指定管理者は自主事業としてコインパーキングの運営やイベントの開催を行っているが、特にイベントについては参加料が無料または低廉であるため、自主事業収入は少額になっている。

指定管理者の主な支出は、人件費、光熱水費、公園管理に関する委託料である。人件費については、指定管理者は管理業務仕様書に定められた人員体制で業務を行っており、かつ当該体制は現在の施設稼働状況に照らして必要十分なものであると判断できたため、重大な問題は認められなかった。光熱水費については、公園の滝ポンプや駐車場の空調ファンを稼働させるための電気料が多額に発生しているが、現状の設備や営業時間等を勘案するとその内容や金額に重大な問題は認められなかった。委託料については、富山市の顔となる都市公園の植栽管理や清掃業務委託等であり、業務内容や契約金額に重大な問題は認められなかった。

一方で、指定管理業務の評価については、富山市が希望している賑わい創出について、賑わいの定義や評価指標が明確になっておらず指定管理業務の成果を客観的に評価できていない可能性が認識された。また、様々な関係者と意見交換しているなかで、城址公園の賑わい創出のための手法について複数のアイディアが提案された。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 186【指摘 8】 | 賑わい創出結果の評価方法の策定 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 8）を識別している。 |

施設所管課は、指定管理者に対して当施設の賑わい創出を希望しているが、賑わいの定義や賑わい創出結果を示す指標が明確になっておらず、成果を客観的に評価できなくなっている。例えば、普段使いの賑わいとイベントでの賑わいはその性質が異なるものであり、どちらを優先するのかによって指定管理者の行動も変わってくることになる。

施設所管課においては、他団体の事例等を研究の上、当施設における賑わいの定義を明確にする必要がある。そのうえで、当施設のあるべき姿を指定管理者と共有し、賑わい創出活動の結果を客観的に評価するための KPI（重要業績評価指標）を設定していく必要がある。

| | |
|---|---|
| 187【意見 73】 | 賑わい創出のための情報共有や体制整備 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |

指定管理者は、城址公園の賑わいを創出するため精力的にイベントを開催している。一方で、まちなかの賑わいは他の施設やサービスと連携し相乗効果を発揮することで生み出されるものであるため、当施設単独の活動では限界がある。この点、富山市は多くの公共施設や多様なコネクションを有しているため、指定管理者に新たな視点での情報提供や支援を行える可能性がある。

施設所管課においては、城址公園の賑わい創出に役立ちそうな情報を積極的に収集し、指定管理者とタイムリーに協議していくことが望まれる。なお、目的を秘して富山市民に意見を求めた結果、城址公園の賑わい創出について様々な意見が提案されたので、参考とされたい。

＜普段使いでの賑わい創出＞

- 家族連れの利用を増やすため、子供向けの遊具等を常設してはどうか
- 空きスペースに集客力のある飲食テナント（スターバックスなど）を誘致してはどうか

＜イベント開催による賑わい創出＞

- 城址公園の構造上、外から内部の様子が分かりにくいので、イベントを開催するときはアドバルーンを上げてはどうか
- 姫路城公園では朝市が名物になっているので検討してみてはどうか。例えば、定着するまでは毎月 1 回決まった日に開催し、可能なら他のイベントと組み合わせるとよい。また、富山市の外郭団体である㈱富山市民プラザが運営している地場もん屋が出張販売を行っているので、連携の可能性を検討してみてはどうか
- 野外活動教育センターや児童館と連携して、子供向けイベントを開催してはどうか

＜賑わい創出のための体制整備＞

- 新たなアイディアを生み出すため、中心市街地活性化の役割を担っている指定管理者やその施設所管課を交えて報交換会を開催してはどうか
- ㈱富山市民プラザが行っている 2 時間駐車無料サービスに参加し、イベント参加者の駐車料金を無料にしてはどうか（駐車料金はイベント主催者が負担）。また、イベント開催

| | |
|---|---|
| 時は城址公園駐車場の駐車料金を減免してはどうか。<br>● 自主事業である園内のコインパーキングについて、利便性を高めるため試行的に駐車料金を引き下げてみてはどうか（城址公園駐車場等に悪影響がなければ恒久化する）。 | |
| 188【指摘 9】 | 指定管理業務収支への人件費の集計 |
| 全般的運用状況 | 複数の施設で類似の発見事項が発生しており、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する指摘事項（指摘 9）を識別している。 |
| 指定管理者は参加企業の経営者によって運営されている。各経営者は、毎月 1 回運営会議を開催するなど指定管理業務に相応の時間を割いているが、それらの人件費を指定管理業務収支に計上していない。指定管理業務収支が正確に計算されていないと指定管理業務の効率性や指定管理料の妥当性の検証が困難になる。また、指定管理者に過大な負担が生じ、継続的、安定的な指定管理業務の遂行に支障が生じる恐れがある。<br>施設所管課においては、指定管理者と協議の上、指定管理業務に伴う費用は網羅的に集計、報告するよう指導する必要がある。 | |

オ．過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。

## ３９． 富山霊園富山市斎場

### （1） 概要

ア．施設及び指定管理の概要

① 施設の概要

<table>
<tr><td>所在地</td><td>富山市西番 135 番地</td></tr>
<tr><td>所管部署</td><td>環境保全課</td></tr>
<tr><td>関連条例等</td><td>富山市斎場条例及び同条例施行規則</td></tr>
<tr><td>条例に定める施設の目的</td><td>地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 1 項に基づき施設を設置する</td></tr>
<tr><td>施設の主な建物の概要</td><td>
<table>
<tr><th>主な建物</th><th>建築年</th><th>耐用年数</th><th>残存年数</th><th>延床面積<br>（㎡）</th><th>建設費<br>（千円）</th></tr>
<tr><td>斎場</td><td>R3</td><td>65</td><td>64</td><td>3,488.15</td><td>4,024,965</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>開場期間</td><td>休場日：　　1 月 1 日<br>開場時間：　8:30～17:15</td></tr>
<tr><td>公共施設マネジメント方針</td><td>＜公共施設等総合管理計画（令和 3 年 12 月一部改訂）＞<br>当施設については直接的には言及されていない。<br>当施設を含む「その他行政施設」については、当施設以外の 3 斎場（直営施設）については、火葬件数に応じ適時適切な施設改修・設備の更新を検討するとともに、再編についても検討する。</td></tr>
<tr><td></td><td>＜第 2 次公共施設マネジメントアクションプラン(実行編) 2022～2026＞<br>当施設はアクションプランの対象施設とはなっていない。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>当施設は、令和 3 年度に PFI を導入して再整備を実施しており、PFI の事業主体がそのまま指定管理者となっている。</td></tr>
</table>

② 指定管理者及び指定管理業務の概要

<table>
<tr><td>指定管理者</td><td>㈱あおぎの（佐藤工業㈱を代表企業とし、㈱宮本工業所、㈱五輪、㈱ホクタテを構成員、㈱山下設計を協力企業とする共同企業体）<br>所在地：　富山市桜木町 7 番 38 号<br>代表者：　篠原　靖幸<br>事業概要：　富山市斎場の維持管理及び運営<br>富山市との関係：　特記事項無し</td></tr>
<tr><td>指定管理業務の概要</td><td>● 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務<br>● 使用の承認に関する業務<br>● 使用料の徴収に関する業務<br>● 上記のほか、施設の管理に関して市長が必要と認める業務</td></tr>
<tr><td>指定期間</td><td>20 年間（令和 3 年度～令和 22 年度）</td></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>● 平成 31 年 2 月 15 日に締結された富山市斎場再整備事業仮契約書別紙 5（富山市議会の議決を経て本契約に移行済み）に則って、指定管理者が作成した長期事業計画に基づき維持管理費相当額、運営費相当額、光熱水費</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>相当額を支払うことになっている。<br>● 指定管理料には変動要素が含まれている。変動額の計算方法は下記参照。<br>P(t)=Ps(t)×CSPI(t-1)/CSPIs<br>〈凡例〉<br>P(t):改定後の支払予定額<br>Ps(t):前回改定後の支払予定額<br>CSPI(t-1):改定時前年度の価格指数<br>CSPIs:前回改定年度の前年度の価格指数<br>＜指定期間のうち将来5年間の指定管理料見込額＞　　単位：千円
<table>
<tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr>
<tr><td>指定管理料</td><td>90,685</td><td>160,892</td><td>160,900</td><td>160,909</td><td>182,863</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>選定方法</td><td>富山市は、平成30年4月27日に民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号）第5条第3項の規定により、富山市斎場再整備事業に関する実施方針を公表し、平成30年7月9日付で㈱あおぎのを特定事業として選定している</td></tr>
<tr><td>使用料の帰属</td><td>富山市（使用料制）</td></tr>
<tr><td>施設、設備、備品等の維持修繕に係る費用の負担関係</td><td>● 指定管理者は、維持管理・運営期間中、契約関係書類、長期修繕計画書及び維持管理業務に係る年間契約書に従い、当施設の修繕等（大規模修繕を除く）を行う。富山市は、維持管理・運営期間中に当施設の大規模修繕が必要になった場合、自己の費用及び責任において大規模修繕を行うことができる（富山市斎場再整備事業契約約款第51条）。<br>● 大規模修繕とは、建物の一側面、連続する一面全体又は全面に対して行う修繕、設備機器、配管、配線の全面的な更新を伴う修繕、新斎場における火葬炉の入れ替えを行う修繕とする（平成30年9月5日修正版 富山市斎場再整備事業要求水準書）</td></tr>
<tr><td>精算条項</td><td>無し（指定管理者が外郭団体以外であるため）</td></tr>
<tr><td>自主事業提案</td><td>該当無し。</td></tr>
<tr><td>収益向上提案</td><td>該当無し。</td></tr>
</table>

イ．施設の使用料及び利用者数の状況

単位：人

<table>
<tr><th>種別</th><th>条例に定める使用料上限</th><th>※</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr>
<tr><td>火葬件数</td><td>＜火葬場＞
<table>
<tr><th>種別</th><th>市内</th><th>市外</th></tr>
<tr><td>12歳以上</td><td>15,000円</td><td>55,000円</td></tr>
<tr><td>12歳未満</td><td>12,000円</td><td>33,000円</td></tr>
<tr><td>死産</td><td>9,000円</td><td>22,000円</td></tr>
</table>
＜胞衣及び産汚物焼却場＞
<table>
<tr><th>種別</th><th>市内</th><th>市外</th></tr>
</table>
</td><td>1</td><td>2,637</td><td>2,510</td><td>2,598</td><td>2,740</td><td>2,989</td></tr>
</table>

| 種別 | 条例に定める使用料上限 | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

| | | |
|---|---|---|
| 身体一部 | 9,900 円 | 24,200 円 |
| 胞衣産汚物 | | 4,950 円 |

＜待合室＞

| 種別 | 市内 | 市外 |
|---|---|---|
| 1 室 2 時間 | 3,300 円 | 22,000 円 |
| 以降 30 分毎 | 830 円 | 5,500 円 |

＜霊安室＞

| 種別 | 市内 | 市外 |
|---|---|---|
| 1 死体 24 時間 | 1,100 円 | 7,150 円 |
| 以降 12 時間毎 | 550 円 | 3,580 円 |

＜補足コメント＞

※1　利用者数について

高齢化に伴い利用者数は増加傾向にある。

ウ．富山市の歳入・歳出の状況

単位：千円

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設使用料 | 1 | 7,864 | 8,171 | 7,716 | 8,077 | 11,947 |
| 目的外使用料 | | － | － | － | － | 6 |
| **a.歳入実績合計** | | **7,864** | **8,171** | **7,716** | **8,077** | **11,953** |
| 委託料（指定管理料） | 2 | － | － | － | － | 90,685 |
| 委託料（その他） | 2 | 74,424 | 74,771 | 51,197 | 51,527 | 15,565 |
| 消耗品費 | 2 | 1,124 | 794 | 1,064 | 1,315 | 307 |
| 燃料費 | 2 | 9,886 | 10,711 | 10,841 | 10,657 | 4,804 |
| 光熱水費 | 2 | 6,382 | 4,095 | 4,011 | 3,905 | 1,500 |
| 修繕料 | 2 | 1,147 | 3,000 | 3,374 | 953 | 86 |
| 通信運搬費 | 2 | 112 | 117 | 129 | 127 | 111 |
| 手数料 | 2 | 18 | 21 | 7 | 54 | － |
| 借上料 | 2 | 159 | 68 | 68 | 17 | 580 |
| 工事請負費 | 2 | 27,817 | － | － | － | － |
| 備品購入費 | 2 | 425 | － | － | － | － |
| 公有財産購入費 | 2 | － | － | － | － | 2,936,697 |
| **b.歳出実績合計** | | **121,500** | **93,581** | **70,695** | **68,560** | **3,050,339** |
| **c.歳入歳出差額(a-b)** | | **▲113,636** | **▲85,410** | **▲62,979** | **▲60,483** | **▲3,038,386** |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **d.予算額（歳入-歳出）** | | **▲92,516** | **▲82,810** | **▲55,386** | **▲62,108** | **▲3,022,535** |
| **e.予実差異(c-d)** | | **▲21,119** | **▲2,599** | **▲7,593** | **▲1,624** | **▲15,850** |

＜補足コメント＞

※1　施設使用料について

富山市外の住民が利用した際の使用料である。富山市民は、昭和 42 年頃から使用料を全額減免されている。利用者数の推移等は上記「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照。令和 3 年度は、9 月に条例を改正し富山市外の利用者の使用料を値上げしたため、施設使用料が増加している。

※2　歳出について

令和 3 年 9 月に新建物が完成し指定管理施設になったため、それ以降は指定管理料のみが発生している。それ以前は富山市の直営施設であったため、施設運営に係る歳出（個別業務に関する委託料、燃料費、修繕料等）が発生している。

公有財産購入費は、令和 3 年 9 月と 3 月に旧建物の取壊し費用の一部と新建物の建設代金の一部を指定管理者に一括払いしたものである。

エ．指定管理施設の収入・支出の状況

単位：千円（税抜）

| | ※ | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設整備収入（富山市） | 1 | | | | | 3,618,109 |
| 維持管理収入（富山市） | 2 | | | | | 26,266 |
| 運営費収入（富山市） | 3 | | | | | 38,467 |
| 割賦手数料（富山市） | 4 | | | | | 5,769 |
| 光熱水費立替収入（富山市） | 5 | | | | | 17,706 |
| **a.収入合計** | | | | | | **3,706,320** |
| 施設原価 | 6 | | | | | 3,511,505 |
| 保守・維持管理原価 | 7 | | | | | 26,266 |
| 運営原価 | 8 | | | | | 37,007 |
| 光熱水費立替額 | 5 | | | | | 17,706 |
| 販売費及び一般管理費 | 9 | | | | | 19,427 |
| 支払利息 | 10 | | | | | 9,284 |
| **b.支出合計** | | | | | | **3,621,198** |
| **c.収支差額（a-b）** | | | | | | **85,123** |
| **（富山市からの収入を除いた収支差額）** | | | | | | **▲3,621,198** |

＜補足コメント＞

※1　施設整備収入(富山市)について

旧建物の取壊しと新建物の建設に係る売上高であり、富山市の公有財産購入費に対応するものである。これらの代金の一部は、令和 3 年 9 月と令和 4 年 3 月に富山市から支払われており、残額は 20 年間分割払いとなっている。富山市の公有財産購入費は令和 3 年度に支払われた税込金額が集計されているが、指定管理者の売上高は会計基準に則って将来の分割払い分も含めた税抜総額が計上されているため、両者は相違している。

※2　維持管理収入（富山市）について

指定管理者が作成した長期事業計画に基づき当施設の保守維持管理費相当を受領するものであり、毎期発生する、毎年 9 月の最終月曜日に日銀が公表するサービス価格指数(建物サービス)が前年比3%以上変動している場合に金額を見直し、翌年度から適用する。

当該収入は、運営費収入、光熱水費立替収入とともに富山市の指定管理料に対応するものであるが、富山市は指定管理料を税込計上している一方で、指定管理者はこれらの収入を税抜処理しているため、両者の金額に相違が生じている。

※3　運営費収入（富山市）について

指定管理者が作成した長期事業計画に基づき当施設の運営費相当額を受領するものであり、毎期発生する。毎年 9 月の最終月曜日に日銀が公表するサービス価格指数（人材派遣）が前年比で 3%以上変動している場合に金額を見直し、翌年度から適用する。

当該収入は、維持管理収入、光熱水費立替収入とともに富山市の指定管理料に対応するものであるが、富山市は指定管理料を税込計上している一方で、指定管理者はこれらの収入を税抜処理しているため、両者の金額に相違が生じている。

※4　割賦手数料（富山市）について

指定管理者の支払利息に見合った収入であり、富山市の公有財産購入費に対応するものである。割賦手数料は基準金利の変動に伴って変動する。

※5　光熱水費立替収入（富山市）及び光熱水費立替額について

当施設で発生する光熱水費は、指定管理者が立替払いし 3 カ月に一度富山市に請求のうえ実費相当を受領している。当該収入は、維持管理収入、運営費収入とともに富山市の指定管理料に対応するものであるが、富山市は指定管理料を税込計上している一方で指定管理者はこれらの収入を税抜処理しているため、両者の金額に相違が生じている。

※6　施設原価について

施設整備収入に対応する原価であり、旧建物の取壊し費用（アスベスト及びダイオキシン除去費用含む）及び新建物の建設原価が含まれている。

※7　保守・維持管理原価について

維持管理収入に対応する原価である。指定管理者は SPC であり、当該費用は指定管理者が実際に業務を担当する参加企業に支払う保守・維持管理費である。当該費用は固定金額であり、参加企業で当該金額を超過するコストが発生した場合でも増額はされない。

※8　運営原価について

運営費収入に対応する原価である。指定管理者は SPC であり、当該費用は指定管理者が実際に業務を担当する参加企業に支払っている施設運営費である。当該費用は固定金額であり、参加企業で当該金額を超過するコストが発生した場合でも増額はされない。

※9　販売費及び一般管理費について

主な内訳は、通信費、事務用品費、税理士報酬など SPC 自体の管理費である。

※10　支払利息について

指定管理者が既存建物の解体撤去や新建物の建設のために借り入れた優先ローン及び劣後ローンの支払利息である。

## （2） 監査手続の実施結果と発見事項

ア．施設のあり方や存在意義の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1.（2）」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した当施設の概要や利用の状況等については、上記「(1) ア．施設及び指定管理の概要」及び「(1)イ．施設の使用料及び利用者数の状況」を参照のこと。

当施設は、富山市に 4 つある公営斎場（富山市斎場、大沢野斎場、婦負斎場、北部斎場）の一つであり、最大の規模を誇っている。富山市は、限られた財源の中で公共施設を適切に維持管理するため公共施設マネジメントの取り組みを進めているが、当施設については、個別具体的な方針は示されていない。なお、当施設以外の 3 斎場（直営施設）については、火葬件数に応じ適時適切な施設改修・設備の更新を検討するとともに、再編についても検討する方針が示されている。

富山市の公営斎場は、供用開始以来、約 30 年～50 年が経過しており、それぞれの施設において老朽化や耐震性能の不足が懸念されていた。また、各斎場の機能に目を向けると、会葬者のプライバシーに十分な配慮がなされていないことや、家族葬や直葬などの近年の葬送ニーズに対応していないことなどの課題があった。加えて、超高齢社会に到達したことにより、今後は火葬件数の増加が見込まれるが、現在の斎場の機能ではこれに対応することが困難であった。そのため、富山市は、平成 30 年に「富山市内斎場再整備事業基本構想」を策定し、斎場再整備の検討を開始した。その際、当施設については、施設規模や火葬件数が最も大きいにも関わらず老朽化が著しかったため、最優先で建替えの方針が決定されている。なお、富山市は、10 億円以上の行政財産の建設や建替えは原則として PFI の導入審査を受けることとしており、当施設も導入審査を行った結果、PFI による再整備が決定されている。

当施設は、富山市最大の斎場として富山市民だけでなく隣接する立山町や上市町の住民にも利用されており、その存在意義は十分認められる。一方で、富山市は市内に 4 つも斎場を抱えており、その再編が課題となっている。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、施設のあり方や存在意義について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 189【意見 74】 | 斎場の再整備や統廃合方針の具体化 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 富山市は、市町村合併により市内に 4 つの斎場を有しているが、これは全国的に見ても非常に多いものとなっている。火葬件数は令和 22 年にピークを迎えると予想されており、安易に火葬炉を減らすことはできないが、一方で各斎場は老朽化が著しいことから、将来的な再整備が不可避となっている。この点、富山市は平成 30 年に「富山市内斎場再整備事業基本構想」を策定し、残る 3 斎場について今後のあり方を検討するとしている。<br>施設所管課においては、施設の老朽化度合いも踏まえて残る 3 斎場の再整備や統廃合方針を具体化していくことが望まれる。 | |

イ．富山市の歳入・歳出の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した富山市の歳入・歳出の推移や内容等については、上記「(1)ウ. 富山市の歳入・歳出の状況」を参照のこと。

富山市の主な歳入は、施設使用料である。なお、施設使用料は富山市外の住民が利用した際のものであり、富山市民は、昭和 42 年頃から市長特例により使用料を全額減免されている。

富山市の主な歳出は、指定管理料である。当施設は令和 3 年 9 月に指定管理施設になったため、それ以降は指定管理料のみが発生することになる。なお、令和 3 年度は指定管理料以外で旧建物の取壊し費用の一部と新建物の建設代金の一部を指定管理者に一括払いしている。指定管理料は、下記「(2)ウ. 指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果」や「(2)エ. 指定管理業務の検討結果」で検討する。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、富山市の歳入・歳出について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| | |
|---|---|
| 190【意見 8】 | 使用料減免の範囲、水準の再検討 |
| 全般的運用状況 | 該当無し |
| 当施設は富山市斎場条例で使用料金が決まっているが、富山市民の利用については同条例第 12 条（市長が特別な理由があると認める場合）により使用料が全額減免されている。これについては、富山市の厳しい財政事情を勘案すると受益者負担の観点から再検討の余地がある。<br>施設所管課においては、他市町村の事例等を研究し、中長期目線で施設使用料の減免要否や減免率を再検討することが望まれる。 | |

ウ. 指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理者の概要や指定管理料の計算方法等については、上記「(1)ア. 施設及び指定管理の概要」を参照のこと。

富山市は、10 億円以上の行政財産の建設や建替えは原則として PFI の導入審査を受けることとしており、当施設も導入審査を行った結果、平成 30 年 7 月に PFI の特定事業の選定が行われている。そのうえで、平成 30 年 12 月に㈱あおぎの（佐藤工業㈱を代表企業とし、㈱宮本工業所、㈱五輪、㈱ホクタテを構成員、㈱山下設計を協力企業とする共同企業体）が優先交渉権者に決定され、平成 31 年 2 月 15 日に締結された富山市斎場再整備事業仮契約書第 42 条（富山市議会の議決を経て本契約に移行済み）に基づいて指定管理者として指定されている。このうち、佐藤工業㈱が建物の建設を、㈱ホクタテが施設全般の維持管理を、㈱宮本工業所（富山市内の火葬炉メーカーで国内の火葬炉シェア 6 割）が火葬炉の納入や維持管理を、㈱五輪（㈱宮本工業所の子会社で火夫派遣などの火葬場運営会社）が施設の運営を担当している。このように、共同企業体の構成員は、それぞれの分野で施設を維持運営していくための豊富なノウハウを有しており、当施設の指定管理業務を遂行する上で十分な適格性を有していると評価できる。なお、指定管理料は、指定管理者が作成した長期事業計画に基づき維持管理費相当額、運営費相当額、光熱水費相当額の合計額として計算されている。指定管理料は原則固定額であり、物価変動等に合わせて変動する条項もあるが、計算式は明確で多額の変動が発生する可能性は高くないと考えられる。また、

指定期間は、火葬業務のノウハウを蓄積するため火葬炉の耐用年数である 20 年とされている。

PFI の特定事業の選定や優先交渉権者の決定、指定管理料の計算等に係る一連の資料を査閲した結果、その内容に重大な問題は認められなかった。一方で、当施設は PFI で整備された初めての指定管理施設であり、基本協定書の作成要否などについて課題が認められた。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理者の選定過程及び指定管理料の計算方法について、以下の発見事項が識別された。

② 発見事項

| 191【意見 No75】 | PFI で整備した指定管理施設の事務処理の明確化 |
|---|---|
| 全般的運用状況 | 規程類の整備に係る発見事項であり、指定管理者制度の全般的運用状況に影響する発見事項と考えられる。そのため、別途「第 3 章 指定管理者制度の全般的運用状況の検討」で指定管理者制度を所管する行政経営課に対する意見（指摘 1）を識別している。 |
| 富山市は、富山市斎場再整備事業仮契約書第 42 条（富山市議会の議決を経て本契約に移行済み）に基づいて契約当事者である㈱あおぎのを指定管理者に選定しているが、その際、基本協定書を締結していない。この点、関連する条例や運用指針でも PFI で整備された施設に係る基本協定書の取扱いは明確化されていない。当施設については、富山市と指定管理者が締結した富山市斎場再整備事業仮契約で基本協定書の内容を網羅しているため実害はないと考えられるが、事務的な取扱いが不明瞭になっていると事務ミスが発生する可能性がある。<br>施設所管課においては、指定管理関連の条例、要綱、指針等において PFI で整備した指定管理施設の事務的な取扱い（例：基本協定書の締結要否等）を明確にすることが望まれる。 | |

エ. 指定管理業務の検討結果

① 監査手続実施結果の総括

「第 4 章 第 1 部 1. (2)」に記載の監査手続を実施した。監査人が理解した指定管理施設の収支の推移や内容等については、上記「(1)エ. 指定管理施設の収入・支出の状況」を参照のこと。

指定管理者の主な収入は、富山市からの指定管理料である。なお、指定管理者は当施設で一切自主事業を行っていない。

指定管理者の主な支出は、当施設の維持管理や運営に係る参加企業への委託料である。当該費用は固定金額であり、参加企業で当該金額を超過するコストが発生した場合でも増額はされない。なお、指定管理者の支出行為にはメインバンクの事前承認が必要であり、年度の計算書類等は公認会計士の会計監査が行われている。

このような前提を踏まえて監査を実施した結果、指定管理業務について、発見事項は識別されなかった。

② 発見事項

特記すべき事項は発見されなかった。

オ. 過去の包括外部監査で発見された事項のフォロー

① 監査手続実施結果の総括

当施設は、平成 24 年度包括外部監査（テーマ：指定管理者制度の整備状況及び運用状況について）において監査対象外となっており、検討は省略した。